平成１９年度

県 民 世 論 調 査

県行政への関心について

働く場の確保・雇用対策について

これからの教育のあり方について

子どもの安全を守る活動について

地域ケア体制の整備について

住宅の耐震化について

高知県の道路整備について

今後の産業政策について

高　　知　　県

はじめに

県民の価値観がますます複雑かつ多様化する一方で、高知県の財政は大変厳しい状況になっています。そのような状況下でも、雇用の創出や、南海地震対策、少子化対策など、本県にとって重要な課題が数多くあります。限られた財源を最大限に活かし、本当に必要なサービスに投資していくためには、県民の声を広くお聴きし、県民のニーズに的確に対応した県民本位の県政を進めていくことが強く求められています。

この調査は、県民の皆様の県政に対しての関心やご意見などを把握し、その結果を県政運営の基礎資料とするために実施したものです。

本年度は、「県行政への関心」、「働く場の確保・雇用対策」、「これからの教育のあり方」、「子どもの安全を守る活動」、「地域ケア体制の整備」、「住宅の耐震化」、「高知県の道路整備」、「今後の産業政策」について調査しました。

これらの調査に集約された県民の声を、今後の県政に十分反映させていきたいと考えています。また、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

おわりに、この調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 19 年 12 月

高知県総務部長　　中　澤　卓　史

目　　次

ページ

Ⅰ　調査の設計 …… 1

Ⅱ　調査結果の見方 …… 3

Ⅲ　調査対象者の特性 …… 5

　1．広域生活圏別の配布・回収状況 …… 5

　2．対象者の特性 …… 5

Ⅳ　調査結果のあらまし …… 8

Ⅴ　調査結果〔解説・グラフ〕

［1］県行政への関心について

解説・グラフページ　数表ページ

　1．県行政への関心度について …… 15 …… 137

　（1）関心がある理由 …… 17 …… 138

　（2）関心がない理由 …… 20 …… 139

　2．県民の声を県政に活かすために必要なこと …… 23 …… 140

　3．県の情報公開や情報提供についての関心 …… 27 …… 141

　（1）県の情報公開や情報提供の取り組みの満足度 …… 29 …… 142

［2］働く場の確保・雇用対策について

　4．新規高卒就職者の県外流出について …… 31 …… 143

　5．就職方法について …… 34 …… 144

　6．「ジョブカフェこうち」の知名度 …… 36 …… 145

　7．今後充実すべき「ジョブカフェこうち」の機能 …… 38 …… 146

　8．「シルバー人材センター」の知名度 …… 40 …… 147

　9．雇用対策として最も重点を置くべき対象者層 …… 42 …… 148

［3］これからの教育のあり方について

　10．今後の教育のために必要な取り組みや支援 …… 44 …… 150

　11．教育水準の維持・向上のための新たな費用負担について …… 47 …… 152

［4］子どもの安全を守る活動について

　12．子どもの安全を守るために必要な取り組み …… 50 …… 153

　13．地域で、子どもを守るための活動への参加の有無 …… 54 …… 154

　①登下校時に合わせた見守り活動 …… 54 …… 154

　②通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動 …… 56 …… 155

③声かけ・あいさつ運動 …… 58 …· 156
④遊び場の見回り活動 …… 60 …· 157
⑤夜間のパトロール活動 …… 62 …· 158
（1）活動した際に課題と思ったこと …… 64 …· 160
（2）今後、地域の活動への参加の有無 …… 67 …· 162
（ｉ）参加できる活動 …… 69 …· 163
（ii）参加できない、参加したくない理由 …… 72 …· 164
１４．子どもの非行を防止するための取り組み …… 75 …· 166
１５．現在の高知県の治安 …… 79 …· 167
（1）不安に感じていること …… 81 …· 168
［5］地域ケア体制の整備について
１６．医療や介護が必要となった時、地域や住まいで
安心安全に生活するために重要なもの …… 84 …· 169
１７．家族に介護が必要となった時、自宅で生活を続けるために
必要と思う地域での支え合いや見守り …… 88 …· 170
１８．医療機関に１人で行くことが困難となった場合の意向 …… 91 …· 171
１９．「地域の支え合い活動」への参加の有無 …… 93 …· 172
２０．「地域の支え合い活動」により参加しやすくなると思える条件 …… 95 …· 173
２１．参加しても良いと思う「地域の支え合い活動」 …… 98 …· 174
２２．高齢になって介護が必要になった場合の住まい ……101 …· 175
２３．高齢者向け住宅に住み替えをしようとした場合に重視する条件 ……103 …· 176
［6］住宅の耐震化について
２４．住宅の耐震化の認識 ……106 …· 177
２５．木造住宅の耐震診断や耐震改修を支援するための助成制度 ……108 …· 178
２６．現在住んでいる住宅の構造 ……110 …· 179
２７．今後、助成制度を使った耐震診断や耐震改修の意向 ……112 …· 180
（1）助成制度を使って耐震診断や耐震改修をしたいとは思わない理由 …115 …· 182
２８．住宅の耐震化を進めるための方策 ……118 …· 184
［7］高知県の道路整備について
２９．県内の道路整備にあたって必要なこと ……121 …· 186
３０．県内道路の今後の整備について ……125 …· 188
（1）道路の整備より優先すべきもの ……128 …· 190
３１．県内の道路整備についてのご意見 ……130 …· 192
［8］今後の産業政策について

３２．産業政策面において、今後、重点的に取り組むべきもの ……131 …… 206
Ⅵ　調査結果〔数表〕 ……137
Ⅶ　その他〔自由回答〕 ……209
Ⅷ　質問票（単純集計結果） ……223

Ⅰ　調査の設計

1．調査の目的

この調査は、県民のニーズ・意識などを把握し、県政運営上の基礎資料を得ることを目的とする。

2．調査の事項

◆ 県行政への関心について

県行政への関心度／関心がある理由／関心がない理由／県民の声を県政に活かすために必要なこと／県の情報公開や情報提供についての関心／県の情報公開や情報提供の取り組みの満足度

◆ 働く場の確保・雇用対策について

新規高卒就職者の約２人に１人が県外に流出している状況について／主な就職方法／「ジョブカフェこうち」の認知状況／「ジョブカフェこうち」の今後充実すべき機能／「シルバー人材センター」の活動の認知状況／県の雇用対策として最も重点を置くべき対象者層

◆ これからの教育のあり方について

これからの教育を進めていくうえで必要な取り組みや支援／教育水準を保ち、向上させるための新たな費用負担について

◆ 子どもの安全を守る活動について

子どもたちの安全を守るために必要な取り組み／子どもを守るための活動への参加の有無／活動した際に課題と思ったこと／今後、地域の活動への参加の有無／参加できる活動／参加できない、参加したくない理由／子どもの非行を防止するための取り組み／現在の高知県の治安／不安に感じていること

◆ 地域ケア体制の整備について

地域ケア体制整備で重要なもの／地域で必要な支え合いや見守り／自宅向けの医療について／地域の支え合い活動への参加の有無／地域の支え合い活動に参加しやすくなる条件／参加してもよい地域の支え合い活動／介護が必要となった場合の住宅ニーズ／高齢者向け住宅への住み替えにおいて重視する条件

◆ 住宅の耐震化について

住宅の耐震化の認識／耐震診断や耐震改修に対する助成制度の認識／住宅の構造／助成制度を使った耐震診断や耐震改修の意向／したいと思わない理由／住宅の耐震化を進めるための方策

◆ 高知県の道路整備について

県内の道路整備にあたって必要なこと／県内道路の今後の整備について／道路整備より優先すべきもの／県内の道路整備についての意見

◆ 今後の産業政策について

今後、県が重点的に取り組むべき産業政策

３．調査の対象

県内全域から20歳以上の県民３，０００人を抽出（各市町村の「選挙人名簿」より）

４．対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法

５．調査の方法

郵送法

６．調査の期間

平成１９年8月３１日（金）～9月２０日（木）までの２１日間

７．実査及び集計

株式会社くろしお地域研究所

８．調査票配布数と回収状況

配　布　数	３，０００票
有効回収数	１，９０８票（有効回収率　　６３．６％）

Ⅱ　調査結果の見方

1　「Ⅴ　調査結果〔解説・グラフ〕」は「Ⅵ　調査結果〔数表〕」に基づき、要点のみを記述してあるので、「Ⅵ　調査結果〔数表〕」をあわせて参照すること

2　「Ⅵ　調査結果〔数表〕」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率（%）算出の基礎となっている。

3　「Ⅵ　調査結果〔数表〕」に記入してある数値は、回答人数又は各回答項目に対する回答率であり、回答率は下記の式により求めている。

$$\text{回答率（\%）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は、小数第2位を四捨五入し、表示している。

4　質問への回答は「1つだけ○印」、「2つまで○印」、「3つまで○印」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると１００%以上になる。

5　副問については、該当者の人数を母数として回答率を算出した。

6　各質問に対する集計は、対象者の特性別（階層別）及び回答者別（質問間クロス）で分析した。

（1）性　　別・・・男女の別
（2）年　　代・・・２０歳代、３０歳代、４０歳代、５０歳代、６０歳代、７０歳以上の6階層に分類
（3）職　　業・・・農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦、学生、無職、その他の１２種類に分類
（4）世 帯 構 成・・・本人のみ、本人と配偶者、本人と子ども、本人と配偶者と子ども、本人と配偶者と親、本人と親、3世代以上の世帯、その他の8種類に分類
（5）世帯の年間収入・・・0～１００万円未満、１００～２００万円未満、２００～３００万円未満、３００～４００万円未満、４００～６００万円未満、６００～８００万円未満、８００～１０００万円未満、１０００万円以上の8種類に分類
（6）子どもの状況・・・就学前の子どもがいる、小学生の子どもがいる、中学生の子どもがいる、高校生の子どもがいる、大学生、専門学校生等の子どもがいる、その他の6種類に分類
（7）広 域 生 活 圏・・・高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類

（8）対象者の職業別及び広域生活圏別判定は次のとおりである。

◆職　業　別

農　林　業 漁　　業	（主婦の場合は、家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方を取る）
商工サービス業自営	（商店や工場などを自分でやっている人・家族従業者を含む）
事　務　職	（勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く）
技　術　職	（主に技術系の仕事の人、看護師、保育士など、課長以上を除く）
労　務　職	（現場従業者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など）
管　理　職	（勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など）
自　由　業	（医師、弁護士、画家、僧侶、大学教授など）
主　　婦	（家庭内の仕事が１日で最も多い場合）
学　　生	（高校、短大、大学、その他の学校在学中）
無　　職	（年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合）
そ　の　他	（上のいずれにも属さないもの）

◆広域生活圏

高　知　市	
安芸広域圏	・・・室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、北川村、馬路村
南国・香美広域圏	・・・南国市、香南市、香美市
嶺北広域圏	・・・本山町、大豊町、土佐町、大川村
仁淀川広域圏	・・・土佐市、いの町、春野町、日高村
高吾北広域圏	・・・佐川町、越知町、仁淀川町
高幡広域圏	・・・須崎市、中土佐町、四万十町、檮原町、津野町
幡多広域圏	・・・四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村

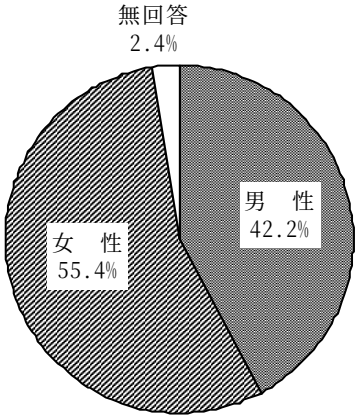
Ⅲ　調査対象者の特性

1．広域生活圏別の配布・回収状況

広　域　圏	配布数(人)	有効回収状況		
		回収数(人)	回収率(%)	構成比(%)
高知市	1,221	806	66.0	42.2
安芸広域圏	233	157	67.4	8.2
南国・香美広域圏	428	255	59.6	13.4
嶺北広域圏	60	41	68.3	2.1
仁淀川広域圏	307	180	58.6	9.4
高吾北広域圏	113	65	57.5	3.4
高幡広域圏	255	160	62.7	8.4
幡多広域圏	383	235	61.4	12.3
無回答		9		0.5
合　計	3,000	1,908	63.6	100.0

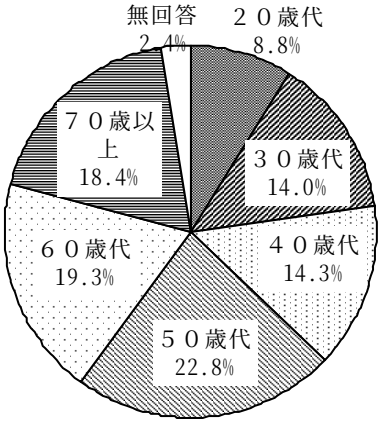
2．対象者の特性

F1　性別



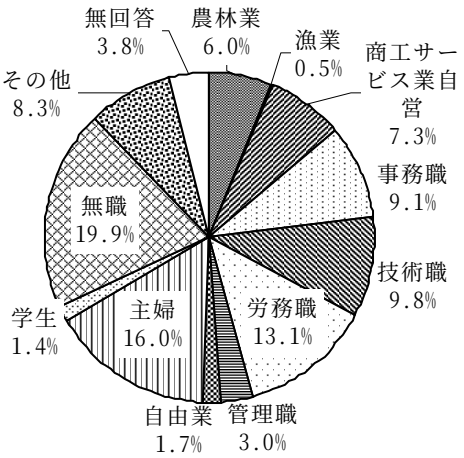
区分	回答数(人)	構成比(%)
男　性	806	42.2
女　性	1,057	55.4
無回答	45	2.4
合計	1,908	100.0

F2　年代別



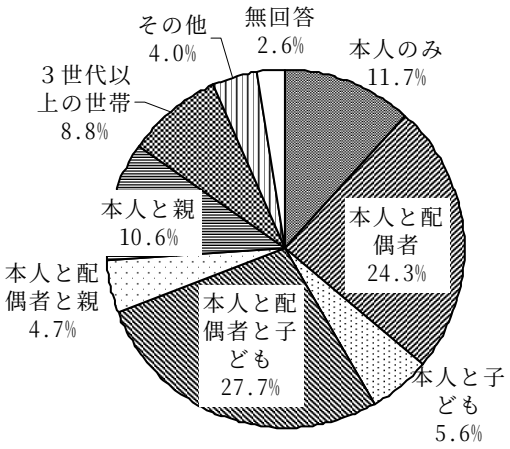
区分	回答数(人)	構成比(%)
２０歳代	168	8.8
３０歳代	267	14.0
４０歳代	272	14.3
５０歳代	435	22.8
６０歳代	368	19.3
７０歳以上	352	18.4
無回答	46	2.4
合計	1,908	100.0

F3 職業



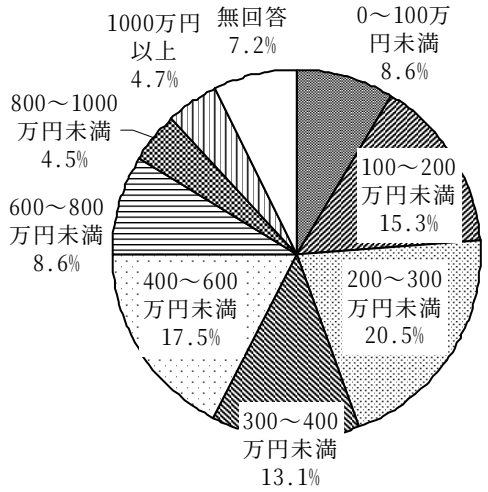
区分	回答数(人)	構成比(%)
農林業	114	6.0
漁業	10	0.5
商工サービス業自営	140	7.3
事務職	174	9.1
技術職	187	9.8
労務職	250	13.1
管理職	58	3.0
自由業	32	1.7
主婦	306	16.0
学生	26	1.4
無職	379	19.9
その他	159	8.3
無回答	73	3.8
合計	1,908	100.0

F4 世帯構成



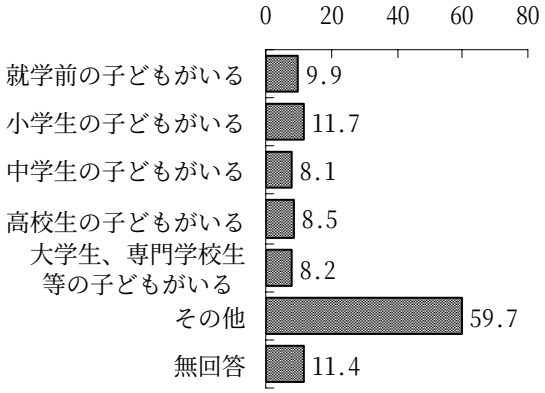
区分	回答数(人)	構成比(%)
本人のみ	223	11.7
本人と配偶者	463	24.3
本人と子ども	106	5.6
本人と配偶者と子ども	529	27.7
本人と配偶者と親	90	4.7
本人と親	203	10.6
3世代以上の世帯	168	8.8
その他	76	4.0
無回答	50	2.6
合計	1,908	100.0

F5 世帯の年間収入



区分	回答数(人)	構成比(%)
0～100万円未満	164	8.6
100～200万円未満	292	15.3
200～300万円未満	392	20.5
300～400万円未満	250	13.1
400～600万円未満	334	17.5
600～800万円未満	165	8.6
800～1000万円未満	85	4.5
1000万円以上	89	4.7
無回答	137	7.2
合計	1,908	100.0

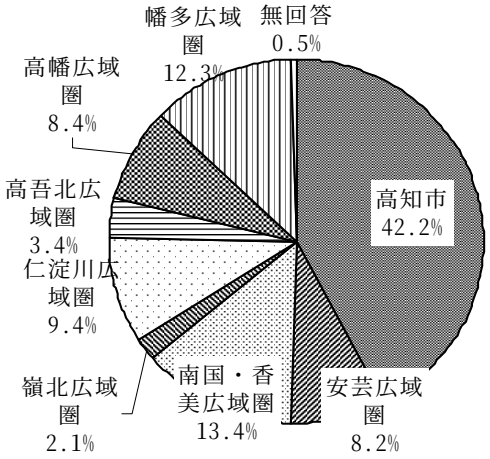
F6 子どもの状況



＜複数回答＞

区分	回答数(人)	構成比(%)
就学前の子どもがいる	188	9.9
小学生の子どもがいる	224	11.7
中学生の子どもがいる	155	8.1
高校生の子どもがいる	163	8.5
大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	8.2
その他	1,139	59.7
無回答	217	11.4
サンプル数	1,908	

F7 広域生活圏



区分	回答数(人)	構成比(%)
高知市	806	42.2
安芸広域圏	157	8.2
南国・香美広域圏	255	13.4
嶺北広域圏	41	2.1
仁淀川広域圏	180	9.4
高吾北広域圏	65	3.4
高幡広域圏	160	8.4
幡多広域圏	235	12.3
無回答	9	0.5
合計	1,908	100.0

Ⅳ　調査結果のあらまし

［1］県行政への関心について

［県行政への関心］
県行政への関心については、「関心がある」が 37.7%、「やや関心がある」が 36.8%であり、両者合わせて 74.5%が【関心がある】と回答している。
一方、「関心がない」が3.0%、「あまり関心がない」が10.6%であり、【関心がない】（＝「関心がない」＋「あまり関心がない」）人は13.6%である。

［【関心がある】理由］（複数回答）
【関心がある】と回答した人の理由は、①「自分の暮らしに関係があるから」が57.6%で最も高く、次いで、②「自分の住むところだから・高知に愛着があるから」（42.4%）や③「高知県を良くするためには、県の行政について知ることが大切だと思うから」（41.1%）も 40%超で続いている。

［【関心がない】理由］（複数回答）
【関心がない】と回答した人の理由は、①「県が何をやっているのかよくわからない」が65.0%で最も高く、次いで②「自分の要望や意見が活かされないと思うから」が35.8%を占めている。

［県民の声を県政に活かすために必要なこと］（複数回答）
県民の声を県政に活かすために必要なこととしては、①「住民から寄せられた声に対して、県がどのような対応をしたかを知らせること」が42.6%で最も多いが、②「県職員が日ごろの業務の中で住民の声を聴く意識と姿勢を持つこと」（42.2%）や③「県職員が地域に入り、地域の声を聴きながら、住民とともに課題を解決していく取り組み」（39.2%）、④「県が事業などを行う当初の段階から住民の意見を聴くこと」（38.3%）、⑤「県が行う事業や取り組みについての積極的な広報や徹底した情報公開」（37.7%）も 40%前後を占めている。

［県の情報公開や情報提供についての関心］
県の情報公開や情報提供については、「関心がある」が35.2%、「やや関心がある」が36.1%で、70%以上が【関心がある】（＝「関心がある」＋「やや関心がある」）と回答しており、【関心がない】（＝「関心がない」＋「あまり関心がない」）は 8.4%である。県からの情報公開や情報提供について多くの人が関心を持っている。

［県の情報公開や情報提供の取り組みの満足度］
県の情報公開や情報提供の取り組みに【関心がある】と回答した人の満足度は、「どちらともいえない」が42.5%で最も多く、「満足している」が2.4%、「やや満足している」が17.4%と、【満足している】（＝「満足している」＋「やや満足している」）は、【関心がある】と回答した人の約20%であり、【満足していない】（＝「満足していない」＋「あまり満足していない」）の36.9%を下回っている。現在の県の情報公開や情報提供の取り組みについては、どちらかと言うと満足していない人が多くなっている。

［2］働く場の確保・雇用対策について

［新規高卒就職者の県外流出について］（複数回答）
新規高卒就職者の約２人に１人が県外へ流出している状況については、①「高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である」と回答している人が54.2%で最も多いが、②「県内に求人が少ないので仕方がない」も 50.4%を占めている。次いで、③「県内の企業がもっと採用に努力する必要がある」（37.7%）、④「県外の企業の方が賃金など雇用の条件が良いので仕方がない」（33.5%）、

⑤「県内に希望に合う職種が少ないので仕方がない」（32.0%）がいずれも30%台となっている。

［主な就職方法］

就職したあるいは就職しようと考えている人の主な就職の方法としては、①「家族や知り合いの紹介」が 34.3%と約３人に１人を占めている。次いで、②「在学中の就職活動」も 28.8%と約３割を占めている。以下、③「ハローワークの紹介」が11.4%、④「就職情報誌の活用」が4.6%などとなっている。

［「ジョブカフェこうち」の認知状況］

「ジョブカフェこうち」については、【名前を知っている】（＝「利用したことがあり、知っている」＋「利用したことはないが、活動の内容は知っている」＋「活動の内容は知らないが、名前は聞いたことがある」）が 53.0%、そのうち【活動の内容まで知っている】（＝「利用したことがあり、知っている」＋「利用したことはないが、活動の内容は知っている」）は15.8%、「利用したことがあり、知っている」は1.0%であり、「全く知らない」と回答した人が44.9%を占め、知名度は低い。

［今後充実すべき「ジョブカフェこうち」の機能］（複数回答）

今後充実すべき「ジョブカフェこうち」の機能としては、①「若者が気軽に立ち寄れる情報ステーション」が49.7%で最も多く、②「就職のあっせん」（37.5%）、③「就職に関するカウンセリング」（34.1%）、④「就職に結びつくセミナー」（33.6%）も35%前後を占めている。

［「シルバー人材センター」の認知状況］

「シルバー人材センター」については、【名前は知っている】（＝「利用したことがあり、知っている」＋「利用したことはないが、活動の内容は知っている」＋「活動の内容は知らないが、名前は聞いたことがある」）は94.2%、【活動の内容まで知っている】（＝「利用したことがあり、知っている」＋「利用したことはないが、活動の内容は知っている」）は 66.1%、「利用したことがあり、知っている」は15.4%であり、「全く知らない」と回答した人は4.4%で知名度は非常に高い。

［雇用対策として最も重点を置くべき対象者層］

県の雇用対策として最も重点を置くべき対象者層としては、①「若年者」が42.7%で最も多い。次いで、②「新規学卒者」が 22.1%、③「中高年齢者」が 19.8%と２割ほどを占めている。以下、④「高年齢者」が4.7%、⑤「母子・父子家庭の母・父」が3.6%などとなっている。

［3］これからの教育のあり方について

［今後の教育のために必要な取り組みや支援］（複数回答）

これからの教育を進めていくうえで必要な取り組みや支援としては、①「教職員の資質・指導力の向上」が58.3%で圧倒的に多い。次いで、②「家庭や地域の教育力を上げるための支援」が25.4%、③「子育て家庭への相談体制の整備などの支援」が24.6%となっている。以下、④「小学校での学力の二極化への対応」が20.3%、⑤「小学校入学前の保育・教育の充実」が17.7%などと続いている。

［教育水準の維持・向上のための新たな費用負担について］

教育の水準を保ち、向上させるために必要な費用の負担については、「負担はやむをえない」が14.0%、「金額によっては負担をしてもよい」が 36.1%であり、両者合わせて 50.1%が【負担してもよい】と回答している。一方、「負担はしたくない」が13.0%、「できれば負担はしたくない」が27.3%であり、両者合わせて40.3%が【負担はしたくない】と回答している。

［4］子どもの安全を守る活動について

［子どもの安全を守るために必要な取り組み］（複数回答）

子どもの安全を守るために必要な取り組みとしては、①「地域住民による通学路、公園などの見守り活動」が46.6%で最も多く、次いで、②「警察官による通学路や学校周辺のパトロール」（39.1%）、③「学校や保護者に対する不審者情報などの提供」（37.9%）、④「通学路、公園などを安全にするための整備」（36.2%）も35%超で続いている。

［子どもを守るための活動への参加の有無］

①「登下校時に合わせた見守り活動」

「参加したことがある」は13.9%であるが、【活動は知っていた】（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は48.9%であり、全体の半分近くの人は「登下校時に合わせた見守り活動」の存在を知っている。

②「通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動」

「参加したことがある」は10.1%であるが、【活動は知っていた】（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は60.1%であり、全体の約６割の人が「登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動」の存在を知っている。

③「声かけ・あいさつ運動」

「参加したことがある」は22.6%であり、約４人に１人が参加経験がある。また、【活動は知っていた】（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は59.5%であり、全体の約６割の人が「声かけ・あいさつ運動」の存在を知っている。

④「遊び場の見回り活動」

「参加したことがある」は 4.4%、【活動は知っていた】（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は43.1%であり、①～③の子どもを守るための各活動に比べて、高くはない。

⑤「夜間のパトロール活動」

「参加したことがある」は 4.3%、【活動は知っていた】（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は44.9%であり、①～③の子どもを守るための各活動に比べて、高くはない。

［活動した際に思った課題］（複数回答）

子どもを守るための活動に参加した際に課題と思ったことは、①「活動に参加する人がいつも同じ」が43.0%で最も多く、次いで②「活動に参加する人が少ない」（35.4%）や③「地域住民の防犯意識や連帯感が弱い」（34.3%）が35%前後を占めている。

［今後、地域の活動への参加の有無］

これまで地域の活動に参加したことのない人の今後の参加意向については、「参加できる」は5.0%、「条件が整えば参加できる、参加してみたい」は47.9%を占めており、両者を合わせて、過半数の人が参加の可能性がある。一方、「参加できない、参加したくない」は20.8%と約５人に１人いる。

［参加できる活動］（複数回答）

参加できる活動は、①「散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動」が69.6%で最も多いが、②「子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動」も64.1%を占めている。

［参加できない、参加したくない理由］（複数回答）

参加できない、あるいは参加したくない理由は、①「仕事などで忙しくて時間がないから」が46.5%で最も多く、次いで②「年齢、病気などの理由で、屋外での活動ができないから」が37.0%を占めており、これら２つが主な理由となっている。以下、③「どのようにして取りかかってよいのかわからないから」（15.2%）や④「地域で活動する団体や活動の内容などの情報がないから」（14.0%）が15%前後、⑤「近所に子どもがいないから」（12.3%）、⑥「子どもの安全を守ることは保護者の務めだと思うから」(11.5%)、⑦「一緒に活動する仲間がいないから」(10.3%)が10%超で続いている。

［子どもの非行を防止するための取り組み］（複数回答）

子どもの非行を防止するための取り組みとしては、①「保護者による家庭でのしつけ」が79.7%で最も多い。次いで、②「手本となる大人がマナーを守ること」が44.4%、③「学校教育で、善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること」が39.0%、以下、④「地域住民が地域の子どもに目を向け、積極的に声かけなどを行うこと」が27.8%、⑤「有害図書や出会い系サイトなど子どもにとって有害な環境をなくすこと」が26.2%などで続いている。

［現在の高知県の治安］

現在の高知県の治安については、「不安を感じている」が 15.1%、「やや不安を感じている」が39.8%であり、両者を合わせて54.9%の人が現在の高知県の治安に【不安を感じている】と回答している。一方、「不安を感じていない」は2.3%、「あまり不安を感じていない」は17.3%であり、【不安を感じていない】（＝「不安を感じていない」＋「あまり不安を感じていない」）人は19.6%である。

［不安に感じていること］（複数回答）

高知県の治安で不安に感じていることは、①「空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件」が70.1%で最も多く、②「少年犯罪」（46.2%）や③「高齢者などをねらった悪質商法や振り込め詐欺」（44.7%）が45%前後、④「殺人、強盗などの凶悪事件」が34.5%などで続いている。

［5］地域ケア体制の整備について

［医療や介護が必要となったとき、地域や住まいで安心安全に生活するために重要なもの］（複数回答）

医療や介護が必要となったとき、地域や住まいで安心安全に生活するために重要なものは、①「入院から退院、在宅での療養まで、医療や介護関係者が連携して対応してくれること」が最も多く、67.4%を占めている。次いで、②「24時間365日、在宅での療養や生活を支える、医療や介護の体制があること」（41.9%）と③「本人の楽しみや家族の介護の負担が軽くなるような地域で集える場所があること」（38.4%）が 40%前後、④「予防、治療など総合的に看てくれる医師がいること」が34.4%などで続いている。

［家族に介護が必要となったとき、自宅で生活を続けるために必要と思う地域での支え合いや見守り］（複数回答）

家族に介護が必要となったとき、自宅で生活を続けるために必要と思う地域での支え合いや見守りとしては、①「緊急時に通報できる手段・連絡体制」（55.1%）と②「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」（54.5%）がともに55%前後を占めている。次いで、③「配食サービスなど、食事の提供」（35.1%）、④「認知症の方が困っているときに対応できるサポーター（援助者）」（33.7%）、⑤「話し相手や相談相手」（32.0%）が30%台で比較的高い比率となっている。

［医療機関に1人で行くことが困難となった場合の意向］

寝たきりなどの状態で、医療機関に１人で行くことが困難となった場合の意向としては、半分近い46.6%の人が①「病院に入院したい」と回答している。次いで、②「自宅（借家含む）に医師や看護師に来てほしい」が28.4%、③「家族やヘルパー、地域の方などに介助してもらって病院に通院したい」が10.8%などとなっている。

[「地域の支え合い活動」への参加の有無]

「地域の支え合い活動」への参加については、31.5%と約３人に１人が「参加できる」と答えており、「参加できない」は10.7%で、半分以上の54.1%は「わからない」と回答している。

[「地域の支え合い活動」により参加しやすくなると思える条件]（複数回答）

「地域の支え合い活動」に、より参加しやすくなると思える条件としては、①「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」（56.3%）と②「時間や期間にあまりしばられないこと」（55.9%）と回答する人が多く、ともに約55%を占めている。

[参加しても良いと思う「地域の支え合い活動」]（複数回答）

参加しても良いと思う「地域の支え合い活動」は、①「定期的な安否の確認」が43.7%で最も多く、次いで、②「話し相手や相談相手」（36.9%）、③「近所の緊急時の通報への対応」（36.3%）、④「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」（34.0%）が35%前後となっている。以下、⑤「認知症の方が徘徊していなくなったときに協力して探す地域のネットワーク」（26.1%）や⑥「庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援」（23.3%）が25%前後で続いている。

[高齢になって介護が必要になった場合の住まい]

高齢になって介護が必要になった場合の住まいはどうしたいか、については、全体の44.6%は「現在の住居でそのまま、あるいは改造して住み続けたい」と回答している。また、「介護が付いている施設に入居する」と回答した人も27.4%と約４人に１人、「介護は付いていないがケアが付いた住宅に入居する」と回答した人が5.7%、「子どもや親戚などの家に移る」と回答した人が2.2%いる。

[高齢者向け住宅に住み替えをしようとした場合に重視する条件]（複数回答）

医療や介護サービスが受けやすい高齢者向け住宅に住み替えをしようとした場合に重視する条件は、①「費用がかかりすぎないこと」が62.4%で最も多く、②「医療機関が近くにあること」も53.2%と過半数を占めている。次いで、③「住み慣れた地域にあること」が45.6%、④「子や孫・親族が住んでいる地域にあること」（36.9%）と⑤「商店街などが近くにあり、買い物など日常生活に便利な場所にあること」（34.4%）が35%前後を占めている。

[6] 住宅の耐震化について

[住宅の耐震化の認識]

住宅の耐震化が課題になっていることについては、「知っていた」が44.0%、「ある程度知っていた」が 38.7%であり、両者合わせて 82.7%が【知っていた】と回答している。一方、「知らなかった」が 3.6%、「あまり知らなかった」が 11.8%であり、【知らなかった】（＝「知らなかった」+「あまり知らなかった」）人は15.4%である。

[木造住宅の耐震診断や耐震改修に対する助成制度の認識]

木造住宅の耐震診断や耐震改修を支援するための助成制度については、「制度の内容を含め知っていた」は 15.4%であり、「制度があることは知っていた」の 51.2%を合わせると、66.6%が【助成制度の存在を知っている】と回答している。一方、「知らなかった」は31.3%と約３人に１人である。

[現在住んでいる住宅の構造]

現在住んでいる住宅の構造は、72.4%が①「木造」であり、②「鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造のいずれか」が21.4%を占めている。その他は１%前後と少ない。

[今後、助成制度を使った耐震診断や耐震改修の意向]

今後、助成制度を使った耐震診断や耐震改修の意向としては、46.8%が「したいと思う」と回答しており、「したいと思わない」は30.8%である。また、「わからない」は22.4%である。

［助成制度を使って耐震診断や耐震改修をしたいとは思わない理由］（複数回答）

助成制度を使って耐震診断や耐震改修をしたいとは思わない理由は、①「助成制度を使っても、耐震改修は自己負担額が多そうだから」が52.4%で最も多く、②「耐震改修をしても大地震には耐えられないと思うから」（33.5%）と③「もともと耐震性は十分だから」（30.8%）が30%台で続いている。次いで、④「耐震改修をするよりも住み替えや建て替えをしたいから」（13.7%）、⑤「耐震改修工事のための家具の移動や仮住まいなどで今の生活リズムを崩したくないから」（11.9%）、⑥「助成制度を使うには、申請などの手続きがめんどうそうだから」（11.5%）が10%台前半で続いている。

［住宅の耐震化を進めるための方策］（複数回答）

住宅の耐震化を進めるために必要なこととしては、①「耐震改修を支援する制度（補助、低利の融資、税金の減免など）の充実」が70.2%で最も多く、次いで、②「安価で簡単な耐震改修の方法の開発、普及」も 54.5%と 50%を超えている。以下、③「耐震改修を行った住宅が地震で被害を受けた場合に再建費用を支給する制度をつくること」が36.5%、④「建て替えを支援する制度をつくること」が29.8%、⑤「耐震化の必要性のＰＲ（普及啓発）」が26.8%などで続いている。

［7］高知県の道路整備について

［県内の道路整備にあたって必要なこと］（複数回答）

県内の道路整備にあたって必要なこととしては、①「大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備」が43.8%で最も多いが、②「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」も43.0%でほぼ同じ比率となっている。次いで、③「今ある道路の維持管理（舗装や橋の修繕など）」（37.4%）と④「交通安全や渋滞解消のための道路整備」（35.5%）が約35%、⑤「輸送ルートの確保や橋の補強など、地震に備えた道路の整備」が30.9%などで続いている。

［県内道路の今後の整備について］

県内道路の今後の整備（基本的な維持管理は除く）については、50.6%が「県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う」と答えており、「県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」の29.0%や「十分整備されていると思うので、必要ないと思う」の3.5%を大きく上回っている。

［道路の整備より優先すべきもの］

道路の整備より優先すべきものとしては、①「雇用対策や産業振興」（31.6%）や②「医療や福祉」（30.3%）を挙げる人が多く、ともに 30%超を占めている。次いで、③「少子化対策」（7.2%）、④「農業、林業や水産業の振興」（5.2%）、⑤「地震などの災害に備えること」（5.1%）、⑥「教育の充実」（4.7%）、⑦「森林保全や省エネルギーなどの環境対策」（4.5%）などが続いているが、いずれも１桁台と割合は低くなっている。

［8］今後の産業政策について

［産業政策面において、今後、重点的に取り組むべきもの］（複数回答）

産業政策面において、今後、重点的に取り組むべきものとしては、①「安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み」が54.6%で最も多い。次いで、②「農林業の担い手不足や高齢者の生活支援といった中山間地域の課題に対する支援や地域の元気づくりに向けた取り組み」（36.2%）、③「循環型社会の先進地を目指した取り組みや、高齢化社会に対応するための福祉・健康サービス分野での新たな産業創出への支援」（35.1%）、④「雇用の面ですぐに効果が期待できる企業誘致を進めるための工業団地の造成などの取り組み」（31.0%）が30%台で続いている。

Ⅴ　調査結果

〔解説・グラフ〕

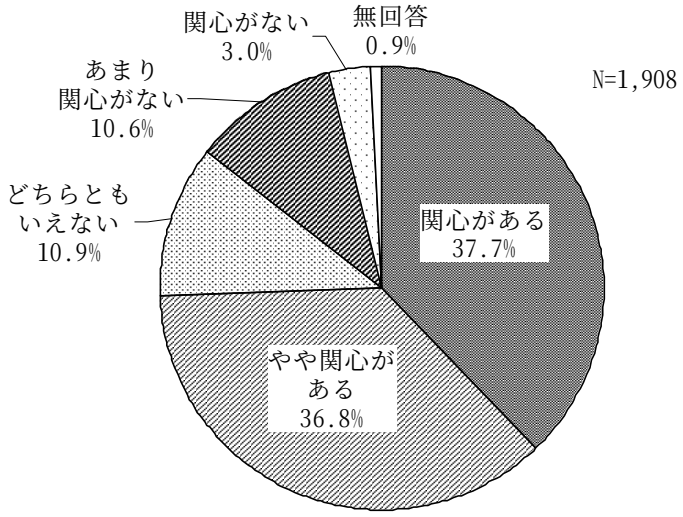
［1］県行政への関心について

問1　あなたは、県の行政にどの程度関心がありますか。　　（1つだけ○印）

県行政への関心については、「関心がある」が 37.7%、「やや関心がある」が 36.8%であり、両者合わせて 74.5%が【関心がある】（＝「関心がある」＋「やや関心がある」）と回答している。

一方、「関心がない」が 3.0%、「あまり関心がない」が 10.6%であり、【関心がない】（＝「関心がない」＋「あまり関心がない」）人は 13.6%である。

《　総　合　》



【性別】

男女とも 70%以上が【関心がある】と回答しているが、その割合は男性が 78.6%、女性が 71.6%で、男性の方が割合が高い。

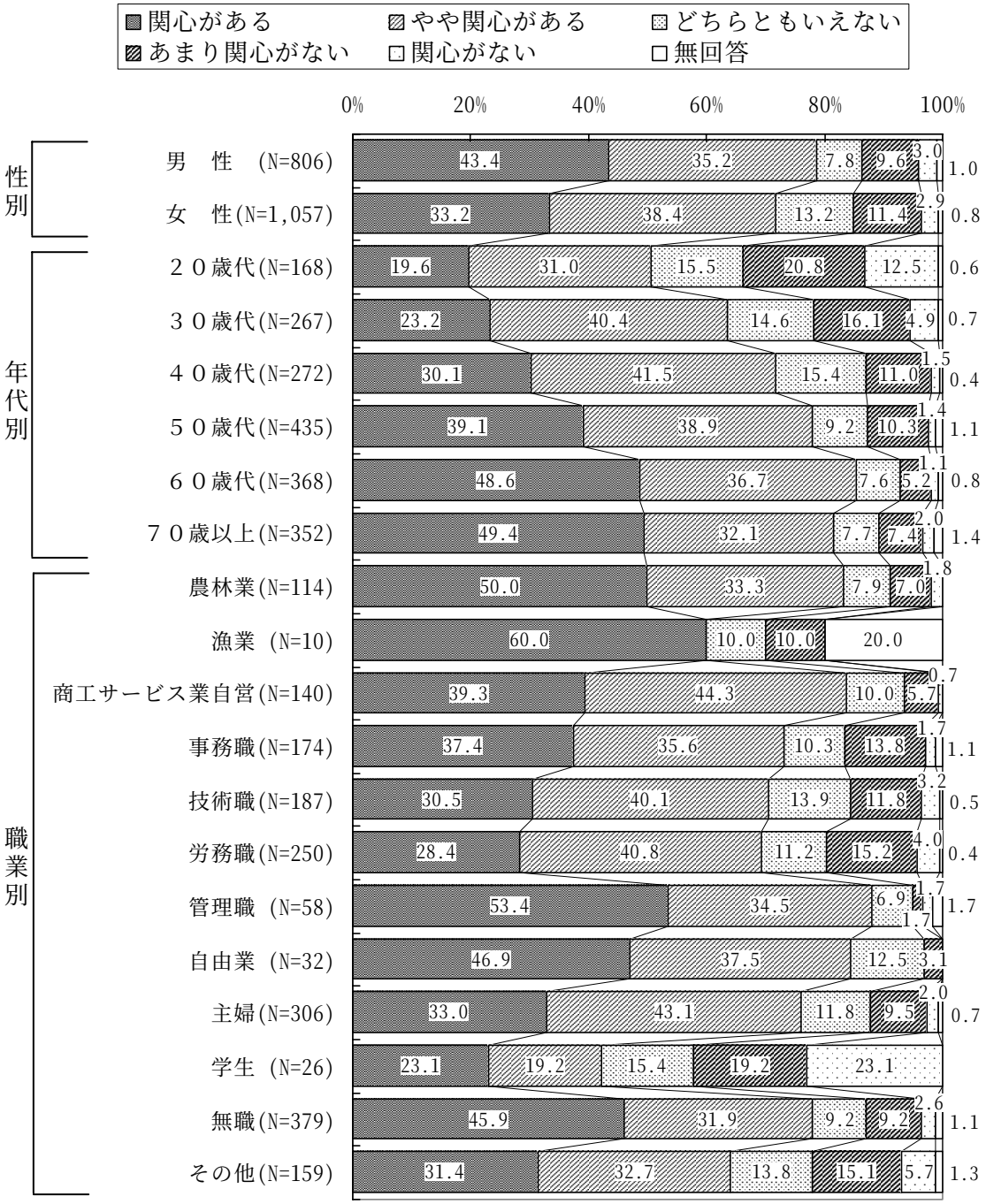
【年代別】

年齢が高くなるほど【関心がある】人の割合が高くなる傾向にあり、最も高い 60 歳代で約 85%を占めている。また、年齢が高くなるほど、「やや関心がある」よりも「関心がある」の割合が高くなっており、関心の程度も高くなる傾向がみられる。一方、20 歳代では【関心がない】人が 33.3%を占めている。

【職業別】

学生以外はいずれの職業区分も【関心がある】人が過半数を占めており、特に管理職、自由業、商工サービス業自営、農林業で【関心がある】人が多く、その割合はいずれも 80%を超えている。

《　性別・年代別・職業別　》

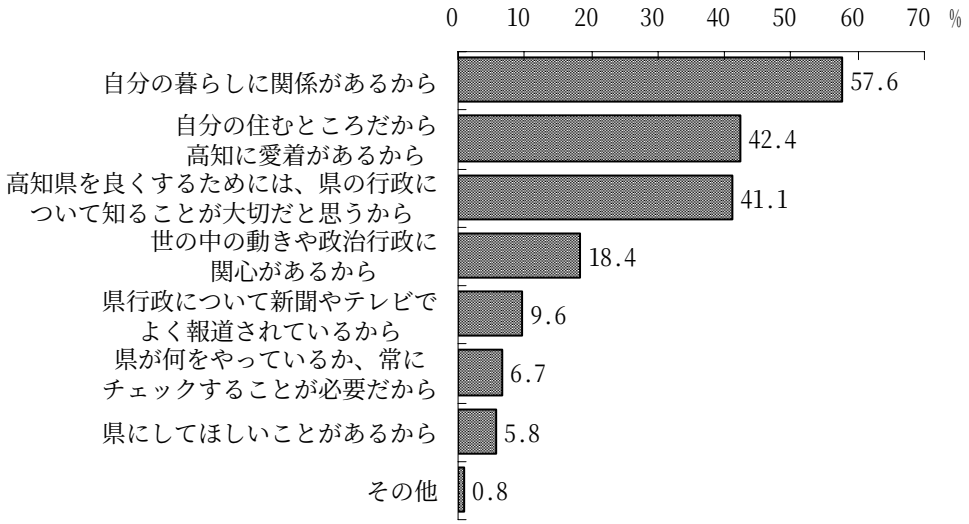

関心がある
やや関心がある
どちらともいえない
あまり関心がない
関心がない
無回答
0%
20%
40%
60%
80%
100%
性別
男　性　(N=806) 43.4 35.2 7.8 9.6 3.0 1.0
女　性(N=1,057) 33.2 38.4 13.2 11.4 2.9 0.8
年代別
２０歳代(N=168) 19.6 31.0 15.5 20.8 12.5 0.6
３０歳代(N=267) 23.2 40.4 14.6 16.1 4.9 0.7
４０歳代(N=272) 30.1 41.5 15.4 11.0 1.5 0.4
５０歳代(N=435) 39.1 38.9 9.2 10.3 1.4 1.1
６０歳代(N=368) 48.6 36.7 7.6 5.2 1.1 0.8
７０歳以上(N=352) 49.4 32.1 7.7 7.4 2.0 1.4
職業別
農林業(N=114) 50.0 33.3 7.9 7.0 1.8
漁業　(N=10) 60.0 10.0 10.0 20.0
商工サービス業自営(N=140) 39.3 44.3 10.0 5.7 0.7
事務職(N=174) 37.4 35.6 10.3 13.8 1.7 1.1
技術職(N=187) 30.5 40.1 13.9 11.8 3.2 0.5
労務職(N=250) 28.4 40.8 11.2 15.2 4.0 0.4
管理職　(N=58) 53.4 34.5 6.9 1.7 1.7
自由業　(N=32) 46.9 37.5 12.5 3.1
主婦(N=306) 33.0 43.1 11.8 9.5 2.0 0.7
学生　(N=26) 23.1 19.2 15.4 19.2 23.1
無職(N=379) 45.9 31.9 9.2 9.2 2.6 1.1
その他(N=159) 31.4 32.7 13.8 15.1 5.7 1.3

副問1.その理由は何ですか。　（2つまで○印）

（問1で「1　関心がある」「2　やや関心がある」と答えた方のみお答えください。）

「関心がある」あるいは「やや関心がある」と回答した人の理由は、「自分の暮らしに関係があるから」が 57.6%で最も高く、次いで、「自分の住むところだから・高知に愛着があるから」や「高知県を良くするためには、県の行政について知ることが大切だと思うから」も 40%超で続いている。

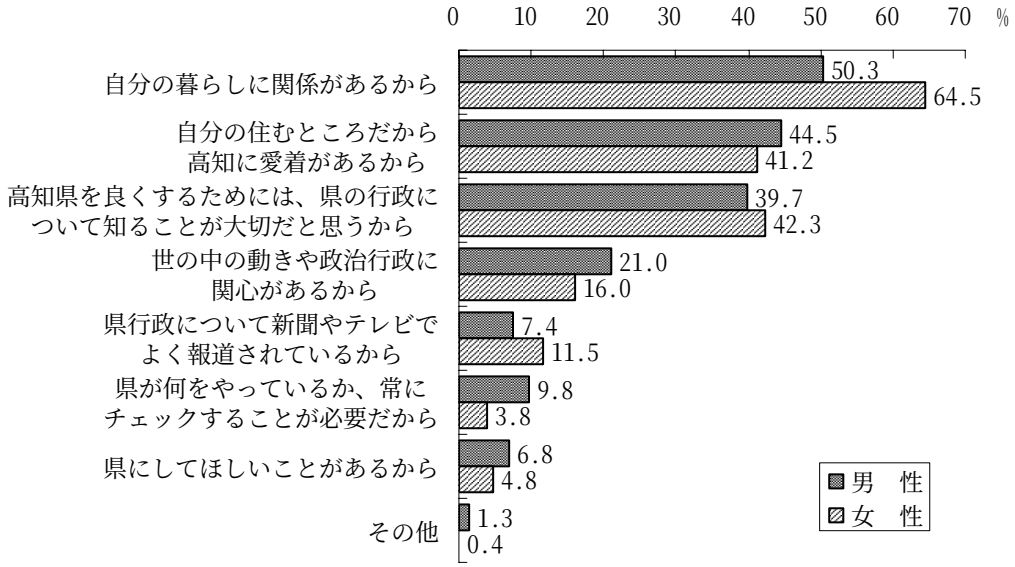
《 総 合 》



【性別】

男女とも上位の３項目は同じであり、「自分の暮らしに関係があるから」が最も多いが、その比率は女性が 64.5%で男性を 15 ポイント近く上回っている。

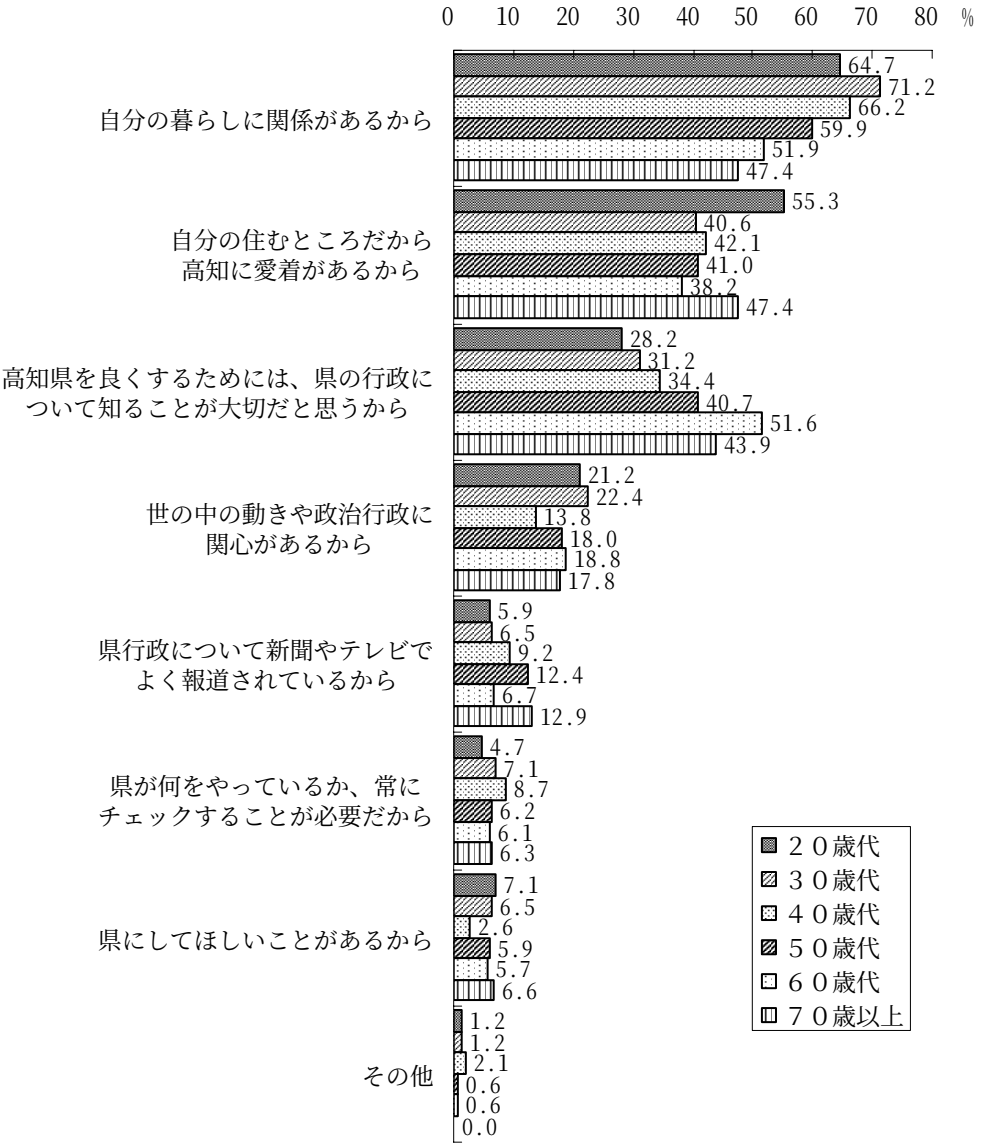
《 性 別 》



【年代別】

いずれの年齢階層も上位の項目はほぼ同じであるが、年齢が高くなるほど「自分の暮らしに関係があるから」の比率が低くなり、逆に「高知県を良くするためには、県の行政について知ることが大切だと思うから」の比率は高くなる傾向が見られる。「自分の住むところだから・高知に愛着があるから」は 20 歳代で過半数を占めているが、その他の年齢階層は 40%前後で大きな差はみられない。

《 年 代 別 》



【職業別】

漁業、商工サービス業自営、学生以外のすべての職業区分で「自分の暮らしに関係があるから」の比率が最も高く、特に主婦や技術職、事務職、労務職では 65%を超えている。商工サービス業自営などでは、「自分の住むところだから・高知に愛着があるから」の比率が最も高くなっている。

《 職 業 別 》

単位：%

理由／職業	自分の暮らしに関係があるから	自分の住むところだから・高知に愛着があるから	高知県を良くするためには、県の行政について知ることが大切だと思うから	世の中の動きや政治・行政に関心があるから	県行政について新聞やテレビでよく報道されているから	県が何をやっているか、常にチェックすることが必要だから	県にしてほしいことがあるから	その他
農林業	47.4	42.1	43.2	14.7	15.8	3.2	10.5	1.1
漁業	33.3	33.3	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
商工サービス業自営	46.2	52.1	44.4	19.7	7.7	5.1	3.4	0.9
事務職	66.1	48.8	37.0	16.5	5.5	3.1	5.5	1.6
技術職	67.4	44.7	32.6	18.9	6.8	3.8	6.8	2.3
労務職	65.3	42.8	32.4	12.7	11.6	10.4	5.8	0.6
管理職	52.9	43.1	51.0	21.6	5.9	7.8	3.9	2.0
自由業	40.7	40.7	37.0	22.2	11.1	11.1	3.7	0.0
主婦	69.1	34.8	44.6	14.6	10.7	6.0	3.9	0.4
学生	45.5	63.6	36.4	27.3	18.2	0.0	9.1	0.0
無職	48.8	46.1	42.7	22.7	7.8	8.5	7.5	0.3
その他	60.8	27.5	46.1	22.5	16.7	7.8	2.9	0.0

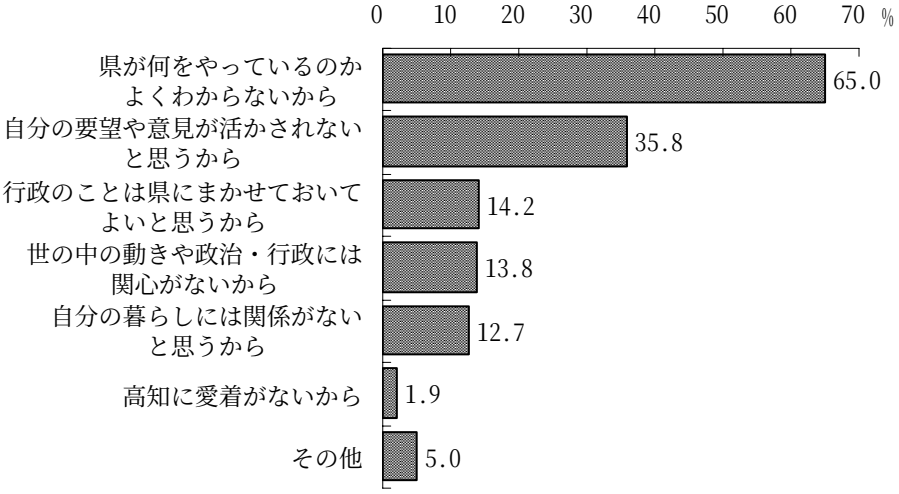
※表中の網掛けは、各区分において比率が高い項目など特徴的な箇所を示しています（以下同じ）。

副問2. その理由は何ですか。　（2つまで○印）

（問1で「4　あまり関心がない」「5　関心がない」と答えた方のみお答えください。）

「関心がない」あるいは「あまり関心がない」と回答した人の理由は、「県が何をやっているのかよくわからないから」が 65.0%で最も高く、次いで「自分の要望や意見が活かされないと思うから」が 35.8%を占めている。

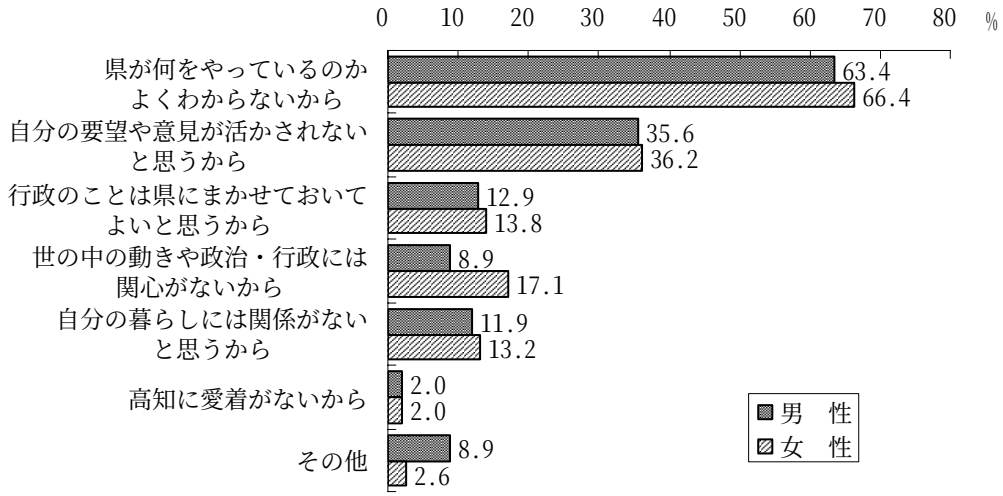
《 総　合 》



【性別】

男女とも「県が何をやっているのかよくわからないから」が約 65%と最も多い理由で、次いで「自分の要望や意見が活かされないと思うから」が約 35%となっており、その比率も男女で大きな差はみられない。男女で差が見られるのは「世の中の動きや政治・行政には関心がないから」であり、女性の 17.1%に対し、男性は 8.9%となっている。

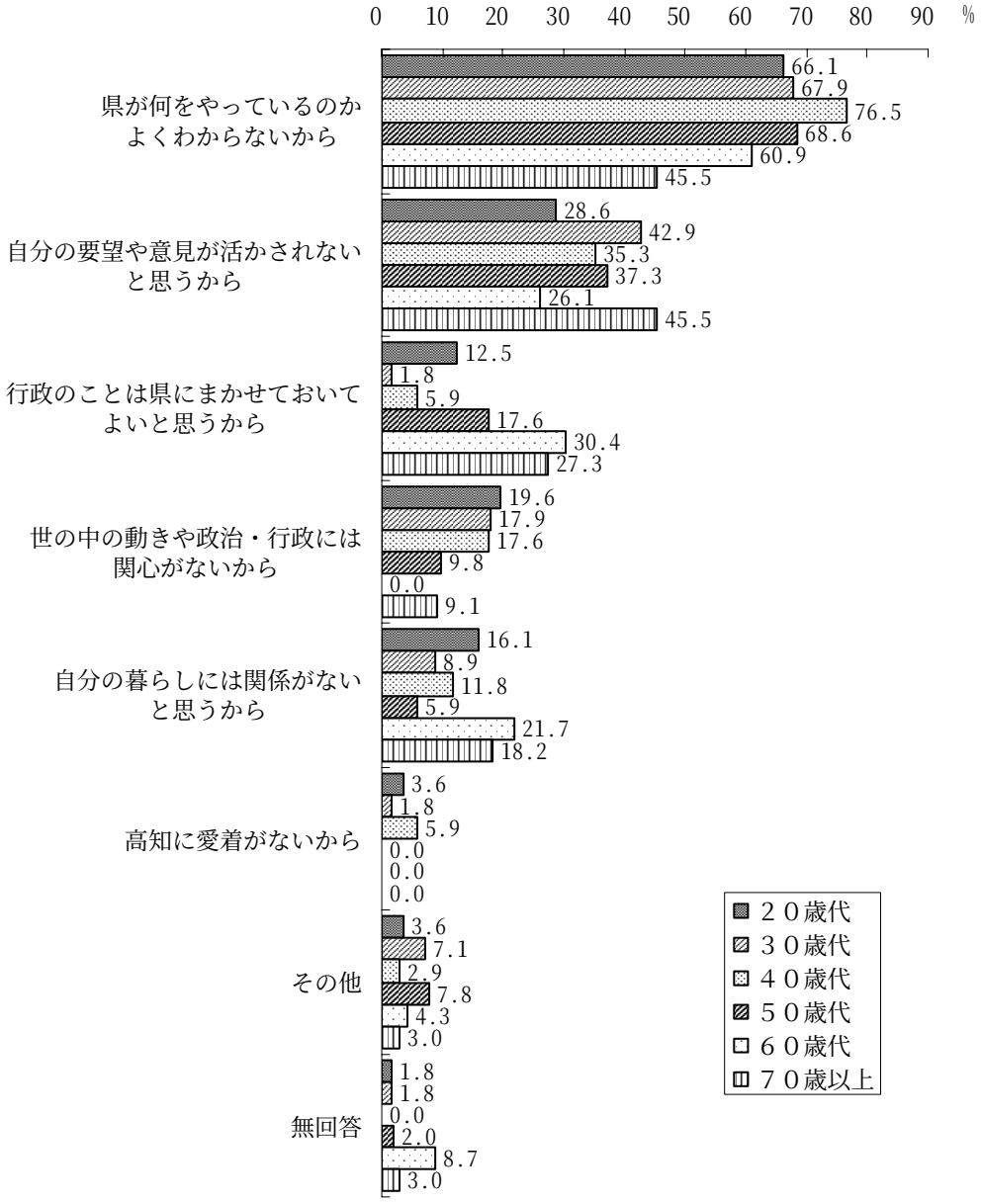
《 性　別 》



【年代別】

70 歳以上では「県が何をやっているのかよくわからないから」と「自分の要望や意見が活かされないと思うから」が同じ比率で最も多くなっているが、その他のすべての年齢階層では「県が何をやっているのかよくわからないから」が最も多く、いずれも 60%を超えている。「世の中の動きや政治・行政には関心がないから」は 40 歳代以下の各年齢階層、「行政のことは県にまかせておいてよいと思うから」は 60 歳代以上の各年齢階層の比率が相対的に高いという傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別】

ほぼすべての職業区分で「県が何をやっているのかよくわからないから」が最も多い理由となっている。

《 職 業 別 》

単位：%

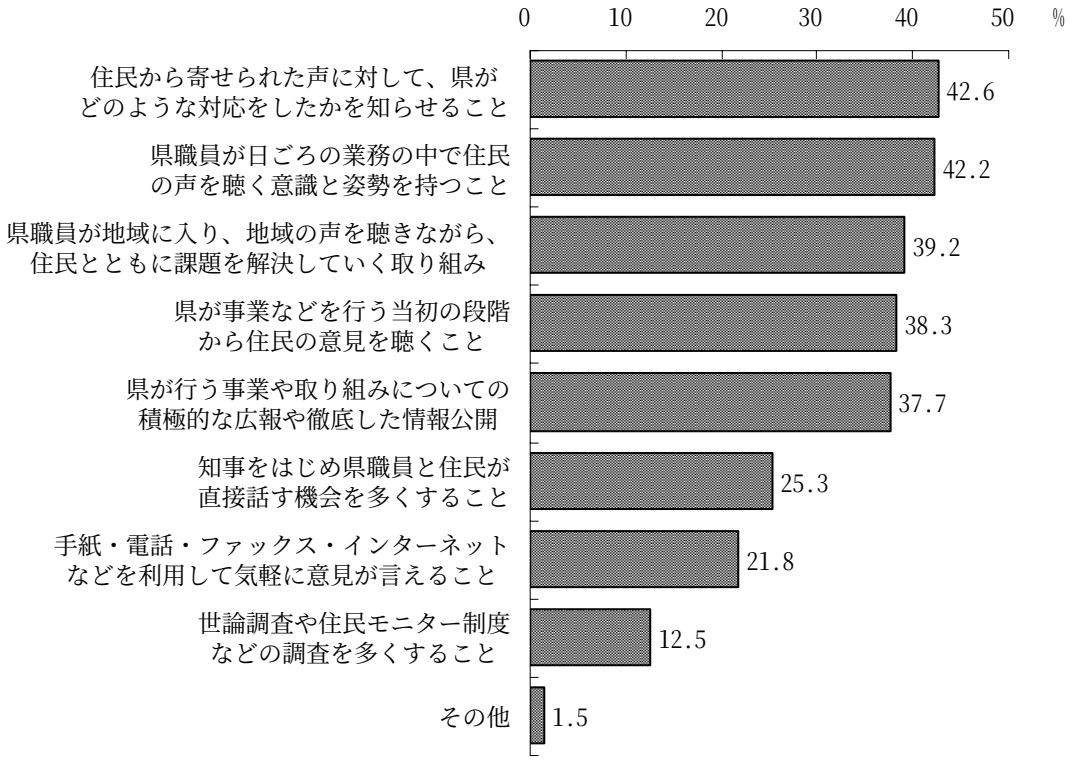
理由／職業	県が何をやっているのかよくわからないから	自分の要望や意見が活かされないと思うから	行政のことは県にまかせておいてよいと思うから	世の中の動きや政治・行政には関心がないから	自分の暮らしには関係がないと思うから	高知に愛着がないから	その他
農林業	60.0	20.0	10.0	30.0	20.0	0.0	30.0
漁業	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商工サービス業自営	77.8	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
事務職	55.6	40.7	11.1	14.8	7.4	3.7	7.4
技術職	82.1	32.1	10.7	17.9	3.6	0.0	0.0
労務職	60.4	47.9	12.5	14.6	8.3	2.1	6.3
管理職	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
自由業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
主婦	71.4	34.3	8.6	14.3	14.3	0.0	2.9
学生	72.7	18.2	0.0	45.5	18.2	0.0	18.2
無職	57.8	37.8	33.3	0.0	17.8	0.0	2.2
その他	66.7	27.3	6.1	15.2	18.2	3.0	3.0

問2　県民の声を県政に活かすためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

（3つまで○印）

県民の声を県政に活かすために必要なこととしては､「住民から寄せられた声に対して、県がどのような対応をしたかを知らせること」が 42.6%で最も多いが、「県職員が日ごろの業務の中で住民の声を聴く意識と姿勢を持つこと」、「県職員が地域に入り、地域の声を聴きながら、住民とともに課題を解決していく取り組み」、「県が事業などを行う当初の段階から住民の意見を聴くこと」、「県が行う事業や取り組みについての積極的な広報や徹底した情報公開」も 40%前後を占めている。

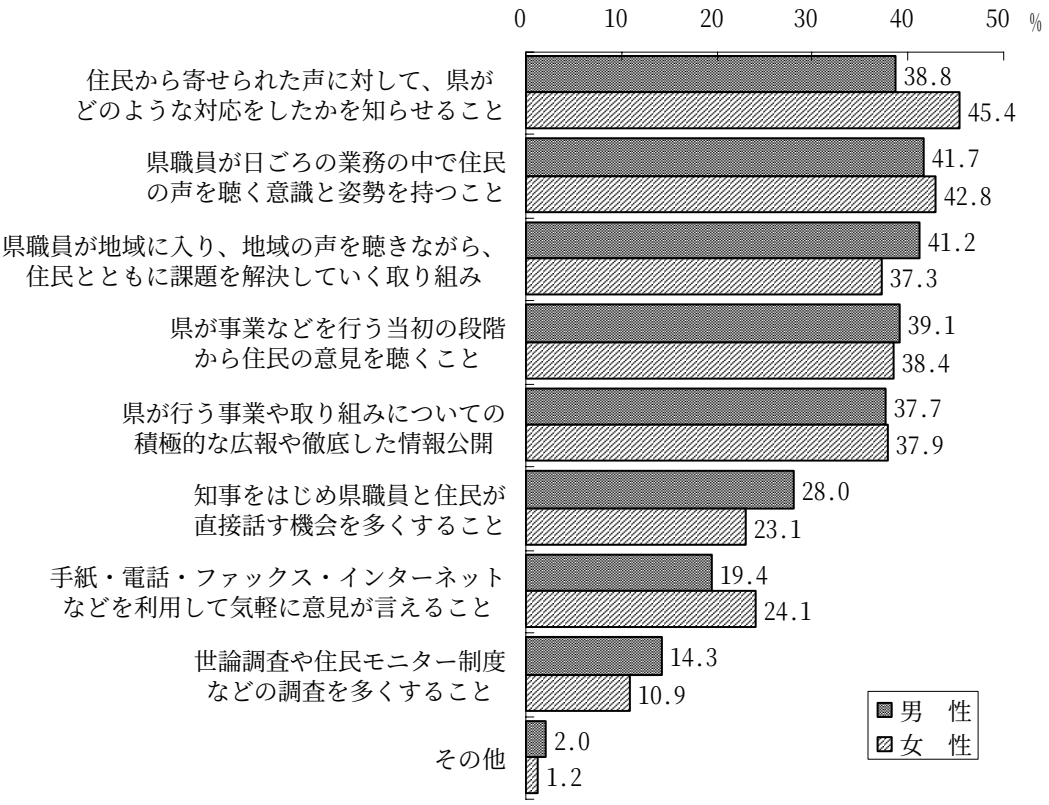
《　総　合　》



【性別】

男女とも上位５項目は40%前後であるが、その順位にはやや違いがみられる。男性では「県職員が日ごろの業務の中で住民の声を聴く意識と姿勢を持つこと」が１位、「県職員が地域に入り、地域の声を聴きながら、住民とともに課題を解決していく取り組み」が２位となっている。一方、女性では、「住民から寄せられた声に対して、県がどのような対応をしたかを知らせること」が１位、「県職員が日ごろの業務の中で住民の声を聴く意識と姿勢を持つこと」が２位となっている。

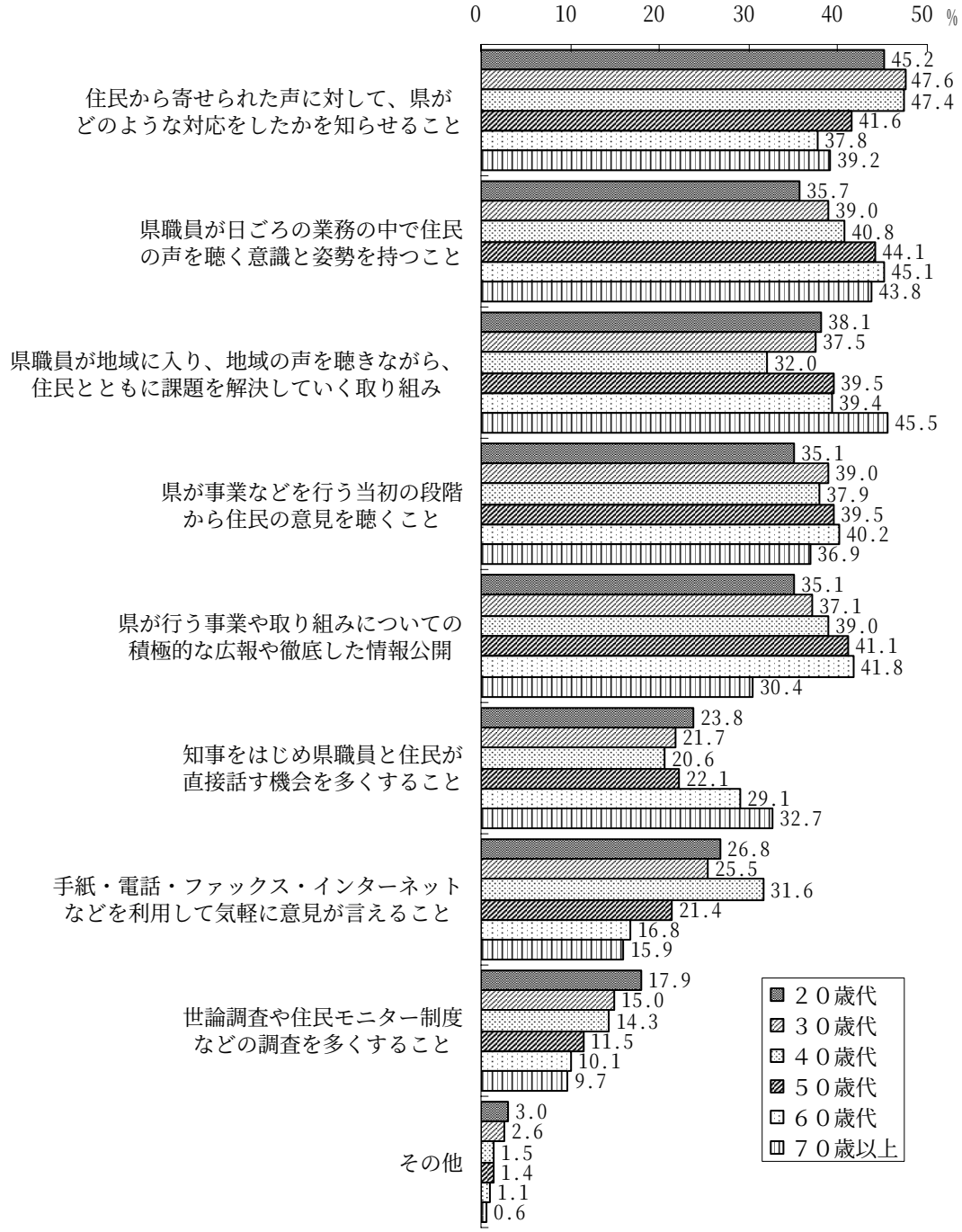
《 性 別 》



【年代別】

いずれの年齢階層でも、《総合》で挙げられている上位５項目の比率が高くなっているが、「県職員が日ごろの業務の中で住民の声を聴く意識と姿勢を持つこと」や「県が行う事業や取り組みについての積極的な広報や徹底した情報公開」は年齢が高くなるほどその比率が高くなる傾向があり、「住民から寄せられた声に対して、県がどのような対応をしたかを知らせること」は若い年齢階層の比率が高い傾向がみられる。「県が事業などを行う当初の段階から住民の意見を聴くこと」は年齢による差はあまりみられない。

《 年 代 別 》



【職業別】

ほとんどの職業区分で、《総合》で挙げられている上位５項目の比率が高くなっている。特に、《総合》の上位２項目については、比率が高い職業区分が多い。

《 職 業 別 》

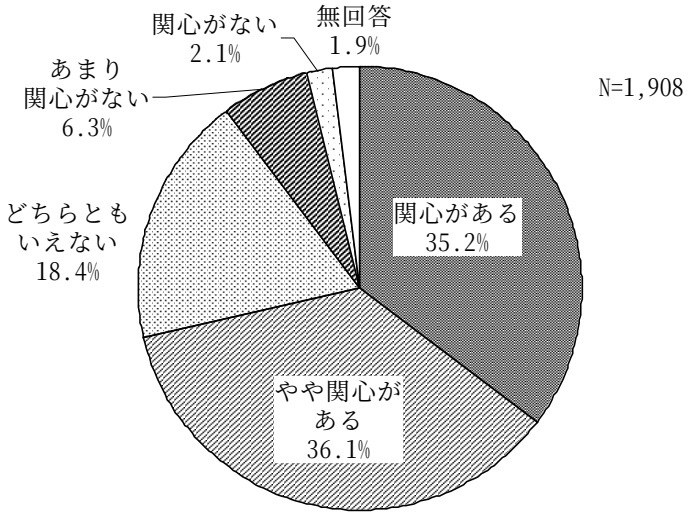
単位：％

項目／職業	住民から寄せられた声に対して、県がどのような対応をしたかを知らせること	県職員が日ごろの業務の中で住民の声を聴く意識と姿勢を持つこと	県職員が地域に入り、地域の声を聴きながら、住民とともに課題を解決していく取り組み	県が事業などを行う当初の段階から住民の意見を聴くこと	県が行う事業や取り組みについての積極的な広報や徹底した情報公開	知事をはじめ県職員と住民が直接話す機会を多くすること	手紙・電話・ファックス・インターネットなどを利用して気軽に意見が言えること	世論調査や住民モニター制度などの調査を多くすること	その他
農林業	30.7	39.5	45.6	28.1	35.1	39.5	17.5	13.2	0.9
漁業	40.0	40.0	40.0	20.0	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0
商工サービス業自営	45.0	47.1	42.9	35.0	37.1	25.7	21.4	10.7	2.1
事務職	47.1	38.5	36.2	48.9	39.1	19.5	23.0	18.4	2.3
技術職	46.0	41.7	38.0	39.0	35.3	19.8	32.1	15.0	3.7
労務職	46.4	37.2	41.2	41.2	36.4	26.0	23.6	10.8	0.4
管理職	29.3	50.0	46.6	25.9	32.8	32.8	20.7	17.2	3.4
自由業	40.6	40.6	21.9	34.4	40.6	15.6	34.4	28.1	6.3
主婦	44.1	44.1	36.3	40.2	43.8	21.6	22.9	9.8	0.7
学生	42.3	34.6	23.1	42.3	42.3	26.9	34.6	19.2	3.8
無職	41.7	44.3	40.1	38.3	37.2	29.0	16.1	12.4	1.1
その他	39.0	44.0	38.4	40.3	38.4	22.0	19.5	6.9	0.6

問３　あなたは、県の情報公開や県からの情報の提供について関心がありますか。
（１つだけ○印）

県の情報公開や情報提供については、「関心がある」が 35.2%、「やや関心がある」が 36.1%で、70%以上が【関心がある】（＝「関心がある」＋「やや関心がある」）と回答しており、【関心がない】（＝「関心がない」＋「あまり関心がない」）は合計 8.4%である。県からの情報公開や情報提供について多くの人が関心を持っている。

《 総 合 》



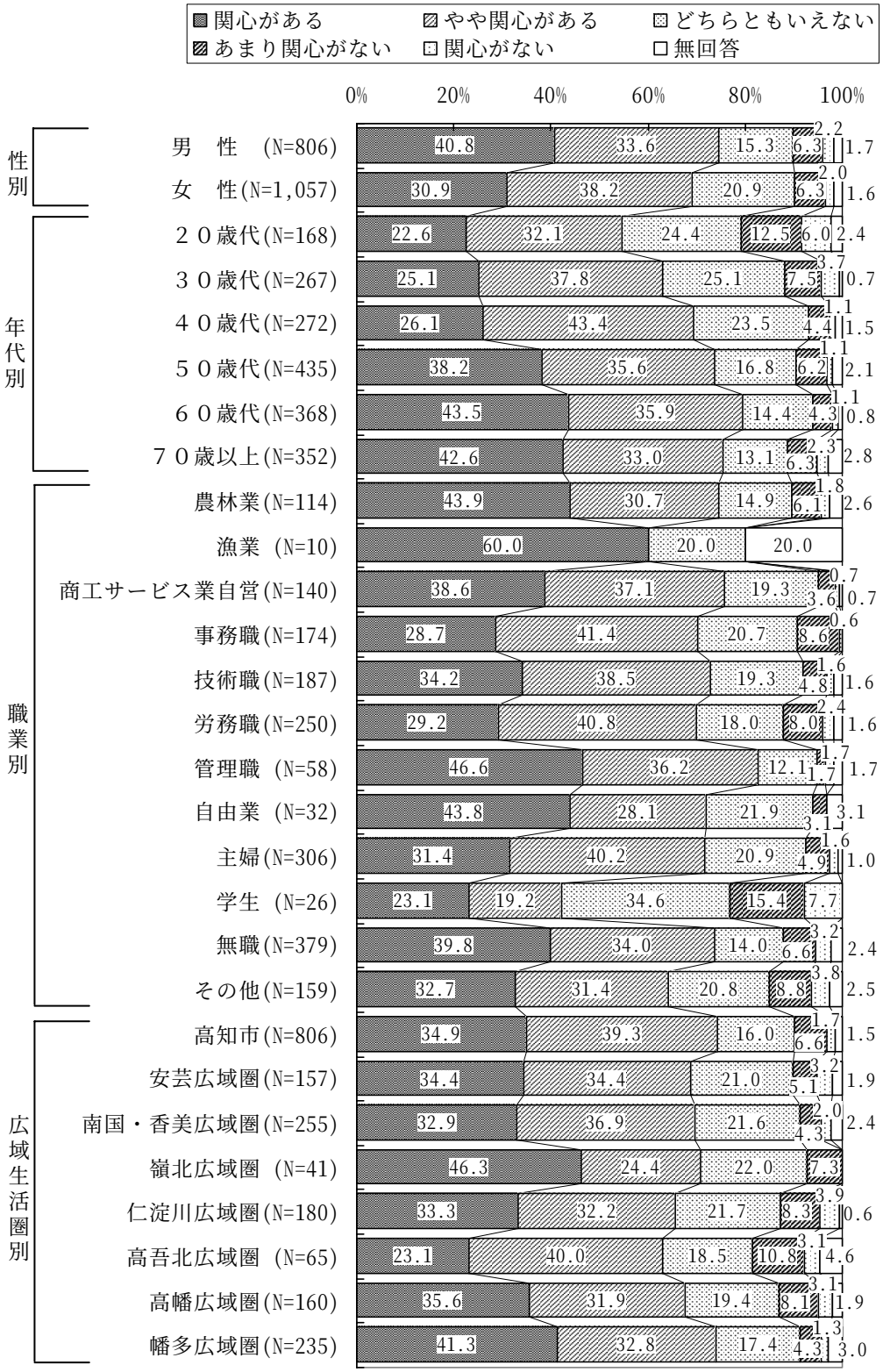
【性別】
男女とも【関心がある】人が多いが、その割合は男性が 74.4%であるのに対し、女性は 69.1%であり、やや男性の関心が高い。

【年代別】
年齢の高い階層の関心度が高く、50 歳代以上の各年齢階層では【関心がある】の割合が 70%を超えており、特に「関心がある」の割合が 40%前後を占めている。一方、40 歳代以下の各年齢階層については、【関心がある】が過半数を占めているものの、「関心がある」の割合は 25%前後と、50 歳代以上に比べ大幅に低くなっている。

【職業別】
管理職の関心度が最も高く、【関心がある】の割合が 80%を超えている。その他では、学生の【関心がある】の割合が 42.3%と低い以外は 60～80%であり、職業区分による関心度の大きな違いはみられない。

【地域別】
高知市と幡多広域圏で【関心がある】の割合が約 75%と高いが、その他のいずれの地域でも【関心がある】の割合は 60～70%程度となっており、大きな違いはみられない。

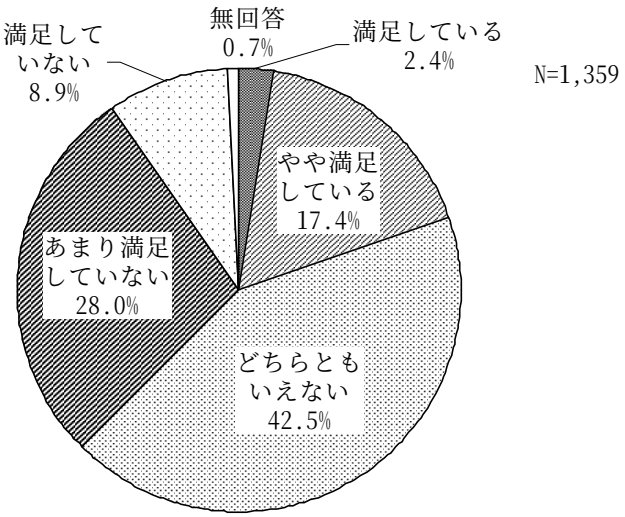
《　性別・年代別・職業別・地域別　》



副問 （問3で「1　関心がある」「2　やや関心がある」と答えた方のみお答えください。）
あなたは、県の情報公開や情報の提供に対する取り組みに満足していますか。
（1つだけ○印）

県の情報公開や情報提供の取り組みについては、「どちらともいえない」が 42.5%で最も多く、「満足している」が 2.4%、「やや満足している」が 17.4%と、【満足している】（＝「満足している」＋「やや満足している」）は、【関心がある】と回答した人の約 20%であり、【満足していない】（＝「満足していない」＋「あまり満足していない」）の 36.9%を下回っている。現在の県の情報公開や情報提供の取り組みについては、どちらかと言うと満足していない人が多くなっている。

《　総　合　》



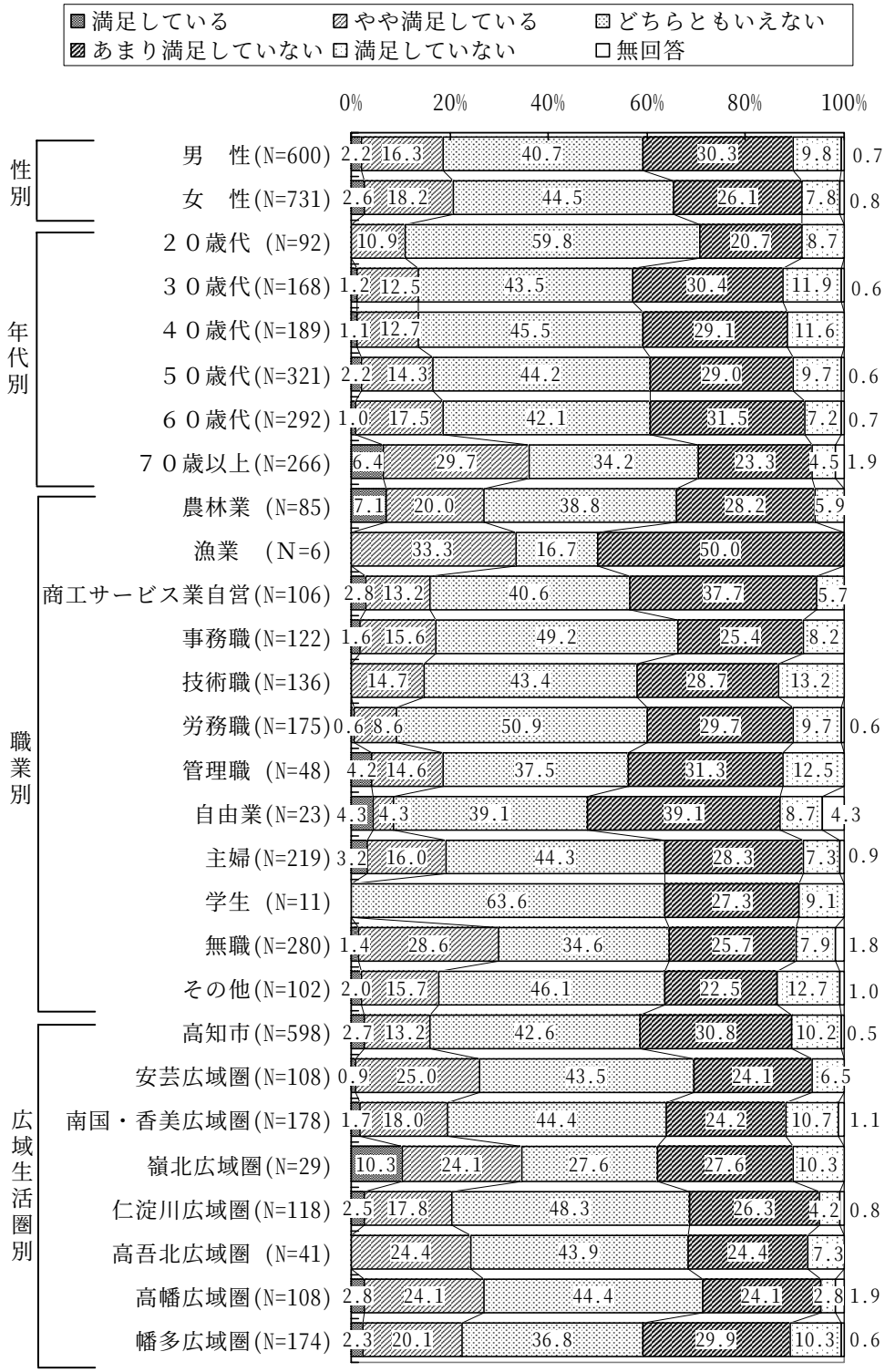
【性別】
男女とも「どちらともいえない」が 40%超で最も多く、また、【満足していない】の割合は男性が女性を６ポイントほど上回っている。

【年代別】
年齢が高くなるほど満足度が高くなる傾向にあり、【満足している】は、20 歳代では 10.9%であるが、70 歳以上では 36.1%となっている。一方、【満足していない】の割合が最も高いのは 30 歳代で 42.3%となっており、40 歳代も 40.7%と 40%を超えている。

【職業別】
いずれの職業区分でも【満足していない】が【満足している】を上回っている。特に、比較的回答数の多い職業区分のうち、商工サービス業自営、技術職では【満足していない】が 40%を超えている。

【地域別】
ほぼすべての地域で【満足していない】が【満足している】を上回っており、特に高知市と幡多広域圏では【満足していない】の割合が 40%を超えている。一方、嶺北広域圏では【満足している】が 34.4%と他の地域に比べて高い。

《　性別・年代別・職業別・地域別　》

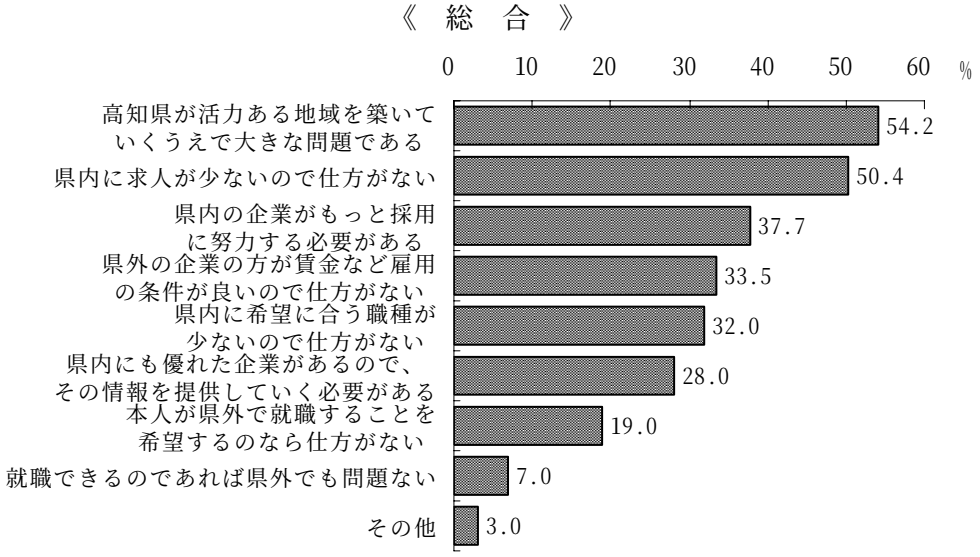


［2］働く場の確保・雇用対策について

問4　新規に高校を卒業した方が県外で就職する割合は、平成14年度に24．8%だったものが、平成18年度には48．2%に上昇しており、高校を卒業して就職する方の約2人に1人が県外へ流出しています。
このような状況をどう思いますか。　（3つまで○印）

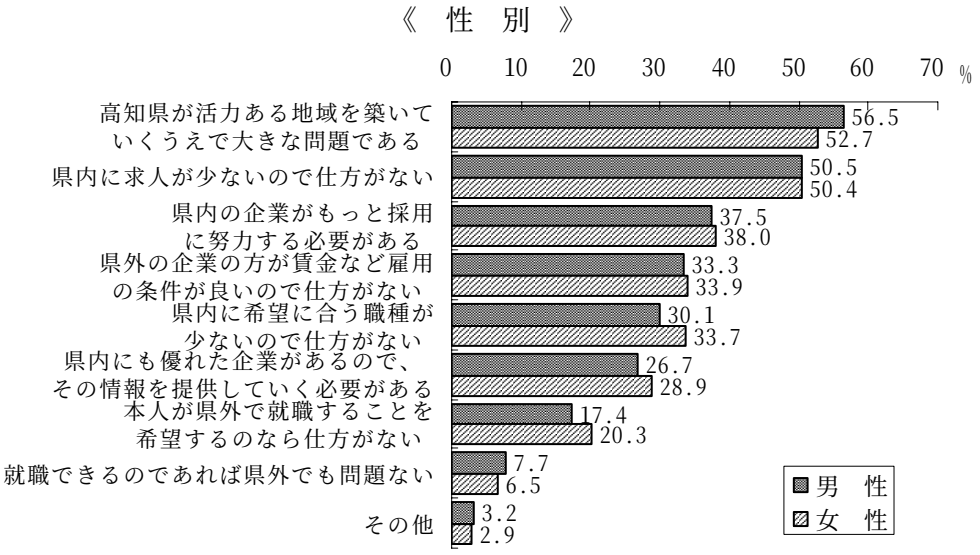
新規高卒就職者の約２人に１人が県外へ流出している状況については、「高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である」と回答した人が 54.2%で最も多いが、「県内に求人が少ないので仕方がない」も 50.4%と過半数に達している。

次いで、「県内の企業がもっと採用に努力する必要がある」、「県外の企業の方が賃金など雇用の条件が良いので仕方がない」、「県内に希望に合う職種が少ないので仕方がない」がいずれも 30%台となっている。



【性別】

男女とも《総合》の順位と同じであり、比率についても男女間で大きな差はみられない。

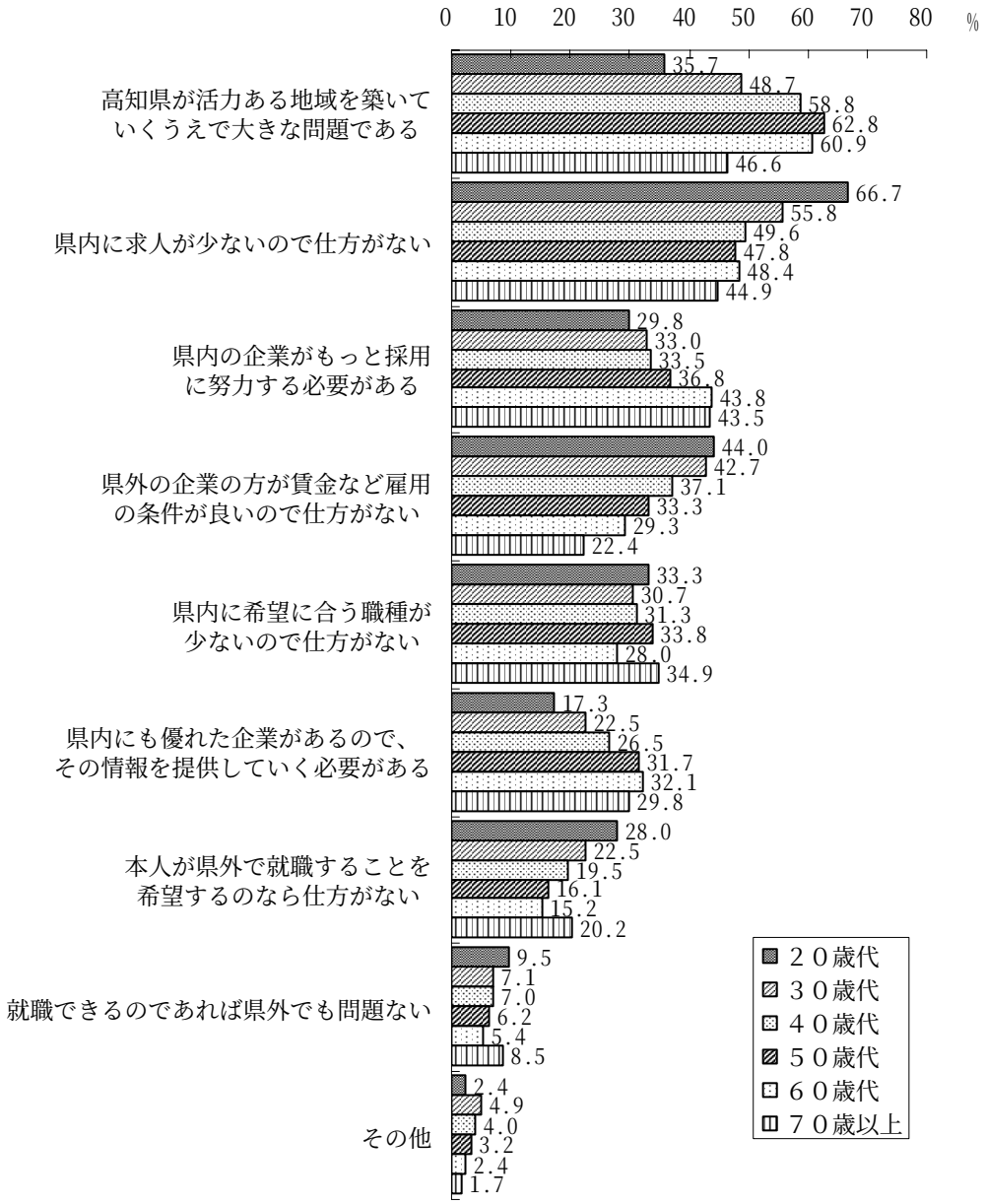


【年代別】

ほとんどの年齢階層で「高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である」あるいは「県内に求人が少ないので仕方がない」と回答した人が多く、「高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である」の比率は年齢が高くなるほど高い傾向がみられ、逆に「県内に求人が少ないので仕方がない」は若い年齢階層ほど高い傾向がみられる。特に、20 歳代では「県内に求人が少ないので仕方がない」が 66.7%を占めるのに対し、「高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である」は 35.7%となっている。

その他の選択肢では、年齢が高くなるほど「県内の企業がもっと採用に努力する必要がある」の比率が高くなり、若い年齢階層ほど「県外の企業の方が賃金など雇用の条件が良いので仕方がない」の比率が高いという傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別】

多くの職業区分で「高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である」の比率が最も高いが、学生や無職、その他では「県内に求人が少ないので仕方がない」が最も高くなっている。

特に、新規高卒就職者に年齢的に最も近い学生では、「県内に求人が少ないので仕方がない」、「県内に希望に合う職種が少ないので仕方がない」、「県外の企業の方が賃金など雇用の条件が良いので仕方がない」の比率が他の職業区分に比べ高くなっており、少ない求人数や雇用条件の格差を実際に感じているとも考えられる。

《 職 業 別 》

単位：%

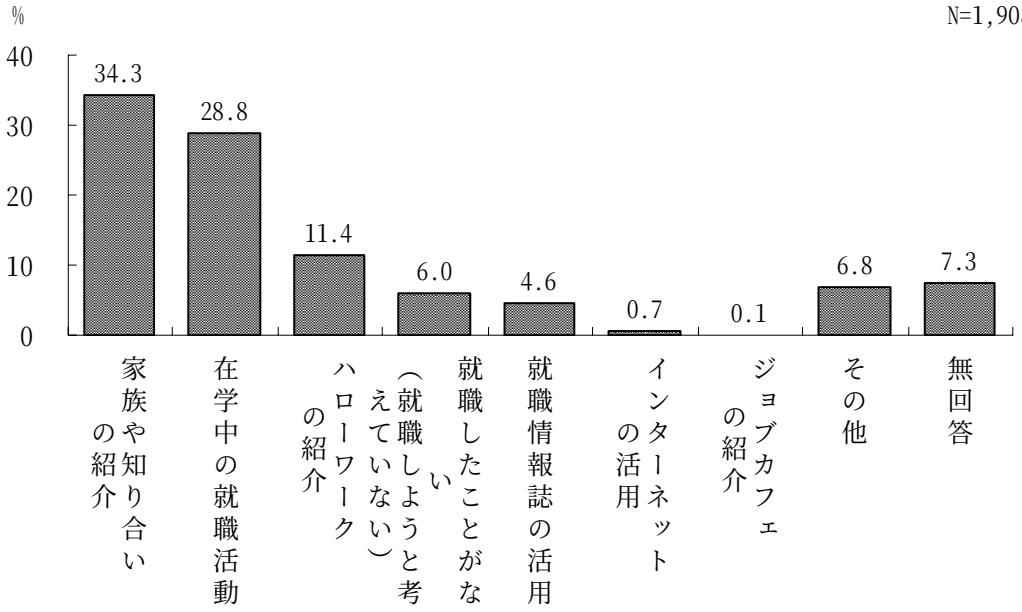
項目／職業	高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である	県内に求人が少ないので仕方がない	県内の企業がもっと採用に努力する必要がある	県外の企業の方が賃金など雇用の条件が良いので仕方がない	県内に希望に合う職種が少ないので仕方がない	県内にも優れた企業があるので、その情報を提供していく必要がある	本人が県外で就職することを希望するのなら仕方がない	就職できるのであれば県外でも問題ない	その他
農林業	54.4	50.0	43.0	28.1	32.5	29.8	19.3	6.1	0.9
漁業	40.0	40.0	30.0	40.0	30.0	0.0	40.0	0.0	10.0
商工サービス業自営	60.7	49.3	30.7	30.0	26.4	30.0	15.0	7.1	2.1
事務職	62.6	48.9	28.7	34.5	32.8	28.7	21.3	6.9	3.4
技術職	55.1	54.0	36.9	41.2	32.6	23.5	19.3	7.0	3.7
労務職	52.8	50.8	40.0	42.4	31.2	26.0	17.2	7.6	4.4
管理職	70.7	48.3	41.4	34.5	24.1	34.5	13.8	0.0	3.4
自由業	68.8	43.8	37.5	37.5	18.8	43.8	15.6	3.1	3.1
主婦	54.6	46.7	41.5	26.8	33.3	34.0	19.6	8.5	3.6
学生	30.8	65.4	30.8	50.0	65.4	23.1	23.1	3.8	0.0
無職	51.7	52.2	42.5	28.5	31.1	26.6	17.9	6.9	2.6
その他	46.5	53.5	30.2	40.3	37.1	22.0	24.5	8.2	1.9

問5　あなたは主にどのようにして就職しましたか（就職しようと考えていますか）。

（1つだけ○印）

就職した、あるいは就職しようと考えている人の主な就職の方法としては、「家族や知り合いの紹介」が34.3%と約３人に１人を占めている。次いで、「在学中の就職活動」も28.8%と約３割を占めている。以下、「ハローワークの紹介」が11.4%、「就職情報誌の活用」が4.6%などとなっている。

《　総　合　》



【性別】

男女とも「家族や知り合いの紹介」や「在学中の就職活動」の割合が高く、またその他の方法を含めても、性別であまり大きな違いはなく、男性は「家族や知り合いの紹介」、女性は「ハローワークの紹介」の割合がやや高い程度である。

【年代別】

若い年齢階層ほど「在学中の就職活動」や「ハローワークの紹介」、「就職情報誌の活用」などの割合が高く、年齢が高くなるほど「家族や知り合いの紹介」の割合が高くなる傾向がみられる。

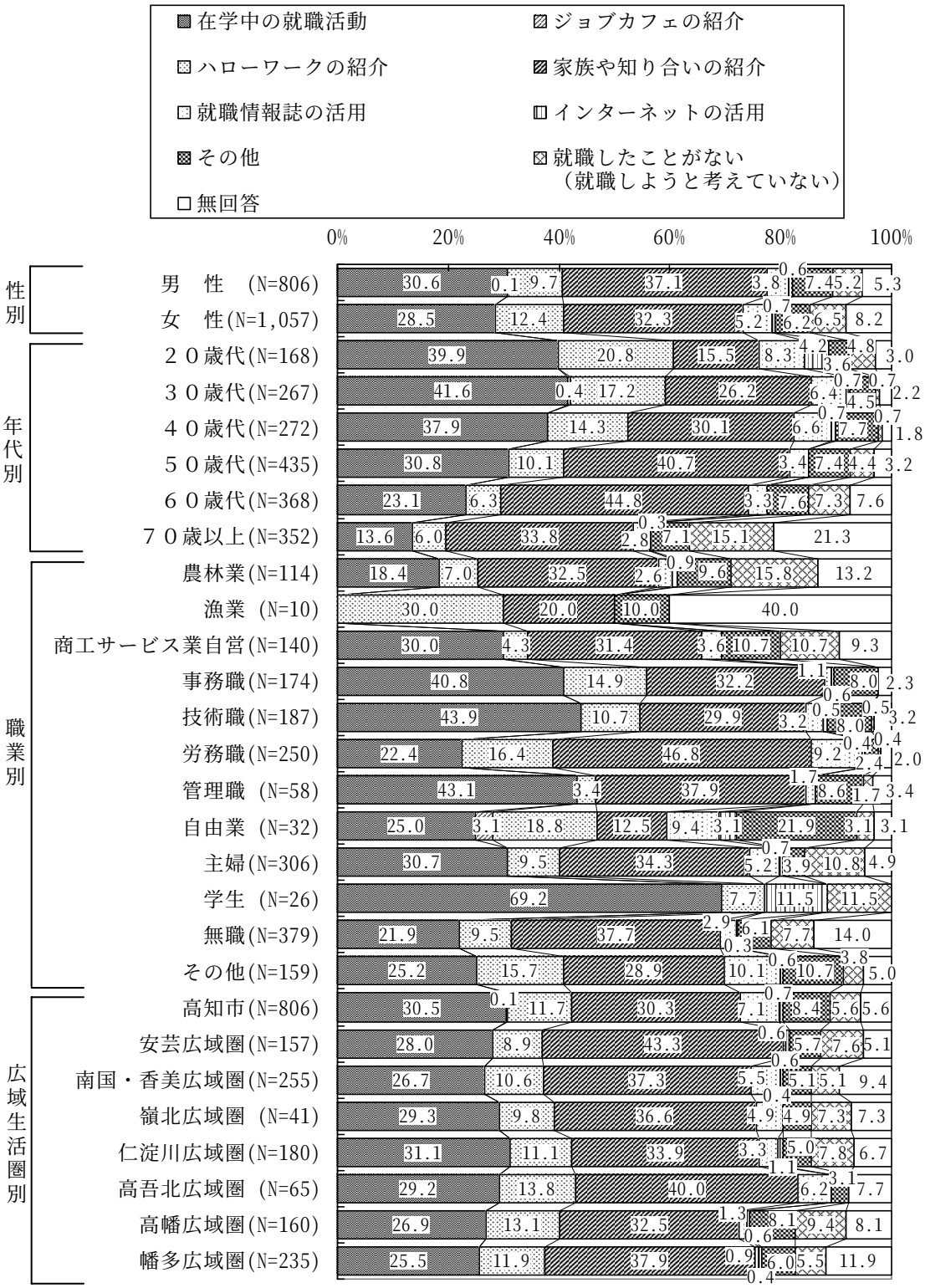
【職業別】

事務職、技術職、管理職は「在学中の就職活動」の割合が高く、労務職は「家族や知り合いの紹介」の割合が高い。学生は「在学中の就職活動」が約70%と格段に高く、「インターネットの活用」も約10%を占めており、その他の職業区分に比べ特徴的となっている。

【地域別】

高知市は「在学中の就職活動」が最も多いが、それ以外の地域は「家族や知り合いの紹介」が最も多く、「在学中の就職活動」、「ハローワークの紹介」と続いており、地域による違いは少ない。

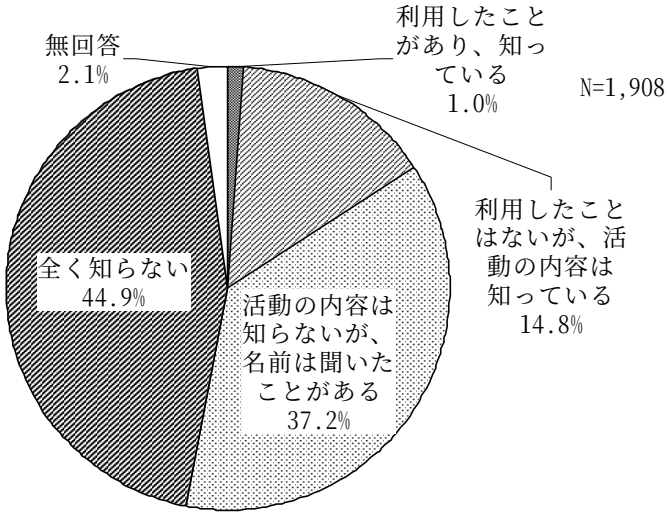
《　性別・年代別・職業別・地域別　》



問6 「ジョブカフェこうち」を知っていますか。　（1つだけ○印）

「ジョブカフェこうち」については、【名前を知っている】（＝「利用したことがあり、知っている」＋「利用したことはないが、活動の内容は知っている」＋「活動の内容は知らないが、名前は聞いたことがある」）が 53.0%、そのうち【活動の内容まで知っている】（＝「利用したことがあり、知っている」＋「利用したことはないが、活動の内容は知っている」）は 15.8%、「利用したことがあり、知っている」は 1.0%であり、「全く知らない」と回答した人が 44.9%を占め、知名度は低い。

《 総 合 》



【性別】

男女とも「全く知らない」が 45%前後で最も多いが、男性に比べ女性での知名度がやや高く、利用した人や活動の内容まで知っている人の割合も高い。

【年代別】

若い年齢階層ほど知名度が高く、20 歳代～30 歳代では【活動の内容まで知っている】の割合も 20%超を占めている。一方、60 歳代以上の各年齢階層では「全く知らない」が過半数を占めている。

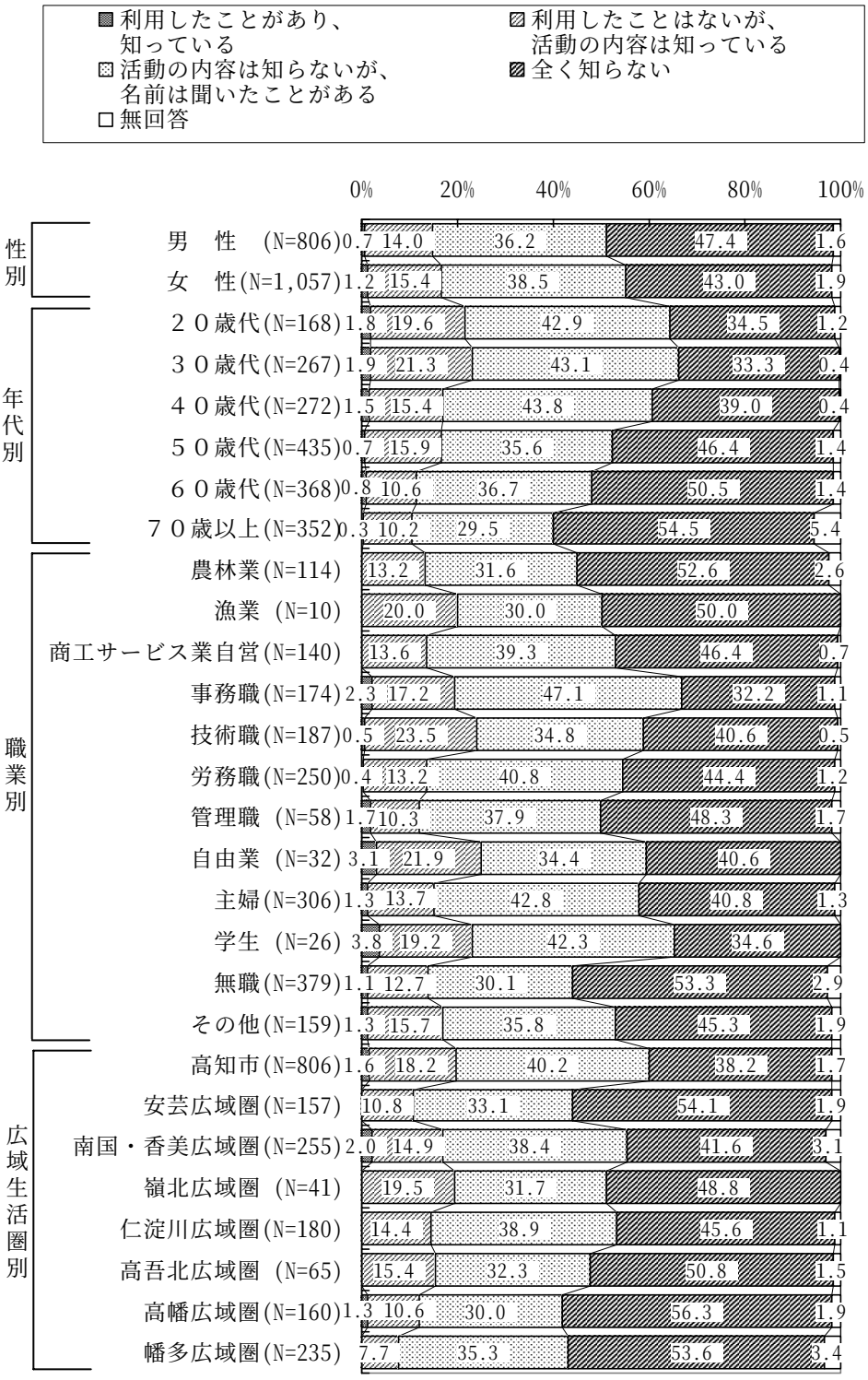
【職業別】

事務職、学生、主婦を除くすべての職業区分で「全く知らない」と回答した人が最も多い。事務職や学生では知名度が高く【名前を知っている】は約 65%を占めており、【活動の内容まで知っている】は技術職や自由業が 25%程度で多い。

【地域別】

高知市での知名度が高く、【名前を知っている】は 60.0%を占めるが、高知市以外はどの地域でも「全く知らない」が最も多い。特に、郡部では知名度は低くなり、高幡、安芸、幡多、高吾北広域圏では「全く知らない」が過半数を占めている。

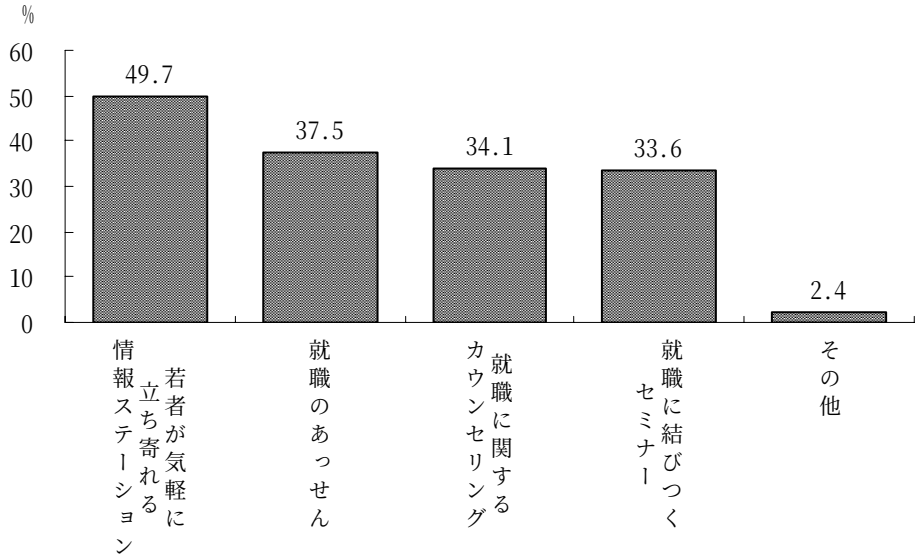
《　性別・年代別・職業別・地域別　》



問7 「ジョブカフェこうち」では、以下のようなことを行っていますが、今後どの機能をさらに充実すればよいと思いますか。（2つまで○印）

今後充実すべき「ジョブカフェこうち」の機能としては、「若者が気軽に立ち寄れる情報ステーション」が 49.7%で最も多く、「就職のあっせん」、「就職に関するカウンセリング」、「就職に結びつくセミナー」も 35%前後を占めている。

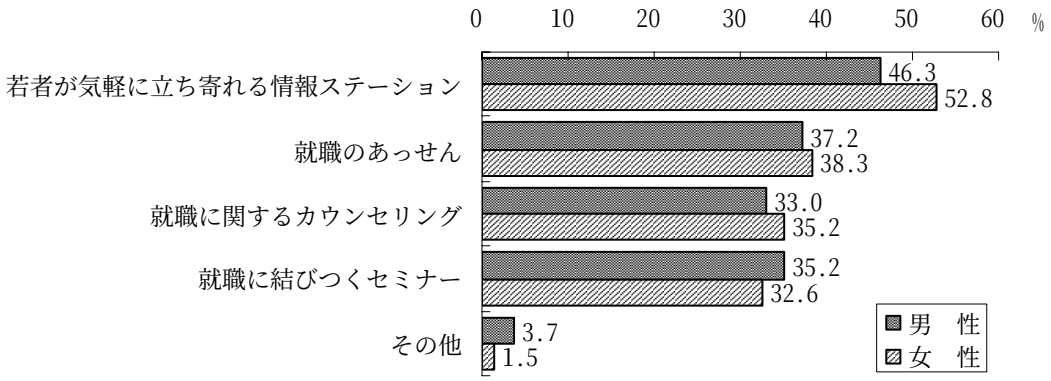
《 総 合 》



【性別】

男女とも「若者が気軽に立ち寄れる情報ステーション」が最も多いが、女性の 52.8%に対し、男性が 46.3%と約６ポイントの差がみられる。その他の選択肢は、男女でそれほど大きな差はなく、いずれも 35%前後である。

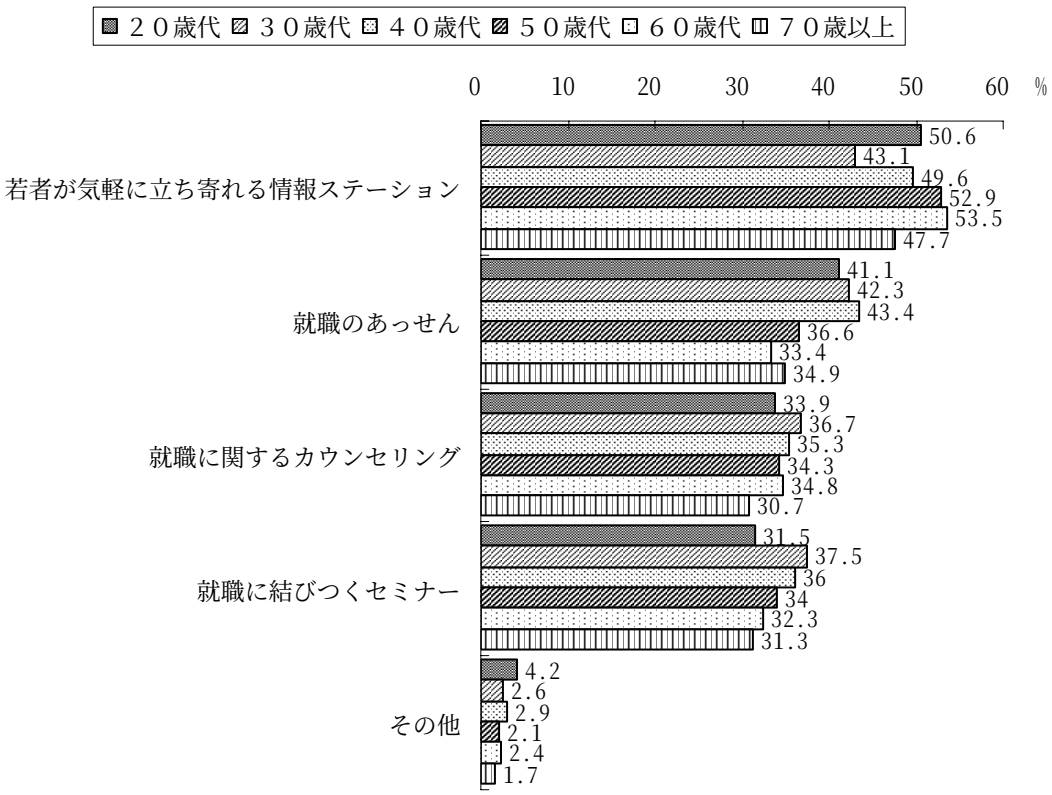
《 性 別 》



【年代別】

いずれの年齢階層も「若者が気軽に立ち寄れる情報ステーション」が最も多く、20 歳代、50 歳代、60 歳代では過半数を占めている。

《 年 代 別 》



【職業別】

管理職で「就職に関するカウンセリング」が、漁業で「就職に結びつくセミナー」が最も多いのを除き、すべての職業区分で「若者が気軽に立ち寄れる情報ステーション」が最も多く、農林業、労務職、主婦、学生では過半数を占めている。

《 職 業 別 》

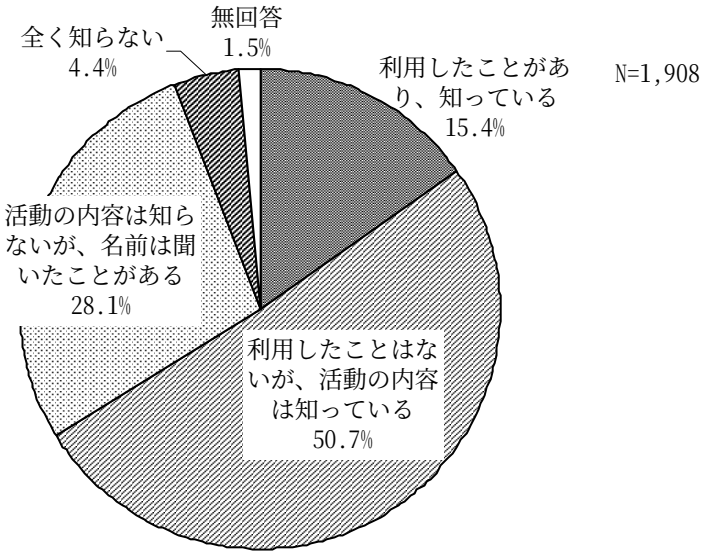
単位：%

職業＼項目	若者が気軽に立ち寄れる情報ステーション	就職のあっせん	就職に関するカウンセリング	就職に結びつくセミナー	その他
農林業	54.4	28.9	29.8	38.6	3.5
漁業	30.0	40.0	30.0	50.0	0.0
商工サービス業自営	49.3	32.9	35.7	31.4	2.1
事務職	44.3	42.5	42.0	39.1	1.7
技術職	46.0	39.0	37.4	41.2	3.2
労務職	54.8	38.4	30.0	32.4	1.2
管理職	37.9	41.4	46.6	37.9	6.9
自由業	40.6	37.5	34.4	18.8	12.5
主婦	55.2	36.3	34.6	32.0	1.6
学生	53.8	50.0	34.6	26.9	3.8
無職	49.6	37.2	31.4	31.1	2.4
その他	46.5	43.4	34.6	34.6	1.9

問8 「シルバー人材センター」の活動を知っていますか。　（1つだけ○印）

「シルバー人材センター」については、【名前を知っている】（＝「利用したことがあり、知っている」＋「利用したことはないが、活動の内容は知っている」＋「活動の内容は知らないが、名前は聞いたことがある」）が 94.2%、そのうち【活動の内容まで知っている】（＝「利用したことがあり、知っている」＋「利用したことはないが、活動の内容は知っている」）は 66.1%、「利用したことがあり、知っている」は 15.4%であり、「全く知らない」と回答した人は 4.4%で、知名度は非常に高い。

《 総 合 》



【性別】

性別にみると、男女で大きな違いはなく、【名前を知っている】人は 95%前後を占めている。

【年代別】

20 歳代で「全く知らない」が 19.6%を占めている以外は、いずれの年齢階層でも知名度は高く、【名前を知っている】の割合は 95%前後である。特に、50 歳代から 70 歳以上の各年齢階層では「利用したことがあり、知っている」の割合が 20%前後と高くなっている。

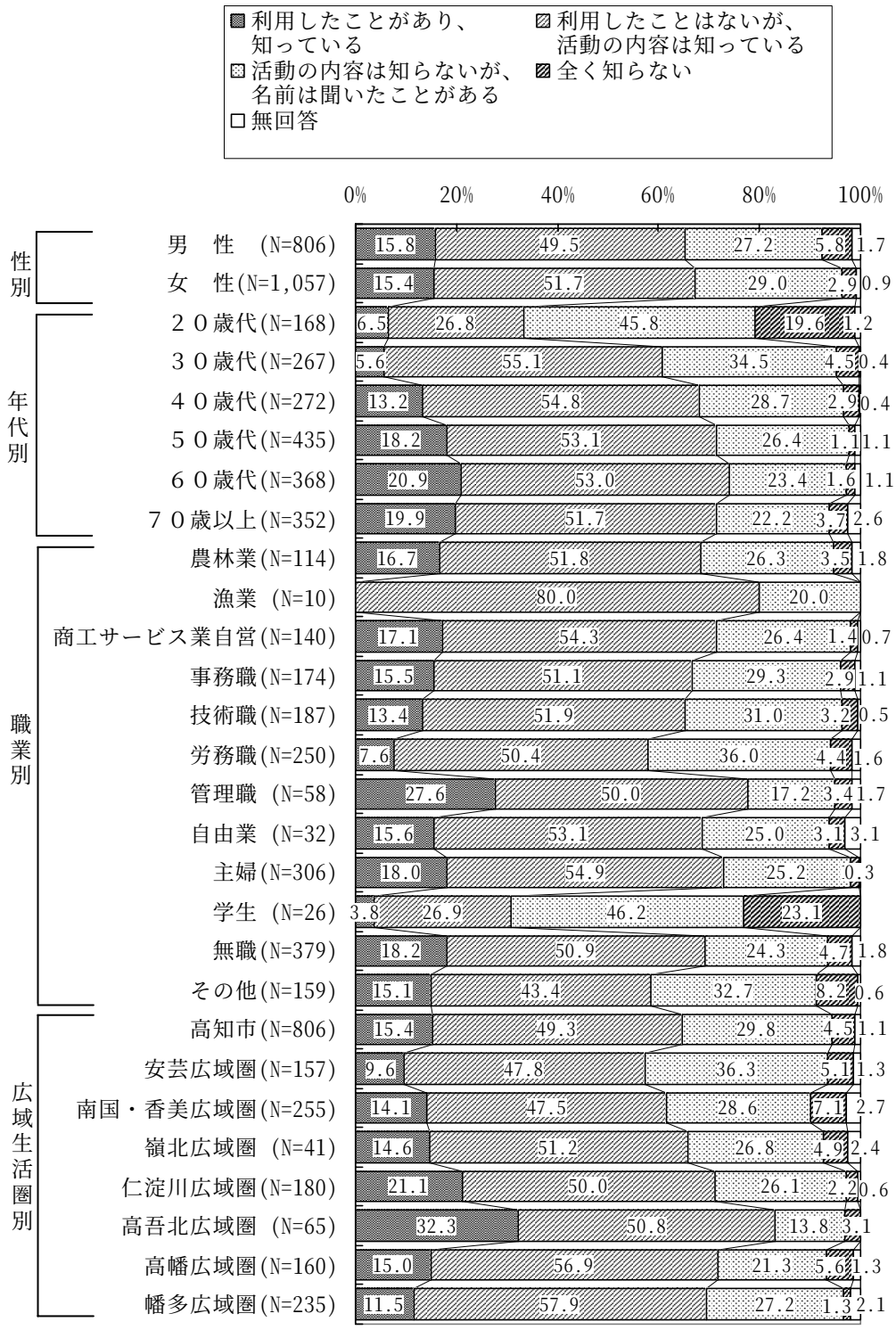
【職業別】

学生で「全く知らない」が 23.1%を占めている以外は、いずれの職業区分でも知名度は高く、【名前を知っている】の割合は 90%を超えている。そして、管理職では「利用したことがあり、知っている」の割合が 27.6%と高くなっている。

【地域別】

いずれの地域でも知名度は高く、【名前を知っている】の割合は 90%を超えている。特に、高吾北広域圏では「利用したことがあり、知っている」の割合が 32.3%と高くなっている。

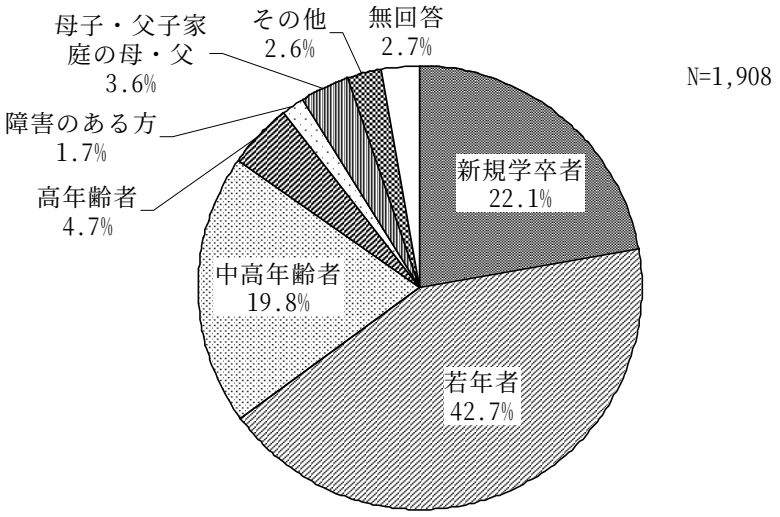
《　性別・年代別・職業別・地域別　》



問9　県の雇用対策として最も重点を置くべき対象者はどの層だと思いますか。
（1つだけ○印）

県の雇用対策として最も重点を置くべき対象者層としては、「若年者」が 42.7%で最も多い。次いで、「新規学卒者」が 22.1%、「中高年齢者」が 19.8%と２割ほどを占めている。以下、「高年齢者」が 4.7%、「母子・父子家庭の母・父」が 3.6%などとなっている。

《　総　合　》

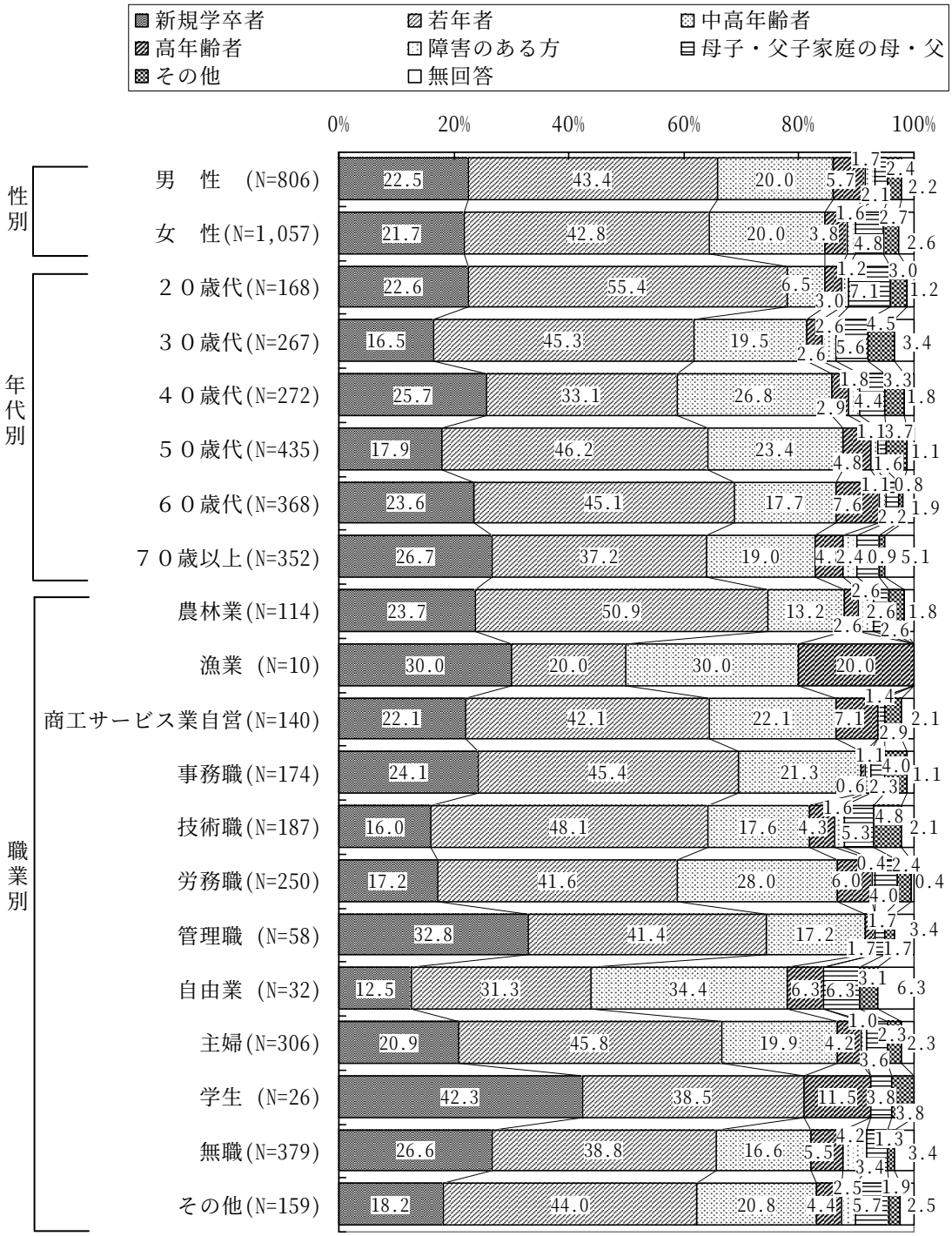


【性別】
男女とも「若年者」が 42～43%で最も多く、次いで「新規学卒者」、「中高年齢者」などとなっているが、男女で割合の差はほとんどみられない。

【年代別】
いずれの年齢階層も「若年者」が最も多く、20 歳代では 55.4%を占めている。また、他の年齢階層と比べて、40 歳代と 70 歳以上で「新規学卒者」が、40 歳代と 50 歳代で「中高年齢者」が 20%超と高い割合となっている。

【職業別】
学生では「新規学卒者」、自由業では「中高年齢者」が最も多いが、漁業以外のその他の職業区分では「若年者」が最も多く、農林業や技術職では 50%前後を占めている。その他では、管理職で「新規学卒者」、労務職で「中高年齢者」の割合が他の職業区分に比べて高い割合となっている。

《　性別・年代別・職業別・地域別　》

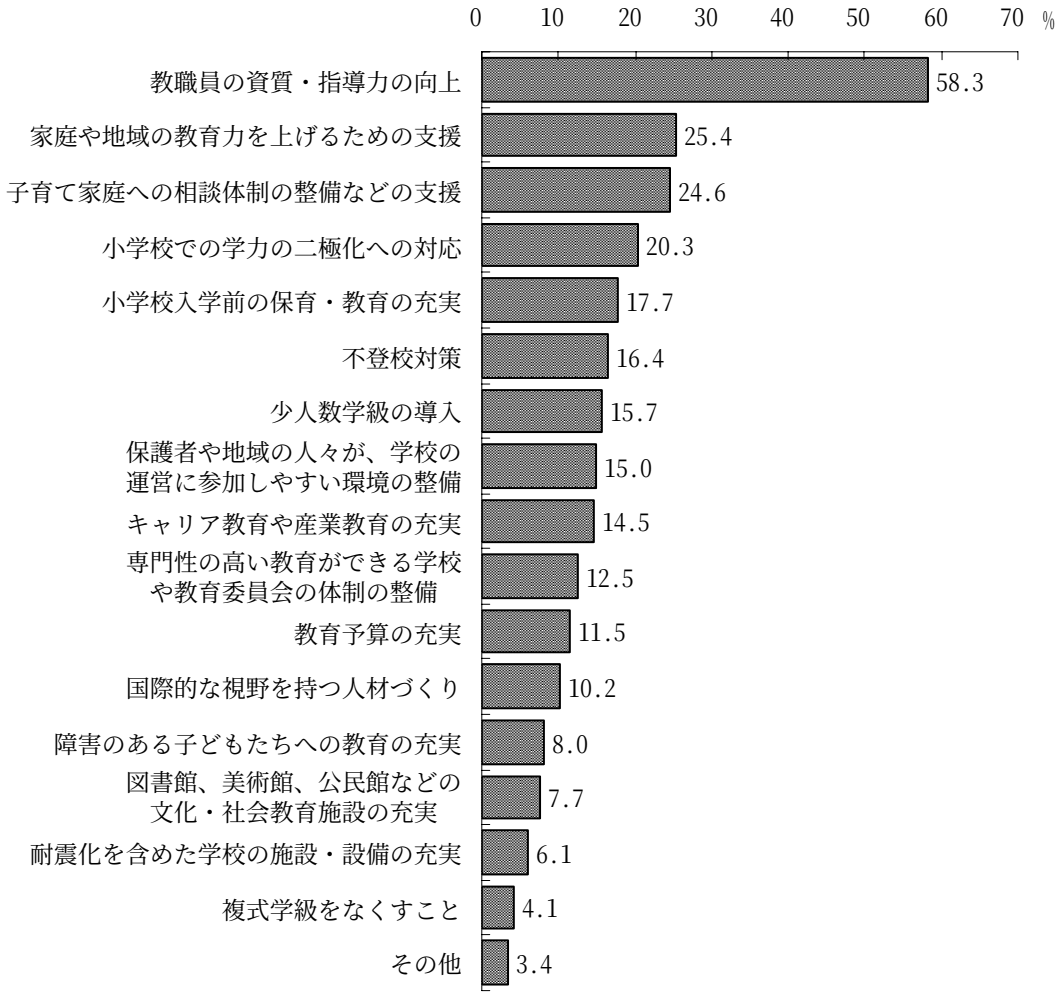


［3］これからの教育のあり方について

問 10 これからの教育を進めていくうえで、どのような取り組みや支援が必要だと思いますか。（3つまで○印）

これからの教育を進めていくうえで必要な取り組みや支援としては、「教職員の資質・指導力の向上」が 58.3%で圧倒的に多い。次いで、「家庭や地域の教育力を上げるための支援」が 25.4%、「子育て家庭への相談体制の整備などの支援」が 24.6%となっている。以下、「小学校での学力の二極化への対応」が 20.3%、「小学校入学前の保育・教育の充実」が 17.7%などと続いている。

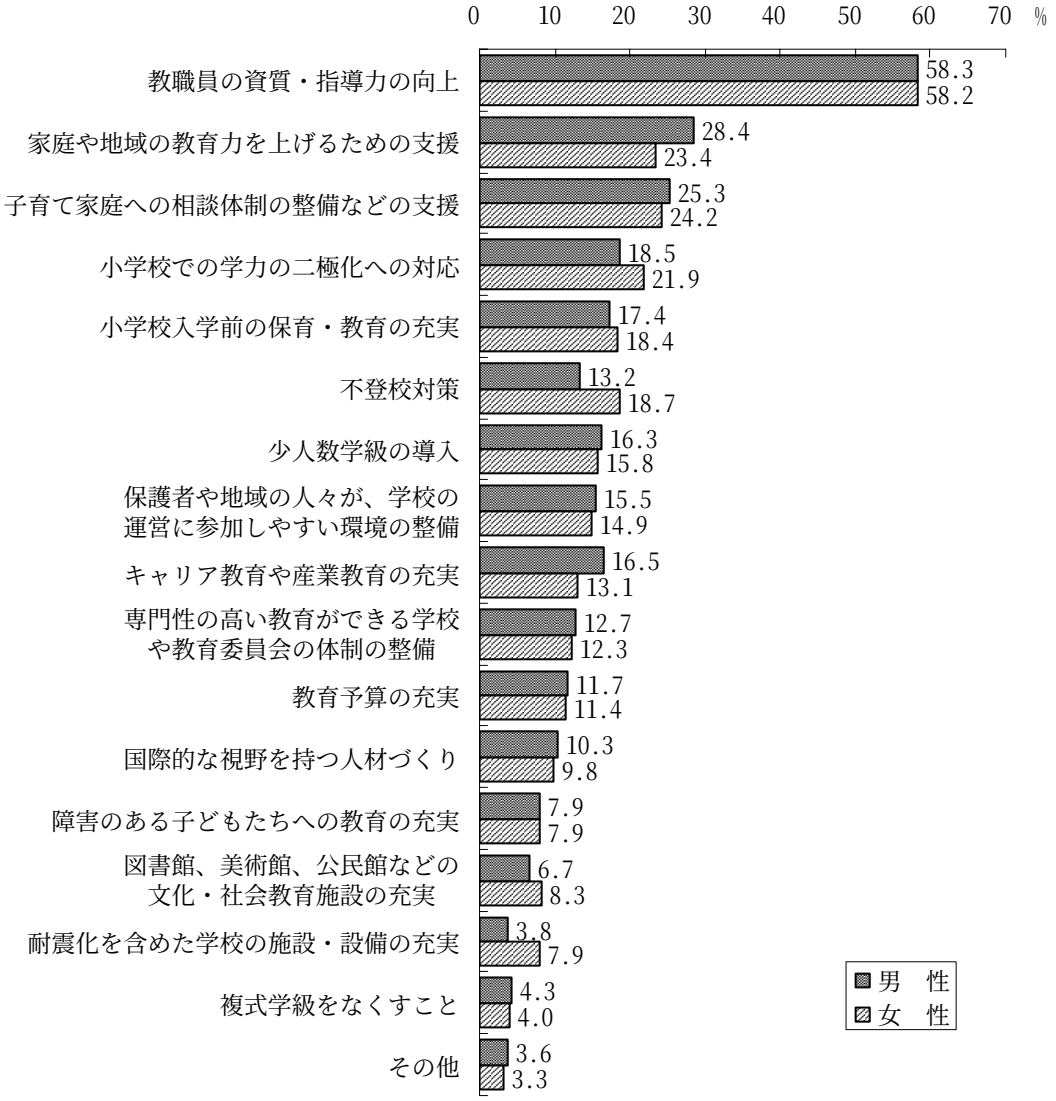
《 総 合 》



【性別】

男女とも「教職員の資質・指導力の向上」が最も多く、その比率もほとんど同じである。その他の取り組みや支援についても、男女でそれほど大きな差はみられないが、「家庭や地域の教育力を上げるための支援」で男性、「不登校対策」で女性の比率が５ポイント近く高くなっている。

《 性 別 》



【年代別】

いずれの年齢階層でも「教職員の資質・指導力の向上」が最も多く、50 歳代と 60 歳代では 60%を超えている。その他では、他の年齢階層と比べて、20 歳代や 30 歳代で「家庭や地域の教育力を上げるための支援」、60 歳代以上と 20 歳代で「子育て家庭への相談体制の整備などの支援」の比率が高いなどの傾向がみられる。

【職業別】

学生では「家庭や地域の教育力を上げるための支援」が最も多いが、その他すべての職業区分で「教職員の資質・指導力の向上」が最も多く（漁業では「家庭や地域の教育力を上げるための支援」と同率）、農林業、商工サービス業自営、労務職、自由業では 60%を

超えている。その他では、他の職業区分に比べて、商工サービス業自営で「子育て家庭への相談体制の整備などの支援」の比率が高いなどの傾向がみられる。

【子どもの状況別】

いずれも「教職員の資質・指導力の向上」が最も多く、高校生の子どもがいる家庭と大学生、専門学校生等の子どもがいる家庭では60%を超えている。

《　年代別・職業別・子どもの状況別　》

単位：%

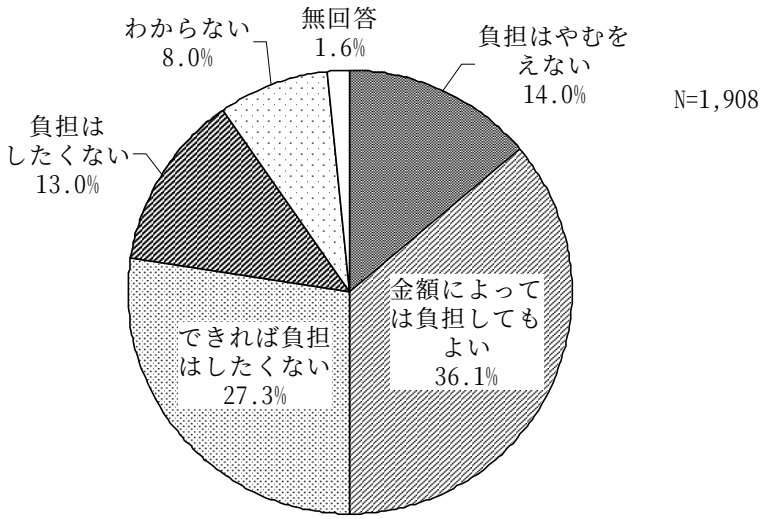
項目		教職員の資質・指導力の向上	家庭や地域の教育力を上げるための支援	子育て家庭への相談体制の整備などの支援	小学校での学力の二極化への対応	小学校入学前の保育・教育の充実	不登校対策	少人数学級の導入	保護者や地域の人々が、学校の運営に参加しやすい環境の整備	キャリア教育や産業教育の充実	専門性の高い教育ができる学校や教育委員会の体制の整備	教育予算の充実	国際的な視野を持つ人材づくり	障害のある子どもたちへの教育の充実	図書館、美術館、公民館などの文化・社会教育施設の充実	耐震化を含めた学校の施設・設備の充実	複式学級をなくすこと	その他
年代別	２０歳代	47.0	33.3	27.4	19.0	14.3	20.8	13.7	11.9	19.6	7.7	12.5	10.7	11.3	8.3	5.4	4.8	6.0
	３０歳代	53.2	30.0	20.6	24.0	18.4	13.5	15.0	17.2	14.6	11.2	10.1	10.1	10.1	9.0	9.7	3.7	6.0
	４０歳代	58.8	22.8	20.2	25.7	12.1	16.9	21.0	11.8	16.9	10.3	12.1	9.9	7.0	9.9	5.1	3.7	3.7
	５０歳代	64.4	24.4	23.9	20.7	16.3	15.9	14.5	16.6	15.9	14.7	10.3	8.7	9.0	6.0	5.7	3.7	3.9
	６０歳代	62.8	24.2	28.3	21.5	19.6	16.0	18.5	15.5	12.2	13.6	10.6	10.3	5.7	5.4	5.4	4.3	1.6
	７０歳以上	54.5	24.4	27.3	13.1	23.6	16.5	13.1	14.8	11.1	12.8	13.9	11.4	6.0	8.8	6.0	5.1	1.4
職業別	農林業	61.4	29.8	25.4	16.7	17.5	14.0	9.6	13.2	14.0	14.9	11.4	13.2	9.6	5.3	5.3	7.0	4.4
	漁業	40.0	40.0	10.0	0.0	10.0	20.0	20.0	10.0	10.0	30.0	30.0	0.0	10.0	0.0	20.0	20.0	10.0
	商工サービス業自営	65.7	29.3	30.0	14.3	18.6	11.4	16.4	22.9	12.1	13.6	9.3	15.0	7.1	5.7	4.3	3.6	1.4
	事務職	50.0	30.5	19.5	25.9	14.9	13.8	19.5	10.3	16.7	12.1	14.9	9.8	9.2	9.8	4.6	4.0	6.3
	技術職	57.2	26.2	24.6	25.7	18.2	14.4	16.0	12.3	14.4	10.2	13.9	9.1	9.1	5.3	8.0	3.2	8.6
	労務職	65.2	26.0	27.2	22.8	14.4	17.2	16.4	14.8	16.8	12.0	9.2	5.2	6.0	3.6	8.0	4.4	2.4
	管理職	58.6	27.6	20.7	19.0	20.7	5.2	20.7	19.0	15.5	12.1	15.5	8.6	1.7	12.1	3.4	5.2	5.2
	自由業	62.5	21.9	12.5	21.9	9.4	18.8	21.9	12.5	18.8	21.9	6.3	31.3	6.3	6.3	3.1	3.1	6.3
	主婦	58.5	19.0	26.5	22.5	19.9	18.6	18.0	15.0	13.4	12.4	10.8	7.8	6.5	9.8	6.5	4.6	3.3
	学生	46.2	50.0	15.4	30.8	19.2	11.5	19.2	11.5	30.8	7.7	7.7	11.5	3.8	3.8	15.4	0.0	0.0
	無職	56.2	24.8	26.9	16.1	20.1	17.9	14.8	16.4	13.5	13.5	10.8	12.4	8.7	8.2	4.5	4.0	1.3
	その他	56.6	25.2	19.5	22.0	18.2	18.9	11.3	15.7	13.8	11.3	13.8	10.1	11.3	10.1	5.7	1.9	1.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	51.1	29.3	24.5	20.7	29.3	10.1	19.1	15.4	16.0	8.0	10.6	7.4	6.9	9.0	8.0	5.3	5.9
	小学生の子どもがいる	57.1	25.4	19.2	24.1	16.1	10.7	21.0	16.5	17.0	11.6	16.5	10.7	9.4	7.1	9.8	3.6	2.2
	中学生の子どもがいる	56.1	21.9	20.6	20.6	9.0	18.1	25.2	15.5	18.1	15.5	17.4	9.7	6.5	6.5	5.8	4.5	3.9
	高校生の子どもがいる	64.4	22.7	21.5	17.2	12.9	19.0	19.6	14.1	12.3	17.2	15.3	11.0	6.1	8.6	8.0	4.3	4.9
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	60.9	28.8	25.6	17.9	9.0	15.4	13.5	12.2	15.4	19.2	16.7	10.9	8.3	4.5	7.1	3.8	5.8
	その他	60.4	26.5	25.3	20.6	18.0	17.3	14.3	14.7	14.6	13.0	10.3	10.4	8.0	7.0	5.4	3.9	3.5

問 11　厳しい財政状況の中で、高知県の教育の水準を保ち、向上させるために、新たな費用の負担を県民のみなさまにお願いせざるを得ない状況となった場合、どう思いますか。
（1つだけ○印）

教育の水準を保ち、向上させるために必要な費用の負担については、「負担はやむをえない」が 14.0%、「金額によっては負担をしてもよい」が 36.1%であり、両者合わせて 50.1%が【負担してもよい】（＝「負担はやむをえない」＋「金額によっては負担をしてもよい」）と回答している。

一方、「負担はしたくない」が 13.0%、「できれば負担はしたくない」が 27.3%であり、両者合わせて 40.3%が【負担はしたくない】（＝「負担はしたくない」＋「できれば負担はしたくない」）と回答している。

《 総 合 》



【性別】

男性は 52.7%と過半数が【負担してもよい】と回答しているのに対し、女性は 47.9%で半数以下である。

【年代別】

いずれの年齢階層でも【負担してもよい】と回答した人が【負担はしたくない】と回答した人を上回っており、また、【負担してもよい】と回答した人の割合は 50%前後で、年齢による大きな差はみられない。

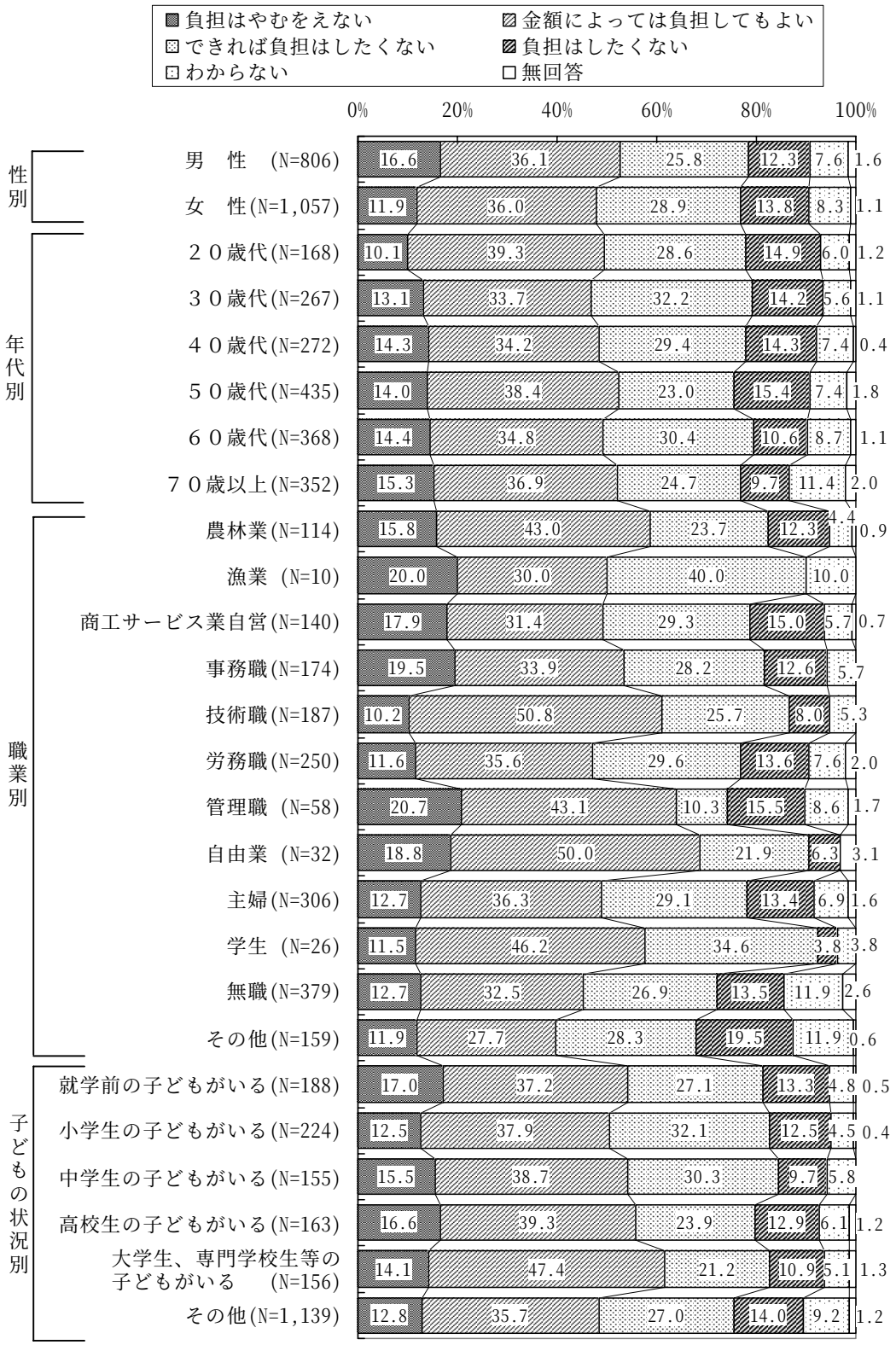
【職業別】

その他以外のすべての職業区分において【負担してもよい】と回答した人が【負担はしたくない】と回答した人を上回っており、特に自由業、管理職、技術職の【負担してもよい】の割合は 60%を上回っている。

【子どもの状況別】

その他以外のすべてで【負担してもよい】が過半数を占めている。小、中、高、大学・専門と年長の子どもがいる家庭ほど【負担してもよい】の割合が高くなる傾向があり、最も年長の大学生、専門学校生等の子どもがいる家庭では 60%を超えている。

《　性別・年代別・職業別・子どもの状況別　》



【問１１×問１０のクロス分析】

【問 11　教育の新たな費用負担】の各選択肢を選んだ人が、問 10 の【必要な教育の取り組みや支援】にどのように回答しているかをみる。

問 11 のいずれの選択肢を選んだ人も問 10 では「教職員の資質・指導力の向上」を最も多く選んでおり、その比率の差もそれほど大きくはない。

その他、問 11 で「負担はやむをえない」と回答した人は、他の選択肢を選んだ人よりも「家庭や地域の教育力を上げるため支援」の比率が高く、「金額によっては負担してもよい」と回答した人は、他の選択肢を選んだ人よりも「小学校での学力の二極化への対応」の比率が高い。

【問１１　教育の新たな費用負担】×【問１０　必要な教育の取り組みや支援】

単位:%

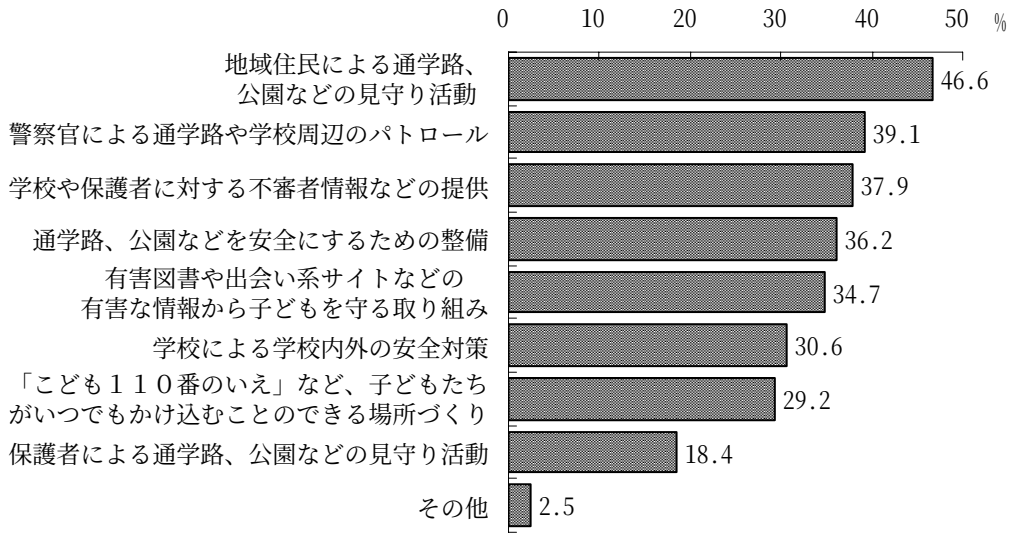
問11＼問10	子育て家庭への相談体制の整備などの支援	小学校入学前の保育・教育の充実	複式学級をなくすこと	小学校での学力の二極化への対応	少人数学級の導入	キャリア教育や産業教育の充実	国際的な視野を持つ人材づくり	図書館、美術館、公民館などの文化・社会教育施設の充実	家庭や地域の教育力を上げるための支援	専門性の高い教育ができる学校や教育委員会の体制の整備	教職員の資質・指導力の向上	保護者や地域の人々が、学校の運営に参加しやすい環境の整備	障害のある子どもたちへの教育の充実	不登校対策	耐震化を含めた学校の施設・設備の充実	教育予算の充実	その他
負担はやむをえない	26.9	17.5	3.0	16.8	20.5	10.8	13.4	8.2	33.6	12.3	56.7	15.7	3.7	17.9	3.0	10.8	5.2
金額によっては負担してもよい	23.1	15.3	4.4	23.4	17.4	17.4	9.2	8.7	25.6	14.0	60.3	16.9	8.3	12.4	7.8	13.2	2.6
できれば負担はしたくない	26.1	20.7	5.2	20.9	12.3	13.4	10.2	6.0	25.9	11.1	58.3	14.6	7.9	20.3	7.3	10.4	2.5
負担はしたくない	25.4	19.8	4.4	16.1	11.7	12.9	12.5	7.7	21.8	13.3	62.1	10.9	12.5	19.0	4.0	12.1	3.2
わからない	21.6	17.0	1.3	18.3	19.6	15.0	4.6	7.8	16.3	9.2	50.3	15.0	9.2	16.3	3.9	8.5	5.2

［4］子どもの安全を守る活動について

問 12　子どもたちの安全を守るためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。
（3つまで○印）

子どもの安全を守るために必要な取り組みとしては、「地域住民による通学路、公園などの見守り活動」が 46.6%で最も多く、次いで、「警察官による通学路や学校周辺のパトロール」、「学校や保護者に対する不審者情報などの提供」、「通学路、公園などを安全にするための整備」も 35%超で続いている。

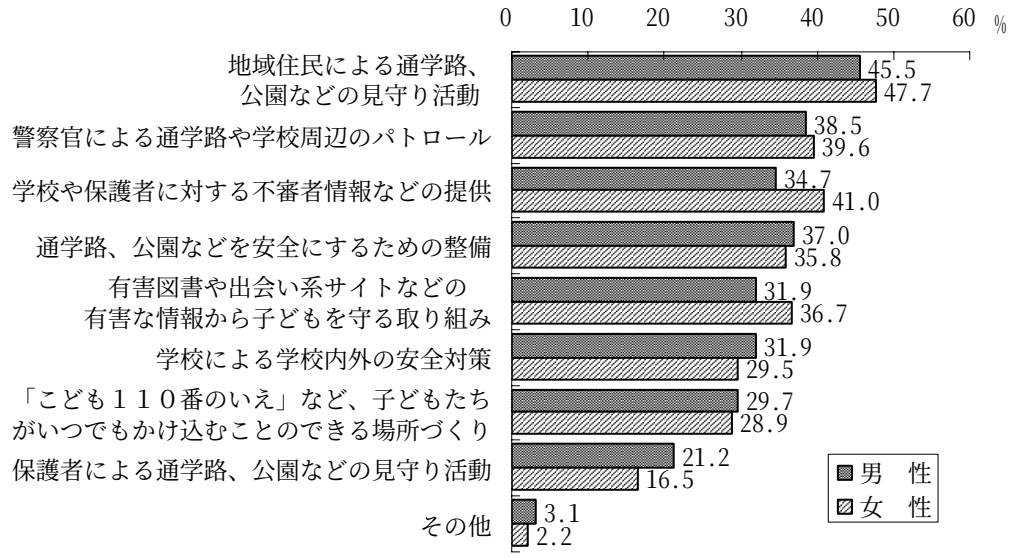
《 総 合 》



【性別】

男女とも「地域住民による通学路、公園などの見守り活動」が最も多く、ともに 45%を超えている。以下、《総合》で挙げられた上位の取り組みが続いている。

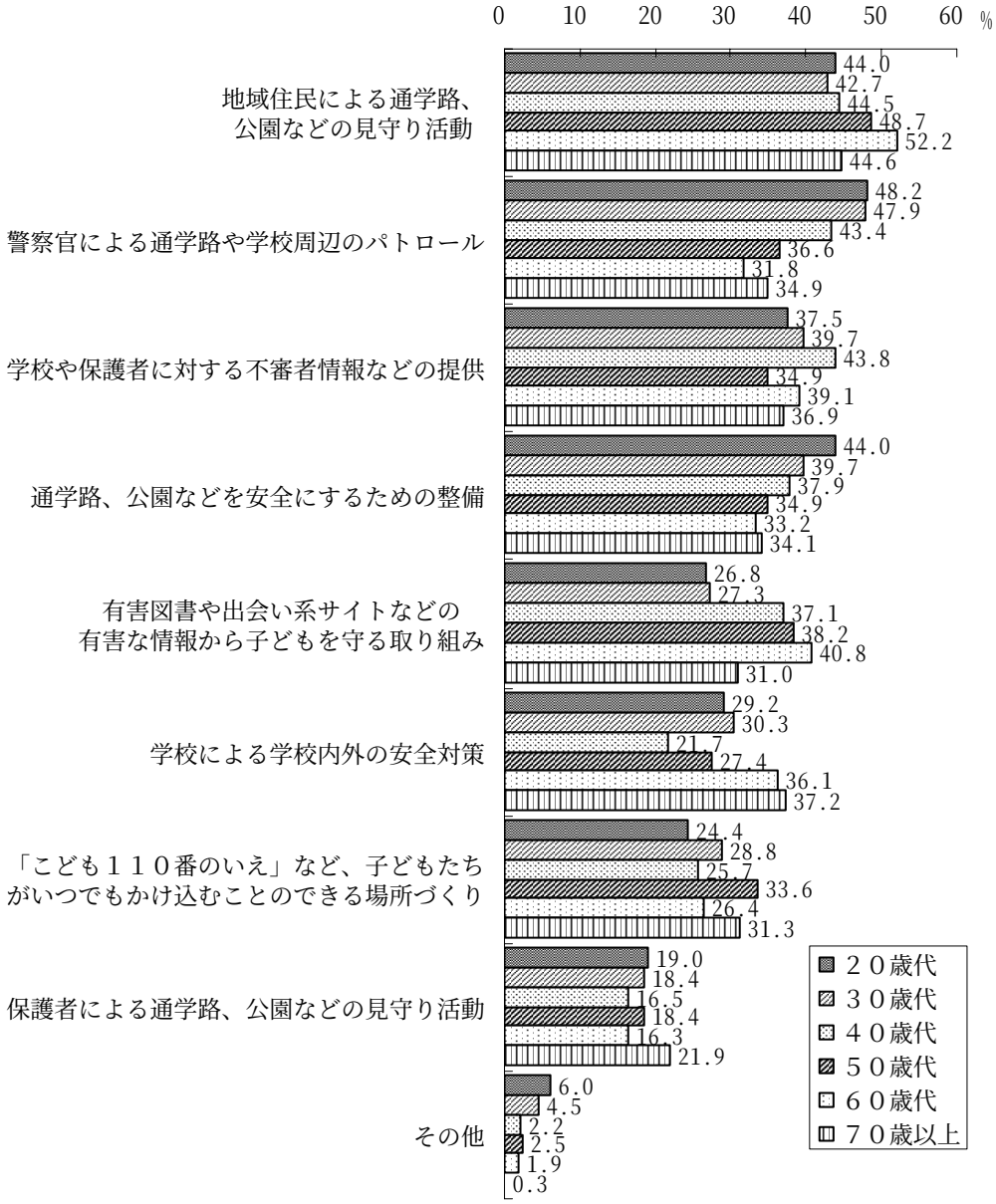
《 性 別 》



【年代別】

「警察官による通学路や学校周辺のパトロール」や「通学路、公園などを安全にするための整備」は若い年齢階層ほど比率が高く、「地域住民による通学路、公園などの見守り活動」や「有害図書や出会い系サイトなどの有害な情報から子どもを守る取り組み」は年齢が高くなるほど比率が高くなる傾向がみられる。

《　年　代　別　》



【職業別】

ほとんどの職業区分で「地域住民による通学路、公園などの見守り活動」が最も多く、自由業、技術職、農林業、管理職、事務職、主婦などでは50%以上となっている。その他では、労務職で「学校や保護者に対する不審者情報などの提供」、漁業やその他で「警察官による通学路や学校周辺のパトロール」が最も多い取り組みとなっている。

《 職 業 別 》

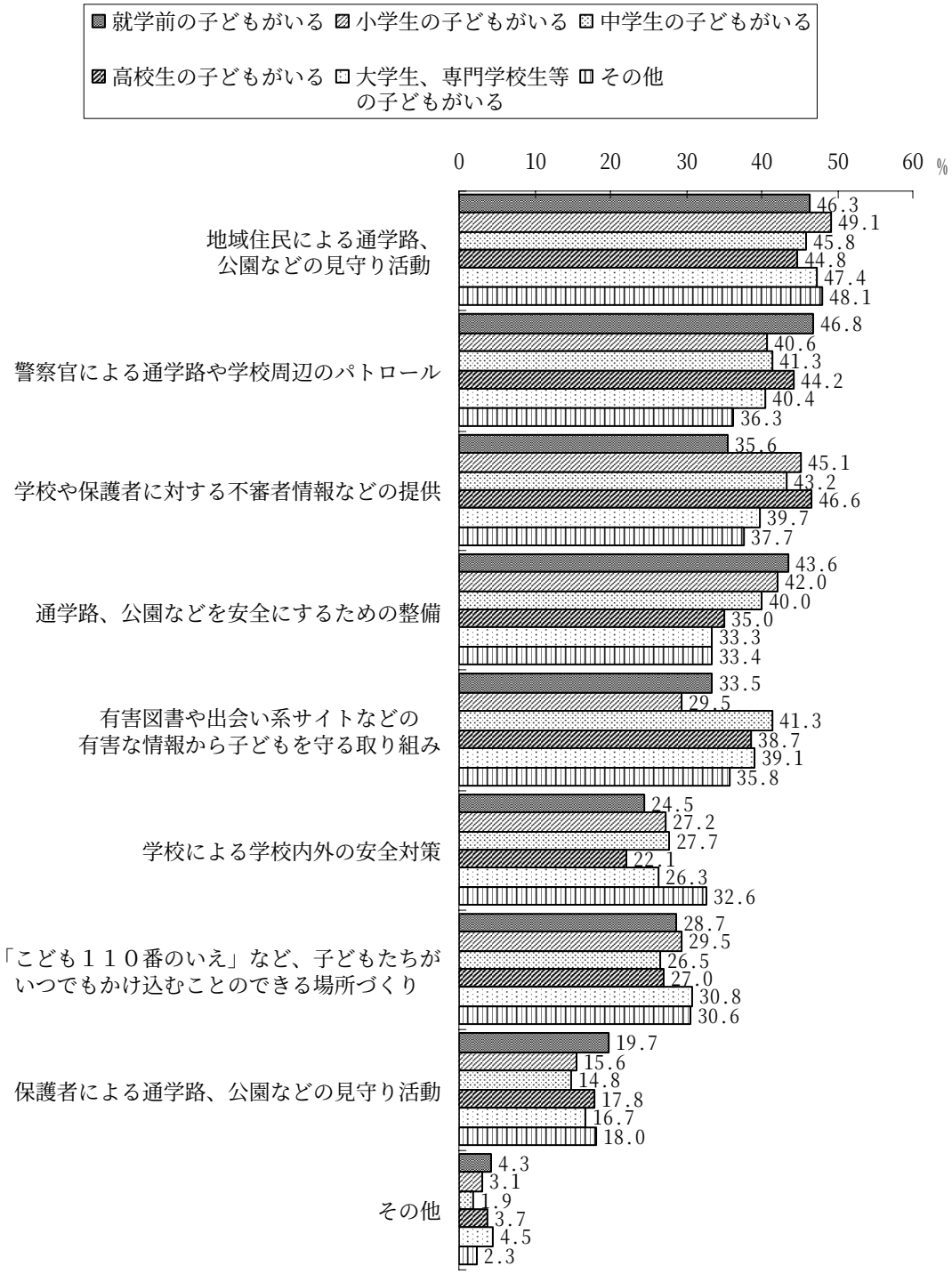
単位：%

項目／職業	地域住民による通学路、公園などの見守り活動	警察官による通学路や学校周辺のパトロール	学校や保護者に対する不審者情報などの提供	通学路、公園などを安全にするための整備	有害図書や出会い系サイトなどの有害な情報から子どもを守る取り組み	学校による学校内外の安全対策	「こども110番のいえ」など、子どもたちがいつでもかけ込むことのできる場所づくり	保護者による通学路、公園などの見守り活動	その他
農林業	51.8	39.5	39.5	29.8	30.7	35.1	29.8	17.5	1.8
漁業	40.0	60.0	10.0	40.0	50.0	30.0	30.0	10.0	0.0
商工サービス業自営	46.4	35.0	32.9	36.4	45.7	32.1	28.6	16.4	4.3
事務職	50.6	43.1	34.5	46.0	32.2	27.0	26.4	14.9	2.3
技術職	52.4	38.5	39.6	41.2	34.2	18.7	28.9	20.9	4.8
労務職	42.0	40.4	42.8	34.8	35.2	27.2	30.8	16.0	2.8
管理職	51.7	32.8	34.5	41.4	32.8	24.1	25.9	27.6	5.2
自由業	53.1	46.9	31.3	37.5	37.5	25.0	21.9	15.6	6.3
主婦	50.3	39.2	44.8	34.0	34.3	31.0	29.1	14.1	0.7
学生	50.0	50.0	50.0	38.5	26.9	26.9	23.1	15.4	11.5
無職	44.3	36.7	38.0	32.5	34.0	36.1	29.6	21.9	0.8
その他	37.1	39.0	32.1	38.4	33.3	38.4	30.8	21.4	3.1

【子どもの状況別】

上位に挙げられている取り組みはいずれも大きな違いはないが、「警察官による通学路や学校周辺のパトロール」と「通学路、公園などを安全にするための整備」は子どもが大学・専門、高、中、小と年小になるほどその比率が高くなる傾向があり、また「有害図書や出会い系サイトなどの有害な情報から子どもを守る取り組み」は中学生以上の子どもがいる家庭で高い傾向がみられる。

《　子どもの状況別　》

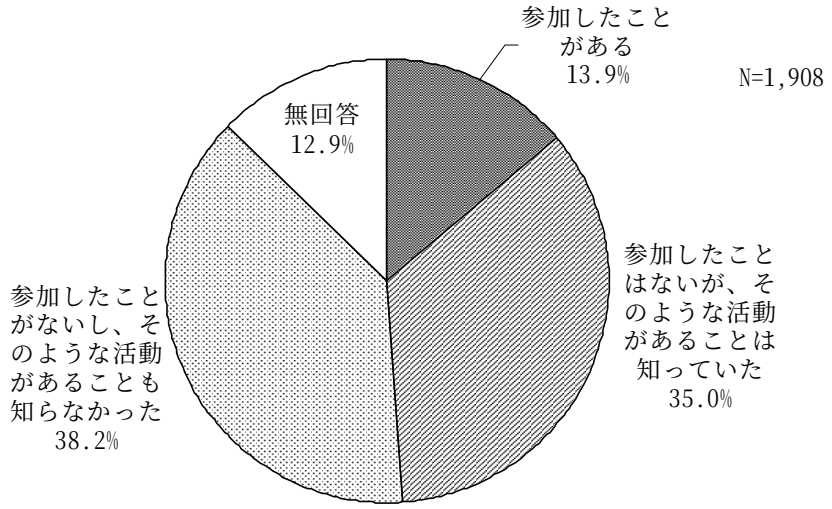


問 13　あなたは、ここ1年ぐらいのうち、お住まいの地域で、子どもを守るための活動に参加したことがありますか。①から⑤の項目のそれぞれについて「回答欄」内のいずれか1つに○をしてください。項目の中にない活動については、「その他」の欄に記入してください。　（1つだけ○印）

①散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動

「登下校時に合わせた見守り活動」への参加については、「参加したことがある」（参加率）は 13.9%であるが、【活動は知っていた】（認知度）（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は 48.9%であり、全体の半分近くの人は「登下校時に合わせた見守り活動」の存在を知っている。

《 総 合 》



【性別】

男女とも参加率は 15%弱であまり差はないが、認知度は男性が 51.6%、女性が 47.9%で、男性に比べ女性の認知度がやや低い。

【年代別】

参加率は 20 歳代で 5.4%と低いが、30 歳代以上の年齢階層では、50 歳代が約 10%と低いのを除き、いずれの年齢階層でも 15%前後を占めている。また、認知度は 20 歳代と 70 歳以上では 35～40%超であるが、30 歳代～60 歳代では過半数を占める。

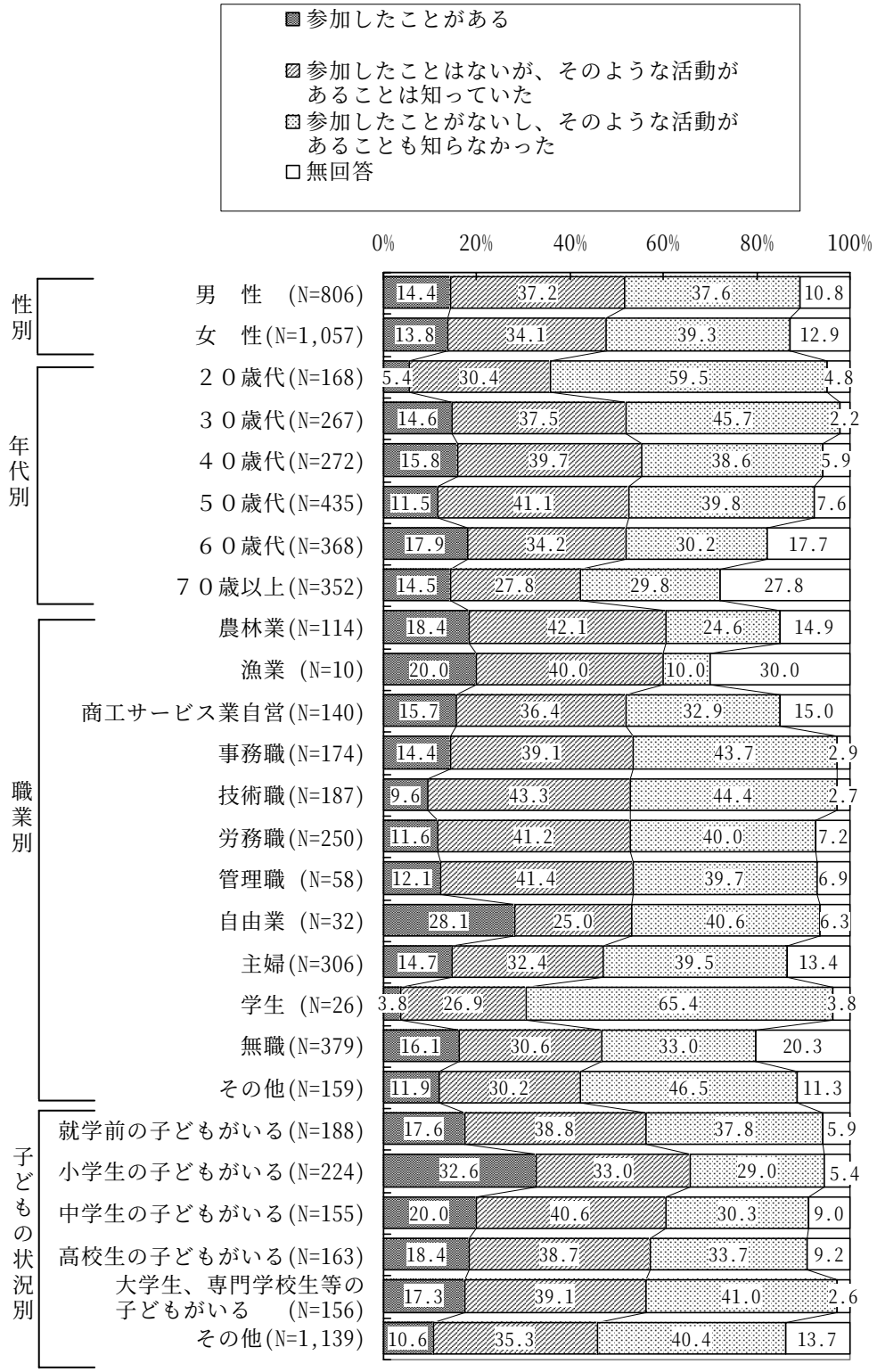
【職業別】

自由業では 28.1%が参加経験を有しているが、その他の職業区分では学生が 3.8%で極端に低いほかは、参加率は 10～15%近くとなっている。また、認知度は学生をはじめ主婦、無職では低いが、農林業、漁業では約 60%を占め、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職でも過半数を占めている。

【子どもの状況別】

小学生の子どもがいる家庭は 32.6%と約３人に１人が参加経験があるが、その他の子どもがいる家庭区分では 17～20%となっている。また、認知度は小学生の子どもがいる家庭が最も高く約 65%を占め、中学生の子どもがいる家庭も 60%を超えている。

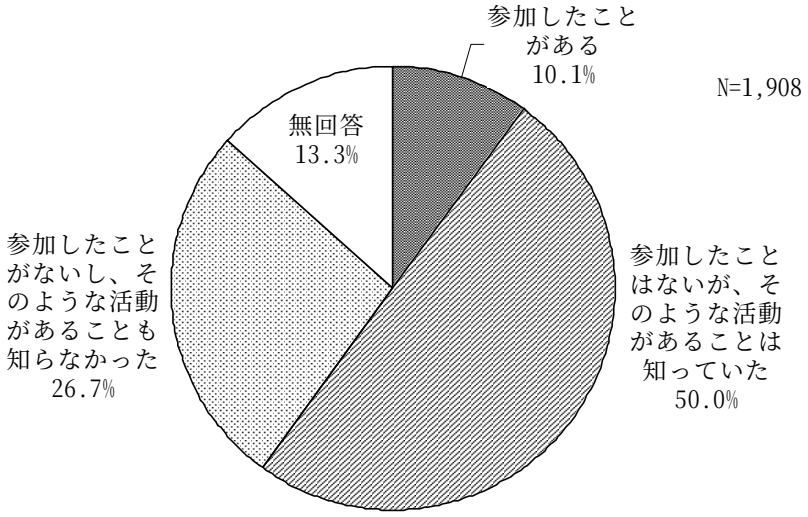
《　性別・年代別・職業別・子どもの状況別　》



②登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動

「通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動」への参加については、「参加したことがある」（参加率）は 10.1%であるが、【活動は知っていた】（認知度）（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は 60.1%であり、全体の約６割の人が「登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動」の存在を知っている。

《 総 合 》



【性別】

男女とも参加率は約 10%で、認知度も約 60%と男女でほとんど差はみられない。

【年代別】

参加率は 20 歳代が 4.2%と低く、30 歳代が 15.0%、40 歳代が 17.6%と上昇し、その後 50 歳代で 7.6%と低下し、退職後年齢の 60 歳代で 10.9%と再び上昇し、高齢の 70 歳以上になると 5.4%と低くなる。また、認知度は 70 歳以上が 42.3%、20 歳代が 55.4%とやや低いほかは、いずれの年齢階層も 60%を超えており、30 歳代では 70%を超えている。

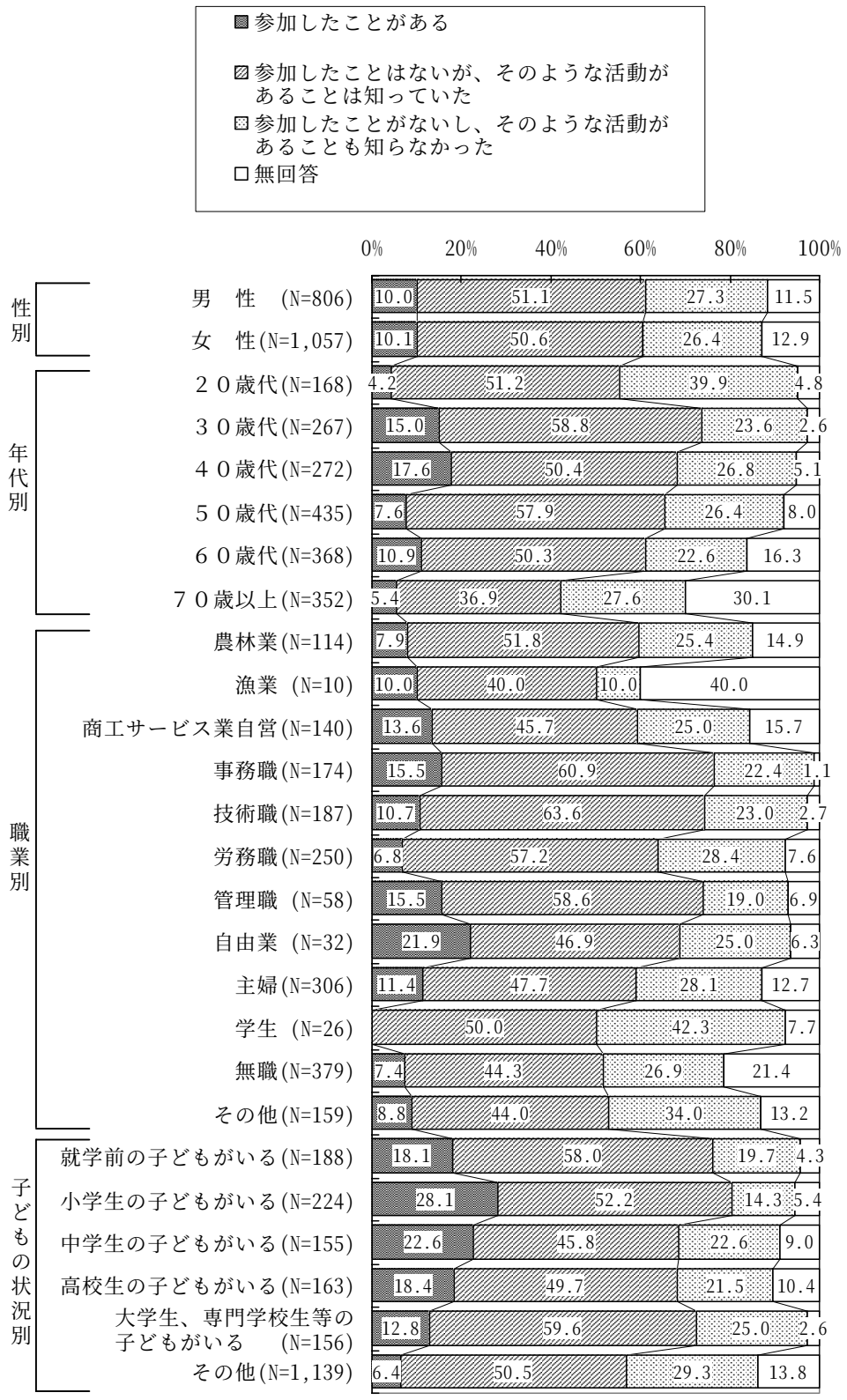
【職業別】

自由業では 21.9%が参加経験を有しているが、その他の職業区分では低いところは学生のゼロから高いところは事務職や管理職の 15.5%まで多少のバラツキがみられる。また、認知度は、技術職、事務職、管理職で高く、75%前後を占めている。

【子どもの状況別】

小学生の子どもがいる家庭では 28.1%が参加経験があるが、子どもが大きくなるほど参加率は低下している。また、認知度は小学生の子どもがいる家庭が最も高く約 80%を占め、就学前の子どもがいる家庭も約 75%を占めている。

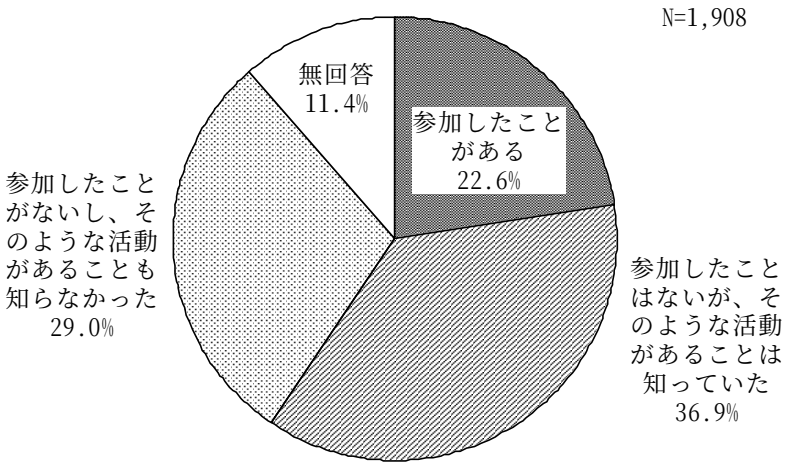
《　性別・年代別・職業別・子どもの状況別　》



③子どもたちへの日常的な声かけ･あいさつ運動

「声かけ・あいさつ運動」への参加については、「参加したことがある」（参加率）は22.6%であり、約４人に１人が参加経験がある。また、【活動は知っていた】（認知度）（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は59.5%であり、全体の約６割の人が「声かけ・あいさつ運動」の存在を知っている。

《 総 合 》



【性別】

女性の参加率が24.9%で男性の20.3%をやや上回っているが、認知度はともに60%前後で、男女でほとんど差はみられない。

【年代別】

参加率は20歳代が11.9%と低いものの、30歳代以上の年齢階層では20%以上となっている。また、60歳代までは年齢が高くなるほど高くなる傾向がみられ、60歳代では28.3%である。また、認知度は30歳代～60歳代までの各年齢階層で65%前後を占めている。

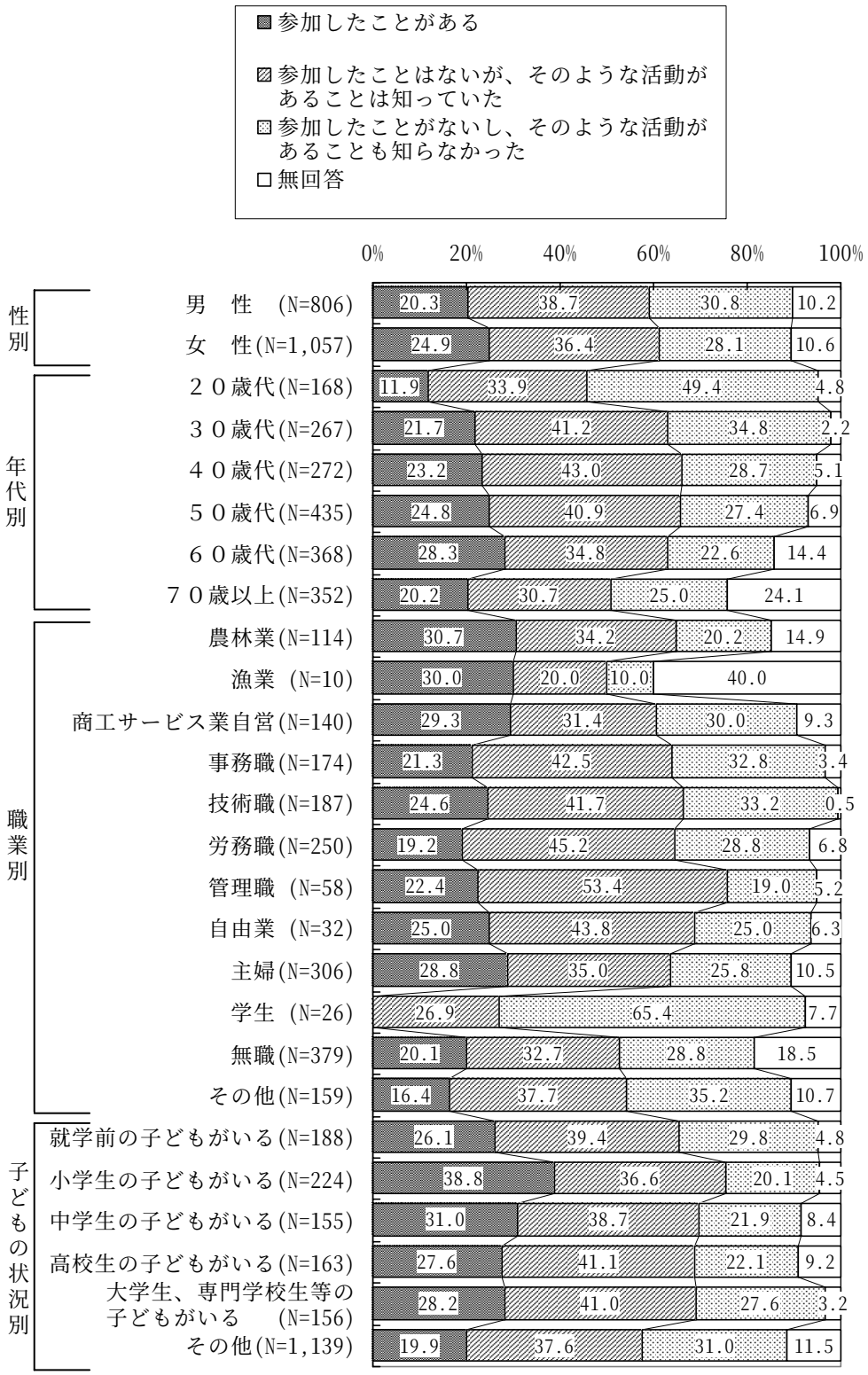
【職業別】

参加率は学生のゼロ以外、ほとんどの職業区分で20～30%近くを占めている。また、認知度は管理職の75.8%を筆頭に、ほとんどの職業区分で60～70%近くを占めている。

【子どもの状況別】

小学生の子どもがいる家庭は38.8%が参加経験があるが、中学、高校、大学・専門学校等と子どもが大きくなるほど参加率は低下する傾向がみられる。また、認知度は小学生の子どもがいる家庭が約75%を占め、中学、高校、大学・専門学校等の子どもがいる家庭も約70%を占めている。

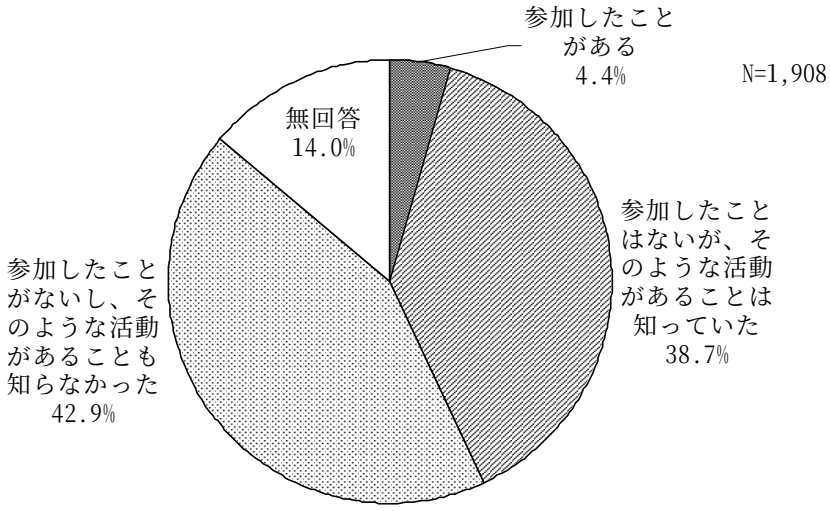
《　性別・年代別・職業別・子どもの状況別　》



④公園など、子どもの遊び場の見回り活動

「遊び場の見回り活動」への参加については、「参加したことがある」（参加率）は 4.4%、【活動は知っていた】（認知度）（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）も 43.1%であり、①～③の子どもを守るための各活動に比べ、参加率、認知度とも高くはない。

《 総 合 》



【性別】

男性の参加率が 5.5%で女性の 3.6%をやや上回っているが、男女とも参加率は低い。また、認知度もともに 45%弱であり、男女で大きな差はみられない。

【年代別】

いずれの年齢階層でも参加率は一桁台と低く、認知度は最も高い 60 歳代が 48.7%で、その他の年齢階層では 35～45%近くである。

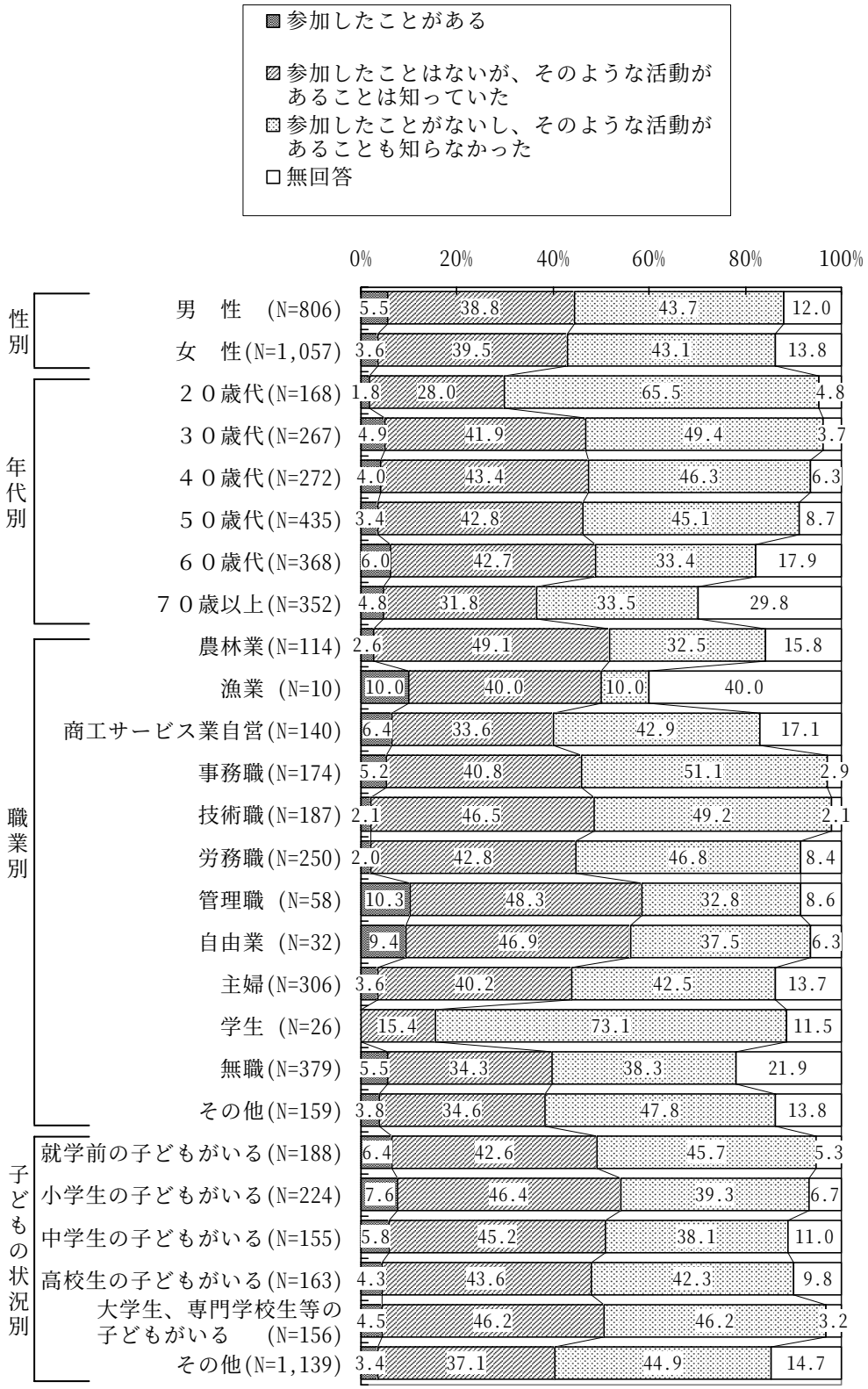
【職業別】

参加率は管理職、漁業、自由業で 10%前後であるが、その他の職業区分では一桁台前半が多く、認知度も管理職や自由業の 60%弱以外は大部分が 50%以下である。

【子どもの状況別】

参加率は小学生の子どもがいる家庭が 7.6%で最も高く、就学前の子どもがいる家庭が 6.4%、中学、高校、大学・専門学校等の子どもがいる家庭は５%前後であり、参加率は低い。また、認知度は、子どもがいるいずれの家庭も 50%前後を占め、大きな差はみられない。

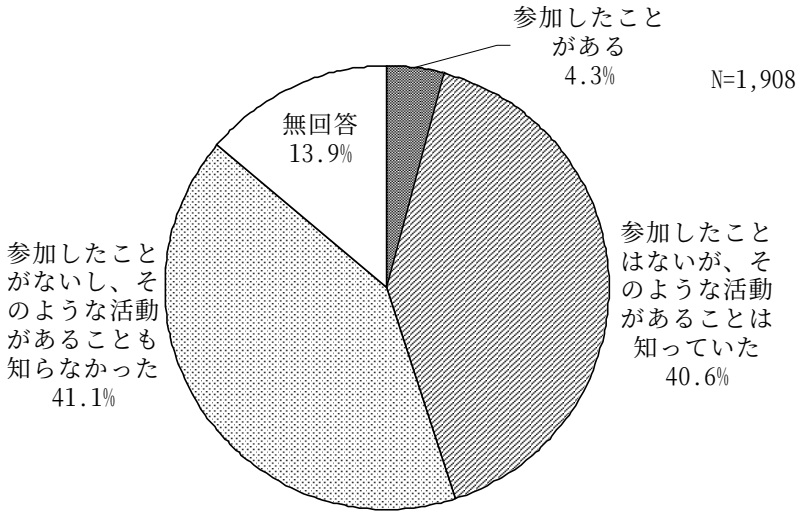
《　性別・年代別・職業別・子どもの状況別　》



⑤夜間のパトロール活動

「夜間のパトロール活動」への参加については、「参加したことがある」（参加率）は4.3%、【活動は知っていた】（認知度）（＝「参加したことがある」＋「参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた」）は44.9%であり、①～③の子どもを守るための各活動に比べ、参加率、認知度とも高くはない。

《 総 合 》



【性別】

男性の参加率が 5.2%で女性の 3.8%をやや上回っているが、男女とも参加率は低い。また、認知度はともに約 45%であり、男女で差はみられない。

【年代別】

いずれの年齢階層でも参加率は一桁台と低く、認知度も 40 歳代と 50 歳代が 50%を超えているのみで、その他の年齢階層では 50%を割っている。

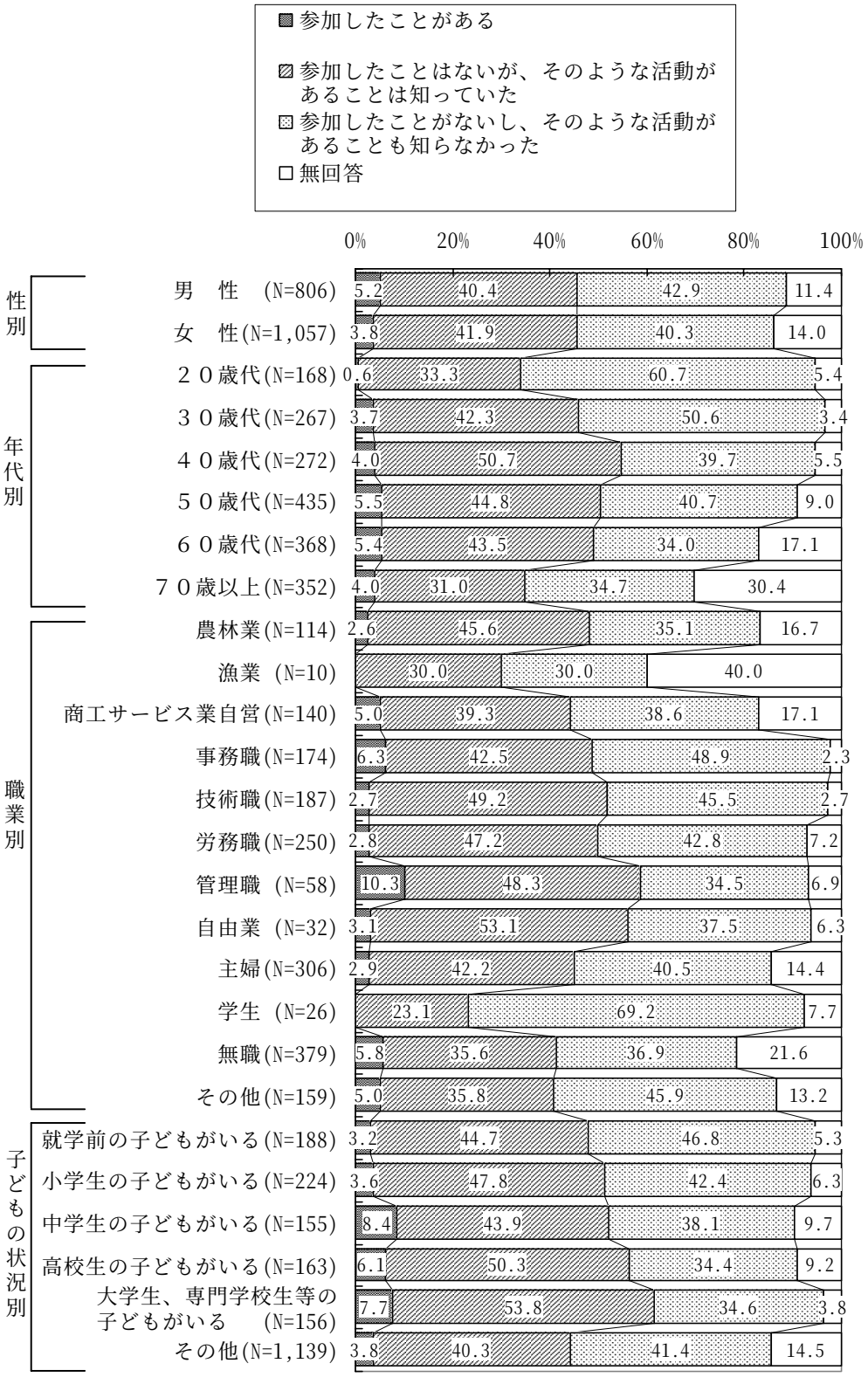
【職業別】

参加率は管理職が 10.3%で最も高く、その他の職業区分では一桁台前半が多い。また、認知度は、管理職や自由業が 55～60%近くを占める以外は、大部分の職業区分で 50%以下である。

【子どもの状況別】

参加率は中学、高校、大学・専門学校等の子どもがいる家庭が６～８％を占め、小学生や就学前の子どもがいる家庭の３％台を上回っている。また、認知度は就学前の子ども、小学、中学、高校、大学・専門学校等と子どもが大きくなるほど高くなる傾向がみられる。

《　性別・年代別・職業別・子どもの状況別　》

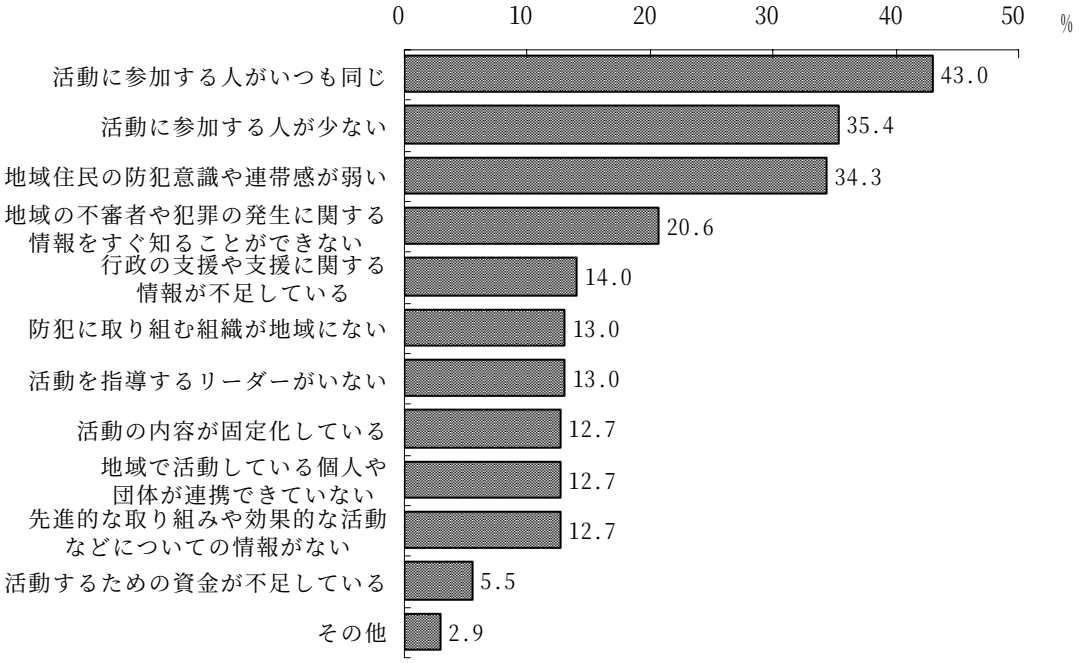


副問1　活動をした際に課題と思ったことは何ですか。（3つまで○印）

（問 13 で「1」に○を1つでもした方（参加したことがある方）のみお答えください。）

子どもを守るための活動に参加した際に課題と思ったことは、「活動に参加する人がいつも同じ」が 43.0%で最も多く、「活動に参加する人が少ない」や「地域住民の防犯意識や連帯感が弱い」も 35%前後を占めている。

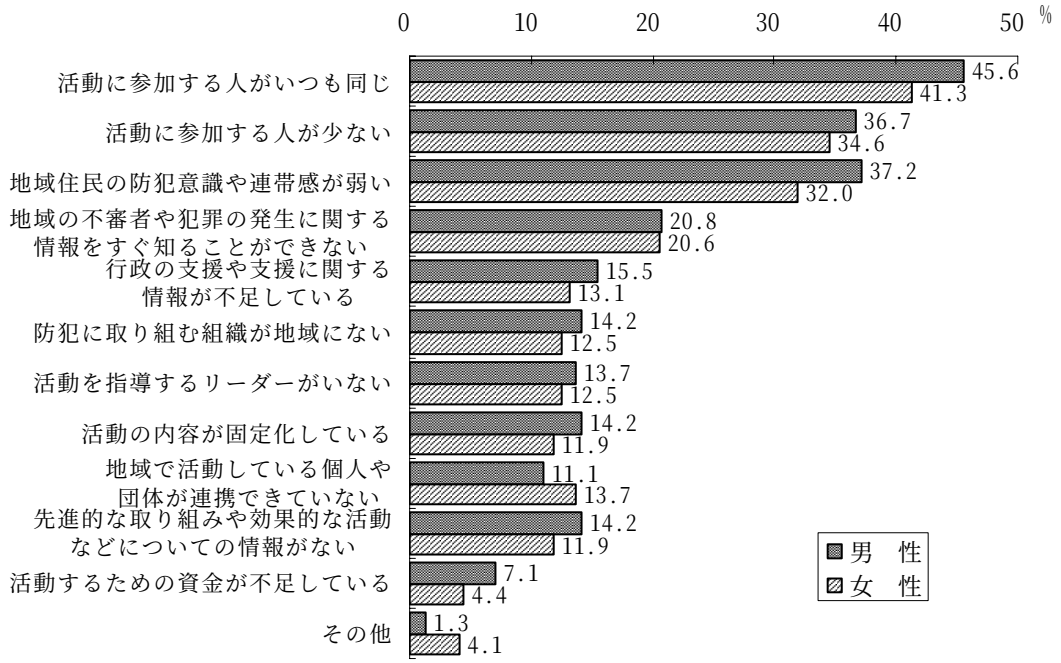
《 総 合 》



【性別】

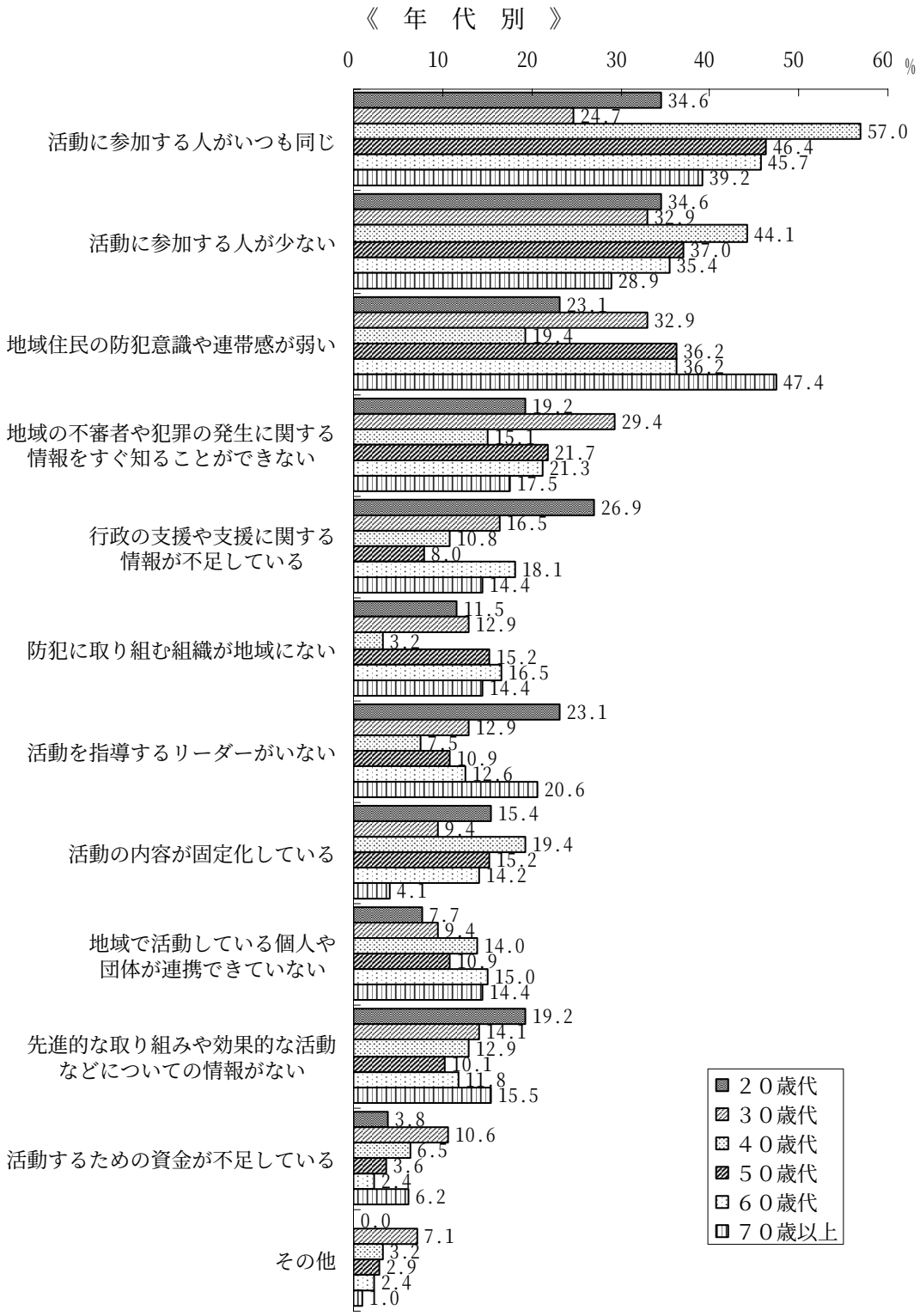
男女とも「活動に参加する人がいつも同じ」が 40%超で最も多く、順位は《総合》とほぼ同じであるが、全体的に男性の比率が女性を上回っている。

《 性 別 》



【年代別】

40 歳代～60 歳代の各年齢階層では「活動に参加する人がいつも同じ」が最も多く、40 歳代では 57.0%を占めている。20 歳代では「活動に参加する人がいつも同じ」と「活動に参加する人が少ない」が約 35%で最も多いが、その他の課題も多数挙げられている。30 歳代では「活動に参加する人が少ない」と「地域住民の防犯意識や連帯感が弱い」、70 歳以上では「地域住民の防犯意識や連帯感が弱い」が最も多くなっている。



【職業別】

主な職業区分では、事務職で「活動に参加する人が少ない」、無職で「地域住民の防犯意識や連帯感が弱い」の比率が最も高いほかは、いずれの職業区分でも「活動に参加する人がいつも同じ」の比率が最も高くなっている。

【子どもの状況別】

小学生の子どもがいる家庭では「活動に参加する人が少ない」の比率が最も高いが、それ以外はいずれも「活動に参加する人がいつも同じ」の比率が最も高くなっている。

《　職業別・子どもの状況別　》

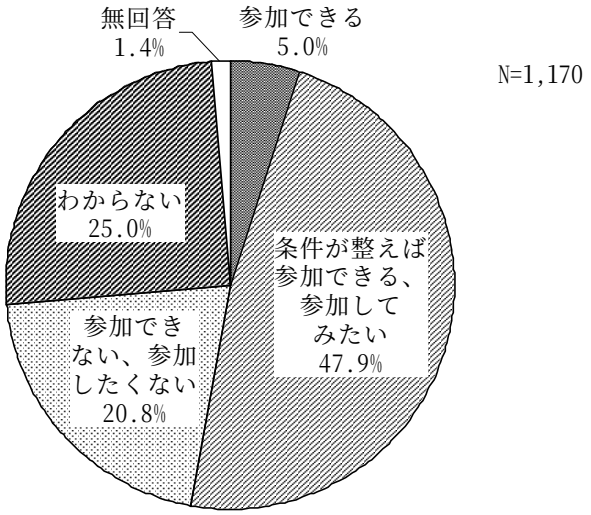
単位：%

項目		活動に参加する人がいつも同じ	活動に参加する人が少ない	地域住民の防犯意識や連帯感が弱い	地域の不審者や犯罪の発生に関する情報をすぐ知ることができない	行政の支援や支援に関する情報が不足している	防犯に取り組む組織が地域にない	活動を指導するリーダーがいない	活動の内容が固定化している	地域で活動している個人や団体が連携できていない	先進的な取り組みや効果的な活動などについての情報がない	活動するための資金が不足している	その他
職業別	農林業	47.6	35.7	40.5	31.0	4.8	16.7	9.5	14.3	11.9	4.8	9.5	2.4
	漁業	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	商工サービス業自営	47.1	37.3	33.3	15.7	21.6	19.6	17.6	9.8	11.8	11.8	2.0	2.0
	事務職	35.1	36.8	28.1	31.6	17.5	10.5	10.5	14.0	17.5	14.0	7.0	1.8
	技術職	46.4	35.7	37.5	14.3	10.7	3.6	12.5	8.9	8.9	14.3	7.1	8.9
	労務職	45.6	38.2	35.3	17.6	8.8	19.1	11.8	14.7	8.8	20.6	4.4	4.4
	管理職	60.0	35.0	45.0	15.0	5.0	15.0	10.0	40.0	5.0	5.0	0.0	0.0
	自由業	25.0	25.0	16.7	25.0	16.7	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3
	主婦	44.2	36.3	31.9	24.8	17.7	15.0	12.4	9.7	12.4	8.8	4.4	0.9
	学生	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	無職	40.0	36.0	45.0	16.0	13.0	11.0	19.0	10.0	15.0	14.0	6.0	1.0
	その他	36.8	28.9	13.2	15.8	15.8	10.5	5.3	18.4	15.8	10.5	5.3	7.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	40.0	37.1	25.7	21.4	18.6	12.9	10.0	8.6	4.3	18.6	11.4	2.9
	小学生の子どもがいる	36.2	37.8	33.1	19.7	17.3	11.0	11.8	14.2	9.4	16.5	5.5	6.3
	中学生の子どもがいる	54.2	30.6	30.6	18.1	16.7	12.5	16.7	22.2	16.7	8.3	8.3	0.0
	高校生の子どもがいる	50.0	40.9	25.8	12.1	15.2	6.1	12.1	13.6	12.1	9.1	9.1	4.5
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	49.2	32.8	26.2	19.7	14.8	4.9	9.8	16.4	14.8	16.4	4.9	1.6
	その他	43.3	32.6	36.8	22.7	12.7	14.4	13.1	11.0	13.4	12.0	3.8	2.4

副問2　あなたは、今後、地域の活動に参加できますか。　（1つだけ○印）
（問 13 で「1」に○をしなかった方（参加したことがない方）のみお答えください。）

これまで地域の活動に参加したことのない人の参加意向については、「参加できる」は5.0%、「条件が整えば参加できる、参加してみたい」は 47.9%を占めており、過半数の人が参加の可能性がある。一方、「参加できない、参加したくない」は 20.8%と約５人に１人いる。

《 総 合 》



【性別】
男女とも「参加できる」は５%前後であり、「条件が整えば参加できる、参加してみたい」は男性が 51.6%で女性を上回っている。

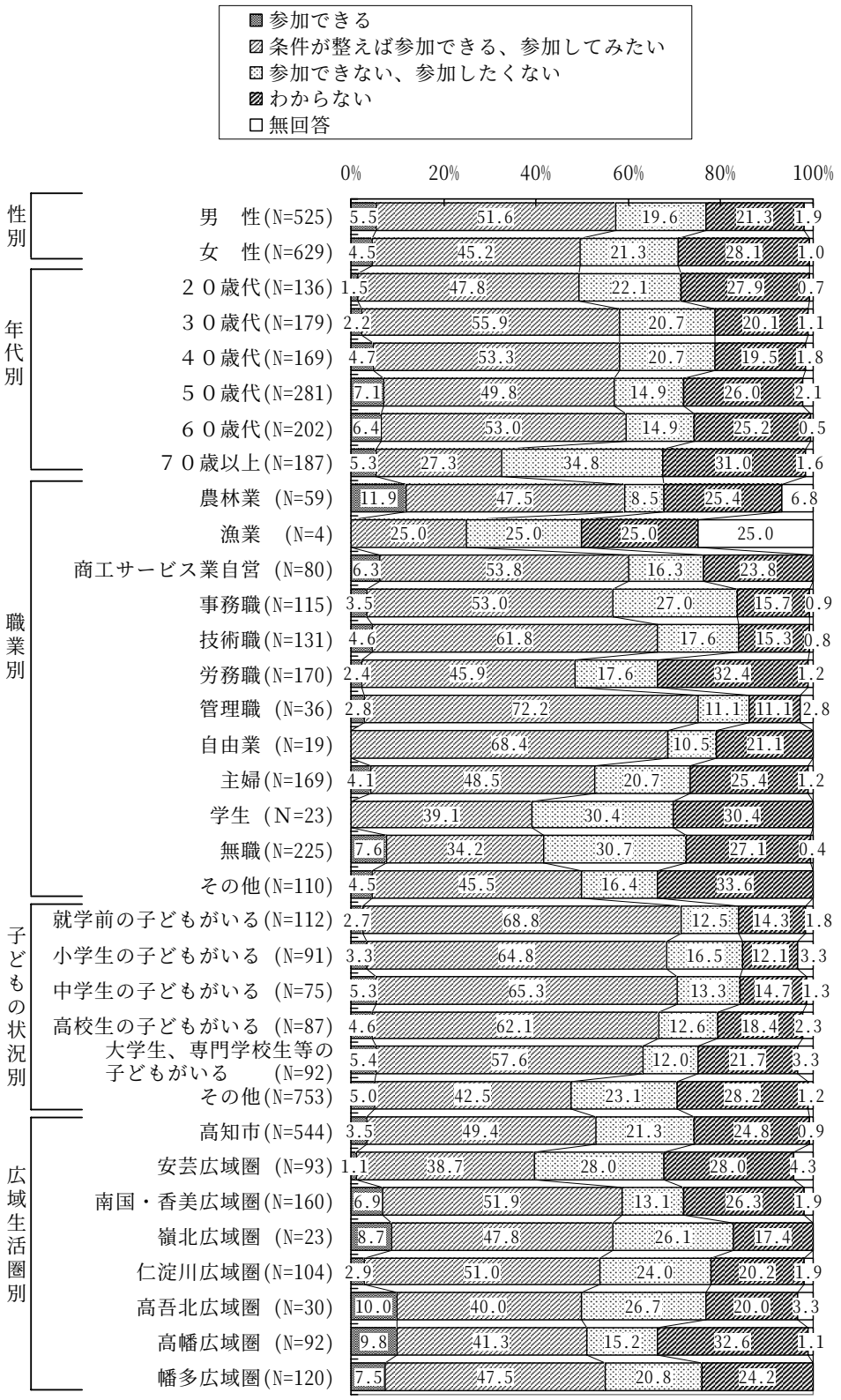
【年代別】
50 歳代以上の各年齢階層で「参加できる」人の割合が５%を上回る一方、40 歳代以下の各年齢階層では５%未満である。また、70 歳以上を除く各年齢階層では「条件が整えば参加できる、参加してみたい」が 50～55%近くを占めている。

【職業別】
「参加できる」の割合が平均（5.0%）を上回っているのは農林業、無職、商工サービス業自営の３つと少ないが、多くの職業区分では「条件が整えば参加できる、参加してみたい」が 50%以上を占め、管理職では 72.2%を占めている。

【子どもの状況別】
「参加できる」の割合は子どもの状況による差は少ないが、小さな子どもがいる家庭ほど「条件が整えば参加できる、参加してみたい」の割合が高い傾向がみられる。

【地域別】
高吾北、高幡、嶺北広域圏では「参加できる」の割合が約 10%を占めているが、安芸や仁淀川広域圏、高知市では平均（5.0%）を下回っている。しかし、「条件が整えば参加できる、参加してみたい」の割合は、いずれの地域でも 40～50%近くを占めている。

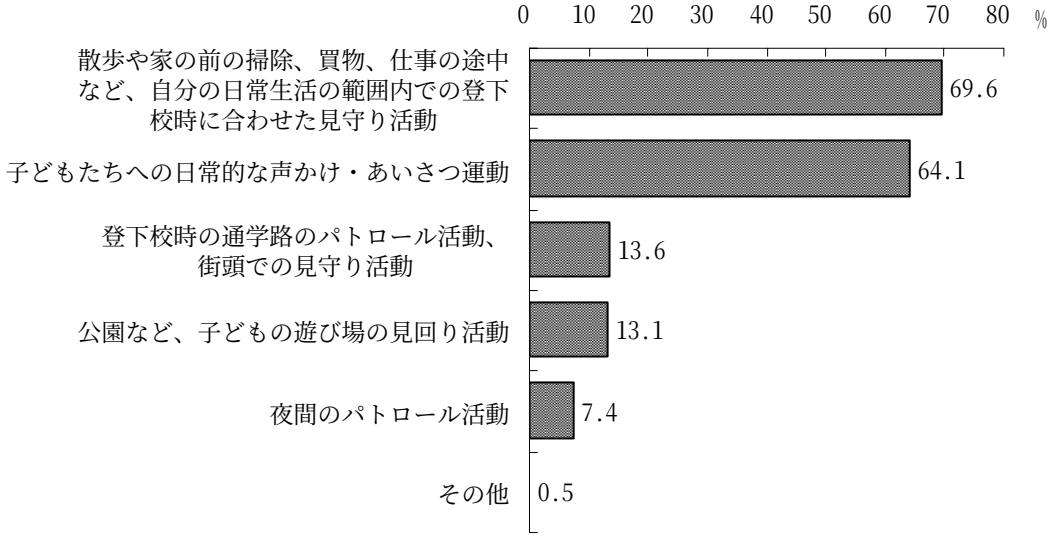
《　性別・年代別・職業別・子どもの状況別・地域別　》



副々問1　どのような活動に参加できると思いますか。　（2つまで○印）
（副問2で「1　参加できる」「2　条件が整えば参加できる、参加してみたい」と答えた方のみお答えください。）

参加できる活動は、「散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動」が 69.6%で最も多いが、「子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動」も 64.1%を占めている。

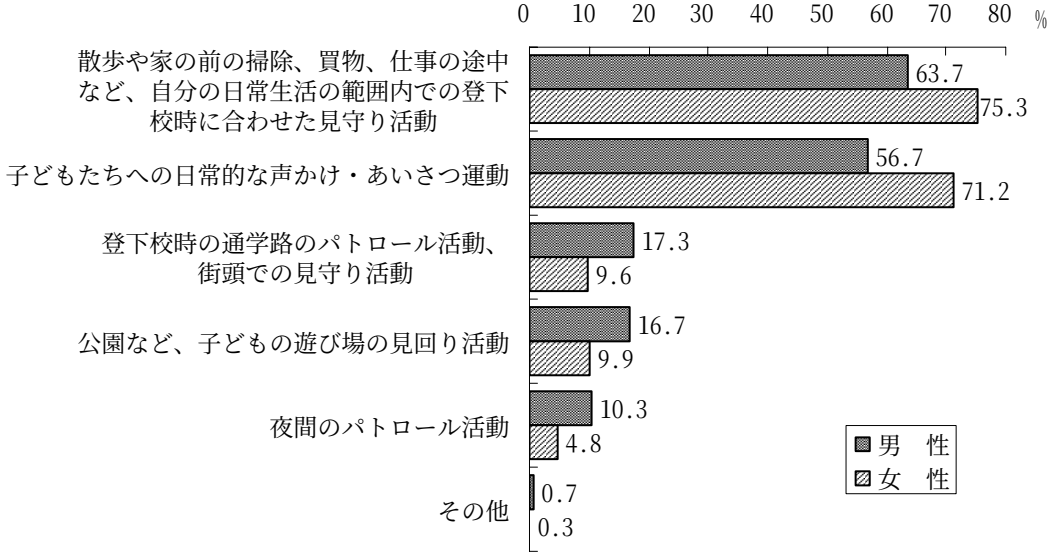
《 総 合 》



【性別】

男女とも上位２つは《総合》と同じであるが、その比率は両方とも女性が男性を上回っており、女性はいずれも 70%を超えている。

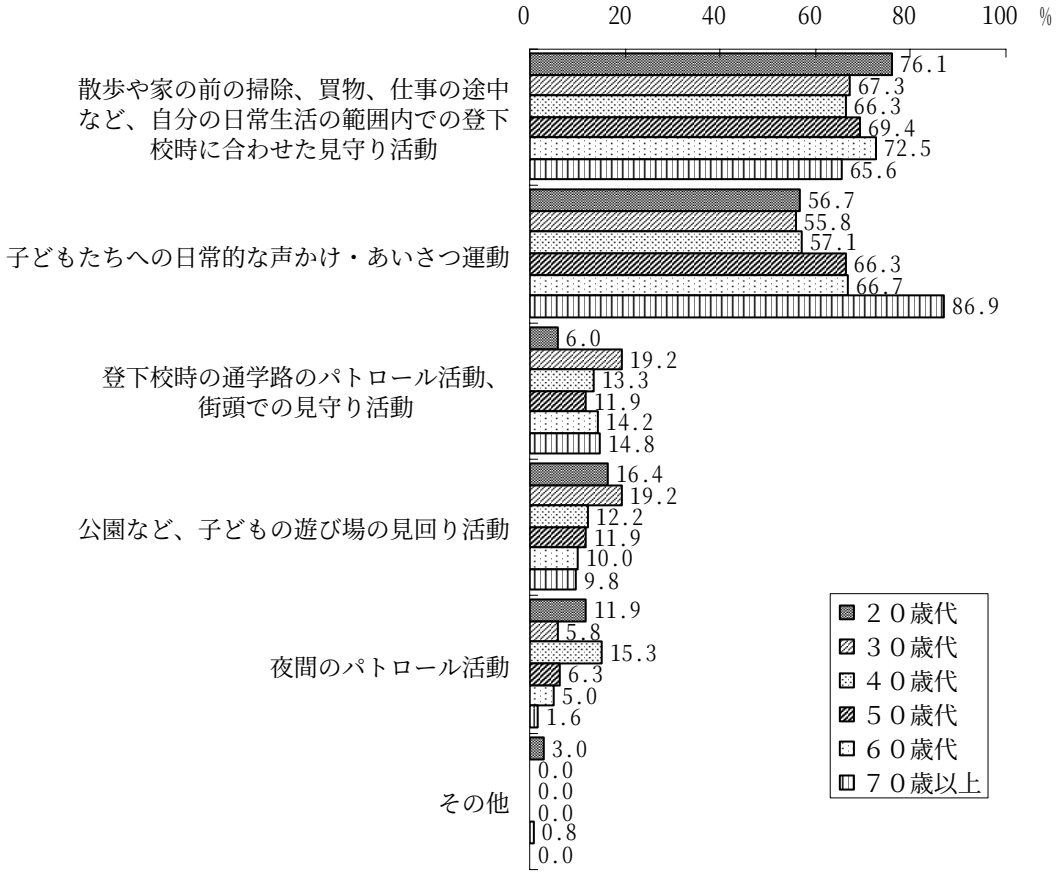
《 性 別 》



【年代別】

いずれの年齢階層でも上位２つは《総合》と同じであるが、「散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動」は若い年齢階層でやや高く、年齢が高くなるほど「子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動」の比率が高くなる傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別】

農林業、管理職、無職では「子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動」の比率が最も高く、その他の職業区分では「散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動」の比率が最も高くなっている。

【子どもの状況別】

いずれも「散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動」と「子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動」の比率が 60～70%程度と高い。また、小学生の子どもがいる家庭は「登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動」が 24.2%と、他に比べ高くなっている。

【地域別】

いずれの地域でも「散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動」と「子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動」の比率が高い。

《　職業別・子どもの状況別・地域別　》

単位：%

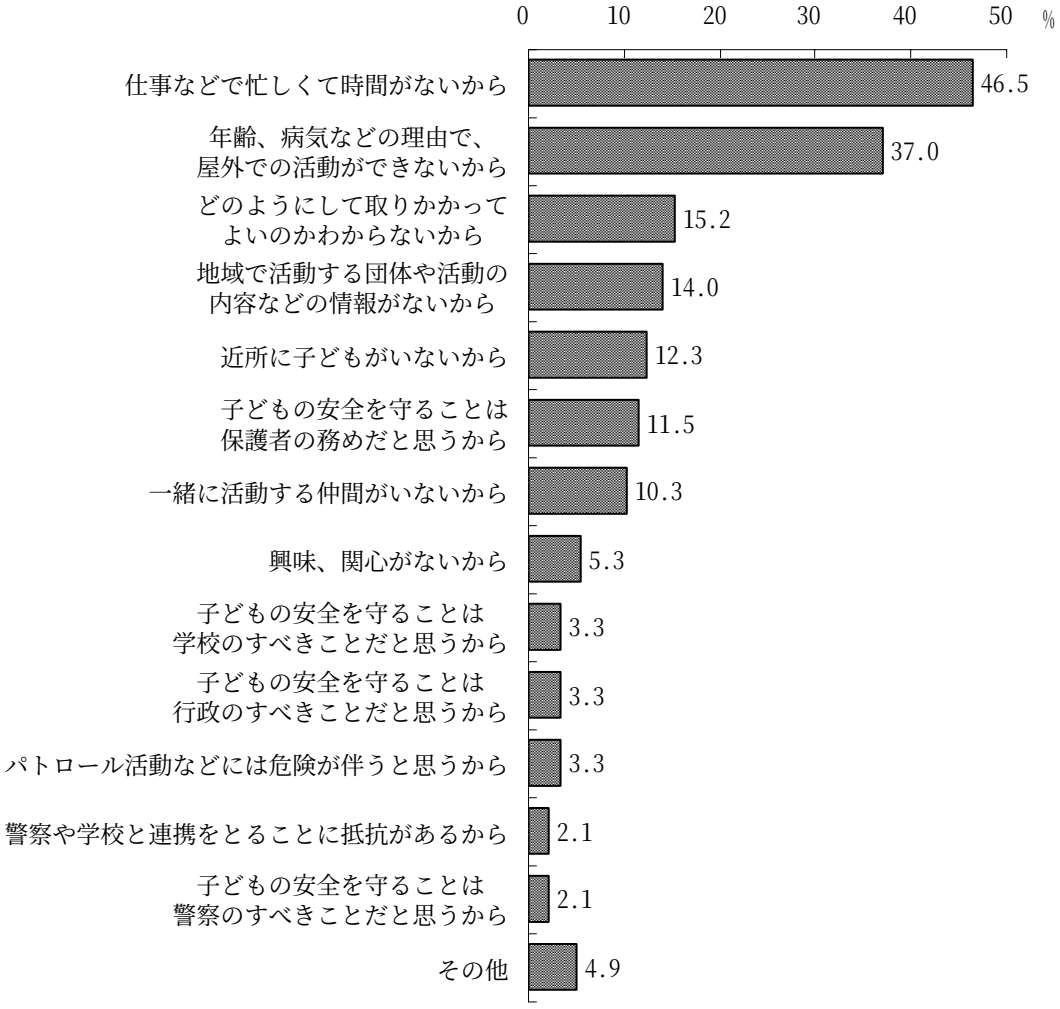
項目		散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動	子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動	登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動	公園など、子どもの遊び場の見回り活動	夜間のパトロール活動	その他
職業別	農林業	77.1	82.9	11.4	2.9	8.6	0.0
	漁業	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	68.8	50.0	14.6	16.7	10.4	0.0
	事務職	67.7	60.0	9.2	12.3	13.8	1.5
	技術職	71.3	63.2	9.2	14.9	1.1	1.1
	労務職	65.9	63.4	15.9	9.8	13.4	0.0
	管理職	51.9	55.6	14.8	14.8	11.1	0.0
	自由業	76.9	53.8	23.1	7.7	0.0	0.0
	主婦	78.7	70.8	9.0	10.1	3.4	1.1
	学生	88.9	11.1	22.2	33.3	22.2	0.0
	無職	64.9	71.3	17.0	16.0	4.3	0.0
	その他	67.3	63.6	16.4	20.0	9.1	0.0
子どもの状況	就学前の子どもがいる	70.0	57.5	15.0	13.8	10.0	1.3
	小学生の子どもがいる	61.3	61.3	24.2	11.3	12.9	0.0
	中学生の子どもがいる	69.8	69.8	11.3	15.1	9.4	0.0
	高校生の子どもがいる	69.0	63.8	13.8	15.5	8.6	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	60.3	63.8	10.3	15.5	8.6	0.0
	その他	72.3	66.2	11.7	13.1	5.9	0.6
	無回答	66.7	61.1	22.2	5.6	3.7	0.0
広域生活圏別	高知市	69.4	56.9	13.5	16.0	8.0	0.3
	安芸広域圏	78.4	64.9	10.8	5.4	16.2	0.0
	南国・香美広域圏	68.1	72.3	13.8	9.6	5.3	1.1
	嶺北広域圏	53.8	53.8	23.1	7.7	7.7	0.0
	仁淀川広域圏	69.6	69.6	16.1	14.3	3.6	1.8
	高吾北広域圏	66.7	60.0	6.7	6.7	6.7	0.0
	高幡広域圏	68.1	68.1	12.8	12.8	10.6	0.0
	幡多広域圏	72.7	77.3	13.6	12.1	4.5	0.0

副々問2　参加できない、参加したくない理由は何ですか。　（3つまで○印）
（副問2で「3　参加できない、参加したくない」と答えた方のみお答えください。）

参加できない、あるいは参加したくない理由は、「仕事などで忙しくて時間がないから」が46.5%で最も多く、次いで、「年齢、病気などの理由で、屋外での活動ができないから」が37.0%を占めており、これら２つが主な理由となっている。

以下、「どのようにして取りかかってよいのかわからないから」や「地域で活動する団体や活動の内容などの情報がないから」が15%前後、「近所に子どもがいないから」、「子どもの安全を守ることは保護者の務めだと思うから」、「一緒に活動する仲間がいないから」が10%超で続いている。

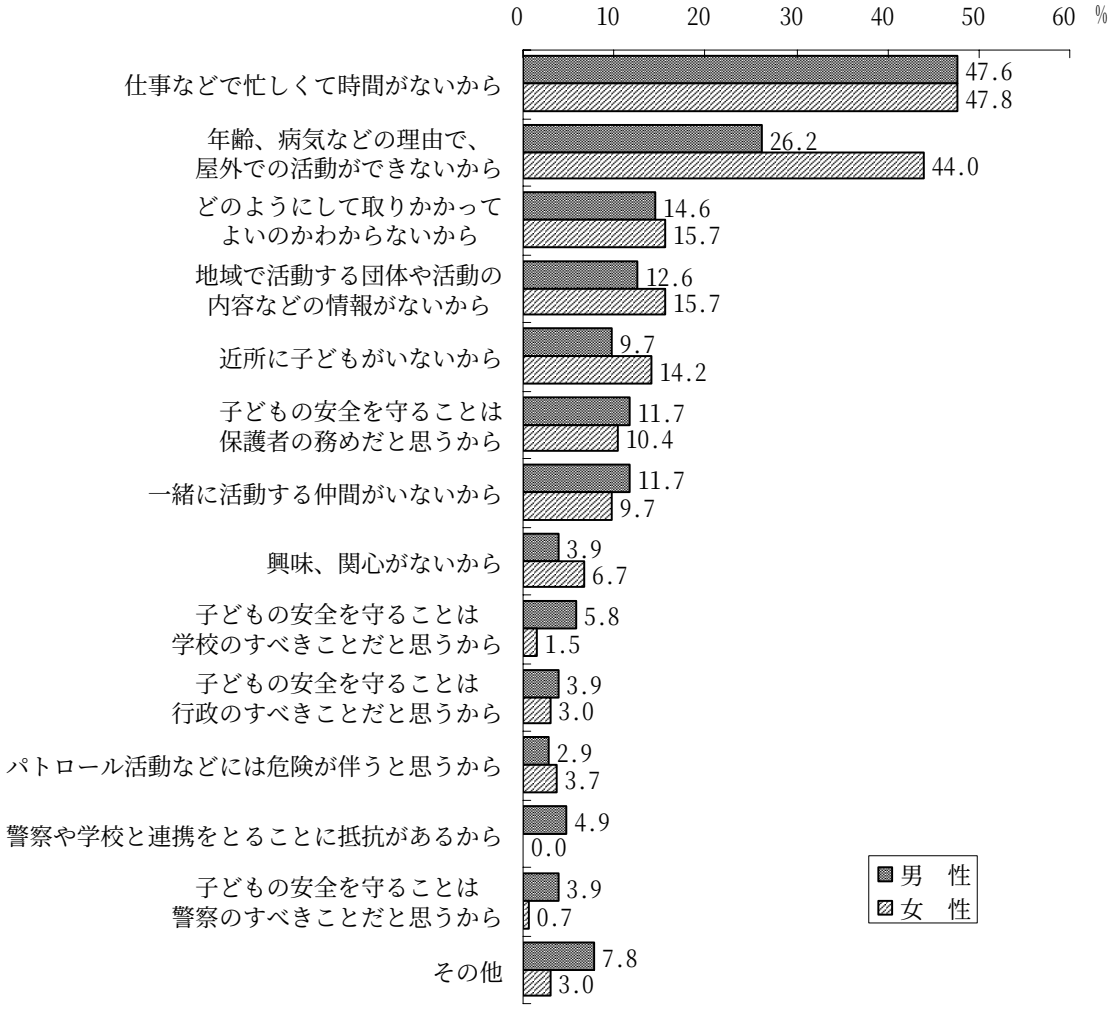
《　総　合　》



【性別】

男女とも「仕事などで忙しくて時間がないから」が最も多く、その比率もほとんど同じであるが、２番目に比率の高い「年齢、病気などの理由で、屋外での活動ができないから」は、女性で 44.0%を占め、男性の 26.2%を大きく上回っている。

《 性 別 》



【年代別】

50 歳代までは「仕事などで忙しくて時間がないから」の比率が最も高く、いずれの年齢階層でも 60%を超えている。一方、60 歳以上になると「年齢、病気などの理由で、屋外での活動ができないから」の比率が高くなり、70 歳以上では 90%を超えている。また、20 歳代と 50 歳代で「どのようにして取りかかってよいのかわからないから」の比率が他の年齢階層に比べて高くなっている。

《 年 代 別 》

単位：%

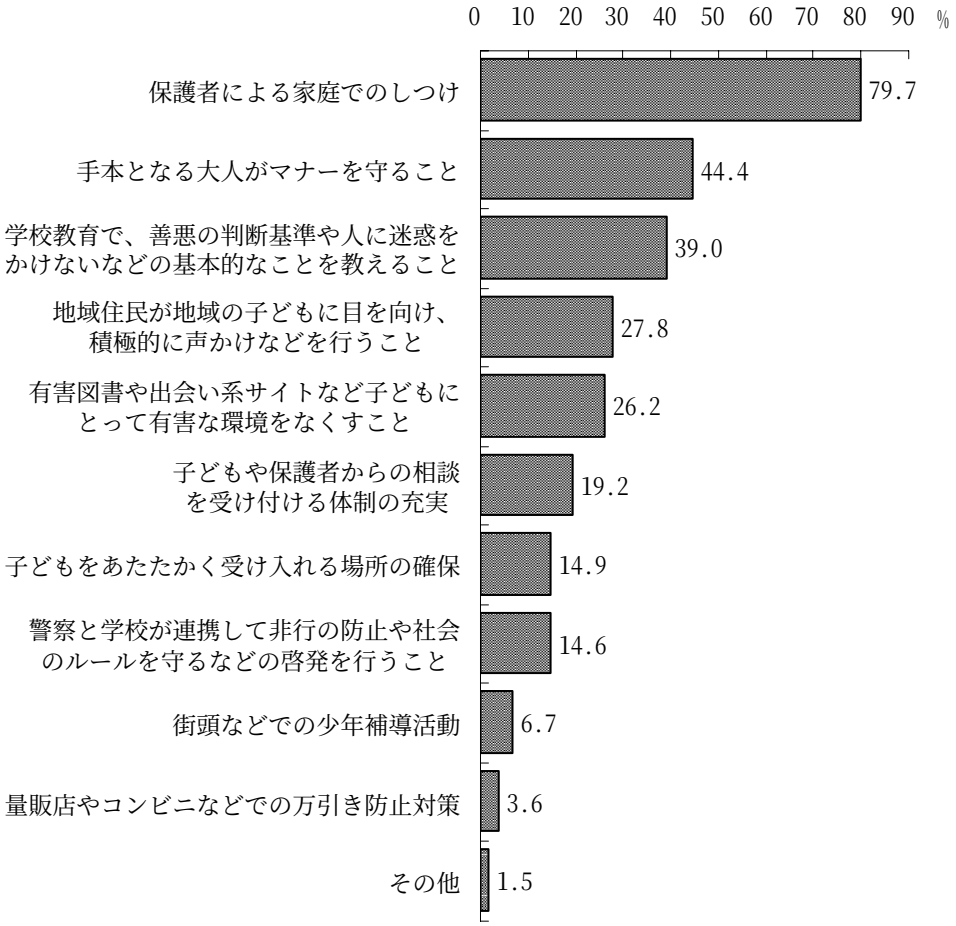
項目 / 年代	仕事などで忙しくて時間がないから	年齢、病気などの理由で、屋外での活動ができないから	どのようにして取りかかってよいのかわからないから	地域で活動する団体や活動の内容などの情報がないから	近所に子どもがいないから	子どもの安全を守ることは保護者の務めだと思うから	一緒に活動する仲間がいないから	興味、関心がないから	子どもの安全を守ることは学校のすべきことだと思うから	子どもの安全を守ることは行政のすべきことだと思うから	パトロール活動などには危険が伴うと思うから	警察や学校と連携をとることに抵抗があるから	子どもの安全を守ることは警察のすべきことだと思うから	その他
２０歳代	66.7	3.3	26.7	20.0	10.0	3.3	10.0	3.3	0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	13.3
３０歳代	67.6	8.1	16.2	8.1	2.7	13.5	21.6	16.2	2.7	2.7	5.4	2.7	2.7	13.5
４０歳代	80.0	5.7	8.6	22.9	14.3	14.3	8.6	5.7	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	5.7
５０歳代	61.9	11.9	31.0	19.0	16.7	19.0	9.5	4.8	9.5	4.8	4.8	2.4	7.1	0.0
６０歳代	30.0	53.3	13.3	16.7	16.7	13.3	20.0	6.7	3.3	10.0	0.0	6.7	0.0	0.0
７０歳以上	7.7	92.3	3.1	6.2	13.8	4.6	1.5	0.0	3.1	3.1	4.6	0.0	0.0	1.5

問 14　子どもの非行を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。

（3つまで○印）

子どもの非行を防止するための取り組みとしては、「保護者による家庭でのしつけ」が79.7%で最も多い。次いで、「手本となる大人がマナーを守ること」が 44.4%、「学校教育で、善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること」が 39.0%、以下、「地域住民が地域の子どもに目を向け、積極的に声かけなどを行うこと」と「有害図書や出会い系サイトなど子どもにとって有害な環境をなくすこと」が 25%超などと続いている。

《 総　合 》

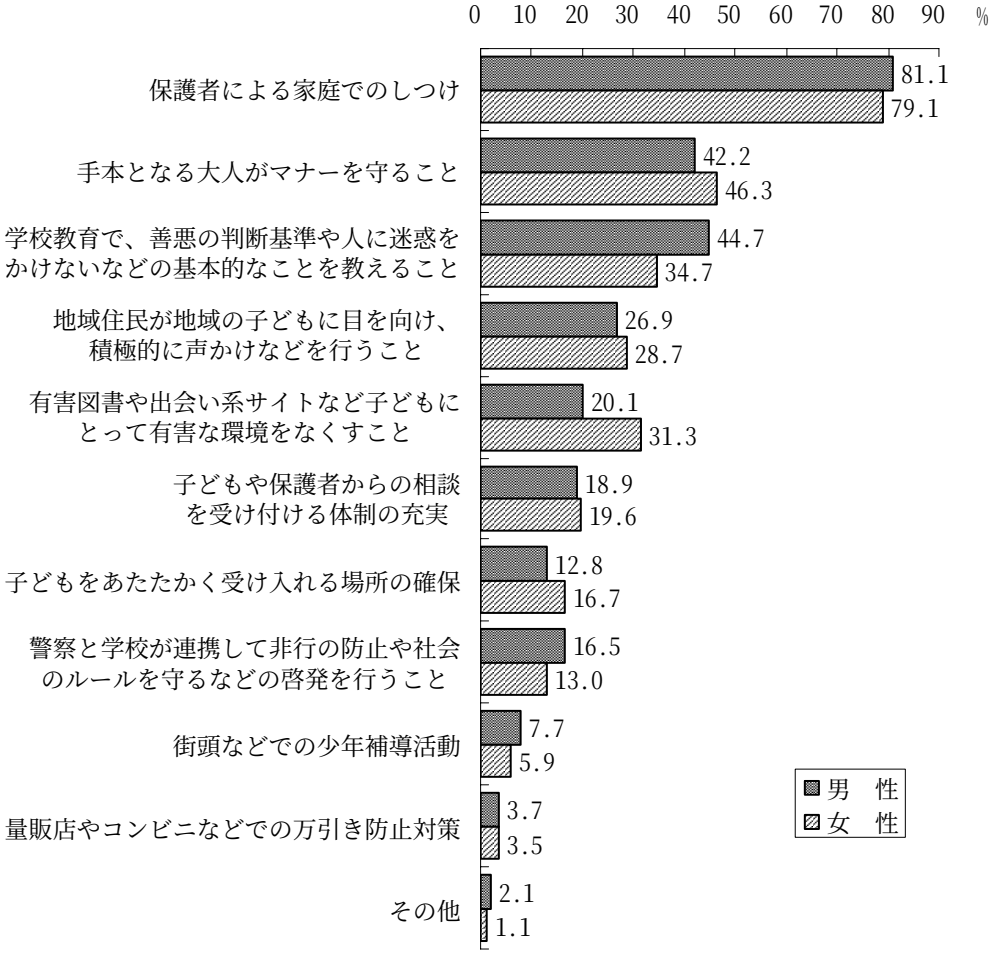


【性別】

男女とも「保護者による家庭でのしつけ」がともに 80%前後で最も多く、次いで「手本となる大人がマナーを守ること」と「善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること」が 35～45%程度と高い比率となっている。

男女でやや違いがみられる項目は、「学校教育で、善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること」と「有害図書や出会い系サイトなど子どもにとって有害な環境をなくすこと」であり、前者は男性が 44.7%で女性を 10 ポイント上回り、後者は女性が 31.3%で男性を 10 ポイント近く上回っている。

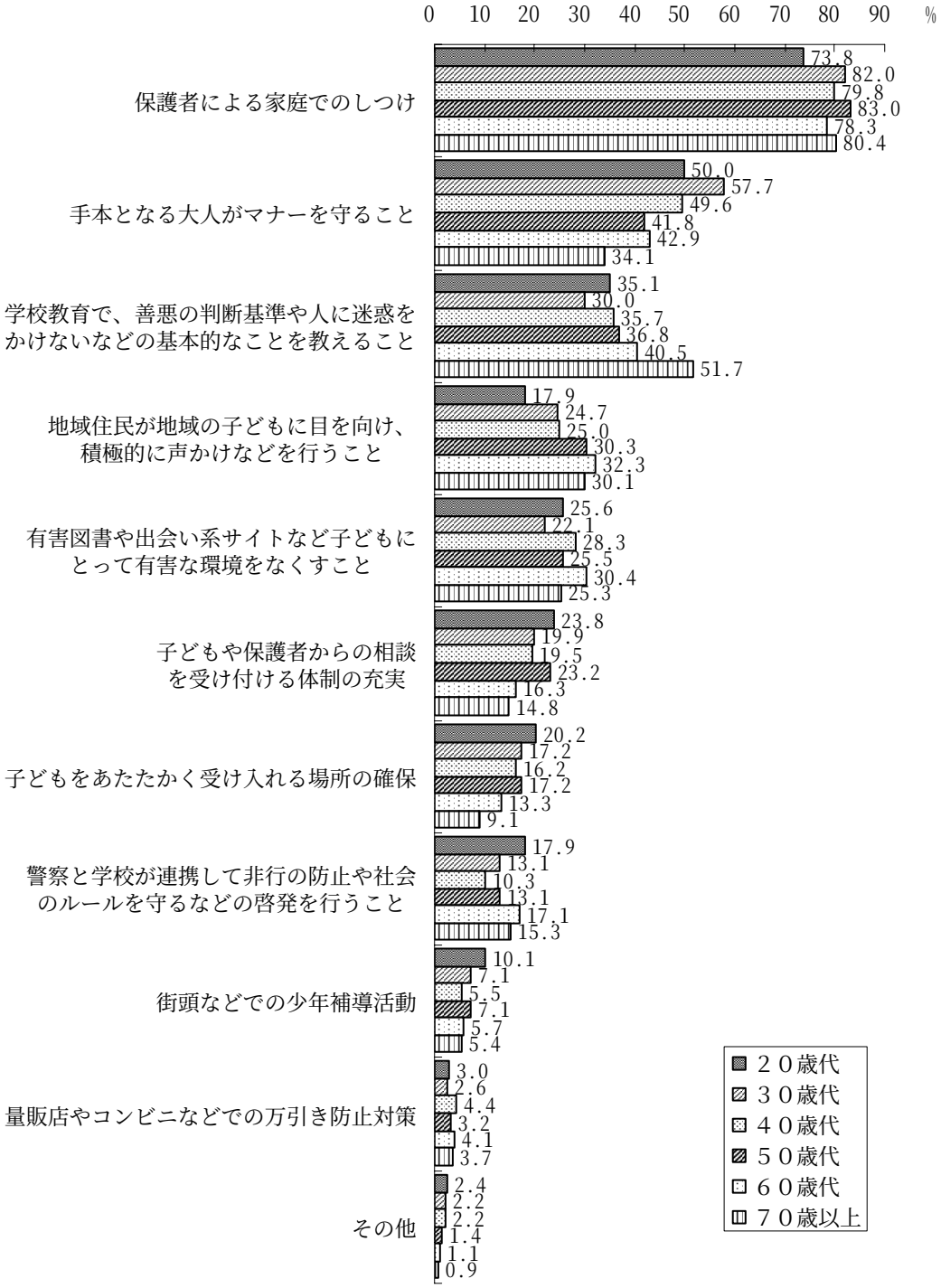
《 性 別 》



【年代別】

いずれの年齢階層でも「保護者による家庭でのしつけ」が最も多く、70%を超えている。次いで、「手本となる大人がマナーを守ること」や「学校教育で、善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること」の比率が高いが、前者は若い年齢階層で、後者は年齢が高くなるほどその比率が高い傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別】

いずれの職業区分でも「保護者による家庭でのしつけ」が最も多く、70%以上を占めている。次いで、「手本となる大人がマナーを守ること」や「学校教育で、善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること」の比率が高くなっている。

《 職 業 別 》

単位：%

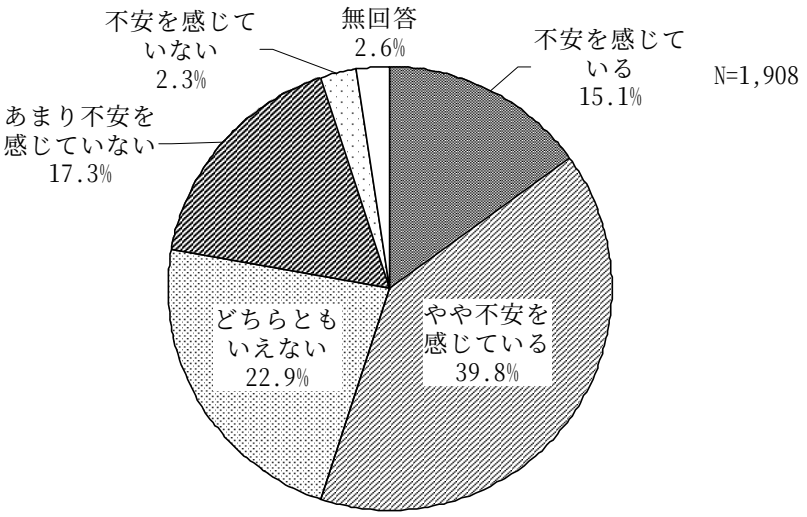
項目／職業	保護者による家庭でのしつけ	手本となる大人がマナーを守ること	学校教育で、善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること	地域住民が地域の子どもに目を向け、積極的に声かけなどを行うこと	有害図書や出会い系サイトなど子どもにとって有害な環境をなくすこと	子どもや保護者からの相談を受け付ける体制の充実	子どもをあたたかく受け入れる場所の確保	警察と学校が連携して非行の防止や社会のルールを守るなどの啓発を行うこと	街頭などでの少年補導活動	量販店やコンビニなどでの万引き防止対策	その他
農林業	78.1	32.5	50.9	36.0	24.6	19.3	16.7	12.3	5.3	2.6	0.0
漁業	70.0	40.0	60.0	10.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商工サービス業自営	77.9	44.3	42.1	33.6	22.9	18.6	10.7	16.4	8.6	3.6	3.6
事務職	82.2	51.7	30.5	21.8	24.1	24.1	19.0	14.9	4.6	3.4	1.7
技術職	84.0	54.5	33.2	29.9	23.0	21.9	18.2	10.7	7.0	2.1	1.6
労務職	78.8	47.6	36.8	30.8	28.4	22.0	14.8	10.8	4.8	3.6	0.8
管理職	89.7	43.1	53.4	24.1	19.0	10.3	15.5	17.2	3.4	3.4	3.4
自由業	87.5	50.0	37.5	21.9	12.5	18.8	21.9	12.5	9.4	6.3	3.1
主婦	81.4	45.1	32.0	32.0	32.0	16.7	12.7	14.4	7.2	2.9	1.0
学生	80.8	42.3	34.6	19.2	26.9	23.1	19.2	26.9	15.4	3.8	0.0
無職	80.7	39.1	49.1	25.6	26.9	15.6	10.8	17.7	7.4	4.0	1.1
その他	72.3	43.4	32.7	21.4	28.9	23.3	21.4	14.5	8.2	4.4	2.5

問 15　あなたは、現在の高知県の治安について、どのように感じていますか。（1つだけ○印）

現在の高知県の治安については、「不安を感じている」が 15.1%、「やや不安を感じている」が 39.8%であり、両者を合わせて 54.9%の人が現在の高知県の治安に【不安を感じている】（＝「不安を感じている」＋「やや不安を感じている」）と回答している。

一方、「不安を感じていない」は 2.3%、「あまり不安を感じていない」は 17.3%であり、【不安を感じていない】（＝「不安を感じていない」＋「あまり不安を感じていない」）人は 19.6%である。

《 総 合 》



【性別】

男女とも過半数が【不安を感じている】と回答しているが、その割合は女性が 58.6%で男性の 51.2%を上回っている。

【年代別】

20 歳代で【不安を感じている】人の割合は 43.4%であるが、その他の年齢階層ではいずれも 50%を超えており、最も高い 60 歳代は 60.1%である。

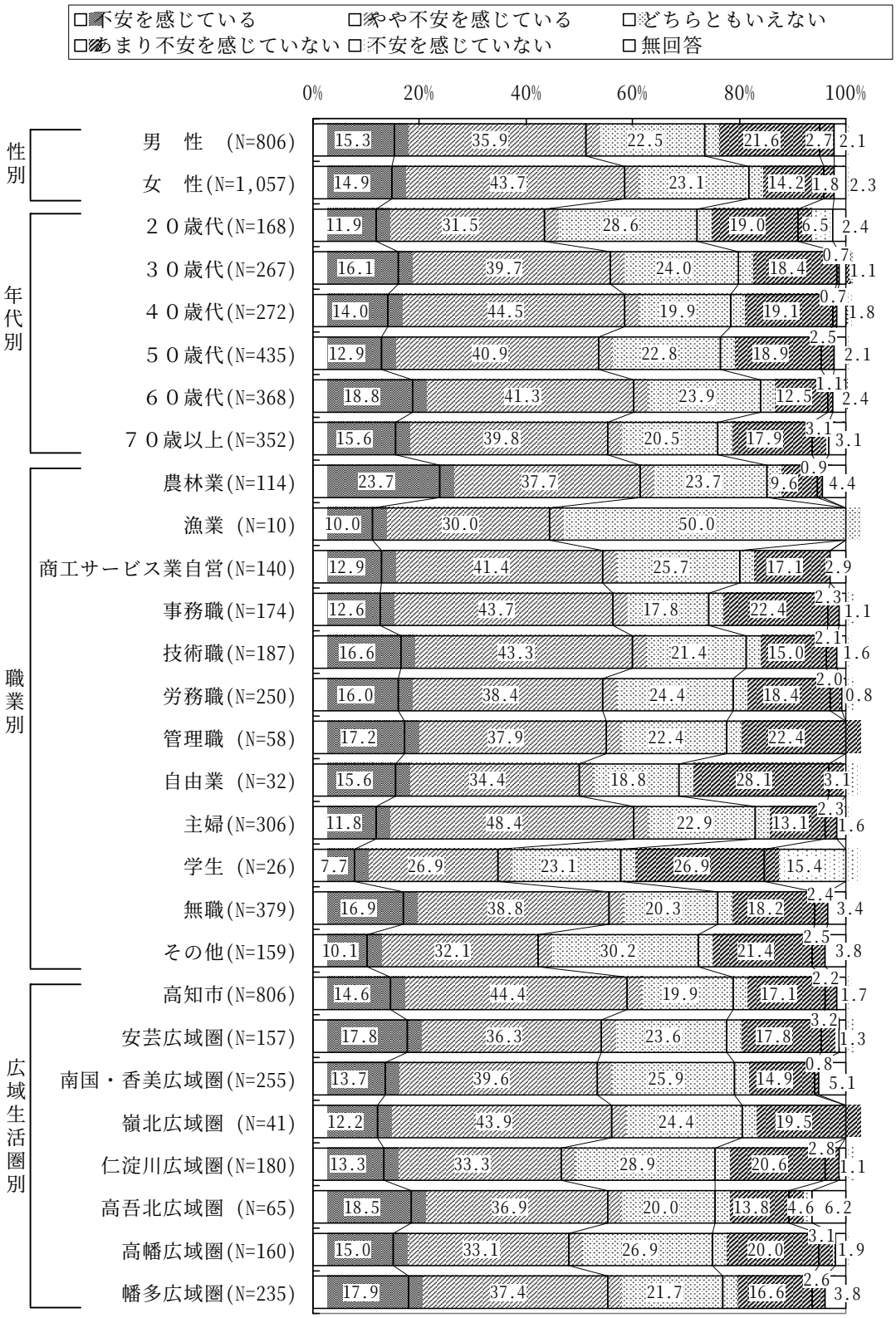
【職業別】

学生、漁業、その他の職業区分で【不安を感じている】人の割合は 40%前後であるが、それら以外の職業区分ではいずれも 50%以上を占めており、農林業や主婦では 60%を超えている。

【地域別】

高知市で【不安を感じている】人の割合が 59.0%と最も高く、嶺北、高吾北、幡多広域圏も 55%近くを占めている。その他の地域についても、仁淀川、高幡広域圏を除いて 50%超が【不安を感じている】と答えており、最も低い仁淀川広域圏でも 46.6%となっている。

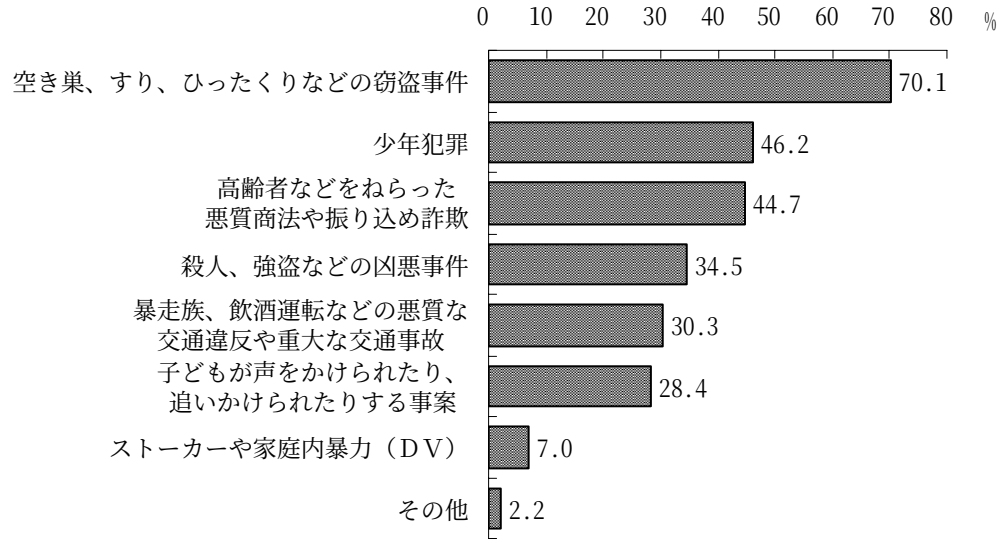
《　性別・年代別・職業別・地域別　》



副問　あなたは、どのようなことに対して不安を感じていますか。　　（3つまで○印）
（問 15 で「1　不安を感じている」「2　やや不安を感じている」と答えた方のみお答えください。）

高知県の治安で不安に感じていることは、「空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件」が 70.1%で最も多く、「少年犯罪」や「高齢者などをねらった悪質商法や振り込め詐欺」が 45%前後、「殺人、強盗などの凶悪事件」が約 35%などで続いている。

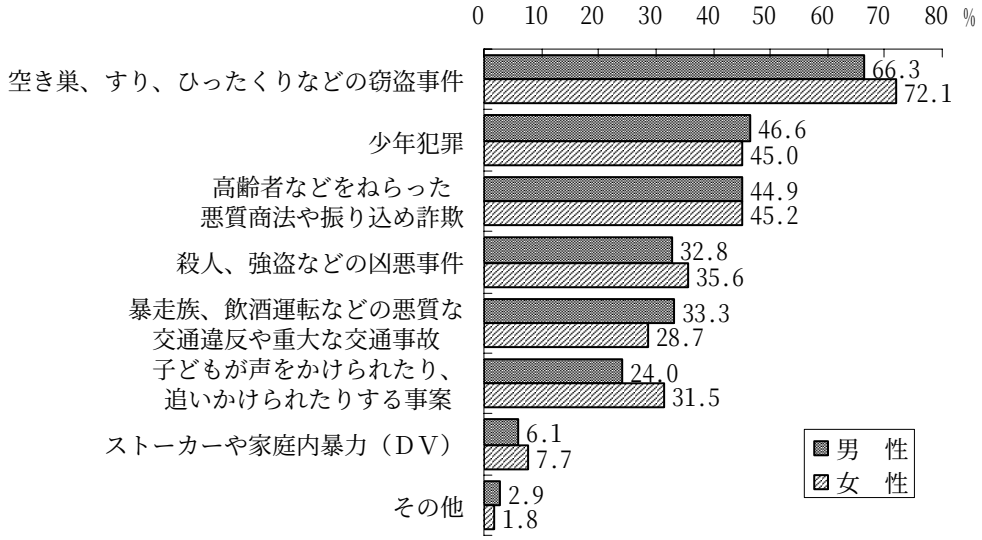
《　総　合　》



【性別】

男女とも「空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件」が最も多いが、その比率は女性が 72.1%で、男性の 66.3%を上回っている。その他については、「子どもが声をかけられたり、追いかけられたりする事案」の比率が女性が 31.5%で男性の 24.0%を上回っているほかは、男女で大きな違いはない。

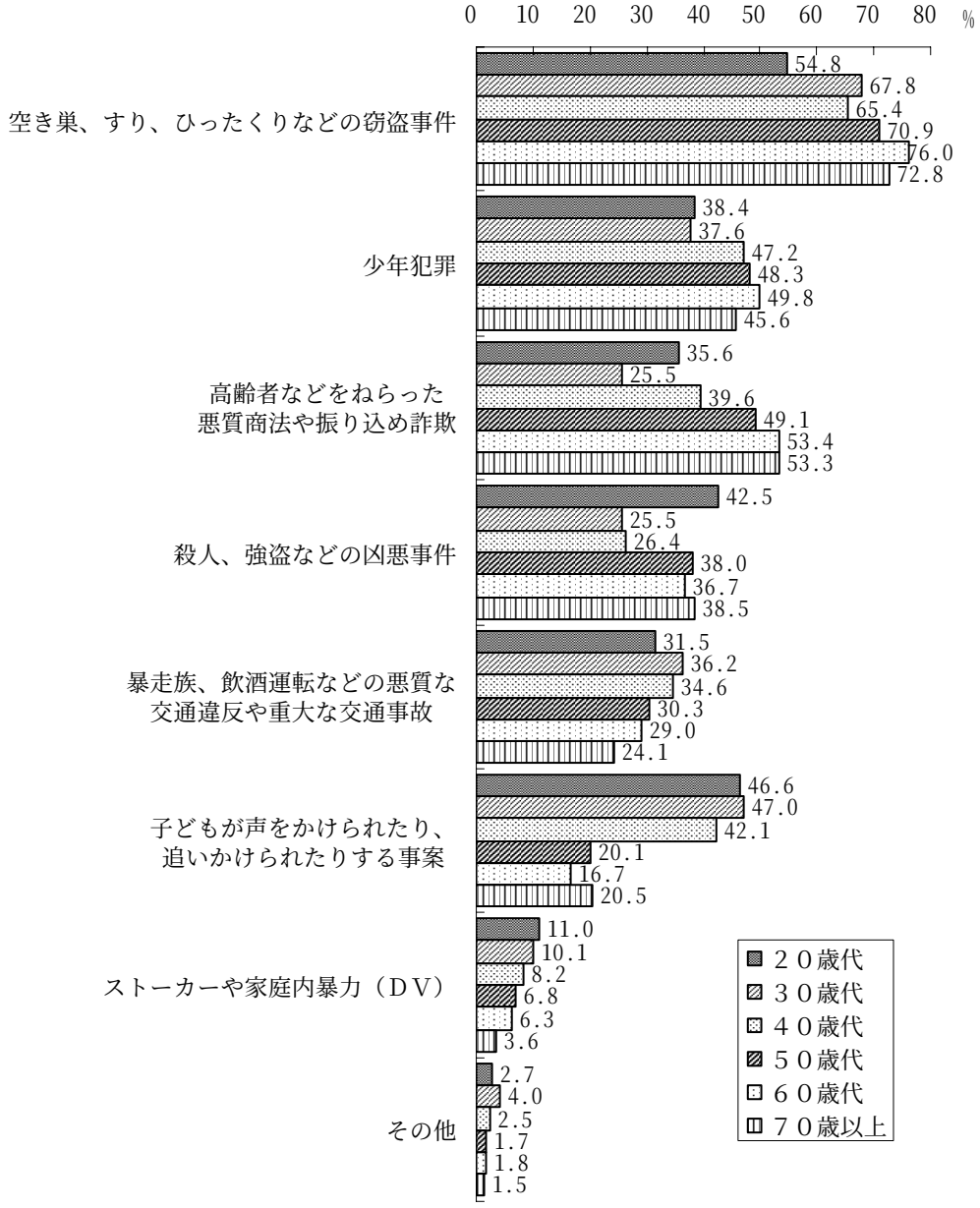
《　性　別　》



【年代別】

いずれの年齢階層でも「空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件」が最も多く、その比率は年齢が高くなるほど高くなる傾向がみられる。その他では、「少年犯罪」や「高齢者などをねらった悪質商法や振り込め詐欺」の比率が高いが、前者は年齢による差はそれほど大きくなく、後者は年齢が高くなるほど高くなる傾向がみられる。また、40 歳代以下の各年齢階層では「子どもが声をかけられたり、追いかけられたりする事案」の比率が高く、いずれも 40%を超えている。

《 年 代 別 》



【職業別】

自由業で「少年犯罪」、漁業で「暴走族、飲酒運転などの悪質な交通違反や重大な交通事故」の比率が最も高い以外、すべての職業区分で「空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件」の比率が最も高く、商工サービス業自営、主婦、無職などでは70%を超えている。

【地域別】

いずれの地域でも「空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件」が最も多く、高知市や嶺北広域圏では75%前後を占めている。その他では、安芸広域圏で「少年犯罪」、嶺北や高吾北、幡多広域圏で「高齢者などをねらった悪質商法や振り込め詐欺」の比率が他の地域に比べて高くなっている。

《　職業別・地域別　》

単位：%

項目		空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件	少年犯罪	高齢者などをねらった悪質商法や振り込め詐欺	殺人、強盗などの凶悪事件	暴走族、飲酒運転などの悪質な交通違反や重大な交通事故	子どもが声をかけられたり、追いかけられたりする事案	ストーカーや家庭内暴力（DV）	その他
職業別	農林業	70.0	44.3	47.1	40.0	22.9	22.9	5.7	0.0
	漁業	50.0	25.0	50.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0
	商工サービス業自営	77.6	51.3	40.8	31.6	30.3	17.1	7.9	3.9
	事務職	67.3	48.0	40.8	25.5	30.6	42.9	6.1	1.0
	技術職	64.3	39.3	36.6	35.7	29.5	44.6	8.9	1.8
	労務職	67.6	45.6	39.7	37.5	33.1	27.9	10.3	3.7
	管理職	50.0	46.9	40.6	37.5	46.9	18.8	12.5	3.1
	自由業	43.8	56.3	25.0	31.3	50.0	50.0	6.3	12.5
	主婦	74.5	46.7	52.7	27.7	29.9	29.9	8.2	1.1
	学生	55.6	44.4	11.1	33.3	44.4	33.3	0.0	11.1
	無職	73.0	45.0	59.7	36.0	28.4	18.5	2.8	1.9
	その他	71.6	43.3	29.9	44.8	31.3	31.3	7.5	1.5
広域生活圏別	高知市	75.6	45.6	39.9	34.9	33.4	25.8	7.6	2.5
	安芸広域圏	68.2	55.3	45.9	34.1	23.5	27.1	8.2	1.2
	南国・香美広域圏	69.9	40.4	39.0	35.3	37.5	33.1	5.9	1.5
	嶺北広域圏	73.9	39.1	65.2	21.7	13.0	21.7	4.3	0.0
	仁淀川広域圏	61.9	47.6	51.2	33.3	28.6	32.1	4.8	3.6
	高吾北広域圏	61.1	50.0	58.3	38.9	22.2	30.6	8.3	0.0
	高幡広域圏	64.9	48.1	45.5	32.5	27.3	28.6	6.5	3.9
	幡多広域圏	61.5	46.9	54.6	36.2	24.6	32.3	6.9	0.8

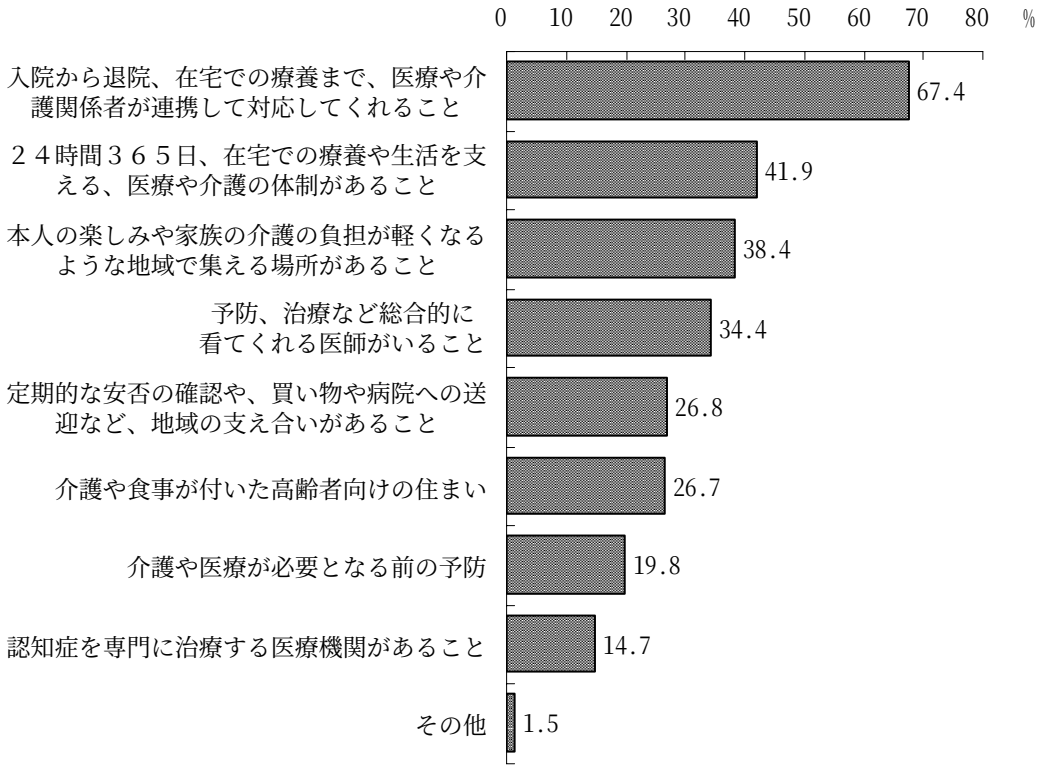
［5］地域ケア体制の整備について

問 16　あなたに医療や介護が必要となったときに地域や住まいで安心安全に生活するために、重要と考えるものは何ですか。　（3つまで○印）

医療や介護が必要となったとき、地域や住まいで安心安全に生活するために重要なものは、「入院から退院、在宅での療養まで、医療や介護関係者が連携して対応してくれること」が最も多く、67.4%を占めている。

次いで、「24 時間 365 日、在宅での療養や生活を支える、医療や介護の体制があること」と「本人の楽しみや家族の介護の負担が軽くなるような地域で集える場所があること」が40%前後、「予防、治療など総合的に看てくれる医師がいること」が 34.4%などで続いている。

《 総 合 》

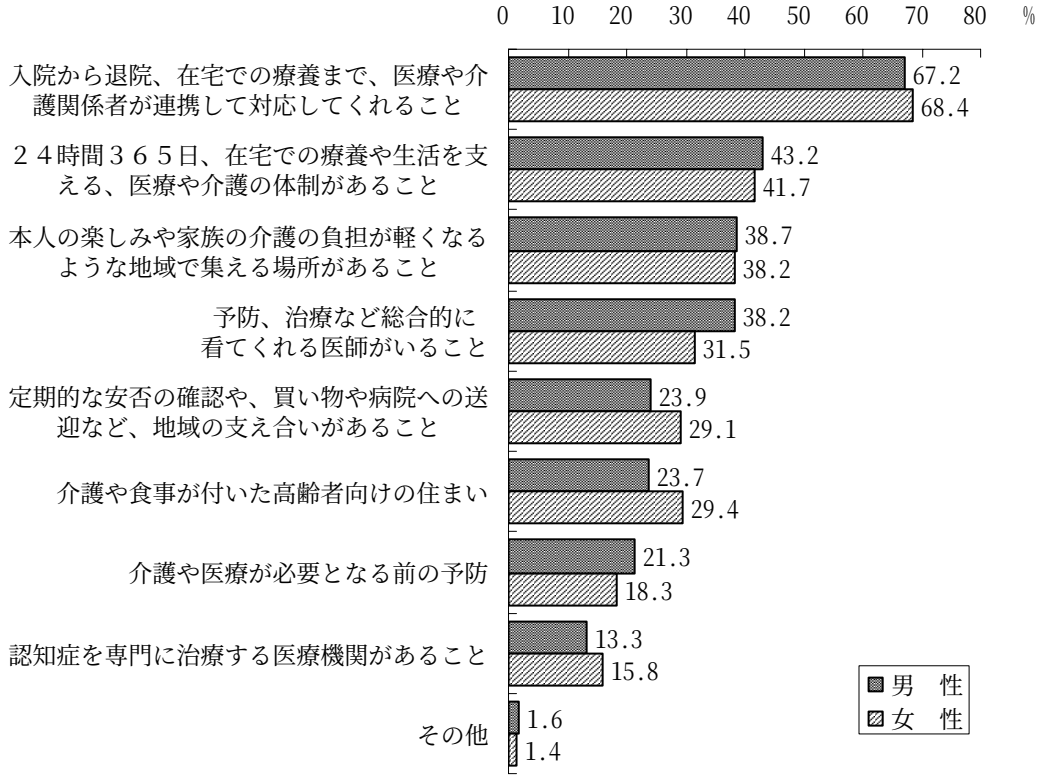


【性別】

男女とも「入院から退院、在宅での療養まで、医療や介護関係者が連携して対応してくれること」が 70%近くと最も多く、「24 時間 365 日、在宅での療養や生活を支える、医療や介護の体制があること」、「本人の楽しみや家族の介護の負担が軽くなるような地域で集える場所があること」などが続いている。

男女で違いがみられるのは、「予防、治療など総合的に看てくれる医師がいること」、「定期的な安否の確認や、買い物や病院への送迎など、地域の支え合いがあること」、「介護や食事が付いた高齢者向けの住まい」などであり、「予防、治療など総合的に看てくれる医師がいること」では男性、「定期的な安否の確認や、買い物や病院への送迎など、地域の支え合いがあること」と「介護や食事が付いた高齢者向けの住まい」では女性の比率が高い。

《 性 別 》

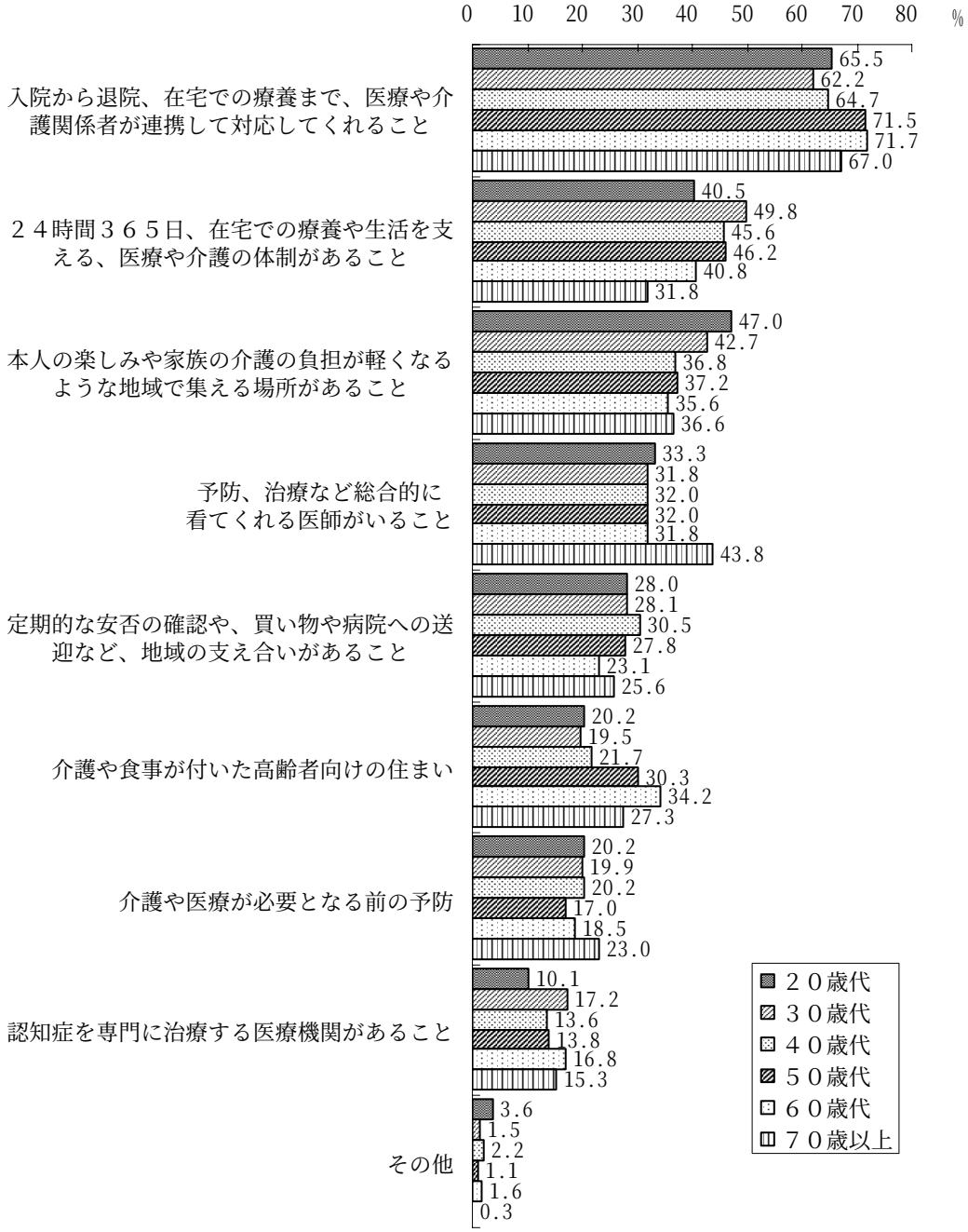


【年代別】

いずれの年齢階層でも「入院から退院、在宅での療養まで、医療や介護関係者が連携して対応してくれること」が最も多く、50 歳代と 60 歳代では 70%を超えている。

その他では、若い年齢階層ほど「24 時間 365 日、在宅での療養や生活を支える、医療や介護の体制があること」と「本人の楽しみや家族の介護の負担が軽くなるような地域で集える場所があること」の比率が高い傾向がみられ、年齢が高くなるほど「介護や食事が付いた高齢者向けの住まい」の比率が高い傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別・世帯構成別・地域別】

職業別、世帯構成別、地域別にみても、いずれにおいても「入院から退院、在宅での療養まで、医療や介護関係者が連携して対応してくれること」が最も多く、その比率は60%以上である。

その他では、「24時間365日、在宅での療養や生活を支える、医療や介護の体制があること」が事務職で、「予防、治療など総合的に看てくれる医師がいること」が管理職、自由業、学生で、「介護や食事が付いた高齢者向けの住まい」が無職、本人のみ世帯、本人と配偶者と親世帯、嶺北広域圏で、「介護や医療が必要となる前の予防」が自由業で、「認知症を専門に治療する医療機関があること」が嶺北広域圏で相対的に高い比率となっている。

《　職業別・世帯構成別・地域別　》

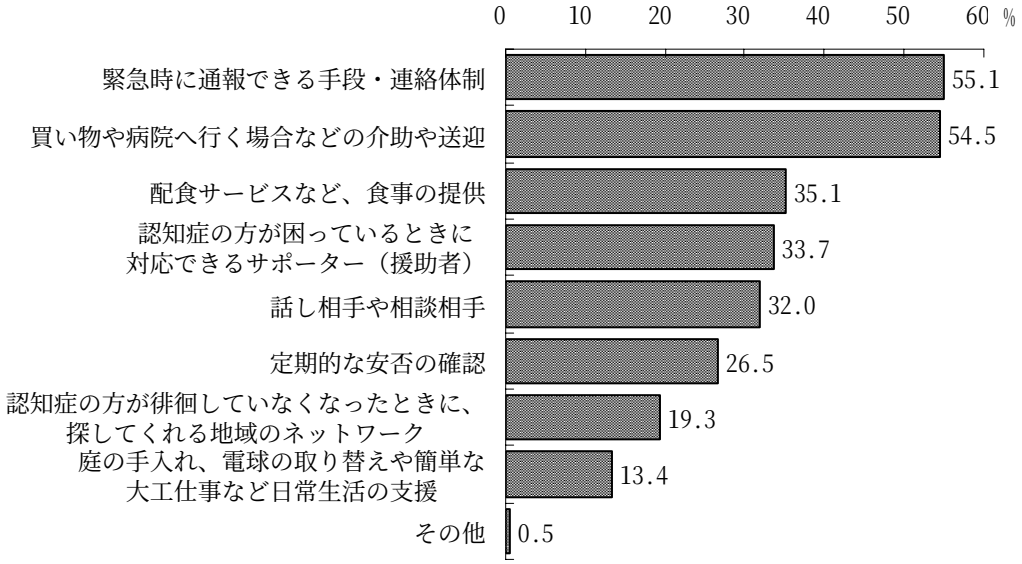
単位：%

項目		入院から退院、在宅での療養まで、医療や介護関係者が連携して対応してくれること	24時間365日、在宅での療養や生活を支える、医療や介護の体制があること	本人の楽しみや家族の介護の負担が軽くなるような地域で集える場所があること	予防、治療など総合的に看てくれる医師がいること	定期的な安否の確認や、買い物や病院への送迎など、地域の支え合いがあること	介護や食事が付いた高齢者向けの住まい	介護や医療が必要となる前の予防	認知症を専門に治療する医療機関があること	その他
職業別	農林業	64.9	31.6	41.2	43.0	32.5	21.1	19.3	18.4	0.9
	漁業	80.0	40.0	40.0	10.0	0.0	30.0	30.0	20.0	0.0
	商工サービス業自営	65.0	38.6	43.6	29.3	29.3	25.0	23.6	13.6	2.1
	事務職	70.7	56.9	33.3	27.0	28.2	21.8	19.0	14.9	2.3
	技術職	66.8	48.7	39.0	32.6	28.3	27.8	19.8	13.9	2.1
	労務職	66.8	44.4	44.8	30.8	28.4	25.2	16.8	14.4	1.6
	管理職	72.4	50.0	29.3	48.3	29.3	19.0	10.3	15.5	0.0
	自由業	78.1	43.8	25.0	46.9	18.8	15.6	37.5	3.1	3.1
	主婦	67.3	41.5	38.9	32.7	28.4	29.1	19.9	16.0	1.3
	学生	73.1	30.8	50.0	46.2	30.8	15.4	26.9	11.5	0.0
	無職	69.4	36.1	35.4	40.4	21.4	33.0	19.3	14.5	0.8
	その他	64.2	44.7	39.0	29.6	26.4	27.7	19.5	13.2	1.9
世帯構成別	本人のみ	67.7	36.3	30.9	33.2	29.1	37.2	16.1	13.0	0.4
	本人と配偶者	67.8	38.7	38.7	38.0	25.3	28.1	21.6	13.6	1.9
	本人と子ども	66.0	45.3	43.4	28.3	26.4	22.6	17.9	17.9	1.9
	本人と配偶者と子ども	67.3	46.5	40.8	33.1	27.8	21.7	20.2	14.0	1.9
	本人と配偶者と親	75.6	43.3	31.1	27.8	28.9	38.9	16.7	15.6	0.0
	本人と親	66.0	46.3	36.5	33.5	30.5	21.7	17.2	15.8	2.5
	3世代以上の世帯	67.9	39.3	44.0	39.9	19.0	25.6	22.6	17.9	0.6
	その他	72.4	46.1	35.5	30.3	27.6	30.3	17.1	18.4	0.0
広域生活圏別	高知市	70.6	44.5	36.6	32.1	26.6	26.8	20.3	13.3	1.5
	安芸広域圏	66.9	42.7	35.0	39.5	26.8	26.8	22.3	15.9	1.3
	南国・香美広域圏	66.3	40.8	41.6	32.9	27.5	23.9	22.7	13.7	1.2
	嶺北広域圏	61.0	36.6	31.7	39.0	26.8	36.6	17.1	26.8	0.0
	仁淀川広域圏	61.7	45.0	33.9	38.3	24.4	28.3	16.7	20.0	2.2
	高吾北広域圏	60.0	40.0	38.5	35.4	29.2	26.2	15.4	15.4	1.5
	高幡広域圏	63.8	36.3	42.5	36.9	27.5	25.6	20.0	18.1	0.6
	幡多広域圏	68.9	37.4	45.1	34.0	27.7	28.5	17.0	10.6	2.1

問17　あなたや家族に介護が必要となったときに、自宅で生活を続けるために必要と思う地域での支え合いや見守りはどれですか。　（3つまで○印）

家族に介護が必要となったとき、自宅で生活を続けるために必要と思う地域での支え合いや見守りとしては、「緊急時に通報できる手段・連絡体制」と「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」がともに55%前後を占めている。次いで、「配食サービスなど、食事の提供」、「認知症の方が困っているときに対応できるサポーター（援助者）」、「話し相手や相談相手」が30%台で比較的高い比率となっている。

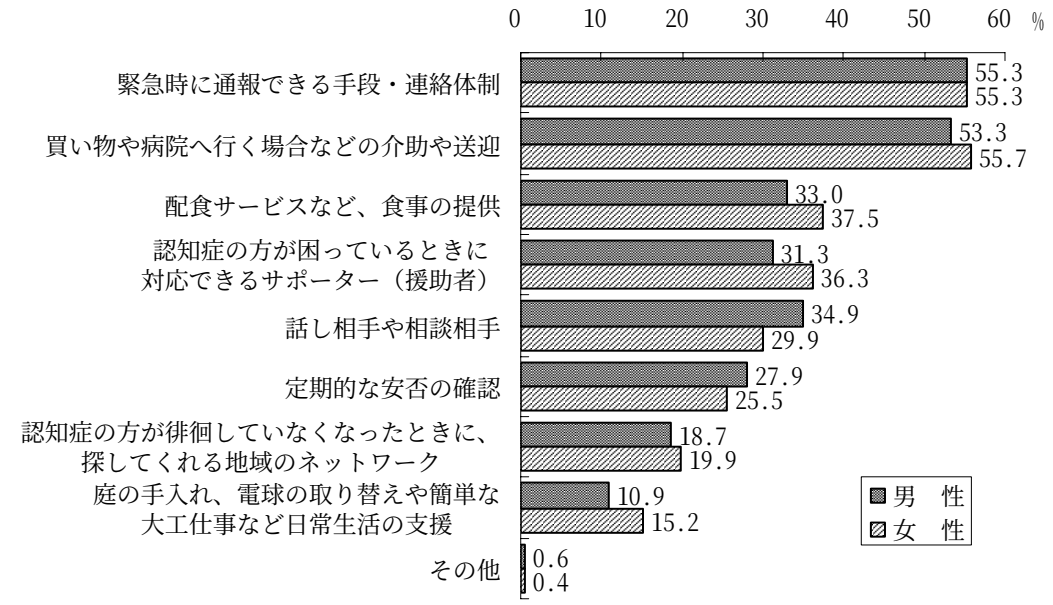
《　総　合　》



【性別】

男女とも「緊急時に通報できる手段・連絡体制」と「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」の比率が高く、男女で大きな差はみられない。

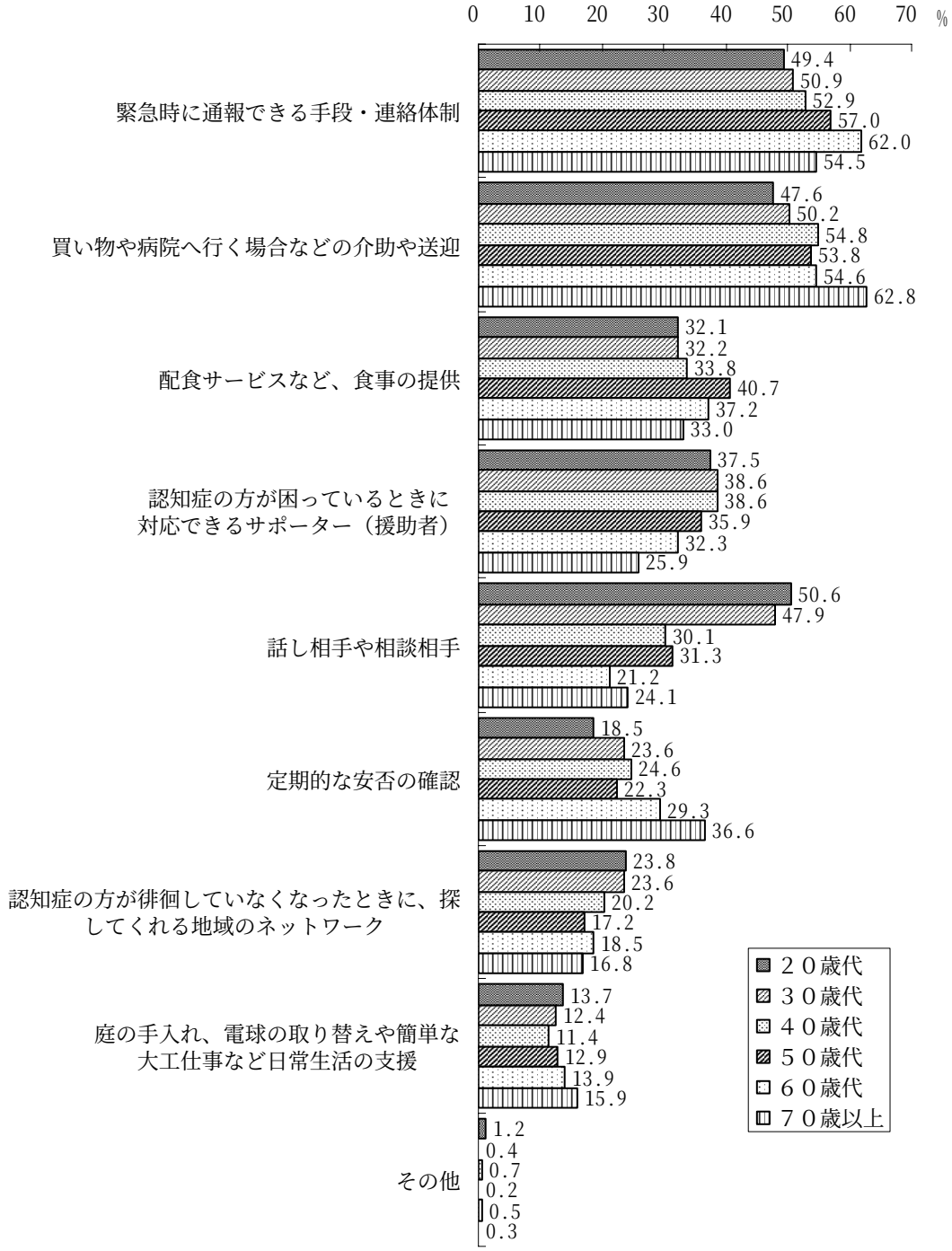
《　性　別　》



【年代別】

いずれの年齢階層でも「緊急時に通報できる手段・連絡体制」と「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」の比率が高く、年齢が高くなるほどその比率が高い傾向がみられる。また、若い年齢階層ほど「話し相手や相談相手」の比率が高い傾向がみられ、特に20歳代では「話し相手や相談相手」の比率が50.6%と最も高くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

学生では「話し相手や相談相手」が最も多いが、その他の職業区分では「緊急時に通報できる手段・連絡体制」と「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」の比率が高く、ほとんどの職業区分で上位２位までに挙げられている。

【世帯構成別】

本人のみ、本人と配偶者、本人と子どもの世帯は「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」が最も多く、次いで、「緊急時に通報できる手段・連絡体制」の比率が高くなっている。一方、本人と配偶者と子ども、本人と配偶者と親、本人と親、３世代以上の世帯など比較的規模の大きな世帯は「緊急時に通報できる手段・連絡体制」が最も多く、「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」が続いている。

《　職業別・世帯構成別　》

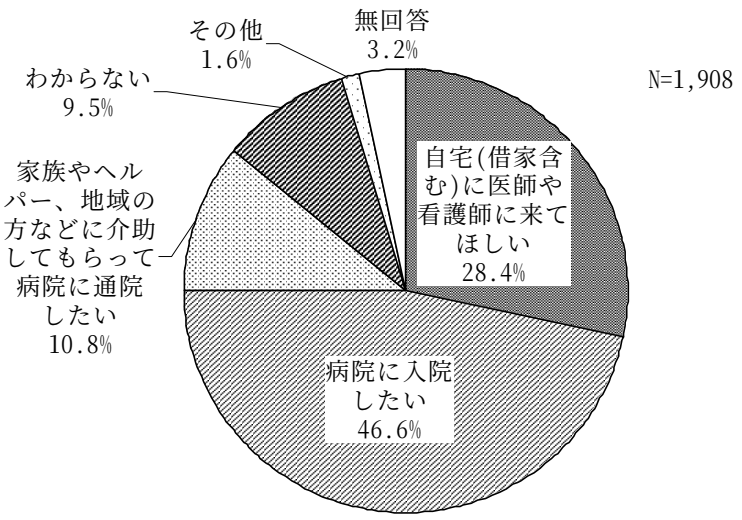
単位：％

項目		緊急時に通報できる手段・連絡体制	買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎	配食サービスなど、食事の提供	認知症の方が困っているときに対応できるサポーター（援助者）	話し相手や相談相手	定期的な安否の確認	認知症の方が徘徊していなくなったときに、探してくれる地域のネットワーク	庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援	その他
職業別	農林業	62.3	51.8	30.7	33.3	33.3	34.2	19.3	7.0	0.0
	漁業	40.0	60.0	50.0	30.0	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0
	商工サービス業自営	57.1	47.1	37.1	35.0	32.9	25.7	19.3	14.3	1.4
	事務職	54.0	50.6	39.7	36.2	42.0	21.3	17.2	16.7	0.0
	技術職	54.5	56.1	33.7	38.5	39.6	23.5	21.9	9.6	0.5
	労務職	55.2	54.8	35.6	35.6	32.4	30.0	19.6	10.8	0.8
	管理職	62.1	48.3	32.8	36.2	29.3	20.7	15.5	15.5	0.0
	自由業	40.6	53.1	46.9	25.0	34.4	43.8	12.5	6.3	3.1
	主婦	56.9	55.9	37.3	34.6	26.8	24.5	22.5	13.4	0.3
	学生	46.2	42.3	34.6	38.5	65.4	11.5	19.2	26.9	0.0
	無職	53.8	60.2	35.9	26.9	24.3	31.9	18.7	15.8	0.0
	その他	57.2	54.7	33.3	41.5	32.7	20.1	17.6	11.9	0.0
世帯構成別	本人のみ	53.4	58.3	34.5	26.9	29.1	30.5	14.3	19.3	0.4
	本人と配偶者	54.2	60.5	40.2	28.9	26.3	30.0	18.8	14.0	0.9
	本人と子ども	53.8	55.7	38.7	34.9	26.4	34.9	16.0	14.2	0.9
	本人と配偶者と子ども	57.1	54.1	31.2	39.5	36.3	22.7	19.5	10.8	0.2
	本人と配偶者と親	56.7	44.4	43.3	27.8	30.0	25.6	22.2	13.3	0.0
	本人と親	55.2	52.2	35.5	33.5	36.9	26.1	18.7	16.7	0.5
	３世代以上の世帯	55.4	47.0	32.7	40.5	35.1	25.6	26.8	7.1	0.6
	その他	56.6	50.0	36.8	39.5	35.5	13.2	27.6	13.2	0.0

問 18　あなたが寝たきりなどの状態で医療機関に1人で行くことが困難となった場合、どのようにしたいですか。　（1つだけ○印）

寝たきりなどの状態で、医療機関に１人で行くことが困難となった場合の意向としては、半分近い 46.6%の人が「病院に入院したい」と回答している。次いで、「自宅（借家含む）に医師や看護師に来てほしい」が 28.4%、「家族やヘルパー、地域の方などに介助してもらって病院に通院したい」が 10.8%などとなっている。

《 総 合 》



【性別】

男女とも「病院に入院したい」が 45%以上で最も多く、次いで、「自宅（借家含む）に医師や看護師に来てほしい」が約 30%を占めており、男女でほとんど差はみられない。

【年代別】

20 歳代では他の年齢階層に比べて「家族やヘルパー、地域の方などに介助してもらって病院に通院したい」の割合が高いという傾向がみられるが、30 歳代以上の年齢階層では年齢が高くなるほど「病院に入院したい」の割合が高くなり、若い年齢階層では「自宅（借家含む）に医師や看護師に来てほしい」が高い傾向がみられる。

【職業別】

自由業、事務職は「自宅（借家含む）に医師や看護師に来てほしい」、主婦や無職は「病院に入院したい」、学生は「家族やヘルパー、地域の方などに介助してもらって病院に通院したい」の割合が他の職業区分に比べて高くなっている。

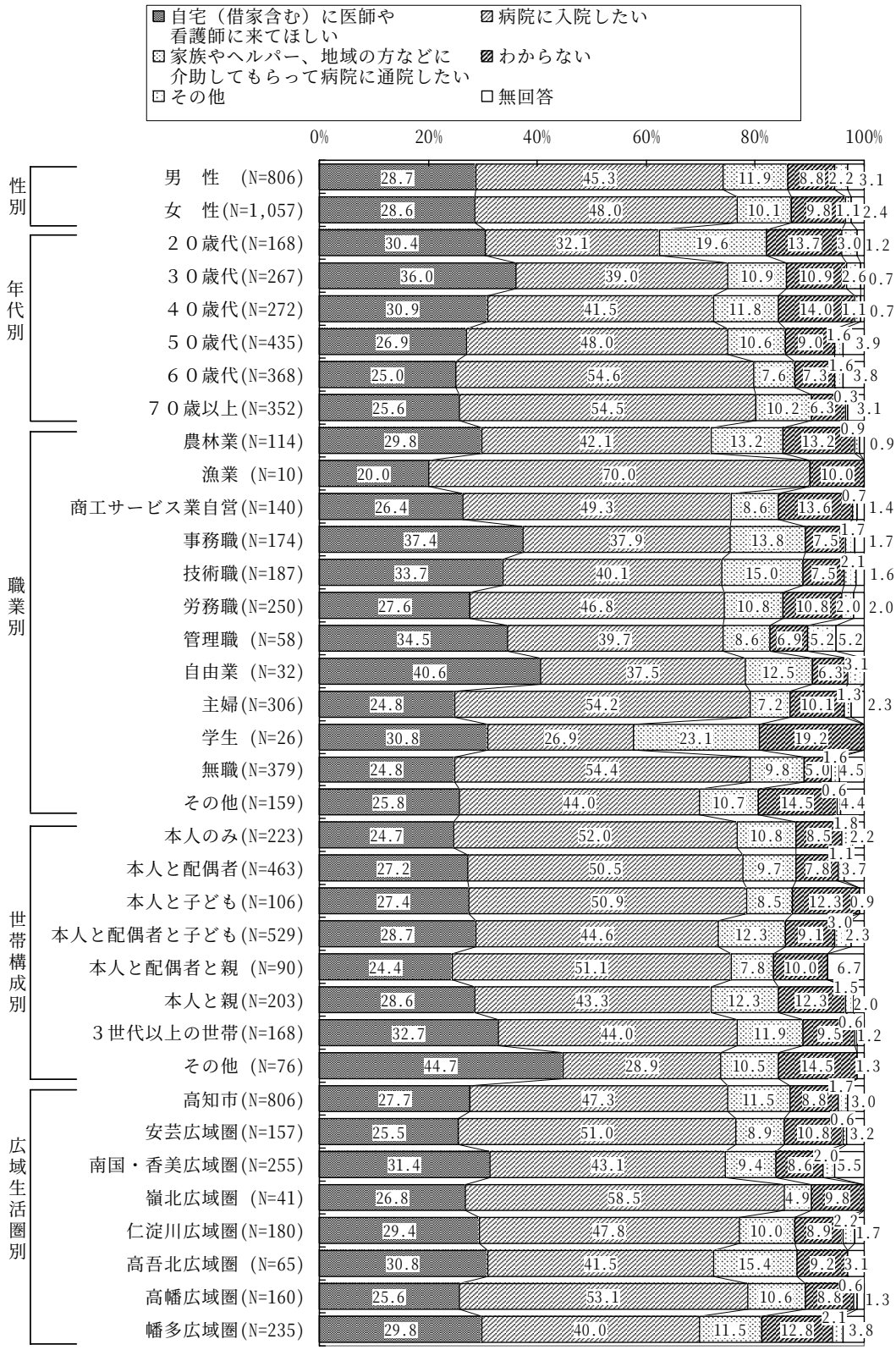
【世帯構成別】

その他世帯で「自宅（借家含む）に医師や看護師に来てほしい」の割合が最も高い以外、いずれの世帯でも「病院に入院したい」の割合が最も高い。

【地域別】

いずれの地域でも「病院に入院したい」が最も多く、嶺北、高幡、安芸広域圏では 50%を超えている。

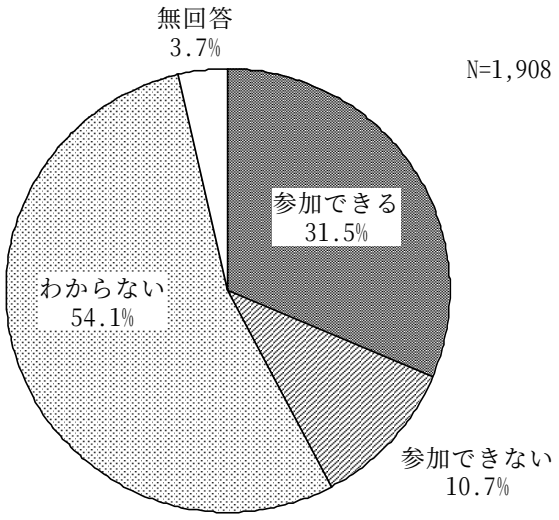
《　性別・年代別・職業別・世帯構成別・地域別　》



問 19 介護が必要となった場合でも、地域での生活を続けるためには、県民が参加して地域づくりをしていくことが重要となります。
あなたは地域の支え合い活動に参加できますか。（1つだけ○印）

「地域の支え合い活動」への参加については、31.5%と約３人に１人が「参加できる」と答えており、「参加できない」は 10.7%で、半分以上の 54.1%は「わからない」と回答している。

《 総 合 》



【性別】
男女とも「わからない」が過半数を占めている。また、男性では「参加できる」が 34.6%で、女性の 29.4%を上回っている。

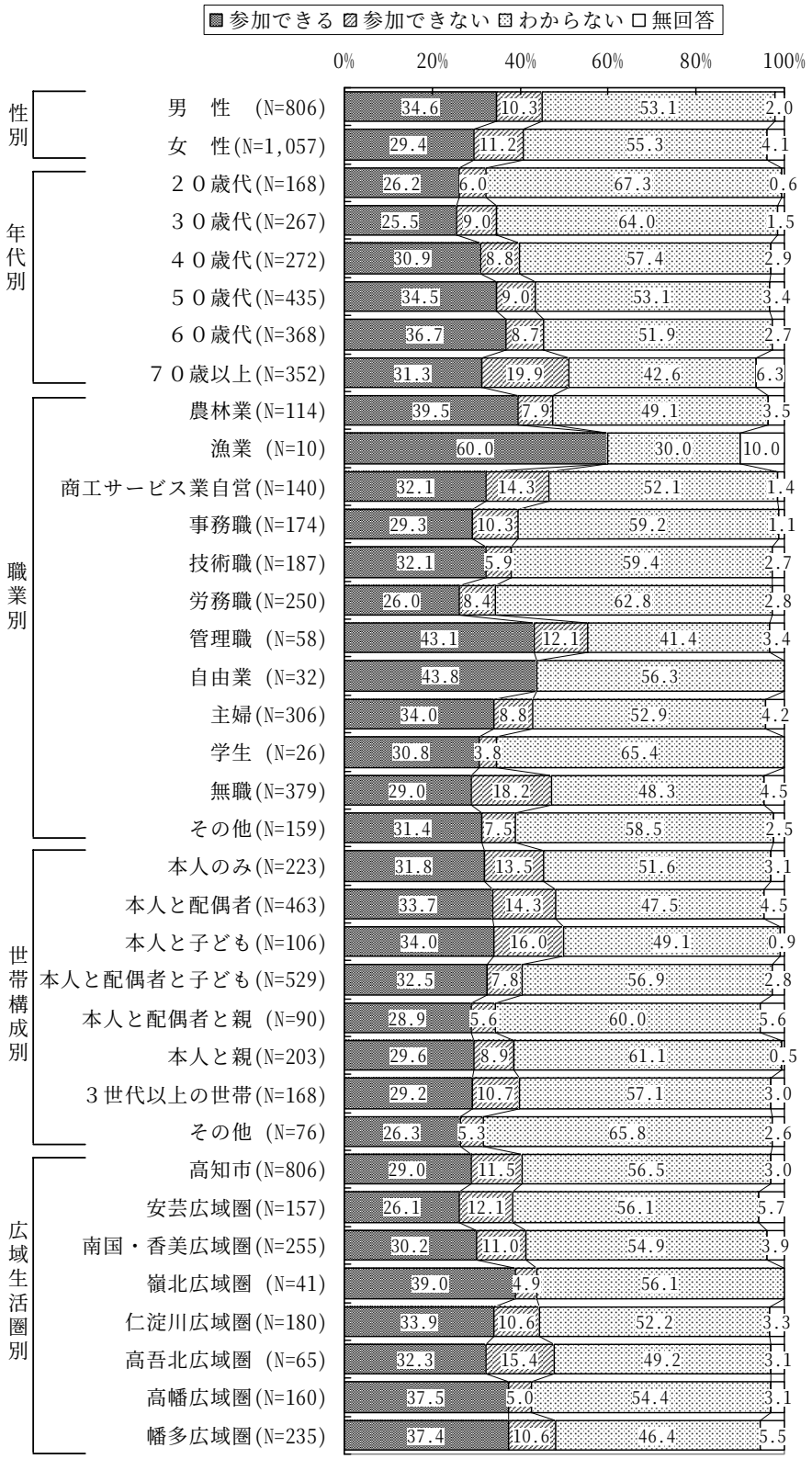
【年代別】
いずれの年齢階層でも「わからない」が最も多いが、その割合は年齢が高くなるほど低くなり、「参加できる」の割合が高くなる傾向がみられる。

【職業別】
管理職、自由業、漁業では「参加できる」の割合が高く、40%を超えているが、その他の職業区分では「わからない」の割合が高く、ほとんどの職業区分で過半数を占めている。また、無職では「参加できない」の割合が 18.2%と高い。

【世帯構成別】
いずれの世帯区分でも「わからない」が最も多く、「参加できる」は 30%前後である。また、本人と子ども、本人と配偶者、本人のみの世帯では「参加できない」の割合が 15%前後と比較的高くなっている。

【地域別】
いずれの地域でも「わからない」が最も多いが、嶺北、高幡、幡多広域圏では「参加できる」が 40%近くを占めている。一方、「参加できない」は高吾北広域圏で 15.4%とやや高い割合を占めている。

《　性別・年代別・職業別・世帯構成別・地域別　》

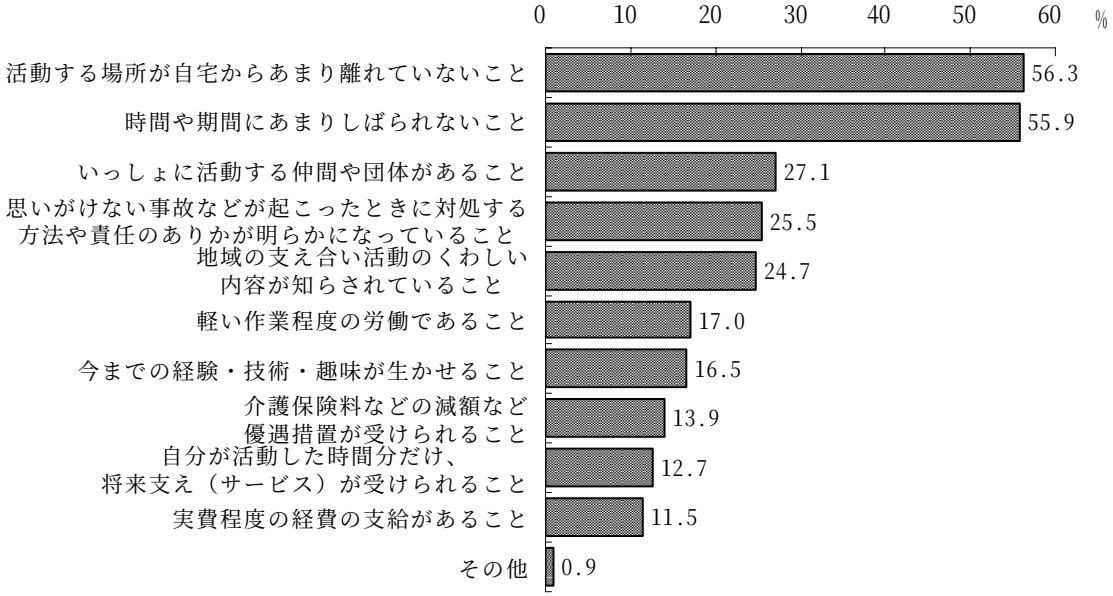


問 20　あなたが、地域の支え合い活動に、より参加しやすくなると思える条件は何ですか。

（3つまで○印）

「地域の支え合い活動」に、より参加しやすくなると思える条件としては、「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」と「時間や期間にあまりしばられないこと」と回答する人が多く、ともに約 55%を占めている。

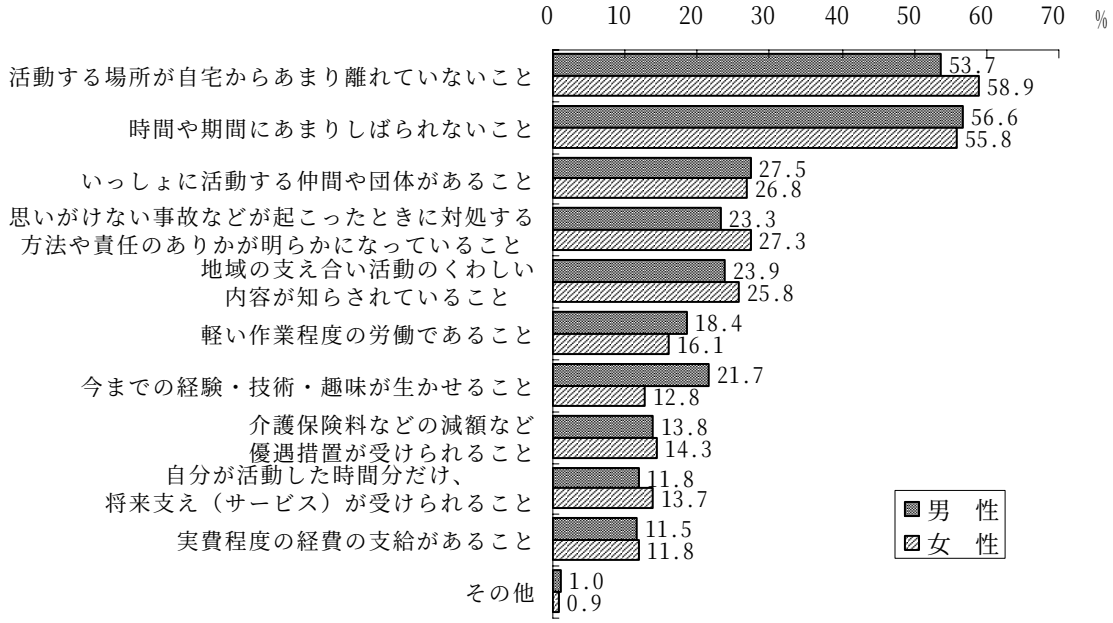
《 総 合 》



【性別】

男女とも「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」と「時間や期間にあまりしばられないこと」の比率が高いが、女性は男性に比べ「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」がやや高くなっている。

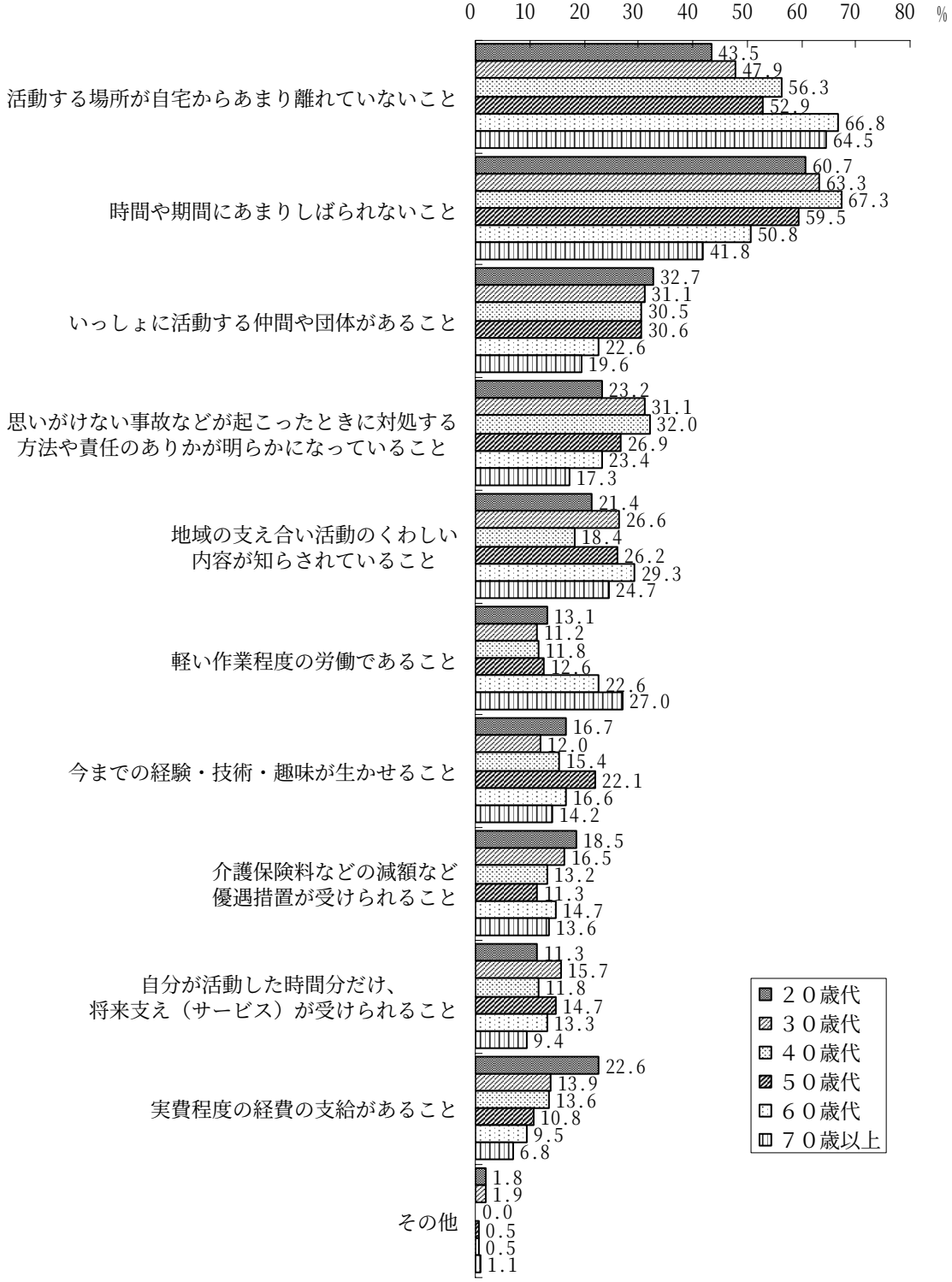
《 性 別 》



【年代別】

いずれの年齢階層でも「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」と「時間や期間にあまりしばられないこと」の比率が高いが、「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」は年齢が高くなるほどその比率は高くなる傾向があり、逆に「時間や期間にあまりしばられないこと」は若い年齢階層が高い傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別】

いずれの職業でも「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」と「時間や期間にあまりしばられないこと」の比率が高いが、農林業、漁業、主婦、学生、無職では「活動する場所が自宅からあまり離れていないこと」の比率が、商工サービス業自営、事務職、技術職などそれ以外の職業区分は「時間や期間にあまりしばられないこと」の比率が最も高く、過半数を占めている。

《 職 業 別 》

単位：%

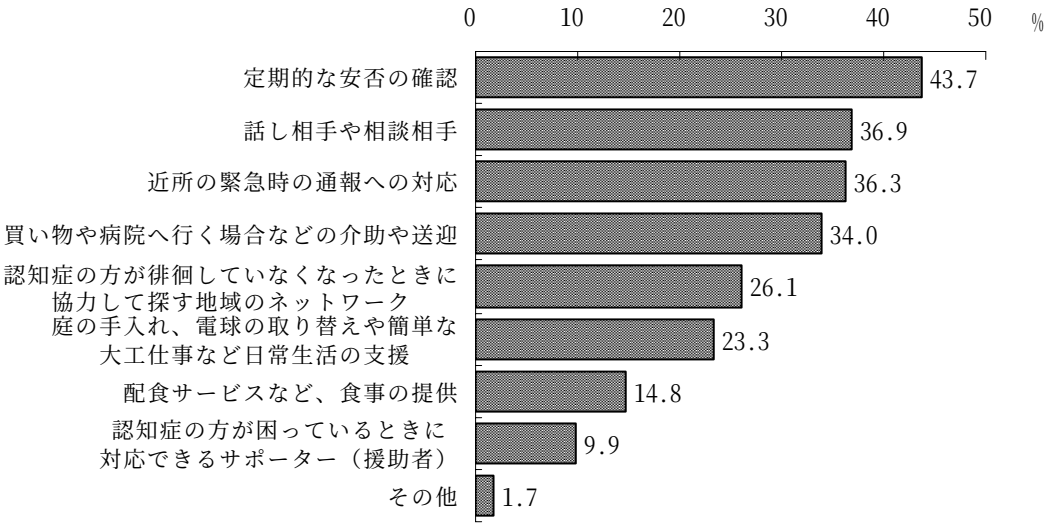
項目／職業	活動する場所が自宅からあまり離れていないこと	時間や期間にあまりしばられないこと	いっしょに活動する仲間や団体があること	思いがけない事故などが起こったときに対処する方法や責任のありかが明らかになっていること	地域の支え合い活動のくわしい内容が知らされていること	軽い作業程度の労働であること	今までの経験・技術・趣味が生かせること	介護保険料などの減額など優遇措置が受けられること	自分が活動した時間分だけ、将来支え（サービス）が受けられること	実費程度の経費の支給があること	その他
農林業	70.2	57.0	23.7	20.2	26.3	28.1	11.4	13.2	9.6	4.4	0.9
漁業	70.0	20.0	20.0	30.0	30.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0
商工サービス業自営	59.3	66.4	29.3	24.3	23.6	15.7	20.0	18.6	6.4	7.9	0.0
事務職	50.0	65.5	33.9	28.2	23.0	14.4	13.2	11.5	14.9	16.7	1.1
技術職	48.1	69.0	33.2	31.6	24.6	11.2	18.7	12.3	11.2	14.4	1.1
労務職	53.2	55.2	28.0	25.2	24.0	12.0	24.0	16.8	16.0	13.2	0.4
管理職	43.1	62.1	46.6	24.1	29.3	12.1	20.7	12.1	20.7	8.6	0.0
自由業	46.9	59.4	37.5	34.4	31.3	9.4	21.9	12.5	15.6	3.1	3.1
主婦	67.0	52.3	22.2	29.4	28.1	18.0	13.1	10.8	11.1	12.4	0.7
学生	69.2	53.8	30.8	26.9	11.5	19.2	23.1	19.2	7.7	19.2	0.0
無職	59.1	48.5	23.0	21.6	25.1	23.7	13.7	14.8	13.7	8.2	1.1
その他	47.8	54.1	24.5	22.6	22.0	14.5	18.2	13.8	13.2	18.9	1.9

問 21　あなたが参加しても良いと思う地域の支え合い活動はどれですか。　（3つまで○印）

参加しても良いと思う「地域の支え合い活動」は、「定期的な安否の確認」が 43.7%で最も多く、次いで、「話し相手や相談相手」、「近所の緊急時の通報への対応」、「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」が 35%前後となっている。

以下、「認知症の方が徘徊していなくなったときに協力して探す地域のネットワーク」や「庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援」が 25%前後で続いている。

《　総　合　》

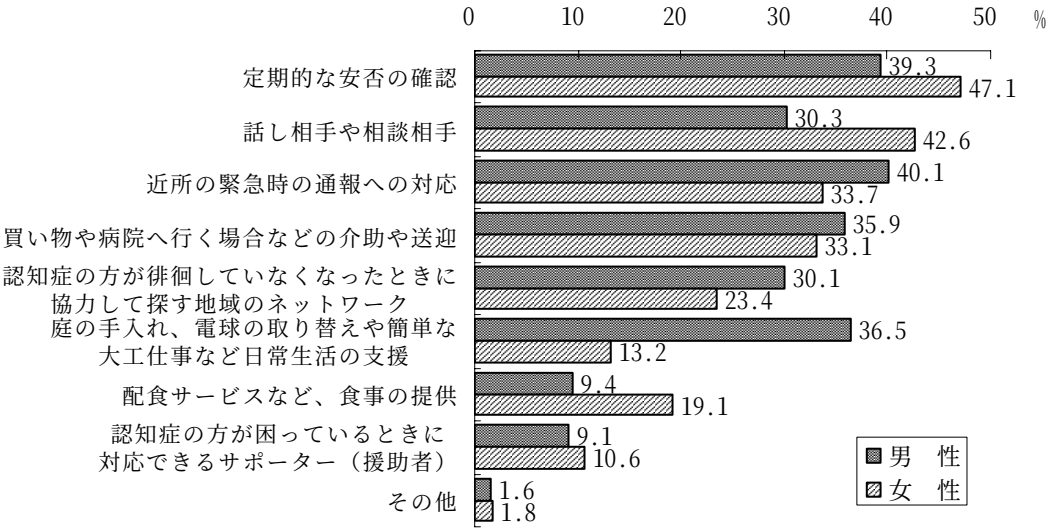


【性別】

男性では「近所の緊急時の通報への対応」が 40.1%で最も多く、「定期的な安否の確認」「庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援」、「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」などと続いており、特に女性に比べ「庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援」の比率が高い。

一方、女性では「定期的な安否の確認」が 47.1%で最も多く、「話し相手や相談相手」、「近所の緊急時の通報への対応」、「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」などと続いており、特に男性に比べ「話し相手や相談相手」、「配食サービスなど、食事の提供」の比率が高い。

《　性　別　》

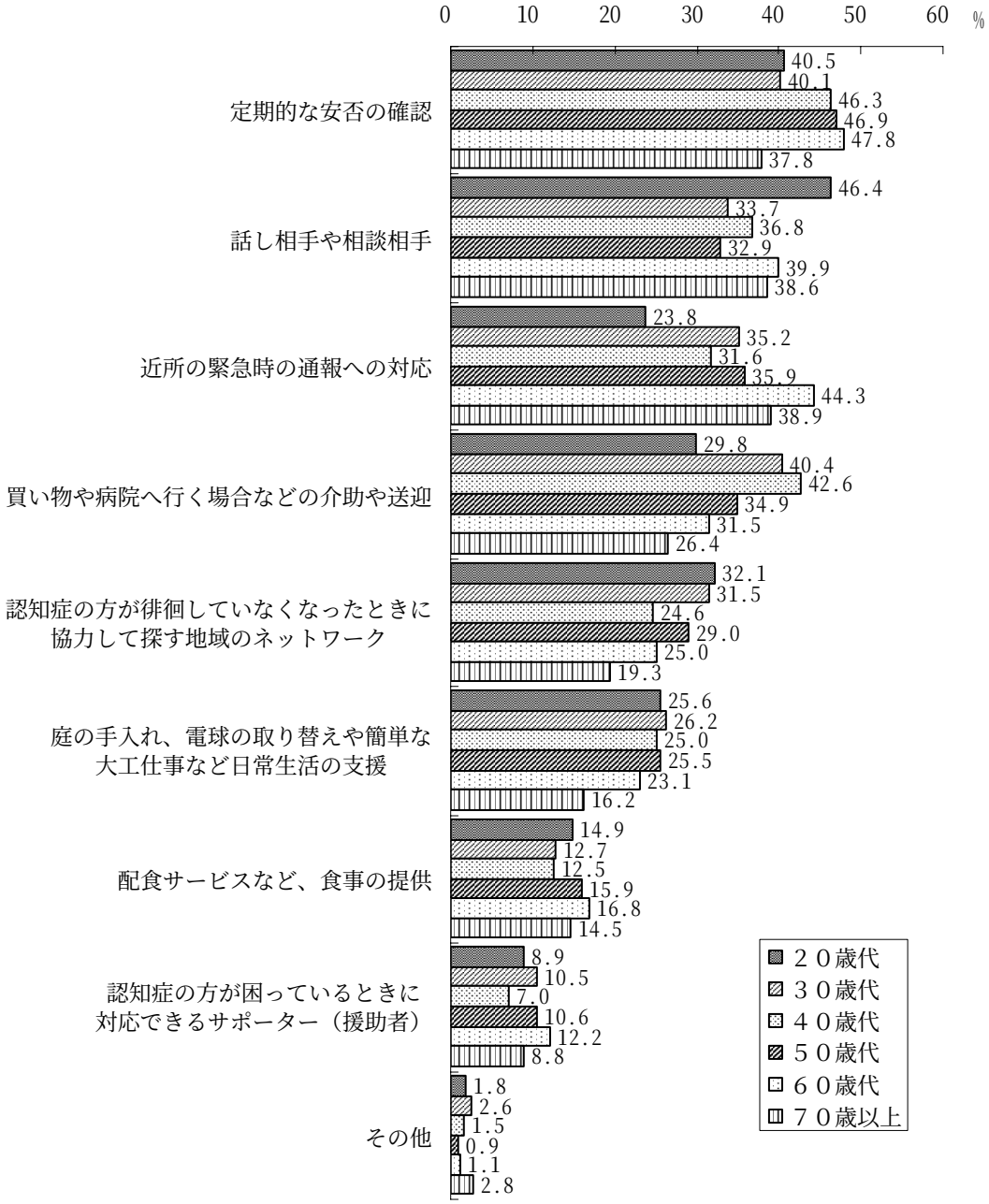


【年代別】

《総合》と同様、ほとんどの年齢階層が「定期的な安否の確認」、「話し相手や相談相手」、「近所の緊急時の通報への対応」、「買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎」を上位に挙げている。

その中で、20 歳代では「話し相手や相談相手」の比率が他の年齢階層に比べて高く、また、「近所の緊急時の通報への対応」の比率は年齢の高い階層で高い傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別】

いずれの職業区分でも「定期的な安否の確認」、「話し相手や相談相手」、「近所の緊急時の通報への対応」のいずれかの割合が最も高くなっている。

その他では、「認知症の方が徘徊していなくなったときに協力して探す地域のネットワーク」について農林業、技術職、学生、「庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援」について労務職と管理職、そして「配食サービスなど、食事の提供」について自由業と主婦といった職業区分の比率が他の職業区分に比べ高くなっている。

《 職 業 別 》

単位：%

項目／職業	定期的な安否の確認	話し相手や相談相手	近所の緊急時の通報への対応	買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎	認知症の方が徘徊していなくなったときに協力して探す地域のネットワーク	庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援	配食サービスなど、食事の提供	認知症の方が困っているときに対応できるサポーター（援助者）	その他
農林業	46.5	28.9	46.5	31.6	36.0	22.8	10.5	10.5	0.9
漁業	40.0	20.0	40.0	30.0	40.0	10.0	10.0	10.0	0.0
商工サービス業自営	47.9	33.6	38.6	30.0	22.9	19.3	17.9	9.3	2.9
事務職	51.1	37.4	40.2	40.8	27.6	29.3	12.6	7.5	0.6
技術職	43.9	33.7	38.0	36.4	35.8	22.5	10.7	12.8	2.1
労務職	42.0	32.8	30.4	41.2	32.0	36.0	14.0	6.8	1.2
管理職	41.4	36.2	48.3	37.9	27.6	34.5	6.9	8.6	0.0
自由業	25.0	40.6	46.9	31.3	31.3	18.8	21.9	18.8	0.0
主婦	52.6	46.1	34.3	32.0	18.6	13.4	22.5	8.5	0.7
学生	42.3	53.8	23.1	46.2	34.6	30.8	19.2	7.7	0.0
無職	38.3	36.9	38.5	28.8	22.4	22.4	15.0	11.1	2.9
その他	36.5	40.9	28.3	35.8	22.6	18.9	11.3	11.3	3.1

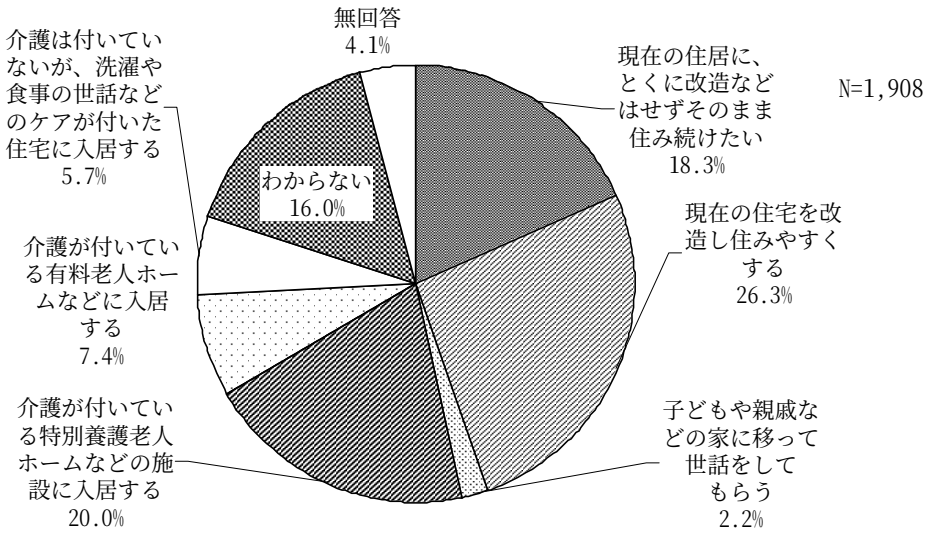
問 22　あなたが高齢になって介護が必要となった場合、住まいはどのようにしたいですか。

（1つだけ○印）

高齢になって介護が必要になった場合の住まいはどうしたいか、については、全体の44.6%は「現在の住居でそのまま、あるいは改造して住み続けたい」と回答している。

また、「介護が付いている施設に入居する」と回答した人も 27.4%と約４人に１人、「介護は付いていないがケアが付いた住宅に入居する」と回答した人が 5.7%、「子どもや親戚などの家に移る」と回答した人が 2.2%いる。

《 総 合 》



【性別】

男性では、「現在の住居でそのまま、あるいは改造して住み続けたい」と回答した人の割合が高く、女性では、「外の施設へ入居する」と回答した人の割合が高いという傾向がみられる。

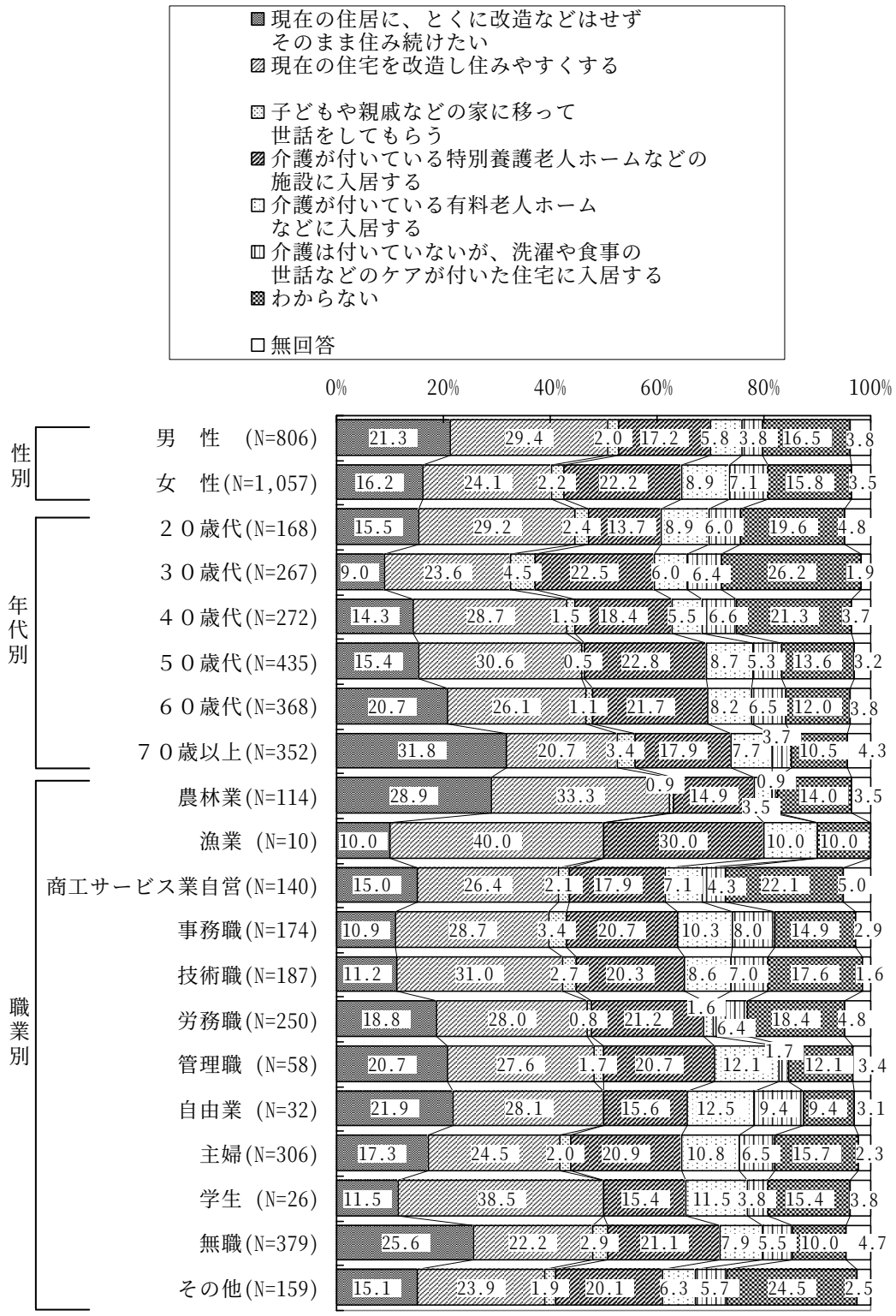
【年代別】

年齢が高くなるほど、「現在の住居でそのまま、あるいは改造して住み続けたい」と回答した人の割合が高くなり、「外の施設へ入居する」と回答した人の割合は低くなるという傾向がみられる。また、40 歳代以下の年齢階層では、「わからない」が 20～25%近くを占めている。

【職業別】

農林業では、60%を超える人が「現在の住居でそのまま、あるいは改造して住み続けたい」と回答しており、自由業や学生でも高い割合となっている。一方、主婦、事務職、技術職などでは、「外の施設へ入居をする」と回答した人の割合が高いという傾向がみられる。

《　性別・年代別・職業別　》


現在の住居に、とくに改造などはせず
そのまま住み続けたい
現在の住宅を改造し住みやすくする
子どもや親戚などの家に移って
世話をしてもらう
介護が付いている特別養護老人ホームなどの
施設に入居する
介護が付いている有料老人ホーム
などに入居する
介護は付いていないが、洗濯や食事の
世話などのケアが付いた住宅に入居する
わからない
無回答
0%
20%
40%
60%
80%
100%
性別
年代別
職業別
男　性　(N=806) 21.3 29.4 2.0 17.2 5.8 3.8 16.5 3.8
女　性(N=1,057) 16.2 24.1 2.2 22.2 8.9 7.1 15.8 3.5
２０歳代(N=168) 15.5 29.2 2.4 13.7 8.9 6.0 19.6 4.8
３０歳代(N=267) 9.0 23.6 4.5 22.5 6.0 6.4 26.2 1.9
４０歳代(N=272) 14.3 28.7 1.5 18.4 5.5 6.6 21.3 3.7
５０歳代(N=435) 15.4 30.6 0.5 22.8 8.7 5.3 13.6 3.2
６０歳代(N=368) 20.7 26.1 1.1 21.7 8.2 6.5 12.0 3.8
７０歳以上(N=352) 31.8 20.7 3.4 17.9 7.7 3.7 10.5 4.3
農林業(N=114) 28.9 33.3 0.9 14.9 0.9 3.5 14.0 3.5
漁業　(N=10) 10.0 40.0 30.0 10.0 10.0
商工サービス業自営(N=140) 15.0 26.4 2.1 17.9 7.1 4.3 22.1 5.0
事務職(N=174) 10.9 28.7 3.4 20.7 10.3 8.0 14.9 2.9
技術職(N=187) 11.2 31.0 2.7 20.3 8.6 7.0 17.6 1.6
労務職(N=250) 18.8 28.0 0.8 21.2 1.6 6.4 18.4 4.8
管理職　(N=58) 20.7 27.6 1.7 20.7 12.1 1.7 12.1 3.4
自由業　(N=32) 21.9 28.1 15.6 12.5 9.4 9.4 3.1
主婦(N=306) 17.3 24.5 2.0 20.9 10.8 6.5 15.7 2.3
学生　(N=26) 11.5 38.5 15.4 11.5 3.8 15.4 3.8
無職(N=379) 25.6 22.2 2.9 21.1 7.9 5.5 10.0 4.7
その他(N=159) 15.1 23.9 1.9 20.1 6.3 5.7 24.5 2.5

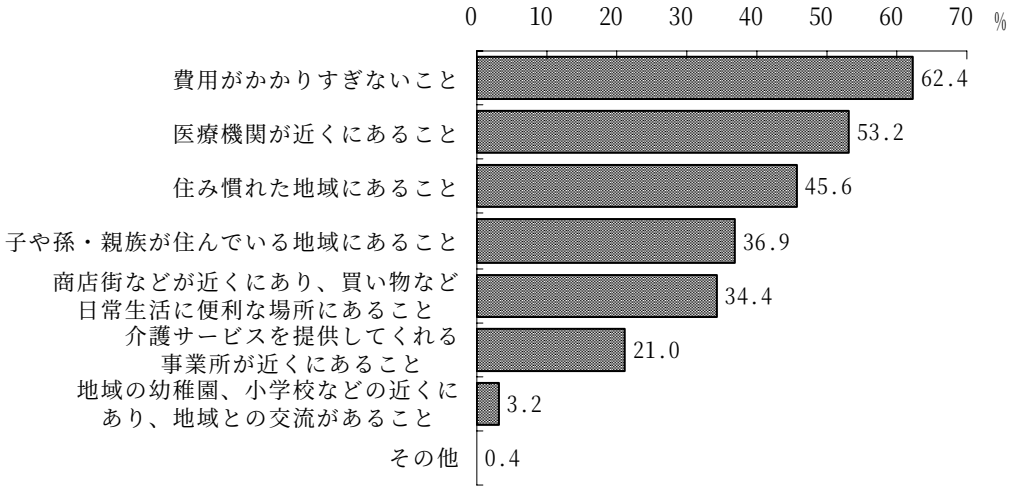
問 23 自宅での医療や介護サービスが十分に受けられない地域に住んでいて、あなたや家族に介護が必要となった場合、住み慣れた自宅を離れて、医療や介護サービスが受けやすい高齢者向け住宅に住み替えをしようとした場合に重視する条件は何ですか。

（3つまで○印）

医療や介護サービスが受けやすい高齢者向け住宅に住み替えをしようとした場合に重視する条件は、「費用がかかりすぎないこと」が 62.4%で最も多く、「医療機関が近くにあること」も 53.2%と過半数を占めている。

次いで、「住み慣れた地域にあること」が 45.6%、「子や孫・親族が住んでいる地域にあること」と「商店街などが近くにあり、買い物など日常生活に便利な場所にあること」が 35%前後を占めている。

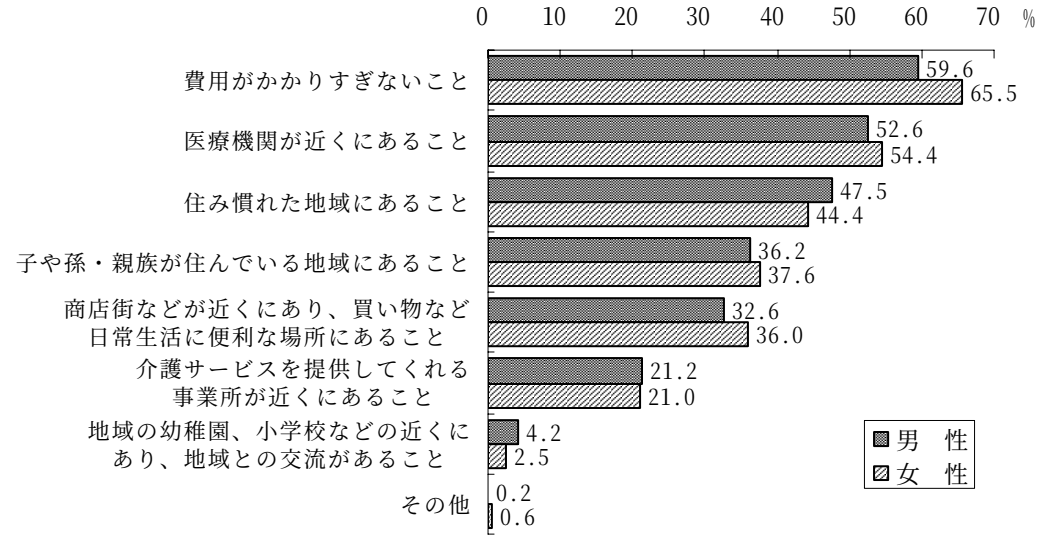
《 総 合 》



【性別】

男女とも《総合》の順位と同じとなっているが、「費用がかかりすぎないこと」については女性が 65.5%で男性の 59.6%を上回っている。その他は男女で大きな違いはみられない。

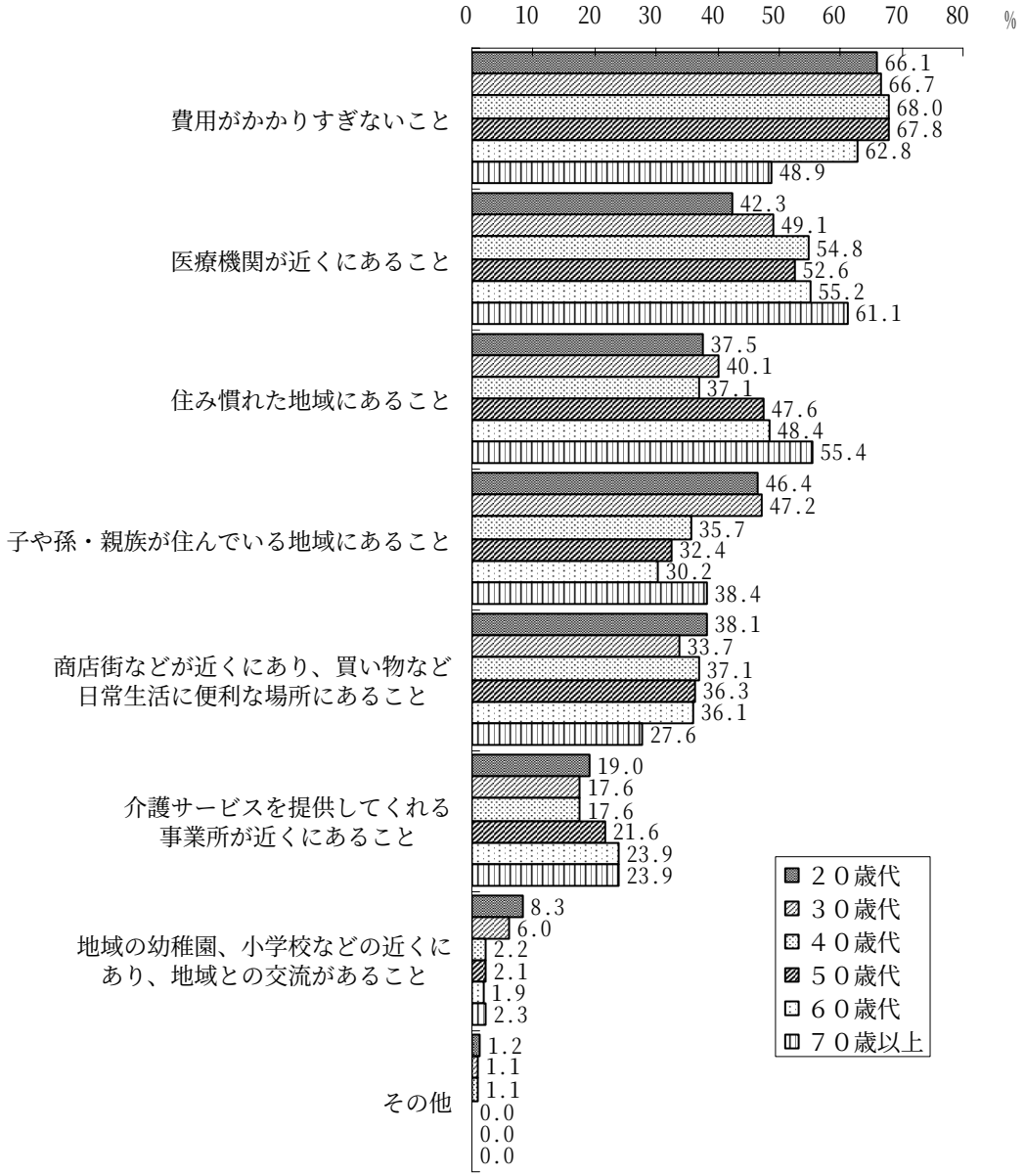
《 性 別 》



【年代別】

70 歳以上を除き、いずれの年齢階層でも「費用がかかりすぎないこと」が最も多い。また、「医療機関が近くにあること」と「住み慣れた地域にあること」は年齢が高くなるほどその比率は高くなる傾向がみられ、「子や孫・親族が住んでいる地域にあること」は若い年齢階層の比率が高い傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別】

ほとんどの職業区分で「費用がかかりすぎないこと」が最も多く、技術職では70%を超えている。その他では、学生では「子や孫・親族が住んでいる地域にあること」が同数で１位に、無職では「医療機関が近くにあること」が最も多くなっている。

《 職 業 別 》

単位：%

項目／職業	費用がかかりすぎないこと	医療機関が近くにあること	住み慣れた地域にあること	子や孫・親族が住んでいる地域にあること	商店街などが近くにあり、買い物など日常生活に便利な場所にあること	介護サービスを提供してくれる事業所が近くにあること	地域の幼稚園、小学校などの近くにあり、地域との交流があること	その他
農林業	64.9	57.9	47.4	42.1	22.8	25.4	1.8	0.0
漁業	60.0	40.0	30.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0
商工サービス業自営	65.0	48.6	47.9	31.4	37.9	20.0	4.3	0.0
事務職	63.8	59.2	36.2	36.2	36.2	24.7	4.0	0.6
技術職	73.8	49.2	42.2	39.6	39.6	12.3	3.7	2.1
労務職	65.6	49.2	48.4	39.2	36.4	17.6	2.4	0.4
管理職	63.8	44.8	46.6	41.4	29.3	24.1	5.2	0.0
自由業	62.5	50.0	43.8	40.6	15.6	25.0	9.4	0.0
主婦	59.2	59.2	45.1	37.3	35.0	20.9	2.9	0.3
学生	53.8	50.0	26.9	53.8	46.2	15.4	19.2	0.0
無職	59.4	59.9	51.7	33.0	34.8	24.0	1.3	0.0
その他	63.5	44.7	42.1	38.4	31.4	25.2	3.8	0.0

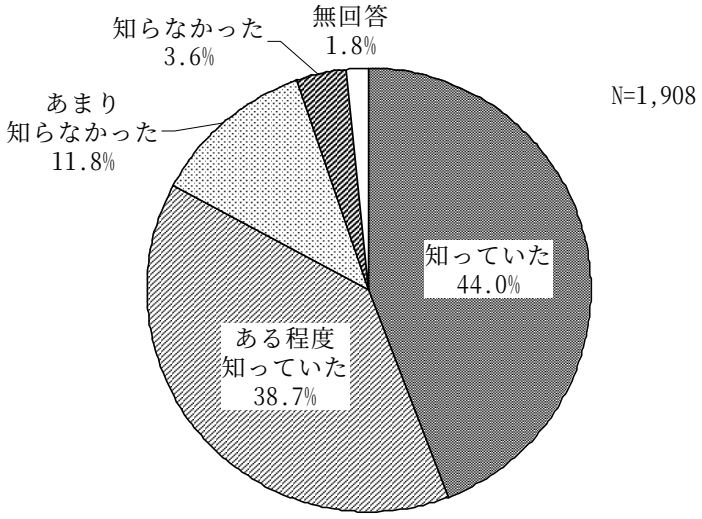
［6］住宅の耐震化について

問 24　あなたは、住宅の耐震化が大きな課題になっていることを知っていましたか。
（1つだけ○印）

住宅の耐震化が課題になっていることについては、「知っていた」が 44.0%、「ある程度知っていた」が 38.7%であり、両者合わせて 82.7%が【知っていた】（＝「知っていた」＋「ある程度知っていた」）と回答している。

一方、「知らなかった」が 3.6%、「あまり知らなかった」が 11.8%であり、【知らなかった】（＝「知らなかった」+「あまり知らなかった」）人は 15.4%である。

《　総　合　》



【性別】

男女とも【知っていた】人の割合が 80%を超えており、特に男性では 86.5%を占めている。

【年代別】

いずれの年齢階層も 60%以上が【知っていた】と回答しており、その割合は年齢が高くなるほど高い傾向がみられ、最も高い 50 歳代では約 90%を占める。逆に、30 歳代や 20 歳代では【知らなかった】人の割合が高く、特に 20 歳代では 30%を上回っている。

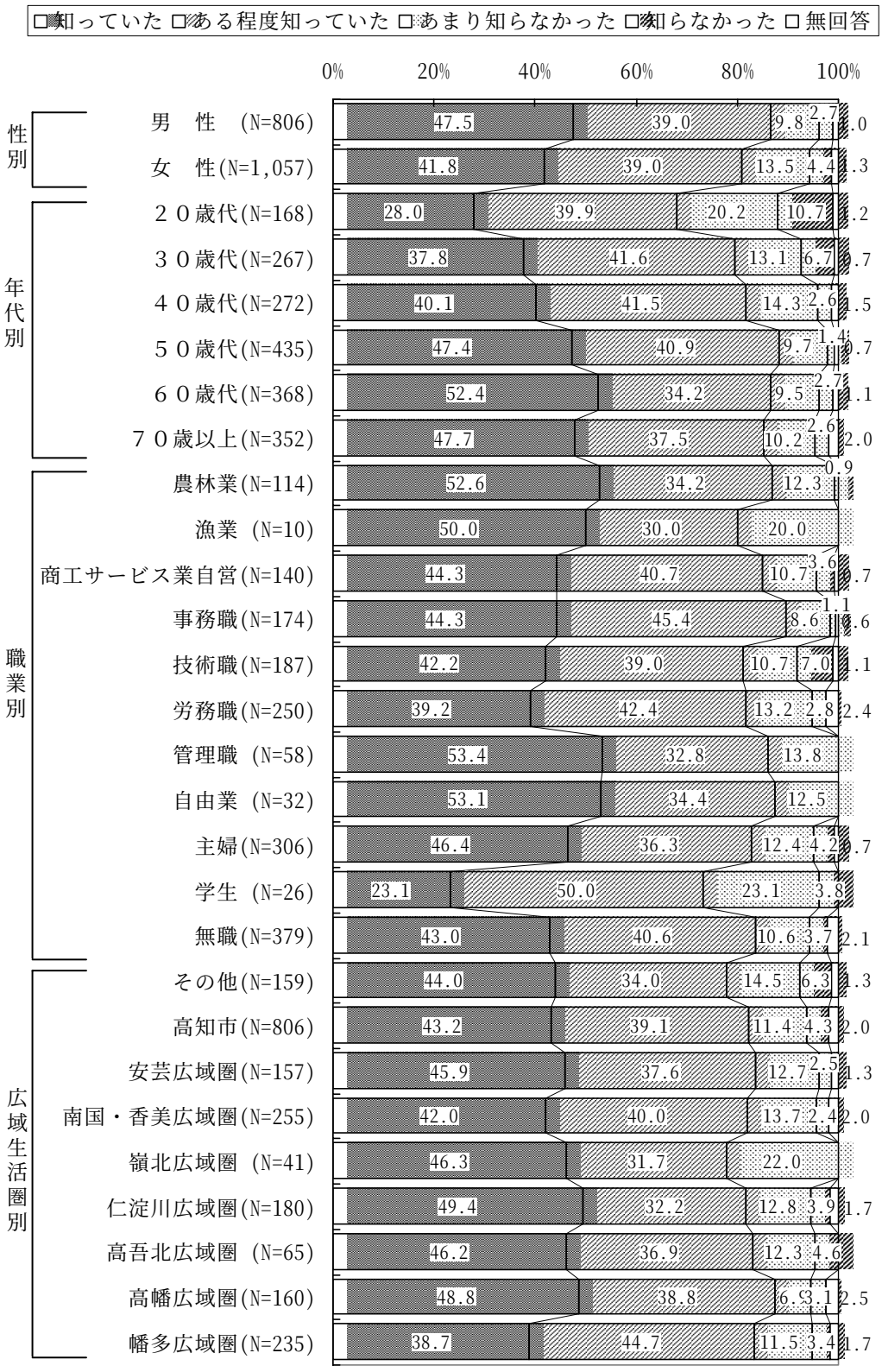
【職業別】

いずれの職業でも 70%以上が【知っていた】と回答しており、事務職、自由業、管理職、農林業、商工サービス業自営では 85%以上を占めている。

【地域別】

地域による大きな違いはみられず、いずれの地域でも【知っていた】人の割合が 75%以上を占めている。

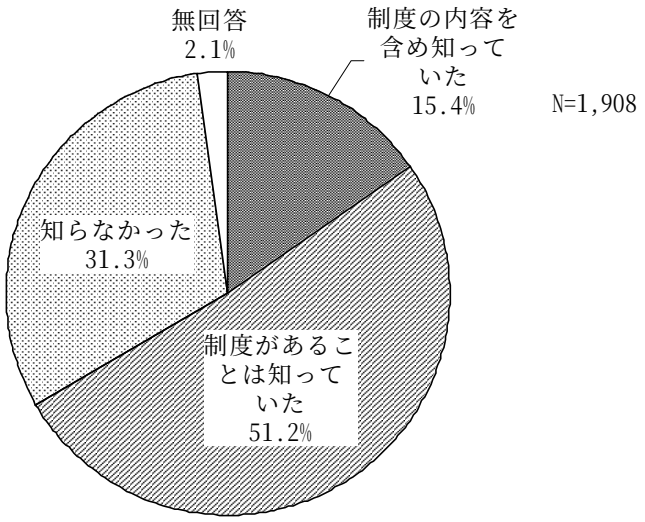
《　性別・年代別・職業別・地域別　》



問 25 高知県ではこれまでに、県と市町村が協力して「①耐震診断」、「②耐震改修のための工事費の補助」のような助成制度を設け、木造住宅の耐震診断や耐震改修を支援してきています。
あなたはこのことを知っていましたか。 （1つだけ○印）

木造住宅の耐震診断や耐震改修を支援するための助成制度については、「制度の内容を含め知っていた」は 15.4%であり、「制度があることは知っていた」の 51.2%を合わせると、66.6%が助成制度の存在を知っていると回答している。
一方、「知らなかった」は 31.3%と約３人に１人である。

《 総 合 》



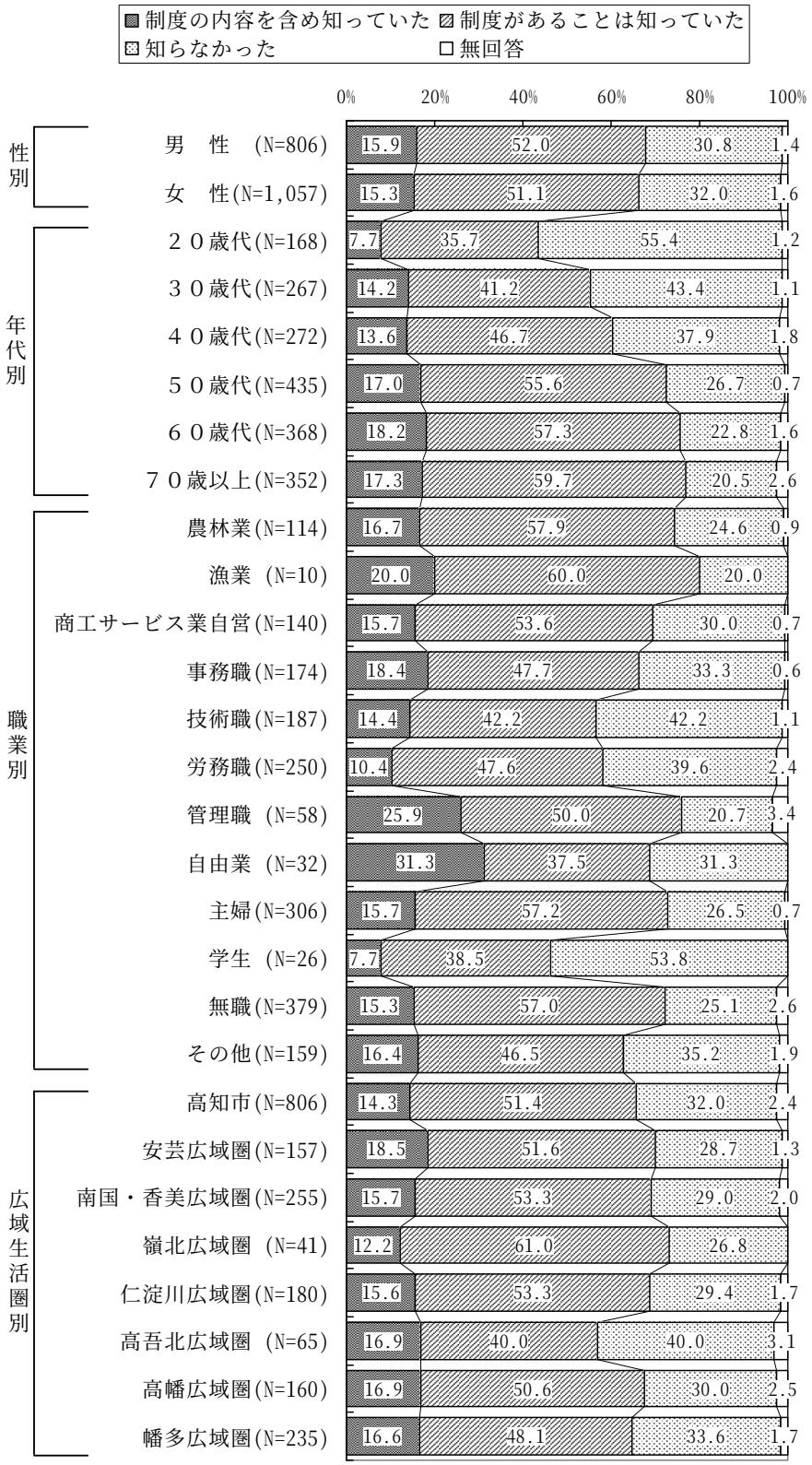
【性別】
男女とも《総合》とほぼ同じ割合であり、男女の差もほとんどみられない。

【年代別】
年齢が高くなるほど制度の内容あるいは支援制度の存在を知っている人の割合が高くなる傾向にあり、70 歳以上では支援制度の存在を知っている人の割合が 75%を超えている。
一方、20 歳代では「知らなかった」が 55.4%と過半数を占めている。

【職業別】
学生では「知らなかった」が過半数を占めるが、その他の職業区分ではいずれも過半数が支援制度の存在を知っている。特に、自由業は約３人に１人が支援制度の内容も含め知っていると回答している。

【地域別】
いずれの地域でも過半数が支援制度の存在を知っており、嶺北、安芸広域圏では 70%を超えている。一方、高吾北広域圏では「知らなかった」が 40.0%を占めている。

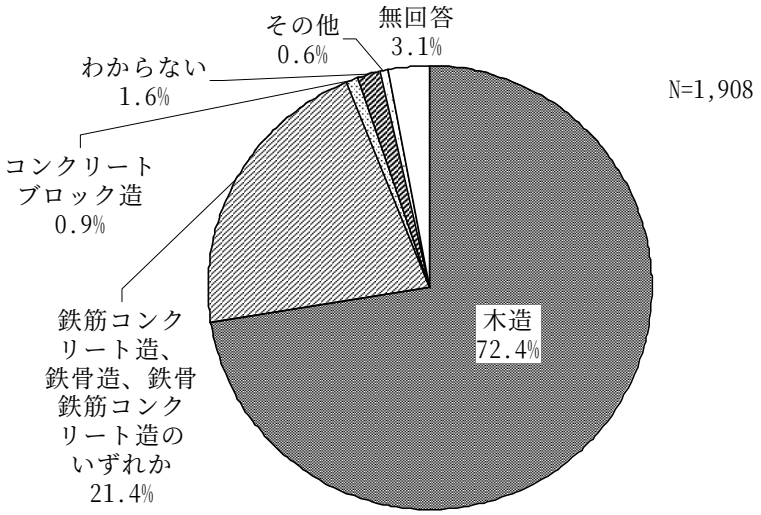
《　性別・年代別・職業別・地域別　》



問 26　あなたがお住まいの住宅の構造はどれですか。　（1つだけ○印）

現在住んでいる住宅の構造は、72.4%が「木造」であり、次いで「鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造のいずれか」が 21.4%を占めている。その他は１%前後と少ない。

《 総 合 》



【性別】

男女とも「木造」が圧倒的に多く、男女でほとんど差はみられない。

【年代別】

いずれの年齢階層でも「木造」が圧倒的に多く、年齢が高くなるほど「木造」の割合が高くなり、60 歳以上の各年齢階層では 80%を超えている。また、30 歳代以下の若い年齢階層では「鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造のいずれか」の割合が 30%以上を占めている。

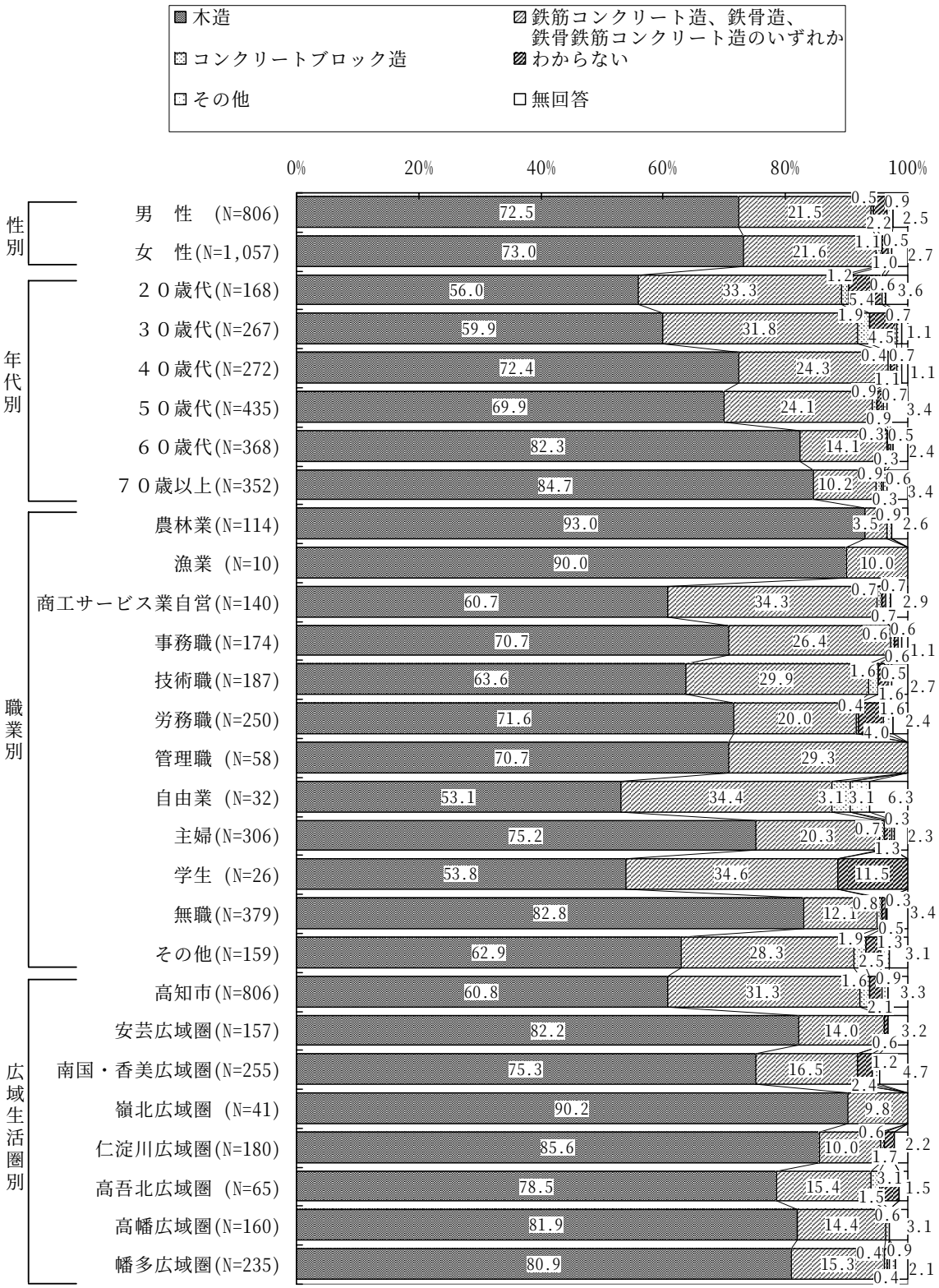
【職業別】

いずれの職業区分でも「木造」が圧倒的に多く、特に農林業、漁業、無職で「木造」の割合が非常に高く、農林業では 90%を超えている。逆に、学生、自由業、商工サービス業自営では「鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造のいずれか」が約３人に１人を占めている。

【地域別】

高知市の「木造」は 60.8%とやや少ないが、その他の地域では 75%以上といずれも高い割合を占め、嶺北広域圏では 90%を超えている。

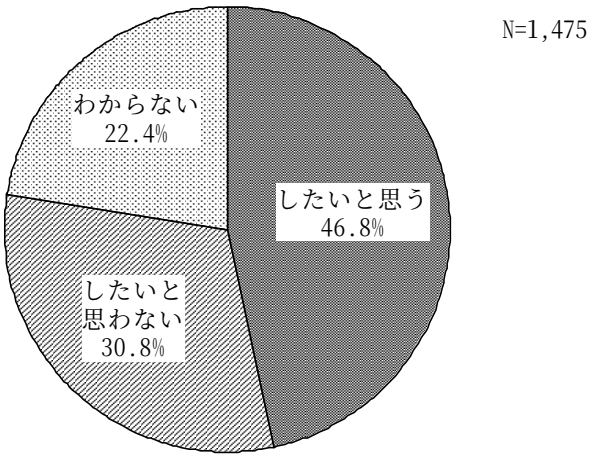
《　性別・年代別・職業別・地域別　》



問27　今後、問25のような助成制度を使って耐震診断や耐震改修をしたいと思いますか。（現在は木造住宅だけが助成の対象ですが、今後、木造以外の住宅も対象となった場合を想定してお答えください。）　（1つだけ○印）
（今お住まいの住宅の所有者である方、または所有者のご家族である方にお聞きします。）

今後、助成制度を使った耐震診断や耐震改修の意向としては、46.8%が「したいと思う」と回答しており、「したいと思わない」は30.8%である。また、「わからない」は22.4%である。

《　総　合　》



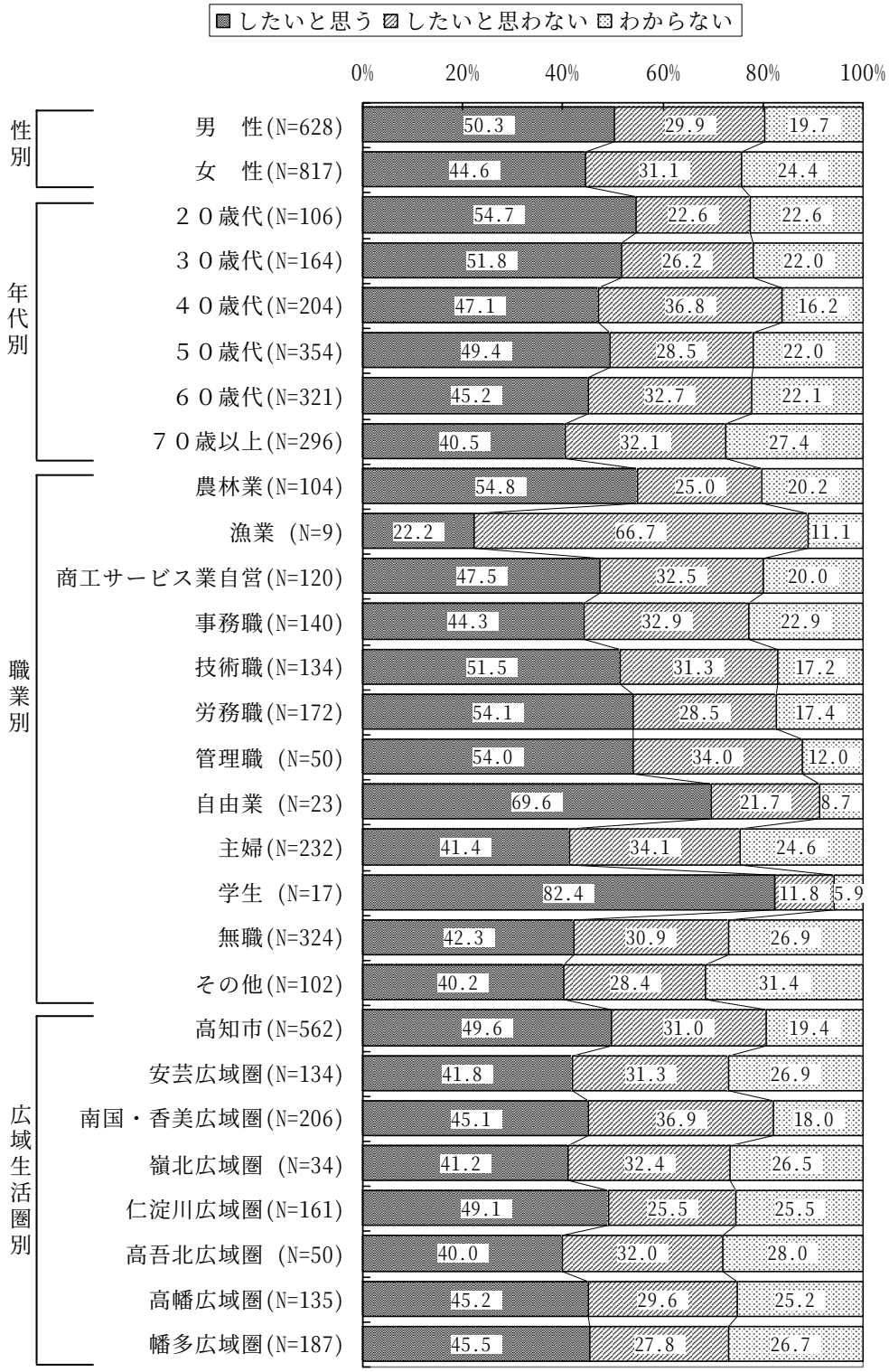
【性別】
男性では「したいと思う」が50.3%で過半数を占めているのに対し、女性では44.6%である。

【年代別】
若い年齢階層ほど「したいと思う」の割合が高い傾向がみられ、30歳代以下では過半数を占めている。

【職業別】
漁業以外のすべての職業区分で「したいと思う」の割合が最も高く、特に学生、自由業では82.4%、69.6%と高くなっている。一方、漁業では「したいと思わない」が66.7%を占めており、他の職業区分と大きく意見が異なっている。

【地域別】
いずれの地域でも「したいと思う」の割合が最も高く40%を超えており、高知市や仁淀川広域圏では50%近くを占めている。

《　性別・年代別・職業別・地域別　》

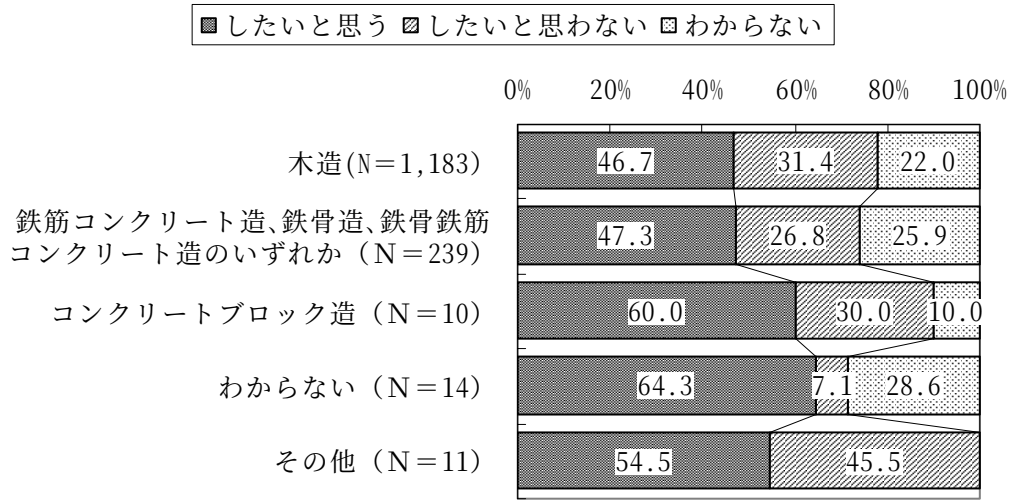


【問２６×問２７のクロス分析】

【問 26　住宅の構造】の各選択肢を選んだ人が、本問にどのように回答しているかをみる。

問 27 で「したいと思う」を選んだ人の住宅の構造は、回答者の多い「木造」住宅の人が 46.7%、「鉄筋コンクリート造り、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造のいずれか」の住宅の人も 47.3%を占めている。

【問２６　住宅の構造】×【問２７　耐震化の助成制度活用の有無】



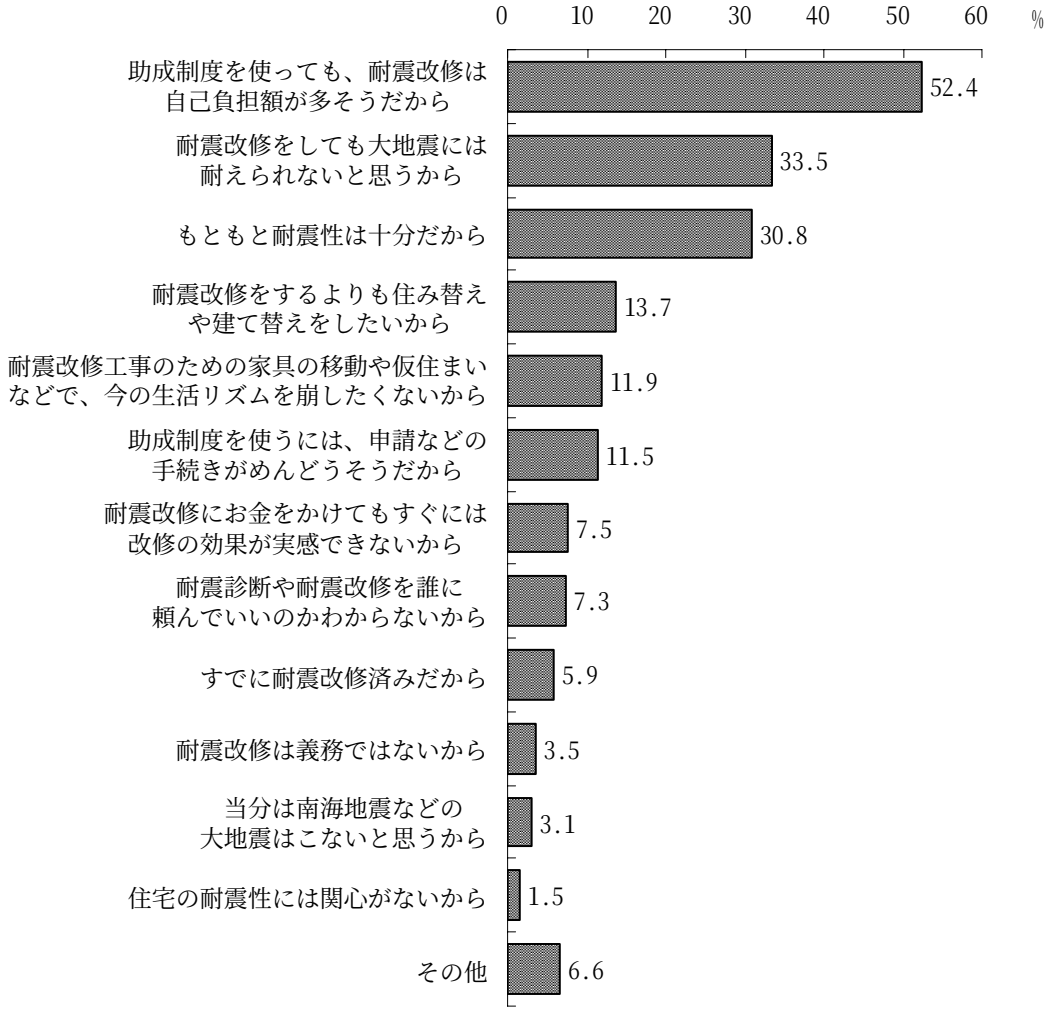
副問　その理由は何ですか。　（3つまで○印）

（問 27 で「2　したいと思わない」と答えた方のみお答えください。）

助成制度を使って耐震診断や耐震改修をしたいとは思わない理由は、「助成制度を使っても、耐震改修は自己負担額が多そうだから」が 52.4%で最も多く、「耐震改修をしても大地震には耐えられないと思うから」と「もともと耐震性は十分だから」が 30%台で続いている。

次いで、「耐震改修をするよりも住み替えや建て替えをしたいから」、「耐震改修工事のための家具の移動や仮住まいなどで今の生活リズムを崩したくないから」、「助成制度を使うには、申請などの手続きがめんどうそうだから」が 10%台前半で続いている。

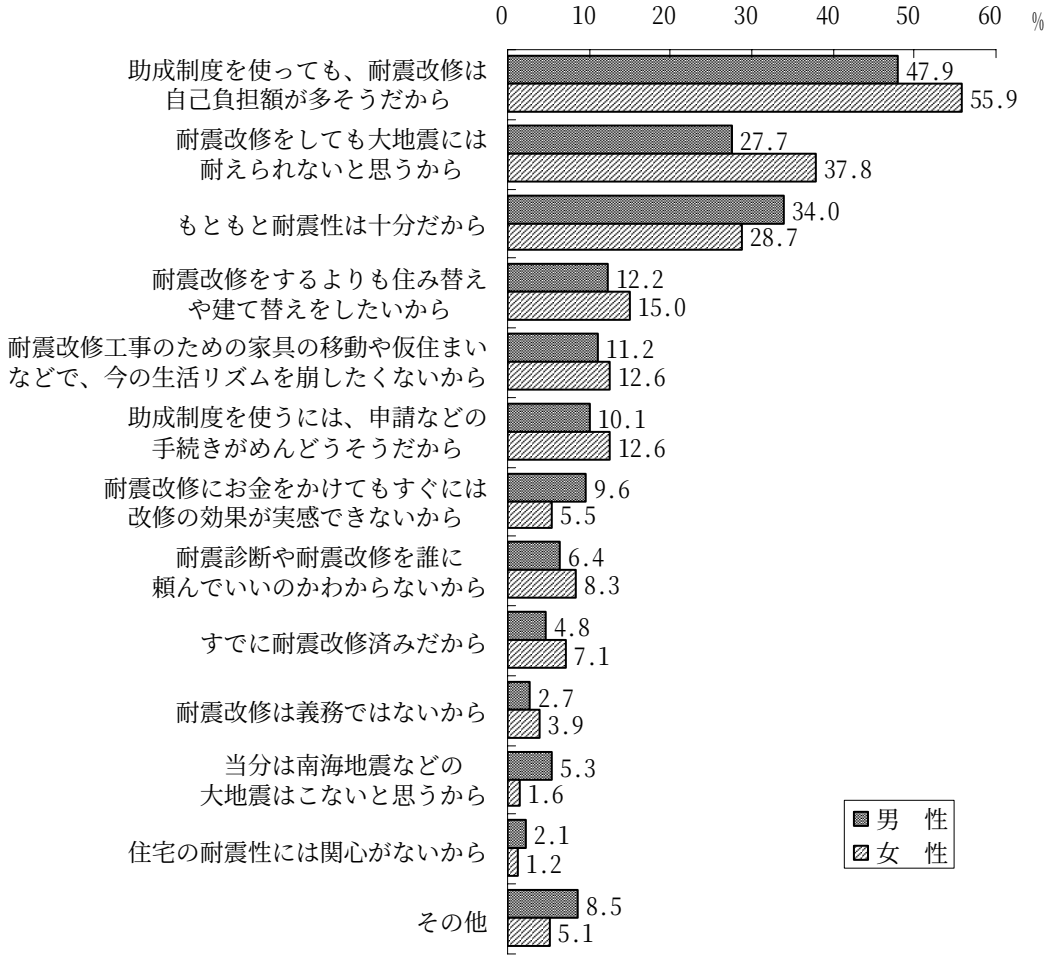
《　総　合　》



【性別】

《総合》と同様、男女とも「助成制度を使っても、耐震改修は自己負担額が多そうだから」が最も多く、「耐震改修をしても大地震には耐えられないと思うから」と「もともと耐震性は十分だから」も上位に挙げられているが、前２者は女性が男性の比率を上回り、男性は「もともと耐震性は十分だから」の比率が高くなっている。その他は、比率も小さく、男女の違いも大きくはない。

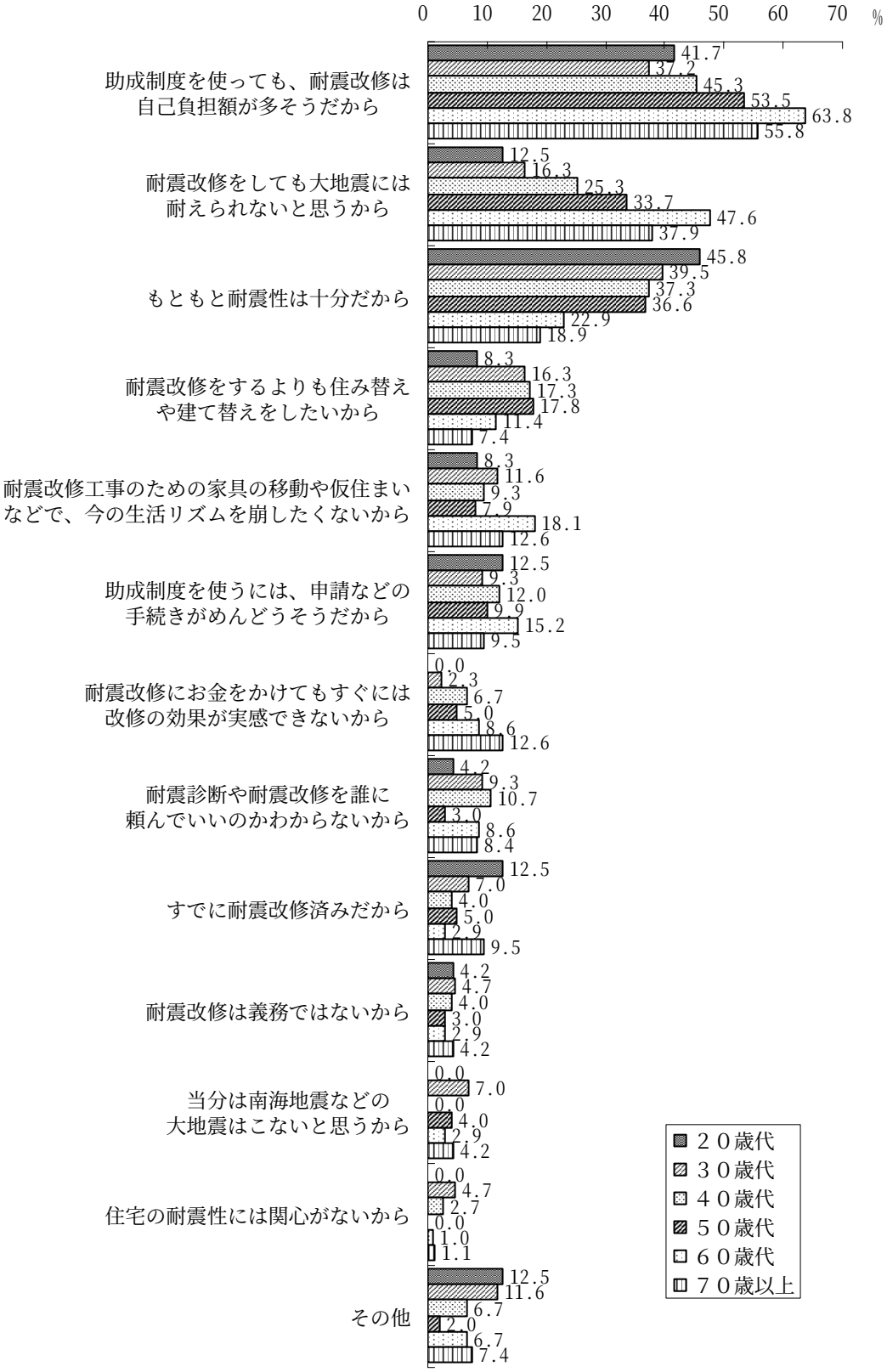
《 性 別 》



【年代別】

大部分の年齢階層で「助成制度を使っても、耐震改修は自己負担額が多そうだから」、「耐震改修をしても大地震には耐えられないと思うから」、「もともと耐震性は十分だから」が上位に挙げられている。その中で、「助成制度を使っても、耐震改修は自己負担額が多そうだから」や「耐震改修をしても大地震には耐えられないと思うから」は年齢が高いほどその比率が高い傾向がみられ、「もともと耐震性は十分だから」は若い年齢階層ほどその比率が高い傾向がみられる。

《 年 代 別 》

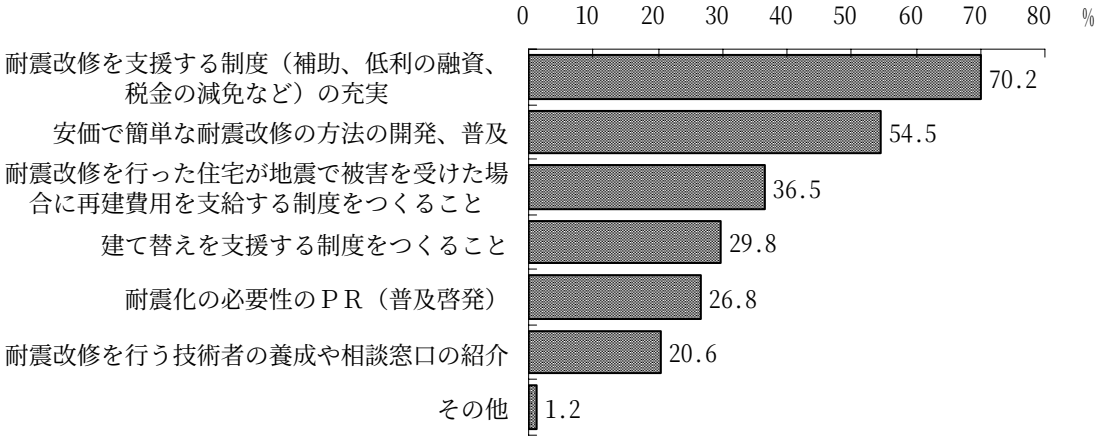

0
10
20
30
40
50
60
70
%
助成制度を使っても、耐震改修は自己負担額が多そうだから
41.7
37.2
45.3
53.5
63.8
55.8
耐震改修をしても大地震には耐えられないと思うから
12.5
16.3
25.3
33.7
47.6
37.9
もともと耐震性は十分だから
45.8
39.5
37.3
36.6
22.9
18.9
耐震改修をするよりも住み替えや建て替えをしたいから
8.3
16.3
17.3
17.8
11.4
7.4
耐震改修工事のための家具の移動や仮住まいなどで、今の生活リズムを崩したくないから
8.3
11.6
9.3
7.9
18.1
12.6
助成制度を使うには、申請などの手続きがめんどうそうだから
12.5
9.3
12.0
9.9
15.2
9.5
耐震改修にお金をかけてもすぐには改修の効果が実感できないから
0.0
2.3
6.7
5.0
8.6
12.6
耐震診断や耐震改修を誰に頼んでいいのかわからないから
4.2
9.3
10.7
3.0
8.6
8.4
すでに耐震改修済みだから
12.5
7.0
4.0
5.0
12.9
9.5
耐震改修は義務ではないから
4.2
4.7
4.0
3.0
2.9
4.2
当分は南海地震などの大地震はこないと思うから
0.0
7.0
0.0
4.0
2.9
4.2
住宅の耐震性には関心がないから
0.0
4.7
2.7
0.0
1.0
1.1
その他
12.5
11.6
6.7
2.0
6.7
7.4
２０歳代
３０歳代
４０歳代
５０歳代
６０歳代
７０歳以上

問 28　どうすれば、住宅の耐震化が進むと思いますか。　（3つまで○印）

住宅の耐震化を進めるために必要なこととしては、「耐震改修を支援する制度（補助、低利の融資、税金の減免など）の充実」が 70.2%で最も多く、次いで「安価で簡単な耐震改修の方法の開発、普及」も 54.5%と 50%を超えている。

以下、「耐震改修を行った住宅が地震で被害を受けた場合に再建費用を支給する制度をつくること」が 36.5%、「建て替えを支援する制度をつくること」が 29.8%、「耐震化の必要性のＰＲ（普及啓発）」が 26.8%などで続いている。

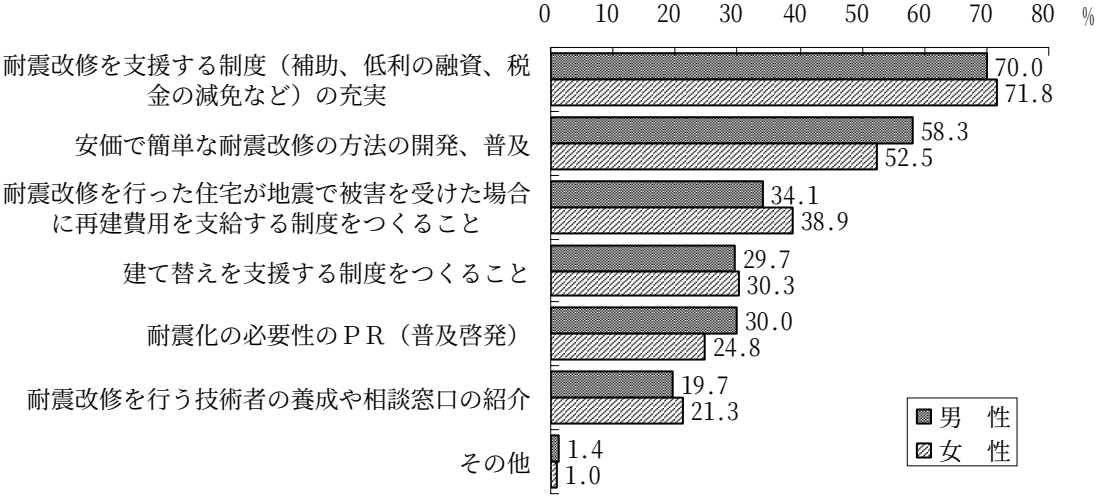
《　総　合　》



【性別】

男女とも《総合》の順位と同じとなっており、「耐震改修を支援する制度（補助、低利の融資、税金の減免など）の充実」が 70%以上で最も多く、その他の施策を含めても男女で大きな違いはみられない。

《　性　別　》

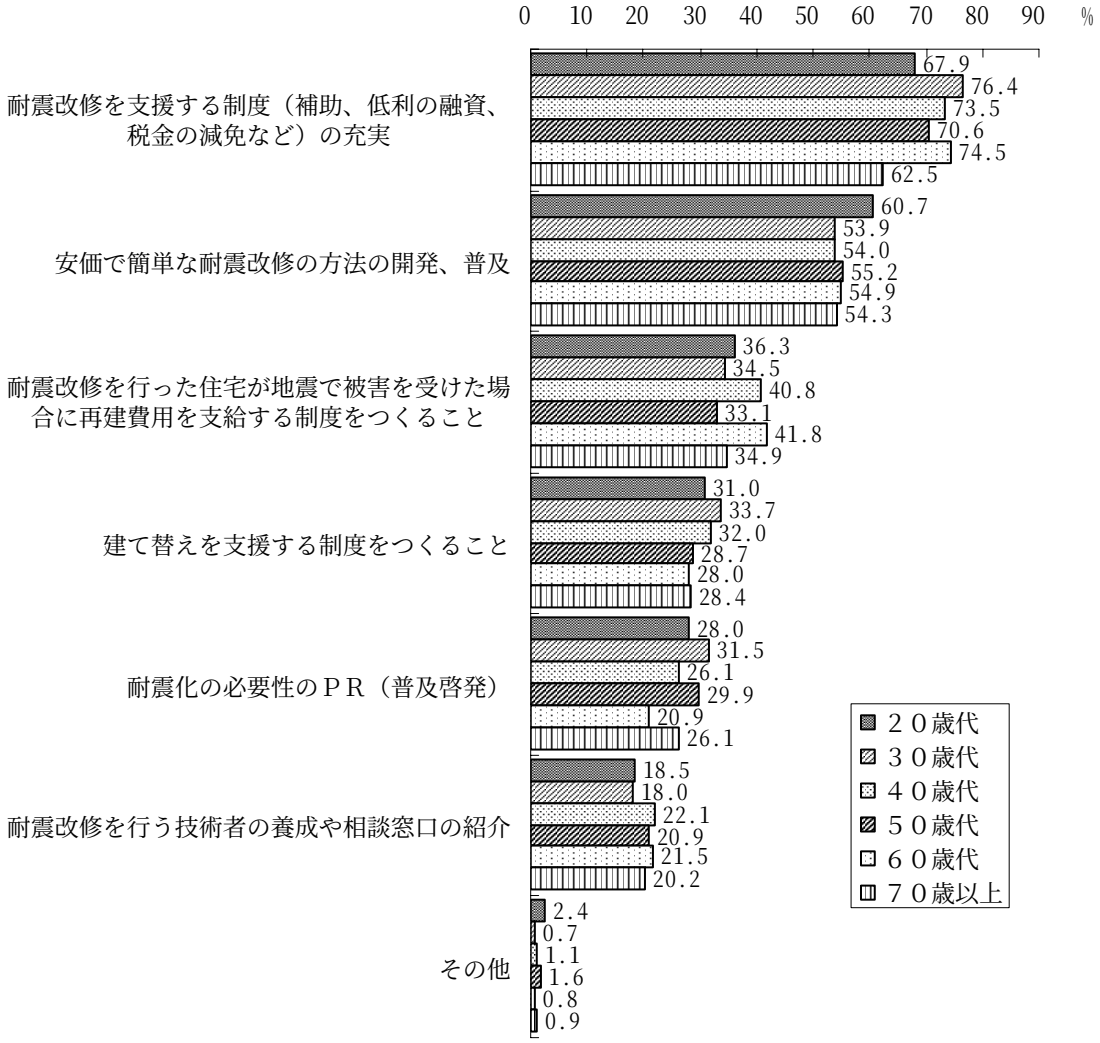


【年代別】

いずれの年齢階層でも「耐震改修を支援する制度（補助、低利の融資、税金の減免など）の充実」が最も多く、30 歳代や 60 歳代では 75%前後を占めている。

また、いずれの年齢階層でも、４位までは《総合》の順位と同じとなっており、いずれの施策にも年齢による大きな差はみられない。

《 年 代 別 》



【職業別】

ほとんどの職業区分で「耐震改修を支援する制度（補助、低利の融資、税金の減免など）の充実」が最も多く、管理職、事務職、技術職、労務職では75%前後を占めている。

《 職 業 別 》

単位：%

項目／職業	耐震改修を支援する制度（補助、低利の融資、税金の減免など）の充実	安価で簡単な耐震改修の方法の開発、普及	耐震改修を行った住宅が地震で被害を受けた場合に再建費用を支給する制度をつくること	建て替えを支援する制度をつくること	耐震化の必要性のＰＲ（普及啓発）	耐震改修を行う技術者の養成や相談窓口の紹介	その他
農林業	69.3	60.5	36.0	31.6	24.6	23.7	0.9
漁業	70.0	50.0	50.0	40.0	10.0	20.0	0.0
商工サービス業自営	68.6	57.9	38.6	30.7	21.4	17.9	1.4
事務職	74.7	58.0	38.5	32.2	27.6	19.5	1.1
技術職	74.3	57.8	34.8	28.9	33.7	19.3	1.1
労務職	74.0	55.6	38.8	31.6	26.0	21.6	2.0
管理職	75.9	67.2	31.0	25.9	34.5	15.5	0.0
自由業	68.8	68.8	43.8	21.9	28.1	18.8	6.3
主婦	73.2	48.7	37.3	29.4	26.1	21.6	1.0
学生	73.1	80.8	30.8	23.1	38.5	15.4	0.0
無職	67.3	58.0	35.9	26.6	26.4	21.9	0.8
その他	66.7	41.5	39.0	35.2	27.0	20.1	0.6

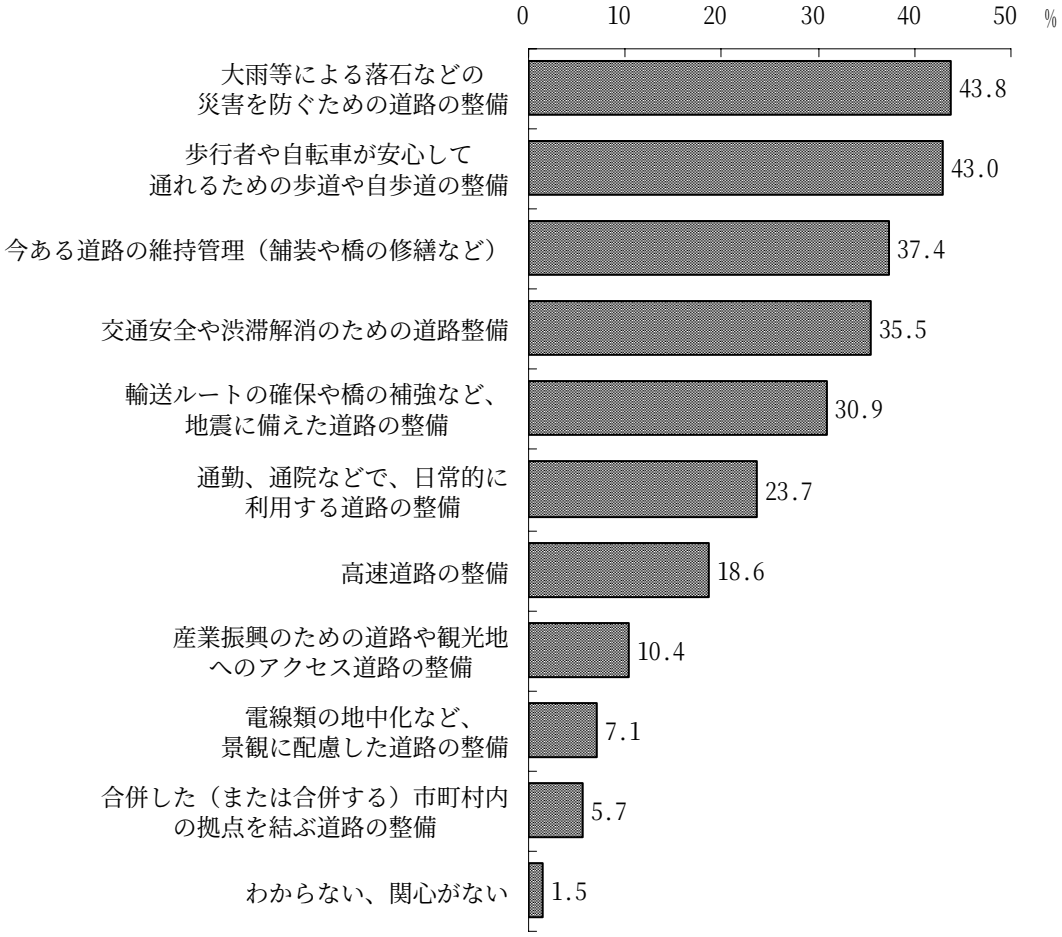
［7］高知県の道路整備について

問 29　県内の道路整備にあたって特にどのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○印）

県内の道路整備にあたって必要なこととしては、「大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備」が 43.8%で最も多いが、「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」も 43.0%でほぼ同じ比率となっている。

次いで、「今ある道路の維持管理（舗装や橋の修繕など）」と「交通安全や渋滞解消のための道路整備」が約 35%、「輸送ルートの確保や橋の補強など、地震に備えた道路の整備」が 30.9%などで続いている。

《　総　合　》

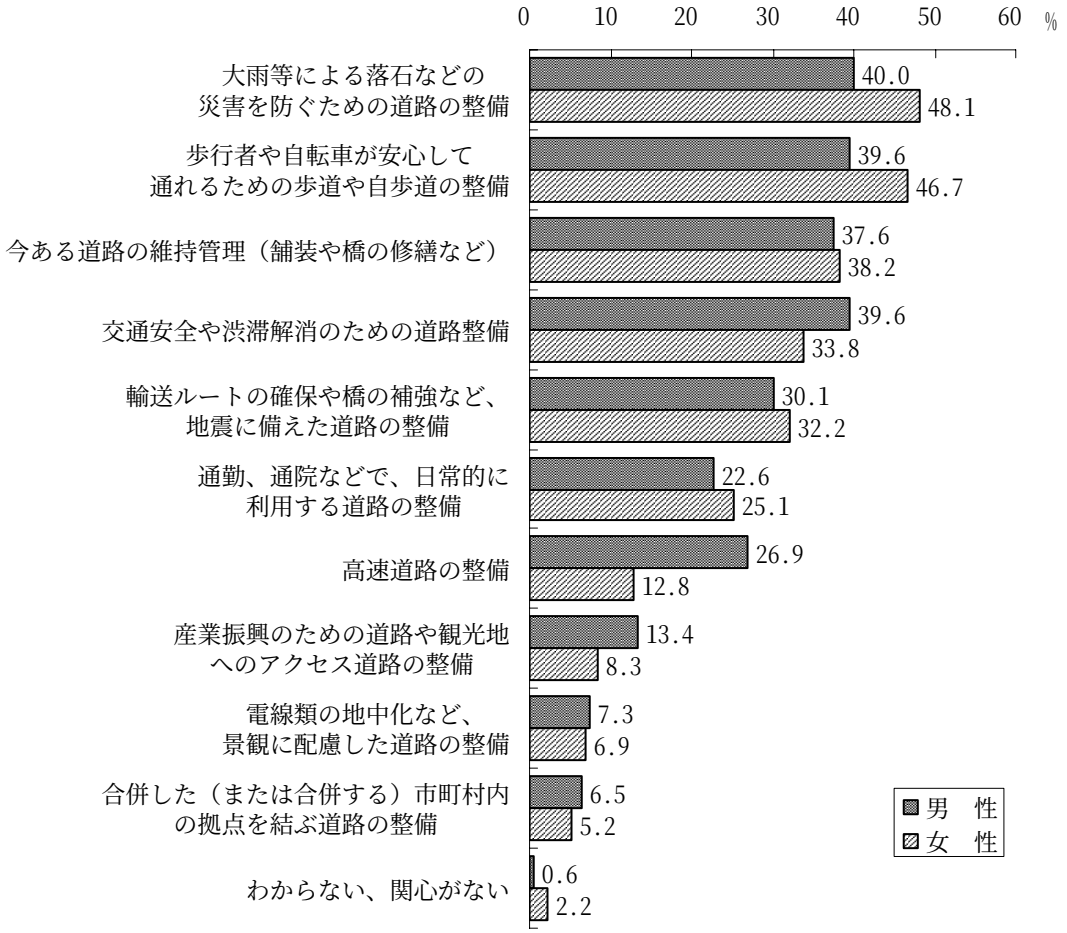


【性別】

男女とも《総合》で挙げられている上位５項目の比率が高くなっている。その中で、「大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備」と「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」は女性が男性の比率を上回り、男性は「交通安全や渋滞解消のための道路整備」の比率が高くなっている。

また、上位以外のものでは、「高速道路の整備」について、男性は女性の比率を大きく上回っている。

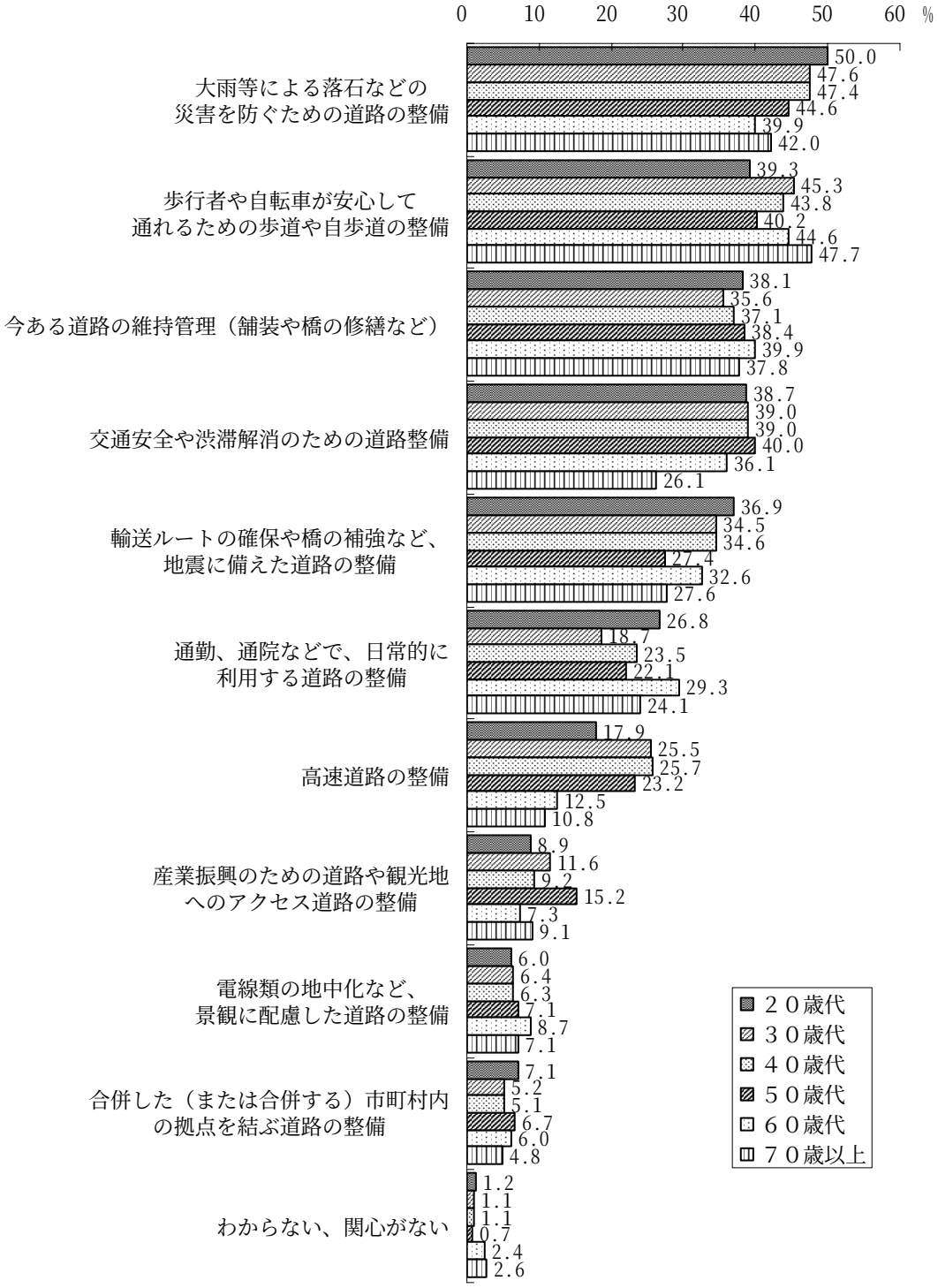
《　性　別　》



【年代別】

若い年齢階層ほど「大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備」の比率が高くなる傾向がみられ、50 歳代以下の年齢階層では最も多くなっている。一方、60 歳代以上の年齢階層では、「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」が最も多くなっている。

《 年 代 別 》



【職業別】

「大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備」や「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」の比率が最も高い職業区分が多いが、商工サービス業自営では「交通安全や渋滞解消のための道路整備」、管理職では「高速道路の整備」、自由業では「輸送ルートの確保や橋の補強など、地震に備えた道路の整備」の比率が最も高く、職業区分により比較的大きな意見の違いがみられる。

【地域別】

南国・香美、高吾北、高幡、幡多広域圏では、「大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備」の比率が最も高いが、安芸、仁淀川広域圏では「交通安全や渋滞解消のための道路整備」、嶺北広域圏では「今ある道路の維持管理（舗装や橋の修繕など）」、高知市では「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」の比率が最も高く、それぞれ地域の置かれている状況を反映した結果となっている。

《 職 業 別 》

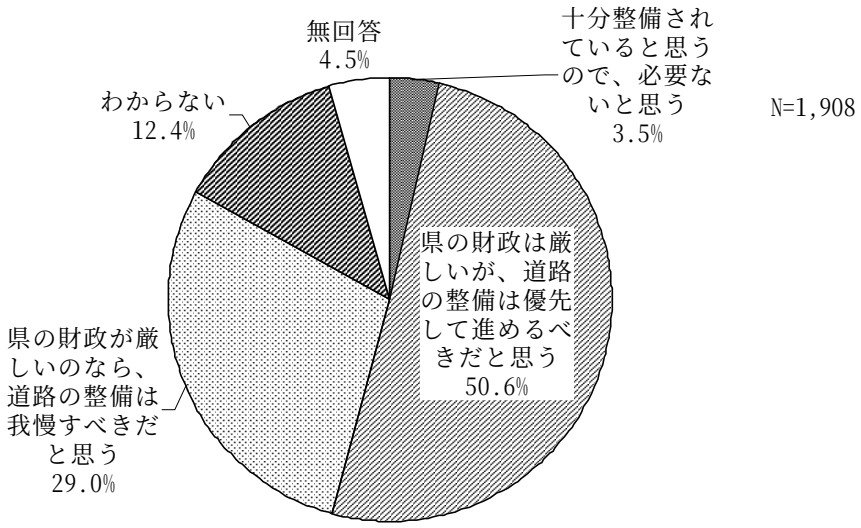
単位：%

項目		大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備	歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備	今ある道路の維持管理（舗装や橋の修繕など）	交通安全や渋滞解消のための道路整備	輸送ルートの確保や橋の補強など、地震に備えた道路の整備	通勤、通院などで、日常的に利用する道路の整備	高速道路の整備	産業振興のための道路や観光地へのアクセス道路の整備	電線類の地中化など、景観に配慮した道路の整備	合併した（または合併する）市町村内の拠点を結ぶ道路の整備	わからない、関心がない
職業別	農林業	53.5	31.6	40.4	31.6	23.7	28.9	19.3	14.0	5.3	15.8	0.9
	漁業	20.0	50.0	30.0	30.0	40.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	40.0	36.4	37.1	42.1	30.0	20.0	22.1	21.4	8.6	5.0	0.7
	事務職	38.5	43.1	36.8	36.8	38.5	26.4	29.9	10.3	6.3	9.8	1.1
	技術職	53.5	44.9	33.7	39.0	31.6	28.9	17.6	10.7	5.3	5.9	1.1
	労務職	42.0	43.2	42.0	41.6	30.4	21.6	20.4	11.6	5.6	5.6	0.4
	管理職	36.2	36.2	32.8	43.1	34.5	19.0	50.0	13.8	5.2	6.9	1.7
	自由業	40.6	40.6	34.4	28.1	43.8	31.3	28.1	6.3	9.4	0.0	0.0
	主婦	51.3	46.1	39.2	36.6	34.0	20.3	14.1	8.2	6.5	3.6	2.3
	学生	46.2	26.9	34.6	38.5	34.6	26.9	26.9	3.8	7.7	7.7	3.8
	無職	40.9	50.9	37.7	32.5	29.0	26.9	11.9	7.9	9.8	3.2	2.6
	その他	45.3	43.4	39.0	32.1	27.7	21.4	17.6	8.8	6.9	6.3	0.6
広域生活圏別	高知市	40.1	45.8	37.5	39.1	33.6	20.7	17.1	8.6	7.9	5.1	1.4
	安芸広域圏	39.5	36.9	33.8	40.1	29.9	16.6	26.1	12.1	7.0	1.9	3.2
	南国・香美広域圏	46.3	43.9	35.3	37.3	32.2	25.9	16.5	11.0	7.5	5.1	0.8
	嶺北広域圏	58.5	48.8	61.0	17.1	19.5	36.6	4.9	12.2	9.8	7.3	0.0
	仁淀川広域圏	43.9	44.4	33.3	47.2	28.9	25.6	12.8	11.1	7.2	8.3	1.1
	高吾北広域圏	50.8	36.9	35.4	33.8	27.7	43.1	10.8	10.8	1.5	6.2	1.5
	高幡広域圏	51.9	34.4	40.6	24.4	22.5	24.4	20.6	8.8	5.6	4.4	2.5
	幡多広域圏	47.7	42.1	39.1	20.9	31.1	26.8	28.5	15.7	5.1	9.8	1.7

問 30　県内の道路の今後の整備（基本的な維持管理は除く）について、どう思いますか。
（1つだけ○印）

県内の道路の今後の整備（基本的な維持管理は除く）については、50.6%が「県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う」と答えており、「県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」の 29.0%や「十分整備されていると思うので、必要ないと思う」の 3.5%を大きく上回っている。

《 総 合 》



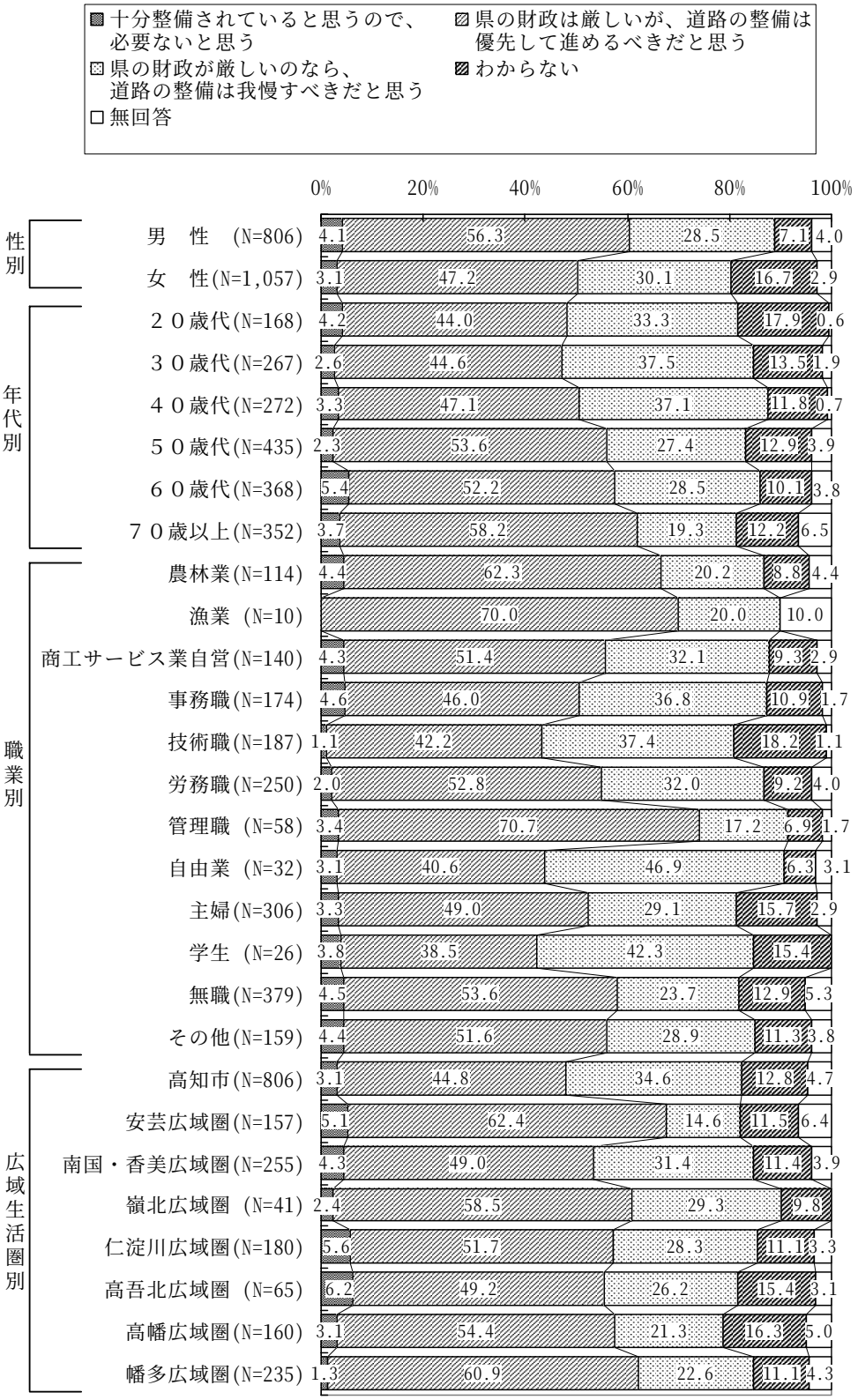
【性別】
男女とも「県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う」が最も多く、その割合は男性が 56.3%で女性の 47.2%を上回っている。

【年代別】
いずれの年齢階層でも「県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う」が最も多く、その割合は年齢が高くなるほど高くなる傾向がみられ、70 歳以上では約 60%を占めている。「県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」は 30 歳代や 40 歳代で多く、ともに 40%弱を占めている。

【職業別】
自由業や学生では「県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」が最も多いが、その他の職業区分ではいずれも「県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う」が最も多く、管理職では 70%を超えている。

【地域別】
いずれの地域でも「県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う」が最も多く、安芸や幡多広域圏では 60%を超えている。また、高知市や南国・香美広域圏では約３人に１人が「県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」と回答している。

《　性別・年代別・職業別・地域別　》



【問３０×問２９のクロス分析】

本問の各選択肢を選んだ人が、問 29 の【道路整備にあたって特に必要なこと】にどのように回答しているかをみる。

問 30 で【十分整備されていると思うので、必要ないと思う】と回答した人は、49.3%が「今ある道路の維持管理（舗装や橋の修繕など）」を選んでおり、「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」も 40%を超えている。

一方、【県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う】と回答した人は、47.2%が「大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備」を選び、「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」も 39.3%を占めている。特に、他の選択肢を選んだ人と比べると、「高速道路の整備」の比率が高くなっている。

【県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う】あるいは【わからない】と回答した人は、「歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備」を最も多くの人が選んでおり、「大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備」の比率も高くなっている。

【問３０　県内道路の今後の整備について】×【問２９　道路整備にあたって特に必要なこと】

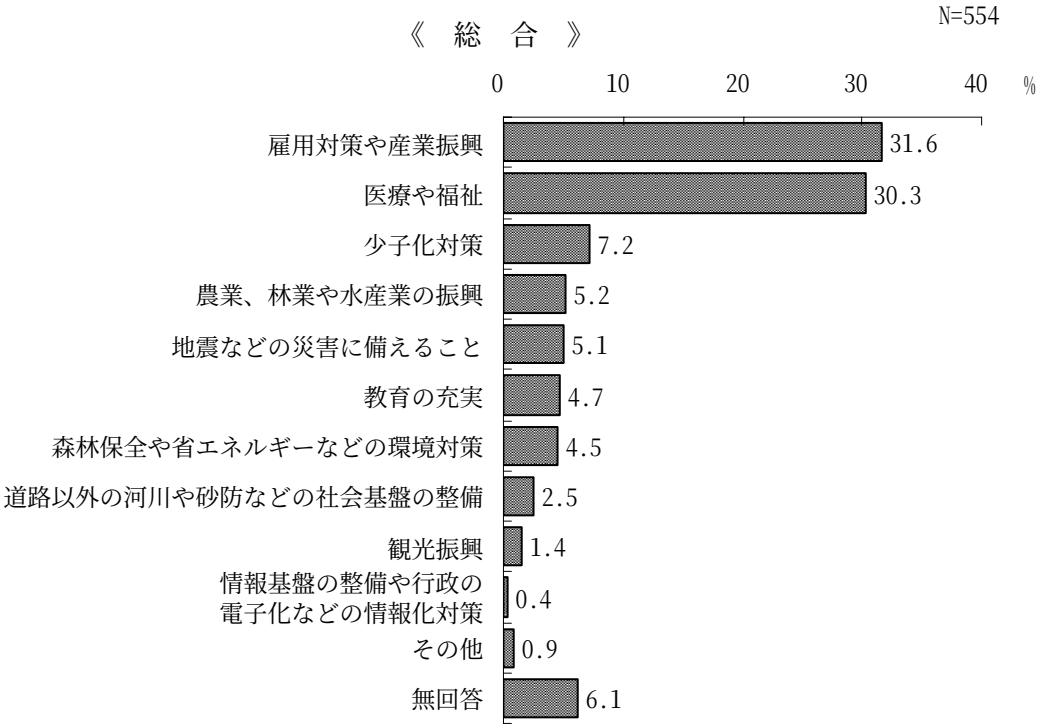
単位：%

問３０ ＼ 問２９	今ある道路の維持管理（舗装や橋の修繕など）	輸送ルートの確保や橋の補強など、地震に備えた道路の整備	大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備	通勤、通院などで、日常的に利用する道路の整備	高速道路の整備	歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備	合併した（または合併する）市町村内の拠点を結ぶ道路の整備	産業振興のための道路や観光地へのアクセス道路の整備	交通安全や渋滞解消のための道路整備	電線類の地中化など、景観に配慮した道路の整備	わからない、関心がない
十分整備されていると思うので、必要ないと思う	49.3	23.9	37.3	19.4	4.5	40.3	1.5	3.0	25.4	10.4	3.0
県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う	37.0	32.5	47.2	25.3	27.0	39.3	6.8	13.0	37.4	6.9	0.0
県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う	40.4	33.6	44.9	24.4	11.6	50.7	5.8	9.7	37.0	7.4	0.9
わからない	36.3	25.3	38.8	21.1	10.1	48.9	4.2	6.3	35.0	6.8	9.3

副問　財政が厳しいなか道路の整備より優先すべきだと思うものは何ですか。（1つだけ○印）
（問 30 で「3　県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」と答えた方のみお答えください。）

道路の整備より優先すべきものとしては、「雇用対策や産業振興」や「医療や福祉」を挙げる人が多く、ともに 30%超を占めている。

次いで、「少子化対策」、「農業、林業や水産業の振興」、「地震などの災害に備えること」、「教育の充実」、「森林保全や省エネルギーなどの環境対策」などが続いているが、いずれも１桁台と割合は低くなっている。



【性別】

男女とも「雇用対策や産業振興」と「医療や福祉」が多く、その割合に大きな差はみられないが、その他の施策として、男性は女性に比べ「農業、林業や水産業の振興」、女性は「少子化対策」の割合が高い。

【年代別】

20 歳代、40 歳代、50 歳代では「雇用対策や産業振興」が 40%前後を占め、70 歳以上では「医療や福祉」が高い。その他では、30 歳代と 60 歳代で「少子化対策」、70 歳以上で「地震などの災害に備えること」の割合が他の年齢階層に比べて高い。

【職業別】

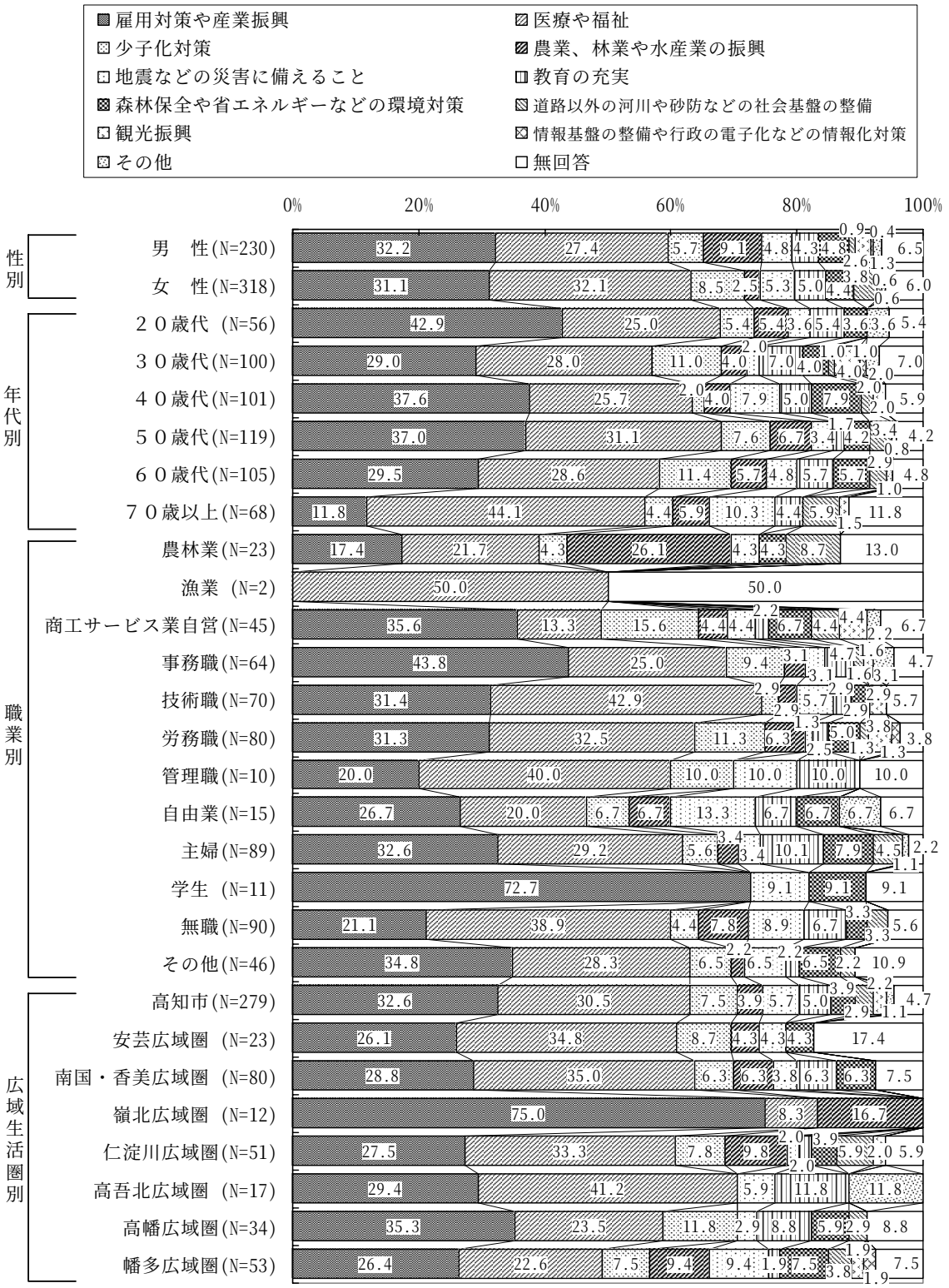
学生や事務職で「雇用対策や産業振興」の割合が高く、学生では 70%を超えているが、技術職、管理職、無職では「医療や福祉」が最も多く、ともに 40%前後を占めている。その他では、農林業では「農業、林業や水産業の振興」、商工サービス業自営では「少子化対策」、主婦では「教育の充実」、自由業では「地震などの災害に備えること」の割合が他の職業区分に比べて高いなどの傾向がみられる。

【地域別】

嶺北広域圏では「雇用対策や産業振興」が 75.0%で圧倒的に多いが、他の地域では、「雇用対策や産業振興」と「医療や福祉」を挙げる人が多い。その他では、嶺北広域圏では「農

業、林業や水産業の振興」、高吾北広域圏では「教育の充実」、高幡広域圏では「少子化対策」、幡多広域圏では「地震などの災害に備えること」の割合が他の地域に比べて高いなどの傾向がみられる。

《　性別・年代別・職業別・地域別　》



問 31　その他、県内の道路整備についてご意見をご記入ください。　（自由記入）

県内の道路整備については、336 人から意見が提出されている。
（個々の意見については、192 ページ以降を参照。）

その中で多かった意見としては、

・必要な道路の整備（優先順位や整備目的を明確にすべき。郡部や山間部など遅れている箇所の整備。）

・災害対策（災害時の交通途絶対策を行うべき。通行止め時の迂回路整備を行うべき。）

・高速道路の整備

・交通弱者対策（歩行者、子ども、高齢者にやさしい道路づくり。歩道の設置、拡幅）

・無駄な工事が多い。

などが挙げられる。

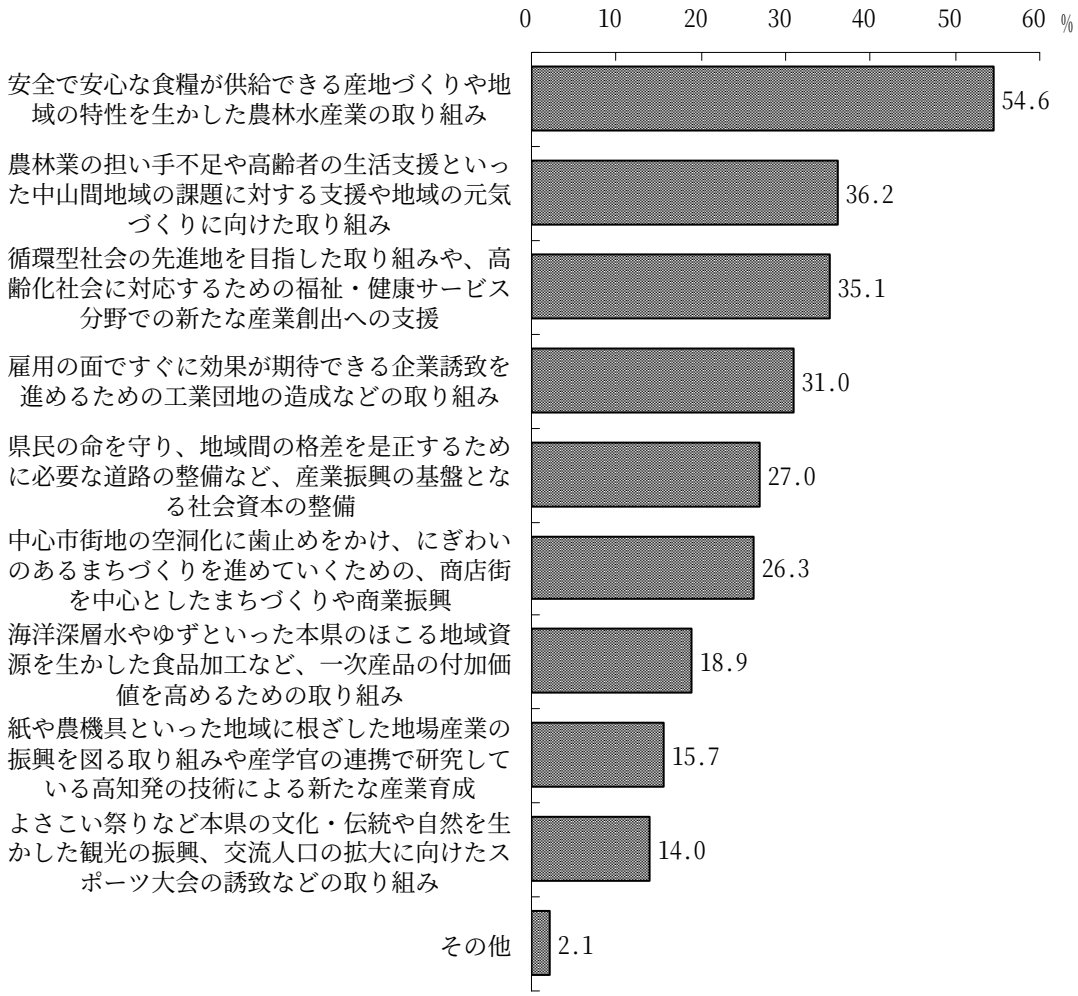
［8］今後の産業政策について

問 32　県が産業政策の面で今後、特に重点的に取り組むべきものはどれだと思いますか。
（3つまで○印）

産業政策面において、今後、重点的に取り組むべきものとしては、「安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み」が 54.6%で最も多い。

次いで、「農林業の担い手不足や高齢者の生活支援といった中山間地域の課題に対する支援や地域の元気づくりに向けた取り組み」、「循環型社会の先進地を目指した取り組みや、高齢化社会に対応するための福祉・健康サービス分野での新たな産業創出への支援」「雇用の面ですぐに効果が期待できる企業誘致を進めるための工業団地の造成などの取り組み」が 30%台で続いている。

《 総　合 》

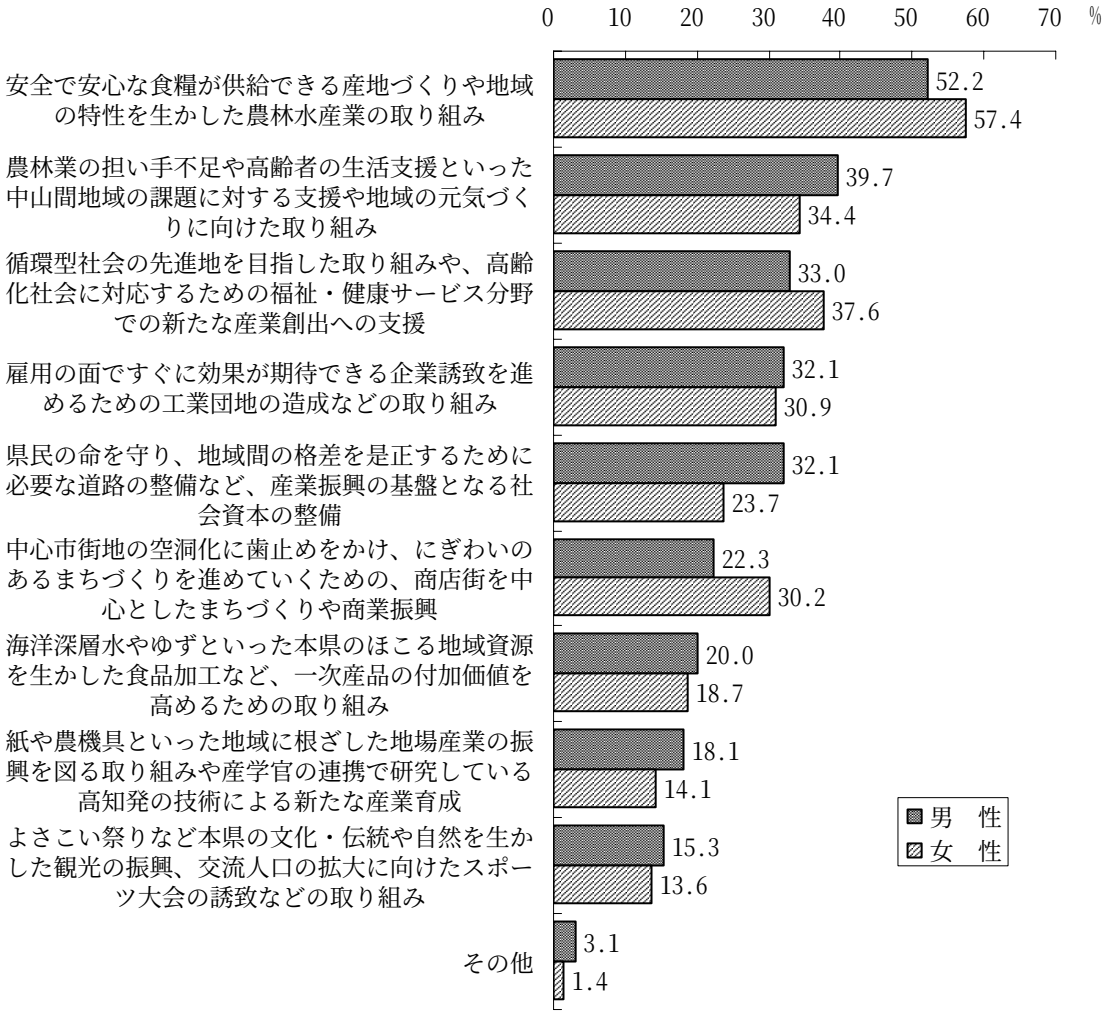


【性別】

男女とも《総合》で上位に挙げられた取り組みの比率が高く、その中で男性は女性に比べ「農林業の担い手不足や高齢者の生活支援といった中山間地域の課題に対する支援や地域の元気づくりに向けた取り組み」、女性は男性に比べ「安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み」と「循環型社会の先進地を目指した取り組みや、高齢化社会に対応するための福祉・健康サービス分野での新たな産業創出への支援」の比率が高い。

上位以外の取り組みの中では、男性は女性に比べ「県民の命を守り、地域間の格差を是正するために必要な道路の整備など、産業振興の基盤となる社会資本の整備」、女性は男性に比べ「中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、にぎわいのあるまちづくりを進めていくための、商店街を中心としたまちづくりや商業振興」の比率が高い。

《　性　別　》

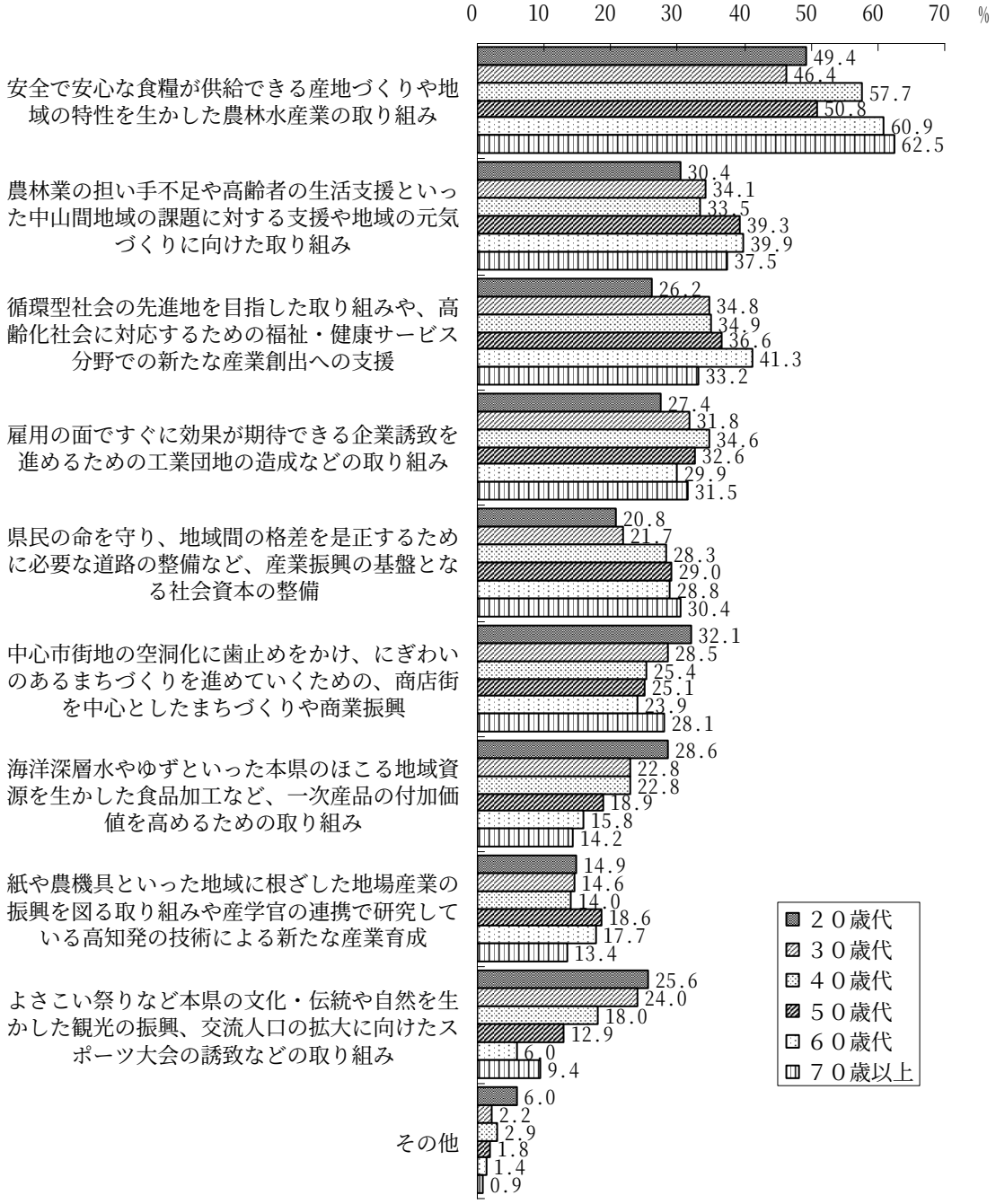


【年代別】

いずれの年齢階層でも「安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み」が最も多く、その比率は年齢が高い階層で高い傾向がみられる。

年代別の特徴としては、若い年齢階層ほど「海洋深層水やゆずといった本県のほこる地域資源を生かした食品加工など、一次産品の付加価値を高めるための取り組み」や「よさこい祭りなど本県の文化・伝統や自然を生かした観光の振興、交流人口の拡大に向けたスポーツ大会の誘致などの取り組み」の比率が高くなる傾向がみられる。

《 年 代 別 》



【職業別】

いずれの職業区分でも「安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み」が最も多く、農林業、自由業、主婦では 60%を超えている。

その他では、

農林業：「農林業の担い手不足や高齢者の生活支援といった中山間地域の課題に対する支援や地域の元気づくりに向けた取り組み」、「県民の命を守り、地域間の格差を是正するために必要な道路の整備など、産業振興の基盤となる社会資本の整備」

商工サービス業自営：「中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、にぎわいのあるまちづくりを進めていくための、商店街を中心としたまちづくりや商業振興」

自由業：「循環型社会の先進地を目指した取り組みや、高齢化社会に対応するための福祉・健康サービス分野での新たな産業創出への支援」、「紙や農機具といった地域に根ざした地場産業の振興を図る取り組みや産学官の連携で研究している高知発の技術による新たな産業育成」

学　生：「中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、にぎわいのあるまちづくりを進めていくための、商店街を中心としたまちづくりや商業振興」、「よさこい祭りなど本県の文化・伝統や自然を生かした観光の振興、交流人口の拡大に向けたスポーツ大会の誘致などの取り組み」

などの比率が他の職業区分に比べて高いなどの傾向がみられる。

【地域別】

嶺北広域圏では「農林業の担い手不足や高齢者の生活支援といった中山間地域の課題に対する支援や地域の元気づくりに向けた取り組み」が最も多いが、その他の地域では「安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み」が最も多く、高吾北や安芸広域圏では 60%を超えている。

その他では、

高知市：「中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、にぎわいのあるまちづくりを進めていくための、商店街を中心としたまちづくりや商業振興」

安芸広域圏：「県民の命を守り、地域間の格差を是正するために必要な道路の整備など、産業振興の基盤となる社会資本の整備」、「海洋深層水やゆずといった本県のほこる地域資源を生かした食品加工など、一次産品の付加価値を高めるための取り組み」

南国・香美広域圏：「循環型社会の先進地を目指した取り組みや、高齢化社会に対応するための福祉・健康サービス分野での新たな産業創出への支援」

幡多広域圏：「県民の命を守り、地域間の格差を是正するために必要な道路の整備など、産業振興の基盤となる社会資本の整備」

などの比率が他の地域に比べて高いなどの傾向がみられる。

《　職業別・地域別　》

単位：%

項目		安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み	農林業の担い手不足や高齢者の生活支援といった中山間地域の課題に対する支援や地域の元気づくりに向けた取り組み	循環型社会の先進地を目指した取り組みや、高齢化社会に対応するための福祉・健康サービス分野での新たな産業創出への支援	雇用の面ですぐに効果が期待できる企業誘致を進めるための工業団地の造成などの取り組み	県民の命を守り、地域間の格差を是正するために必要な道路の整備など、産業振興の基盤となる社会資本の整備	中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、にぎわいのあるまちづくりを進めていくための、商店街を中心としたまちづくりや商業振興	海洋深層水やゆずといった本県のほこる地域資源を生かした食品加工など、一次産品の付加価値を高めるための取り組み	紙や農機具といった地域に根ざした地場産業の振興を図る取り組みや産学官の連携で研究している高知発の技術による新たな産業育成	よさこい祭りなど本県の文化・伝統や自然を生かした観光の振興、交流人口の拡大に向けたスポーツ大会の誘致などの取り組み	その他
職業別	農林業	66.7	59.6	28.1	25.4	36.8	9.6	15.8	12.3	13.2	3.5
	漁業	60.0	20.0	40.0	50.0	30.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	46.4	34.3	39.3	35.0	27.1	38.6	14.3	14.3	16.4	2.1
	事務職	56.3	35.1	33.3	31.0	28.7	19.5	25.3	20.7	16.7	2.3
	技術職	45.5	30.5	41.2	28.3	20.9	25.7	23.5	18.2	23.0	2.1
	労務職	53.6	38.4	34.8	36.0	28.0	26.8	21.6	13.2	17.2	2.8
	管理職	46.6	37.9	32.8	37.9	29.3	31.0	19.0	27.6	15.5	3.4
	自由業	62.5	34.4	56.3	21.9	18.8	6.3	28.1	31.3	12.5	0.0
	主婦	61.8	33.0	33.3	29.1	25.5	30.7	19.9	15.0	10.8	1.0
	学生	50.0	34.6	23.1	30.8	23.1	42.3	30.8	11.5	30.8	3.8
	無職	57.5	39.1	35.9	31.1	29.6	26.1	15.6	17.4	9.8	0.5
	その他	49.7	32.1	37.1	35.2	28.3	29.6	17.0	9.4	13.2	4.4
広域生活圏別	高知市	50.0	32.0	35.0	28.7	20.1	35.2	22.7	16.4	16.5	3.0
	安芸広域圏	61.1	35.0	28.7	36.3	39.5	12.1	26.8	14.0	10.8	1.9
	南国・香美広域圏	55.7	38.0	42.4	37.6	25.1	21.6	13.3	18.8	10.6	1.6
	嶺北広域圏	51.2	56.1	24.4	39.0	34.1	12.2	22.0	12.2	14.6	0.0
	仁淀川広域圏	54.4	33.9	39.4	27.2	29.4	25.6	16.7	20.6	13.3	1.1
	高吾北広域圏	63.1	46.2	26.2	20.0	27.7	23.1	16.9	6.2	12.3	3.1
	高幡広域圏	60.0	41.3	31.3	31.3	30.0	16.9	11.3	11.9	13.8	2.5
	幡多広域圏	59.1	41.3	35.3	34.0	39.1	19.1	14.0	13.6	12.3	0.4

Ⅵ　調査結果

〔数　　表〕

問１　あなたは、県の行政にどの程度関心がありますか。（１つだけ○印）

(単位：人、%)

		サンプル	関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない	無回答
総合	実　数	1,908	719	703	208	203	57	18
	%	100	37.7	36.8	10.9	10.6	3.0	0.9
性別	男　性	806	43.4	35.2	7.8	9.6	3.0	1.0
	女　性	1,057	33.2	38.4	13.2	11.4	2.9	0.8
	無回答	45	40.0	28.9	11.1	11.1	4.4	4.4
年代別	２０歳代	168	19.6	31.0	15.5	20.8	12.5	0.6
	３０歳代	267	23.2	40.4	14.6	16.1	4.9	0.7
	４０歳代	272	30.1	41.5	15.4	11.0	1.5	0.4
	５０歳代	435	39.1	38.9	9.2	10.3	1.4	1.1
	６０歳代	368	48.6	36.7	7.6	5.2	1.1	0.8
	７０歳以上	352	49.4	32.1	7.7	7.4	2.0	1.4
	無回答	46	41.3	28.3	13.0	10.9	4.3	2.2
職業別	農林業	114	50.0	33.3	7.9	7.0	1.8	0.0
	漁業	10	60.0	0.0	10.0	10.0	0.0	20.0
	商工サービス業自営	140	39.3	44.3	10.0	5.7	0.7	0.0
	事務職	174	37.4	35.6	10.3	13.8	1.7	1.1
	技術職	187	30.5	40.1	13.9	11.8	3.2	0.5
	労務職	250	28.4	40.8	11.2	15.2	4.0	0.4
	管理職	58	53.4	34.5	6.9	1.7	1.7	1.7
	自由業	32	46.9	37.5	12.5	3.1	0.0	0.0
	主婦	306	33.0	43.1	11.8	9.5	2.0	0.7
	学生	26	23.1	19.2	15.4	19.2	23.1	0.0
	無職	379	45.9	31.9	9.2	9.2	2.6	1.1
	その他	159	31.4	32.7	13.8	15.1	5.7	1.3
	無回答	73	42.5	30.1	9.6	9.6	4.1	4.1
世帯構成別	本人のみ	223	35.0	35.9	13.9	9.4	4.5	1.3
	本人と配偶者	463	47.9	34.6	6.0	8.0	1.9	1.5
	本人と子ども	106	28.3	45.3	14.2	10.4	1.9	0.0
	本人と配偶者と子ども	529	36.7	39.9	10.4	11.3	1.5	0.2
	本人と配偶者と親	90	51.1	30.0	11.1	3.3	2.2	2.2
	本人と親	203	29.6	34.5	15.8	12.8	5.9	1.5
	３世代以上の世帯	168	28.0	42.9	11.3	13.1	4.2	0.6
	その他	76	28.9	30.3	15.8	19.7	5.3	0.0
	無回答	50	40.0	24.0	12.0	16.0	6.0	2.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	29.3	31.7	17.1	15.9	5.5	0.6
	100～200万円未満	292	39.0	35.3	12.7	9.2	2.4	1.4
	200～300万円未満	392	33.9	42.6	9.2	10.2	2.8	1.3
	300～400万円未満	250	41.6	36.4	9.6	11.2	1.2	0.0
	400～600万円未満	334	39.2	37.4	8.4	10.8	3.3	0.9
	600～800万円未満	165	45.5	36.4	7.9	8.5	1.2	0.6
	800～1000万円未満	85	29.4	43.5	15.3	8.2	2.4	1.2
	1000万円以上	89	49.4	25.8	12.4	7.9	4.5	0.0
	無回答	137	32.8	32.8	13.1	13.1	5.8	2.2
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	28.7	42.6	10.1	16.0	2.7	0.0
	小学生の子どもがいる	224	31.3	41.5	11.2	14.3	0.9	0.9
	中学生の子どもがいる	155	35.5	44.5	11.0	6.5	1.9	0.6
	高校生の子どもがいる	163	38.0	36.2	12.3	11.0	1.2	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	44.2	35.9	7.7	9	1.3	1.9
	その他	1,139	40.0	36.2	10.9	9.0	3.1	0.9
	無回答	217	34.6	31.3	12.0	14.3	5.5	2.3
広域生活圏別	高知市	806	35.1	39.5	10.9	10.7	2.9	1.0
	安芸広域圏	157	43.9	29.9	11.5	12.1	1.3	1.3
	南国・香美広域圏	255	36.1	39.2	10.2	10.2	3.5	0.8
	嶺北広域圏	41	48.8	36.6	0.0	14.6	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	36.7	33.9	15.6	7.8	6.1	0.0
	高吾北広域圏	65	29.2	30.8	15.4	16.9	4.6	3.1
	高幡広域圏	160	40.6	34.4	11.9	10.6	2.5	0.0
	幡多広域圏	235	43.4	36.2	7.7	8.9	2.1	1.7
	無回答	9	33.3	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0

副問１.その理由は何ですか。（2つまで○印）
（問１で「１　関心がある」「２　やや関心がある」と答えた方のみお答えください。）

（単位：人、%）

		サンプル	自分の住むところだから・高知に愛着があるから	自分の暮らしに関係があるから	世の中の動きや政治・行政に関心があるから	県行政について新聞やテレビでよく報道されているから	県にしてほしいことがあるから	高知県を良くするためには、県の行政について知ることが大切だと思うから	県が何をやっているか、常にチェックすることが必要だから	その他（詳細は209頁参照）	無回答
総合	実　数	1,422	603	819	262	137	82	585	95	12	7
	%	100	42.4	57.6	18.4	9.6	5.8	41.1	6.7	0.8	0.5
性別	男　性	634	44.5	50.3	21.0	7.4	6.8	39.7	9.8	1.3	0.6
	女　性	757	41.2	64.5	16.0	11.5	4.8	42.3	3.8	0.4	0.4
	無回答	31	29.0	38.7	25.8	9.7	9.7	41.9	12.9	3.2	0.0
年代別	２０歳代	85	55.3	64.7	21.2	5.9	7.1	28.2	4.7	1.2	0.0
	３０歳代	170	40.6	71.2	22.4	6.5	6.5	31.2	7.1	1.2	0.0
	４０歳代	195	42.1	66.2	13.8	9.2	2.6	34.4	8.7	2.1	2.1
	５０歳代	339	41.0	59.9	18.0	12.4	5.9	40.7	6.2	0.6	0.6
	６０歳代	314	38.2	51.9	18.8	6.7	5.7	51.6	6.1	0.6	0.3
	７０歳以上	287	47.4	47.4	17.8	12.9	6.6	43.9	6.3	0.0	0.0
	無回答	32	31.3	37.5	25.0	9.4	9.4	46.9	12.5	3.1	0.0
職業別	農林業	95	42.1	47.4	14.7	15.8	10.5	43.2	3.2	1.1	1.1
	漁業	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0
	商工サービス業自営	117	52.1	46.2	19.7	7.7	3.4	44.4	5.1	0.9	0.0
	事務職	127	48.8	66.1	16.5	5.5	5.5	37.0	3.1	1.6	1.6
	技術職	132	44.7	67.4	18.9	6.8	6.8	32.6	3.8	2.3	2.3
	労務職	173	42.8	65.3	12.7	11.6	5.8	32.4	10.4	0.6	0.0
	管理職	51	43.1	52.9	21.6	5.9	3.9	51.0	7.8	2.0	0.0
	自由業	27	40.7	40.7	22.2	11.1	3.7	37.0	11.1	0.0	3.7
	主婦	233	34.8	69.1	14.6	10.7	3.9	44.6	6.0	0.4	0.0
	学生	11	63.6	45.5	27.3	18.2	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0
	無職	295	46.1	48.8	22.7	7.8	7.5	42.7	8.5	0.3	0.0
	その他	102	27.5	60.8	22.5	16.7	2.9	46.1	7.8	0.0	0.0
	無回答	53	37.7	41.5	20.8	7.5	7.5	49.1	7.5	1.9	0.0
世帯構成別	本人のみ	158	46.2	53.2	17.7	11.4	7.6	37.3	5.1	0.6	0.0
	本人と配偶者	382	40.1	56.5	19.4	8.1	5.8	46.6	7.6	0.3	0.5
	本人と子ども	78	44.9	48.7	20.5	9.0	5.1	38.5	7.7	1.3	1.3
	本人と配偶者と子ども	405	41.7	64.4	16.3	10.9	4.7	38.3	5.7	1.2	0.2
	本人と配偶者と親	73	39.7	45.2	20.5	8.2	8.2	47.9	6.8	2.7	1.4
	本人と親	130	46.9	56.2	23.1	7.7	5.4	36.2	8.5	0.0	0.8
	３世代以上の世帯	119	41.2	62.2	17.6	11.8	5.0	37.8	7.6	0.8	0.8
	その他	45	53.3	60.0	8.9	11.1	6.7	44.4	2.2	0.0	0.0
	無回答	32	31.3	40.6	25.0	6.3	9.4	50.0	9.4	3.1	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	100	41.0	52.0	17.0	8.0	10.0	44.0	5.0	0.0	0.0
	100～200万円未満	217	47.0	51.2	16.6	12.0	4.1	44.7	4.6	0.5	0.0
	200～300万円未満	300	37.3	64.3	16.7	10.3	5.3	39.3	8.0	0.7	0.7
	300～400万円未満	195	40.5	60.0	16.9	7.2	4.1	43.6	9.7	0.5	0.0
	400～600万円未満	256	43.4	53.9	21.1	8.2	8.2	40.6	6.6	2.3	0.4
	600～800万円未満	135	43.0	64.4	23.0	8.9	3.7	37.8	4.4	0.7	2.2
	800～1000万円未満	62	51.6	62.9	22.6	8.1	1.6	37.1	4.8	0.0	0.0
	1000万円以上	67	50.7	55.2	13.4	9.0	6.0	47.8	7.5	0.0	1.5
	無回答	90	37.8	50.0	20.0	15.6	8.9	34.4	6.7	1.1	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	134	36.6	67.9	15.7	9.7	4.5	38.8	9.0	1.5	0.7
	小学生の子どもがいる	163	36.8	62.0	20.2	10.4	6.7	38.7	6.1	1.2	0.0
	中学生の子どもがいる	124	45.2	66.9	14.5	7.3	8.1	45.2	1.6	0.0	0.0
	高校生の子どもがいる	121	38.0	59.5	17.4	12.4	7.4	38.8	6.6	2.5	0.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	125	33.6	64.0	19.2	12.8	4.8	41.6	6.4	0.8	0.8
	その他	868	42.7	55.2	19.6	9.8	5.3	43.0	7.7	0.7	0.5
	無回答	143	47.6	51.7	13.3	7.7	7.0	40.6	3.5	0.7	0.7
広域生活圏別	高知市	601	43.1	61.2	18.8	9.7	3.8	38.9	8.0	0.8	0.3
	安芸広域圏	116	43.1	48.3	18.1	11.2	5.2	46.6	6.9	0.0	0.9
	南国・香美広域圏	192	41.1	58.9	17.2	8.3	6.3	37.5	6.3	1.0	0.5
	嶺北広域圏	35	60.0	48.6	17.1	8.6	2.9	45.7	5.7	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	127	43.3	52.0	19.7	10.2	10.2	34.6	7.9	2.4	1.6
	高吾北広域圏	39	33.3	48.7	28.2	12.8	12.8	46.2	0.0	2.6	0.0
	高幡広域圏	120	39.2	55.8	15.0	11.7	3.3	51.7	5.8	0.0	0.8
	幡多広域圏	187	40.1	59.4	18.7	8.0	9.1	44.4	4.3	0.5	0.0
	無回答	5	80.0	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0

副問２．その理由は何ですか。（2つまで○印）
（問１で「４　あまり関心がない」「５　関心がない」と答えた方のみお答えください。）

（単位：人、％）

		サンプル	高知に愛着がないから	自分の暮らしには関係がないと思うから	世の中の動きや政治・行政には関心がないから	県が何をやっているのかよくわからないから	自分の要望や意見が活かされないと思うから	行政のことは県にまかせておいてよいと思うから	その他（詳細は209頁参照）	無回答
総合	実　数	260	5	33	36	169	93	37	13	7
	%	100	1.9	12.7	13.8	65.0	35.8	14.2	5.0	2.7
性別	男　性	101	2.0	11.9	8.9	63.4	35.6	12.9	8.9	5.0
	女　性	152	2.0	13.2	17.1	66.4	36.2	13.8	2.6	1.3
	無回答	7	0.0	14.3	14.3	57.1	28.6	42.9	0.0	0.0
年代別	２０歳代	56	3.6	16.1	19.6	66.1	28.6	12.5	3.6	1.8
	３０歳代	56	1.8	8.9	17.9	67.9	42.9	1.8	7.1	1.8
	４０歳代	34	5.9	11.8	17.6	76.5	35.3	5.9	2.9	0.0
	５０歳代	51	0.0	5.9	9.8	68.6	37.3	17.6	7.8	2.0
	６０歳代	23	0.0	21.7	0.0	60.9	26.1	30.4	4.3	8.7
	７０歳以上	33	0.0	18.2	9.1	45.5	45.5	27.3	3.0	3.0
	無回答	7	0.0	14.3	14.3	57.1	14.3	28.6	0.0	14.3
職業別	農林業	10	0.0	20.0	30.0	60.0	20.0	10.0	30.0	0.0
	漁業	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	9	0.0	11.1	0.0	77.8	33.3	11.1	0.0	11.1
	事務職	27	3.7	7.4	14.8	55.6	40.7	11.1	7.4	0.0
	技術職	28	0.0	3.6	17.9	82.1	32.1	10.7	0.0	0.0
	労務職	48	2.1	8.3	14.6	60.4	47.9	12.5	6.3	2.1
	管理職	2	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自由業	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	主婦	35	0.0	14.3	14.3	71.4	34.3	8.6	2.9	2.9
	学生	11	0.0	18.2	45.5	72.7	18.2	0.0	18.2	0.0
	無職	45	0.0	2.1	0.0	6.9	4.5	4.0	0.3	0.0
	その他	33	3.0	18.2	15.2	66.7	27.3	6.1	3.0	9.1
	無回答	10	0.0	10.0	10.0	60.0	30.0	30.0	0.0	10.0
世帯構成別	本人のみ	31	6.5	6.5	12.9	54.8	32.3	22.6	3.2	6.5
	本人と配偶者	46	2.2	15.2	6.5	58.7	32.6	21.7	6.5	4.3
	本人と子ども	13	0.0	30.8	30.8	61.5	30.8	15.4	7.7	0.0
	本人と配偶者と子ども	68	1.5	8.8	8.8	69.1	47.1	1.5	4.4	1.5
	本人と配偶者と親	5	0.0	40.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	本人と親	38	0.0	10.5	18.4	68.4	23.7	18.4	0.0	5.3
	３世代以上の世帯	29	3.4	10.3	17.2	69.0	48.3	6.9	13.8	0.0
	その他	19	0.0	21.1	26.3	68.4	36.8	15.8	5.3	0.0
	無回答	11	0.0	9.1	9.1	63.6	18.2	45.5	0.0	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	35	0.0	14.3	17.1	54.3	37.1	11.4	5.7	5.7
	100～200万円未満	34	0.0	8.8	20.6	44.1	41.2	29.4	5.9	2.9
	200～300万円未満	51	2.0	15.7	5.9	74.5	35.3	11.8	5.9	2.0
	300～400万円未満	31	0.0	6.5	12.9	67.7	38.7	9.7	6.5	0.0
	400～600万円未満	47	4.3	17.0	14.9	74.5	34.0	6.4	2.1	2.1
	600～800万円未満	16	12.5	0.0	18.8	75.0	37.5	6.3	6.3	0.0
	800～1000万円未満	9	0.0	22.2	11.1	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0
	1000万円以上	11	0.0	9.1	27.3	54.5	63.6	9.1	0.0	9.1
	無回答	26	0.0	15.4	7.7	61.5	19.2	34.6	7.7	3.8
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	35	2.9	14.3	17.1	62.9	37.1	2.9	5.7	2.9
	小学生の子どもがいる	34	2.9	11.8	20.6	52.9	52.9	5.9	11.8	0.0
	中学生の子どもがいる	13	0.0	23.1	7.7	76.9	23.1	0.0	15.4	0.0
	高校生の子どもがいる	20	0.0	10.0	10.0	75.0	55.0	5.0	5.0	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	16	6.3	6.3	18.8	62.5	31.3	12.5	6.3	0.0
	その他	137	1.5	13.9	13.1	65.7	35.0	17.5	3.6	3.6
	無回答	43	2.3	9.3	14.0	67.4	23.3	20.9	2.3	2.3
広域生活圏別	高知市	109	4.6	11.9	12.8	63.3	31.2	15.6	3.7	3.7
	安芸広域圏	21	0.0	9.5	4.8	76.2	47.6	9.5	0.0	0.0
	南国・香美広域圏	35	0.0	17.1	17.1	57.1	34.3	20.0	5.7	5.7
	嶺北広域圏	6	0.0	0.0	0.0	83.3	50.0	33.3	16.7	0.0
	仁淀川広域圏	25	0.0	16.0	28.0	60.0	44.0	0.0	12.0	0.0
	高吾北広域圏	14	0.0	0.0	7.1	50.0	42.9	35.7	14.3	0.0
	高幡広域圏	21	0.0	19.0	14.3	71.4	38.1	9.5	0.0	4.8
	幡多広域圏	26	0.0	15.4	11.5	73.1	30.8	7.7	3.8	0.0
	無回答	3	0.0	0.0	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0

問２　県民の声を県政に活かすためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（３つまで○印）

（単位：人、％）

		サンプル	手紙・電話・ファックス・インターネットなどを利用して気軽に意見が言えること	知事をはじめ県職員と住民が直接話す機会を多くすること	世論調査や住民モニター制度などの調査を多くすること	県が事業などを行う当初の段階から住民の意見を聴くこと	県職員が日ごろの業務の中で住民の声を聴く意識と姿勢を持つこと	住民から寄せられた声に対して、県がどのような対応をしたかを知らせること	県が行う事業や取り組みについての積極的な広報や徹底した情報公開	県職員が地域に入り、地域の声を聴きながら、住民とともに課題を解決していく取り組み	その他（詳細は209頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	416	482	239	731	806	813	719	747	29	50
	%	100	21.8	25.3	12.5	38.3	42.2	42.6	37.7	39.2	1.5	2.6
性別	男　性	806	19.4	28.0	14.3	39.1	41.7	38.8	37.7	41.2	2.0	2.4
	女　性	1,057	24.1	23.1	10.9	38.4	42.8	45.4	37.9	37.3	1.2	2.5
	無回答	45	11.1	26.7	20.0	22.2	40.0	44.4	31.1	46.7	0.0	11.1
年代別	２０歳代	168	26.8	23.8	17.9	35.1	35.7	45.2	35.1	38.1	3.0	3.6
	３０歳代	267	25.5	21.7	15.0	39.0	39.0	47.6	37.1	37.5	2.6	1.1
	４０歳代	272	31.6	20.6	14.3	37.9	40.8	47.4	39.0	32.0	1.5	1.8
	５０歳代	435	21.4	22.1	11.5	39.5	44.1	41.6	41.1	39.5	1.4	1.8
	６０歳代	368	16.8	29.1	10.1	40.2	45.1	37.8	41.8	39.4	1.1	1.4
	７０歳以上	352	15.9	32.7	9.7	36.9	43.8	39.2	30.4	45.5	0.6	5.7
	無回答	46	13.0	21.7	19.6	32.6	41.3	50.0	32.6	41.3	2.2	6.5
職業別	農林業	114	17.5	39.5	13.2	28.1	39.5	30.7	35.1	45.6	0.9	4.4
	漁業	10	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	40.0	10.0	40.0	10.0	20.0
	商工サービス業自営	140	21.4	25.7	10.7	35.0	47.1	45.0	37.1	42.9	2.1	0.7
	事務職	174	23.0	19.5	18.4	48.9	38.5	47.1	39.1	36.2	2.3	0.0
	技術職	187	32.1	19.8	15.0	39.0	41.7	46.0	35.3	38.0	3.7	1.1
	労務職	250	23.6	26.0	10.8	41.2	37.2	46.4	36.4	41.2	0.4	1.2
	管理職	58	20.7	32.8	17.2	25.9	50.0	29.3	32.8	46.6	3.4	5.2
	自由業	32	34.4	15.6	28.1	34.4	40.6	40.6	40.6	21.9	6.3	3.1
	主婦	306	22.9	21.6	9.8	40.2	44.1	44.1	43.8	36.3	0.7	1.0
	学生	26	34.6	26.9	19.2	42.3	34.6	42.3	42.3	23.1	3.8	0.0
	無職	379	16.1	29.0	12.4	38.3	44.3	41.7	37.2	40.1	1.1	4.2
	その他	159	19.5	22.0	6.9	40.3	44.0	39.0	38.4	38.4	0.6	3.8
	無回答	73	15.1	28.8	13.7	24.7	39.7	42.5	30.1	41.1	0.0	11.0
世帯構成別	本人のみ	223	19.3	25.6	10.8	30.5	40.8	43.5	30.9	39.0	1.8	4.9
	本人と配偶者	463	21.4	24.4	10.8	44.7	43.6	39.3	40.4	39.5	1.5	2.2
	本人と子ども	106	22.6	31.1	10.4	42.5	37.7	39.6	23.6	45.3	0.9	1.9
	本人と配偶者と子ども	529	22.9	24.6	14.4	37.8	42.0	44.0	43.9	37.6	1.3	1.5
	本人と配偶者と親	90	18.9	31.1	14.4	33.3	53.3	35.6	34.4	40.0	1.1	1.1
	本人と親	203	26.1	25.1	14.3	37.4	38.4	47.3	37.4	37.4	2.0	3.4
	３世代以上の世帯	168	21.4	24.4	13.7	34.5	42.9	44.6	33.9	40.5	3.0	2.4
	その他	76	21.1	22.4	6.6	43.4	46.1	42.1	38.2	36.8	0.0	2.6
	無回答	50	14.0	24.0	16.0	28.0	36.0	48.0	26.0	44.0	0.0	10.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	18.9	32.3	10.4	36.6	42.1	39.0	23.2	45.7	1.2	3.7
	100～200万円未満	292	16.8	31.5	9.6	40.8	41.4	43.8	30.8	40.4	1.0	3.1
	200～300万円未満	392	22.7	24.7	9.4	39.3	44.1	45.9	40.3	38.0	1.0	1.8
	300～400万円未満	250	20.4	26.0	18.0	35.2	44.4	41.6	42.4	40.0	0.8	0.8
	400～600万円未満	334	24.9	18.6	12.3	41.3	41.3	44.9	42.5	37.7	2.1	0.9
	600～800万円未満	165	27.9	23.6	17.0	40.6	39.4	41.2	46.1	34.5	1.8	2.4
	800～1000万円未満	85	30.6	21.2	17.6	35.3	42.4	34.1	43.5	40.0	2.4	1.2
	1000万円以上	89	24.7	24.7	11.2	28.1	44.9	38.2	39.3	37.1	4.5	5.6
	無回答	137	13.9	24.8	13.1	36.5	38.7	40.9	27.0	40.1	1.5	9.5
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	20.7	22.9	17.6	39.4	39.4	41.5	37.2	40.4	2.7	2.7
	小学生の子どもがいる	224	23.7	22.3	17.0	37.5	44.6	43.3	34.4	44.2	2.7	1.8
	中学生の子どもがいる	155	26.5	21.3	14.2	40.6	45.8	49.7	36.1	38.7	1.9	0.6
	高校生の子どもがいる	163	26.4	19.6	11.0	35.6	41.1	40.5	43.6	41.1	2.5	4.3
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	16.7	23.7	10.9	41.7	45.5	44.9	46.2	35.3	1.9	1.9
	その他	1,139	22.8	24.6	11.5	38.8	43.4	42.6	38.5	38.6	1.2	2.1
	無回答	217	16.1	35.5	12.4	34.1	36.9	38.7	30.0	42.9	1.4	5.5
広域生活圏別	高知市	806	23.4	21.3	12.2	42.8	42.8	43.8	42.2	33.1	1.9	2.1
	安芸広域圏	157	18.5	26.1	10.8	30.6	47.1	42.7	36.3	44.6	1.3	3.2
	南国・香美広域圏	255	24.3	26.7	13.7	37.6	40.4	42.7	32.5	40.0	1.2	2.7
	嶺北広域圏	41	19.5	19.5	17.1	41.5	43.9	43.9	26.8	56.1	2.4	0.0
	仁淀川広域圏	180	24.4	25.0	13.9	29.4	37.2	45.0	37.2	42.8	1.7	1.7
	高吾北広域圏	65	15.4	35.4	9.2	33.8	46.2	36.9	27.7	49.2	1.5	6.2
	高幡広域圏	160	21.3	26.3	15.0	41.3	37.5	38.8	33.8	39.4	1.9	2.5
	幡多広域圏	235	16.6	33.2	11.1	35.3	46.0	40.9	36.6	45.5	0.4	3.8
	無回答	9	11.1	55.6	11.1	11.1	11.1	33.3	33.3	66.7	0.0	11.1

問３　あなたは、県の情報公開や県からの情報の提供について関心がありますか。（１つだけ○印）

（単位：人、％）

		サンプル	関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない	無回答
総合	実　数	1,908	671	688	351	121	41	36
	%	100	35.2	36.1	18.4	6.3	2.1	1.9
性別	男　性	806	40.8	33.6	15.3	6.3	2.2	1.7
	女　性	1,057	30.9	38.2	20.9	6.3	2.0	1.6
	無回答	45	33.3	28.9	15.6	6.7	4.4	11.1
年代別	２０歳代	168	22.6	32.1	24.4	12.5	6.0	2.4
	３０歳代	267	25.1	37.8	25.1	7.5	3.7	0.7
	４０歳代	272	26.1	43.4	23.5	4.4	1.1	1.5
	５０歳代	435	38.2	35.6	16.8	6.2	1.1	2.1
	６０歳代	368	43.5	35.9	14.4	4.3	1.1	0.8
	７０歳以上	352	42.6	33.0	13.1	6.3	2.3	2.8
	無回答	46	41.3	26.1	15.2	6.5	2.2	8.7
職業別	農林業	114	43.9	30.7	14.9	6.1	1.8	2.6
	漁業	10	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
	商工サービス業自営	140	38.6	37.1	19.3	3.6	0.7	0.7
	事務職	174	28.7	41.4	20.7	8.6	0.6	0.0
	技術職	187	34.2	38.5	19.3	4.8	1.6	1.6
	労務職	250	29.2	40.8	18.0	8.0	2.4	1.6
	管理職	58	46.6	36.2	12.1	1.7	1.7	1.7
	自由業	32	43.8	28.1	21.9	3.1	0.0	3.1
	主婦	306	31.4	40.2	20.9	4.9	1.6	1.0
	学生	26	23.1	19.2	34.6	15.4	7.7	0.0
	無職	379	39.8	34.0	14.0	6.6	3.2	2.4
	その他	159	32.7	31.4	20.8	8.8	3.8	2.5
	無回答	73	38.4	24.7	20.5	6.8	2.7	6.8
世帯構成別	本人のみ	223	35.9	33.6	15.7	9.0	4.0	1.8
	本人と配偶者	463	45.4	32.0	13.8	5.6	1.7	1.5
	本人と子ども	106	21.7	45.3	20.8	7.5	3.8	0.9
	本人と配偶者と子ども	529	32.9	38.6	20.8	5.9	0.6	1.3
	本人と配偶者と親	90	38.9	40.0	14.4	4.4	1.1	1.1
	本人と親	203	30.0	35.5	23.2	4.9	3.9	2.5
	３世代以上の世帯	168	29.2	41.7	17.3	6.5	3.0	2.4
	その他	76	28.9	26.3	27.6	10.5	3.9	2.6
	無回答	50	34.0	30.0	20.0	6.0	0.0	10.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	31.7	31.1	17.7	13.4	4.9	1.2
	100～200万円未満	292	35.3	36.0	19.2	5.1	2.4	2.1
	200～300万円未満	392	35.5	36.0	19.9	5.1	2.3	1.3
	300～400万円未満	250	39.6	38.0	15.6	5.2	0.8	0.8
	400～600万円未満	334	35.3	37.7	17.1	6.6	1.8	1.5
	600～800万円未満	165	36.4	38.8	17.0	5.5	1.2	1.2
	800～1000万円未満	85	24.7	47.1	21.2	4.7	1.2	1.2
	1000万円以上	89	37.1	36.0	16.9	6.7	1.1	2.2
	無回答	137	33.6	24.8	22.6	7.3	3.6	8.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	26.6	38.3	22.3	9.6	1.1	2.1
	小学生の子どもがいる	224	27.2	39.7	22.8	7.6	1.8	0.9
	中学生の子どもがいる	155	28.4	44.5	20.6	4.5	1.3	0.6
	高校生の子どもがいる	163	31.3	39.9	20.2	3.1	1.8	3.7
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	41.7	35.9	16.0	3.8	0.6	1.9
	その他	1,139	37.1	36.1	17.0	5.9	2.5	1.4
	無回答	217	35.9	27.6	20.3	8.8	2.3	5.1
広域生活圏別	高知市	806	34.9	39.3	16.0	6.6	1.7	1.5
	安芸広域圏	157	34.4	34.4	21.0	5.1	3.2	1.9
	南国・香美広域圏	255	32.9	36.9	21.6	4.3	2.0	2.4
	嶺北広域圏	41	46.3	24.4	22.0	7.3	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	33.3	32.2	21.7	8.3	3.9	0.6
	高吾北広域圏	65	23.1	40.0	18.5	10.8	3.1	4.6
	高幡広域圏	160	35.6	31.9	19.4	8.1	3.1	1.9
	幡多広域圏	235	41.3	32.8	17.4	4.3	1.3	3.0
	無回答	9	44.4	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1

副問　あなたは、県の情報公開や情報の提供に対する取り組みに満足していますか。(１つだけ○印)
（問３で「１　関心がある」「２　やや関心がある」と答えた方のみお答えください。）

(単位：人、%)

		サンプル	満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答
総合	実　数	1,359	33	237	578	380	121	10
	%	100	2.4	17.4	42.5	28.0	8.9	0.7
性別	男　性	600	2.2	16.3	40.7	30.3	9.8	0.7
	女　性	731	2.6	18.2	44.5	26.1	7.8	0.8
	無回答	28	3.6	21.4	32.1	25.0	17.9	0.0
年代別	２０歳代	92	0.0	10.9	59.8	20.7	8.7	0.0
	３０歳代	168	1.2	12.5	43.5	30.4	11.9	0.6
	４０歳代	189	1.1	12.7	45.5	29.1	11.6	0.0
	５０歳代	321	2.2	14.3	44.2	29.0	9.7	0.6
	６０歳代	292	1.0	17.5	42.1	31.5	7.2	0.7
	７０歳以上	266	6.4	29.7	34.2	23.3	4.5	1.9
	無回答	31	6.5	19.4	25.8	25.8	22.6	0.0
職業別	農林業	85	7.1	20.0	38.8	28.2	5.9	0.0
	漁業	6	0.0	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	106	2.8	13.2	40.6	37.7	5.7	0.0
	事務職	122	1.6	15.6	49.2	25.4	8.2	0.0
	技術職	136	0.0	14.7	43.4	28.7	13.2	0.0
	労務職	175	0.6	8.6	50.9	29.7	9.7	0.6
	管理職	48	4.2	14.6	37.5	31.3	12.5	0.0
	自由業	23	4.3	4.3	39.1	39.1	8.7	4.3
	主婦	219	3.2	16.0	44.3	28.3	7.3	0.9
	学生	11	0.0	0.0	63.6	27.3	9.1	0.0
	無職	280	1.4	28.6	34.6	25.7	7.9	1.8
	その他	102	2.0	15.7	46.1	22.5	12.7	1.0
	無回答	46	10.9	23.9	39.1	15.2	10.9	0.0
世帯構成別	本人のみ	155	2.6	21.3	38.7	27.1	7.1	3.2
	本人と配偶者	358	2.5	21.8	41.6	28.2	5.0	0.8
	本人と子ども	71	4.2	16.9	43.7	23.9	11.3	0.0
	本人と配偶者と子ども	378	2.9	14.0	43.9	29.4	9.3	0.5
	本人と配偶者と親	71	1.4	14.1	50.7	26.8	7.0	0.0
	本人と親	133	1.5	13.5	45.1	27.8	12.0	0.0
	３世代以上の世帯	119	0.8	16.8	42.0	27.7	12.6	0.0
	その他	42	0.0	19.0	33.3	31.0	16.7	0.0
	無回答	32	6.3	15.6	37.5	21.9	18.8	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	103	7.8	19.4	37.9	22.3	9.7	2.9
	100～200万円未満	208	3.4	20.2	43.3	25.0	7.7	0.5
	200～300万円未満	280	2.1	20.4	43.9	26.4	6.4	0.7
	300～400万円未満	194	0.0	17.5	37.1	36.1	8.8	0.5
	400～600万円未満	244	0.8	13.5	44.7	29.1	11.5	0.4
	600～800万円未満	124	2.4	15.3	50.8	24.2	7.3	0.0
	800～1000万円未満	61	3.3	13.1	41.0	34.4	8.2	0.0
	1000万円以上	65	0.0	13.8	40.0	30.8	13.8	1.5
	無回答	80	6.3	18.8	38.8	23.8	11.3	1.3
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	122	2.5	9.0	51.6	23.8	13.1	0.0
	小学生の子どもがいる	150	2.7	16.0	40.0	31.3	8.7	1.3
	中学生の子どもがいる	113	1.8	13.3	42.5	31.9	10.6	0.0
	高校生の子どもがいる	116	2.6	12.1	44.0	27.6	13.8	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	121	0.0	14.0	38.0	32.2	14.0	1.7
	その他	833	1.9	19.6	42.5	27.4	8.0	0.6
	無回答	138	8.0	13.8	42.0	25.4	9.4	1.4
広域生活圏別	高知市	598	2.7	13.2	42.6	30.8	10.2	0.5
	安芸広域圏	108	0.9	25.0	43.5	24.1	6.5	0.0
	南国・香美広域圏	178	1.7	18.0	44.4	24.2	10.7	1.1
	嶺北広域圏	29	10.3	24.1	27.6	27.6	10.3	0.0
	仁淀川広域圏	118	2.5	17.8	48.3	26.3	4.2	0.8
	高吾北広域圏	41	0.0	24.4	43.9	24.4	7.3	0.0
	高幡広域圏	108	2.8	24.1	44.4	24.1	2.8	1.9
	幡多広域圏	174	2.3	20.1	36.8	29.9	10.3	0.6
	無回答	5	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0

問４　新規に高校を卒業した方が県外で就職する割合は、平成14年度に24.8%だったものが、平成18年度には48.2%に上昇しており、高校を卒業して就職する方の約２人に１人が県外へ流出しています。
このような状況をどう思いますか。（３つまで○印）

(単位：人、%)

		サンプル	県内に求人が少ないので仕方がない	県内に希望に合う職種が少ないので仕方がない	県外の企業の方が賃金など雇用の条件が良いので仕方がない	本人が県外で就職することを希望するのなら仕方がない	高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である	県内の企業がもっと採用に努力する必要がある	県内にも優れた企業があるので、その情報を提供していく必要がある	就職できるのであれば県外でも問題ない	その他（詳細は210頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	961	611	640	363	1034	720	534	134	57	26
	%	100	50.4	32.0	33.5	19.0	54.2	37.7	28.0	7.0	3.0	1.4
性別	男　性	806	50.5	30.1	33.3	17.4	56.5	37.5	26.7	7.7	3.2	0.9
	女　性	1,057	50.4	33.7	33.9	20.3	52.7	38.0	28.9	6.5	2.9	1.4
	無回答	45	46.7	26.7	31.1	17.8	48.9	35.6	28.9	6.7	0.0	8.9
年代別	２０歳代	168	66.7	33.3	44.0	28.0	35.7	29.8	17.3	9.5	2.4	3.0
	３０歳代	267	55.8	30.7	42.7	22.5	48.7	33.0	22.5	7.1	4.9	0.4
	４０歳代	272	49.6	31.3	37.1	19.5	58.8	33.5	26.5	7.0	4.0	0.4
	５０歳代	435	47.8	33.8	33.3	16.1	62.8	36.8	31.7	6.2	3.2	0.0
	６０歳代	368	48.4	28.0	29.3	15.2	60.9	43.8	32.1	5.4	2.4	0.8
	７０歳以上	352	44.9	34.9	22.4	20.2	46.6	43.5	29.8	8.5	1.7	3.7
	無回答	46	45.7	32.6	41.3	13.0	50.0	37.0	26.1	6.5	0.0	6.5
職業別	農林業	114	50.0	32.5	28.1	19.3	54.4	43.0	29.8	6.1	0.9	1.8
	漁業	10	40.0	30.0	40.0	40.0	40.0	30.0	0.0	0.0	10.0	10.0
	商工サービス業自営	140	49.3	26.4	30.0	15.0	60.7	30.7	30.0	7.1	2.1	1.4
	事務職	174	48.9	32.8	34.5	21.3	62.6	28.7	28.7	6.9	3.4	0.0
	技術職	187	54.0	32.6	41.2	19.3	55.1	36.9	23.5	7.0	3.7	0.0
	労務職	250	50.8	31.2	42.4	17.2	52.8	40.0	26.0	7.6	4.4	0.4
	管理職	58	48.3	24.1	34.5	13.8	70.7	41.4	34.5	0.0	3.4	0.0
	自由業	32	43.8	18.8	37.5	15.6	68.8	37.5	43.8	3.1	3.1	0.0
	主婦	306	46.7	33.3	26.8	19.6	54.6	41.5	34.0	8.5	3.6	0.7
	学生	26	65.4	65.4	50.0	23.1	30.8	30.8	23.1	3.8	0.0	0.0
	無職	379	52.2	31.1	28.5	17.9	51.7	42.5	26.6	6.9	2.6	2.6
	その他	159	53.5	37.1	40.3	24.5	46.5	30.2	22.0	8.2	1.9	1.3
	無回答	73	45.2	30.1	27.4	19.2	42.5	35.6	26.0	8.2	1.4	8.2
世帯構成別	本人のみ	223	46.2	31.8	38.1	20.2	46.6	36.8	24.2	6.3	2.7	3.1
	本人と配偶者	463	48.8	29.8	26.1	16.2	60.3	42.5	33.9	6.7	2.2	1.5
	本人と子ども	106	43.4	31.1	42.5	16.0	50.0	40.6	27.4	7.5	3.8	0.9
	本人と配偶者と子ども	529	51.4	31.0	35.5	18.9	57.3	36.1	27.2	6.4	4.2	0.4
	本人と配偶者と親	90	52.2	35.6	24.4	20.0	58.9	35.6	34.4	7.8	2.2	0.0
	本人と親	203	60.1	35.0	35.0	26.1	44.8	32.5	21.7	9.9	3.0	1.5
	３世代以上の世帯	168	51.2	40.5	38.1	19.0	53.6	34.5	25.0	6.5	3.6	0.0
	その他	76	52.6	27.6	39.5	22.4	48.7	42.1	27.6	6.6	1.3	0.0
	無回答	50	38.0	26.0	28.0	12.0	48.0	38.0	24.0	8.0	0.0	12.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	49.4	28.7	36.0	22.6	39.0	41.5	22.0	11.6	0.6	2.4
	100～200万円未満	292	51.0	29.1	34.6	20.2	50.3	41.1	29.5	5.8	2.4	1.7
	200～300万円未満	392	51.3	27.6	31.4	17.9	55.4	44.4	30.9	6.6	3.3	1.0
	300～400万円未満	250	50.4	35.6	39.6	18.0	52.4	39.6	27.2	6.8	2.4	0.4
	400～600万円未満	334	50.9	34.7	32.0	21.6	61.1	27.8	26.6	7.5	4.8	0.3
	600～800万円未満	165	52.7	35.2	38.2	14.5	65.5	30.9	27.9	4.8	3.0	0.0
	800～1000万円未満	85	55.3	37.6	29.4	25.9	54.1	35.3	25.9	8.2	2.4	0.0
	1000万円以上	89	38.2	30.3	22.5	13.5	70.8	33.7	37.1	4.5	6.7	2.2
	無回答	137	48.2	35.8	31.4	16.1	39.4	40.1	24.1	8.0	0.7	6.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	52.1	27.7	38.8	18.6	53.2	34.6	25.5	6.9	4.8	1.1
	小学生の子どもがいる	224	52.2	25.9	33.9	22.3	56.7	37.1	27.7	7.1	4.9	0.4
	中学生の子どもがいる	155	52.3	31.6	37.4	16.1	59.4	32.9	31.6	7.7	2.6	0.6
	高校生の子どもがいる	163	49.7	35.6	38.7	11.0	59.5	32.5	31.9	6.1	3.7	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	50.0	38.5	30.8	20.5	59.6	34.0	34.0	3.2	5.1	0.0
	その他	1,139	49.4	32.7	32.3	18.6	54.4	39.1	28.7	7.5	2.6	1.5
	無回答	217	52.1	34.1	32.7	18.9	46.5	37.3	22.1	8.3	2.3	2.3
広域生活圏別	高知市	806	50.2	34.6	39.7	19.0	52.5	33.9	24.6	6.2	3.8	1.0
	安芸広域圏	157	54.1	24.2	28.7	17.2	52.2	45.2	31.2	7.6	1.3	1.3
	南国・香美広域圏	255	49.4	34.9	30.6	20.0	58.8	37.6	24.7	6.7	2.4	1.6
	嶺北広域圏	41	43.9	29.3	22.0	19.5	65.9	46.3	39.0	7.3	2.4	0.0
	仁淀川広域圏	180	50.6	32.2	40.6	17.2	55.0	33.9	28.9	8.3	3.3	0.0
	高吾北広域圏	65	41.5	32.3	27.7	16.9	55.4	43.1	30.8	9.2	6.2	4.6
	高幡広域圏	160	48.8	27.5	28.8	18.1	51.3	40.6	33.1	8.1	1.3	1.3
	幡多広域圏	235	53.6	28.9	20.9	21.7	55.3	44.3	34.0	7.7	2.1	3.0
	無回答	9	55.6	22.2	22.2	22.2	55.6	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

問５　あなたは主にどのようにして就職しましたか。（就職しようと考えていますか。）

（１つだけ○印）

（単位：人、％）

		サンプル	在学中の就職活動	ジョブカフェ（都道府県の就職支援相談センター）の紹介	ハローワーク（国の公共職業安定所）の紹介	家族や知り合いの紹介	就職情報誌の活用	インターネットの活用	その他（詳細は２１１頁参照）	就職したことがない（就職しようと考えていない）	無回答
総合	実　数	1,908	550	1	217	655	88	13	130	115	139
	%	100	28.8	0.1	11.4	34.3	4.6	0.7	6.8	6.0	7.3
性別	男　性	806	30.6	0.1	9.7	37.1	3.8	0.6	7.4	5.2	5.3
	女　性	1,057	28.5	0.0	12.4	32.3	5.2	0.7	6.2	6.5	8.2
	無回答	45	4.4	0.0	17.8	33.3	4.4	2.2	8.9	8.9	20.0
年代別	２０歳代	168	39.9	0.0	20.8	15.5	8.3	4.2	3.6	4.8	3.0
	３０歳代	267	41.6	0.4	17.2	26.2	6.4	0.7	4.5	0.7	2.2
	４０歳代	272	37.9	0.0	14.3	30.1	6.6	0.7	7.7	0.7	1.8
	５０歳代	435	30.8	0.0	10.1	40.7	3.4	0.0	7.4	4.4	3.2
	６０歳代	368	23.1	0.0	6.3	44.8	3.3	0.0	7.6	7.3	7.6
	７０歳以上	352	13.6	0.0	6.0	33.8	2.8	0.3	7.1	15.1	21.3
	無回答	46	4.3	0.0	19.6	34.8	4.3	2.2	13.0	8.7	13.0
職業別	農林業	114	18.4	0.0	7.0	32.5	2.6	0.9	9.6	15.8	13.2
	漁業	10	0.0	0.0	30.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	40.0
	商工サービス業自営	140	30.0	0.0	4.3	31.4	3.6	0.0	10.7	10.7	9.3
	事務職	174	40.8	0.0	14.9	32.2	1.1	0.6	8.0	0.0	2.3
	技術職	187	43.9	0.0	10.7	29.9	3.2	0.5	8.0	0.5	3.2
	労務職	250	22.4	0.0	16.4	46.8	9.2	0.4	2.4	0.4	2.0
	管理職	58	43.1	0.0	3.4	37.9	1.7	0.0	8.6	1.7	3.4
	自由業	32	25.0	3.1	18.8	12.5	9.4	3.1	21.9	3.1	3.1
	主婦	306	30.7	0.0	9.5	34.3	5.2	0.7	3.9	10.8	4.9
	学生	26	69.2	0.0	7.7	0.0	0.0	11.5	0.0	11.5	0.0
	無職	379	21.9	0.0	9.5	37.7	2.9	0.3	6.1	7.7	14.0
	その他	159	25.2	0.0	15.7	28.9	10.1	0.6	10.7	3.8	5.0
	無回答	73	13.7	0.0	17.8	31.5	2.7	1.4	5.5	9.6	17.8
世帯構成別	本人のみ	223	24.2	0.0	10.8	30.0	6.3	0.4	8.1	8.5	11.7
	本人と配偶者	463	25.3	0.0	8.6	38.7	2.4	0.6	7.6	6.7	10.2
	本人と子ども	106	19.8	0.0	14.2	39.6	4.7	0.0	5.7	8.5	7.5
	本人と配偶者と子ども	529	35.9	0.0	10.0	34.0	4.7	0.4	6.2	4.0	4.7
	本人と配偶者と親	90	24.4	0.0	8.9	40.0	4.4	0.0	8.9	5.6	7.8
	本人と親	203	31.0	0.0	23.2	27.6	6.9	2.0	3.4	3.0	3.0
	３世代以上の世帯	168	33.9	0.6	6.5	31.0	4.2	1.2	10.1	7.7	4.8
	その他	76	27.6	0.0	13.2	36.8	7.9	0.0	3.9	7.9	2.6
	無回答	50	10.0	0.0	18.0	30.0	4.0	2.0	6.0	10.0	20.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	22.0	0.0	14.6	32.3	7.9	0.0	4.9	9.1	9.1
	100～200万円未満	292	16.8	0.0	16.4	36.0	3.4	0.7	5.5	7.9	13.4
	200～300万円未満	392	29.6	0.0	11.7	38.5	5.9	0.5	4.1	4.6	5.1
	300～400万円未満	250	25.6	0.4	13.2	38.4	6.4	0.0	4.8	6.4	4.8
	400～600万円未満	334	36.5	0.0	8.1	35.0	3.6	1.2	8.1	3.3	4.2
	600～800万円未満	165	43.6	0.0	7.9	23.0	3.6	0.6	10.9	6.7	3.6
	800～1000万円未満	85	38.8	0.0	8.2	28.2	2.4	1.2	12.9	3.5	4.7
	1000万円以上	89	33.7	0.0	4.5	31.5	1.1	2.2	14.6	6.7	5.6
	無回答	137	20.4	0.0	10.9	31.4	3.6	0.7	6.6	8.8	17.5
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	38.8	0.0	11.2	28.2	6.4	0.5	6.4	3.2	5.3
	小学生の子どもがいる	224	37.1	0.0	7.1	35.3	6.7	0.4	4.5	4.5	4.5
	中学生の子どもがいる	155	31.6	0.0	12.9	35.5	2.6	0.6	7.1	3.9	5.8
	高校生の子どもがいる	163	36.8	0.0	10.4	33.7	1.8	0.0	8.0	3.1	6.1
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	37.2	0.0	6.4	31.4	5.1	0.6	9.0	6.4	3.8
	その他	1,139	25.8	0.1	10.8	36.3	4.7	0.8	7.9	6.6	7.0
	無回答	217	23.0	0.0	18.0	30.9	2.8	0.5	3.7	7.4	13.8
広域生活圏別	高知市	806	30.5	0.1	11.7	30.3	7.1	0.7	8.4	5.6	5.6
	安芸広域圏	157	28.0	0.0	8.9	43.3	0.6	0.6	5.7	7.6	5.1
	南国・香美広域圏	255	26.7	0.0	10.6	37.3	5.5	0.4	5.1	5.1	9.4
	嶺北広域圏	41	29.3	0.0	9.8	36.6	4.9	0.0	4.9	7.3	7.3
	仁淀川広域圏	180	31.1	0.0	11.1	33.9	3.3	1.1	5.0	7.8	6.7
	高吾北広域圏	65	29.2	0.0	13.8	40.0	6.2	0.0	3.1	0.0	7.7
	高幡広域圏	160	26.9	0.0	13.1	32.5	1.3	0.6	8.1	9.4	8.1
	幡多広域圏	235	25.5	0.0	11.9	37.9	0.9	0.4	6.0	5.5	11.9
	無回答	9	22.2	0.0	0.0	55.6	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1

問６　「ジョブカフェこうち」を知っていますか。　　（１つだけ○印）

（単位：人、％）

		サンプル	利用したことがあり、知っている	利用したことはないが、活動の内容は知っている	活動の内容は知らないが、名前は聞いたことがある	全く知らない	無回答
総合	実　数	1,908	20	282	709	857	40
	%	100	1.0	14.8	37.2	44.9	2.1
性別	男　性	806	0.7	14	36.2	47.4	1.6
	女　性	1,057	1.2	15.4	38.5	43.0	1.9
	無回答	45	2.2	13.3	22.2	46.7	15.6
年代別	２０歳代	168	1.8	19.6	42.9	34.5	1.2
	３０歳代	267	1.9	21.3	43.1	33.3	0.4
	４０歳代	272	1.5	15.4	43.8	39	0.4
	５０歳代	435	0.7	15.9	35.6	46.4	1.4
	６０歳代	368	0.8	10.6	36.7	50.5	1.4
	７０歳以上	352	0.3	10.2	29.5	54.5	5.4
	無回答	46	2.2	13	19.6	52.2	13
職業別	農林業	114	0.0	13.2	31.6	52.6	2.6
	漁業	10	0.0	20.0	30.0	50.0	0.0
	商工サービス業自営	140	0.0	13.6	39.3	46.4	0.7
	事務職	174	2.3	17.2	47.1	32.2	1.1
	技術職	187	0.5	23.5	34.8	40.6	0.5
	労務職	250	0.4	13.2	40.8	44.4	1.2
	管理職	58	1.7	10.3	37.9	48.3	1.7
	自由業	32	3.1	21.9	34.4	40.6	0.0
	主婦	306	1.3	13.7	42.8	40.8	1.3
	学生	26	3.8	19.2	42.3	34.6	0.0
	無職	379	1.1	12.7	30.1	53.3	2.9
	その他	159	1.3	15.7	35.8	45.3	1.9
	無回答	73	1.4	8.2	27.4	47.9	15.1
世帯構成別	本人のみ	223	0.9	13.9	27.8	55.2	2.2
	本人と配偶者	463	0.6	11.9	35.9	48.6	3.0
	本人と子ども	106	0.9	17.0	34.9	45.3	1.9
	本人と配偶者と子ども	529	0.9	17.2	43.3	37.8	0.8
	本人と配偶者と親	90	0.0	15.6	34.4	50.0	0.0
	本人と親	203	3.0	14.8	43.3	36.9	2.0
	３世代以上の世帯	168	1.2	14.9	34.5	47.6	1.8
	その他	76	0.0	17.1	35.5	46.1	1.3
	無回答	50	2.0	10.0	22.0	52.0	14.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	2.4	14.6	26.8	53.0	3.0
	100～200万円未満	292	1.0	11.3	33.2	51.7	2.7
	200～300万円未満	392	0.5	14.5	38.8	44.6	1.5
	300～400万円未満	250	2.4	17.6	37.6	42.0	0.4
	400～600万円未満	334	0.3	15.0	45.2	38.9	0.6
	600～800万円未満	165	0.6	17.0	37.6	44.2	0.6
	800～1000万円未満	85	0.0	16.5	47.1	36.5	0.0
	1000万円以上	89	1.1	18.0	40.4	39.3	1.1
	無回答	137	1.5	11.7	24.1	51.1	11.7
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	0.5	19.1	42.0	37.2	1.1
	小学生の子どもがいる	224	0.4	13.4	43.8	42.0	0.4
	中学生の子どもがいる	155	1.3	13.5	43.9	40.0	1.3
	高校生の子どもがいる	163	0.6	14.1	46.6	37.4	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	0.6	12.8	45.5	39.7	1.3
	その他	1,139	1.1	14.3	36.9	46.3	1.4
	無回答	217	1.4	11.5	25.3	53.5	8.3
広域生活圏別	高知市	806	1.6	18.2	40.2	38.2	1.7
	安芸広域圏	157	0.0	10.8	33.1	54.1	1.9
	南国・香美広域圏	255	2.0	14.9	38.4	41.6	3.1
	嶺北広域圏	41	0.0	19.5	31.7	48.8	0.0
	仁淀川広域圏	180	0.0	14.4	38.9	45.6	1.1
	高吾北広域圏	65	0.0	15.4	32.3	50.8	1.5
	高幡広域圏	160	1.3	10.6	30.0	56.3	1.9
	幡多広域圏	235	0.0	7.7	35.3	53.6	3.4
	無回答	9	0.0	11.1	0.0	77.8	11.1

問７　「ジョブカフェこうち」では、以下のようなことを行っていますが、今後どの機能をさらに充実すればよいと思いますか。（２つまで○印）

（単位：人、％）

		サンプル	就職のあっせん	就職に関するカウンセリング（相談窓口）	就職に結びつくセミナー（研修会・講習会）	若者が気軽に立ち寄れる情報ステーション（情報が得られる場所）	その他（詳細は211頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	715	651	642	948	46	132
	%	100	37.5	34.1	33.6	49.7	2.4	6.9
性別	男　性	806	37.2	33.0	35.2	46.3	3.7	6.7
	女　性	1,057	38.3	35.2	32.6	52.8	1.5	6.1
	無回答	45	22.2	28.9	28.9	37.8	0.0	31.1
年代別	２０歳代	168	41.1	33.9	31.5	50.6	4.2	4.2
	３０歳代	267	42.3	36.7	37.5	43.1	2.6	2.6
	４０歳代	272	43.4	35.3	36.0	49.6	2.9	2.6
	５０歳代	435	36.6	34.3	34.0	52.9	2.1	5.5
	６０歳代	368	33.4	34.8	32.3	53.5	2.4	5.7
	７０歳以上	352	34.9	30.7	31.3	47.7	1.7	15.1
	無回答	46	21.7	32.6	30.4	39.1	0.0	28.3
職業別	農林業	114	28.9	29.8	38.6	54.4	3.5	10.5
	漁業	10	40.0	30.0	50.0	30.0	0.0	10.0
	商工サービス業自営	140	32.9	35.7	31.4	49.3	2.1	6.4
	事務職	174	42.5	42.0	39.1	44.3	1.7	1.7
	技術職	187	39.0	37.4	41.2	46.0	3.2	3.2
	労務職	250	38.4	30.0	32.4	54.8	1.2	6.4
	管理職	58	41.4	46.6	37.9	37.9	6.9	1.7
	自由業	32	37.5	34.4	18.8	40.6	12.5	9.4
	主婦	306	36.3	34.6	32.0	55.2	1.6	4.9
	学生	26	50.0	34.6	26.9	53.8	3.8	0.0
	無職	379	37.2	31.4	31.1	49.6	2.4	9.8
	その他	159	43.4	34.6	35.2	46.5	1.9	5.0
	無回答	73	26.0	26.0	21.9	46.6	1.4	28.8
世帯構成別	本人のみ	223	35.9	31.4	27.4	52.0	3.6	9.0
	本人と配偶者	463	34.8	31.7	36.1	48.2	3.5	9.1
	本人と子ども	106	38.7	37.7	37.7	47.2	0.0	3.8
	本人と配偶者と子ども	529	38.8	35.0	35.7	50.5	2.6	4.0
	本人と配偶者と親	90	42.2	42.2	32.2	46.7	1.1	1.1
	本人と親	203	41.4	40.4	32.5	44.8	2.0	6.4
	３世代以上の世帯	168	39.9	31.5	32.7	56.0	1.8	6.0
	その他	76	38.2	25.0	32.9	56.6	0.0	7.9
	無回答	50	20.0	34.0	20.0	44.0	0.0	30.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	36.6	32.3	25.0	55.5	1.8	8.5
	100～200万円未満	292	36.3	32.9	29.5	49.0	1.4	12.0
	200～300万円未満	392	40.8	31.9	33.9	49.7	1.0	6.9
	300～400万円未満	250	39.6	35.6	37.2	52.8	2.8	1.6
	400～600万円未満	334	36.2	37.4	39.2	49.1	4.5	2.4
	600～800万円未満	165	37.6	33.9	38.2	48.5	2.4	3.0
	800～1000万円未満	85	45.9	37.6	45.9	45.9	1.2	1.2
	1000万円以上	89	36.0	34.8	28.1	46.1	6.7	5.6
	無回答	137	26.3	32.1	22.6	46.0	1.5	24.1
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	33.0	35.6	36.7	45.7	2.7	5.3
	小学生の子どもがいる	224	38.4	32.1	38.4	51.8	2.2	5.4
	中学生の子どもがいる	155	36.8	35.5	38.1	55.5	1.9	4.5
	高校生の子どもがいる	163	41.7	34.4	34.4	55.2	3.1	3.1
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	36.5	37.2	34.6	50.6	3.8	5.1
	その他	1,139	38.0	35.2	33.5	51.0	2.4	5.4
	無回答	217	34.6	26.3	27.2	42.4	1.8	20.3
広域生活圏別	高知市	806	38.2	36.2	34.1	46.5	2.9	6.3
	安芸広域圏	157	33.8	31.2	36.9	54.8	1.9	5.7
	南国・香美広域圏	255	35.7	33.3	31.4	48.2	1.6	9.4
	嶺北広域圏	41	39.0	36.6	29.3	58.5	2.4	7.3
	仁淀川広域圏	180	32.8	33.9	34.4	53.9	4.4	5.6
	高吾北広域圏	65	29.2	33.8	41.5	53.8	3.1	6.2
	高幡広域圏	160	40.0	27.5	34.4	51.3	1.3	7.5
	幡多広域圏	235	43.8	34.9	30.2	51.9	1.3	6.8
	無回答	9	22.2	11.1	22.2	44.4	0.0	33.3

問８　「シルバー人材センター」の活動を知っていますか。（１つだけ○印）

（単位：人、％）

		サンプル	利用したことがあり、知っている	利用したことはないが、活動の内容は知っている	活動の内容は知らないが、名前は聞いたことがある	全く知らない	無回答
総合	実　数	1,908	293	967	536	84	28
	%	100	15.4	50.7	28.1	4.4	1.5
性別	男　性	806	15.8	49.5	27.2	5.8	1.7
	女　性	1,057	15.4	51.7	29.0	2.9	0.9
	無回答	45	6.7	48.9	22.2	13.3	8.9
年代別	２０歳代	168	6.5	26.8	45.8	19.6	1.2
	３０歳代	267	5.6	55.1	34.5	4.5	0.4
	４０歳代	272	13.2	54.8	28.7	2.9	0.4
	５０歳代	435	18.2	53.1	26.4	1.1	1.1
	６０歳代	368	20.9	53.0	23.4	1.6	1.1
	７０歳以上	352	19.9	51.7	22.2	3.7	2.6
	無回答	46	10.9	39.1	21.7	15.2	13.0
職業別	農林業	114	16.7	51.8	26.3	3.5	1.8
	漁業	10	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	17.1	54.3	26.4	1.4	0.7
	事務職	174	15.5	51.1	29.3	2.9	1.1
	技術職	187	13.4	51.9	31.0	3.2	0.5
	労務職	250	7.6	50.4	36.0	4.4	1.6
	管理職	58	27.6	50.0	17.2	3.4	1.7
	自由業	32	15.6	53.1	25.0	3.1	3.1
	主婦	306	18.0	54.9	25.2	1.6	0.3
	学生	26	3.8	26.9	46.2	23.1	0.0
	無職	379	18.2	50.9	24.3	4.7	1.8
	その他	159	15.1	43.4	32.7	8.2	0.6
	無回答	73	12.3	39.7	23.3	15.1	9.6
世帯構成別	本人のみ	223	17.0	45.3	30.0	6.3	1.3
	本人と配偶者	463	17.1	56.2	22.0	2.2	2.6
	本人と子ども	106	12.3	51.9	32.1	3.8	0.0
	本人と配偶者と子ども	529	15.1	54.8	27.4	2.3	0.4
	本人と配偶者と親	90	23.3	50.0	25.6	1.1	0.0
	本人と親	203	7.9	42.4	36.5	11.8	1.5
	３世代以上の世帯	168	17.9	48.2	28.6	4.2	1.2
	その他	76	15.8	39.5	36.8	7.9	0.0
	無回答	50	8.0	38.0	30.0	12.0	12.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	7.3	47.0	38.4	6.7	0.6
	100～200万円未満	292	13.7	51.0	30.1	3.1	2.1
	200～300万円未満	392	14.5	52.6	27.3	4.3	1.3
	300～400万円未満	250	16.0	58.0	24.0	2.0	0.0
	400～600万円未満	334	17.7	51.2	25.7	4.2	1.2
	600～800万円未満	165	15.8	55.2	26.1	3.0	0.0
	800～1000万円未満	85	22.4	44.7	28.2	4.7	0.0
	1000万円以上	89	27.0	40.4	25.8	5.6	1.1
	無回答	137	11.7	39.4	30.7	10.2	8.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	10.6	50.5	33.5	4.8	0.5
	小学生の子どもがいる	224	14.3	58.9	25.4	1.3	0.0
	中学生の子どもがいる	155	11.0	63.2	21.9	3.2	0.6
	高校生の子どもがいる	163	16.0	53.4	27.6	1.8	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	16.0	57.7	25.0	0.6	0.6
	その他	1,139	16.9	50.3	27.4	4.6	0.8
	無回答	217	12.9	39.6	32.3	8.3	6.9
広域生活圏別	高知市	806	15.4	49.3	29.8	4.5	1.1
	安芸広域圏	157	9.6	47.8	36.3	5.1	1.3
	南国・香美広域圏	255	14.1	47.5	28.6	7.1	2.7
	嶺北広域圏	41	14.6	51.2	26.8	4.9	2.4
	仁淀川広域圏	180	21.1	50.0	26.1	2.2	0.6
	高吾北広域圏	65	32.3	50.8	13.8	3.1	0.0
	高幡広域圏	160	15.0	56.9	21.3	5.6	1.3
	幡多広域圏	235	11.5	57.9	27.2	1.3	2.1
	無回答	9	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1

問９　県の雇用対策として最も重点を置くべき対象者はどの層だと思いますか。（１つだけ○印）

（単位：人、%）

		サンプル	新規学卒者	若年者	中高年齢者	高年齢者	障害のある方	母子・父子家庭の母・父	その他（詳細は212頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	421	815	378	90	33	69	50	52
	%	100	22.1	42.7	19.8	4.7	1.7	3.6	2.6	2.7
性別	男　性	806	22.5	43.4	20.0	5.7	1.7	2.1	2.4	2.2
	女　性	1,057	21.7	42.8	20.0	3.8	1.6	4.8	2.7	2.6
	無回答	45	24.4	28.9	13.3	8.9	4.4	2.2	4.4	13.3
年代別	２０歳代	168	22.6	55.4	6.5	3.0	1.2	7.1	3.0	1.2
	３０歳代	267	16.5	45.3	19.5	2.6	2.6	5.6	4.5	3.4
	４０歳代	272	25.7	33.1	26.8	2.9	1.8	4.4	3.3	1.8
	５０歳代	435	17.9	46.2	23.4	4.8	1.1	1.6	3.7	1.1
	６０歳代	368	23.6	45.1	17.7	7.6	1.1	2.2	0.8	1.9
	７０歳以上	352	26.7	37.2	19.0	4.8	2.3	4.0	0.9	5.1
	無回答	46	21.7	28.3	17.4	8.7	4.3	2.2	4.3	13.0
職業別	農林業	114	23.7	50.9	13.2	2.6	2.6	2.6	2.6	1.8
	漁業	10	30.0	20.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	22.1	42.1	22.1	7.1	0.0	1.4	2.9	2.1
	事務職	174	24.1	45.4	21.3	0.6	1.1	2.3	4.0	1.1
	技術職	187	16.0	48.1	17.6	4.3	1.6	5.3	4.8	2.1
	労務職	250	17.2	41.6	28.0	6.0	0.4	4.0	2.4	0.4
	管理職	58	32.8	41.4	17.2	1.7	0.0	1.7	1.7	3.4
	自由業	32	12.5	31.3	34.4	6.3	0.0	6.3	3.1	6.3
	主婦	306	20.9	45.8	19.9	4.2	1.0	3.6	2.3	2.3
	学生	26	42.3	38.5	0.0	11.5	0.0	3.8	3.8	0.0
	無職	379	26.6	38.8	16.6	5.5	4.2	3.4	1.3	3.4
	その他	159	18.2	44.0	20.8	4.4	2.5	5.7	1.9	2.5
	無回答	73	23.3	30.1	15.1	5.5	1.4	4.1	4.1	16.4
世帯構成別	本人のみ	223	21.5	34.1	25.1	8.1	1.8	4.0	2.7	2.7
	本人と配偶者	463	22.7	44.1	19.0	4.8	0.9	3.5	2.4	2.8
	本人と子ども	106	17.9	31.1	34.9	4.7	1.9	7.5	1.9	0.0
	本人と配偶者と子ども	529	22.3	45.9	17.4	4.3	1.9	3.2	2.8	2.1
	本人と配偶者と親	90	23.3	42.2	24.4	5.6	0.0	1.1	1.1	2.2
	本人と親	203	18.7	46.3	19.7	3.4	3.4	3.0	3.0	2.5
	３世代以上の世帯	168	26.2	47.0	14.9	2.4	1.2	3.0	3.6	1.8
	その他	76	21.1	42.1	14.5	5.3	2.6	7.9	1.3	5.3
	無回答	50	24.0	32.0	14.0	4.0	4.0	2.0	4.0	16.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	17.7	32.9	28.0	6.7	2.4	7.9	1.2	3.0
	100～200万円未満	292	20.5	36.0	28.4	6.2	2.1	3.4	2.1	1.4
	200～300万円未満	392	23.2	43.9	19.4	4.3	1.5	3.1	2.6	2.0
	300～400万円未満	250	19.6	44.4	21.6	3.6	0.8	4.0	3.2	2.8
	400～600万円未満	334	20.1	48.8	16.8	4.5	2.1	3.9	2.4	1.5
	600～800万円未満	165	28.5	49.7	9.7	3.6	0.0	3.6	2.4	2.4
	800～1000万円未満	85	28.2	47.1	12.9	3.5	2.4	0.0	4.7	1.2
	1000万円以上	89	31.5	46.1	11.2	2.2	0.0	3.4	3.4	2.2
	無回答	137	19.0	34.3	19.0	6.6	4.4	1.5	3.6	11.7
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	22.3	42.6	18.1	4.8	1.6	5.9	2.7	2.1
	小学生の子どもがいる	224	28.1	33.9	17.4	5.4	3.6	5.8	3.1	2.7
	中学生の子どもがいる	155	29.7	33.5	22.6	3.2	1.3	5.2	1.3	3.2
	高校生の子どもがいる	163	30.1	36.8	22.7	1.8	0.6	3.7	3.1	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	26.3	46.2	19.2	1.9	0.6	3.2	1.3	1.3
	その他	1,139	20.2	45.0	19.9	5.1	1.5	2.8	2.7	2.8
	無回答	217	24.9	38.2	18.4	5.5	3.2	3.2	2.3	4.1
広域生活圏別	高知市	806	21.1	43.4	19.6	5.1	1.7	3.2	2.9	3.0
	安芸広域圏	157	22.3	38.2	21.7	3.2	1.9	4.5	1.3	7.0
	南国・香美広域圏	255	21.6	39.2	21.6	6.7	2.0	2.7	3.9	2.4
	嶺北広域圏	41	24.4	46.3	19.5	4.9	0.0	4.9	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	22.8	44.4	18.3	4.4	1.7	5.6	2.2	0.6
	高吾北広域圏	65	27.7	44.6	15.4	3.1	1.5	4.6	1.5	1.5
	高幡広域圏	160	21.9	46.9	16.3	4.4	0.6	5.0	3.8	1.3
	幡多広域圏	235	23.0	41.7	22.6	3.4	2.1	2.6	1.7	3.0
	無回答	9	33.3	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0

問10　これからの教育を進めていくうえで、どのような取り組みや支援が必要だと思いますか。

（3つまで○印）

		サンプル	子育て家庭への相談体制の整備などの支援	小学校入学前の保育・教育の充実	複式学級をなくすこと	小学校での学力の二極化への対応	少人数学級の導入	キャリア教育や産業教育の充実	国際的な視野を持つ人材づくり	図書館、美術館、公民館などの文化・社会教育施設の充実
総合	実　数	1,908	469	338	79	387	299	276	194	146
	%	100	24.6	17.7	4.1	20.3	15.7	14.5	10.2	7.7
性別	男　性	806	25.3	17.4	4.3	18.5	16.3	16.5	10.3	6.7
	女　性	1,057	24.2	18.4	4.0	21.9	15.8	13.1	9.8	8.3
	無回答	45	20.0	8.9	4.4	13.3	2.2	11.1	15.6	8.9
年代別	２０歳代	168	27.4	14.3	4.8	19.0	13.7	19.6	10.7	8.3
	３０歳代	267	20.6	18.4	3.7	24.0	15.0	14.6	10.1	9.0
	４０歳代	272	20.2	12.1	3.7	25.7	21.0	16.9	9.9	9.9
	５０歳代	435	23.9	16.3	3.7	20.7	14.5	15.9	8.7	6.0
	６０歳代	368	28.3	19.6	4.3	21.5	18.5	12.2	10.3	5.4
	７０歳以上	352	27.3	23.6	5.1	13.1	13.1	11.1	11.4	8.8
	無回答	46	19.6	13.0	2.2	13.0	4.3	10.9	13.0	8.7
職業別	農林業	114	25.4	17.5	7.0	16.7	9.6	14.0	13.2	5.3
	漁業	10	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	30.0	18.6	3.6	14.3	16.4	12.1	15.0	5.7
	事務職	174	19.5	14.9	4.0	25.9	19.5	16.7	9.8	9.8
	技術職	187	24.6	18.2	3.2	25.7	16.0	14.4	9.1	5.3
	労務職	250	27.2	14.4	4.4	22.8	16.4	16.8	5.2	3.6
	管理職	58	20.7	20.7	5.2	19.0	20.7	15.5	8.6	12.1
	自由業	32	12.5	9.4	3.1	21.9	21.9	18.8	31.3	6.3
	主婦	306	26.5	19.9	4.6	22.5	18.0	13.4	7.8	9.8
	学生	26	15.4	19.2	0.0	30.8	19.2	30.8	11.5	3.8
	無職	379	26.9	20.1	4.0	16.1	14.8	13.5	12.4	8.2
	その他	159	19.5	18.2	1.9	22.0	11.3	13.8	10.1	10.1
	無回答	73	20.5	12.3	5.5	9.6	6.8	9.6	8.2	12.3
世帯構成別	本人のみ	223	23.8	17.9	4.9	16.6	12.6	15.2	9.0	8.5
	本人と配偶者	463	26.6	21.2	2.2	17.5	14.9	13.0	12.5	6.9
	本人と子ども	106	21.7	18.9	2.8	16.0	11.3	15.1	8.5	9.4
	本人と配偶者と子ども	529	25.1	16.3	4.2	25.1	20.6	15.7	7.9	7.0
	本人と配偶者と親	90	21.1	23.3	3.3	26.7	22.2	13.3	12.2	3.3
	本人と親	203	23.6	12.8	4.4	17.7	9.4	17.7	11.8	8.9
	３世代以上の世帯	168	21.4	16.1	8.9	21.4	17.3	10.7	12.5	7.7
	その他	76	31.6	15.8	6.6	22.4	14.5	13.2	3.9	9.2
	無回答	50	20.0	16.0	2.0	12.0	4.0	14.0	12.0	14.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	25.6	18.9	6.1	12.2	8.5	14.0	12.8	7.3
	100～200万円未満	292	27.4	16.4	3.4	16.4	12.7	15.4	11.0	6.8
	200～300万円未満	392	26.3	17.6	3.3	21.7	15.3	12.5	7.7	7.4
	300～400万円未満	250	23.6	17.2	4.0	26.0	17.6	17.2	9.6	8.0
	400～600万円未満	334	23.4	20.7	4.2	21.3	19.2	17.7	8.7	8.7
	600～800万円未満	165	19.4	15.2	7.3	27.9	17.6	13.9	10.9	6.1
	800～1000万円未満	85	20.0	20.0	2.4	21.2	24.7	9.4	10.6	9.4
	1000万円以上	89	30.3	18.0	2.2	13.5	19.1	14.6	16.9	6.7
	無回答	137	22.6	14.6	4.4	16.1	9.5	9.5	11.7	8.8
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	24.5	29.3	5.3	20.7	19.1	16.0	7.4	9.0
	小学生の子どもがいる	224	19.2	16.1	3.6	24.1	21.0	17.0	10.7	7.1
	中学生の子どもがいる	155	20.6	9.0	4.5	20.6	25.2	18.1	9.7	6.5
	高校生の子どもがいる	163	21.5	12.9	4.3	17.2	19.6	12.3	11.0	8.6
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	25.6	9.0	3.8	17.9	13.5	15.4	10.9	4.5
	その他	1,139	25.3	18.0	3.9	20.6	14.3	14.6	10.4	7.0
	無回答	217	24.0	18.0	4.6	16.6	12.4	10.6	10.1	10.6
広域生活圏別	高知市	806	22.8	18.2	2.5	22.0	18.0	15.9	9.9	8.7
	安芸広域圏	157	22.3	15.3	8.9	19.1	17.2	14.0	9.6	7.6
	南国・香美広域圏	255	22.0	18.4	5.1	22.0	11.4	16.1	11.0	7.1
	嶺北広域圏	41	29.3	17.1	4.9	24.4	7.3	9.8	4.9	4.9
	仁淀川広域圏	180	26.1	17.2	1.7	20.0	19.4	12.2	14.4	6.7
	高吾北広域圏	65	23.1	15.4	1.5	23.1	9.2	13.8	7.7	3.1
	高幡広域圏	160	32.5	18.8	8.8	16.3	9.4	11.3	10.0	6.9
	幡多広域圏	235	28.1	17.4	4.7	14.5	16.6	12.8	9.4	7.7
	無回答	9	22.2	11.1	11.1	33.3	0.0	22.2	0.0	11.1

（単位：人、%）

家庭や地域の教育力を上げるための支援	専門性の高い教育ができる学校や教育委員会の体制の整備	教職員の資質・指導力の向上	保護者や地域の人々が、学校の運営に参加しやすい環境の整備	障害のある子どもたちへの教育の充実	不登校対策	耐震化を含めた学校の施設・設備の充実	教育予算の充実	その他（詳細は212頁参照）	無回答
485	238	1113	287	153	313	117	220	64	50
25.4	12.5	58.3	15.0	8.0	16.4	6.1	11.5	3.4	2.6
28.4	12.7	58.3	15.5	7.9	13.2	3.8	11.7	3.6	1.9
23.4	12.3	58.2	14.9	7.9	18.7	7.9	11.4	3.3	2.7
20.0	13.3	62.2	11.1	11.1	20.0	6.7	13.3	0.0	13.3
33.3	7.7	47.0	11.9	11.3	20.8	5.4	12.5	6.0	1.8
30.0	11.2	53.2	17.2	10.1	13.5	9.7	10.1	6.0	1.1
22.8	10.3	58.8	11.8	7.0	16.9	5.1	12.1	3.7	1.8
24.4	14.7	64.4	16.6	9.0	15.9	5.7	10.3	3.9	1.1
24.2	13.6	62.8	15.5	6.0	16.0	5.4	10.6	1.6	2.4
24.4	12.8	54.5	14.8	6.0	16.5	6.0	13.9	1.4	5.7
13.0	17.4	63.0	17.4	13.0	21.7	4.3	13.0	0.0	10.9
29.8	14.9	61.4	13.2	10.5	14.0	5.3	11.4	4.4	4.4
40.0	30.0	40.0	10.0	10.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0
29.3	13.6	65.7	22.9	7.1	11.4	4.3	9.3	1.4	0.0
30.5	12.1	50.0	10.3	9.2	13.8	4.6	14.9	6.3	1.7
26.2	10.2	57.2	12.3	9.1	14.4	8.0	13.9	8.6	1.1
26.0	12.0	65.2	14.8	6.0	17.2	8.0	9.2	2.4	1.2
27.6	12.1	58.6	19.0	1.7	5.2	3.4	15.5	5.2	1.7
21.9	21.9	62.5	12.5	6.3	18.8	3.1	6.3	6.3	0.0
19.0	12.4	58.5	15.0	6.5	18.6	6.5	10.8	3.3	2.3
50.0	7.7	46.2	11.5	3.8	11.5	15.4	7.7	0.0	0.0
24.8	13.5	56.2	16.4	8.7	17.9	4.5	10.8	1.3	3.7
25.2	11.3	56.6	15.7	11.3	18.9	5.7	13.8	1.9	2.5
15.1	8.2	57.5	13.7	9.6	24.7	9.6	9.6	0.0	15.1
22.9	9.4	52.9	15.7	10.3	20.2	8.1	10.3	2.7	3.6
26.3	13.8	61.6	16.2	7.3	15.3	2.4	12.5	1.5	3.5
27.4	13.2	58.5	19.8	11.3	14.2	8.5	11.3	2.8	2.8
25.3	13.4	56.9	14.0	6.2	13.2	8.3	11.7	4.0	1.5
26.7	14.4	63.3	14.4	11.1	21.1	4.4	6.7	3.3	0.0
29.6	10.3	54.2	14.3	11.3	18.7	5.9	11.8	5.9	2.5
23.8	11.3	61.9	12.5	4.8	16.1	6.5	13.7	6.0	2.4
23.7	14.5	60.5	11.8	5.3	21.1	6.6	7.9	2.6	0.0
14.0	8.0	60.0	20.0	12.0	24.0	6.0	12.0	0.0	12.0
26.8	9.8	46.3	25.0	14.0	15.9	9.8	7.9	0.6	2.4
21.9	13.0	58.6	17.8	8.2	19.2	7.9	9.6	2.4	3.1
26.0	15.3	59.2	15.6	8.2	17.6	6.1	9.9	2.8	2.3
24.4	12.0	63.6	10.4	7.2	16.8	5.2	13.2	3.6	1.6
25.4	11.1	57.8	14.1	7.5	14.4	5.7	13.2	3.9	1.2
38.8	12.7	61.8	12.7	3.6	13.3	3.6	9.7	5.5	0.6
24.7	11.8	65.9	11.8	8.2	9.4	3.5	24.7	4.7	0.0
28.1	11.2	56.2	11.2	5.6	12.4	7.9	12.4	7.9	2.2
13.9	11.7	54.0	13.9	9.5	22.6	4.4	10.9	2.2	12.4
29.3	8.0	51.1	15.4	6.9	10.1	8.0	10.6	5.9	2.1
25.4	11.6	57.1	16.5	9.4	10.7	9.8	16.5	2.2	1.3
21.9	15.5	56.1	15.5	6.5	18.1	5.8	17.4	3.9	0.6
22.7	17.2	64.4	14.1	6.1	19.0	8.0	15.3	4.9	1.2
28.8	19.2	60.9	12.2	8.3	15.4	7.1	16.7	5.8	1.3
26.5	13.0	60.4	14.7	8.0	17.3	5.4	10.3	3.5	1.8
21.2	8.3	54.4	16.1	8.3	17.1	6.0	8.3	0.5	9.7
25.4	13.0	58.3	12.8	7.9	16.4	5.7	9.4	4.0	2.5
26.8	13.4	59.2	14.0	8.3	15.9	10.2	10.8	3.8	0.6
25.9	9.4	62.0	15.7	8.2	16.5	4.7	8.2	3.5	3.5
29.3	29.3	53.7	19.5	7.3	24.4	4.9	4.9	2.4	2.4
23.9	11.1	58.3	15.6	8.3	13.9	5.0	15.0	2.8	3.3
16.9	7.7	60.0	23.1	15.4	26.2	7.7	16.9	6.2	1.5
28.8	8.8	53.8	18.1	6.9	16.9	5.0	17.5	1.3	1.9
25.1	15.7	57.9	17.0	6.8	14.0	7.2	15.3	2.1	3.4
11.1	0.0	44.4	22.2	0.0	22.2	22.2	22.2	0.0	11.1

問11　厳しい財政状況の中で、高知県の教育の水準を保ち、向上させるために、新たな費用の負担を県民のみなさまにお願いせざるを得ない状況となった場合、どう思いますか。（1つだけ○印）

(単位：人、%)

		サンプル	負担はやむをえない	金額によっては負担してもよい	できれば負担はしたくない	負担はしたくない	わからない	無回答
総合	実　数	1,908	268	688	521	248	153	30
	%	100	14.0	36.1	27.3	13.0	8.0	1.6
性別	男　性	806	16.6	36.1	25.8	12.3	7.6	1.6
	女　性	1,057	11.9	36.0	28.9	13.8	8.3	1.1
	無回答	45	17.8	37.8	17.8	6.7	8.9	11.1
年代別	２０歳代	168	10.1	39.3	28.6	14.9	6.0	1.2
	３０歳代	267	13.1	33.7	32.2	14.2	5.6	1.1
	４０歳代	272	14.3	34.2	29.4	14.3	7.4	0.4
	５０歳代	435	14.0	38.4	23.0	15.4	7.4	1.8
	６０歳代	368	14.4	34.8	30.4	10.6	8.7	1.1
	７０歳以上	352	15.3	36.9	24.7	9.7	11.4	2.0
	無回答	46	19.6	30.4	17.4	13.0	8.7	10.9
職業別	農林業	114	15.8	43.0	23.7	12.3	4.4	0.9
	漁業	10	20.0	30.0	40.0	0.0	10.0	0.0
	商工サービス業自営	140	17.9	31.4	29.3	15.0	5.7	0.7
	事務職	174	19.5	33.9	28.2	12.6	5.7	0.0
	技術職	187	10.2	50.8	25.7	8.0	5.3	0.0
	労務職	250	11.6	35.6	29.6	13.6	7.6	2.0
	管理職	58	20.7	43.1	10.3	15.5	8.6	1.7
	自由業	32	18.8	50.0	21.9	6.3	0.0	3.1
	主婦	306	12.7	36.3	29.1	13.4	6.9	1.6
	学生	26	11.5	46.2	34.6	3.8	3.8	0.0
	無職	379	12.7	32.5	26.9	13.5	11.9	2.6
	その他	159	11.9	27.7	28.3	19.5	11.9	0.6
	無回答	73	19.2	24.7	27.4	9.6	12.3	6.8
世帯構成別	本人のみ	223	15.2	31.4	22.9	15.2	12.6	2.7
	本人と配偶者	463	12.7	38.4	25.7	12.7	8.4	1.9
	本人と子ども	106	10.4	37.7	30.2	13.2	7.5	0.9
	本人と配偶者と子ども	529	15.1	38.8	28.5	11.5	4.9	1.1
	本人と配偶者と親	90	20.0	24.4	31.1	13.3	10.0	1.1
	本人と親	203	11.8	33.0	30.0	14.8	9.9	0.5
	３世代以上の世帯	168	16.1	37.5	26.2	13.1	6.5	0.6
	その他	76	10.5	38.2	32.9	10.5	6.6	1.3
	無回答	50	14.0	28.0	20.0	16.0	14.0	8.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	9.1	22.6	31.7	18.9	15.9	1.8
	100～200万円未満	292	9.2	34.2	27.7	16.1	11.3	1.4
	200～300万円未満	392	12.2	37.5	30.9	11.2	6.6	1.5
	300～400万円未満	250	11.6	37.2	29.2	14.8	6.4	0.8
	400～600万円未満	334	15.3	40.1	27.2	10.8	5.4	1.2
	600～800万円未満	165	24.2	41.2	20.6	10.3	3.6	0.0
	800～1000万円未満	85	23.5	48.2	16.5	7.1	4.7	0.0
	1000万円以上	89	18.0	40.4	19.1	13.5	6.7	2.2
	無回答	137	16.1	23.4	27.7	13.1	13.1	6.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	17.0	37.2	27.1	13.3	4.8	0.5
	小学生の子どもがいる	224	12.5	37.9	32.1	12.5	4.5	0.4
	中学生の子どもがいる	155	15.5	38.7	30.3	9.7	5.8	0.0
	高校生の子どもがいる	163	16.6	39.3	23.9	12.9	6.1	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	14.1	47.4	21.2	10.9	5.1	1.3
	その他	1,139	12.8	35.7	27.0	14.0	9.2	1.2
	無回答	217	16.6	28.6	27.6	11.5	9.7	6.0
広域生活圏別	高知市	806	15.0	35.4	27.8	12.7	7.6	1.6
	安芸広域圏	157	14.0	35.7	28.0	11.5	10.2	0.6
	南国・香美広域圏	255	14.5	37.3	27.1	11.8	7.8	1.6
	嶺北広域圏	41	26.8	41.5	14.6	9.8	7.3	0.0
	仁淀川広域圏	180	13.3	44.4	22.8	11.7	7.2	0.6
	高吾北広域圏	65	7.7	43.1	24.6	20.0	4.6	0.0
	高幡広域圏	160	11.9	31.9	27.5	16.3	9.4	3.1
	幡多広域圏	235	11.1	31.9	31.9	14.0	8.9	2.1
	無回答	9	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1

問12　子どもたちの安全を守るためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（３つまで○印）

（単位：人、%）

		サンプル	学校による学校内外の安全対策	保護者による通学路、公園などの見守り活動	地域住民による通学路、公園などの見守り活動	警察官による通学路や学校周辺のパトロール	「こども１１０番のいえ」など、子どもたちがいつでもかけ込むことのできる場所づくり	学校や保護者に対する不審者情報などの提供	有害図書や出会い系サイトなどの有害な情報から子どもを守る取り組み	通学路、公園などを安全にするための整備	その他（詳細は２１４頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	583	351	889	746	558	724	662	691	48	19
	%	100	30.6	18.4	46.6	39.1	29.2	37.9	34.7	36.2	2.5	1.0
性別	男　性	806	31.9	21.2	45.5	38.5	29.7	34.7	31.9	37.0	3.1	0.9
	女　性	1,057	29.5	16.5	47.7	39.6	28.9	41.0	36.7	35.8	2.2	0.7
	無回答	45	31.1	13.3	40.0	37.8	31.1	24.4	37.8	33.3	0.0	11.1
年代別	２０歳代	168	29.2	19.0	44.0	48.2	24.4	37.5	26.8	44.0	6.0	0.0
	３０歳代	267	30.3	18.4	42.7	47.9	28.8	39.7	27.3	39.7	4.5	0.7
	４０歳代	272	21.7	16.5	44.5	43.4	25.7	43.8	37.1	37.9	2.2	0.0
	５０歳代	435	27.4	18.4	48.7	36.6	33.6	34.9	38.2	34.9	2.5	0.5
	６０歳代	368	36.1	16.3	52.2	31.8	26.4	39.1	40.8	33.2	1.9	0.8
	７０歳以上	352	37.2	21.9	44.6	34.9	31.3	36.9	31.0	34.1	0.3	2.0
	無回答	46	23.9	17.4	41.3	43.5	37.0	21.7	39.1	30.4	2.2	10.9
職業別	農林業	114	35.1	17.5	51.8	39.5	29.8	39.5	30.7	29.8	1.8	1.8
	漁業	10	30.0	10.0	40.0	60.0	30.0	10.0	50.0	40.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	32.1	16.4	46.4	35.0	28.6	32.9	45.7	36.4	4.3	0.0
	事務職	174	27.0	14.9	50.6	43.1	26.4	34.5	32.2	46.0	2.3	0.0
	技術職	187	18.7	20.9	52.4	38.5	28.9	39.6	34.2	41.2	4.8	0.0
	労務職	250	27.2	16.0	42.0	40.4	30.8	42.8	35.2	34.8	2.8	0.8
	管理職	58	24.1	27.6	51.7	32.8	25.9	34.5	32.8	41.4	5.2	1.7
	自由業	32	25.0	15.6	53.1	46.9	21.9	31.3	37.5	37.5	6.3	0.0
	主婦	306	31.0	14.1	50.3	39.2	29.1	44.8	34.3	34.0	0.7	1.0
	学生	26	26.9	15.4	50.0	50.0	23.1	50.0	26.9	38.5	11.5	0.0
	無職	379	36.1	21.9	44.3	36.7	29.6	38.0	34.0	32.5	0.8	1.6
	その他	159	38.4	21.4	37.1	39.0	30.8	32.1	33.3	38.4	3.1	0.6
	無回答	73	31.5	23.3	39.7	41.1	35.6	21.9	34.2	32.9	2.7	5.5
世帯構成別	本人のみ	223	29.6	18.8	38.1	36.8	34.1	36.3	35.0	34.1	1.3	1.3
	本人と配偶者	463	32.2	18.4	50.3	33.3	30.7	37.6	38.7	32.8	1.1	1.7
	本人と子ども	106	34.0	17.0	41.5	36.8	31.1	40.6	30.2	37.7	2.8	0.0
	本人と配偶者と子ども	529	26.3	17.8	49.3	43.5	24.6	41.6	32.5	41.4	3.2	0.4
	本人と配偶者と親	90	36.7	20.0	43.3	41.1	28.9	33.3	45.6	32.2	4.4	0.0
	本人と親	203	36.9	21.7	43.8	37.9	31.5	35.5	29.6	32.0	4.4	0.5
	３世代以上の世帯	168	26.8	16.7	51.8	44.0	23.8	41.7	33.3	36.9	3.0	0.6
	その他	76	34.2	18.4	40.8	40.8	40.8	27.6	30.3	40.8	1.3	0.0
	無回答	50	28.0	16.0	40.0	44.0	32.0	26.0	42.0	34.0	2.0	8.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	28.0	16.5	36.0	42.7	37.2	34.1	31.1	32.3	1.2	1.2
	100～200万円未満	292	35.6	16.1	42.5	35.6	38.4	39.7	31.8	30.8	1.4	2.4
	200～300万円未満	392	32.9	13.5	46.9	41.1	28.3	40.8	32.4	38.0	1.8	0.5
	300～400万円未満	250	30.8	22.0	48.4	36.4	32.0	35.6	38.8	38.4	2.0	0.0
	400～600万円未満	334	27.5	17.7	50.9	38.6	23.7	39.2	39.8	39.2	2.1	0.3
	600～800万円未満	165	28.5	21.2	49.7	36.4	24.2	36.4	38.2	40.6	6.1	0.0
	800～1000万円未満	85	30.6	25.9	60.0	32.9	20.0	37.6	36.5	32.9	2.4	0.0
	1000万円以上	89	22.5	19.1	52.8	41.6	24.7	37.1	28.1	37.1	7.9	2.2
	無回答	137	30.7	26.3	37.2	48.2	26.3	34.3	30.7	32.1	2.9	3.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	24.5	19.7	46.3	46.8	28.7	35.6	33.5	43.6	4.3	0.5
	小学生の子どもがいる	224	27.2	15.6	49.1	40.6	29.5	45.1	29.5	42.0	3.1	0.4
	中学生の子どもがいる	155	27.7	14.8	45.8	41.3	26.5	43.2	41.3	40.0	1.9	0.0
	高校生の子どもがいる	163	22.1	17.8	44.8	44.2	27.0	46.6	38.7	35.0	3.7	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	26.3	16.7	47.4	40.4	30.8	39.7	39.1	33.3	4.5	0.6
	その他	1,139	32.6	18.0	48.1	36.3	30.6	37.7	35.8	33.4	2.3	0.9
	無回答	217	26.7	19.8	43.8	41.0	29.0	33.6	32.3	36.9	1.4	3.2
広域生活圏別	高知市	806	32.0	18.9	45.2	40.8	28.3	36.0	35.0	38.1	2.6	0.7
	安芸広域圏	157	33.8	17.2	42.7	45.2	28.7	35.7	33.8	36.9	2.5	0.0
	南国・香美広域圏	255	25.1	18.0	48.6	42.0	29.4	41.2	38.4	29.4	2.7	1.6
	嶺北広域圏	41	36.6	17.1	58.5	29.3	31.7	43.9	34.1	24.4	2.4	0.0
	仁淀川広域圏	180	35.6	18.9	50.0	31.1	31.1	35.0	30.6	42.8	2.8	0.0
	高吾北広域圏	65	21.5	15.4	49.2	40.0	32.3	36.9	41.5	30.8	4.6	3.1
	高幡広域圏	160	31.3	16.9	43.1	31.9	29.4	39.4	34.4	35.6	1.9	2.5
	幡多広域圏	235	26.8	19.6	48.9	38.3	30.2	43.0	31.9	35.7	1.7	0.9
	無回答	9	22.2	22.2	44.4	44.4	22.2	44.4	33.3	33.3	0.0	11.1

問13 あなたは、ここ1年ぐらいのうち、お住まいの地域で、子どもを守るための活動に参加したことがありますか。①から⑤の項目のそれぞれについて「回答欄」内のいずれか1つに○をしてください。項目の中にない活動については、「その他」の欄に記入してください。

①散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動

(単位：人、%)

		サンプル	参加したことがある	参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた	参加したことがないし、そのような活動があることも知らなかった	無回答
総合	実　数	1,908	265	668	729	246
	%	100	13.9	35.0	38.2	12.9
性別	男　性	806	14.4	37.2	37.6	10.8
	女　性	1,057	13.8	34.1	39.3	12.9
	無回答	45	6.7	17.8	24.4	51.1
年代別	２０歳代	168	5.4	30.4	59.5	4.8
	３０歳代	267	14.6	37.5	45.7	2.2
	４０歳代	272	15.8	39.7	38.6	5.9
	５０歳代	435	11.5	41.1	39.8	7.6
	６０歳代	368	17.9	34.2	30.2	17.7
	７０歳以上	352	14.5	27.8	29.8	27.8
	無回答	46	15.2	13.0	28.3	43.5
職業別	農林業	114	18.4	42.1	24.6	14.9
	漁業	10	20.0	40.0	10.0	30.0
	商工サービス業自営	140	15.7	36.4	32.9	15.0
	事務職	174	14.4	39.1	43.7	2.9
	技術職	187	9.6	43.3	44.4	2.7
	労務職	250	11.6	41.2	40.0	7.2
	管理職	58	12.1	41.4	39.7	6.9
	自由業	32	28.1	25.0	40.6	6.3
	主婦	306	14.7	32.4	39.5	13.4
	学生	26	3.8	26.9	65.4	3.8
	無職	379	16.1	30.6	33.0	20.3
	その他	159	11.9	30.2	46.5	11.3
	無回答	73	8.2	15.1	30.1	46.6
世帯構成別	本人のみ	223	7.6	41.3	36.3	14.8
	本人と配偶者	463	14.5	32.8	35.0	17.7
	本人と子ども	106	14.2	26.4	44.3	15.1
	本人と配偶者と子ども	529	17.0	39.5	35.9	7.6
	本人と配偶者と親	90	16.7	33.3	37.8	12.2
	本人と親	203	7.4	33.5	49.8	9.4
	３世代以上の世帯	168	19.6	32.7	38.7	8.9
	その他	76	11.8	34.2	42.1	11.8
	無回答	50	8.0	16.0	34.0	42.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	9.1	34.8	39.0	17.1
	100～200万円未満	292	10.3	29.8	36.6	23.3
	200～300万円未満	392	17.1	35.2	38.3	9.4
	300～400万円未満	250	16.0	36.0	34.8	13.2
	400～600万円未満	334	13.8	38.3	43.1	4.8
	600～800万円未満	165	13.9	36.4	44.2	5.5
	800～1000万円未満	85	14.1	51.8	30.6	3.5
	1000万円以上	89	21.3	31.5	38.2	9.0
	無回答	137	9.5	26.3	32.1	32.1
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	17.6	38.8	37.8	5.9
	小学生の子どもがいる	224	32.6	33.0	29.0	5.4
	中学生の子どもがいる	155	20.0	40.6	30.3	9.0
	高校生の子どもがいる	163	18.4	38.7	33.7	9.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	17.3	39.1	41.0	2.6
	その他	1,139	10.6	35.3	40.4	13.7
	無回答	217	11.1	26.7	34.6	27.6
広域生活圏別	高知市	806	13.4	36.2	40.6	9.8
	安芸広域圏	157	10.2	38.2	35.0	16.6
	南国・香美広域圏	255	10.2	37.3	40.4	12.2
	嶺北広域圏	41	22.0	51.2	24.4	2.4
	仁淀川広域圏	180	16.7	36.1	35.6	11.7
	高吾北広域圏	65	23.1	27.7	33.8	15.4
	高幡広域圏	160	16.9	26.9	37.5	18.8
	幡多広域圏	235	14.5	31.1	36.2	18.3
	無回答	9	0.0	11.1	33.3	55.6

②登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動

（単位：人、％）

		サンプル	参加したことがある	参加したことはないが、そのような活動があることは知っている	参加したことがないし、そのような活動があることも知らなかった	無回答
総合	実　数	1,908	192	954	509	253
	%	100	10.1	50.0	26.7	13.3
性別	男　性	806	10.0	51.1	27.3	11.5
	女　性	1,057	10.1	50.6	26.4	12.9
	無回答	45	8.9	15.6	22.2	53.3
年代別	２０歳代	168	4.2	51.2	39.9	4.8
	３０歳代	267	15.0	58.8	23.6	2.6
	４０歳代	272	17.6	50.4	26.8	5.1
	５０歳代	435	7.6	57.9	26.4	8.0
	６０歳代	368	10.9	50.3	22.6	16.3
	７０歳以上	352	5.4	36.9	27.6	30.1
	無回答	46	10.9	15.2	23.9	50.0
職業別	農林業	114	7.9	51.8	25.4	14.9
	漁業	10	10.0	40.0	10.0	40.0
	商工サービス業自営	140	13.6	45.7	25.0	15.7
	事務職	174	15.5	60.9	22.4	1.1
	技術職	187	10.7	63.6	23.0	2.7
	労務職	250	6.8	57.2	28.4	7.6
	管理職	58	15.5	58.6	19.0	6.9
	自由業	32	21.9	46.9	25.0	6.3
	主婦	306	11.4	47.7	28.1	12.7
	学生	26	0.0	50.0	42.3	7.7
	無職	379	7.4	44.3	26.9	21.4
	その他	159	8.8	44.0	34.0	13.2
	無回答	73	8.2	17.8	26.0	47.9
世帯構成別	本人のみ	223	3.1	54.7	26.0	16.1
	本人と配偶者	463	7.3	46.9	26.1	19.7
	本人と子ども	106	7.5	45.3	32.1	15.1
	本人と配偶者と子ども	529	15.3	55.6	22.5	6.6
	本人と配偶者と親	90	15.6	46.7	25.6	12.2
	本人と親	203	5.9	49.3	35.5	9.4
	３世代以上の世帯	168	15.5	50.6	25.6	8.3
	その他	76	6.6	48.7	32.9	11.8
	無回答	50	10.0	18.0	28.0	44.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	5.5	46.3	29.9	18.3
	100～200万円未満	292	3.1	45.9	26.0	25.0
	200～300万円未満	392	12.2	50.3	27.6	9.9
	300～400万円未満	250	10.8	52.0	25.6	11.6
	400～600万円未満	334	11.4	54.5	29.6	4.5
	600～800万円未満	165	16.4	55.8	22.4	5.5
	800～1000万円未満	85	12.9	64.7	18.8	3.5
	1000万円以上	89	12.4	51.7	25.8	10.1
	無回答	137	8.8	30.7	27.0	33.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	18.1	58.0	19.7	4.3
	小学生の子どもがいる	224	28.1	52.2	14.3	5.4
	中学生の子どもがいる	155	22.6	45.8	22.6	9.0
	高校生の子どもがいる	163	18.4	49.7	21.5	10.4
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	12.8	59.6	25.0	2.6
	その他	1,139	6.4	50.5	29.3	13.8
	無回答	217	6.5	35.0	28.1	30.4
広域生活圏別	高知市	806	8.1	54.8	26.9	10.2
	安芸広域圏	157	6.4	54.1	22.3	17.2
	南国・香美広域圏	255	11.0	47.8	28.2	12.9
	嶺北広域圏	41	17.1	63.4	14.6	4.9
	仁淀川広域圏	180	12.2	47.2	28.9	11.7
	高吾北広域圏	65	13.8	46.2	26.2	13.8
	高幡広域圏	160	13.1	43.1	25.6	18.1
	幡多広域圏	235	12.8	39.6	28.5	19.1
	無回答	9	0.0	22.2	22.2	55.6

③子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動

（単位：人、％）

		サンプル	参加したことがある	参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた	参加したことがないし、そのような活動があることも知らなかった	無回答
総合	実　数	1,908	432	705	554	217
	%	100	22.6	36.9	29.0	11.4
性別	男　性	806	20.3	38.7	30.8	10.2
	女　性	1,057	24.9	36.4	28.1	10.6
	無回答	45	11.1	17.8	20.0	51.1
年代別	２０歳代	168	11.9	33.9	49.4	4.8
	３０歳代	267	21.7	41.2	34.8	2.2
	４０歳代	272	23.2	43.0	28.7	5.1
	５０歳代	435	24.8	40.9	27.4	6.9
	６０歳代	368	28.3	34.8	22.6	14.4
	７０歳以上	352	20.2	30.7	25.0	24.1
	無回答	46	17.4	15.2	21.7	45.7
職業別	農林業	114	30.7	34.2	20.2	14.9
	漁業	10	30.0	20.0	10.0	40.0
	商工サービス業自営	140	29.3	31.4	30.0	9.3
	事務職	174	21.3	42.5	32.8	3.4
	技術職	187	24.6	41.7	33.2	0.5
	労務職	250	19.2	45.2	28.8	6.8
	管理職	58	22.4	53.4	19.0	5.2
	自由業	32	25.0	43.8	25.0	6.3
	主婦	306	28.8	35.0	25.8	10.5
	学生	26	0.0	26.9	65.4	7.7
	無職	379	20.1	32.7	28.8	18.5
	その他	159	16.4	37.7	35.2	10.7
	無回答	73	15.1	16.4	23.3	45.2
世帯構成別	本人のみ	223	13.5	39.5	34.5	12.6
	本人と配偶者	463	23.8	36.5	24.2	15.6
	本人と子ども	106	24.5	34.9	28.3	12.3
	本人と配偶者と子ども	529	27.6	39.7	26.3	6.4
	本人と配偶者と親	90	23.3	35.6	28.9	12.2
	本人と親	203	12.8	38.9	39.9	8.4
	３世代以上の世帯	168	26.8	36.9	27.4	8.9
	その他	76	23.7	26.3	39.5	10.5
	無回答	50	20.0	16.0	26.0	38.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	13.4	36.0	34.1	16.5
	100～200万円未満	292	18.2	36.0	27.1	18.8
	200～300万円未満	392	28.8	33.9	28.8	8.4
	300～400万円未満	250	20.4	42.4	26.8	10.4
	400～600万円未満	334	24.6	40.4	32.0	3.0
	600～800万円未満	165	24.2	40.0	30.9	4.8
	800～1000万円未満	85	31.8	45.9	18.8	3.5
	1000万円以上	89	28.1	28.1	33.7	10.1
	無回答	137	13.9	27.0	25.5	33.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	26.1	39.4	29.8	4.8
	小学生の子どもがいる	224	38.8	36.6	20.1	4.5
	中学生の子どもがいる	155	31.0	38.7	21.9	8.4
	高校生の子どもがいる	163	27.6	41.1	22.1	9.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	28.2	41.0	27.6	3.2
	その他	1,139	19.9	37.6	31.0	11.5
	無回答	217	18.4	27.6	27.6	26.3
広域生活圏別	高知市	806	16.9	39.7	33.7	9.7
	安芸広域圏	157	26.1	42.7	19.7	11.5
	南国・香美広域圏	255	23.1	38.0	28.6	10.2
	嶺北広域圏	41	31.7	51.2	14.6	2.4
	仁淀川広域圏	180	26.1	36.7	27.8	9.4
	高吾北広域圏	65	40.0	29.2	21.5	9.2
	高幡広域圏	160	25.6	29.4	26.9	18.1
	幡多広域圏	235	29.4	28.5	26.4	15.7
	無回答	9	0.0	11.1	33.3	55.6

④公園など、子どもの遊び場の見回り活動

（単位：人、％）

		サンプル	参加したことがある	参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた	参加したことがないし、そのような活動があることも知らなかった	無回答
総合	実　数	1,908	83	738	819	268
	%	100	4.4	38.7	42.9	14.0
性別	男　性	806	5.5	38.8	43.7	12.0
	女　性	1,057	3.6	39.5	43.1	13.8
	無回答	45	2.2	17.8	24.4	55.6
年代別	２０歳代	168	1.8	28.0	65.5	4.8
	３０歳代	267	4.9	41.9	49.4	3.7
	４０歳代	272	4.0	43.4	46.3	6.3
	５０歳代	435	3.4	42.8	45.1	8.7
	６０歳代	368	6.0	42.7	33.4	17.9
	７０歳以上	352	4.8	31.8	33.5	29.8
	無回答	46	4.3	13.0	30.4	52.2
職業別	農林業	114	2.6	49.1	32.5	15.8
	漁業	10	10.0	40.0	10.0	40.0
	商工サービス業自営	140	6.4	33.6	42.9	17.1
	事務職	174	5.2	40.8	51.1	2.9
	技術職	187	2.1	46.5	49.2	2.1
	労務職	250	2.0	42.8	46.8	8.4
	管理職	58	10.3	48.3	32.8	8.6
	自由業	32	9.4	46.9	37.5	6.3
	主婦	306	3.6	40.2	42.5	13.7
	学生	26	0.0	15.4	73.1	11.5
	無職	379	5.5	34.3	38.3	21.9
	その他	159	3.8	34.6	47.8	13.8
	無回答	73	6.8	15.1	30.1	47.9
世帯構成別	本人のみ	223	2.7	37.2	44.4	15.7
	本人と配偶者	463	3.9	36.9	39.3	19.9
	本人と子ども	106	2.8	36.8	45.3	15.1
	本人と配偶者と子ども	529	5.1	45.6	41.0	8.3
	本人と配偶者と親	90	4.4	42.2	40.0	13.3
	本人と親	203	3.4	33.0	54.2	9.4
	３世代以上の世帯	168	7.1	38.1	44.0	10.7
	その他	76	5.3	35.5	47.4	11.8
	無回答	50	4.0	16.0	34.0	46.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	3.0	35.4	42.7	18.9
	100～200万円未満	292	2.4	31.8	41.8	24.0
	200～300万円未満	392	6.1	39.3	43.9	10.7
	300～400万円未満	250	2.0	41.2	42.4	14.4
	400～600万円未満	334	4.8	42.5	47.0	5.7
	600～800万円未満	165	5.5	40.0	49.1	5.5
	800～1000万円未満	85	7.1	50.6	37.6	4.7
	1000万円以上	89	6.7	42.7	41.6	9.0
	無回答	137	3.6	29.9	30.7	35.8
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	6.4	42.6	45.7	5.3
	小学生の子どもがいる	224	7.6	46.4	39.3	6.7
	中学生の子どもがいる	155	5.8	45.2	38.1	11.0
	高校生の子どもがいる	163	4.3	43.6	42.3	9.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	4.5	46.2	46.2	3.2
	その他	1,139	3.4	37.1	44.9	14.7
	無回答	217	4.1	30.4	35.0	30.4
広域生活圏別	高知市	806	3.6	40.4	44.7	11.3
	安芸広域圏	157	1.9	42.7	36.9	18.5
	南国・香美広域圏	255	4.7	38.0	45.1	12.2
	嶺北広域圏	41	9.8	53.7	31.7	4.9
	仁淀川広域圏	180	6.7	37.2	45.0	11.1
	高吾北広域圏	65	4.6	35.4	44.6	15.4
	高幡広域圏	160	5.0	36.9	36.9	21.3
	幡多広域圏	235	5.1	32.3	43.0	19.6
	無回答	9	0.0	11.1	33.3	55.6

⑤夜間のパトロール活動

（単位：人、％）

		サンプル	参加したことがある	参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた	参加したことがないし、そのような活動があることも知らなかった	無回答
総合	実　数	1,908	82	775	785	266
	%	100	4.3	40.6	41.1	13.9
性別	男　性	806	5.2	40.4	42.9	11.4
	女　性	1,057	3.8	41.9	40.3	14.0
	無回答	45	0.0	13.3	28.9	57.8
年代別	２０歳代	168	0.6	33.3	60.7	5.4
	３０歳代	267	3.7	42.3	50.6	3.4
	４０歳代	272	4.0	50.7	39.7	5.5
	５０歳代	435	5.5	44.8	40.7	9.0
	６０歳代	368	5.4	43.5	34.0	17.1
	７０歳以上	352	4.0	31.0	34.7	30.4
	無回答	46	4.3	8.7	34.8	52.2
職業別	農林業	114	2.6	45.6	35.1	16.7
	漁業	10	0.0	30.0	30.0	40.0
	商工サービス業自営	140	5.0	39.3	38.6	17.1
	事務職	174	6.3	42.5	48.9	2.3
	技術職	187	2.7	49.2	45.5	2.7
	労務職	250	2.8	47.2	42.8	7.2
	管理職	58	10.3	48.3	34.5	6.9
	自由業	32	3.1	53.1	37.5	6.3
	主婦	306	2.9	42.2	40.5	14.4
	学生	26	0.0	23.1	69.2	7.7
	無職	379	5.8	35.6	36.9	21.6
	その他	159	5.0	35.8	45.9	13.2
	無回答	73	4.1	12.3	32.9	50.7
世帯構成別	本人のみ	223	3.6	39.9	40.4	16.1
	本人と配偶者	463	4.8	39.1	36.9	19.2
	本人と子ども	106	2.8	37.7	45.3	14.2
	本人と配偶者と子ども	529	5.5	47.4	38.9	8.1
	本人と配偶者と親	90	5.6	43.3	37.8	13.3
	本人と親	203	1.5	36.5	51.2	10.8
	３世代以上の世帯	168	6.0	41.7	42.9	9.5
	その他	76	1.3	34.2	52.6	11.8
	無回答	50	2.0	10.0	40.0	48.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	2.4	36.6	42.1	18.9
	100～200万円未満	292	2.7	31.5	40.4	25.3
	200～300万円未満	392	6.9	40.8	42.1	10.2
	300～400万円未満	250	3.2	47.6	36.8	12.4
	400～600万円未満	334	3.9	46.4	44.3	5.4
	600～800万円未満	165	6.7	41.2	46.7	5.5
	800～1000万円未満	85	5.9	56.5	32.9	4.7
	1000万円以上	89	5.6	39.3	44.9	10.1
	無回答	137	0.7	27.7	35.0	36.5
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	3.2	44.7	46.8	5.3
	小学生の子どもがいる	224	3.6	47.8	42.4	6.3
	中学生の子どもがいる	155	8.4	43.9	38.1	9.7
	高校生の子どもがいる	163	6.1	50.3	34.4	9.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	7.7	53.8	34.6	3.8
	その他	1,139	3.8	40.3	41.4	14.5
	無回答	217	4.1	26.7	38.2	30.9
広域生活圏別	高知市	806	2.6	44.2	42.7	10.5
	安芸広域圏	157	8.3	42.7	31.8	17.2
	南国・香美広域圏	255	4.3	40.0	42.7	12.9
	嶺北広域圏	41	9.8	56.1	26.8	7.3
	仁淀川広域圏	180	6.7	37.8	44.4	11.1
	高吾北広域圏	65	7.7	40.0	36.9	15.4
	高幡広域圏	160	4.4	35.0	38.8	21.9
	幡多広域圏	235	3.8	32.8	43.0	20.4
	無回答	9	0.0	0.0	44.4	55.6

⑥その他

（単位：人、％）

		サンプル	参加したことがある	参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた	無回答
総合	実　数	1,908	14	8	1,886
	%	100	0.7	0.4	98.8
性別	男　性	806	0.5	0.1	99.4
	女　性	1,057	0.9	0.6	98.5
	無回答	45	0.0	2.2	97.8
年代別	２０歳代	168	0.6	0.0	99.4
	３０歳代	267	0.7	0.7	98.5
	４０歳代	272	0.0	0.0	100.0
	５０歳代	435	1.1	0.2	98.6
	６０歳代	368	0.8	0.8	98.4
	７０歳以上	352	0.9	0.3	98.9
	無回答	46	0.0	2.2	97.8
職業別	農林業	114	1.8	0.0	98.2
	漁業	10	0.0	0.0	100.0
	商工サービス業自営	140	1.4	0.7	97.9
	事務職	174	0.0	0.0	100.0
	技術職	187	1.6	0.0	98.4
	労務職	250	0.0	0.4	99.6
	管理職	58	0.0	0.0	100.0
	自由業	32	0.0	3.1	96.9
	主婦	306	1.3	0.3	98.4
	学生	26	0.0	0.0	100.0
	無職	379	0.0	0.5	99.5
	その他	159	1.9	0.6	97.5
	無回答	73	0.0	1.4	98.6
世帯構成別	本人のみ	223	0.0	1.3	98.7
	本人と配偶者	463	1.5	0.2	98.3
	本人と子ども	106	0.0	0.0	100.0
	本人と配偶者と子ども	529	0.6	0.0	99.4
	本人と配偶者と親	90	0.0	1.1	98.9
	本人と親	203	0.0	0.0	100.0
	３世代以上の世帯	168	1.8	0.0	98.2
	その他	76	1.3	2.6	96.1
	無回答	50	0.0	2.0	98.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	0.6	0.6	98.8
	100～200万円未満	292	0.0	0.3	99.7
	200～300万円未満	392	0.8	0.8	98.5
	300～400万円未満	250	0.8	0.4	98.8
	400～600万円未満	334	0.9	0.3	98.8
	600～800万円未満	165	0.6	0.0	99.4
	800～1000万円未満	85	2.4	0.0	97.6
	1000万円以上	89	2.2	0.0	97.8
	無回答	137	0.0	0.7	99.3
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	0.5	0.5	98.9
	小学生の子どもがいる	224	0.9	0.0	99.1
	中学生の子どもがいる	155	0.0	0.0	100.0
	高校生の子どもがいる	163	0.6	0.0	99.4
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	0.0	0.6	99.4
	その他	1,139	0.8	0.5	98.7
	無回答	217	0.5	0.0	99.5
広域生活圏別	高知市	806	0.9	0.2	98.9
	安芸広域圏	157	0.0	0.6	99.4
	南国・香美広域圏	255	0.4	0.8	98.8
	嶺北広域圏	41	2.4	0.0	97.6
	仁淀川広域圏	180	0.6	0.0	99.4
	高吾北広域圏	65	3.1	0.0	96.9
	高幡広域圏	160	1.3	1.9	96.9
	幡多広域圏	235	0.0	0.0	100.0
	無回答	9	0.0	0.0	100.0

副問１　活動をした際に課題と思ったことは何ですか。　（３つまで○印）
（問13で「１」に○を１つでもした方（参加したことがある方）のみお答えください。）

		サンプル	地域住民の防犯意識や連帯感が弱い	活動に参加する人が少ない	活動に参加する人がいつも同じ	活動の内容が固定化している	防犯に取り組む組織が地域にない	地域で活動している個人や団体が連携できていない
総合	実　数	577	198	204	248	73	75	73
	%	100	34.3	35.4	43.0	12.7	13.0	12.7
性別	男　性	226	37.2	36.7	45.6	14.2	14.2	11.1
	女　性	344	32.0	34.6	41.3	11.9	12.5	13.7
	無回答	7	57.1	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3
年代別	２０歳代	26	23.1	34.6	34.6	15.4	11.5	7.7
	３０歳代	85	32.9	32.9	24.7	9.4	12.9	9.4
	４０歳代	93	19.4	44.1	57.0	19.4	3.2	14.0
	５０歳代	138	36.2	37.0	46.4	15.2	15.2	10.9
	６０歳代	127	36.2	35.4	45.7	14.2	16.5	15.0
	７０歳以上	97	47.4	28.9	39.2	4.1	14.4	14.4
	無回答	11	36.4	18.2	45.5	0.0	18.2	18.2
職業別	農林業	42	40.5	35.7	47.6	14.3	16.7	11.9
	漁業	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	商工サービス業自営	51	33.3	37.3	47.1	9.8	19.6	11.8
	事務職	57	28.1	36.8	35.1	14.0	10.5	17.5
	技術職	56	37.5	35.7	46.4	8.9	3.6	8.9
	労務職	68	35.3	38.2	45.6	14.7	19.1	8.8
	管理職	20	45.0	35.0	60.0	40.0	15.0	5.0
	自由業	12	16.7	25.0	25.0	16.7	8.3	8.3
	主婦	113	31.9	36.3	44.2	9.7	15.0	12.4
	学生	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	100	45.0	36.0	40.0	10.0	11.0	15.0
	その他	38	13.2	28.9	36.8	18.4	10.5	15.8
	無回答	15	26.7	26.7	53.3	6.7	6.7	20.0
世帯構成別	本人のみ	40	37.5	27.5	42.5	5.0	12.5	12.5
	本人と配偶者	145	39.3	29.0	44.8	16.6	14.5	11.7
	本人と子ども	33	42.4	27.3	36.4	12.1	6.1	12.1
	本人と配偶者と子ども	205	30.7	40.5	41.0	14.1	11.7	14.1
	本人と配偶者と親	27	48.1	37.0	48.1	7.4	14.8	7.4
	本人と親	32	21.9	40.6	37.5	6.3	21.9	15.6
	３世代以上の世帯	61	31.1	39.3	57.4	11.5	16.4	11.5
	その他	22	31.8	40.9	27.3	13.6	4.5	9.1
	無回答	12	25.0	25.0	33.3	0.0	8.3	16.7
世帯の年間収入別	0～100万円未満	30	23.3	30.0	30.0	0.0	16.7	13.3
	100～200万円未満	67	34.3	35.8	29.9	10.4	10.4	14.9
	200～300万円未満	146	36.3	35.6	47.9	14.4	15.1	13.0
	300～400万円未満	78	38.5	35.9	41.0	6.4	12.8	11.5
	400～600万円未満	105	36.2	34.3	42.9	17.1	13.3	14.3
	600～800万円未満	53	30.2	32.1	49.1	20.8	13.2	9.4
	800～1000万円未満	34	32.4	44.1	47.1	14.7	8.8	20.6
	1000万円以上	37	27.0	35.1	51.4	13.5	8.1	2.7
	無回答	27	37.0	37.0	40.7	3.7	14.8	11.1
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	70	25.7	37.1	40.0	8.6	12.9	4.3
	小学生の子どもがいる	127	33.1	37.8	36.2	14.2	11.0	9.4
	中学生の子どもがいる	72	30.6	30.6	54.2	22.2	12.5	16.7
	高校生の子どもがいる	66	25.8	40.9	50.0	13.6	6.1	12.1
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	61	26.2	32.8	49.2	16.4	4.9	14.8
	その他	291	36.8	32.6	43.3	11.0	14.4	13.4
	無回答	52	38.5	34.6	38.5	13.5	17.3	17.3
広域生活圏別	高知市	200	40.5	36.0	42.0	7.5	11.5	14.5
	安芸広域圏	51	33.3	35.3	47.1	17.6	11.8	17.6
	南国・香美広域圏	77	28.6	27.3	40.3	19.5	19.5	10.4
	嶺北広域圏	18	38.9	50.0	33.3	22.2	5.6	5.6
	仁淀川広域圏	63	36.5	34.9	46.0	15.9	15.9	12.7
	高吾北広域圏	30	30.0	26.7	43.3	13.3	13.3	13.3
	高幡広域圏	53	28.3	39.6	35.8	13.2	9.4	11.3
	幡多広域圏	85	28.2	38.8	49.4	10.6	12.9	9.4

(単位：人、%)

活動を指導するリーダーがいない	地域の不審者や犯罪の発生に関する情報をすぐ知ることができない	先進的な取り組みや効果的な活動などについての情報がない	活動するための資金が不足している	行政の支援や支援に関する情報が不足している	その他（詳細は215頁参照）	無回答
75	119	73	32	81	17	54
13.0	20.6	12.7	5.5	14.0	2.9	9.4
13.7	20.8	14.2	7.1	15.5	1.3	8.8
12.5	20.6	11.9	4.4	13.1	4.1	9.6
14.3	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3
23.1	19.2	19.2	3.8	26.9	0.0	7.7
12.9	29.4	14.1	10.6	16.5	7.1	8.2
7.5	15.1	12.9	6.5	10.8	3.2	4.3
10.9	21.7	10.1	3.6	8.0	2.9	13.8
12.6	21.3	11.8	2.4	18.1	2.4	5.5
20.6	17.5	15.5	6.2	14.4	1.0	12.4
0.0	9.1	0.0	18.2	18.2	0.0	27.3
9.5	31.0	4.8	9.5	4.8	2.4	11.9
33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
17.6	15.7	11.8	2.0	21.6	2.0	7.8
10.5	31.6	14.0	7.0	17.5	1.8	5.3
12.5	14.3	14.3	7.1	10.7	8.9	7.1
11.8	17.6	20.6	4.4	8.8	4.4	10.3
10.0	15.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0
16.7	25.0	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7
12.4	24.8	8.8	4.4	17.7	0.9	8.8
50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
19.0	16.0	14.0	6.0	13.0	1.0	9.0
5.3	15.8	10.5	5.3	15.8	7.9	15.8
0.0	26.7	13.3	13.3	13.3	0.0	13.3
17.5	27.5	7.5	2.5	10.0	5.0	7.5
12.4	18.6	17.2	3.4	13.8	2.1	11.7
3.0	24.2	6.1	9.1	3.0	6.1	15.2
11.2	18.5	9.8	4.9	15.1	3.9	7.3
22.2	33.3	3.7	3.7	14.8	3.7	3.7
9.4	31.3	18.8	9.4	18.8	0.0	12.5
18.0	11.5	13.1	9.8	14.8	1.6	6.6
22.7	31.8	22.7	4.5	18.2	0.0	9.1
8.3	16.7	25.0	16.7	16.7	0.0	25.0
23.3	30.0	6.7	10.0	13.3	3.3	13.3
10.4	14.9	17.9	9.0	10.4	4.5	16.4
12.3	24.7	12.3	4.8	13.0	1.4	7.5
14.1	15.4	15.4	3.8	12.8	2.6	11.5
15.2	20.0	13.3	3.8	19.0	3.8	4.8
5.7	22.6	13.2	3.8	11.3	1.9	11.3
14.7	11.8	14.7	5.9	14.7	2.9	2.9
10.8	18.9	2.7	5.4	10.8	5.4	13.5
14.8	29.6	7.4	11.1	22.2	3.7	7.4
10.0	21.4	18.6	11.4	18.6	2.9	10.0
11.8	19.7	16.5	5.5	17.3	6.3	7.1
16.7	18.1	8.3	8.3	16.7	0.0	4.2
12.1	12.1	9.1	9.1	15.2	4.5	7.6
9.8	19.7	16.4	4.9	14.8	1.6	9.8
13.1	22.7	12.0	3.8	12.7	2.4	11.3
21.2	11.5	7.7	9.6	7.7	1.9	9.6
9.0	23.0	9.5	4.5	12.5	4.5	9.5
9.8	21.6	17.6	9.8	5.9	0.0	9.8
11.7	20.8	15.6	3.9	16.9	2.6	9.1
11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	16.7	0.0
20.6	22.2	17.5	3.2	17.5	0.0	4.8
13.3	10.0	26.7	3.3	20.0	0.0	16.7
18.9	18.9	7.5	9.4	20.8	1.9	13.2
16.5	17.6	9.4	5.9	11.8	2.4	9.4

副問２　あなたは、今後、地域の活動に参加できますか。（１つだけ○印）
（問13で「１」に○をしなかった方（参加したことがない方）のみお答えください。）

(単位：人、%)

		サンプル	参加できる	条件が整えば参加できる、参加してみたい	参加できない、参加したくない	わからない	無回答
総合	実　数	1,170	58	560	243	293	16
	%	100	5.0	47.9	20.8	25.0	1.4
性別	男　性	525	5.5	51.6	19.6	21.3	1.9
	女　性	629	4.5	45.2	21.3	28.1	1.0
	無回答	16	6.3	31.3	37.5	25.0	0.0
年代別	２０歳代	136	1.5	47.8	22.1	27.9	0.7
	３０歳代	179	2.2	55.9	20.7	20.1	1.1
	４０歳代	169	4.7	53.3	20.7	19.5	1.8
	５０歳代	281	7.1	49.8	14.9	26.0	2.1
	６０歳代	202	6.4	53.0	14.9	25.2	0.5
	７０歳以上	187	5.3	27.3	34.8	31.0	1.6
	無回答	16	6.3	43.8	25.0	25.0	0.0
職業別	農林業	59	11.9	47.5	8.5	25.4	6.8
	漁業	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	商工サービス業自営	80	6.3	53.8	16.3	23.8	0.0
	事務職	115	3.5	53.0	27.0	15.7	0.9
	技術職	131	4.6	61.8	17.6	15.3	0.8
	労務職	170	2.4	45.9	17.6	32.4	1.2
	管理職	36	2.8	72.2	11.1	11.1	2.8
	自由業	19	0.0	68.4	10.5	21.1	0.0
	主婦	169	4.1	48.5	20.7	25.4	1.2
	学生	23	0.0	39.1	30.4	30.4	0.0
	無職	225	7.6	34.2	30.7	27.1	0.4
	その他	110	4.5	45.5	16.4	33.6	0.0
	無回答	29	6.9	37.9	17.2	31.0	6.9
世帯構成別	本人のみ	162	6.2	35.2	27.2	29.6	1.9
	本人と配偶者	264	4.5	44.3	26.9	23.1	1.1
	本人と子ども	61	4.9	45.9	13.1	36.1	0.0
	本人と配偶者と子ども	303	5.0	61.4	13.2	19.1	1.3
	本人と配偶者と親	55	7.3	60.0	5.5	21.8	5.5
	本人と親	160	3.1	36.3	28.1	31.9	0.6
	３世代以上の世帯	98	6.1	55.1	16.3	20.4	2.0
	その他	47	4.3	42.6	21.3	31.9	0.0
	無回答	20	5.0	35.0	30.0	30.0	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	114	6.1	30.7	20.2	42.1	0.9
	100～200万円未満	179	7.3	37.4	25.7	27.4	2.2
	200～300万円未満	226	4.0	42.0	23.5	30.1	0.4
	300～400万円未満	155	4.5	55.5	18.7	18.7	2.6
	400～600万円未満	222	5.9	58.1	16.7	18.0	1.4
	600～800万円未満	105	3.8	62.9	17.1	15.2	1.0
	800～1000万円未満	50	4.0	60.0	24.0	10.0	2.0
	1000万円以上	47	2.1	63.8	14.9	19.1	0.0
	無回答	72	2.8	30.6	25.0	40.3	1.4
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	112	2.7	68.8	12.5	14.3	1.8
	小学生の子どもがいる	91	3.3	64.8	16.5	12.1	3.3
	中学生の子どもがいる	75	5.3	65.3	13.3	14.7	1.3
	高校生の子どもがいる	87	4.6	62.1	12.6	18.4	2.3
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	92	5.4	57.6	12.0	21.7	3.3
	その他	753	5.0	42.5	23.1	28.2	1.2
	無回答	117	6.8	39.3	24.8	28.2	0.9
広域生活圏別	高知市	544	3.5	49.4	21.3	24.8	0.9
	安芸広域圏	93	1.1	38.7	28.0	28.0	4.3
	南国・香美広域圏	160	6.9	51.9	13.1	26.3	1.9
	嶺北広域圏	23	8.7	47.8	26.1	17.4	0.0
	仁淀川広域圏	104	2.9	51.0	24.0	20.2	1.9
	高吾北広域圏	30	10.0	40.0	26.7	20.0	3.3
	高幡広域圏	92	9.8	41.3	15.2	32.6	1.1
	幡多広域圏	120	7.5	47.5	20.8	24.2	0.0
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0

副々問１　どのような活動に参加できると思いますか。（２つまで○印）
（副問２で「１　参加できる」「２　条件が整えば参加できる、参加してみたい」と答えた方のみお答えください。）

（単位：人、％）

		サンプル	散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動	登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動	子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動	公園など、子どもの遊び場の見回り活動	夜間のパトロール活動	その他（詳細は215頁参照）	無回答
総合	実　数	618	430	84	396	81	46	3	9
	%	100	69.6	13.6	64.1	13.1	7.4	0.5	1.5
性別	男　性	300	63.7	17.3	56.7	16.7	10.3	0.7	2.0
	女　性	312	75.3	9.6	71.2	9.9	4.8	0.3	1.0
	無回答	6	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	２０歳代	67	76.1	6.0	56.7	16.4	11.9	3.0	0.0
	３０歳代	104	67.3	19.2	55.8	19.2	5.8	0.0	1.0
	４０歳代	98	66.3	13.3	57.1	12.2	15.3	0.0	0.0
	５０歳代	160	69.4	11.9	66.3	11.9	6.3	0.0	2.5
	６０歳代	120	72.5	14.2	66.7	10.0	5.0	0.8	1.7
	７０歳以上	61	65.6	14.8	86.9	9.8	1.6	0.0	3.3
	無回答	8	75.0	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	35	77.1	11.4	82.9	2.9	8.6	0.0	0.0
	漁業	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	48	68.8	14.6	50.0	16.7	10.4	0.0	2.1
	事務職	65	67.7	9.2	60.0	12.3	13.8	1.5	0.0
	技術職	87	71.3	9.2	63.2	14.9	1.1	1.1	2.3
	労務職	82	65.9	15.9	63.4	9.8	13.4	0.0	0.0
	管理職	27	51.9	14.8	55.6	14.8	11.1	0.0	7.4
	自由業	13	76.9	23.1	53.8	7.7	0.0	0.0	0.0
	主婦	89	78.7	9.0	70.8	10.1	3.4	1.1	2.2
	学生	9	88.9	22.2	11.1	33.3	22.2	0.0	0.0
	無職	94	64.9	17.0	71.3	16.0	4.3	0.0	2.1
	その他	55	67.3	16.4	63.6	20.0	9.1	0.0	0.0
	無回答	13	69.2	30.8	61.5	0.0	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	本人のみ	67	53.7	16.4	65.7	16.4	7.5	1.5	0.0
	本人と配偶者	129	71.3	10.9	70.5	11.6	6.2	0.8	1.6
	本人と子ども	31	64.5	12.9	74.2	12.9	3.2	0.0	0.0
	本人と配偶者と子ども	201	68.2	13.4	60.2	13.4	11.4	0.5	2.5
	本人と配偶者と親	37	75.7	16.2	64.9	5.4	0.0	0.0	2.7
	本人と親	63	81.0	14.3	50.8	14.3	6.3	0.0	0.0
	３世代以上の世帯	60	71.7	11.7	70.0	15.0	6.7	0.0	1.7
	その他	22	81.8	18.2	59.1	18.2	4.5	0.0	0.0
	無回答	8	62.5	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	42	66.7	21.4	64.3	14.3	2.4	0.0	0.0
	100～200万円未満	80	65.0	12.5	78.8	10.0	3.8	1.3	0.0
	200～300万円未満	104	74.0	9.6	58.7	16.3	6.7	0.0	1.0
	300～400万円未満	93	71.0	11.8	73.1	10.8	5.4	1.1	2.2
	400～600万円未満	142	71.1	9.9	61.3	11.3	9.9	0.7	4.2
	600～800万円未満	70	68.6	20.0	51.4	17.1	12.9	0.0	0.0
	800～1000万円未満	32	78.1	18.8	53.1	18.8	0.0	0.0	0.0
	1000万円以上	31	61.3	16.1	67.7	12.9	12.9	0.0	3.2
	無回答	24	58.3	20.8	66.7	8.3	12.5	0.0	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	80	70.0	15.0	57.5	13.8	10.0	1.3	1.3
	小学生の子どもがいる	62	61.3	24.2	61.3	11.3	12.9	0.0	0.0
	中学生の子どもがいる	53	69.8	11.3	69.8	15.1	9.4	0.0	1.9
	高校生の子どもがいる	58	69.0	13.8	63.8	15.5	8.6	0.0	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	58	60.3	10.3	63.8	15.5	8.6	0.0	1.7
	その他	358	72.3	11.7	66.2	13.1	5.9	0.6	1.7
	無回答	54	66.7	22.2	61.1	5.6	3.7	0.0	1.9
広域生活圏別	高知市	288	69.4	13.5	56.9	16.0	8.0	0.3	1.0
	安芸広域圏	37	78.4	10.8	64.9	5.4	16.2	0.0	2.7
	南国・香美広域圏	94	68.1	13.8	72.3	9.6	5.3	1.1	0.0
	嶺北広域圏	13	53.8	23.1	53.8	7.7	7.7	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	56	69.6	16.1	69.6	14.3	3.6	1.8	1.8
	高吾北広域圏	15	66.7	6.7	60.0	6.7	6.7	0.0	13.3
	高幡広域圏	47	68.1	12.8	68.1	12.8	10.6	0.0	2.1
	幡多広域圏	66	72.7	13.6	77.3	12.1	4.5	0.0	1.5
	無回答	2	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

副々問２　参加できない、参加したくない理由は何ですか。（３つまで○印）
（副問２で「３　参加できない、参加したくない」と答えた方のみお答えください。）

		サンプル	仕事などで忙しくて時間がないから	パトロール活動などには危険が伴うと思うから	一緒に活動する仲間がいないから	どのようにして取りかかってよいのかわからないから	地域で活動する団体や活動の内容などの情報がないから	子どもの安全を守ることは警察のすべきことだと思うから
総合	実　数	243	113	8	25	37	34	5
	%	100	46.5	3.3	10.3	15.2	14.0	2.1
性別	男　性	103	47.6	2.9	11.7	14.6	12.6	3.9
	女　性	134	47.8	3.7	9.7	15.7	15.7	0.7
	無回答	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
年代別	２０歳代	30	66.7	3.3	10.0	26.7	20.0	3.3
	３０歳代	37	67.6	5.4	21.6	16.2	8.1	2.7
	４０歳代	35	80.0	0.0	8.6	8.6	22.9	0.0
	５０歳代	42	61.9	4.8	9.5	31.0	19.0	7.1
	６０歳代	30	30.0	0.0	20.0	13.3	16.7	0.0
	７０歳以上	65	7.7	4.6	1.5	3.1	6.2	0.0
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
職業別	農林業	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	漁業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	13	76.9	7.7	23.1	23.1	23.1	7.7
	事務職	31	83.9	0.0	3.2	29.0	25.8	3.2
	技術職	23	82.6	8.7	8.7	8.7	13.0	0.0
	労務職	30	73.3	0.0	16.7	20.0	16.7	3.3
	管理職	4	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	自由業	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦	35	31.4	2.9	8.6	17.1	11.4	2.9
	学生	7	42.9	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0
	無職	69	10.1	4.3	8.7	8.7	10.1	1.4
	その他	18	50.0	5.6	22.2	16.7	11.1	0.0
	無回答	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
世帯構成別	本人のみ	44	40.9	6.8	13.6	18.2	9.1	2.3
	本人と配偶者	71	26.8	1.4	9.9	14.1	12.7	0.0
	本人と子ども	8	37.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0
	本人と配偶者と子ども	40	57.5	0.0	2.5	10.0	12.5	2.5
	本人と配偶者と親	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	本人と親	45	75.6	2.2	13.3	13.3	22.2	2.2
	３世代以上の世帯	16	62.5	6.3	12.5	37.5	31.3	6.3
	その他	10	40.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	無回答	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	23	13.0	17.4	4.3	13.0	8.7	0.0
	100～200万円未満	46	30.4	0.0	13.0	10.9	8.7	4.3
	200～300万円未満	53	45.3	0.0	13.2	17.0	20.8	0.0
	300～400万円未満	29	37.9	0.0	6.9	13.8	6.9	6.9
	400～600万円未満	37	81.1	5.4	8.1	18.9	18.9	0.0
	600～800万円未満	18	66.7	5.6	11.1	22.2	27.8	5.6
	800～1000万円未満	12	83.3	0.0	25.0	25.0	16.7	0.0
	1000万円以上	7	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	18	22.2	5.6	5.6	11.1	5.6	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	14	50.0	0.0	0.0	7.1	21.4	0.0
	小学生の子どもがいる	15	53.3	0.0	6.7	13.3	20.0	0.0
	中学生の子どもがいる	10	50.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	高校生の子どもがいる	11	90.9	0.0	18.2	18.2	45.5	9.1
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	11	45.5	0.0	9.1	9.1	18.2	9.1
	その他	174	44.3	4.6	12.6	17.8	13.8	2.3
	無回答	29	48.3	0.0	3.4	3.4	3.4	0.0
広域生活圏別	高知市	116	44.0	5.2	10.3	17.2	12.9	3.4
	安芸広域圏	26	42.3	0.0	15.4	11.5	3.8	0.0
	南国・香美広域圏	21	52.4	4.8	9.5	4.8	23.8	4.8
	嶺北広域圏	6	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
	仁淀川広域圏	25	60.0	0.0	20.0	20.0	12.0	0.0
	高吾北広域圏	8	37.5	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0
	高幡広域圏	14	64.3	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0
	幡多広域圏	25	44.0	4.0	0.0	20.0	24.0	0.0
	無回答	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：人、%）

子どもの安全を守ることは学校のすべきことだと思うから	子どもの安全を守ることは行政のすべきことだと思うから	子どもの安全を守ることは保護者の務めだと思うから	警察や学校と連携をとることに抵抗があるから	興味、関心がないから	年齢、病気などの理由で、屋外での活動ができないから	近所に子どもがいないから	その他（詳細は215頁参照）	無回答
8	8	28	5	13	90	30	12	4
3.3	3.3	11.5	2.1	5.3	37.0	12.3	4.9	1.6
5.8	3.9	11.7	4.9	3.9	26.2	9.7	7.8	1.9
1.5	3.0	10.4	0.0	6.7	44.0	14.2	3.0	1.5
0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0
0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	3.3	10.0	13.3	6.7
2.7	2.7	13.5	2.7	16.2	8.1	2.7	13.5	2.7
0.0	0.0	14.3	2.9	5.7	5.7	14.3	5.7	0.0
9.5	4.8	19.0	2.4	4.8	11.9	16.7	0.0	2.4
3.3	10.0	13.3	6.7	6.7	53.3	16.7	0.0	0.0
3.1	3.1	4.6	0.0	0.0	92.3	13.8	1.5	0.0
0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	7.7
0.0	3.2	9.7	0.0	9.7	3.2	3.2	9.7	3.2
0.0	4.3	17.4	0.0	4.3	0.0	8.7	8.7	4.3
3.3	0.0	10.0	6.7	10.0	13.3	13.3	6.7	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.9	2.9	17.1	0.0	2.9	51.4	17.1	2.9	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3
5.8	2.9	13.0	1.4	4.3	75.4	17.4	2.9	0.0
0.0	5.6	0.0	11.1	0.0	22.2	16.7	0.0	0.0
0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
2.3	2.3	13.6	4.5	0.0	45.5	11.4	4.5	2.3
5.6	5.6	9.9	1.4	5.6	62.0	16.9	2.8	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0	25.0	0.0	0.0
0.0	2.5	12.5	2.5	2.5	22.5	10.0	7.5	2.5
33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.2	0.0	11.1	2.2	11.1	8.9	11.1	4.4	4.4
0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	6.3	6.3	18.8	0.0
10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0
0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	13.0	8.7	8.7	56.5	21.7	4.3	4.3
6.5	4.3	10.9	4.3	0.0	54.3	15.2	2.2	2.2
3.8	5.7	3.8	1.9	9.4	34.0	9.4	1.9	1.9
10.3	0.0	24.1	0.0	10.3	48.3	17.2	6.9	0.0
0.0	2.7	8.1	0.0	5.4	16.2	5.4	10.8	0.0
0.0	5.6	33.3	0.0	5.6	0.0	16.7	11.1	5.6
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0
0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	66.7	11.1	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	7.1	21.4	0.0
0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	53.3	6.7	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	10.0	0.0
0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	36.4	9.1	9.1
4.6	3.4	14.4	2.3	5.7	37.4	12.6	4.6	1.7
0.0	3.4	6.9	3.4	6.9	41.4	10.3	0.0	0.0
3.4	4.3	12.9	1.7	6.0	34.5	9.5	6.9	3.4
11.5	7.7	19.2	0.0	3.8	46.2	15.4	0.0	0.0
0.0	0.0	9.5	4.8	9.5	28.6	14.3	14.3	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	32.0	4.0	4.0	0.0
0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	37.5	37.5	0.0	0.0
0.0	0.0	14.3	7.1	7.1	21.4	7.1	0.0	0.0
0.0	0.0	4.0	4.0	0.0	56.0	20.0	0.0	0.0
0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問14　子どもの非行を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。（３つまで○印）

（単位：人、％）

		サンプル	保護者による家庭でのしつけ	学校教育で、善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること	警察と学校が連携して非行の防止や社会のルールを守るなどの啓発を行うこと	有害図書や出会い系サイトなど子どもにとって有害な環境をなくすこと	街頭などでの少年補導活動	子どもや保護者からの相談を受け付ける体制の充実	子どもをあたたかく受け入れる場所の確保	手本となる大人がマナーを守ること	量販店やコンビニなどでの万引き防止対策	地域住民が地域の子どもに目を向け、積極的に声かけなどを行うこと	その他（詳細は215頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	1520	745	278	500	128	366	284	847	68	530	29	45
	%	100	79.7	39.0	14.6	26.2	6.7	19.2	14.9	44.4	3.6	27.8	1.5	2.4
性別	男　性	806	81.1	44.7	16.5	20.1	7.7	18.9	12.8	42.2	3.7	26.9	2.1	2.0
	女　性	1,057	79.1	34.7	13.0	31.3	5.9	19.6	16.7	46.3	3.5	28.7	1.1	1.9
	無回答	45	66.7	40.0	17.8	15.6	8.9	15.6	11.1	40.0	2.2	22.2	0.0	20.0
年代別	２０歳代	168	73.8	35.1	17.9	25.6	10.1	23.8	20.2	50.0	3.0	17.9	2.4	1.8
	３０歳代	267	82.0	30.0	13.1	22.1	7.1	19.9	17.2	57.7	2.6	24.7	2.2	1.1
	４０歳代	272	79.8	35.7	10.3	28.3	5.5	19.5	16.2	49.6	4.4	25.0	2.2	1.5
	５０歳代	435	83.0	36.8	13.1	25.5	7.1	23.2	17.2	41.8	3.2	30.3	1.4	0.7
	６０歳代	368	78.3	40.5	17.1	30.4	5.7	16.3	13.3	42.9	4.1	32.3	1.1	1.6
	７０歳以上	352	80.4	51.7	15.3	25.3	5.4	14.8	9.1	34.1	3.7	30.1	0.9	4.5
	無回答	46	60.9	39.1	23.9	19.6	13.0	15.2	8.7	30.4	4.3	19.6	0.0	21.7
職業別	農林業	114	78.1	50.9	12.3	24.6	5.3	19.3	16.7	32.5	2.6	36.0	0.0	2.6
	漁業	10	70.0	60.0	0.0	40.0	0.0	20.0	10.0	40.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	商工サービス業自営	140	77.9	42.1	16.4	22.9	8.6	18.6	10.7	44.3	3.6	33.6	3.6	2.1
	事務職	174	82.2	30.5	14.9	24.1	4.6	24.1	19.0	51.7	3.4	21.8	1.7	0.0
	技術職	187	84.0	33.2	10.7	23.0	7.0	21.9	18.2	54.5	2.1	29.9	1.6	0.5
	労務職	250	78.8	36.8	10.8	28.4	4.8	22.0	14.8	47.6	3.6	30.8	0.8	1.6
	管理職	58	89.7	53.4	17.2	19.0	3.4	10.3	15.5	43.1	3.4	24.1	3.4	0.0
	自由業	32	87.5	37.5	12.5	12.5	9.4	18.8	21.9	50.0	6.3	21.9	3.1	0.0
	主婦	306	81.4	32.0	14.4	32.0	7.2	16.7	12.7	45.1	2.9	32.0	1.0	2.0
	学生	26	80.8	34.6	26.9	26.9	15.4	23.1	19.2	42.3	3.8	19.2	0.0	0.0
	無職	379	80.7	49.1	17.7	26.9	7.4	15.6	10.8	39.1	4.0	25.6	1.1	3.4
	その他	159	72.3	32.7	14.5	28.9	8.2	23.3	21.4	43.4	4.4	21.4	2.5	1.9
	無回答	73	64.4	37.0	17.8	16.4	6.8	17.8	13.7	35.6	6.8	20.5	2.7	15.1
世帯構成別	本人のみ	223	75.8	41.3	16.6	25.1	7.6	21.1	16.1	36.3	5.8	20.2	1.8	2.7
	本人と配偶者	463	82.3	43.4	16.2	27.6	6.5	17.1	10.4	40.4	4.1	29.6	1.3	2.4
	本人と子ども	106	83.0	32.1	15.1	21.7	6.6	17.0	14.2	48.1	1.9	36.8	0.9	1.9
	本人と配偶者と子ども	529	82.4	33.6	12.3	26.5	6.2	19.3	15.5	47.8	2.3	32.5	1.9	1.5
	本人と配偶者と親	90	81.1	47.8	13.3	33.3	7.8	11.1	15.6	48.9	2.2	26.7	2.2	1.1
	本人と親	203	77.3	42.4	14.8	22.2	6.9	23.6	15.3	50.2	3.9	18.7	1.5	2.0
	３世代以上の世帯	168	77.4	41.1	13.7	28.0	6.5	20.8	19.6	45.8	5.4	24.4	1.2	1.8
	その他	76	72.4	31.6	13.2	28.9	6.6	22.4	26.3	42.1	1.3	27.6	1.3	1.3
	無回答	50	62.0	36.0	20.0	18.0	8.0	20.0	10.0	40.0	4.0	26.0	0.0	18.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	73.8	36.6	16.5	32.3	9.8	15.2	20.1	35.4	6.7	24.4	0.6	1.8
	100～200万円未満	292	78.8	39.7	12.3	23.3	7.2	16.8	14.0	45.5	3.8	29.8	1.7	3.1
	200～300万円未満	392	79.8	41.6	16.8	25.0	5.6	19.6	13.5	43.6	3.6	29.3	0.8	2.0
	300～400万円未満	250	77.6	35.2	12.4	30.8	6.0	22.8	18.0	44.8	2.8	30.4	1.6	1.6
	400～600万円未満	334	84.4	39.2	14.4	28.7	7.2	19.8	14.1	45.8	3.0	26.6	2.1	0.6
	600～800万円未満	165	84.2	43.0	13.3	28.5	6.7	20.6	15.2	43.0	1.8	27.3	1.8	0.6
	800～1000万円未満	85	85.9	34.1	12.9	21.2	8.2	22.4	10.6	56.5	3.5	27.1	0.0	1.2
	1000万円以上	89	83.1	41.6	13.5	16.9	1.1	14.6	16.9	52.8	0.0	31.5	3.4	0.0
	無回答	137	68.6	36.5	18.2	20.4	8.0	19.0	11.7	39.4	6.6	19.7	2.2	12.4
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	79.3	31.4	14.9	28.2	6.9	19.1	18.6	51.1	3.2	28.7	1.6	1.6
	小学生の子どもがいる	224	81.3	38.8	11.2	18.3	5.4	14.7	20.5	50.0	3.6	33.0	3.6	2.2
	中学生の子どもがいる	155	77.4	38.1	13.5	31.6	4.5	19.4	14.2	49.7	3.9	29.0	1.9	1.3
	高校生の子どもがいる	163	84.0	33.7	8.6	28.2	4.9	20.2	14.7	46.6	3.7	38.7	1.2	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	82.7	36.5	13.5	25.0	7.7	20.5	17.9	42.3	3.8	32.1	2.6	0.0
	その他	1,139	79.4	41.4	14.7	27.2	6.7	19.1	13.8	43.5	3.8	27.5	1.5	1.8
	無回答	217	74.2	37.3	17.1	24.4	8.8	19.4	12.9	38.2	4.1	22.1	0.5	7.8
広域生活圏別	高知市	806	81.6	39.1	15.0	25.9	7.7	19.0	14.6	45.9	4.3	23.7	1.7	1.9
	安芸広域圏	157	78.3	36.3	17.2	24.2	1.9	25.5	12.1	42.7	3.2	32.5	1.3	3.2
	南国・香美広域圏	255	79.2	37.6	15.7	29.0	6.3	21.2	11.0	40.8	1.2	29.0	1.6	3.5
	嶺北広域圏	41	80.5	39.0	12.2	41.5	0.0	9.8	17.1	41.5	2.4	48.8	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	79.4	41.1	13.9	23.9	7.2	18.3	17.8	45.6	2.8	32.2	1.7	1.1
	高吾北広域圏	65	75.4	38.5	4.6	26.2	6.2	10.8	27.7	56.9	3.1	21.5	3.1	1.5
	高幡広域圏	160	75.0	43.1	16.3	26.9	8.8	18.8	16.3	39.4	3.8	25.6	0.6	2.5
	幡多広域圏	235	79.6	38.7	12.3	24.7	6.4	18.3	15.3	44.7	4.7	33.6	1.3	2.6
	無回答	9	55.6	22.2	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0	33.3

問15　あなたは、現在の高知県の治安について、どのように感じていますか。（１つだけ○印）

（単位：人、％）

		サンプル	不安を感じている	やや不安を感じている	どちらともいえない	あまり不安を感じていない	不安を感じていない	無回答
総合	実　数	1,908	288	760	436	330	44	50
	%	100	15.1	39.8	22.9	17.3	2.3	2.6
性別	男　性	806	15.3	35.9	22.5	21.6	2.7	2.1
	女　性	1,057	14.9	43.7	23.1	14.2	1.8	2.3
	無回答	45	15.6	20.0	24.4	13.3	6.7	20.0
年代別	２０歳代	168	11.9	31.5	28.6	19.0	6.5	2.4
	３０歳代	267	16.1	39.7	24.0	18.4	0.7	1.1
	４０歳代	272	14.0	44.5	19.9	19.1	0.7	1.8
	５０歳代	435	12.9	40.9	22.8	18.9	2.5	2.1
	６０歳代	368	18.8	41.3	23.9	12.5	1.1	2.4
	７０歳以上	352	15.6	39.8	20.5	17.9	3.1	3.1
	無回答	46	15.2	21.7	23.9	13.0	6.5	19.6
職業別	農林業	114	23.7	37.7	23.7	9.6	0.9	4.4
	漁業	10	10.0	30.0	50.0	0.0	0.0	10.0
	商工サービス業自営	140	12.9	41.4	25.7	17.1	0.0	2.9
	事務職	174	12.6	43.7	17.8	22.4	2.3	1.1
	技術職	187	16.6	43.3	21.4	15.0	2.1	1.6
	労務職	250	16.0	38.4	24.4	18.4	2.0	0.8
	管理職	58	17.2	37.9	22.4	22.4	0.0	0.0
	自由業	32	15.6	34.4	18.8	28.1	3.1	0.0
	主婦	306	11.8	48.4	22.9	13.1	2.3	1.6
	学生	26	7.7	26.9	23.1	26.9	15.4	0.0
	無職	379	16.9	38.8	20.3	18.2	2.4	3.4
	その他	159	10.1	32.1	30.2	21.4	2.5	3.8
	無回答	73	21.9	23.3	21.9	13.7	6.8	12.3
世帯構成別	本人のみ	223	15.7	32.3	26.5	18.4	3.6	3.6
	本人と配偶者	463	15.1	44.7	18.4	17.1	2.4	2.4
	本人と子ども	106	11.3	45.3	29.2	12.3	1.9	0.0
	本人と配偶者と子ども	529	15.7	38.8	24.2	18.5	1.7	1.1
	本人と配偶者と親	90	16.7	41.1	26.7	12.2	1.1	2.2
	本人と親	203	14.3	28.6	29.6	22.7	2.5	2.5
	３世代以上の世帯	168	14.3	50.0	15.5	15.5	2.4	2.4
	その他	76	17.1	47.4	19.7	10.5	1.3	3.9
	無回答	50	14.0	26.0	16.0	16.0	6.0	22.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	20.1	29.3	28.7	12.8	6.1	3.0
	100～200万円未満	292	14.7	41.1	22.9	15.4	1.7	4.1
	200～300万円未満	392	13.5	41.3	23.7	19.1	1.0	1.3
	300～400万円未満	250	16.0	42.8	19.2	17.6	2.8	1.6
	400～600万円未満	334	13.5	42.8	23.7	18.0	1.5	0.6
	600～800万円未満	165	11.5	43.6	25.5	16.4	2.4	0.6
	800～1000万円未満	85	11.8	50.6	17.6	17.6	0.0	2.4
	1000万円以上	89	16.9	33.7	15.7	28.1	3.4	2.2
	無回答	137	21.9	25.5	22.6	13.1	4.4	12.4
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	20.7	40.4	23.4	13.3	1.6	0.5
	小学生の子どもがいる	224	12.1	48.7	21.9	13.8	1.3	2.2
	中学生の子どもがいる	155	14.8	46.5	21.9	12.9	2.6	1.3
	高校生の子どもがいる	163	9.8	49.7	23.3	12.9	2.5	1.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	14.1	46.8	17.9	18.6	1.3	1.3
	その他	1,139	14.6	39.2	23.2	18.3	2.5	2.1
	無回答	217	20.3	26.3	23.5	18.0	3.2	8.8
広域生活圏別	高知市	806	14.6	44.4	19.9	17.1	2.2	1.7
	安芸広域圏	157	17.8	36.3	23.6	17.8	3.2	1.3
	南国・香美広域圏	255	13.7	39.6	25.9	14.9	0.8	5.1
	嶺北広域圏	41	12.2	43.9	24.4	19.5	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	13.3	33.3	28.9	20.6	2.8	1.1
	高吾北広域圏	65	18.5	36.9	20.0	13.8	4.6	6.2
	高幡広域圏	160	15.0	33.1	26.9	20.0	3.1	1.9
	幡多広域圏	235	17.9	37.4	21.7	16.6	2.6	3.8
	無回答	9	0.0	11.1	44.4	11.1	0.0	33.3

副問　あなたは、どのようなことに対して不安を感じていますか。（３つまで○印）
（問15で「１　不安を感じている」「２　やや不安を感じている」と答えた方のみお答えください。

（単位：人、%）

		サンプル	空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件	殺人、強盗などの凶悪事件	少年犯罪	子どもが声をかけられたり、追いかけられたりする事案	ストーカーや家庭内暴力（DV）	高齢者などをねらった悪質商法や振り込め詐欺	暴走族、飲酒運転などの悪質な交通違反や重大な交通事故	その他（詳細は216頁参照）	無回答
総合	実　数	1,048	735	362	484	298	73	468	318	23	9
	%	100	70.1	34.5	46.2	28.4	7.0	44.7	30.3	2.2	0.9
性別	男　性	412	66.3	32.8	46.6	24.0	6.1	44.9	33.3	2.9	1.7
	女　性	620	72.1	35.6	45.0	31.5	7.7	45.2	28.7	1.8	0.2
	無回答	16	93.8	37.5	81.3	25.0	0.0	18.8	18.8	0.0	6.3
年代別	２０歳代	73	54.8	42.5	38.4	46.6	11.0	35.6	31.5	2.7	0.0
	３０歳代	149	67.8	25.5	37.6	47.0	10.1	25.5	36.2	4.0	0.7
	４０歳代	159	65.4	26.4	47.2	42.1	8.2	39.6	34.6	2.5	0.6
	５０歳代	234	70.9	38.0	48.3	20.1	6.8	49.1	30.3	1.7	0.9
	６０歳代	221	76.0	36.7	49.8	16.7	6.3	53.4	29.0	1.8	0.9
	７０歳以上	195	72.8	38.5	45.6	20.5	3.6	53.3	24.1	1.5	0.5
	無回答	17	82.4	35.3	76.5	17.6	0.0	23.5	23.5	0.0	11.8
職業別	農林業	70	70.0	40.0	44.3	22.9	5.7	47.1	22.9	0.0	2.9
	漁業	4	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	76	77.6	31.6	51.3	17.1	7.9	40.8	30.3	3.9	0.0
	事務職	98	67.3	25.5	48.0	42.9	6.1	40.8	30.6	1.0	0.0
	技術職	112	64.3	35.7	39.3	44.6	8.9	36.6	29.5	1.8	0.9
	労務職	136	67.6	37.5	45.6	27.9	10.3	39.7	33.1	3.7	1.5
	管理職	32	50.0	37.5	46.9	18.8	12.5	40.6	46.9	3.1	3.1
	自由業	16	43.8	31.3	56.3	50.0	6.3	25.0	50.0	12.5	0.0
	主婦	184	74.5	27.7	46.7	29.9	8.2	52.7	29.9	1.1	0.0
	学生	9	55.6	33.3	44.4	33.3	0.0	11.1	44.4	11.1	0.0
	無職	211	73.0	36.0	45.0	18.5	2.8	59.7	28.4	1.9	0.9
	その他	67	71.6	44.8	43.3	31.3	7.5	29.9	31.3	1.5	0.0
	無回答	33	84.8	48.5	66.7	21.2	3.0	18.2	15.2	3.0	3.0
世帯構成別	本人のみ	107	75.7	48.6	44.9	17.8	2.8	44.9	24.3	0.9	0.9
	本人と配偶者	277	70.4	34.7	47.3	19.5	6.9	53.4	28.2	1.4	1.4
	本人と子ども	60	75.0	28.3	48.3	33.3	13.3	33.3	28.3	1.7	0.0
	本人と配偶者と子ども	288	71.5	26.0	41.7	42.4	5.9	38.2	34.0	2.8	1.0
	本人と配偶者と親	52	75.0	36.5	53.8	21.2	3.8	48.1	42.3	1.9	0.0
	本人と親	87	74.7	39.1	47.1	14.9	10.3	43.7	34.5	3.4	0.0
	３世代以上の世帯	108	52.8	42.6	48.1	36.1	7.4	45.4	27.8	3.7	0.0
	その他	49	61.2	32.7	42.9	28.6	14.3	51.0	26.5	2.0	0.0
	無回答	20	85.0	35.0	70.0	30.0	0.0	25.0	20.0	0.0	5.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	81	70.4	39.5	42.0	12.3	7.4	51.9	35.8	0.0	1.2
	100～200万円未満	163	74.8	33.7	47.2	22.1	6.1	47.9	23.9	2.5	0.0
	200～300万円未満	215	72.1	37.2	47.9	24.7	8.8	46.0	34.0	1.9	1.4
	300～400万円未満	147	72.1	31.3	49.0	31.3	10.2	45.6	29.3	2.7	0.7
	400～600万円未満	188	64.4	39.4	43.1	31.9	4.8	45.7	31.4	1.6	0.0
	600～800万円未満	91	64.8	31.9	37.4	42.9	4.4	36.3	39.6	6.6	1.1
	800～1000万円未満	53	67.9	24.5	47.2	35.8	7.5	43.4	28.3	1.9	0.0
	1000万円以上	45	64.4	22.2	42.2	40.0	8.9	48.9	31.1	2.2	2.2
	無回答	65	76.9	35.4	60.0	26.2	3.1	27.7	15.4	0.0	3.1
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	115	60.0	35.7	41.7	47.8	4.3	33.9	35.7	4.3	0.9
	小学生の子どもがいる	136	64.7	27.2	39.0	58.8	5.1	29.4	34.6	0.7	0.7
	中学生の子どもがいる	95	64.2	32.6	40.0	45.3	11.6	41.1	26.3	1.1	0.0
	高校生の子どもがいる	97	64.9	23.7	41.2	46.4	6.2	43.3	30.9	3.1	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	95	62.1	33.7	46.3	31.6	9.5	47.4	37.9	3.2	1.1
	その他	613	74.1	35.6	46.2	20.1	7.5	51.2	29.7	2.4	1.0
	無回答	101	72.3	37.6	59.4	21.8	4.0	30.7	18.8	1.0	1.0
広域生活圏別	高知市	476	75.6	34.9	45.6	25.8	7.6	39.9	33.4	2.5	1.3
	安芸広域圏	85	68.2	34.1	55.3	27.1	8.2	45.9	23.5	1.2	1.2
	南国・香美広域圏	136	69.9	35.3	40.4	33.1	5.9	39.0	37.5	1.5	0.7
	嶺北広域圏	23	73.9	21.7	39.1	21.7	4.3	65.2	13.0	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	84	61.9	33.3	47.6	32.1	4.8	51.2	28.6	3.6	0.0
	高吾北広域圏	36	61.1	38.9	50.0	30.6	8.3	58.3	22.2	0.0	0.0
	高幡広域圏	77	64.9	32.5	48.1	28.6	6.5	45.5	27.3	3.9	0.0
	幡多広域圏	130	61.5	36.2	46.9	32.3	6.9	54.6	24.6	0.8	0.8
	無回答	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0

問16　あなたに医療や介護が必要となったときに地域や住まいで安心安全に生活するために、重要と考えるものは何ですか。（3つまで○印）

（単位：人、%）

		サンプル	入院から退院、在宅での療養まで、医療や介護関係者が連携して対応してくれること	予防、治療など総合的に看てくれる医師がいること	認知症を専門に治療する医療機関があること	24時間365日、在宅での療養や生活を支えること、医療や介護の体制があること	本人の楽しみや家族の介護の負担が軽くなるような地域で集える場所があること	定期的な安否の確認や、買い物や病院への送迎など、地域の支え合いがあること	介護や医療が必要となる前の予防	介護や食事が付いた高齢者向けの住まい	その他（詳細は216頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	1,286	657	280	800	732	511	377	510	28	36
	%	100	67.4	34.4	14.7	41.9	38.4	26.8	19.8	26.7	1.5	1.9
性別	男　性	806	67.2	38.2	13.3	43.2	38.7	23.9	21.3	23.7	1.6	1.1
	女　性	1,057	68.4	31.5	15.8	41.7	38.2	29.1	18.3	29.4	1.4	1.8
	無回答	45	46.7	35.6	13.3	24.4	35.6	22.2	26.7	17.8	0.0	17.8
年代別	２０歳代	168	65.5	33.3	10.1	40.5	47.0	28.0	20.2	20.2	3.6	2.4
	３０歳代	267	62.2	31.8	17.2	49.8	42.7	28.1	19.9	19.5	1.5	0.7
	４０歳代	272	64.7	32.0	13.6	45.6	36.8	30.5	20.2	21.7	2.2	1.5
	５０歳代	435	71.5	32.0	13.8	46.2	37.2	27.8	17.0	30.3	1.1	0.9
	６０歳代	368	71.7	31.8	16.8	40.8	35.6	23.1	18.5	34.2	1.6	1.1
	７０歳以上	352	67.0	43.8	15.3	31.8	36.6	25.6	23.0	27.3	0.3	2.8
	無回答	46	50.0	41.3	8.7	26.1	37.0	21.7	26.1	23.9	0.0	17.4
職業別	農林業	114	64.9	43.0	18.4	31.6	41.2	32.5	19.3	21.1	0.9	2.6
	漁業	10	80.0	10.0	20.0	40.0	40.0	0.0	30.0	30.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	65.0	29.3	13.6	38.6	43.6	29.3	23.6	25.0	2.1	0.7
	事務職	174	70.7	27.0	14.9	56.9	33.3	28.2	19.0	21.8	2.3	0.6
	技術職	187	66.8	32.6	13.9	48.7	39.0	28.3	19.8	27.8	2.1	0.5
	労務職	250	66.8	30.8	14.4	44.4	44.8	28.4	16.8	25.2	1.6	2.0
	管理職	58	72.4	48.3	15.5	50.0	29.3	29.3	10.3	19.0	0.0	0.0
	自由業	32	78.1	46.9	3.1	43.8	25.0	18.8	37.5	15.6	3.1	0.0
	主婦	306	67.3	32.7	16.0	41.5	38.9	28.4	19.9	29.1	1.3	1.6
	学生	26	73.1	46.2	11.5	30.8	50.0	30.8	26.9	15.4	0.0	0.0
	無職	379	69.4	40.4	14.5	36.1	35.4	21.4	19.3	33.0	0.8	2.4
	その他	159	64.2	29.6	13.2	44.7	39.0	26.4	19.5	27.7	1.9	1.3
	無回答	73	56.2	35.6	16.4	26.0	32.9	26.0	23.3	23.3	1.4	12.3
世帯構成別	本人のみ	223	67.7	33.2	13.0	36.3	30.9	29.1	16.1	37.2	0.4	3.1
	本人と配偶者	463	67.8	38.0	13.6	38.7	38.7	25.3	21.6	28.1	1.9	1.1
	本人と子ども	106	66.0	28.3	17.9	45.3	43.4	26.4	17.9	22.6	1.9	1.9
	本人と配偶者と子ども	529	67.3	33.1	14.0	46.5	40.8	27.8	20.2	21.7	1.9	1.1
	本人と配偶者と親	90	75.6	27.8	15.6	43.3	31.1	28.9	16.7	38.9	0.0	2.2
	本人と親	203	66.0	33.5	15.8	46.3	36.5	30.5	17.2	21.7	2.5	2.0
	３世代以上の世帯	168	67.9	39.9	17.9	39.3	44.0	19.0	22.6	25.6	0.6	1.2
	その他	76	72.4	30.3	18.4	46.1	35.5	27.6	17.1	30.3	0.0	1.3
	無回答	50	48.0	38.0	10.0	24.0	38.0	26.0	28.0	26.0	0.0	14.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	62.2	36.6	10.4	34.8	36.6	31.7	23.2	28.7	2.4	1.8
	100～200万円未満	292	69.5	29.8	15.8	37.3	40.1	32.2	18.5	29.1	0.7	2.4
	200～300万円未満	392	66.6	36.7	13.0	43.9	38.8	24.5	17.6	29.8	0.8	2.0
	300～400万円未満	250	69.2	31.2	16.0	47.2	38.0	22.4	18.8	27.6	2.0	1.2
	400～600万円未満	334	66.2	32.3	16.2	46.1	38.6	28.1	23.4	26.3	3.0	0.0
	600～800万円未満	165	70.3	32.7	17.0	45.5	38.2	29.1	18.2	24.8	0.6	0.0
	800～1000万円未満	85	75.3	43.5	11.8	45.9	27.1	23.5	22.4	21.2	0.0	2.4
	1000万円以上	89	71.9	39.3	10.1	36.0	46.1	22.5	18.0	22.5	2.2	1.1
	無回答	137	59.9	39.4	18.2	32.1	38.0	22.6	19.0	18.2	0.7	8.8
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	65.4	29.8	17.0	42.6	43.6	29.3	21.3	21.8	2.1	1.6
	小学生の子どもがいる	224	65.6	33.0	14.3	46.0	41.5	25.0	20.5	22.3	1.8	2.7
	中学生の子どもがいる	155	65.8	30.3	14.8	36.8	45.2	27.7	20.6	24.5	2.6	1.9
	高校生の子どもがいる	163	69.3	40.5	11.0	41.7	43.6	26.4	20.9	22.1	1.2	0.0
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	75.0	37.2	17.3	41.7	38.5	25.6	18.6	25.6	0.6	0.6
	その他	1,139	68.5	33.9	14.0	42.5	36.2	27.2	20.3	28.4	1.2	1.8
	無回答	217	60.8	40.1	15.2	34.1	39.6	26.3	16.1	28.1	2.3	3.7
広域生活圏別	高知市	806	70.6	32.1	13.3	44.5	36.6	26.6	20.3	26.8	1.5	1.7
	安芸広域圏	157	66.9	39.5	15.9	42.7	35.0	26.8	22.3	26.8	1.3	1.9
	南国・香美広域圏	255	66.3	32.9	13.7	40.8	41.6	27.5	22.7	23.9	1.2	1.2
	嶺北広域圏	41	61.0	39.0	26.8	36.6	31.7	26.8	17.1	36.6	0.0	2.4
	仁淀川広域圏	180	61.7	38.3	20.0	45.0	33.9	24.4	16.7	28.3	2.2	1.1
	高吾北広域圏	65	60.0	35.4	15.4	40.0	38.5	29.2	15.4	26.2	1.5	4.6
	高幡広域圏	160	63.8	36.9	18.1	36.3	42.5	27.5	20.0	25.6	0.6	1.9
	幡多広域圏	235	68.9	34.0	10.6	37.4	45.1	27.7	17.0	28.5	2.1	2.1
	無回答	9	44.4	55.6	22.2	22.2	33.3	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2

問17　あなたや家族に介護が必要となったときに、自宅で生活を続けるために必要と思う地域での支え合いや見守りはどれですか。(3つまで○印)

(単位：人、%)

		サンプル	買い物や病院へ行く場合などの送迎	配食サービスなど、食事の提供	認知症の方が困っているときに対応できるサポーター（援助者）	認知症の方が徘徊していなくなったときに、探してくれる地域のネットワーク	庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援	話し相手や相談相手	定期的な安否の確認	緊急時に通報できる手段・連絡体制	その他（詳細は217頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	1,040	670	643	368	256	610	506	1051	9	63
	%	100	54.5	35.1	33.7	19.3	13.4	32.0	26.5	55.1	0.5	3.3
性別	男　性	806	53.3	33.0	31.3	18.7	10.9	34.9	27.9	55.3	0.6	2.9
	女　性	1,057	55.7	37.5	36.3	19.9	15.2	29.9	25.5	55.3	0.4	2.7
	無回答	45	46.7	17.8	15.6	15.6	15.6	28.9	24.4	44.4	0.0	24.4
年代別	２０歳代	168	47.6	32.1	37.5	23.8	13.7	50.6	18.5	49.4	1.2	2.4
	３０歳代	267	50.2	32.2	38.6	23.6	12.4	47.9	23.6	50.9	0.4	0.4
	４０歳代	272	54.8	33.8	38.6	20.2	11.4	30.1	24.6	52.9	0.7	1.5
	５０歳代	435	53.8	40.7	35.9	17.2	12.9	31.3	22.3	57.0	0.2	3.0
	６０歳代	368	54.6	37.2	32.3	18.5	13.9	21.2	29.3	62.0	0.5	3.3
	７０歳以上	352	62.8	33.0	25.9	16.8	15.9	24.1	36.6	54.5	0.3	4.8
	無回答	46	45.7	17.4	13.0	17.4	13.0	34.8	23.9	43.5	0.0	26.1
職業別	農林業	114	51.8	30.7	33.3	19.3	7.0	33.3	34.2	62.3	0.0	2.6
	漁業	10	60.0	50.0	30.0	40.0	10.0	30.0	20.0	40.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	47.1	37.1	35.0	19.3	14.3	32.9	25.7	57.1	1.4	1.4
	事務職	174	50.6	39.7	36.2	17.2	16.7	42.0	21.3	54.0	0.0	1.7
	技術職	187	56.1	33.7	38.5	21.9	9.6	39.6	23.5	54.5	0.5	1.6
	労務職	250	54.8	35.6	35.6	19.6	10.8	32.4	30.0	55.2	0.8	2.0
	管理職	58	48.3	32.8	36.2	15.5	15.5	29.3	20.7	62.1	0.0	1.7
	自由業	32	53.1	46.9	25.0	12.5	6.3	34.4	43.8	40.6	3.1	0.0
	主婦	306	55.9	37.3	34.6	22.5	13.4	26.8	24.5	56.9	0.3	2.9
	学生	26	42.3	34.6	38.5	19.2	26.9	65.4	11.5	46.2	0.0	0.0
	無職	379	60.2	35.9	26.9	18.7	15.8	24.3	31.9	53.8	0.0	4.7
	その他	159	54.7	33.3	41.5	17.6	11.9	32.7	20.1	57.2	0.0	2.5
	無回答	73	50.7	15.1	21.9	12.3	20.5	32.9	21.9	43.8	2.7	20.5
世帯構成別	本人のみ	223	58.3	34.5	26.9	14.3	19.3	29.1	30.5	53.4	0.4	3.6
	本人と配偶者	463	60.5	40.2	28.9	18.8	14.0	26.3	30.0	54.2	0.9	3.0
	本人と子ども	106	55.7	38.7	34.9	16.0	14.2	26.4	34.9	53.8	0.9	1.9
	本人と配偶者と子ども	529	54.1	31.2	39.5	19.5	10.8	36.3	22.7	57.1	0.2	1.7
	本人と配偶者と親	90	44.4	43.3	27.8	22.2	13.3	30.0	25.6	56.7	0.0	7.8
	本人と親	203	52.2	35.5	33.5	18.7	16.7	36.9	26.1	55.2	0.5	3.0
	３世代以上の世帯	168	47.0	32.7	40.5	26.8	7.1	35.1	25.6	55.4	0.6	1.8
	その他	76	50.0	36.8	39.5	27.6	13.2	35.5	13.2	56.6	0.0	1.3
	無回答	50	44.0	14.0	24.0	10.0	16.0	30.0	26.0	46.0	0.0	26.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	57.9	34.1	31.1	21.3	12.8	31.1	28.0	53.0	0.6	2.4
	100～200万円未満	292	61.0	40.1	25.7	18.8	14.4	29.8	29.5	51.0	0.0	4.5
	200～300万円未満	392	56.4	33.9	40.3	20.4	11.5	27.8	28.3	53.8	0.3	2.6
	300～400万円未満	250	50.0	33.2	35.6	18.0	12.4	37.2	30.8	55.6	0.4	2.4
	400～600万円未満	334	55.1	37.1	31.7	18.9	14.4	33.2	25.7	62.0	0.6	1.2
	600～800万円未満	165	54.5	33.9	40.0	18.2	16.4	35.8	20.6	57.0	0.6	0.6
	800～1000万円未満	85	54.1	40.0	34.1	17.6	14.1	35.3	22.4	55.3	0.0	2.4
	1000万円以上	89	46.1	37.1	37.1	16.9	9.0	37.1	14.6	53.9	2.2	4.5
	無回答	137	43.8	24.8	26.3	21.9	16.1	27.0	24.8	50.4	0.7	13.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	52.7	38.3	37.8	20.2	9.6	43.1	19.1	55.9	0.5	1.1
	小学生の子どもがいる	224	46.0	33.9	44.6	26.3	10.3	33.0	27.2	53.6	0.9	0.4
	中学生の子どもがいる	155	52.3	32.3	36.8	25.2	7.1	33.5	29.0	52.9	1.9	1.3
	高校生の子どもがいる	163	54.0	28.2	33.7	22.1	8.6	31.3	30.7	61.3	0.6	2.5
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	62.8	36.5	39.1	17.3	12.8	30.1	19.9	55.8	0.6	1.3
	その他	1,139	56.3	36.7	31.8	18.6	14.2	29.3	28.1	55.8	0.4	3.4
	無回答	217	49.8	30.0	28.6	15.7	16.1	34.1	27.6	49.3	0.5	8.3
広域生活圏別	高知市	806	51.7	35.5	32.0	20.1	14.5	32.9	25.2	57.4	0.4	3.0
	安芸広域圏	157	60.5	34.4	36.3	16.6	14.6	33.1	22.9	55.4	0.6	3.2
	南国・香美広域圏	255	57.3	31.8	35.3	15.7	12.2	28.2	28.2	56.5	0.4	4.7
	嶺北広域圏	41	43.9	19.5	39.0	22.0	12.2	34.1	39.0	58.5	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	51.7	33.3	36.1	22.2	11.7	33.3	22.8	58.9	0.6	2.8
	高吾北広域圏	65	55.4	32.3	30.8	27.7	10.8	32.3	20.0	56.9	3.1	3.1
	高幡広域圏	160	58.8	36.3	37.5	18.1	13.1	32.5	29.4	44.4	0.6	3.1
	幡多広域圏	235	57.9	42.6	32.8	17.9	11.9	30.6	32.8	49.4	0.0	3.4
	無回答	9	55.6	22.2	0.0	22.2	33.3	22.2	11.1	33.3	0.0	22.2

問18　あなたが寝たきりなどの状態で医療機関に１人で行くことが困難となった場合、どのように
したいですか。（1つだけ○印）

（単位：人、%）

		サンプル	自宅（借家含む）に医師や看護師に来てほしい	病院に入院したい	家族やヘルパー、地域の方などに介助してもらって病院に通院したい	わからない	その他（詳細は217頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	541	889	206	181	30	61
	%	100	28.4	46.6	10.8	9.5	1.6	3.2
性別	男　性	806	28.7	45.3	11.9	8.8	2.2	3.1
	女　性	1,057	28.6	48.0	10.1	9.8	1.1	2.4
	無回答	45	17.8	37.8	6.7	13.3	0.0	24.4
年代別	２０歳代	168	30.4	32.1	19.6	13.7	3.0	1.2
	３０歳代	267	36.0	39.0	10.9	10.9	2.6	0.7
	４０歳代	272	30.9	41.5	11.8	14.0	1.1	0.7
	５０歳代	435	26.9	48.0	10.6	9.0	1.6	3.9
	６０歳代	368	25.0	54.6	7.6	7.3	1.6	3.8
	７０歳以上	352	25.6	54.5	10.2	6.3	0.3	3.1
	無回答	46	23.9	34.8	4.3	6.5	2.2	28.3
職業別	農林業	114	29.8	42.1	13.2	13.2	0.9	0.9
	漁業	10	20.0	70.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	26.4	49.3	8.6	13.6	0.7	1.4
	事務職	174	37.4	37.9	13.8	7.5	1.7	1.7
	技術職	187	33.7	40.1	15.0	7.5	2.1	1.6
	労務職	250	27.6	46.8	10.8	10.8	2.0	2.0
	管理職	58	34.5	39.7	8.6	6.9	5.2	5.2
	自由業	32	40.6	37.5	12.5	6.3	3.1	0.0
	主婦	306	24.8	54.2	7.2	10.1	1.3	2.3
	学生	26	30.8	26.9	23.1	19.2	0.0	0.0
	無職	379	24.8	54.4	9.8	5.0	1.6	4.5
	その他	159	25.8	44.0	10.7	14.5	0.6	4.4
	無回答	73	26.0	31.5	12.3	11.0	1.4	17.8
世帯構成別	本人のみ	223	24.7	52.0	10.8	8.5	1.8	2.2
	本人と配偶者	463	27.2	50.5	9.7	7.8	1.1	3.7
	本人と子ども	106	27.4	50.9	8.5	12.3	0.0	0.9
	本人と配偶者と子ども	529	28.7	44.6	12.3	9.1	3.0	2.3
	本人と配偶者と親	90	24.4	51.1	7.8	10.0	0.0	6.7
	本人と親	203	28.6	43.3	12.3	12.3	1.5	2.0
	３世代以上の世帯	168	32.7	44.0	11.9	9.5	0.6	1.2
	その他	76	44.7	28.9	10.5	14.5	0.0	1.3
	無回答	50	20.0	38.0	6.0	8.0	2.0	26.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	28.7	42.7	8.5	17.1	0.6	2.4
	100～200万円未満	292	25.0	47.3	13.0	8.9	1.4	4.5
	200～300万円未満	392	26.8	51.3	9.7	8.7	1.5	2.0
	300～400万円未満	250	27.6	55.6	8.8	4.0	2.0	2.0
	400～600万円未満	334	32.0	45.5	11.1	8.1	1.8	1.5
	600～800万円未満	165	37.6	40.6	9.7	11.5	0.0	0.6
	800～1000万円未満	85	32.9	40.0	12.9	11.8	1.2	1.2
	1000万円以上	89	24.7	46.1	11.2	7.9	4.5	5.6
	無回答	137	20.4	34.3	14.6	14.6	2.2	13.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	36.2	41.0	12.8	5.9	2.7	1.6
	小学生の子どもがいる	224	32.6	42.4	12.5	10.3	1.3	0.9
	中学生の子どもがいる	155	29.7	42.6	9.7	13.5	1.9	2.6
	高校生の子どもがいる	163	31.9	38.0	10.4	15.3	1.2	3.1
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	25.6	45.5	16.0	9.6	1.3	1.9
	その他	1,139	28.2	47.8	10.2	9.1	1.6	3.1
	無回答	217	23.0	48.4	11.1	9.2	0.5	7.8
広域生活圏別	高知市	806	27.7	47.3	11.5	8.8	1.7	3.0
	安芸広域圏	157	25.5	51.0	8.9	10.8	0.6	3.2
	南国・香美広域圏	255	31.4	43.1	9.4	8.6	2.0	5.5
	嶺北広域圏	41	26.8	58.5	4.9	9.8	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	29.4	47.8	10.0	8.9	2.2	1.7
	高吾北広域圏	65	30.8	41.5	15.4	9.2	0.0	3.1
	高幡広域圏	160	25.6	53.1	10.6	8.8	0.6	1.3
	幡多広域圏	235	29.8	40.0	11.5	12.8	2.1	3.8
	無回答	9	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0	22.2

問19　介護が必要となった場合でも、地域での生活を続けるためには、県民が参加して地域づくりをしていくことが重要となります。
あなたは地域の支え合い活動に参加できますか。(１つだけ○印)

(単位：人、%)

		サンプル	参加できる	参加できない	わからない	無回答
総合	実　数	1,908	601	204	1,032	71
	%	100	31.5	10.7	54.1	3.7
性別	男　性	806	34.6	10.3	53.1	2.0
	女　性	1,057	29.4	11.2	55.3	4.1
	無回答	45	24.4	6.7	42.2	26.7
年代別	２０歳代	168	26.2	6.0	67.3	0.6
	３０歳代	267	25.5	9.0	64.0	1.5
	４０歳代	272	30.9	8.8	57.4	2.9
	５０歳代	435	34.5	9.0	53.1	3.4
	６０歳代	368	36.7	8.7	51.9	2.7
	７０歳以上	352	31.3	19.9	42.6	6.3
	無回答	46	21.7	10.9	43.5	23.9
職業別	農林業	114	39.5	7.9	49.1	3.5
	漁業	10	60.0	0.0	30.0	10.0
	商工サービス業自営	140	32.1	14.3	52.1	1.4
	事務職	174	29.3	10.3	59.2	1.1
	技術職	187	32.1	5.9	59.4	2.7
	労務職	250	26.0	8.4	62.8	2.8
	管理職	58	43.1	12.1	41.4	3.4
	自由業	32	43.8	0.0	56.3	0.0
	主婦	306	34.0	8.8	52.9	4.2
	学生	26	30.8	3.8	65.4	0.0
	無職	379	29.0	18.2	48.3	4.5
	その他	159	31.4	7.5	58.5	2.5
	無回答	73	24.7	12.3	43.8	19.2
世帯構成別	本人のみ	223	31.8	13.5	51.6	3.1
	本人と配偶者	463	33.7	14.3	47.5	4.5
	本人と子ども	106	34.0	16.0	49.1	0.9
	本人と配偶者と子ども	529	32.5	7.8	56.9	2.8
	本人と配偶者と親	90	28.9	5.6	60.0	5.6
	本人と親	203	29.6	8.9	61.1	0.5
	３世代以上の世帯	168	29.2	10.7	57.1	3.0
	その他	76	26.3	5.3	65.8	2.6
	無回答	50	22.0	10.0	40.0	28.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	27.4	11.0	58.5	3.0
	100～200万円未満	292	26.0	15.4	53.1	5.5
	200～300万円未満	392	32.1	13.3	52.6	2.0
	300～400万円未満	250	36.4	11.6	48.4	3.6
	400～600万円未満	334	35.9	8.1	54.2	1.8
	600～800万円未満	165	28.5	3.6	64.8	3.0
	800～1000万円未満	85	41.2	10.6	44.7	3.5
	1000万円以上	89	33.7	4.5	61.8	0.0
	無回答	137	22.6	10.2	53.3	13.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	29.8	10.6	57.4	2.1
	小学生の子どもがいる	224	29.9	9.4	57.6	3.1
	中学生の子どもがいる	155	31.6	8.4	54.2	5.8
	高校生の子どもがいる	163	33.1	8.0	54.6	4.3
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	34.0	7.7	55.1	3.2
	その他	1,139	32.1	11.2	53.2	3.5
	無回答	217	27.2	12.9	53.0	6.9
広域生活圏別	高知市	806	29.0	11.5	56.5	3.0
	安芸広域圏	157	26.1	12.1	56.1	5.7
	南国・香美広域圏	255	30.2	11.0	54.9	3.9
	嶺北広域圏	41	39.0	4.9	56.1	0.0
	仁淀川広域圏	180	33.9	10.6	52.2	3.3
	高吾北広域圏	65	32.3	15.4	49.2	3.1
	高幡広域圏	160	37.5	5.0	54.4	3.1
	幡多広域圏	235	37.4	10.6	46.4	5.5
	無回答	9	33.3	0.0	44.4	22.2

問20　あなたが、地域の支え合い活動に、より参加しやすくなると思える条件は何ですか。（３つまで○印）

（単位：人、％）

		サンプル	活動する場所が自宅からあまり離れていないこと	時間や期間にあまりしばられないこと	軽い作業程度の労働であること	今までの経験・技術・趣味が生かせること	実費程度の経費の支給があること	自分が活動した時間分だけ、将来支え（サービス）が受けられること	介護保険料などの減額など優遇措置が受けられること	いっしょに活動する仲間や団体があること	思いがけない事故などが起こったときに対処する方法や責任のありかが明らかになっていること	地域の支え合い活動のくわしい内容が知らされていること	その他（詳細は217頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	1,074	1,067	325	315	220	242	266	517	487	472	17	97
	%	100	56.3	55.9	17.0	16.5	11.5	12.7	13.9	27.1	25.5	24.7	0.9	5.1
性別	男　性	806	53.7	56.6	18.4	21.7	11.5	11.8	13.8	27.5	23.3	23.9	1.0	3.6
	女　性	1,057	58.9	55.8	16.1	12.8	11.8	13.7	14.3	26.8	27.3	25.8	0.9	5.2
	無回答	45	40.0	46.7	15.6	11.1	4.4	4.4	8.9	26.7	22.2	13.3	0.0	28.9
年代別	２０歳代	168	43.5	60.7	13.1	16.7	22.6	11.3	18.5	32.7	23.2	21.4	1.8	1.8
	３０歳代	267	47.9	63.3	11.2	12.0	13.9	15.7	16.5	31.1	31.1	26.6	1.9	1.5
	４０歳代	272	56.3	67.3	11.8	15.4	13.6	11.8	13.2	30.5	32.0	18.4	0.0	2.2
	５０歳代	435	52.9	59.5	12.6	22.1	10.8	14.7	11.3	30.6	26.9	26.2	0.5	4.4
	６０歳代	368	66.8	50.8	22.6	16.6	9.5	13.3	14.7	22.6	23.4	29.3	0.5	3.3
	７０歳以上	352	64.5	41.8	27.0	14.2	6.8	9.4	13.6	19.6	17.3	24.7	1.1	11.6
	無回答	46	37.0	43.5	17.4	13.0	4.3	6.5	8.7	23.9	30.4	13.0	2.2	26.1
職業別	農林業	114	70.2	57.0	28.1	11.4	4.4	9.6	13.2	23.7	20.2	26.3	0.9	4.4
	漁業	10	70.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	30.0	30.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	59.3	66.4	15.7	20.0	7.9	6.4	18.6	29.3	24.3	23.6	0.0	2.1
	事務職	174	50.0	65.5	14.4	13.2	16.7	14.9	11.5	33.9	28.2	23.0	1.1	1.7
	技術職	187	48.1	69.0	11.2	18.7	14.4	11.2	12.3	33.2	31.6	24.6	1.1	2.7
	労務職	250	53.2	55.2	12.0	24.0	13.2	16.0	16.8	28.0	25.2	24.0	0.4	4.0
	管理職	58	43.1	62.1	12.1	20.7	8.6	20.7	12.1	46.6	24.1	29.3	0.0	1.7
	自由業	32	46.9	59.4	9.4	21.9	3.1	15.6	12.5	37.5	34.4	31.3	3.1	0.0
	主婦	306	67.0	52.3	18.0	13.1	12.4	11.1	10.8	22.2	29.4	28.1	0.7	4.9
	学生	26	69.2	53.8	19.2	23.1	19.2	7.7	19.2	30.8	26.9	11.5	0.0	0.0
	無職	379	59.1	48.5	23.7	13.7	8.2	13.7	14.8	23.0	21.6	25.1	1.1	8.4
	その他	159	47.8	54.1	14.5	18.2	18.9	13.2	13.8	24.5	22.6	22.0	1.9	4.4
	無回答	73	42.5	37.0	11.0	13.7	4.1	9.6	15.1	20.5	21.9	19.2	1.4	21.9
世帯構成別	本人のみ	223	59.6	48.4	18.4	15.2	8.1	11.7	18.8	22.9	19.7	23.3	1.3	7.6
	本人と配偶者	463	60.5	50.5	19.4	16.8	10.8	14.3	14.0	22.9	24.4	26.8	0.6	6.0
	本人と子ども	106	61.3	51.9	18.9	17.0	14.2	14.2	11.3	26.4	33.0	20.8	0.9	3.8
	本人と配偶者と子ども	529	58.0	62.6	14.9	15.9	11.3	11.9	11.3	29.9	27.4	25.1	0.9	3.0
	本人と配偶者と親	90	57.8	61.1	16.7	17.8	6.7	14.4	15.6	25.6	24.4	25.6	1.1	5.6
	本人と親	203	43.8	58.6	16.3	19.2	18.2	15.3	17.2	28.6	23.6	24.1	0.5	3.0
	３世代以上の世帯	168	54.8	56.5	14.9	18.5	13.1	10.7	16.1	33.3	27.4	24.4	0.6	2.4
	その他	76	48.7	61.8	21.1	11.8	13.2	9.2	7.9	30.3	27.6	28.9	2.6	5.3
	無回答	50	38.0	46.0	12.0	12.0	4.0	6.0	10.0	28.0	26.0	12.0	0.0	26.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	57.3	48.2	23.2	12.2	11.6	14.0	18.9	22.6	20.1	23.2	1.8	4.9
	100～200万円未満	292	62.0	47.6	18.2	14.0	13.0	11.0	21.6	20.2	22.3	20.2	1.0	8.9
	200～300万円未満	392	55.4	58.9	18.1	20.2	11.5	16.1	13.8	22.2	26.8	26.5	0.3	3.1
	300～400万円未満	250	56.8	54.4	19.2	16.8	13.6	10.8	13.2	24.0	29.6	30.4	1.2	3.6
	400～600万円未満	334	54.8	60.5	13.5	16.8	12.9	11.4	11.7	30.8	30.8	27.5	0.6	3.0
	600～800万円未満	165	55.8	67.3	15.8	13.9	12.1	11.5	4.8	43.0	26.1	24.2	1.2	1.2
	800～1000万円未満	85	65.9	67.1	16.5	15.3	9.4	12.9	8.2	45.9	21.2	17.6	0.0	2.4
	1000万円以上	89	56.2	55.1	11.2	29.2	3.4	15.7	12.4	33.7	21.3	24.7	0.0	4.5
	無回答	137	43.1	46.0	14.6	10.9	7.3	10.9	14.6	22.6	19.7	19.0	2.2	17.5
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	45.2	54.3	14.4	14.9	14.4	12.2	16.0	33.0	26.1	29.8	2.1	4.3
	小学生の子どもがいる	224	58.0	61.6	12.5	12.1	13.8	13.4	17.0	28.6	26.3	25.9	0.4	4.0
	中学生の子どもがいる	155	60.0	59.4	14.2	13.5	12.9	13.5	12.9	25.8	29.0	22.6	0.6	3.9
	高校生の子どもがいる	163	57.1	62.6	11.7	17.2	11.7	13.5	16.6	28.2	31.9	23.9	1.2	2.5
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	64.1	59.6	13.5	19.2	15.4	10.9	9.6	34.6	24.4	21.2	0.0	2.6
	その他	1,139	57.4	54.3	19.1	17.6	9.7	12.2	13.5	27.0	25.2	25.4	0.9	5.3
	無回答	217	50.7	50.7	17.5	13.4	12.4	14.7	14.7	21.7	21.2	22.6	0.9	10.1
広域生活圏別	高知市	806	55.1	57.4	16.4	15.9	13.8	13.2	13.9	26.4	26.4	25.2	0.6	4.8
	安芸広域圏	157	65.0	55.4	19.7	17.8	7.0	9.6	14.0	25.5	24.8	24.2	0.6	5.7
	南国・香美広域圏	255	52.5	54.1	16.1	12.2	14.1	14.5	14.5	27.5	25.1	27.8	0.8	5.5
	嶺北広域圏	41	65.9	70.7	17.1	22.0	4.9	19.5	19.5	26.8	14.6	29.3	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	59.4	57.2	14.4	18.9	11.1	11.7	12.2	28.3	29.4	20.0	1.7	3.3
	高吾北広域圏	65	44.6	49.2	20.0	18.5	12.3	12.3	12.3	30.8	23.1	24.6	3.1	7.7
	高幡広域圏	160	54.4	59.4	18.8	15.0	6.9	11.3	10.6	34.4	19.4	25.0	1.3	5.6
	幡多広域圏	235	60.0	49.4	19.1	20.9	8.5	12.3	17.0	23.8	26.4	21.7	0.9	5.5
	無回答	9	33.3	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	44.4	55.6	0.0	22.2

問21　あなたが参加しても良いと思う地域の支え合い活動はどれですか。（３つまで○印）

（単位：人、％）

		サンプル	買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎	配食サービスなど、食事の提供	認知症の方が困っているときに対応できるサポーター（援助者）	認知症の方が徘徊していなくなったときに協力して探す地域のネットワーク	庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援	話し相手や相談相手	定期的な安否の確認	近所の緊急時の通報への対応	その他（詳細は218頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	649	282	188	498	444	705	833	693	32	137
	%	100	34.0	14.8	9.9	26.1	23.3	36.9	43.7	36.3	1.7	7.2
性別	男　性	806	35.9	9.4	9.1	30.1	36.5	30.3	39.3	40.1	1.6	5.5
	女　性	1,057	33.1	19.1	10.6	23.4	13.2	42.6	47.1	33.7	1.8	7.4
	無回答	45	22.2	8.9	6.7	17.8	22.2	24.4	40.0	31.1	0.0	33.3
年代別	２０歳代	168	29.8	14.9	8.9	32.1	25.6	46.4	40.5	23.8	1.8	3.0
	３０歳代	267	40.4	12.7	10.5	31.5	26.2	33.7	40.1	35.2	2.6	2.6
	４０歳代	272	42.6	12.5	7.0	24.6	25.0	36.8	46.3	31.6	1.5	2.9
	５０歳代	435	34.9	15.9	10.6	29.0	25.5	32.9	46.9	35.9	0.9	6.2
	６０歳代	368	31.5	16.8	12.2	25.0	23.1	39.9	47.8	44.3	1.1	4.6
	７０歳以上	352	26.4	14.5	8.8	19.3	16.2	38.6	37.8	38.9	2.8	17.0
	無回答	46	30.4	15.2	8.7	15.2	21.7	23.9	41.3	37.0	0.0	28.3
職業別	農林業	114	31.6	10.5	10.5	36.0	22.8	28.9	46.5	46.5	0.9	7.9
	漁業	10	30.0	10.0	10.0	40.0	10.0	20.0	40.0	40.0	0.0	20.0
	商工サービス業自営	140	30.0	17.9	9.3	22.9	19.3	33.6	47.9	38.6	2.9	5.7
	事務職	174	40.8	12.6	7.5	27.6	29.3	37.4	51.1	40.2	0.6	1.1
	技術職	187	36.4	10.7	12.8	35.8	22.5	33.7	43.9	38.0	2.1	2.1
	労務職	250	41.2	14.0	6.8	32.0	36.0	32.8	42.0	30.4	1.2	4.4
	管理職	58	37.9	6.9	8.6	27.6	34.5	36.2	41.4	48.3	0.0	1.7
	自由業	32	31.3	21.9	18.8	31.3	18.8	40.6	25.0	46.9	0.0	6.3
	主婦	306	32.0	22.5	8.5	18.6	13.4	46.1	52.6	34.3	0.7	7.8
	学生	26	46.2	19.2	7.7	34.6	30.8	53.8	42.3	23.1	0.0	0.0
	無職	379	28.8	15.0	11.1	22.4	22.4	36.9	38.3	38.5	2.9	11.1
	その他	159	35.8	11.3	11.3	22.6	18.9	40.9	36.5	28.3	3.1	6.9
	無回答	73	24.7	9.6	12.3	17.8	23.3	26.0	35.6	27.4	1.4	28.8
世帯構成別	本人のみ	223	32.3	13.5	11.7	21.1	22.9	44.4	39.0	34.1	1.3	7.2
	本人と配偶者	463	33.9	17.5	10.8	25.3	20.7	37.4	43.0	38.2	1.7	9.5
	本人と子ども	106	31.1	17.9	10.4	17.0	23.6	48.1	52.8	33.0	1.9	7.5
	本人と配偶者と子ども	529	37.1	13.8	9.8	27.4	27.0	35.9	45.7	36.5	1.5	4.2
	本人と配偶者と親	90	35.6	14.4	4.4	28.9	16.7	26.7	51.1	43.3	1.1	7.8
	本人と親	203	32.5	10.8	7.9	31.0	26.6	35.0	41.9	32.0	1.5	3.9
	３世代以上の世帯	168	34.5	16.1	11.3	31.5	19.0	32.7	40.5	38.7	3.0	6.5
	その他	76	27.6	14.5	9.2	31.6	22.4	36.8	40.8	38.2	2.6	7.9
	無回答	50	28.0	12.0	6.0	10.0	22.0	28.0	38.0	28.0	0.0	30.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	31.1	12.2	11.6	22.6	20.1	49.4	37.8	28.0	3.0	9.1
	100～200万円未満	292	31.5	17.8	10.6	23.3	21.9	37.0	39.4	36.0	1.4	10.6
	200～300万円未満	392	36.0	13.5	12.5	26.3	24.2	36.0	46.9	34.4	2.0	6.6
	300～400万円未満	250	35.2	14.8	10.0	28.8	22.4	35.6	45.2	42.0	0.8	5.2
	400～600万円未満	334	35.0	15.0	8.7	28.1	28.4	38.3	46.4	40.7	1.2	2.4
	600～800万円未満	165	40.6	13.3	8.5	29.7	23.6	33.3	51.5	37.0	0.6	2.4
	800～1000万円未満	85	41.2	14.1	8.2	32.9	21.2	29.4	45.9	41.2	1.2	4.7
	1000万円以上	89	34.8	13.5	9.0	27.0	21.3	38.2	41.6	29.2	2.2	5.6
	無回答	137	19.7	17.5	4.4	16.8	18.2	32.1	31.4	32.1	3.6	22.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	38.3	14.4	10.6	24.5	26.6	40.4	39.9	37.2	1.6	5.3
	小学生の子どもがいる	224	41.1	14.7	7.1	27.7	25.4	34.4	45.5	36.6	2.7	5.8
	中学生の子どもがいる	155	38.7	11.0	9.0	28.4	17.4	39.4	49.0	42.6	3.2	3.9
	高校生の子どもがいる	163	41.7	10.4	8.6	23.9	23.3	36.8	49.1	35.6	3.7	4.3
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	41.7	16.7	10.3	26.9	17.9	31.4	45.5	37.8	1.9	4.5
	その他	1,139	31.9	15.5	9.8	25.1	21.8	38.5	45.6	37.2	1.4	7.1
	無回答	217	31.8	12.9	10.6	27.2	29.0	28.1	35.9	29.5	1.4	14.3
広域生活圏別	高知市	806	31.8	11.3	8.8	26.7	22.0	36.7	48.8	36.0	1.5	7.1
	安芸広域圏	157	30.6	14.0	9.6	28.0	26.1	36.9	43.3	36.3	1.9	8.9
	南国・香美広域圏	255	36.5	14.5	9.4	27.1	25.5	38.8	36.9	40.8	1.2	6.3
	嶺北広域圏	41	39.0	22.0	7.3	19.5	22.0	31.7	36.6	46.3	0.0	2.4
	仁淀川広域圏	180	37.8	15.6	10.0	31.1	23.3	33.3	46.1	34.4	1.7	3.9
	高吾北広域圏	65	29.2	16.9	16.9	23.1	15.4	30.8	33.8	32.3	7.7	12.3
	高幡広域圏	160	39.4	19.4	11.9	18.8	29.4	36.9	38.1	29.4	1.3	8.8
	幡多広域圏	235	35.3	22.1	11.1	24.3	21.7	41.7	40.0	38.7	1.7	7.7
	無回答	9	33.3	11.1	11.1	44.4	22.2	22.2	33.3	22.2	0.0	22.2

問22　あなたが高齢になって介護が必要となった場合、住まいはどのようにしたいですか。（１つだけ○印）

（単位：人、％）

		サンプル	現在の住居に、とくに改造などはせずそのまま住み続けたい	現在の住宅を改造し住みやすくする	子どもや親戚などの家に移って世話をしてもらう	介護が付いている特別養護老人ホームなどの施設に入居する	介護が付いている有料老人ホームなどに入居する	介護は付いていないが、洗濯や食事の世話などのケアが付いた住宅に入居する	わからない	無回答
総合	実　数	1,908	349	502	42	381	141	108	306	79
	%	100	18.3	26.3	2.2	20.0	7.4	5.7	16.0	4.1
性別	男　性	806	21.3	29.4	2.0	17.2	5.8	3.8	16.5	3.8
	女　性	1,057	16.2	24.1	2.2	22.2	8.9	7.1	15.8	3.5
	無回答	45	13.3	22.2	6.7	15.6	0.0	4.4	13.3	24.4
年代別	２０歳代	168	15.5	29.2	2.4	13.7	8.9	6.0	19.6	4.8
	３０歳代	267	9.0	23.6	4.5	22.5	6.0	6.4	26.2	1.9
	４０歳代	272	14.3	28.7	1.5	18.4	5.5	6.6	21.3	3.7
	５０歳代	435	15.4	30.6	0.5	22.8	8.7	5.3	13.6	3.2
	６０歳代	368	20.7	26.1	1.1	21.7	8.2	6.5	12.0	3.8
	７０歳以上	352	31.8	20.7	3.4	17.9	7.7	3.7	10.5	4.3
	無回答	46	10.9	21.7	8.7	13.0	0.0	6.5	10.9	28.3
職業別	農林業	114	28.9	33.3	0.9	14.9	3.5	0.9	14.0	3.5
	漁業	10	10.0	40.0	0.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	商工サービス業自営	140	15.0	26.4	2.1	17.9	7.1	4.3	22.1	5.0
	事務職	174	10.9	28.7	3.4	20.7	10.3	8.0	14.9	2.9
	技術職	187	11.2	31.0	2.7	20.3	8.6	7.0	17.6	1.6
	労務職	250	18.8	28.0	0.8	21.2	1.6	6.4	18.4	4.8
	管理職	58	20.7	27.6	1.7	20.7	12.1	1.7	12.1	3.4
	自由業	32	21.9	28.1	0.0	15.6	12.5	9.4	9.4	3.1
	主婦	306	17.3	24.5	2.0	20.9	10.8	6.5	15.7	2.3
	学生	26	11.5	38.5	0.0	15.4	11.5	3.8	15.4	3.8
	無職	379	25.6	22.2	2.9	21.1	7.9	5.5	10.0	4.7
	その他	159	15.1	23.9	1.9	20.1	6.3	5.7	24.5	2.5
	無回答	73	15.1	17.8	5.5	16.4	1.4	4.1	19.2	20.5
世帯構成別	本人のみ	223	19.3	17.0	2.7	23.8	8.5	10.3	14.3	4.0
	本人と配偶者	463	22.2	25.9	2.2	17.9	9.1	5.6	12.3	4.8
	本人と子ども	106	17.9	17.0	2.8	29.2	6.6	3.8	20.8	1.9
	本人と配偶者と子ども	529	15.7	30.2	2.3	21.0	4.9	5.5	18.0	2.5
	本人と配偶者と親	90	21.1	28.9	1.1	15.6	14.4	5.6	11.1	2.2
	本人と親	203	18.7	26.6	1.0	19.7	8.4	3.9	17.7	3.9
	３世代以上の世帯	168	13.7	35.7	1.2	17.9	7.7	4.2	14.9	4.8
	その他	76	18.4	26.3	2.6	14.5	5.3	3.9	26.3	2.6
	無回答	50	14.0	12.0	8.0	16.0	0.0	6.0	18.0	26.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	18.9	20.7	1.8	17.7	6.1	6.1	25.6	3.0
	100～200万円未満	292	21.2	21.6	2.4	21.6	5.1	8.2	13.7	6.2
	200～300万円未満	392	20.9	29.6	1.5	17.1	7.1	5.6	15.1	3.1
	300～400万円未満	250	18.4	23.2	1.6	27.2	6.4	6.4	14.4	2.4
	400～600万円未満	334	17.4	30.5	2.1	21.0	7.2	4.8	14.4	2.7
	600～800万円未満	165	13.3	29.7	1.8	21.2	12.1	3.0	16.4	2.4
	800～1000万円未満	85	12.9	35.3	3.5	17.6	12.9	4.7	10.6	2.4
	1000万円以上	89	16.9	25.8	2.2	18.0	16.9	5.6	13.5	1.1
	無回答	137	16.1	19.7	5.1	13.1	1.5	4.4	24.1	16.1
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	9.6	26.1	3.7	19.1	7.4	5.3	24.5	4.3
	小学生の子どもがいる	224	18.3	24.1	1.8	18.3	6.7	4.5	21.9	4.5
	中学生の子どもがいる	155	14.8	26.5	1.3	21.9	3.9	9.0	20.0	2.6
	高校生の子どもがいる	163	19.6	32.5	2.5	19.6	4.9	6.1	12.3	2.5
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	14.7	38.5	1.3	18.6	7.1	7.1	11.5	1.3
	その他	1,139	19.9	26.2	1.6	20.0	8.6	5.8	14.3	3.6
	無回答	217	17.5	22.6	4.6	19.8	5.1	5.1	15.7	9.7
広域生活圏別	高知市	806	16.6	21.0	2.4	22.8	9.2	6.6	17.7	3.7
	安芸広域圏	157	19.1	26.1	1.9	18.5	10.2	4.5	16.6	3.2
	南国・香美広域圏	255	23.5	29.4	2.0	14.1	6.3	4.3	12.9	7.5
	嶺北広域圏	41	34.1	19.5	2.4	14.6	4.9	14.6	9.8	0.0
	仁淀川広域圏	180	18.9	31.7	1.1	20.0	6.1	5.6	14.4	2.2
	高吾北広域圏	65	15.4	36.9	1.5	9.2	3.1	7.7	23.1	3.1
	高幡広域圏	160	18.1	28.1	1.9	23.1	5.6	1.9	14.4	6.9
	幡多広域圏	235	15.3	33.6	3.4	20.0	4.7	5.5	14.5	3.0
	無回答	9	22.2	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1

問23　自宅での医療や介護サービスが十分に受けられない地域に住んでいて、あなたや家族に介護が必要となった場合、住み慣れた自宅を離れて、医療や介護サービスが受けやすい高齢者向け住宅に住み替えをしようとした場合に重視する条件は何ですか。（3つまで○印）

（単位：人、%）

		サンプル	住み慣れた地域にあること	子や孫・親族が住んでいる地域にあること	医療機関が近くにあること	介護サービスを提供してくれる事業所が近くにあること	商店街などが近くにあり、買い物など日常生活に便利な場所にあること	地域の幼稚園、小学校などの近くにあり、地域との交流があること	費用がかかりすぎないこと	その他（詳細は218頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	870	704	1015	401	657	61	1,190	8	72
	%	100	45.6	36.9	53.2	21.0	34.4	3.2	62.4	0.4	3.8
性別	男　性	806	47.5	36.2	52.6	21.2	32.6	4.2	59.6	0.2	3.6
	女　性	1,057	44.4	37.6	54.4	21.0	36.0	2.5	65.5	0.6	2.8
	無回答	45	40.0	33.3	35.6	17.8	28.9	2.2	40.0	0.0	28.9
年代別	２０歳代	168	37.5	46.4	42.3	19.0	38.1	8.3	66.1	1.2	3.6
	３０歳代	267	40.1	47.2	49.1	17.6	33.7	6.0	66.7	1.1	1.9
	４０歳代	272	37.1	35.7	54.8	17.6	37.1	2.2	68.0	1.1	2.6
	５０歳代	435	47.6	32.4	52.6	21.6	36.3	2.1	67.8	0.0	1.8
	６０歳代	368	48.4	30.2	55.2	23.9	36.1	1.9	62.8	0.0	3.3
	７０歳以上	352	55.4	38.4	61.1	23.9	27.6	2.3	48.9	0.0	6.3
	無回答	46	41.3	34.8	37.0	17.4	30.4	2.2	39.1	0.0	26.1
職業別	農林業	114	47.4	42.1	57.9	25.4	22.8	1.8	64.9	0.0	0.9
	漁業	10	30.0	30.0	40.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	30.0
	商工サービス業自営	140	47.9	31.4	48.6	20.0	37.9	4.3	65.0	0.0	4.3
	事務職	174	36.2	36.2	59.2	24.7	36.2	4.0	63.8	0.6	2.3
	技術職	187	42.2	39.6	49.2	12.3	39.6	3.7	73.8	2.1	1.1
	労務職	250	48.4	39.2	49.2	17.6	36.4	2.4	65.6	0.4	3.6
	管理職	58	46.6	41.4	44.8	24.1	29.3	5.2	63.8	0.0	1.7
	自由業	32	43.8	40.6	50.0	25.0	15.6	9.4	62.5	0.0	3.1
	主婦	306	45.1	37.3	59.2	20.9	35.0	2.9	59.2	0.3	2.3
	学生	26	26.9	53.8	50.0	15.4	46.2	19.2	53.8	0.0	0.0
	無職	379	51.7	33.0	59.9	24.0	34.8	1.3	59.4	0.0	4.7
	その他	159	42.1	38.4	44.7	25.2	31.4	3.8	63.5	0.0	3.8
	無回答	73	46.6	31.5	34.2	17.8	34.2	2.7	38.4	1.4	19.2
世帯構成別	本人のみ	223	47.1	29.1	56.1	21.5	37.7	2.7	62.8	0.4	3.1
	本人と配偶者	463	49.5	33.7	56.8	23.5	33.7	2.2	59.0	0.0	4.5
	本人と子ども	106	47.2	42.5	50.0	17.0	32.1	1.9	67.0	0.9	1.9
	本人と配偶者と子ども	529	44.0	41.8	51.4	20.0	34.8	3.4	62.9	0.6	2.8
	本人と配偶者と親	90	46.7	36.7	57.8	22.2	32.2	4.4	58.9	0.0	1.1
	本人と親	203	41.9	30.0	49.8	22.7	37.4	6.4	67.0	1.5	2.5
	３世代以上の世帯	168	41.7	45.2	54.8	16.1	33.3	2.4	69.0	0.0	3.0
	その他	76	48.7	36.8	52.6	25.0	31.6	2.6	59.2	0.0	5.3
	無回答	50	38.0	38.0	34.0	16.0	28.0	4.0	46.0	0.0	24.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	53.7	28.7	50.6	25.6	34.1	1.2	65.9	0.0	4.3
	100～200万円未満	292	43.8	32.2	55.1	19.5	36.0	3.1	63.4	0.0	3.8
	200～300万円未満	392	46.2	37.8	55.9	23.2	32.4	2.6	61.2	0.5	2.8
	300～400万円未満	250	41.2	42.8	52.4	22.0	32.8	2.0	69.6	0.4	2.8
	400～600万円未満	334	48.5	37.7	56.0	19.5	33.5	3.9	65.0	0.9	1.5
	600～800万円未満	165	40.0	34.5	55.2	20.0	43.6	4.2	62.4	0.6	3.0
	800～1000万円未満	85	54.1	44.7	51.8	11.8	32.9	3.5	65.9	0.0	2.4
	1000万円以上	89	42.7	40.4	50.6	23.6	32.6	6.7	51.7	0.0	3.4
	無回答	137	42.3	37.2	39.4	19.7	33.6	4.4	44.5	0.7	15.3
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	42.6	50.0	47.9	18.1	28.2	5.9	64.4	0.0	4.3
	小学生の子どもがいる	224	39.7	49.1	45.5	18.8	36.6	2.2	68.3	0.4	3.1
	中学生の子どもがいる	155	41.9	46.5	50.3	14.2	37.4	3.2	69.0	0.6	1.3
	高校生の子どもがいる	163	37.4	46.0	51.5	21.5	37.4	1.8	68.1	0.6	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	42.3	37.8	59.0	22.4	34.6	3.8	62.2	0.0	0.6
	その他	1,139	47.6	32.1	56.1	22.3	35.8	2.9	62.9	0.4	3.2
	無回答	217	43.8	36.4	44.7	22.6	30.4	2.8	51.2	0.5	10.6
広域生活圏別	高知市	806	42.3	35.1	51.4	21.2	38.3	3.7	62.3	0.6	3.3
	安芸広域圏	157	51.6	37.6	58.6	19.1	22.9	1.9	67.5	0.0	4.5
	南国・香美広域圏	255	38.8	40.8	53.3	17.6	37.3	2.7	63.1	0.4	4.7
	嶺北広域圏	41	46.3	46.3	53.7	22.0	26.8	4.9	63.4	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	53.3	35.6	55.6	20.6	36.1	1.7	60.6	0.6	1.7
	高吾北広域圏	65	49.2	36.9	58.5	27.7	23.1	1.5	69.2	1.5	3.1
	高幡広域圏	160	49.4	33.8	53.8	25.6	31.3	2.5	61.9	0.0	3.1
	幡多広域圏	235	50.2	39.6	52.3	20.9	31.1	4.7	58.7	0.0	6.4
	無回答	9	55.6	44.4	44.4	11.1	33.3	0.0	44.4	0.0	11.1

問24　あなたは、住宅の耐震化が大きな課題になっていることを知っていましたか。

（1つだけ○印）

(単位：人、%)

		サンプル	知っていた	ある程度知っていた	あまり知らなかった	知らなかった	無回答
総合	実　数	1,908	839	739	226	69	35
	%	100	44.0	38.7	11.8	3.6	1.8
性別	男　性	806	47.5	39.0	9.8	2.7	1.0
	女　性	1,057	41.8	39.0	13.5	4.4	1.3
	無回答	45	31.1	28.9	8.9	2.2	28.9
年代別	２０歳代	168	28.0	39.9	20.2	10.7	1.2
	３０歳代	267	37.8	41.6	13.1	6.7	0.7
	４０歳代	272	40.1	41.5	14.3	2.6	1.5
	５０歳代	435	47.4	40.9	9.7	1.4	0.7
	６０歳代	368	52.4	34.2	9.5	2.7	1.1
	７０歳以上	352	47.7	37.5	10.2	2.6	2.0
	無回答	46	32.6	26.1	10.9	2.2	28.3
職業別	農林業	114	52.6	34.2	12.3	0.9	0.0
	漁業	10	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	44.3	40.7	10.7	3.6	0.7
	事務職	174	44.3	45.4	8.6	1.1	0.6
	技術職	187	42.2	39.0	10.7	7.0	1.1
	労務職	250	39.2	42.4	13.2	2.8	2.4
	管理職	58	53.4	32.8	13.8	0.0	0.0
	自由業	32	53.1	34.4	12.5	0.0	0.0
	主婦	306	46.4	36.3	12.4	4.2	0.7
	学生	26	23.1	50.0	23.1	3.8	0.0
	無職	379	43.0	40.6	10.6	3.7	2.1
	その他	159	44.0	34.0	14.5	6.3	1.3
	無回答	73	39.7	27.4	11.0	4.1	17.8
世帯構成別	本人のみ	223	44.4	35.4	14.8	3.6	1.8
	本人と配偶者	463	47.5	40.0	8.2	2.6	1.7
	本人と子ども	106	36.8	40.6	17.9	4.7	0.0
	本人と配偶者と子ども	529	46.1	39.5	11.0	2.6	0.8
	本人と配偶者と親	90	48.9	40.0	6.7	2.2	2.2
	本人と親	203	34.5	43.8	14.3	6.4	1.0
	３世代以上の世帯	168	46.4	33.9	14.9	3.6	1.2
	その他	76	39.5	35.5	18.4	5.3	1.3
	無回答	50	30.0	28.0	8.0	10.0	24.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	35.4	40.2	19.5	3.7	1.2
	100～200万円未満	292	35.6	44.9	12.0	5.1	2.4
	200～300万円未満	392	45.7	39.3	12.0	2.3	0.8
	300～400万円未満	250	50.8	33.6	10.0	4.0	1.6
	400～600万円未満	334	48.2	37.4	10.2	3.6	0.6
	600～800万円未満	165	42.4	41.8	11.5	3.0	1.2
	800～1000万円未満	85	40.0	40.0	15.3	3.5	1.2
	1000万円以上	89	53.9	39.3	5.6	1.1	0.0
	無回答	137	42.3	29.9	11.7	5.8	10.2
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	46.3	33.5	13.8	4.8	1.6
	小学生の子どもがいる	224	41.1	41.1	14.3	1.8	1.8
	中学生の子どもがいる	155	49.7	34.2	13.5	2.6	0.0
	高校生の子どもがいる	163	45.4	36.2	16.0	1.8	0.6
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	52.6	32.7	12.2	1.9	0.6
	その他	1,139	43.6	40.6	10.4	3.4	1.8
	無回答	217	43.8	32.3	13.4	6.5	4.1
広域生活圏別	高知市	806	43.2	39.1	11.4	4.3	2.0
	安芸広域圏	157	45.9	37.6	12.7	2.5	1.3
	南国・香美広域圏	255	42.0	40.0	13.7	2.4	2.0
	嶺北広域圏	41	46.3	31.7	22.0	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	49.4	32.2	12.8	3.9	1.7
	高吾北広域圏	65	46.2	36.9	12.3	4.6	0.0
	高幡広域圏	160	48.8	38.8	6.9	3.1	2.5
	幡多広域圏	235	38.7	44.7	11.5	3.4	1.7
	無回答	9	55.6	11.1	11.1	11.1	11.1

問25　高知県ではこれまでに、県と市町村が協力して「①耐震診断」、「②耐震改修のための工事費の補助」のような助成制度を設け、木造住宅の耐震診断や耐震改修を支援してきています。あなたはこのことを知っていましたか。（１つだけ○印）

（単位：人、%）

		サンプル	制度の内容を含め知っていた	制度があることは知っていた	知らなかった	無回答
総合	実　数	1,908	294	977	597	40
	%	100	15.4	51.2	31.3	2.1
性別	男　性	806	15.9	52.0	30.8	1.4
	女　性	1,057	15.3	51.1	32.0	1.6
	無回答	45	8.9	40.0	24.4	26.7
年代別	２０歳代	168	7.7	35.7	55.4	1.2
	３０歳代	267	14.2	41.2	43.4	1.1
	４０歳代	272	13.6	46.7	37.9	1.8
	５０歳代	435	17.0	55.6	26.7	0.7
	６０歳代	368	18.2	57.3	22.8	1.6
	７０歳以上	352	17.3	59.7	20.5	2.6
	無回答	46	8.7	37.0	28.3	26.1
職業別	農林業	114	16.7	57.9	24.6	0.9
	漁業	10	20.0	60.0	20.0	0.0
	商工サービス業自営	140	15.7	53.6	30.0	0.7
	事務職	174	18.4	47.7	33.3	0.6
	技術職	187	14.4	42.2	42.2	1.1
	労務職	250	10.4	47.6	39.6	2.4
	管理職	58	25.9	50.0	20.7	3.4
	自由業	32	31.3	37.5	31.3	0.0
	主婦	306	15.7	57.2	26.5	0.7
	学生	26	7.7	38.5	53.8	0.0
	無職	379	15.3	57.0	25.1	2.6
	その他	159	16.4	46.5	35.2	1.9
	無回答	73	9.6	45.2	28.8	16.4
世帯構成別	本人のみ	223	17.9	46.2	32.7	3.1
	本人と配偶者	463	16.4	59.8	21.8	1.9
	本人と子ども	106	9.4	51.9	37.7	0.9
	本人と配偶者と子ども	529	16.8	51.2	31.4	0.6
	本人と配偶者と親	90	21.1	47.8	28.9	2.2
	本人と親	203	12.3	41.9	44.3	1.5
	３世代以上の世帯	168	14.3	50.6	33.3	1.8
	その他	76	11.8	50.0	36.8	1.3
	無回答	50	4.0	40.0	34.0	22.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	12.2	50.6	34.8	2.4
	100～200万円未満	292	15.1	52.1	30.1	2.7
	200～300万円未満	392	14.5	54.8	29.8	0.8
	300～400万円未満	250	16.4	50.8	32.0	0.8
	400～600万円未満	334	18.3	51.2	29.6	0.9
	600～800万円未満	165	15.8	52.1	30.3	1.8
	800～1000万円未満	85	21.2	44.7	31.8	2.4
	1000万円以上	89	20.2	52.8	27.0	0.0
	無回答	137	6.6	42.3	40.1	10.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	16.5	42.6	39.4	1.6
	小学生の子どもがいる	224	14.3	51.3	32.6	1.8
	中学生の子どもがいる	155	14.2	51.6	33.5	0.6
	高校生の子どもがいる	163	15.3	54.6	28.8	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	15.4	53.8	30.1	0.6
	その他	1,139	16.3	53.3	28.4	1.9
	無回答	217	12.4	45.6	36.4	5.5
広域生活圏別	高知市	806	14.3	51.4	32.0	2.4
	安芸広域圏	157	18.5	51.6	28.7	1.3
	南国・香美広域圏	255	15.7	53.3	29.0	2.0
	嶺北広域圏	41	12.2	61.0	26.8	0.0
	仁淀川広域圏	180	15.6	53.3	29.4	1.7
	高吾北広域圏	65	16.9	40.0	40.0	3.1
	高幡広域圏	160	16.9	50.6	30.0	2.5
	幡多広域圏	235	16.6	48.1	33.6	1.7
	無回答	9	0.0	55.6	33.3	11.1

問26　あなたがお住まいの住宅の構造はどれですか。（１つだけ○印）

（単位：人、％）

		サンプル	木造	鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造のいずれか	コンクリートブロック造	わからない	その他（詳細は218頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	1,381	408	17	30	12	60
	%	100	72.4	21.4	0.9	1.6	0.6	3.1
性別	男　性	806	72.5	21.5	0.5	2.2	0.9	2.5
	女　性	1,057	73.0	21.6	1.1	1.0	0.5	2.7
	無回答	45	55.6	15.6	2.2	2.2	0.0	24.4
年代別	２０歳代	168	56.0	33.3	1.2	5.4	0.6	3.6
	３０歳代	267	59.9	31.8	1.9	4.5	0.7	1.1
	４０歳代	272	72.4	24.3	0.4	1.1	0.7	1.1
	５０歳代	435	69.9	24.1	0.9	0.9	0.7	3.4
	６０歳代	368	82.3	14.1	0.3	0.3	0.5	2.4
	７０歳以上	352	84.7	10.2	0.9	0.3	0.6	3.4
	無回答	46	54.3	17.4	2.2	0.0	0.0	26.1
職業別	農林業	114	93.0	3.5	0.9	0.0	0.0	2.6
	漁業	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	60.7	34.3	0.7	0.7	0.7	2.9
	事務職	174	70.7	26.4	0.6	0.6	0.6	1.1
	技術職	187	63.6	29.9	1.6	1.6	0.5	2.7
	労務職	250	71.6	20.0	0.4	4.0	1.6	2.4
	管理職	58	70.7	29.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	自由業	32	53.1	34.4	3.1	0.0	3.1	6.3
	主婦	306	75.2	20.3	0.7	1.3	0.3	2.3
	学生	26	53.8	34.6	0.0	11.5	0.0	0.0
	無職	379	82.8	12.1	0.8	0.5	0.3	3.4
	その他	159	62.9	28.3	1.9	2.5	1.3	3.1
	無回答	73	60.3	17.8	1.4	2.7	0.0	17.8
世帯構成別	本人のみ	223	69.1	25.6	0.9	2.2	0.0	2.2
	本人と配偶者	463	76.7	17.9	0.6	0.4	0.9	3.5
	本人と子ども	106	65.1	30.2	0.9	0.9	1.9	0.9
	本人と配偶者と子ども	529	70.9	24.6	0.8	1.3	0.8	1.7
	本人と配偶者と親	90	83.3	14.4	0.0	0.0	0.0	2.2
	本人と親	203	70.9	19.7	1.0	4.4	0.5	3.4
	３世代以上の世帯	168	77.4	14.9	1.2	2.4	0.6	3.6
	その他	76	67.1	25.0	2.6	1.3	0.0	3.9
	無回答	50	56.0	18.0	2.0	2.0	0.0	22.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	75.6	17.7	1.2	2.4	0.0	3.0
	100～200万円未満	292	75.3	18.8	1.0	1.7	0.3	2.7
	200～300万円未満	392	79.1	14.5	1.0	1.8	0.5	3.1
	300～400万円未満	250	70.0	26.0	0.0	1.2	0.8	2.0
	400～600万円未満	334	69.5	25.4	0.9	1.5	1.2	1.5
	600～800万円未満	165	74.5	22.4	0.0	0.6	1.2	1.2
	800～1000万円未満	85	72.9	22.4	0.0	2.4	0.0	2.4
	1000万円以上	89	59.6	36.0	1.1	0.0	1.1	2.2
	無回答	137	59.9	21.2	2.9	2.2	0.0	13.9
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	61.7	30.3	0.5	3.7	1.1	2.7
	小学生の子どもがいる	224	69.6	25.0	0.9	2.7	0.0	1.8
	中学生の子どもがいる	155	76.1	20.6	0.6	1.3	1.3	0.0
	高校生の子どもがいる	163	74.8	22.1	0.6	0.6	1.2	0.6
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	75.0	21.2	1.3	0.6	0.0	1.9
	その他	1,139	74.0	20.1	1.1	1.3	0.6	2.8
	無回答	217	71.4	17.5	0.0	1.8	0.5	8.8
広域生活圏別	高知市	806	60.8	31.3	1.6	2.1	0.9	3.3
	安芸広域圏	157	82.2	14.0	0.0	0.6	0.0	3.2
	南国・香美広域圏	255	75.3	16.5	0.0	2.4	1.2	4.7
	嶺北広域圏	41	90.2	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	180	85.6	10.0	0.6	1.7	0.0	2.2
	高吾北広域圏	65	78.5	15.4	1.5	3.1	0.0	1.5
	高幡広域圏	160	81.9	14.4	0.6	0.0	0.0	3.1
	幡多広域圏	235	80.9	15.3	0.4	0.4	0.9	2.1
	無回答	9	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1

問27　今後、問25のような助成制度を使って耐震診断や耐震改修をしたいと思いますか。(現在は木造住宅だけが助成の対象ですが、今後、木造以外の住宅も対象となった場合を想定してお答えください。)(1つだけ○印)（今お住まいの住宅の所有者である方、または所有者のご家族である方にお聞きします。）

(単位：人、%)

		サンプル	したいと思う	したいと思わない	わからない
総合	実　数	1,475	691	454	330
	%	100.0	46.8	30.8	22.4
性別	男　性	628	50.3	29.9	19.7
	女　性	817	44.6	31.1	24.4
	無回答	30	36.7	40.0	23.3
年代別	２０歳代	106	54.7	22.6	22.6
	３０歳代	164	51.8	26.2	22.0
	４０歳代	204	47.1	36.8	16.2
	５０歳代	354	49.4	28.5	22.0
	６０歳代	321	45.2	32.7	22.1
	７０歳以上	296	40.5	32.1	27.4
	無回答	30	40.0	36.7	23.3
職業別	農林業	104	54.8	25.0	20.2
	漁業	9	22.2	66.7	11.1
	商工サービス業自営	120	47.5	32.5	20.0
	事務職	140	44.3	32.9	22.9
	技術職	134	51.5	31.3	17.2
	労務職	172	54.1	28.5	17.4
	管理職	50	54.0	34.0	12.0
	自由業	23	69.6	21.7	8.7
	主婦	232	41.4	34.1	24.6
	学生	17	82.4	11.8	5.9
	無職	324	42.3	30.9	26.9
	その他	102	40.2	28.4	31.4
	無回答	48	41.7	29.2	29.2
世帯構成別	本人のみ	133	37.6	33.8	28.6
	本人と配偶者	382	41.9	32.2	25.9
	本人と子ども	71	50.7	26.8	22.5
	本人と配偶者と子ども	391	48.6	33.5	17.9
	本人と配偶者と親	82	53.7	28.0	18.3
	本人と親	167	52.7	23.4	24.0
	３世代以上の世帯	156	55.8	29.5	14.7
	その他	63	41.3	27.0	31.7
	無回答	30	33.3	36.7	30.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	109	37.6	25.7	36.7
	100～200万円未満	214	40.2	32.2	27.6
	200～300万円未満	305	51.8	28.5	19.7
	300～400万円未満	190	50.0	30.0	20.0
	400～600万円未満	269	48.3	32.7	19.0
	600～800万円未満	139	51.8	27.3	20.9
	800～1000万円未満	73	50.7	39.7	9.6
	1000万円以上	81	48.1	38.3	13.6
	無回答	95	34.7	28.4	36.8
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	113	54.0	30.1	15.9
	小学生の子どもがいる	159	53.5	27.0	19.5
	中学生の子どもがいる	121	46.3	34.7	19.0
	高校生の子どもがいる	129	51.2	35.7	13.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	134	54.5	30.6	14.9
	その他	930	44.3	31.7	24.0
	無回答	149	45.0	27.5	27.5
広域生活圏別	高知市	562	49.6	31.0	19.4
	安芸広域圏	134	41.8	31.3	26.9
	南国・香美広域圏	206	45.1	36.9	18.0
	嶺北広域圏	34	41.2	32.4	26.5
	仁淀川広域圏	161	49.1	25.5	25.5
	高吾北広域圏	50	40.0	32.0	28.0
	高幡広域圏	135	45.2	29.6	25.2
	幡多広域圏	187	45.5	27.8	26.7
	無回答	6	66.7	33.3	0.0

副問　その理由は何ですか。
（問27で「２　したいと思わない」と答えた方のみお答えください。）

		サンプル	もともと耐震性は十分だから	すでに耐震改修済みだから	助成制度を使っても、耐震改修は自己負担額が多そうだから	助成制度を使うには、申請などの手続きがめんどうそうだから	耐震改修をするよりも住み替えや建て替えをしたいから	耐震診断や耐震改修を誰に頼んでいいのかわからないから	耐震改修工事のための家具の移動や仮住まいなどで、今の生活リズムを崩したくないから
総合	実　数	454	140	27	238	52	62	33	54
	%	100	30.8	5.9	52.4	11.5	13.7	7.3	11.9
性別	男　性	188	34.0	4.8	47.9	10.1	12.2	6.4	11.2
	女　性	254	28.7	7.1	55.9	12.6	15.0	8.3	12.6
	無回答	12	25.0	0.0	50.0	8.3	8.3	0.0	8.3
年代別	２０歳代	24	45.8	12.5	41.7	12.5	8.3	4.2	8.3
	３０歳代	43	39.5	7.0	37.2	9.3	16.3	9.3	11.6
	４０歳代	75	37.3	4.0	45.3	12.0	17.3	10.7	9.3
	５０歳代	101	36.6	5.0	53.5	9.9	17.8	3.0	7.9
	６０歳代	105	22.9	2.9	63.8	15.2	11.4	8.6	18.1
	７０歳以上	95	18.9	9.5	55.8	9.5	7.4	8.4	12.6
	無回答	11	45.5	9.1	36.4	9.1	27.3	0.0	9.1
職業別	農林業	26	30.8	3.8	50.0	15.4	7.7	11.5	7.7
	漁業	6	33.3	16.7	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0
	商工サービス業自営	39	35.9	5.1	51.3	12.8	17.9	5.1	12.8
	事務職	46	37.0	4.3	43.5	13.0	17.4	8.7	10.9
	技術職	42	38.1	7.1	47.6	4.8	11.9	4.8	11.9
	労務職	49	34.7	4.1	57.1	8.2	14.3	6.1	10.2
	管理職	17	58.8	11.8	17.6	0.0	17.6	0.0	5.9
	自由業	5	60.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	主婦	79	26.6	7.6	59.5	13.9	11.4	7.6	15.2
	学生	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	100	17.0	7.0	59.0	15.0	12.0	10.0	13.0
	その他	29	31.0	3.4	55.2	13.8	17.2	3.4	13.8
	無回答	14	28.6	0.0	50.0	7.1	7.1	7.1	14.3
世帯構成別	本人のみ	45	20.0	4.4	68.9	15.6	17.8	11.1	13.3
	本人と配偶者	123	26.0	5.7	53.7	9.8	10.6	6.5	13.0
	本人と子ども	19	5.3	0.0	78.9	15.8	15.8	0.0	15.8
	本人と配偶者と子ども	131	42.7	5.3	45.0	7.6	14.5	6.9	7.6
	本人と配偶者と親	23	39.1	4.3	47.8	21.7	17.4	0.0	13.0
	本人と親	39	20.5	7.7	53.8	7.7	10.3	10.3	15.4
	３世代以上の世帯	46	34.8	10.9	47.8	13.0	15.2	8.7	15.2
	その他	17	35.3	11.8	47.1	29.4	17.6	17.6	11.8
	無回答	11	27.3	0.0	45.5	9.1	9.1	0.0	9.1
世帯の年間収入別	0～100万円未満	28	7.1	0.0	64.3	25.0	3.6	14.3	14.3
	100～200万円未満	69	13.0	4.3	66.7	14.5	11.6	10.1	11.6
	200～300万円未満	87	21.8	5.7	65.5	9.2	13.8	8.0	11.5
	300～400万円未満	57	21.1	7.0	54.4	14.0	19.3	5.3	19.3
	400～600万円未満	88	50.0	6.8	43.2	12.5	10.2	6.8	8.0
	600～800万円未満	38	44.7	5.3	44.7	5.3	23.7	5.3	10.5
	800～1000万円未満	29	48.3	3.4	37.9	10.3	17.2	6.9	13.8
	1000万円以上	31	54.8	12.9	25.8	3.2	12.9	3.2	6.5
	無回答	27	22.2	7.4	44.4	7.4	11.1	3.7	14.8
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	34	44.1	2.9	44.1	8.8	17.6	2.9	0.0
	小学生の子どもがいる	43	37.2	0.0	46.5	9.3	14.0	9.3	4.7
	中学生の子どもがいる	42	47.6	2.4	42.9	14.3	7.1	4.8	11.9
	高校生の子どもがいる	46	41.3	2.2	47.8	19.6	15.2	4.3	10.9
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	41	48.8	4.9	43.9	14.6	9.8	9.8	7.3
	その他	295	27.5	7.1	56.6	11.2	13.6	7.5	14.9
	無回答	41	14.6	7.3	46.3	9.8	17.1	4.9	4.9
広域生活圏別	高知市	174	34.5	6.9	52.9	10.3	14.4	7.5	16.1
	安芸広域圏	42	21.4	9.5	52.4	4.8	16.7	9.5	0.0
	南国・香美広域圏	76	30.3	3.9	55.3	13.2	11.8	7.9	13.2
	嶺北広域圏	11	18.2	9.1	54.5	0.0	9.1	9.1	0.0
	仁淀川広域圏	41	24.4	4.9	58.5	4.9	19.5	4.9	9.8
	高吾北広域圏	16	43.8	6.3	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3
	高幡広域圏	40	35.0	7.5	50.0	25.0	10.0	5.0	10.0
	幡多広域圏	52	28.8	1.9	51.9	17.3	13.5	7.7	13.5
	無回答	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：人、%）

耐震改修をしても大地震には耐えられないと思うから	耐震改修にお金をかけてもすぐには改修の効果が実感できないから	当分は南海地震などの大地震はこないと思うから	住宅の耐震性には関心がないから	耐震改修は義務ではないから	その他（詳細は218頁参照）	無回答
152	34	14	7	16	30	3
33.5	7.5	3.1	1.5	3.5	6.6	0.7
27.7	9.6	5.3	2.1	2.7	8.5	0.0
37.8	5.5	1.6	1.2	3.9	5.1	0.8
33.3	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3
12.5	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5	0.0
16.3	2.3	7.0	4.7	4.7	11.6	0.0
25.3	6.7	0.0	2.7	4.0	6.7	0.0
33.7	5.0	4.0	0.0	3.0	2.0	0.0
47.6	8.6	2.9	1.0	2.9	6.7	0.0
37.9	12.6	4.2	1.1	4.2	7.4	3.2
27.3	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0
42.3	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
30.8	2.6	5.1	2.6	2.6	10.3	0.0
23.9	4.3	2.2	4.3	0.0	6.5	0.0
31.0	0.0	2.4	2.4	4.8	7.1	0.0
40.8	8.2	4.1	0.0	6.1	8.2	0.0
11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
43.0	6.3	1.3	0.0	5.1	6.3	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
34.0	12.0	4.0	2.0	4.0	7.0	2.0
31.0	6.9	6.9	0.0	3.4	3.4	0.0
28.6	14.3	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0
40.0	8.9	2.2	0.0	4.4	4.4	2.2
37.4	7.3	3.3	1.6	3.3	6.5	0.8
57.9	15.8	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0
27.5	8.4	1.5	0.8	3.8	9.2	0.8
30.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30.8	7.7	10.3	2.6	5.1	10.3	0.0
28.3	2.2	2.2	0.0	2.2	6.5	0.0
23.5	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
45.5	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0
35.7	7.1	0.0	3.6	17.9	14.3	3.6
39.1	11.6	4.3	1.4	1.4	1.4	1.4
48.3	12.6	4.6	2.3	4.6	6.9	0.0
31.6	8.8	1.8	1.8	1.8	12.3	0.0
22.7	1.1	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0
34.2	10.5	0.0	2.6	2.6	7.9	0.0
24.1	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0
12.9	3.2	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0
40.7	7.4	3.7	3.7	11.1	11.1	3.7
26.5	2.9	0.0	0.0	2.9	11.8	0.0
30.2	14.0	0.0	0.0	4.7	11.6	0.0
35.7	7.1	0.0	2.4	2.4	2.4	0.0
30.4	2.2	0.0	2.2	0.0	8.7	0.0
24.4	2.4	2.4	0.0	0.0	4.9	0.0
35.3	6.8	4.4	1.4	4.1	7.5	0.3
41.5	14.6	2.4	4.9	7.3	0.0	4.9
32.8	5.2	2.3	1.1	0.6	5.2	0.6
40.5	11.9	4.8	2.4	4.8	9.5	0.0
44.7	6.6	1.3	0.0	5.3	5.3	0.0
36.4	18.2	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0
39.0	9.8	4.9	4.9	2.4	9.8	0.0
31.3	18.8	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0
17.5	12.5	5.0	5.0	7.5	10.0	0.0
23.1	1.9	5.8	0.0	3.8	7.7	1.9
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

問28　どうすれば、住宅の耐震化が進むと思いますか。（３つまで○印）

（単位：人、%）

		サンプル	耐震化の必要性のＰＲ（普及啓発）	耐震改修を支援する制度（補助、低利の融資、税金の減免など）の充実	安価で簡単な耐震改修の方法の開発、普及	耐震改修を行う技術者の養成や相談窓口の紹介	耐震改修を行った住宅が地震で被害を受けた場合に再建費用を支給する制度をつくること	建て替えを支援する制度をつくること	その他（詳細は218頁参照）	無回答
総合	実　数	1,908	511	1,339	1,039	394	697	569	22	109
	%	100	26.8	70.2	54.5	20.6	36.5	29.8	1.2	5.7
性別	男　性	806	30.0	70.0	58.3	19.7	34.1	29.7	1.4	3.7
	女　性	1,057	24.8	71.8	52.5	21.3	38.9	30.3	1.0	5.8
	無回答	45	15.6	35.6	31.1	22.2	24.4	22.2	0.0	40.0
年代別	２０歳代	168	28.0	67.9	60.7	18.5	36.3	31.0	2.4	3.0
	３０歳代	267	31.5	76.4	53.9	18.0	34.5	33.7	0.7	2.2
	４０歳代	272	26.1	73.5	54.0	22.1	40.8	32.0	1.1	2.2
	５０歳代	435	29.9	70.6	55.2	20.9	33.1	28.7	1.6	3.4
	６０歳代	368	20.9	74.5	54.9	21.5	41.8	28.0	0.8	5.2
	７０歳以上	352	26.1	62.5	54.3	20.2	34.9	28.4	0.9	11.9
	無回答	46	21.7	43.5	28.3	30.4	26.1	26.1	0.0	34.8
職業別	農林業	114	24.6	69.3	60.5	23.7	36.0	31.6	0.9	5.3
	漁業	10	10.0	70.0	50.0	20.0	50.0	40.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	140	21.4	68.6	57.9	17.9	38.6	30.7	1.4	3.6
	事務職	174	27.6	74.7	58.0	19.5	38.5	32.2	1.1	2.3
	技術職	187	33.7	74.3	57.8	19.3	34.8	28.9	1.1	2.1
	労務職	250	26.0	74.0	55.6	21.6	38.8	31.6	2.0	3.6
	管理職	58	34.5	75.9	67.2	15.5	31.0	25.9	0.0	0.0
	自由業	32	28.1	68.8	68.8	18.8	43.8	21.9	6.3	3.1
	主婦	306	26.1	73.2	48.7	21.6	37.3	29.4	1.0	4.6
	学生	26	38.5	73.1	80.8	15.4	30.8	23.1	0.0	0.0
	無職	379	26.4	67.3	58.0	21.9	35.9	26.6	0.8	8.2
	その他	159	27.0	66.7	41.5	20.1	39.0	35.2	0.6	6.9
	無回答	73	19.2	45.2	26.0	21.9	21.9	30.1	1.4	32.9
世帯構成別	本人のみ	223	25.1	61.0	49.8	21.5	33.2	35.4	1.3	7.6
	本人と配偶者	463	24.8	68.3	57.9	22.2	36.5	29.4	0.9	6.0
	本人と子ども	106	25.5	73.6	45.3	18.9	45.3	29.2	1.9	4.7
	本人と配偶者と子ども	529	29.9	77.1	55.0	18.3	36.1	30.2	1.3	2.8
	本人と配偶者と親	90	26.7	71.1	55.6	14.4	42.2	31.1	0.0	3.3
	本人と親	203	27.6	70.0	60.1	25.1	33.0	26.1	1.0	4.9
	３世代以上の世帯	168	25.6	72.0	57.1	21.4	39.3	30.4	2.4	3.6
	その他	76	28.9	69.7	52.6	18.4	42.1	25.0	0.0	7.9
	無回答	50	20.0	42.0	26.0	24.0	24.0	24.0	0.0	38.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	20.1	57.9	52.4	18.9	40.2	28.0	2.4	9.8
	100～200万円未満	292	23.3	64.7	47.9	19.9	38.7	32.2	0.3	8.9
	200～300万円未満	392	26.0	74.2	54.8	23.5	41.6	29.3	0.5	3.1
	300～400万円未満	250	24.8	70.4	64.0	21.6	37.6	30.0	0.8	3.2
	400～600万円未満	334	30.5	80.8	57.5	19.2	32.3	30.8	1.2	2.4
	600～800万円未満	165	35.2	75.2	55.2	21.2	30.9	33.9	1.8	1.2
	800～1000万円未満	85	30.6	75.3	61.2	22.4	38.8	25.9	0.0	2.4
	1000万円以上	89	30.3	67.4	58.4	18.0	27.0	20.2	3.4	2.2
	無回答	137	24.1	51.1	37.2	18.2	32.8	29.2	2.2	24.1
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	28.7	73.4	54.8	16.0	36.2	37.2	0.5	3.7
	小学生の子どもがいる	224	27.7	73.7	56.7	16.5	43.3	28.1	1.3	4.0
	中学生の子どもがいる	155	31.6	76.8	53.5	17.4	38.7	29.7	1.9	1.9
	高校生の子どもがいる	163	31.3	69.9	54.6	23.3	37.4	33.7	1.8	3.1
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	26.9	76.9	55.1	23.7	37.8	22.4	1.9	2.6
	その他	1,139	26.8	70.9	56.5	20.8	35.6	29.0	1.2	5.1
	無回答	217	23.0	54.4	46.1	24.9	34.1	30.4	0.0	15.2
広域生活圏別	高知市	806	30.1	72.3	52.4	19.5	36.5	28.3	0.9	5.2
	安芸広域圏	157	19.7	65.6	58.0	19.7	40.1	30.6	0.6	7.0
	南国・香美広域圏	255	25.1	67.1	53.7	21.6	36.1	34.1	1.6	7.1
	嶺北広域圏	41	36.6	70.7	65.9	31.7	29.3	29.3	0.0	2.4
	仁淀川広域圏	180	23.3	70.0	56.7	20.6	40.0	32.8	0.6	3.3
	高吾北広域圏	65	23.1	76.9	53.8	23.1	29.2	33.8	1.5	4.6
	高幡広域圏	160	24.4	66.9	60.0	21.3	33.1	27.5	2.5	5.0
	幡多広域圏	235	24.3	71.1	54.0	20.9	37.4	28.9	1.7	7.7
	無回答	9	55.6	33.3	22.2	33.3	44.4	11.1	0.0	22.2

問29　県内の道路整備にあたって特にどのようなことが必要だと思いますか。（３つまで○印）

		サンプル	今ある道路の維持管理（舗装や橋の修繕など）	輸送ルートの確保や橋の補強など、地震に備えた道路の整備	大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備	通勤、通院などで、日常的に利用する道路の整備	高速道路の整備	歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備
総合	実　数	1,908	714	589	836	452	355	820
	%	100	37.4	30.9	43.8	23.7	18.6	43.0
性別	男　性	806	37.6	30.1	40.0	22.6	26.9	39.6
	女　性	1,057	38.2	32.2	48.1	25.1	12.8	46.7
	無回答	45	15.6	13.3	13.3	11.1	6.7	15.6
年代別	２０歳代	168	38.1	36.9	50.0	26.8	17.9	39.3
	３０歳代	267	35.6	34.5	47.6	18.7	25.5	45.3
	４０歳代	272	37.1	34.6	47.4	23.5	25.7	43.8
	５０歳代	435	38.4	27.4	44.6	22.1	23.2	40.2
	６０歳代	368	39.9	32.6	39.9	29.3	12.5	44.6
	７０歳以上	352	37.8	27.6	42.0	24.1	10.8	47.7
	無回答	46	15.2	10.9	15.2	8.7	4.3	15.2
職業別	農林業	114	40.4	23.7	53.5	28.9	19.3	31.6
	漁業	10	30.0	40.0	20.0	10.0	20.0	50.0
	商工サービス業自営	140	37.1	30.0	40.0	20.0	22.1	36.4
	事務職	174	36.8	38.5	38.5	26.4	29.9	43.1
	技術職	187	33.7	31.6	53.5	28.9	17.6	44.9
	労務職	250	42.0	30.4	42.0	21.6	20.4	43.2
	管理職	58	32.8	34.5	36.2	19.0	50.0	36.2
	自由業	32	34.4	43.8	40.6	31.3	28.1	40.6
	主婦	306	39.2	34.0	51.3	20.3	14.1	46.1
	学生	26	34.6	34.6	46.2	26.9	26.9	26.9
	無職	379	37.7	29.0	40.9	26.9	11.9	50.9
	その他	159	39.0	27.7	45.3	21.4	17.6	43.4
	無回答	73	23.3	17.8	20.5	13.7	4.1	23.3
世帯構成別	本人のみ	223	39.5	30.5	37.7	20.6	15.7	43.5
	本人と配偶者	463	38.2	32.6	45.6	24.8	16.8	43.0
	本人と子ども	106	49.1	18.9	45.3	22.6	12.3	51.9
	本人と配偶者と子ども	529	35.5	35.3	42.3	21.7	25.7	43.7
	本人と配偶者と親	90	42.2	24.4	47.8	25.6	21.1	38.9
	本人と親	203	36.5	33.0	52.7	25.6	17.2	38.4
	３世代以上の世帯	168	34.5	31.0	49.4	27.4	16.7	43.5
	その他	76	40.8	22.4	35.5	32.9	11.8	52.6
	無回答	50	16.0	10.0	18.0	12.0	4.0	24.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	35.4	27.4	43.3	24.4	9.8	48.2
	100～200万円未満	292	42.8	27.4	43.5	25.0	12.7	46.9
	200～300万円未満	392	38.8	29.6	44.9	26.3	15.3	46.7
	300～400万円未満	250	36.8	35.6	47.6	20.0	20.4	43.2
	400～600万円未満	334	38.9	32.9	47.9	22.8	28.4	40.7
	600～800万円未満	165	32.1	37.0	46.1	20.0	28.5	37.0
	800～1000万円未満	85	44.7	43.5	41.2	34.1	17.6	42.4
	1000万円以上	89	36.0	28.1	38.2	25.8	24.7	42.7
	無回答	137	24.8	19.0	27.7	18.2	8.8	30.7
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	38.3	32.4	48.4	19.1	24.5	47.9
	小学生の子どもがいる	224	33.5	33.9	46.0	22.8	21.4	47.3
	中学生の子どもがいる	155	34.8	35.5	41.3	25.2	25.2	49.7
	高校生の子どもがいる	163	35.6	30.7	50.3	25.2	23.9	44.8
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	35.9	34.0	47.4	21.8	26.9	45.5
	その他	1,139	38.3	31.7	44.2	24.8	17.6	43.7
	無回答	217	33.6	20.3	32.7	20.7	12.0	30.9
広域生活圏別	高知市	806	37.5	33.6	40.1	20.7	17.1	45.8
	安芸広域圏	157	33.8	29.9	39.5	16.6	26.1	36.9
	南国・香美広域圏	255	35.3	32.2	46.3	25.9	16.5	43.9
	嶺北広域圏	41	61.0	19.5	58.5	36.6	4.9	48.8
	仁淀川広域圏	180	33.3	28.9	43.9	25.6	12.8	44.4
	高吾北広域圏	65	35.4	27.7	50.8	43.1	10.8	36.9
	高幡広域圏	160	40.6	22.5	51.9	24.4	20.6	34.4
	幡多広域圏	235	39.1	31.1	47.7	26.8	28.5	42.1
	無回答	9	44.4	22.2	22.2	22.2	22.2	33.3

（単位：人、%）

合併した（または合併する）市町村内の拠点を結ぶ道路の整備	産業振興のための道路や観光地へのアクセス道路の整備	交通安全や渋滞解消のための道路整備	電線類の地中化など、景観に配慮した道路の整備	わからない、関心がない	無回答
109	199	677	135	29	95
5.7	10.4	35.5	7.1	1.5	5.0
6.5	13.4	39.6	7.3	0.6	3.8
5.2	8.3	33.8	6.9	2.2	3.6
4.4	6.7	2.2	6.7	2.2	57.8
7.1	8.9	38.7	6.0	1.2	0.6
5.2	11.6	39.0	6.4	1.1	1.1
5.1	9.2	39.0	6.3	1.1	0.7
6.7	15.2	40.0	7.1	0.7	2.3
6.0	7.3	36.1	8.7	2.4	4.6
4.8	9.1	26.1	7.1	2.6	9.4
2.2	6.5	6.5	6.5	0.0	63.0
15.8	14.0	31.6	5.3	0.9	3.5
0.0	30.0	30.0	0.0	0.0	10.0
5.0	21.4	42.1	8.6	0.7	4.3
9.8	10.3	36.8	6.3	1.1	1.7
5.9	10.7	39.0	5.3	1.1	1.1
5.6	11.6	41.6	5.6	0.4	2.8
6.9	13.8	43.1	5.2	1.7	0.0
0.0	6.3	28.1	9.4	0.0	6.3
3.6	8.2	36.6	6.5	2.3	2.3
7.7	3.8	38.5	7.7	3.8	0.0
3.2	7.9	32.5	9.8	2.6	6.1
6.3	8.8	32.1	6.9	0.6	5.0
4.1	4.1	11.0	8.2	2.7	43.8
3.1	10.8	32.3	5.4	4.5	5.8
5.8	9.5	34.1	6.7	1.5	4.8
4.7	13.2	28.3	9.4	1.9	3.8
5.5	11.2	39.1	7.2	0.8	2.5
7.8	14.4	40.0	11.1	1.1	2.2
9.9	8.4	35.5	8.4	0.0	2.0
5.4	11.9	38.1	6.5	1.8	3.0
5.3	7.9	43.4	3.9	1.3	5.3
2.0	4.0	10.0	6.0	2.0	56.0
4.9	10.4	28.0	7.3	4.9	6.1
6.2	8.9	27.4	7.2	2.1	5.5
5.4	13.0	40.1	6.9	0.8	3.6
6.0	10.0	37.6	7.6	2.4	2.0
6.3	9.3	40.4	7.2	0.3	1.5
6.1	13.9	44.2	5.5	0.0	1.2
5.9	8.2	34.1	5.9	1.2	0.0
3.4	13.5	40.4	12.4	0.0	1.1
5.8	5.1	19.7	5.1	2.9	30.7
5.9	6.9	35.6	4.8	1.6	3.7
4.9	12.9	36.2	8.0	1.8	1.8
7.7	14.8	29.0	7.1	0.6	1.3
7.4	11.0	36.2	7.4	0.6	1.8
4.5	5.8	38.5	5.8	1.3	2.6
6.0	11.0	36.8	7.1	1.8	3.2
3.7	7.4	30.4	9.2	0.9	21.2
5.1	8.6	39.1	7.9	1.4	5.2
1.9	12.1	40.1	7.0	3.2	7.0
5.1	11.0	37.3	7.5	0.8	4.3
7.3	12.2	17.1	9.8	0.0	2.4
8.3	11.1	47.2	7.2	1.1	4.4
6.2	10.8	33.8	1.5	1.5	4.6
4.4	8.8	24.4	5.6	2.5	6.9
9.8	15.7	20.9	5.1	1.7	3.0
0.0	0.0	22.2	22.2	0.0	11.1

問30　県内の道路の今後の整備（基本的な維持管理は除く）について、どう思いますか。

（1つだけ○印）

（単位：人、%）

		サンプル	十分整備されていると思うので、必要ないと思う	県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う	県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う	わからない	無回答
総合	実　数	1,908	67	965	554	237	85
	%	100	3.5	50.6	29.0	12.4	4.5
性別	男　性	806	4.1	56.3	28.5	7.1	4.0
	女　性	1,057	3.1	47.2	30.1	16.7	2.9
	無回答	45	2.2	26.7	13.3	8.9	48.9
年代別	２０歳代	168	4.2	44.0	33.3	17.9	0.6
	３０歳代	267	2.6	44.6	37.5	13.5	1.9
	４０歳代	272	3.3	47.1	37.1	11.8	0.7
	５０歳代	435	2.3	53.6	27.4	12.9	3.9
	６０歳代	368	5.4	52.2	28.5	10.1	3.8
	７０歳以上	352	3.7	58.2	19.3	12.2	6.5
	無回答	46	2.2	30.4	10.9	6.5	50.0
職業別	農林業	114	4.4	62.3	20.2	8.8	4.4
	漁業	10	0.0	70.0	20.0	0.0	10.0
	商工サービス業自営	140	4.3	51.4	32.1	9.3	2.9
	事務職	174	4.6	46.0	36.8	10.9	1.7
	技術職	187	1.1	42.2	37.4	18.2	1.1
	労務職	250	2.0	52.8	32.0	9.2	4.0
	管理職	58	3.4	70.7	17.2	6.9	1.7
	自由業	32	3.1	40.6	46.9	6.3	3.1
	主婦	306	3.3	49.0	29.1	15.7	2.9
	学生	26	3.8	38.5	42.3	15.4	0.0
	無職	379	4.5	53.6	23.7	12.9	5.3
	その他	159	4.4	51.6	28.9	11.3	3.8
	無回答	73	4.1	34.2	12.3	17.8	31.5
世帯構成別	本人のみ	223	4.5	46.2	28.7	15.7	4.9
	本人と配偶者	463	3.2	56.8	26.3	9.7	3.9
	本人と子ども	106	6.6	50.9	25.5	14.2	2.8
	本人と配偶者と子ども	529	3.0	50.1	32.5	12.1	2.3
	本人と配偶者と親	90	2.2	52.2	31.1	12.2	2.2
	本人と親	203	4.4	50.7	28.1	14.8	2.0
	３世代以上の世帯	168	4.2	44.6	34.5	11.3	5.4
	その他	76	0.0	52.6	26.3	15.8	5.3
	無回答	50	2.0	30.0	12.0	12.0	44.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	3.7	47.0	27.4	20.7	1.2
	100～200万円未満	292	5.1	53.8	25.0	12.0	4.1
	200～300万円未満	392	3.3	55.6	25.3	10.7	5.1
	300～400万円未満	250	3.2	50.0	32.4	12.4	2.0
	400～600万円未満	334	2.7	47.9	35.9	11.7	1.8
	600～800万円未満	165	3.0	54.5	29.1	10.9	2.4
	800～1000万円未満	85	3.5	48.2	40.0	7.1	1.2
	1000万円以上	89	3.4	50.6	31.5	10.1	4.5
	無回答	137	3.6	38.0	19.0	16.8	22.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	2.1	44.7	37.2	11.7	4.3
	小学生の子どもがいる	224	3.6	46.4	35.3	11.6	3.1
	中学生の子どもがいる	155	1.3	54.2	36.1	7.1	1.3
	高校生の子どもがいる	163	3.1	54.0	28.8	12.9	1.2
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	0.6	57.7	25.0	12.2	4.5
	その他	1,139	3.8	51.2	27.9	13.5	3.6
	無回答	217	5.5	48.8	23.5	10.1	12.0
広域生活圏別	高知市	806	3.1	44.8	34.6	12.8	4.7
	安芸広域圏	157	5.1	62.4	14.6	11.5	6.4
	南国・香美広域圏	255	4.3	49.0	31.4	11.4	3.9
	嶺北広域圏	41	2.4	58.5	29.3	9.8	0.0
	仁淀川広域圏	180	5.6	51.7	28.3	11.1	3.3
	高吾北広域圏	65	6.2	49.2	26.2	15.4	3.1
	高幡広域圏	160	3.1	54.4	21.3	16.3	5.0
	幡多広域圏	235	1.3	60.9	22.6	11.1	4.3
	無回答	9	0.0	22.2	55.6	11.1	11.1

副問　財政が厳しいなか道路の整備より優先すべきだと思うものは何ですか。(１つだけ○印)
（問30で「３　県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」と答えた方のみお答えください。）

		サンプル	医療や福祉	雇用対策や産業振興	農業、林業や水産業の振興	地震などの災害に備えること	道路以外の河川や砂防などの社会基盤の整備	少子化対策
総合	実　数	554	168	175	29	28	14	40
	%	100	30.3	31.6	5.2	5.1	2.5	7.2
性別	男　性	230	27.4	32.2	9.1	4.8	0.9	5.7
	女　性	318	32.1	31.1	2.5	5.3	3.8	8.5
	無回答	6	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
年代別	２０歳代	56	25.0	42.9	5.4	3.6	0.0	5.4
	３０歳代	100	28.0	29.0	4.0	2.0	1.0	11.0
	４０歳代	101	25.7	37.6	4.0	7.9	2.0	2.0
	５０歳代	119	31.1	37.0	6.7	3.4	3.4	7.6
	６０歳代	105	28.6	29.5	5.7	4.8	2.9	11.4
	７０歳以上	68	44.1	11.8	5.9	10.3	5.9	4.4
	無回答	5	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職業別	農林業	23	21.7	17.4	26.1	4.3	8.7	4.3
	漁業	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	商工サービス業自営	45	13.3	35.6	4.4	4.4	4.4	15.6
	事務職	64	25.0	43.8	3.1	3.1	1.6	9.4
	技術職	70	42.9	31.4	2.9	5.7	0.0	2.9
	労務職	80	32.5	31.3	6.3	1.3	1.3	11.3
	管理職	10	40.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	自由業	15	20.0	26.7	6.7	13.3	0.0	6.7
	主婦	89	29.2	32.6	3.4	3.4	4.5	5.6
	学生	11	0.0	72.7	0.0	9.1	0.0	0.0
	無職	90	38.9	21.1	7.8	8.9	3.3	4.4
	その他	46	28.3	34.8	2.2	6.5	2.2	6.5
	無回答	9	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1
世帯構成別	本人のみ	64	40.6	25.0	6.3	9.4	0.0	6.3
	本人と配偶者	122	30.3	32.0	6.6	4.1	3.3	4.9
	本人と子ども	27	37.0	29.6	3.7	0.0	3.7	14.8
	本人と配偶者と子ども	172	25.6	29.7	4.7	4.7	4.1	8.7
	本人と配偶者と親	28	25.0	35.7	3.6	3.6	0.0	10.7
	本人と親	57	28.1	36.8	7.0	5.3	0.0	3.5
	３世代以上の世帯	58	25.9	37.9	3.4	5.2	3.4	8.6
	その他	20	45.0	35.0	5.0	10.0	0.0	5.0
	無回答	6	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	45	20.0	20.0	8.9	13.3	4.4	8.9
	100～200万円未満	73	41.1	23.3	4.1	6.8	2.7	8.2
	200～300万円未満	99	28.3	35.4	5.1	6.1	3.0	7.1
	300～400万円未満	81	32.1	32.1	6.2	2.5	2.5	7.4
	400～600万円未満	120	28.3	40.0	4.2	1.7	1.7	6.7
	600～800万円未満	48	31.3	29.2	2.1	4.2	0.0	8.3
	800～1000万円未満	34	26.5	38.2	11.8	2.9	2.9	2.9
	1000万円以上	28	21.4	25.0	7.1	3.6	7.1	14.3
	無回答	26	42.3	23.1	0.0	11.5	0.0	0.0
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	70	20.0	27.1	4.3	2.9	1.4	14.3
	小学生の子どもがいる	79	21.5	29.1	2.5	3.8	1.3	13.9
	中学生の子どもがいる	56	26.8	35.7	7.1	1.8	1.8	3.6
	高校生の子どもがいる	47	19.1	51.1	2.1	4.3	0.0	4.3
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	39	30.8	48.7	0.0	2.6	2.6	2.6
	その他	318	33.3	30.5	6.3	7.2	3.1	5.7
	無回答	51	35.3	27.5	3.9	2.0	0.0	5.9
広域生活圏別	高知市	279	30.5	32.6	3.9	5.7	2.9	7.5
	安芸広域圏	23	34.8	26.1	4.3	4.3	0.0	8.7
	南国・香美広域圏	80	35.0	28.8	6.3	3.8	0.0	6.3
	嶺北広域圏	12	8.3	75.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	仁淀川広域圏	51	33.3	27.5	9.8	2.0	5.9	7.8
	高吾北広域圏	17	41.2	29.4	0.0	5.9	0.0	0.0
	高幡広域圏	34	23.5	35.3	0.0	2.9	2.9	11.8
	幡多広域圏	53	22.6	26.4	9.4	9.4	3.8	7.5
	無回答	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：人、％）

教育の充実	観光振興	森林保全や省エネルギーなどの環境対策	情報基盤の整備や行政の電子化などの情報化対策	その他（詳細は219頁参照）	無回答
26	8	25	2	5	34
4.7	1.4	4.5	0.4	0.9	6.1
4.3	2.6	4.8	0.4	1.3	6.5
5.0	0.6	4.4	0.0	0.6	6.0
0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
5.4	0.0	3.6	0.0	3.6	5.4
7.0	4.0	4.0	1.0	2.0	7.0
5.0	2.0	7.9	0.0	0.0	5.9
1.7	0.8	4.2	0.0	0.0	4.2
5.7	0.0	5.7	0.0	1.0	4.8
4.4	1.5	0.0	0.0	0.0	11.8
0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	13.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
2.2	4.4	6.7	0.0	2.2	6.7
4.7	1.6	0.0	0.0	3.1	4.7
2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	5.7
2.5	3.8	5.0	1.3	0.0	3.8
10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7
10.1	0.0	7.9	0.0	1.1	2.2
0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1
6.7	0.0	3.3	0.0	0.0	5.6
2.2	0.0	6.5	0.0	0.0	10.9
0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2
4.7	1.6	1.6	0.0	0.0	4.7
4.1	1.6	4.9	0.8	0.8	6.6
3.7	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0
5.2	2.9	7.0	0.0	1.2	6.4
7.1	0.0	3.6	0.0	0.0	10.7
5.3	0.0	5.3	1.8	3.5	3.5
5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
2.2	2.2	6.7	0.0	0.0	13.3
2.7	0.0	6.8	0.0	1.4	2.7
4.0	0.0	3.0	1.0	2.0	5.1
4.9	1.2	6.2	0.0	0.0	4.9
5.0	3.3	3.3	0.0	0.8	5.0
6.3	4.2	2.1	0.0	0.0	10.4
5.9	0.0	5.9	0.0	2.9	0.0
3.6	0.0	7.1	0.0	0.0	10.7
11.5	0.0	0.0	3.8	0.0	7.7
7.1	4.3	4.3	0.0	2.9	11.4
7.6	6.3	6.3	0.0	1.3	6.3
10.7	1.8	3.6	0.0	1.8	5.4
4.3	2.1	8.5	0.0	0.0	4.3
2.6	0.0	5.1	0.0	0.0	5.1
3.8	0.9	4.4	0.3	0.3	4.1
2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	17.6
5.0	2.2	3.9	0.0	1.1	4.7
0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	17.4
6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	7.5
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2.0	2.0	3.9	0.0	0.0	5.9
11.8	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
8.8	0.0	5.9	0.0	0.0	8.8
1.9	1.9	7.5	1.9	0.0	7.5
0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0

問31　その他、県内の道路整備についてご意見をご記入ください。（自由記入）

住まいの場所	性別	年代	職業	問31　県内の道路整備について
高知市	男性	60歳代	農林業	全般的に道路は良くなった。一部山間部の二車線化ができれば。
高知市	男性	60歳代	農林業	長期の展望をもって。
高知市	男性	30歳代	商工サービス業自営	必要な予算を必要な道路へ
高知市	男性	50歳代	商工サービス業自営	高知市内について言えば、道路整備の格差が市内東部と西部で大きい。西部が遅れている。
高知市	男性	50歳代	商工サービス業自営	必要のない道路の整備をやめる。
高知市	男性	70歳以上	商工サービス業自営	幹線道路の整備に伴う取付道路の整備を行うこと
高知市	女性	30歳代	商工サービス業自営	将来的に四国の高速道路を輪になるようにつなげ、観光しやすくし、県外から高知により魅力を感じてもらえるようになってほしい。
高知市	女性	40歳代	商工サービス業自営	危険な道路をランク付けして、ランクの高い道路から補修していく。
高知市	女性	40歳代	商工サービス業自営	年度末にあまり意味のない工事をよく見かけますが、無駄遣いではないでしょうか。
高知市	女性	40歳代	商工サービス業自営	私にとって毎日仕事に通う道の方が大事です。宝永町の陸橋のある大きな交差点の陸橋の東側から陸橋下までのバイクの通るところがいつもアスファルトがゴツゴツしていて端の端まできちんと工事をしていないのが不満です。毎日、特に雨の日は転げそうです。直してほしいです。
高知市	女性	60歳代	商工サービス業自営	大鋸橋南～九反田橋間の道路が悪く、バイクとともに倒れた。後車の人の迷惑あり。
高知市	男性	30歳代	事務職	高知市では高知駅を含めた周辺道路が整備されれば、一度道路整備を大幅に見直し、縮小する必要があるのではないかと思います。自分は市内中心部にバス通勤していますが、夕方以降の本数が少ないことが利用者が減少し続ける大きな要因ではないかと思います。道路という限られた公共スペースを新設、拡幅するのは多額の費用がかかりますので、今ある道路を機能させるためにも公共交通への誘導を積極的に進めていく必要があると思います。大胆な発想の転換をお願いします。
高知市	男性	40歳代	事務職	高速道路の整備は必要。ただし、高知市内、近郊については、深刻な道路渋滞があるとは思えない。高知～いの間については、バイパスなど必要と思うが、高知駅周辺のように鉄道の高架化をするために多くの家を移転させ、県民の税金を使ったことは納得できない。これによる経済効果はあるのか疑問。
高知市	男性	40歳代	事務職	高知市上町の電車通りから旭町SATYまでの歩道が狭くてとても危ない。なんとかしてほしい。
高知市	男性	40歳代	事務職	国道55号、56号が通行できなくなると孤立するところが多数出ると思われることから、８の字ネットワークの早期整備。
高知市	男性	40歳代	事務職	地震に備えた道路の整備は必要だと思う。交通が途絶することをなくす（幹線道路）ような整備
高知市	女性	20歳代	事務職	土佐道路の新しいバイパスはあまり意味がない。
高知市	女性	30歳代	事務職	新たにつくられているバイパスのほとんどが「バイパス」の意味を成していない。なぜバイパスに古くからの毛細血管のような道路とつなげるのか理解に苦しむ。道路整備とは無関係であるが、市内はりまや橋周辺のタクシーについての対策は行わないのか。県の最中央地帯が常にタクシーによって占領されているのは、観光的に見てもどうかと思う。早急なバス・タクシーターミナルの整備を求める。最優先すべきは人口の過疎地帯の道路整備。災害時、急病時に安心して通行できる道をつくる。経済効果の有無は関係なしで最低限のインフラ整備として。
高知市	女性	30歳代	事務職	大雨や台風が発生すれば、すぐに陸の孤島となる高知県を解消すべきではないでしょうか。
高知市	女性	30歳代	事務職	郡部ではまだまだ整備されているとはいえない道路があります。道路整備は進めるべきだと思います。

高知市	女性	30歳代	事務職	高知県内の工事には、高知の土木、建築業者を積極的に使うべきです。土建業が発展しなければ産業全般発展していかないからです。財政難と道路整備、産業振興と関連づけて行政を進めていただきたい。
高知市	女性	30歳代	事務職	主要道路の整備も大切だが、山間部の整備もしてほしい。特に、災害後の整備や見回り点検も行ってほしい。
高知市	女性	30歳代	事務職	整備する道路の工事の必要性（例えば、老朽化のためとか、災害で崩れたため）をきちんと広報していただきたい。
高知市	女性	30歳代	事務職	道路整備は進めてほしいが、本当に必要な道路かをよく検討してほしい。
高知市	女性	40歳代	事務職	地震や災害時に対応できる道路整備を
高知市	女性	50歳代	事務職	中山間地振興のための郡部道路整備も必要だが、人口中心部の高知市の整備も進めてほしい。
高知市	男性	20歳代	技術職	①路面電車が通っているので便利だが、車線が少ないので、年々車が増え、時間帯関係なく混雑するようになってきている。主な通りだけでもなんとかしてほしい。②道が細かく分かれているせいか、変則な信号があり、結局時間もかかり渋滞にもつながると思うのでやめてほしい。③市内から離れたところの道の整備が行き届いていない。
高知市	男性	20歳代	技術職	整備の必要のない道路、必要のある道路をよく考え行ってほしい。無駄と思われる工事が多すぎやしないか。
高知市	男性	40歳代	技術職	子どもなど交通弱者に危ない道が多すぎる。歩道の確保から。
高知市	男性	40歳代	技術職	少しずつですが不便なところが改善されていくのがわかります。財政が苦しいようですが、これからも頑張ってください。
高知市	男性	50歳代	技術職	新しい道路建設が必要か考えなければならない。“より便利に”といった点からの道路建設には反対です。
高知市	女性	20歳代	技術職	同じ場所を何度も工事しているように感じる。
高知市	女性	20歳代	技術職	整備が必要な道路があるのに、いらない道路をつくりすぎている。
高知市	女性	20歳代	技術職	年末予算調整のための無駄な工事をやめてもらいたい。
高知市	女性	30歳代	技術職	渋滞を起こす道路が決まっているので、そこを中心にスムーズに走れる道づくりが必要だと思う。
高知市	女性	30歳代	技術職	道路、トンネル、本当に早急に必要なものだったのか疑問のある所もある。地域住民・県民の納得できる形で進めてほしい。
高知市	女性	30歳代	技術職	はりまや橋交差点～県庁前交差点までの路上駐車をもっと厳重に取り締まるべき。道路自体には問題がないのに、ドライバーのマナーのせいでいつも混雑している。窪川まで高速道ができれば随分楽になると思う。
高知市	女性	40歳代	技術職	北川村の落石事故など、起こってからでは遅い。
高知市	女性	40歳代	技術職	バイクの走る道が危ない。段差がありすぎる。バイパスの左側など特に。原付バイクの人のハンドルが左右に振れている時がありヒヤヒヤします。
高知市	女性	50歳代	技術職	あちこち道路を部分的につくってはしばらく続きをしない。あけぼの道路や高架橋（高知駅付近）など一つ一つ済ましてほしい。
高知市	女性	50歳代	技術職	四万十や宿毛への道路整備を行えば観光地としてもっと売り出せる。宿毛漁協の魚を東京に送ったらビックリしていた。また、橋もあと20年くらいすれば耐用年数がくるものが多いとしたら、その対策も必要と思う。
高知市	女性	50歳代	技術職	道路以外にお金（教育、福祉など）を使ってほしい。
高知市	女性	50歳代	技術職	道路の白線など消えかけが目立ちます。運転する側として非常に危険だし、歩行者にも危険です。県民一人ひとりが認識するようにしたら交通事故も少なくなるし、道路が整備されていたら県に活気があるように感じると思います。
高知市	女性	60歳代	技術職	まずまず整備されていると思います。
高知市	男性	20歳代	労務職	決算期になると無駄な工事があちこちで始まる。どこを整備するかはこのようなアンケートをとって決定したらいいと思う。
高知市	男性	20歳代	労務職	工事をしていても何の工事をしているか意味不明の場所をなくしてほしい。
高知市	男性	20歳代	労務職	渋滞解消と言わないまでも緩和を目的とした利便性を追求する総合的な都市計画をお願いします。

高知市	男性	30歳代	労務職	アメニティロードは必要だったのか。スピードを出す人が多い。道路の整備予定をもっと県民に分かりやすいようにしてほしい。ホームページなどをもっと活用したほうが良いのでは。
高知市	男性	30歳代	労務職	観光地へのアクセス道路は整備が必要だと思います。
高知市	男性	30歳代	労務職	高速道路ができても地域の浮揚にはつながりません。特に、幡多や室戸は一層空洞化が進むと思います。それよりも情報通信網の整備が先です。
高知市	男性	30歳代	労務職	子どもや高齢者が安全に通れる横断できる道路づくり。ただ広げるだけではなく、例えば広げた歩道に、車がむやみやたらと停められないような道にするなどしてほしい。
高知市	男性	30歳代	労務職	整備の目的が見えない。良くなったところもあるが、あまり変わらないような気がする。
高知市	男性	30歳代	労務職	東、室戸方面の道路整備
高知市	男性	30歳代	労務職	不必要な道路整備が多いのでは。
高知市	男性	30歳代	労務職	毎年同じ場所を整備する意味がわからない。
高知市	男性	40歳代	労務職	高知道を早く宿毛まで開通してほしい。
高知市	男性	40歳代	労務職	災害時に素早い対応。
高知市	男性	40歳代	労務職	自転車でもっと活動できるようお願いしたい。省エネのためにも。
高知市	男性	40歳代	労務職	自転車や原付バイク（50cc）等がもっと安全に走行できるようスペースを取っていただきたい。
高知市	男性	40歳代	労務職	道路整備は本当に必要な所から行っていくべき。余った予算は他に回し、必要性のない舗装はしない。道が狭く渋滞しやすい所は広げることも検討。
高知市	男性	40歳代	労務職	年度末などによく見られる工事（道路）はその年の予算を使い切らないと翌年の予算がおりないとの噂を聞くが本当か。
高知市	男性	50歳代	労務職	県道で対面通行できない場所を重点的に整備する。
高知市	男性	50歳代	労務職	自動車と歩行者を完全に分けた道路はできないものでしょうか。
高知市	男性	60歳代	労務職	四国四県で高知の道は一番悪いと思う。
高知市	男性		労務職	大雨時すぐ水が来る道路が多い。
高知市	女性	20歳代	労務職	高速道路を早く中村までつなげてほしい。
高知市	女性	30歳代	労務職	いらないところをつつきすぎ。
高知市	女性	40歳代	労務職	まだまだ他の四国の県と比べると遅れている。山間部はまだまだ未舗装の地域が多い。
高知市	女性	50歳代	労務職	田舎の道路はまだまだ不便な点が多いと思います。道路の整備は絶対に必要だと思います。
高知市	女性	50歳代	労務職	道路の整備もしてほしいが、財政を考えると雇用や産業振興に力を入れてほしい。
高知市	女性	60歳代	労務職	山間部の道路拡張整備を。実家へ帰る時は大変です。
高知市	女性	70歳以上	労務職	工事後の歩道の整備がめちゃくちゃ。自転車で通勤する者は困っています。橋と道路の境の段差が困ります。
高知市	男性	30歳代	管理職	大雨や地震でも安全に道路を利用できるようにしてほしい。
高知市	男性	30歳代	管理職	道路をつくる時間が長すぎる。渋滞解消のための整備をしろ。
高知市	男性	40歳代	管理職	県内の土木建設会社を優先して使用すること。県外の企業に安いからといってどこが潤うのか。
高知市	男性	50歳代	管理職	過疎、高齢者の居住する地域の生活道の整備。県東・西部への道路網の整備
高知市	男性	50歳代	管理職	産業振興and観光誘致のアクセス道路整備を充実しなければ、若者の流出も止められないし、イベント開催企画もできない。
高知市	男性	50歳代	管理職	目的を明確にして必要な順番をつけて行うこと。
高知市	男性	60歳代	管理職	早急に東西幹線道路整備をすること。
高知市	男性	30歳代	自由業	潮見台は道路が一本だけです。何かあった時はどんなふうにすればいいのか老人を抱えて考えることがいっぱいある。
高知市	男性	40歳代	自由業	無駄な道路整備が多くやめるべきだ。スーパー、オートバックス周辺道路がとくに無駄が多い。
高知市	男性	50歳代	自由業	買い物・通勤・通院などの日常利用に不可欠な道路だけは、優先して整備する。
高知市	女性	40歳代	自由業	具体的にどの道路のどの区間にどれだけ建設費用、維持管理費用がかかっているのかを県民に知らせてほしい。

高知市	女性	40歳代	自由業	県外の道路に比べ車で走行しにくい。道幅が狭く、無理矢理右折車線をくっつけているところが多く危険。道路整備などをみるとつくづく貧しい県だなと思う。
高知市	女性	20歳代	主婦	歩道の整備（市内の古い住宅地など）が行き届いていない。下水道の工事に併せて小さな道路（橋）を整備してほしい。ベビーカーで通る際、凹凸がひどく危ないし、歩道が狭くて大変困っている。
高知市	女性	20歳代	主婦	無意味に工事ばかりしているように思います。工事後の道路はガタガタだし、何のための工事なんですか。
高知市	女性	30歳代	主婦	県外に比べてかなり悪すぎる。
高知市	女性	30歳代	主婦	高速道路をなるべく早く整備して、西、東へと延ばしていってほしい。大地震に対して早くしないと孤立してしまう地域が多くなると思う。
高知市	女性	30歳代	主婦	信号のシステムが故意に渋滞をおこすようになっているように思います。１つ信号を待って進むと、次の信号がまた赤で停止ということがよくある。県外の人からもよく聞きます。高知の道路はスムーズではないと。
高知市	女性	30歳代	主婦	歩道が少なすぎる。あってもベビーカー、車イスの通行が困難。
高知市	女性	40歳代	主婦	高速道路は不便な所ほど必要と思う。病院や医者も満足にいない地区の人達を早く運ぶためです。須崎には産科もないとか。山奥の人達は子どもも満足に産めん。
高知市	女性	40歳代	主婦	産業や観光に必要な道路を優先的に整備すること
高知市	女性	40歳代	主婦	春には予算を使い切るためだけのしなくてもいいような道路の工事をよく見かけます。こんな予算を他のもっと大事なことに使ってもらいたい。
高知市	女性	50歳代	主婦	①災害時に陸の孤島となる所については、何らかの手だてが必要だと思います。②自転車やバイク、歩行者に優しい道づくりに力を入れてほしい。
高知市	女性	50歳代	主婦	車の運転しやすい道路に。
高知市	女性	50歳代	主婦	香南市以東は片側１車線であまり走れないので、早く自動車専用道路を開通してほしい。山間部の国道の整備をしてほしい。カーブが多く道幅が狭い。
高知市	女性	50歳代	主婦	我が家の近くで渋滞緩和のため抜け道をつくろうとしています（市道のようですが）。反対運動も却下されましたが、予算の関係か10年たらずチビチビと造っています。意味のある道路と思えませんし、もし開通したら住宅地は抜け道になって通学路の安全も不安です。無駄です。（高知市東宇賀～桂浜道路）
高知市	女性	60歳代	主婦	あまり必要でもない所は工事をしないようにして、もう少しお金の使い道を考えてください。
高知市	女性	60歳代	主婦	同じ場所を工事内容が違うたび、何回も掘り返しムダが多い。計画をたてて行ってほしい（県がまとめて）。
高知市	女性	60歳代	主婦	水道・ガス・電気・下水など総合的に対策を立てる。同じ所を繰り返し掘り起こさない。
高知市	女性	60歳代	主婦	問30の３に〇をつけたけれど、災害時にはまず使える道路が必要だから。そのためには整備も仕方ないと思う。
高知市	女性	60歳代	主婦	年度末に集中し混雑をまねくので、なるべく場所により期日をずらしてほしい。
高知市	女性	60歳代	主婦	室戸など東方面への広い道が必要だと思う。
高知市	女性	70歳以上	主婦	生活道の整備について。高齢者が歩きやすいような配慮。また小、中学生が歩きやすいよう(長年にわたって悪い習慣がつかないように歩道の傾斜等に配慮を。体を斜めにしていつも歩くのはよくないのでは)研究してみて。
高知市	女性	70歳以上	主婦	古いトンネルが狭くて自転車や歩行者が通るのを見まして危ないと思います。
高知市	男性	20歳代	学生	もっと緑化を推進させたり清潔に（ゴミを減らす）。
高知市	男性	50歳代	無職	工事がまばらにされており、まとまりがないと考えています。
高知市	男性	60歳代	無職	一度作った道路の維持管理に時々目を配ってほしい。
高知市	男性	60歳代	無職	首都圏においては地上に２～３階の道路、地下にも２段の高速道を順次建設しているが、高知県の２桁国道はいまだに片側１車線で走行している部分が多くあり、決して道路整備は十分できているとは思えない。地方切り捨てを考えるボンボンの二世議員・首相はとにかく首都圏・金持ちの方にしか目を向けていない。

高知市	男性	60歳代	無職	総論賛成、各論反対といういごっそ的な考えを捨てて、地域住民の意見を良く聞いて産業育成、災害防止、セキュリティ面から必要なインフラ整備を着実に実行していただきたい。
高知市	男性	60歳代	無職	道路整備が遅れているといわれる中、過剰と思われる整備区間もあります。まずこの適正化から取り組むべきと思います。
高知市	男性	60歳代	無職	道路ばかり整備されても、立ち退きで人間がいなくなり、車の道ばかりで困ります。ご近所がなくなり、小商店もなくなり、大型店のみで車でしか買い物ができなくなっています。人間味がない。
高知市	男性	60歳代	無職	落石、山崩れの発生しない道路整備もご検討ください。
高知市	男性	70歳以上	無職	いらない所に信号があって、いる所にない。つきあたりの道が多い。
高知市	男性	70歳以上	無職	山林県であるが、道路の確保を重点的に行う。
高知市	男性	70歳以上	無職	出勤時、通勤時に渋滞が多いので信号など今一度考えてほしい。
高知市	男性	70歳以上	無職	道路の拡充よりも管理・点検に力を入れる。
高知市	男性	70歳以上	無職	道路はだいぶ良くなっている。所々整備して長く使ってほしい。
高知市	男性	70歳以上	無職	歩行者や身体が不自由な方などが通りやすい細かい点の整備。
高知市	男性	70歳以上	無職	本県の如く、陸の孤島、災害多発県、全国一の後進県においては、何よりも住民のため道路整備は必要不可欠の要素である。道路は本来、住民の生活基盤であり、大陸国家のアメリカの車社会のサルまねをするが如きは言語同断である。治山治水対策を完全にしてはじめて、後進県を脱することができると私は信じています。尚、本県では大型車両はすべて禁止。軽４輪車のみに限ることを行政当局に望みます。
高知市	女性	40歳代	無職	あまり自然を壊してもらいたくない。山を壊して動物（タヌキ、シカなど）がいなくなったらどうなる。高速道路など造ってもらいたくない。
高知市	女性	50歳代	無職	例え山間部でも救急車、消防車などが入れるよう道路の整備をしてほしい。
高知市	女性	60歳代	無職	同じ場所を少し整備（補修）してはまたコンクリート塗り、何度も行っている道があり、計画がないのか不思議に思ったことがあります。将来のことを思えば、気をつけて歩けば何もないところを修理したりせず、少子化対策に力を入れ、安心して子を産み育てていけるような社会にしてほしい。
高知市	女性	60歳代	無職	市内の道路の路肩に危険な場所が多いので点検整備をお願いしたい。
高知市	女性	60歳代	無職	道路整備が優先課題だと思う。
高知市	女性	60歳代	無職	道路には必ず自転車道と歩道を付けること。
高知市	女性	60歳代	無職	幡多地区まで高速道路の拡張をしてほしい。
高知市	女性	60歳代	無職	東の道路整備は進んでいますが、旭方面、西の整備を進めていただきたいと思います。
高知市	女性	70歳以上	無職	雨天の場合、土佐道路、特に能茶山までが混み、早い便で乗って行っても、何度も乗り継ぎ目的地に行けなく、タクシーを利用したり電車を利用している。早く改善されるよう望みます。
高知市	女性	70歳以上	無職	税金を使って整備となるので今のままで良い。本当に通れない程のところを直して、大切に使って行くべきです。
高知市	女性	70歳以上	無職	早急に道路整備を希望します。高齢になりましたのでよろしくお願いします。
高知市	女性	70歳以上	無職	電線や水道管、ガス管等一切を地下に埋設するのは、一時的にはお金がかかるかもしれないが、景観も良くなるし、年中地面を掘り起こして交通に迷惑もかけず、人件費も経済的になるのではないですか。
高知市	女性	70歳以上	無職	歩道が狭く、自転車が通りにくい箇所。自転車が車道を通ると駐車している車があると自転車が車道を通るので危ない。自転車道ができると良い。
高知市	女性	70歳以上	無職	歩道を広くすべき。車のための道路はいりません。維持管理だけでいいと思います。高齢者人口が全国で２番目に多いと聞きました。高齢になると車の運転はもちろん、自転車に乗るのも危険に感じてきます。公共交通機関に頼るしかありません。安く気軽に利用できる（電車やぐるりんバス）交通手段をもっと見直しをして、今後の更なる高齢化に備えるべきでは。
高知市	女性	70歳以上	無職	道が良すぎて飛ばしすぎる。

高知市	男性	20歳代	その他	①大きな道（２～3車線あるような）から小さな道へ右左折することができるようにしているため、大きな道のレーンが結果的に１つしか使えないようなケースが多く見られる。例えば小さな道は一方通行にするなどして、大きな道の”流れ”を優先的に確保するのはどうだろうか（鏡川大橋北詰など）。②大きな道にある中央分離帯から右折、Uターンする車が非常にしばしば見られる。1車線をつぶして待っているような車をよく見かける。例えば、中央分離帯の間隔を開けず封鎖し、右折・Uターンは右折レーンのみでしかできないようにしてみるのはどうだろうか（土佐道路など）。
高知市	男性	20歳代	その他	通行量が多い場所や地域ではなく、あまり交通量の多くないところを補修しているように思う。
高知市	男性	30歳代	その他	アメニティロードのような無駄な道路を造らないでほしい。
高知市	男性	40歳代	その他	現在までの整備方向が高知市北部、東部、中心部に偏っている。高知市への流入人口及び通過車両は西部方面の方が多いのではないか。南部、西部の整備が検討されるべきではないか。
高知市	男性	50歳代	その他	高速道の料金を半額にしてもらいたい。ただし、月１回程度限定。
高知市	男性	50歳代	その他	道路も県民の財産です。台風・大雨・地震・火事がおきた場合、消防自動車、救急車などが入れる道路をつくってください。高知市内には、救急車両が入れないところもあります。
高知市	男性	60歳代	その他	高速道路の地方、東西への延長が必要
高知市	女性	30歳代	その他	特に、年末など別にやらなくてもいいのではと思うような場所を掘り起こし始めるのはどうしてでしょう。予算を使い切るためですか。他に必要なお金の使い方もあると思うのですが。
高知市	女性	40歳代	その他	新しい道路がきれいになってもなぜか水たまりがよくできている。車に乗っている人はまだよいが、歩行者などはたまったものではない。
高知市	女性	50歳代	その他	高速道路を早く延ばしてほしい。
高知市	女性	60歳代	その他	赤岡～東洋町の幹線道路は災害があった時には迂回路もなく大変だと思います。
高知市	女性	60歳代	その他	車社会となり道路の整備は重要だと思う。
高知市	女性	70歳以上	その他	弱者(交通)が安全に自由に使える道路が必要。もう車中心の時代は終わりです。
高知市	女性	50歳代		山の上までの道路はいらない。歩いてもらう。歩けない人は景色を楽しんでもらう。自然を壊しすぎないでほしい。生活のための輸送ルートの維持管理はもちろん優先すべき。遊ぶための車を山の奥まで入らないようにしてほしい。制限すべき。駐車場の管理・整備も大事かと。
安芸広域圏	男性	40歳代	農林業	西には高速道路は延びているが、東の方の国道は迂回路がないので災害時には困る。早く高規格道などの整備を進めてほしい。
安芸広域圏	男性	50歳代	農林業	信号機が多すぎる。
安芸広域圏	男性	50歳代	農林業	東部の高速道路を早くするべきだと思う。
安芸広域圏	男性	70歳以上	農林業	災害に強く、早急に復旧可能な土木技術者の確保等を考慮した行政を願います。
安芸広域圏	男性	40歳代	商工サービス業自営	県東部も何とかしてもらいたい。
安芸広域圏	男性	50歳代	商工サービス業自営	四国内（無理ならば高知県だけでも）の高速道路の無料化を推進すれば、物流や人的交流が良くなり、活性化する。陸のへき地的な高知県から抜け出すためにもぜひ！
安芸広域圏	女性	40歳代	商工サービス業自営	何をおいても人の通る道路です。産業、観光、教育においてもすべての業種が必要、使用している場所です。有意義に無駄なくしていただきたい。
安芸広域圏	女性	50歳代	商工サービス業自営	今ある道路の維持管理に頑張ってください(早めに)。
安芸広域圏	男性	40歳代	事務職	全体を見極め、本当に必要な箇所を見極めること。
安芸広域圏	女性	30歳代	事務職	東への高速道路を早くつけてほしい。
安芸広域圏	女性	40歳代	事務職	本当に必要な維持管理かどうか調査してほしい。
安芸広域圏	女性	40歳代	事務職	未着手区間の道路整備を進めてほしい。
安芸広域圏	男性	20歳代	技術職	県東部にわざわざもう1本道路を作る必要はない。今ある道路を広げるか、混む場所や危険な場所に抜け道程度を作るだけで良いと思う。高速道路などができても使わない。
安芸広域圏	男性	40歳代	労務職	4車線にしてください。
安芸広域圏	男性	50歳代	労務職	国道55号の通行止めの時の回り道県道安芸～田野町の整備

安芸広域圏	男性	50歳代	労務職	市内で生活をしていれば不便さも感じないだろうが、町村に住んでいると車は必需品。台風が来る度、公共交通機関は止まり、危険を承知で出かけることもあります。国道が高波で通行止めになっても往き来ができる高架など道路対策はきちっとしてほしいものです。
安芸広域圏	男性	50歳代	労務職	東部方面の高速道路の整備
安芸広域圏	女性	40歳代	労務職	東部地区の道路を整備してほしい。
安芸広域圏	男性	40歳代	管理職	高知県の場合、山間地が多く維持・管理・整備など多額の費用が必要ですが、道路整備ができないと医療・教育に力を入れてもだめだと思う。
安芸広域圏	男性	50歳代	管理職	安芸市在住で毎日高知市に通勤していますが、年々、赤岡～芸西間（夜須町付近）の渋滞がひどくなっています。特に、スポーツイベント時期（タイガース・キャンプ、ゴルフ・カシオワールド等）や観光シーズンなど特にひどいです。早期に工事中の東部自動車道を完成してもらいたい。
安芸広域圏	男性	60歳代	管理職	東部の道路整備を急いでほしい。
安芸広域圏	女性	60歳代	主婦	東部にも高速道路が早くほしいです。
安芸広域圏	女性	60歳代	主婦	道路は整備されているので必要でない。
安芸広域圏	女性	70歳以上	主婦	地震の際、津波の災害に備える民家を守る防潮堤等国道の整備。
安芸広域圏	女性	60歳代	無職	県東部に住んでいます。台風などが来ると落石などですぐ道路が通れなくなります。新しい道路整備以前に今ある道路が普通に通れるようにしてください。
安芸広域圏	女性	70歳以上	無職	県東部の高速道路の早期整備をお願いします。
安芸広域圏	女性	70歳以上	無職	交通量が多くなり、道路幅が狭く事故（二車線でも良い）
安芸広域圏	女性	70歳以上	無職	国道55号のうち手結山トンネルから東へ東洋町甲浦まで単線で台風、地震など災害で普通になったら救急車も動けなくなる。
安芸広域圏	女性	70歳以上	無職	東部の道路整備が遅れていると思う。
安芸広域圏	男性	20歳代	その他	２月の阪神キャンプの時期の交通渋滞は大変なもので、早く解消してほしい。
安芸広域圏	男性	30歳代	その他	人口が少なくなるので、今のままで良いと思う。
安芸広域圏	男性	50歳代	その他	国道整備
安芸広域圏	男性	70歳以上	その他	甚だ勝手なことを言うが、道路を広げる時、自分の土地を少しも出さず文句ばかり言う有力者がいる。消防法違反になると言う人もいる。
安芸広域圏	女性	30歳代	その他	年度末の無意味と思われる道路整備。
安芸広域圏	男性	70歳以上		道路を建設する場合、単なる幅員のみにとらわれず、最初から余裕のある土地を買収し、路肩へ四季の花を植えることのできる土地の余裕ある買収をすること。少し運転を休むとか、小陰をつくり夏は涼を求め、心を癒しながら運転できるような道をつくってほしい。
南国・香美広域圏	男性	40歳代	農林業	必要な道路はすぐつくる。道路をつくってその線に沿って企業ができたり、活性化につながるよう頭を使ってほしい。
南国・香美広域圏	男性	60歳代	商工サービス業自営	他県と比較して高知県は道路が悪すぎだと思う。
南国・香美広域圏	女性	40歳代	商工サービス業自営	東へ行くにも、西へ行くにも単線なのできついし、台風などで通行止めになる国道も困りもの。伊野などの渋滞はいらいらする。もう何十年も前からだ。早くなんとかしてほしい。
南国・香美広域圏	女性	60歳代	商工サービス業自営	小さな道路のいたみも見回って直していくのも大事ではなかろうか。
南国・香美広域圏	男性	30歳代	事務職	郡部の県道整備が進んでいない。
南国・香美広域圏	女性	40歳代	事務職	東西南北で言えば高知～室戸の道路が不便
南国・香美広域圏	女性	40歳代	事務職	歩道と自転車道の区別（車道との）。歩道橋を老人でも上がりやすくしたらいいと思います。
南国・香美広域圏	女性	50歳代	事務職	道路の整備は十分だと思うが、維持管理、草刈り・花壇など整備は不十分だと思う。
南国・香美広域圏	女性	60歳代	事務職	自転車専用道の着工。
南国・香美広域圏	女性	60歳代	事務職	例えば南国市など、大きな道路が途中までできていて使えないのはもったいない。通勤、通院、通学など日常的に利用する道路を整備して、ラッシュや交通事故のない道路整備をしてほしい。地震に備えた道路の整備も必要と思われる。
南国・香美広域圏	男性	20歳代	技術職	あわてなくていいから、少しずつしていけばいいと思う。

南国・香美広域圏	男性	30歳代	技術職	国道が狭すぎ、高速道路の路面が悪すぎ。
南国・香美広域圏	男性	30歳代	技術職	年度末に集中して道路を掘り返すのはやめてほしい。
南国・香美広域圏	男性	40歳代	技術職	通行量が少ない所の道路をつくるよりもっと実用的な道路をつくってほしい。
南国・香美広域圏	女性	30歳代	技術職	須崎から以西の高速道路(中村まで)早くつくってください。
南国・香美広域圏	男性	20歳代	労務職	新しい道路をつくっても１年もしないうちに工事している光景をよく見ます。いつも思うのですが、作るときにちゃんと作っておけば工事しなくてもいいし、工事費も削減できてよいのではないでしょうか。
南国・香美広域圏	男性	30歳代	労務職	小さな道路でも危険な道路を優先的に直してもらいたい。
南国・香美広域圏	男性	50歳代	労務職	車道に付随して歩道、自転車道がなぜ整備できないのですか。いつも「車」優先で安全や安心がおきざりになっています。
南国・香美広域圏	女性	30歳代	労務職	同じ所を何度も整備したり、直してほしいといって１年以上たっていたり、何をどこを優先しているのか。また、業者による不正もあり、何でもかんでも財政が厳しいと言うが、根本をしっかりしないと何年たっても厳しいまま県民ばかりがつらい思いをする。
南国・香美広域圏	女性	30歳代	労務職	毎年、整備を行っている道路があるのですが、なぜ何回も行うのかわかりません。
南国・香美広域圏	男性	50歳代	管理職	高齢化が進むと、高知県の中央部に６～７割を超える人が集まり、郡部は高齢者が増大する一方で、道路整備もこのことを念頭に考えるべき。
南国・香美広域圏	女性	50歳代	主婦	危険箇所を災害発生前に抜本的な整備を行ってほしい。
南国・香美広域圏	女性	50歳代	主婦	渋滞を解消する環状線を早期に整備する。
南国・香美広域圏	女性	60歳代	主婦	大雨の後などに落石崩壊の箇所が地方の方で見られます。中村までの高速道路や今新しくつくっている道路が早くできるように。
南国・香美広域圏	女性	60歳代	主婦	歩道、自転車走行スペースの整備が車道に比べて遅れているように感じられる。早急に対応をお願いします。子供や年寄りが利用する大切な道です。
南国・香美広域圏	男性	20歳代	学生	道路ネットワークを考えた配置をしてほしい。無駄が多いのでは。
南国・香美広域圏	男性	30歳代	無職	渋滞の解消を最重視すべき。無駄な金（燃料など）と時間、排ガスを減らすことをできればあらゆる面で効果があがる。県外からのアクセス道については、整備しないこと。自然を残すためには人がたくさん入らないことが大事だ。四万十川や大月、東洋などがいい例で、都会から人が押しかけては自然が汚され、金は落としていかずに、ゴミと排ガスを捨てていく。地元にとってはいいことは何もない。
南国・香美広域圏	男性	60歳代	無職	社会資本の整備は全国的に考えて平等に行うべきである。都市との格差があるべきではない。そういうことを中央政府が聞いてくれない場合は、具体的に県民に知らしめるべきである。そうしないと県民は理解できない。例えば、予算をくれないような場合にも、政府の考え方等を新聞紙上でもよいので公表するべきである。格差を考えてくれないことを知らしめるべきである。
南国・香美広域圏	男性	70歳以上	無職	車道、歩道を自転車が走るので危険。
南国・香美広域圏	男性	70歳以上	無職	町道から合併して市道になったが、せめて車が行き違いできるような幅員に拡幅してもらいたい。公務員の数が多すぎる。人件費を削って道路整備に予算を回したらよい。
南国・香美広域圏	女性	50歳代	無職	道路整備より医療や福祉を優先してください。道路より貧困で苦しんでいる人たちを助けるべきです。
南国・香美広域圏	女性	60歳代	無職	同じ道路を掘ったり埋めたりしているが、１回だけに押さえてくれることを期待する。
南国・香美広域圏	男性	70歳以上	その他	財政が回復するまでの県道等については、全面改修ではなく300m毎に待避所をつくり、待避所間の中間点にはその表示をし、この表示に達していない車は待避所まで後退する条例をつくり、経費の削減を図りつつ、新設を計画に沿って進めてはどうか。

南国・香美広域圏	女性	30歳代	その他	あまり必要性のない整備もあるのではないか。（ほとんど車の通らないようなところに立派な道がたくさんあります。）
南国・香美広域圏	男性			むやみに土木工事をする必要はなし。財政が厳しいのなら道路工事は絶対不要。何のための道路整備か。警備会社のためですか。土木会社のためですか。無駄な税金は使うな。
嶺北広域圏	男性	70歳以上	農林業	災害時の道路整備（復旧）を早くしてほしい。
嶺北広域圏	女性	30歳代	事務職	我々の住む地域には、国道でもすれ違い時には片方が止まらないと進めない箇所がいくつもあり、橋も木造で通学路にもなっている。山の中は予算も少なく、我慢していることが多い。
嶺北広域圏	女性	50歳代	技術職	車社会になり交通量が増えてきました。県民の安全が守れるだけの整備は必要と思います。
嶺北広域圏	女性	50歳代	技術職	台風などで国道が通行止めになった場合、県道や町道へ迂回するけれども、そっちの方が小石が落ちてきたり、水があふれていたり危ない所が多い。迂回路の整備をしてほしい。
嶺北広域圏	男性	50歳代	労務職	県道をパトロールする職員は必要ない。土木部はほとんど作業はしていないので民間に任せよ。
嶺北広域圏	男性	70歳以上	無職	大豊町目付に流出している奥太田川上流に奥太田集落以外にも西梶ケ内の一部の集落があります。林道を改良してくださっていますが、後約３㎞位あると思いますが今少し林道の改良をお願いします。
嶺北広域圏	女性	70歳以上	無職	同じ道や十分機能している道をたびたび細切れに舗装して無駄が多い。基本の道路舗装、ケーブルを引いた後の舗装、下水道を埋めた後の舗装とたびたび短期間の間に同じ所を舗装し直すこともあるようですが。まとめて一度でやり直して無駄を除くことはできないものでしょうか。
嶺北広域圏		70歳以上		32号の小川の洞間が、台風、大雨のたび、いつも通行止めになり、市内に通っているのに、とても迷惑しています。雨の時にも通行できるよう道を整備してもらいたい。
仁淀川広域圏	男性	50歳代	農林業	アスファルト舗装は県外より非常によくない。
仁淀川広域圏	男性	60歳代	農林業	路面の補修、緑地帯に草が生え道が分からず危険。
仁淀川広域圏	男性	70歳以上	農林業	道路は産業、観光、運送、医療等、社会の基盤である。
仁淀川広域圏	女性	50歳代	農林業	高速道路をもう少し明るくしてほしい。先がほとんど見えない箇所があります。
仁淀川広域圏	男性	50歳代	事務職	県の財政が厳しいことは分かるが、その中で適宜優先順位をつけて、整備が必要なものは整備していくべきと思います。
仁淀川広域圏	女性	30歳代	事務職	住宅の立ち退きをして主要道路がずいぶん変わりました(良くなった）。交通の流れも大きく変わりました。ただ、老人や子どもにとっては、危険が増え、貴重な自然や住民どうしの交流が減ったように思い残念です。
仁淀川広域圏	女性	60歳代	事務職	自転車が歩道を通れば歩行者は危ないし、車道の端でも車両・自転車ともに危険だから自転車道の充実をお願いします。
仁淀川広域圏	男性	30歳代	技術職	冠水により通行止めになる国道が土佐市内にあります。迂回路も同じ状態で、完全に孤立してしまう地域があります。早急な整備を願います。
仁淀川広域圏	男性	30歳代	技術職	道路の整備以前にやるべきことがたくさんあるのではないか。
仁淀川広域圏	女性	20歳代	技術職	台風（大雨）などで道路がすぐ冠水してしまいます。道路整備と共に河川の整備もお願いしたいと思います。
仁淀川広域圏	女性	20歳代	技術職	道路整備は我慢すること。
仁淀川広域圏	男性	20歳代	労務職	国・県・市町村の道路管理の充実。県ならば国・市町村道路のチェックをし改善に努力してほしい。（県道だけでなく）
仁淀川広域圏	男性	20歳代	労務職	上下水道等の工事をすると、一部分だけ舗装をなおすが、時間が経つと一部分だけ陥没するので、そのような工事の仕方はやめてほしい。
仁淀川広域圏	男性	50歳代	労務職	道路整備が遅すぎる。最も利用し望む世代の人口が減ってきたときに、整備が実感でき始めた。アホな港や箱物へじゃぶじゃぶ金を突っ込むなんてナンセンス。同じセメントを使うなら費用対効果を考えろ。ヤミ融資等に見られるように、県行政の金の使い方は馬鹿丸出し。あんな金を使うより全県広葉樹にするとか、他にないような頭を使え。仮に大自然が増えれば自然に観光人口なんか増える。とにかく前例主義を再考せよ。

仁淀川広域圏	女性	30歳代	労務職	高速道路が早く幡多までつながってほしい。
仁淀川広域圏	女性	30歳代	労務職	まだまだ走れる道路を何度も何度もやり直す必要があるのでしょうか。すごくもったいなく感じます。片側だけでもいいので、歩道がずっと続く道を早くしてほしい。子どもを安心して家から送り出せません。
仁淀川広域圏	女性	30歳代	主婦	自転車やバイクが通っても安全に車が走れるようにしてほしい。エコのため自転車に乗りたいが狭くて怖い。
仁淀川広域圏	女性	30歳代	主婦	先日、山口県に旅行で行ったとき、カーブにＲ＝120m等とあり運転しやすかったと主人が感心しておりました。初めての人でも安心して運転できるような工夫も大切だと思います。
仁淀川広域圏	女性	40歳代	主婦	地震や台風などの災害時、陸の孤島となる地域をまず優先して道路の整備をすべき。
仁淀川広域圏	女性	50歳代	主婦	国道33号いの地区は長年にわたる交通渋滞。早期解消を切に望みます。
仁淀川広域圏	女性	60歳代	主婦	高知市内と周辺道路の通学・通勤時間帯の交通渋滞が解消されるように道路を整備してほしい。
仁淀川広域圏	女性	70歳以上	主婦	人口密度から考えると現状で道路事情が悪い地域は、やむを得ない点があるので、循環バス連絡便の充実を図ってほしいと思います。
仁淀川広域圏	男性	60歳代	無職	県は道路マップに整備のアクションプログラムを示し、考え方を県民にアピールする案ありと思うが･･･。アンケートをとったところで、何の足しにもならぬのではないか？要は情熱が不足していると思われる。県はもっとやる気を出さぬと県民はついてこない。
仁淀川広域圏	男性	60歳代	無職	高速道路の整備
仁淀川広域圏	男性	60歳代	無職	中島の鉄橋前後が毎夕渋滞している。
仁淀川広域圏	男性	70歳以上	無職	現在、渋滞解消のためのバイパス道の整備は早期に行うよう希望する。
仁淀川広域圏	男性	70歳以上	無職	自転車乗りに関して、取締の人材を増強したら良いと思う。
仁淀川広域圏	女性	60歳代	無職	山間地の車のすれ違い場所の整備
仁淀川広域圏	女性	70歳以上	無職	東はよくなったが、高知市より西、特に高知西バイパスの進み具合が遅い。
高吾北広域圏	男性	60歳代	農林業	国道33号高知～松山線は20年遅れています。
高吾北広域圏	女性	60歳代	農林業	高知県は四国でも最も道路整備が遅れているので、県でダメなら国からの資金を出してもらって安全な道路にしてもらいたい。
高吾北広域圏	女性	40歳代	商工サービス業自営	迂回路が欲しいです。高知市へ入るのに日高村～いの町間は混む。コスモス祭りのイベント等、別に道路が欲しいです。
高吾北広域圏	女性	50歳代	商工サービス業自営	愛媛県は金があるので道路は良く整備されているけど、高知県の道路はどこもがガタガタ。きれいに直してほしいところがいっぱいある。
高吾北広域圏	男性	50歳代	事務職	降雨により生活道が通行止めとなり、危険度が高いわき道などの迂回路を通行しなければならないことがある。
高吾北広域圏	女性	20歳代	技術職	高速を早く整備してほしい。
高吾北広域圏	男性	30歳代	労務職	大雨、落石のために生活道を通行止めにされるのは我慢できない。もっと考えてほしい。
高吾北広域圏	女性	40歳代	労務職	いの町を中心とした渋滞の解消
高吾北広域圏	女性	50歳代	主婦	客観的に見て、不必要な整備は排除してほしい。
高吾北広域圏	女性	60歳代	主婦	接近している市町村なのに狭く悪い道路。しかも１本しかない(例、佐川－須崎)。このような所を早くなくさない限り、全ての面で県内の産業など発展していかない。
高吾北広域圏	女性	70歳以上	主婦	災害時には早急に整備

高吾北広域圏	男性	70歳以上	無職	財政の厳しさは理解できます。特に悪い箇所については部分改良でも良いのではないでしょうか。ご努力をお願いします。
高吾北広域圏	男性	50歳代	その他	作りすぎて通る車もないまま寂れて壊れていく立派な林道が多すぎます。自動車道は地域の借金が全くなくなってから新規整備を考えてください。
高吾北広域圏	女性	20歳代		香川県を見習ってください。
高幡広域圏	男性	20歳代	農林業	今、問題ないと思う。整備しすぎて自然がなくなり、高知の風景が悪くなるのが心配。
高幡広域圏	男性	30歳代	農林業	雨天時に水たまりができる道路が多すぎて歩行者や自転車など水をかぶることがある。
高幡広域圏	男性	50歳代	農林業	他県と比べてずいぶん遅れていると思う。
高幡広域圏	男性	70歳以上	農林業	幹線道路の整備
高幡広域圏	女性	60歳代	農林業	県の財政が厳しいので道路の予算はないと分かっているのに、選挙のときにトンネルを抜くとか、道路を整備するとか口先だけでペラペラ言う権力の亡者は許しがたい。選挙が終ると言った本人が忘れている。こういう大人の姿勢が次代の教育にも悪影響を及ぼしているのだ。行政の執行部も人によって言うことを聞いたり、聞かなかったりする姿勢を正すことが基本。それがないからモードアバンセのようになるのだ。
高幡広域圏	男性	30歳代	漁業	道路が明るい未来を導いてくれる唯一の光です。それと丁寧な整備も必要です。雑な工事では費用を無駄にします。
高幡広域圏	男性	50歳代	商工サービス業自営	高速道路の早期整備
高幡広域圏	男性	70歳以上	商工サービス業自営	交通量に対応した整備をしたら。
高幡広域圏	女性	50歳代	商工サービス業自営	十分です。田舎の良さがなくなるほど都市化する道路はいりません。もっと他に予算を組む所があるはずです。
高幡広域圏	女性	30歳代	事務職	高知インター道路と土佐道路の渋滞を早く解消してほしい。（朝と夕方がひどい）
高幡広域圏	女性	40歳代	事務職	市内ばかり道路整備しないで、地方の土砂崩れを早くなおしてほしいです。
高幡広域圏	男性	50歳代	技術職	四万十町の志和興津線、もう少し早くどこでも行き違いが出来るようにしてほしい。切実です。
高幡広域圏	男性	40歳代	労務職	地震などの災害に備える道路のヘリポート。無駄になる道路整備はしない。
高幡広域圏	男性	40歳代	労務職	その地域に住む人が少なくても、やはり生活上必要性のある道路整備はやるべきだと思います。少しばかり町の方ばかり通れる道でも整備を繰り返してやっているので意味がない。山にも人は住んでいるのです。
高幡広域圏	男性	50歳代	労務職	高速道路の早期全線開通を願う。
高幡広域圏	女性	40歳代	主婦	必要ないと思うような工事が行われている。少しばかりの舗装の修理より優先させるものがあるのではないか。
高幡広域圏	女性	60歳代	主婦	今ある道路を安全に利用できるよう整備し、財政を圧迫する新しい道路の建設は控えるべきだと思います。
高幡広域圏	男性	30歳代	無職	無意味な２車線道路や歩道を整備した規格通りの道路整備よりも、地形やコストを重視した普通車がすれ違える程度の改良を行えば延長も延びるし、安全性や環境に優しいものになると思う。これは国の補助に頼った予算で改良を行うためであり、国の制度を見直す必要があると思う。
高幡広域圏	男性	40歳代	無職	道路整備と産業振興は同時進行は難しいと思われます。地震に備えた道路の整備は予算内で取り組むべき。
高幡広域圏	男性	60歳代	無職	県道の草刈をもう少し上部まですること。約4m上部まで。
高幡広域圏	男性	60歳代	無職	中山間地域の県道整備の進捗が近年とくに遅れている。財政が厳しいことはわかるが、もっと財源を回してほしい。
高幡広域圏	男性	70歳以上	無職	県内道路とはいえ、国道、県道もある。国道でも三桁の道、例えば国道439号など(例えば高岡郡、幡多郡下)生活、通勤道で早期に整備する要あり。教職員など遠距離通勤に苦労している。
高幡広域圏	女性	70歳以上	無職	必要順位を見極めて進めていただきたい。
高幡広域圏	男性	50歳代	その他	四万十市までの高速道路を延ばすこと。

高幡広域圏	女性	50歳代	その他	舗装のやりすぎ（ハグ、埋める、アスファルト）の毎回同じ所を作業している。
高幡広域圏	男性	60歳代		今ある道路など点検整備をすることが先だ。
高幡広域圏	女性	70歳以上		道路の整備もよいと思うが、我慢できるところは我慢したほうが良いではないかとも考えます。
幡多広域圏	男性	50歳代	農林業	道路は元々人の道（人に優しい道でなければ）。車はそこを通行させてもらっているという感覚でないといけない。
幡多広域圏	男性	50歳代	農林業	道の整備をすることを悪いとは言わないが、必要な所と不必要な所を改めて考えてほしい。
幡多広域圏	男性	60歳代	農林業	国道441号の整備を早くしてもらいたい。
幡多広域圏	男性	70歳以上	農林業	土佐清水市は幡多県民病院に通じる三原線が一番近いですが、幅員2.5m位の狭い道で通行困難な市道である。これを整備してください。
幡多広域圏	男性	70歳以上	農林業	中村～江川崎間の道路改良を早期に完成してほしい。
幡多広域圏	男性	70歳以上	漁業	旧西土佐村への道は交通量も多く、また制限速度を守らず走る車などあり、観光に行くのにも重要と思います。
幡多広域圏	男性	60歳代	商工サービス業自営	須崎、中村間の高速道路を早急に実現してもらいたい。
幡多広域圏	男性	70歳以上	商工サービス業自営	県財政が厳しいことは知っているが、黒潮町では商店街では学校通学もできない。裏の細道を通っている。県は見て何とかしてほしい。
幡多広域圏	女性	60歳代	商工サービス業自営	道路が良くないと観光客や他県の人たちも来ない。高速道路も早く進めてほしい。
幡多広域圏	男性	50歳代	事務職	自然環境に配慮した整備をしてほしい。
幡多広域圏	男性	50歳代	事務職	全国一道路整備が遅れている高知県が第一にすることは、何をおいても道路整備。全国の県庁所在地に行くのに３時間も時間を要するところはない。そこを県も考えるべきである。
幡多広域圏	女性	30歳代	事務職	「今、そこを工事する必要があるのか」と思う工事をしているように思う。同じ所を何回もやり直している。工事を請け負う業者の技術不足でしょうか。
幡多広域圏	女性	30歳代	事務職	中心部は整備されているところは多いと思いますが、西部の方になると歩道が狭かったりして自転車（特に子供の通学）と歩行者が道路に出てしまったりということがあるので、ガードレールを付けるなど歩道の整備をしてほしい。
幡多広域圏	女性	40歳代	事務職	道路整備は財政が厳しくても必要だと思うが、そればかりを重視して住民の生活が苦しくなるような増税や制度の切り捨ては考えなくてはならないと思う。
幡多広域圏	女性	40歳代	事務職	とにかく全地域への高速道路を希望する。
幡多広域圏	女性	50歳代	事務職	国の三位一体の改革に異論があります。高知県のような僻地のための国の補助金をぜひ考えてもらいたい。経済活性化のためにもぜひ。
幡多広域圏	女性	50歳代	事務職	高速道路の早期完成
幡多広域圏	女性	20歳代	技術職	国道なのに国道らしくない道がある(例、西土佐、江川崎)
幡多広域圏	女性	20歳代	技術職	良い道路ばかり整備しないで、山から出てくる道など他に整備したらよいと思うところがたくさんあります。
幡多広域圏	女性	40歳代	技術職	日常生活に利用する道路なのに災害に弱く、落石など絶えず心配しながら通っている状況なので、整備は速やかに進めてほしい。
幡多広域圏	男性	40歳代	労務職	県民すべての生活道を整備すべき。必要性のない整備は無駄。
幡多広域圏	女性	30歳代	労務職	歩行者、自転車の人々や、体が不自由で車イス生活をしている人たちにも優しい道路があったら良いと思います。
幡多広域圏	男性	50歳代	管理職	災害対策、観光などの面からせめて行き違いのできるくらいの道路整備を早急に進める必要があると思う。
幡多広域圏	女性	40歳代	主婦	人家のない所へ巨大な道ができてみたり、必要最小限にすべきだ。
幡多広域圏	女性	40歳代	主婦	台風が来る度に道路がつかる状況でありながら財政難のせいにして何もしないのはいかがなものか!!通学路に街灯が少ないのも危険で困る。
幡多広域圏	女性	40歳代	主婦	まず「道ありき」という考え方は古いかもしれませんが、高知県のように他の交通手段がこれから先も発展するとは考えられない地域においては、道路整備が重要であると思います。すべての面において活動力アップにつなげていけると思います。

幡多広域圏	女性	50歳代	主婦	四万十市までても一日も早い高速道路の整備をお願いいたします。
幡多広域圏	女性	60歳代	主婦	県内全体の道路整備の確認をする。
幡多広域圏	女性	60歳代	主婦	国道441号・四万十市～江川崎までの道路整備をしていただきたいと思います。
幡多広域圏	女性	60歳代	主婦	へき地の道路をもっと整備してほしい。
幡多広域圏	女性	70歳以上	主婦	四万十川の周囲の道幅をもう少し拡張してほしい。せめて対向車がスムースに行けるように。
幡多広域圏	男性	60歳代	無職	人間に優しい道路整備を
幡多広域圏	男性	70歳以上	無職	８の字ネットワークを早く完成し、それを支える幹線道路の整備を促進すべき。（321ロード）
幡多広域圏	男性	70歳以上	無職	高速道路の早期完成を。
幡多広域圏	男性	70歳以上	無職	山間地の二車線の難しい所は、せめてカーブの切り取り、待避所の増設を望む。
幡多広域圏	女性	60歳代	無職	車の少ない農道が立派で、交通量の多い県道28号は落石注意のところがたくさんある。国は予算を県道に力を。
幡多広域圏	女性	60歳代	無職	高速道路を中心に無駄な道路はもう必要ない。地域の過疎化が進むだけ。時間的に都市が近くなりますます地域は廃れます。
幡多広域圏	男性	60歳代		道路整備は段々に良くなっていますが、国道、県道、町道の舗装工事の基盤の不備のため、デコボコで大雨が降れば凹んだところに水がたまり、行き交う車が水をとばしてあっていて、歩行者等困り、もっと良い工事をする必要があります。幡多道路建設に注文してほしい(国道321号は特にひどい)。
	女性	50歳代	その他	都市計画の道路整備で、全然必要のない道路をつくろうとするのはやめてほしい。立ち退きや住宅計画上迷惑だし不安です。そこに住んでいる人達の意見も聞いてください。

問32　県が産業政策の面で今後、特に重点的に取り組むべきものはどれだと思いますか。

（3つまで○印）

		サンプル	安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み	農林業の担い手不足や高齢者の生活支援といった中山間地域の課題に対する支援や地域の元気づくりに向けた取り組み	海洋深層水やゆずといった本県のほこる地域資源を生かした食品加工など、一次産品の付加価値を高めるための取り組み	雇用の面ですぐに効果が期待できる企業誘致を進めるための工業団地の造成などの取り組み	紙や農機具といった地域に根ざした地場産業の振興を図る取り組みや産学官の連携で研究してい る高知発の技術による新たな産業育成
総合	実　数	1,908	1041	691	361	592	299
	%	100	54.6	36.2	18.9	31.0	15.7
性別	男　性	806	52.2	39.7	20.0	32.1	18.1
	女　性	1,057	57.4	34.4	18.7	30.9	14.1
	無回答	45	28.9	15.6	4.4	13.3	8.9
年代別	２０歳代	168	49.4	30.4	28.6	27.4	14.9
	３０歳代	267	46.4	34.1	22.8	31.8	14.6
	４０歳代	272	57.7	33.5	22.8	34.6	14.0
	５０歳代	435	50.8	39.3	18.9	32.6	18.6
	６０歳代	368	60.9	39.9	15.8	29.9	17.7
	７０歳以上	352	62.5	37.5	14.2	31.5	13.4
	無回答	46	26.1	17.4	0.0	8.7	8.7
職業別	農林業	114	66.7	59.6	15.8	25.4	12.3
	漁業	10	60.0	20.0	30.0	50.0	10.0
	商工サービス業自営	140	46.4	34.3	14.3	35.0	14.3
	事務職	174	56.3	35.1	25.3	31.0	20.7
	技術職	187	45.5	30.5	23.5	28.3	18.2
	労務職	250	53.6	38.4	21.6	36.0	13.2
	管理職	58	46.6	37.9	19.0	37.9	27.6
	自由業	32	62.5	34.4	28.1	21.9	31.3
	主婦	306	61.8	33.0	19.9	29.1	15.0
	学生	26	50.0	34.6	30.8	30.8	11.5
	無職	379	57.5	39.1	15.6	31.1	17.4
	その他	159	49.7	32.1	17.0	35.2	9.4
	無回答	73	42.5	23.3	4.1	16.4	6.8
世帯構成別	本人のみ	223	52.9	35.4	16.6	25.1	17.5
	本人と配偶者	463	59.0	36.5	17.3	35.4	14.0
	本人と子ども	106	51.9	36.8	12.3	42.5	17.0
	本人と配偶者と子ども	529	54.1	36.7	21.6	32.3	16.3
	本人と配偶者と親	90	58.9	36.7	18.9	36.7	21.1
	本人と親	203	43.8	36.5	25.6	25.6	18.2
	３世代以上の世帯	168	58.9	43.5	20.8	28.6	13.7
	その他	76	67.1	31.6	15.8	21.1	13.2
	無回答	50	34.0	12.0	2.0	14.0	4.0
世帯の年間収入別	0～100万円未満	164	51.2	34.8	14.0	26.8	12.8
	100～200万円未満	292	54.1	39.4	18.2	29.8	16.1
	200～300万円未満	392	56.9	35.7	17.9	37.8	15.3
	300～400万円未満	250	55.6	37.2	18.4	35.6	17.2
	400～600万円未満	334	56.0	35.0	24.3	33.2	16.2
	600～800万円未満	165	55.2	37.0	21.8	28.5	20.0
	800～1000万円未満	85	64.7	35.3	22.4	18.8	22.4
	1000万円以上	89	50.6	32.6	25.8	22.5	14.6
	無回答	137	43.1	35.8	7.3	21.9	6.6
子どもの状況別	就学前の子どもがいる	188	51.6	31.9	23.9	34.6	13.3
	小学生の子どもがいる	224	52.2	28.6	17.9	33.9	12.9
	中学生の子どもがいる	155	60.6	36.1	18.1	34.2	16.1
	高校生の子どもがいる	163	60.1	37.4	18.4	38	12.9
	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	59.0	41.0	19.2	26.9	13.5
	その他	1,139	55.1	37.0	19.5	28.8	17.9
	無回答	217	48.8	36.4	14.7	31.3	8.3
広域生活圏別	高知市	806	50.0	32.0	22.7	28.7	16.4
	安芸広域圏	157	61.1	35.0	26.8	36.3	14.0
	南国・香美広域圏	255	55.7	38.0	13.3	37.6	18.8
	嶺北広域圏	41	51.2	56.1	22.0	39.0	12.2
	仁淀川広域圏	180	54.4	33.9	16.7	27.2	20.6
	高吾北広域圏	65	63.1	46.2	16.9	20.0	6.2
	高幡広域圏	160	60.0	41.3	11.3	31.3	11.9
	幡多広域圏	235	59.1	41.3	14.0	34.0	13.6
	無回答	9	55.6	44.4	11.1	0.0	0.0

（単位：人、％）

中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、にぎわいのあるまちづくりを進めていくための、商店街や商業まちづくりを中心としたまちづくり振興	よさこい祭りなど本県の文化・伝統や自然を生かした観光の振興、交流人口の拡大に向けたスポーツ大会の誘致などの取組み	県民の命を守り、地域間の格差を是正するために必要な道路の整備など、産業振興の基盤となる社会資本の整備	循環型社会の先進地を目指した取組みや、高齢化社会に対応するための福祉・健康サービス分野での新たな産業創出への支援	その他（詳細は219頁参照）	無回答
501	267	516	669	40	82
26.3	14.0	27.0	35.1	2.1	4.3
22.3	15.3	32.1	33.0	3.1	2.7
30.2	13.6	23.7	37.6	1.4	3.1
4.4	0.0	13.3	13.3	0.0	60.0
32.1	25.6	20.8	26.2	6.0	1.8
28.5	24.0	21.7	34.8	2.2	1.5
25.4	18.0	28.3	34.9	2.9	1.1
25.1	12.9	29.0	36.6	1.8	2.5
23.9	6.0	28.8	41.3	1.4	4.1
28.1	9.4	30.4	33.2	0.9	5.7
13.0	0.0	15.2	19.6	0.0	56.5
9.6	13.2	36.8	28.1	3.5	1.8
20.0	0.0	30.0	40.0	0.0	10.0
38.6	16.4	27.1	39.3	2.1	2.1
19.5	16.7	28.7	33.3	2.3	1.1
25.7	23.0	20.9	41.2	2.1	3.2
26.8	17.2	28.0	34.8	2.8	2.0
31.0	15.5	29.3	32.8	3.4	0.0
6.3	12.5	18.8	56.3	0.0	0.0
30.7	10.8	25.5	33.3	1.0	3.9
42.3	30.8	23.1	23.1	3.8	0.0
26.1	9.8	29.6	35.9	0.5	5.0
29.6	13.2	28.3	37.1	4.4	1.9
19.2	2.7	13.7	21.9	4.1	39.7
28.3	12.6	24.2	38.6	2.7	4.0
24.8	9.5	28.9	40.4	1.5	4.1
30.2	14.2	25.5	37.7	0.9	3.8
27.4	16.8	28.0	33.5	2.1	1.7
21.1	13.3	31.1	32.2	2.2	0.0
30.0	17.2	28.1	28.1	2.5	3.4
23.2	14.3	27.4	31.5	4.8	3.6
27.6	23.7	19.7	40.8	0.0	2.6
12.0	4.0	14.0	18.0	0.0	52.0
28.7	15.2	27.4	34.1	2.4	6.1
26.4	13.4	24.3	38.0	2.4	2.7
26.5	14.3	29.8	33.4	1.5	2.3
27.6	12.8	28.4	40.0	1.2	2.0
26.3	15.0	26.6	36.8	2.4	1.5
21.2	17.6	33.3	29.1	3.0	1.8
28.2	14.1	18.8	41.2	0.0	1.2
29.2	20.2	23.6	31.5	4.5	4.5
22.6	4.4	22.6	27.0	2.2	27.0
30.3	21.3	26.1	29.8	1.6	1.6
26.8	17.4	26.3	42.0	4.0	3.6
23.2	9.7	33.5	38.7	3.2	1.3
20.2	15.3	32.5	33.7	3.7	1.2
28.2	15.4	30.8	34.6	2.6	1.3
26.8	12.5	27.6	36.1	1.9	3.8
25.3	13.4	21.2	29.5	1.4	13.4
35.2	16.5	20.1	35.0	3.0	4.7
12.1	10.8	39.5	28.7	1.9	4.5
21.6	10.6	25.1	42.4	1.6	3.5
12.2	14.6	34.1	24.4	0.0	2.4
25.6	13.3	29.4	39.4	1.1	2.8
23.1	12.3	27.7	26.2	3.1	4.6
16.9	13.8	30.0	31.3	2.5	6.3
19.1	12.3	39.1	35.3	0.4	3.4
55.6	11.1	33.3	33.3	0.0	11.1

Ⅶ　その他

〔自由回答〕

「その他」自由記入

問1　副問1（問1で「1　関心がある」「2　やや関心がある」と答えた方のみお答えください。）
その理由は何ですか。

・介護に関する仕事をしているので、介護保険制度については特に知っておきたい。
・行政の情熱、取り組み姿勢を確認要。この調査票はどのように反映されるのか？結果、質問に対する回答の連絡乞う。単なる調査にならぬよう希望。
・県としての明確な取り組みが見えない。
・子どもに障害があり、子どもの将来の暮らし、自分の死後のことを考えると県の施策は非常に重要なので。
・子供や孫達にも将来にわたって住んで欲しいから。
・市町村合併の問題。特に地域の歴史的行事、文化がどんどん消えているため。
・自分の暮らしを良くしたいから。
・全てについてなぜここまで低迷しているのか。不用な区画整理、新しい道路整備について、県は考えているのか知りたい。
・税金、年金問題などの不安な面が多々あるから。
・不景気なのでなんとかして欲しいから。

問1　副問2（問1で「4　あまり関心がない」「5　関心がない」と答えた方のみお答えください。）
その理由は何ですか。

・希望が持てないから。
・給料は最低なのに物価は都会並みに高く住みにくいため。
・行政が何かしているにしても生活が改善されないから。
・県職員の生活に関係のない地域はどうでもよく、協力もないので望んでも無駄なようです。職員の教育をするべきではないでしょうか。
・自分の生活で手一杯で余裕がない。
・誰が何をやってもあまり変わらないから。
・地方には良い動きがあるように思えない。
・何も変わらないから。

問2　県民の声を県政に活かすためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。

・いま高知県が何を必要としているか、何をすべきか、いろいろあろうがメディアを活用してもっと県民に伝達してほしい。
・関心がない
・具体的に提案することと、話し合い考える機会を持つことで、少しは県民の声が聞けるのではないでしょうか。
・県がすることを少なくする。
・県議、知事が責任を取らない仕事を職員はしてはいけない。知事には退職金は支払ってはいけない。ブラジル、インドネシア、スリランカ、その他中国など外国出張に妻を同行させ旅費を支払っているのも知事では問題だ。
・県議会議員も県職員の一員として、地域の声を聞く。
・県職員が親方日の丸の考えを捨て、県民の立場に立ち給料を減らし、それでも県のためにと働く人のみを採用し、県民から選出された知事の言うことを聞くこと。
・県職員が土・日に動く（平日に動いてもみな仕事に出ています。）
・県職員の意識改革
・県民の声を聞いて公表（自治会、常会単位で）
・高知で格差の最底辺にいるたくさんの人々に、直接話を聞きにいくこと。
・市町村との連携を強める。もしくは市町村とのつながりの仲介者としての役割を強める。
・タウンミーティングのようなものがあればぜひ参加してみたい。

・住民との話し合い等を持ったら、その結果に対する県の姿勢、考え方をはっきり公表すること（いくら話し合っても県の考え方がわからない。）。
・情報公開を具体的事例で公表すること。中央からの三位一体改革等具体的にわかりやすく公表すること。地方は小泉政権にやられた感覚を持っているがそれが県政にどのように影響しているのかわかりやすく公表すること。税収の少ない本県と東京都との比較など県民に知らしめるべきである。
・他県の良い点を積極的に取り入れる。
・ただのアンケートではなく、商店街などで議論に加わってもらえるような形式のイベントをやってほしい。
・例えば、高知大学朝倉キャンパス移転は朝倉地域の人の意見だけ聞いてよいとは思われない。
・知事が特に全住民の声を聴く姿勢が必要。
・知事や県職員が県民を敬う気持ちを持つこと
・何のためにという目的を明確にすること
・老人の多い高知県にはインターネットはあまり普及していないので、インターネット中心になりつつある現状はよくないと思う。

問4　新規に高校を卒業した方が県外で就職する割合は、平成 14 年度に 24.8%だったものが、平成 18 年度には 48.2%に上昇しており、高校を卒業して就職する方の約2人に1人が県外へ流出しています。
このような状況をどう思いますか。

・県外企業の誘致（７）
・県内企業に魅力がない。（２）
・企業誘致。企業を育てる土壌づくりなどが必要。
・企業誘致や新規産業創出など雇用の機会を増やす手だてを考えるべき。
・自動車産業など雇用人数の多い工場などの誘致が必要。今回の東洋町の例など何事もよく考えず反対のみの高知県の県民性は問題。
・大企業の誘致等、県としての努力が不足しているように思う。
・県内にもっと大企業が入ってくれるといい。
・大企業がないため。
・県外は大きな企業がたくさんあって魅力的です。不景気の中、とくに若い人は思うのではないでしょうか。そうした中でも、どんな状況であっても企業に依存しないで自分たちで何かを成し遂げようとする若い希望に満ちた若者を学生の頃から育てていくことも大切だと思います。
・若い人が働きたいと思うような職場の確保
・県知事、行政の頑張りが足りない。
・県内企業に有利に働きかけていない。地元企業を無視しているような感じがする。
・県内にも優れた企業があるのなら、その情報を積極的に提供していく。
・県内の企業がどんどん低迷していく。
・県内の優れた産業や産物を世界中に発信していって、職種、仕事をつくらないといけないのでは。
・県の産業をもっと活性化する必要がある。大きな会社がない。
・企業に力がない。
・高知県、市町村、経済界、国会議員などが連携し、働く場の確保を強化していくことが必要。
・高知県としての産業政策がいままで悪すぎる。
・高知市への集中も問題がある。
・高齢化を招く要因の一つになる。
・地元でもっと雇用の場を。
・収入の差
・政策によって地域格差を解消すべきある。企業の力のみでは対応しきれない。そうしない限り高知県は消えていくだろう。
・責任他人論をなくさなければならない。
・せっかく工科大や高知大学などもあるのに、その技術を活かせることなく県外に流れていくのに悔しい思いだ。
・選択肢１，２の仕方がないですましてれば、今後の状況は良くならない。また、雇用があっても給料が安いので県外へ行く。

・大学（県外）を出て高知に帰っても働く場所がない（企業誘致）。
・大企業が県内になく、県内企業では賃金格差が大きすぎる。
・中・高校での「職場体験」事業が無意味な年中行事となっている。実際に賃金が支払われる体験をするべき。
・倒産する会社やその予備軍が多いので、安定を求めるなら県外流出は仕方ない。
・一人暮らししたときの家賃をもっと安く出来れば安い給料でも高知で生活できる。高知は田舎なのに家賃が高すぎる。
・もっと地域の活性化や県の産業の見直し
・もっと賃金を出せば残ってくれると思う。
・臨時採用が多すぎる。きちんと採用して育成するべきでは。
・若者が誇りに思う高知県にすることが大切と思う。そうであればより若者が高知に留まるようになると思う。
・若者に高知のことをもっと教え、興味がわくように仕向ける。
・一次産業に重点を置けば。自給率向上のため中山間地には、昔、多くの人が住んでいたのだから、都会で生活保護を出してはだめだ。
・県外に一度出てみるほうが良い。井の中の蛙にならないため。

問5　あなたは主にどのようにして就職しましたか。（就職しようと考えていますか。）

・新聞求人欄（１５）
・自営業（８）
・家業（７）
・農家（６）
・採用試験（５）
・公務員採用試験（４）
・夫の家業
・教育委員会へ臨時登録
・臨時職員（県教員）に申し込む
・教員の採用試験
・広報の公募を見て
・バイト先にそのまま就職
・実習先に声をかけられ就職
・張り紙を見て
・身近にある疑問が仕事になるように考えて
・自らの判断で職種を選び就職した。
・自分で売り込み
・自分で決めた。
・司法書士の受験のため司法書士会を活用
・県Ｕターン事業
・父親の会社に勤めた
・手伝いの延長線
・希望する職種に関する情報を自ら得るために行動した。
・県外の国立看護学校を卒業したので、帰って働くには国立病院でと思った。昔のことで、看護学校の費用は全額国でみてもらったから。
・親の子だからその職を。また希望した職業だから。
・県内に仕事がないので就職していない。

問7 「ジョブカフェこうち」では、以下の1～4のようなことを行っていますが、今後どの機能をさらに充実すればよいと思いますか。

・もっと宣伝をしてください。（４）
・インターンシップ（２）
・企業への人材の斡旋
・アフターサービスの充実。
・組織を大きくしても就職は限られている。
・就職、求人情報量を多くする。
・行けばすぐ見える情報があればいい。
・身近に情報を得られる方法
・雇用の拡大、起業の支援
・充実の必要なし。
・労働条件などについての法の説明。
・仕事の大切さを教える。
・国、県、市町村の情報共有、連携
・個人が自立、開拓する考え方の指導も必
・小さな子供のいる女性のための窓口
・時々郡部に出張して相談窓口を開設。
・何の役にも立っていない。
・民営化
・若者だけでなくＵターン青壮年の働く場の情報がほしい。
・来てくれる人を待つのではなく、学校等に出かけて情報発信するべき。
・街頭、自宅で就職難民、フリーターに直接声がけをする。

問9　県の雇用対策として最も重点を置くべき対象者はどの層だと思いますか。

・全ての年齢層に重点を置かなければいけないと思う。（１５）
・35～45歳（２）
・層に関係なく、正社員、社会保険等保障のあるパートの雇用を増やすべきである。
・層の問題ではない。
・「働きたい人全てに」です!!
・年齢に関係なく働く意志の強い人
・年齢に重点を置く性質のものではないと考える。
・働きたいと思う人が働ける環境を作るべきであり、区別するのはおかしいと思う。
・本当に仕事をしたいと望む人全て。
・どの層というのではなく、全ての層に対してお願いしたい。自分の将来、子供の将来を考えるとどの層とは言い難い。
・やる気のある方
・上記の全てに重点を置かなければならない。
・歳に関係なく働いて生活しなければいけない人が最低の生活が出来るように。
・歳は関係ないのでは。採用人数を増やすべき。
・どの層が重要であるかとか一応には答えがでません。なぜなら、若者はこれから結婚・子育て、中高年にはそれなりに社会的地位を守らなければならないし、高齢者は晩年の後始末代を蓄えなければならないですから、どの年代にも働く場所は必要です。
・１～６まで全てに当てはめて欲しい気持ちです。
・仕事がなくて生活が実際に困窮している人
・30歳～60歳
・30歳を過ぎると求人が少なくなります。なので30歳以上はどの年齢にも重点を置くべきです。
・60歳以上の元気な人。年金だけでは豊かな老後はおくれない。先輩の智恵と技術を活かした雇
・家庭のある方全て。扶養者の失業は離婚や児童のさまざまな問題につながる可能性がある。
・失業率が最も高く、求職率が最も高い層に重点を置けばよいのでは。
・新規学卒者だけでなく、年齢にこだわらず（職種により年齢は異なるので）、中途採用の人を増やす。中途採用でも優秀な人はいると思う。
・小さな子供がいる女性
・低所得者

問10　これからの教育を進めていくうえで、どのような取り組みや支援が必要だと思いますか。

・「なぜ学ぶのか」の目的の明確化。自分のための学びを教える。
・ＰＴＡ、保護者の考え方を変える(あまりにも自分勝手)。
・今では考えられないと思われるかもしれないが、塾のない社会。教育は学校で行われるようにならなくてはならない。
・今の親、再教育。子育てが出来ないのが問題。子供が子供を教えても社会人にはならない。
・お金持ちの子どもだけがいい大学へと進めるのはおかしい。教育はみな平等であるべき。
・親の経済力の差による学力の差の問題への対応
・格差のない教育現場。社会人になるための教育課程導入
・学力向上ばかりでなく、人としてのありよう、他の人に対する思いやり等が育つ教育が良いと思います。
・学力に力を入れてほしい。
・学力も大事だが、常識のわかる子供を育てる。
・学校・地域・家庭の役割分担と連携、協力のために各々が尽力すること
・学校に行くことを楽しみにさせる工夫を。
・家庭・親の教育、学業より生活面から指導が必要。
・家庭できちっと朝御飯をたべさせる。夜更かししない。
・教育委員会（特に地方）にもっと現場教員の意見が通るようにする。
・教育委員会、行政の教育への強制ではなく、自由・自主性の強化
・教育委員会及び行政の意識改革(役所仕事はやめて)
・教育とは何かと言うことを各家庭で考えるべきだと思います。子供は家庭・地域で育て、学校は勉強・団体生活など教えてもらえる場であります。分担をしっかりしていただきたい。

・教員採用時の面接などしっかりと教師としての見極めをすること（教員として失格者）。教師は少なくしないで子供の教育に力を入れてもらいたい（少人数学級）。
・教員数を増やす。20歳代、30歳代の人が少なすぎ。いびつな現在の年齢層では、今後ますます教育は大変になる。
・教員の民間よりの登用
・教師の数を増やし、ゆとりある中で教育できるようにする。
・教職員の威厳を高める。校則違反罰則を強化する。
・多少の体罰（２）
・工場見学など
・高知県について学ぶ。
・高知県のみの教育法をつくり、高知人に合う教育法を考え実施する。
・高知の公立中学校でいま起こっていることは、その生徒や親だけの問題ではないと思われる。成績のよい問題児が次に問題を起こし、教師も見て見ぬふり。例えば、元教師のボランティアグループに月に１回学校参観してもらうか、校内の荒れた状態を県民に知らせ、皆で知恵を絞り、不登校をなくさないと未来はない。
・高知や日本の文化・伝統をきちっと教えていく取り組みが必要だと思います。
・個性に応じて指導すべきかと思う。
・子供に悪い影響を与える教師はやめさせるべき。
・子供の教育の前に親の教育が必要。
・時間が少なすぎるために（４）が進むと思う。土曜日を休日にすべきではない。
・質の高い授業を教師がするためのゆとりが必要だと思う。例えば、課外活動の指導などは教師がしなくても学校外から指導者を呼んでもよいと思う。教師の必要外の仕事量・時間を減らし、教師のゆとりを持たせることで授業への工夫を考える余裕も出ると思う。
・週５日制をやめて、６日制にして学習時間を増やす。
・将来どんな仕事があるのかを学ぶ時間をとり、どんな仕事をしたいか、どうすればなれるか、文系か理系かなど具体的に毎年子供に投げかけて考える機会を与える。
・所得の低い家庭の子が国公立大学へ進学できる道を確保すること
・先生方の時間的なゆとりを生み出して欲しい。
・先生達や子供達にもっと伸び伸び楽しい教育が出来るような工夫をしてください。
・その科目の教員免許がないのに、臨免でそこらへんの知識者や看護師が教育現場に長年いることは中止
・耐える力、順応性の向上
・正しい日本語の使い方、道徳の勉強
・地域、地元に密着して、自分の住んでいる所をよく知り、魅力を見つけ愛するような教育
・中学生になっても足し算、引き算ができない子供がいます。小学校に行っていないのか、わからないのか。中学校の先生方が夏休みに教えている状況があります。
・低所得の家庭は塾へ行けない。そのため、プリントなどの支援など
・道徳教育は必要。愛国心、愛郷心等についても教える必要あり。現状では日本の将来は危ない。
・道徳の時間をつくる。
・何か事が起こるとすぐ学校のせいにするけれども、私は家庭の教育が大事だと思う。思いやりの心を持った子供に育てることが大事だと思う。昔のように、道徳教育が大事だと思う。
・人間性としての教育が親、学校共にできていない。いじめの問題は学校だけでなく親にも責任がある。大人への人間性の教育が必要。
・非常識な親から教師を守る。
・不適格な教師は免職にする制度をつくる。
・保育所を民間委託してはだめ。彼らは未来の納税者。県が市町村をサポートし、民間委託はダメ。
・保育料や給食費が払えるのに払わない人への厳しい対応や一般社会人としてのモラルについて、学校でもいじめその他の様々な状況に対して忙しく大変だとは思いますが、もう今の家庭では出来なくなっているので、学校での取り組みに期待するしかない気がします。テレビで見ましたが、数名がチームになって一つのテーマについて自分や相手の考えを述べ合って、相手の（自分以外の）、他人の考えを学ぶという授業は良いと思いました。
・保護者が教職員の指導に対して文句などを言わない。今の子どもは過保護
・保護者の考え方にも問題。親から変わらないと無理。給食費や保育料の未払いなど。
・保護者の教育（２）
・保護者の教育観を見直す必要があると思います。
・母子家庭や低所得世帯へのフォロー。金銭だけでないもの

・文科省的な教育方針だけでなく、リテラシー的な学習で国際的にも活躍できる人材づくり。数十年後には現在の国内での就職活動ではなく、国際間での就職活動が主流となってきます。国内外に目を向けることができる教育ができていない人材は必要とされない時代へと移り変わりつつある現在、指導する教育者や管理する行政側の考え方や視野を広げていく努力も必要だと感じています。児童の保護者が現在の学校教育には満足していない現状を理解していない行政側に問題が大いにあると考えています。

問12　子どもたちの安全を守るためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

・親の子どもに対する教育の徹底（３）
・ＩＴ関連グッズで身辺情報を取る。
・登下校をメールで知らせる。
・安全にするだけではなく、子どもにも何が危険なのかを教育する場が必要。
・今の子供は過保護すぎている。自分のことは自分で守るくせを小学生の時から教えていかなければならない。
・大人一人ひとりが声を掛け合ったら。
・親自身が管理。
・各家庭での努力
・親の教育
・保護者が車などで送迎すべき。
・保護者一人ひとりの親としての自覚
・子供達自身にも安全についてよく理解させる話し合いの場が必要。（３）
・学校、家庭、地域などで子供たちへの指導。まずは子供たちが判断できる力を養う。外敵からの防御、地域全員で目配せする、声掛け合う。ルールを守らないものは子供も大人も人間として扱うことにあたってそれなりの罰を与える。
・学校、地域住民はもちろんですが、保護者がしっかり守ること。
・学校、保護者、地域全てが一緒にすべき。誰かにお願いするべきではない。
・学校教育（子供同士の関係の希薄化が問題）。費用をかければいいと思っているのが問題
・学校などで武道を教える時間をつくり、大人、子どもが一緒に護身術を習う。
・学校より一定範囲の大型車通行禁止。スピード違反の徹底取り締まり。
・家庭での子どもの教育。リスク対策は重要。
・家庭内暴力を受けている生徒の保護
・クラブ活動は暗くないうちに家に帰すようにする。
・警察官が室内でクーラー等にあたり、椅子に座っているくらいなら学校や登下校時間帯に警備をすべき。無駄ではないと思います。警察は犯罪が起きてから動きます。管轄にとらわれず、困った人がいればすぐ対応すべきだと思います。
・警察官の強化。真夏になると全く行動していないから。
・警察官の増員。
・校区によっては、不審者がいても民家や通報できる場所もない危険な通学路があります。通学路の安全対策を今一度見直して対策していただきたい。
・国道を渡る際、信号停止のボタンを押して待つ時間が長いように思います。もう少し待つ時間が短くなれば、子供達も飛び出さないと思います。
・子供が危険なことをしていることを学校に通報することも大事。地域の住民が気にしてよく見ていることも大切。
・自分の子供の小さいときは、町内会で夏祭りをしたり、子供会でカレーライスを作ったりして地域で子供を育てていた。地域の安全パトロールの人に話を聞くと、登下校の時に子供が困っていて声をかけても知らない人と思い最初は断られていたが、毎日顔を合わすうちに挨拶をするようになったそうです。そういうつながりが一番大事と思う。
・社会の物差しを正すことが先決と思う。日本全国西洋式メジャー→日本式物差しへ
・住民どうしの交流
・スクールバスによる通学
・地域住民がコミュニケーションをとれる機会をつくる。個人情報保護法の誤った理解を正す。
・大学生や専門学校生を利用すべき。（教職志望、警察官志望など）
・地域が一体となれるような取り組み。
・地域住民が子供に関心を持ち、父兄が腹をたてない。
・不審者に対する取締の徹底強化
・防犯ベルはあまり役立ってないと思います。児童が親と一緒に通学路を一度歩き、危険な場所、気をつけなければならない所など児童本人に自覚させ、対応の仕方を日頃家庭で話し合っておく。

・マスコミの劣悪番組など自粛
・みんなで声かけできるような地域の交流や活動
・早期からの性教育
・20～30年先を考えた道徳教育

問13 副問1 （問13で「1」に○を1つでもした方（参加したことがある方）のみお答えください。）
活動をした際に課題と思ったことは何ですか。

・朝会った人には必ず頭を下げるか、おはようございますと言っている。
・運動などと称さないで、住民が自然にできるよう指導がほしい。
・活動内容がわかりづらく、どの団体が、いつ、といったことがはっきりしていない。
・今日参加ではなく、日常の生活の中でどこの子供でも見かければ声をかけるように地域の方々と努力し心がけている。
・現在、学校へいく年齢の子供を持っている人達には情報が入るが、そうでない人にはなかなか情報が入りにくいのでは。
・高齢者が多い。
・子育て中は全て参加、子供は親が守ること
・子供会の関係で参加。毎年役員を決めて誰かがやっているので続いています。
・子供達に声かけ、挨拶しても返事が返ってこない。
・生活に追われて、仕事をするだけで疲れている。
・防犯面で地域の中で知らない人には挨拶もしないが徹底しており、全く知らない人が参加しても反対に不審者になる。
・プロの指導が欲しい。
・保護者が主な活動者となりますが、核家族化の中では働く保護者の活動は制限されますのでシルバー人材さんや元気な高齢者の方々の力も必要ではないかと思います。
・見回る期間が限られている（夏休みのみ）。

問 13 副々問1 （副問2で「1 参加できる」「2 条件が整えば参加できる、参加してみたい」と答えた方のみお答えください。）
どのような活動に参加できると思いますか。

・自分が必要だと思った活動は何でもできる。
・土、日、祝などの交流会

問 13 副々問2 （副問2で「3 参加できない、参加したくない」と答えた方のみお答えください。）
参加できない、参加したくない理由は何ですか。

・子育て中で時間がないから。
・子供がいないため。
・子供が小さいため外出できない。
・障害者がいるから。
・障害者なので。
・乳児を抱えて余裕がない。
・自分に子どもがいないから。
・住民の質が悪く、関わりたくない。子どもが家庭内にいないから。

問14 子どもの非行を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。

・親の教育（２）
・大人がきちんと叱ること（他人の子であっても）
・親が親の責任を果たす。子供は子供の責任を果たす環境をつくる。
・保護者に善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教える場を設ける。
・「割れ窓理論」の実践
・愛情あふれた暖かい家庭は非行に走りにくいと思う。子供は誰でも人に認められるとうれしいので、礼儀が身に付く剣道や柔道をもっと気軽にできる場所を増やし、楽しく汗を流してほしい。

・安定した家庭
・帰りたい家庭があれば非行には至らないと思うので、子供が安心できる家庭づくり。そして、本人をどんな状態になっても受け入れることができる親の姿勢
・学校教育指導者の適度な体罰
・学校教員の質の向上（尊敬できるような教員を育成すること）
・学校でのしつけ
・子どもが困った時に相談できる所、人。先生や親に言えない、信用していない子どもたちのやすらぐ場所になれる所
・子供の心に寄り添える存在が必要だと思う。家庭・学校・地域を問わず。
・実際に非行経験のある方が学校などで勇気ある非行防止の講演を行う。
・シンナー、薬物の入手経路の根絶
・先生と子どもの人間関係を良くする。
・先生はサラリーマンではなく、聖職者として地域に入り込むべし。
・非行とは子どものシグナルであり、コミュニケーション不足からくるものだと思います。形ばかりの対応ではなく、特に親が「見る」「聞く」「話す」などの接し方できちんと向き合うことが大事であるのでは。
・本人の気持ちが一番大事。１人１人の気持ちの尊重

問15 副問（問15で「1 不安を感じている」「2 やや不安を感じている」と答えた方のみお答えください。）
あなたは、どのようなことに対して不安を感じていますか。

・右翼、暴力団の多さ、身近さ
・暴力団
・暴力団対策をしっかりと
・暴力団のヤミ金
・警察官があまり信用できていないため。
・警察の体制不備
・検挙率が100％でないこと
・交通ルールのマナー違反
・弱者に対する暴力、嫌がらせ
・社会が自己中心的なのであまりまわりが信用できない。
・生活の安定を求めて公務員になる人が多いので、治安を守れそうにない。
・地域内の放火事件や強盗事件などが解決していないので不安
・中高生の出会い系サイトがらみの性犯罪
・病院内の病人の様子
・不審者
・未成年の喫煙、飲酒
・政治結社の車両の横行
・精神異常者が増えている。
・性犯罪
・少年非行が目に付く。

問 16 あなたに医療や介護が必要となったときに地域や住まいで安心安全に生活するために、重要と考えるものは何ですか。

・５年前体調を崩し働きがなく、国保がなくなり問題外。税滞納
・あらゆる診療科目がある総合病院があること
・医師、看護師、その他のケアスタッフの質を向上させる機関がない。ハード面よりソフト面を充実させる。
・今の時代は経済面で子供に頼れない時代だから、お金のかからない最小限で診てもらえる施設をつくることが必要。
・介護してくれる人物の適性
・介護保険料の行き先
・介護や食事の相談・指導をする体制
・金がかからないこと
・金銭面でのサポート
・国の問題。負担ばかり大きくなっている。一方で、子供が親の面倒を見るという当たり前のことがおろそかになり、全て国、地域に頼る傾向、風潮が基本的に問題である。
・健康保険料負担が増加しているので公的健康診断の項目を増やしてほしい。
・現在の介護住まいは金額が高いので年金で利用できる安い介護住宅を多くしてほしい。また、介護職の賃金が安い。
・高度な医療技術や介護する側の人間性
・高齢者が安心して歩ける環境整備。ヨーロッパスタイルの学習を考える。
・高齢者の医療費の無料化
・高齢者よりも若年者の教育や、その他のケアの方が重要。

・在宅地域ケアか否かは、本人、家族の任意とすること。
・資金的に苦しい家庭を支える仕組み
・少ない年金でも入所できる施設
・全てにおいて必要になってくる金銭的なものが第一で、それをクリアーしないことには安心安全に家庭でも地域にでも頼ることができないので考えられません。
・低所得者にとって入院、入所、他施設入所等にかかる費用が高額のため負担が困難で、病院や施設の利用ができにくい方たちもいる。安心して生活するためには低所得者に対する助成などが必要。
・同居してくれる家族の負担を少なく。一人で老人ホームなどに入りたい人は少ないと思います。
・独居老人への対応
・認知症など高齢者の理解をする学習
・認知症の姉がおり病院でお世話になっています。地域、住まいも大切かもしれませんが、最終的には経済だと思います。
・病院にかかる費用などが介護される側に分かるように明示すること
・良い意味での「乳母捨て山構想」で、年寄りを自然豊かな場所に移して、元気な年寄りが元気でない年寄りの世話をする。その上で、医者も近くにいて、非常事態の時はすぐ対処できるようにする。人が人の世話をするということは大変ですが、みんながボランティア的発想でのぞんではどうでしょうか。

問17　あなたや家族に介護が必要となったときに、自宅で生活を続けるために必要と思う地域での支え合いや見守りはどれですか。

・１日１回の訪問サービス
・24時間ヘルパー派遣可能な体制
・希望はない。成りゆき任せ。
・信頼できる助力者（家庭内のケア）
・本当に安心して任せられる施設

問18　あなたが寝たきりなどの状態で医療機関に1人で行くことが困難となった場合、どのようにしたいですか。

・死を選ぶ（８）
・ＰＰＫを望んでいる。迷惑をかけてまで生きたくない。
・あちこちの自治体の有り様を見ていると、施策が機能しているとは思えない。全て金次第の社会に暗たんたる思い。
・延命支援は不要。
・家族に迷惑を掛けたくないので病院へと思うけど、できれば家にいたいのが本音。
・自宅で生活したいが家族への負担を考えると入院も仕方がないのかも。
・常時家族に介護してもらえる状況ならば１だが、そうでなければ２
・専門施設へ入りたい。
・治療が必要な時だけ入院したい。慢性的な病気であれば自宅に来てほしい。
・入院したいが、入院費が支払えるかの不安がある。
・入院したいが経済的な支援
・寝たきりになってまで生きようとは思わない。
・病気の内容によって入院か在宅療養が決まると思う。
・老人ホーム
・わからないので、何でもしてほしい。

問20　あなたが、地域の支え合い活動に、より参加しやすくなると思える条件は何ですか。

・高齢者65歳以上であること
・仕事の負担が減ること
・自分の仕事が暇になること
・地域のリーダーがいること
・和気あいあいで作業ができること
・就労時間的に無理があるので、社会的理解と理解ある職場づくりが重要と考えます。

問21 あなたが参加しても良いと思う地域の支え合い活動はどれですか。

・買い出し代行
・ゴミ出し場の番くらいのこと
・教育相談
・掃除や調理
・支え合いのニーズの窓口づくりが必要。宝のもち腐れ現象は知らないところで多く発生していると思う。

問23 自宅での医療や介護サービスが十分に受けられない地域に住んでいて、あなたや家族に介護が必要となった場合、住み慣れた自宅を離れて、医療や介護サービスが受けやすい高齢者向け住宅に住み替えをしようとした場合に重視する条件は何ですか。

・環境の良い所
・精神的に落ち着ける環境であること
・質の良い介護を受けられること
・スタッフに真心があること
・サービス提供側に入所したいと思わせるような対応が出来ていないこと

問26 あなたがお住まいの住宅の構造はどれですか。

・１階鉄筋、２階、３階木造
・鉄骨造、一部木造
・１階鉄筋、２階木造
・木造一部鉄筋コンクリート造
・軽量鉄骨構造
・木造鉄骨

問27 副問（問27で「２ したいと思わない」と答えた方のみお答えください。）
その理由は何ですか。

・お金がない。（４）
・あきらめている。自然には勝てない。
・ある程度の耐震性があるから。
・家の倒壊より津波の方が心配。
・一度、耐震診断に来てもらったが、構造上、診断しないと断られた。
・今の家と違って柱がしっかりしていると思う。
・こういった助成制度は手続きが面倒で、細かいことまで何度もやり直しの書類を書かされる。申請を簡単にしてほしい。
・高齢者ゆえに老後の蓄えを改修資金に回せないから、資金不足、体力不足、残り少ない人生のせめぎ合いの中で生活しています。
・したいなら自分でしたらいい。税金をそんな無駄なことに使ってほしくないから。
・大正時代の建物
・耐震が必要と言われても直す金がないから。
・近々、土地区画整理があるから。
・築３年なのでまだ手を入れたくない。
・築後10年くらいだから。
・引っ越しするから。
・古い家を改修しても安全は低く、金の無駄遣いのように思えるから。
・平成８年築で対象外なれど、平成12年５月基準には不適。従って筋交い金具など個人で補強の予定。

問28 どうすれば、住宅の耐震化が進むと思いますか。

・家はあくまでも個人財産であり、個々に責任を負うものであると思います。アドバイス的にその家の持ち主に告知することは可能ではないかと思います。診断士のような人の養成に取り組み、その上で後のことは持ち主が決めることではないでしょうか。
・可能であれば、職員（専門家も同行）が全戸（もしくは木造家屋のみ）の耐震調査を強制的に実施する（無償で）。
・義務化
・国の政治家を減らして余った税金を耐震改修費に回せばいい。

・建築時に、木材の場合とコンクリート（ＲＣ）のどちらが良いか明示すべき。
・構造上の差別をしないで、耐震診断を全ての家にやってもらいたい。
・詐欺に合いそうで被害を受けないようにする方法をお願いしたいです。どっちの被害も怖いです。
・自己責任
・自然に勝てるはずがないので、被害にあったときの保障を充実すべきではないでしょうか。
・全戸を無料で耐震診断
・耐震改修業者の不正やトラブルがなくなること
・耐震マンションに移り住みたい。65歳ですのでもうあまりエネルギーがないので今の家を売ってできればマンション型老人ホームに入りたい（ひとり暮らしなので）。
・築年数、住宅の構造に関係なく耐震診断、耐震改修の支援を県や市町村にしてほしい。
・賃貸している人は以上の恩恵に浴せないのでしょうか。危険度は同じと思われますが。例えば、公営住宅なら市町村役場に耐震士を送ってくれるようにとか、改修を頼むことはできないのでしょうか。
・年寄りの家では、耐震診断を受けたら高い工事を断れなくなると思って気軽に耐震診断を受けられないのでは。例えば、町内会の斡旋業者でまとめて診断を受ければ、改修工事費がなくとも断りやすく、隣がこんな改修をしたからうちもしようかと思うかもしれない。
・まずは住民の地震に対する意識の改革が必要。「地震は怖い」と思うだけで、命に関わることと本気で思っている方は少ないんじゃないでしょうか。今、高知県で地震保険加入者が増えているのも「家が壊れたら保険で直せばいい」と「事が起こった後に行動を起こす」・・・人の典型的な考えなのでしょう。まずはこの考えを変えることが始まりではないかと思います。
・リフォーム詐欺をなくすこと。あと金。貯蓄がないと無理

問30　副問（問30で「３　県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」と答えた方のみお答えください。）

財政が厳しいなか道路の整備より優先すべきだと思うものは何ですか。

・大雨や台風などでできた落石やコンクリートの切れ目を直してもらいたい。
・下水道整備
・工事にかかってから仕上がりまで時間がかかりすぎる(つぎはぎということ)。運転者としていつも感じる。どうしてこの部分の改修を先にせんのか。現在やってある所は、そこより後まわしでもよいと思う所が多い。
・子育て支援
・市街地の道路で違法駐停車の取り締まり
・渋滞ばかりしている道路がある一方で、本当にこの道は必要なの？と思えるような道路がある。バランスのとれた対策をすべき。
・商業振興資金融資
・税金の無駄遣いや公務員の給料削減

問32　県が産業政策の面で今後、特に重点的に取り組むべきものはどれだと思いますか。

・ＩＴを通じて世界にがっちり組み込むこと。21世紀は日本の市場のみを見ていてはいけない。世界中を日本国内と同じように接する県民性の育成
・新しいもの食いでなく、旧商店街復活に県は努力すべきである。
・安定した収入のある仕事。母親が働きやすい職場。保育園も土日休みというのはもう今の時代おかしいのでは・・・。今時そんな職場ないです。お金に不安がなければあと1人ほしいという人はいっぱいいますよ。
・大手企業の誘致。土地を安く。
・観光産業の滞在型の集約化
・企業誘致
・企業誘致できる団地があるのでは。雇用の進む企業誘致をもっと進めるべきではないか。
・企業誘致による産業振興
・県外企業誘致などで企業にアピールするための若年層を中心とした人材育成
・工業団地はありますので、企業誘致をもっとしましょう。

・企業誘致を行い、土地の長期無償提供等抜本的な政策を断行し、結果として人を呼び、税収が伸び活力が生まれると思う。あまり目先にとらわれた誘致は他県との競争では条件的に有利とは言えない遠隔地の高知は無理。全国的な取り組みのない「土地の長期無償貸与」は大きな効果があると思うがいかが。
・県外の取り組みでテレビで見たのですが、風力発電、家畜の糞などを利用して町自体に財力があり、潤っている県のことを見たのですが、何か新しい発想で県が発展していくことを考えられないでしょうか。
・県庁、市役所などが協力して、高知県全体での考えで行動し、頭より行動を重視し、実行できる人間の育成に力を入れてほしい。地元の声を聞いてほしい。
・工業団地を造成して企業誘致推進協議会のような組織を通じてルネッサス・テクノロジー、カシオさんのような有力企業を官民一体となって誘致していただきたいと思います。
・高知県にはいい環境、いい食材等あるのに活かしきれていないと思います。まずは県民が高知の良い物に気づくことが大事ではないかと思います。ちなみに私は食べ物はおかしにいたるまで高知のものを使うように気をつけています。（全てではないけれど）。そうすることが産業育成につながり、雇用の創出につながるのではと考えます。例えば、高知県産のもので、これだけの生活用品、食品がそろうよ等、広報するのもいいのでは？食材の地産地消はよく言われますが、その他の物も地消できるものをアピールしていけば何かが変わるのではと思います。一消費者の消費額は少なくとも、それの積み重ねで変わるものもあるかと思います。
・高知独自の規制緩和
・高齢化社会を支える若者の育成ができる産業に重点を置く。現状では、支出ばかりでそれに見合った収入がないためボランティアとかに頼っているが、本来であれば活力ある成人たちを育てない限り、一人ひとり負担が増えるばかりです。
・国民休暇県に戻したい。夏には夏野菜、冬には冬の野菜等、経費をかけず運送にもお金をかけず、地産地消で健康な県になって、都会の人を自然の中で受け入れて楽しんでもらう。とにかくもうお金は何にも使わない。
・雇用体制の充実。収入がなければ消費されないので産業は発展しない。
・自然を守り、観光立県を目指す。
・従来とは異なる視点に立った観光産業
・人材育成。産業を司るのは人であるので、県民の質がこれからの県を左右する。つまり、人は産業、医療、介護などあらゆる分野における要となると考えられる。相手の気持ちやその場の空気をよめるような人が多くなれば本県はもっと豊かになるかもしれない。
・瀬戸大橋など本州と四国各県を結ぶ主要高速道路の料金値下げ、もしくは無料化を国に強く迫ってよいと思います。四国の人だけがあんなに高い（だいぶ下がったのでしょうが）料金を負担するのは不公平です。また、新しく作るのでなく、今あるものを無料化するだけでも経済効果は高いと思います。そうすれば、流通（人、企業、モノ、金）が飛躍的に増加するのではないでしょうか。
・全国でも北海道と並ぶ地場産の食べ物がおいしい県に選ばれているのに、ＰＲが下手というか足りないので工夫して観光客を呼び込めるようにする。
・全国テレビに出て、もっともっと高知をＰＲすればいいと思います。
・全国ブランドであり、地域の馬文化の集大成である「高知競馬」の再評価。
・大企業誘致
・中心商店街の旦那衆は努力していない。空を見上げて口を開けている人が多いと思う。よくサウナで座っている。活気を取り戻したいなら、それなりの代価を負担する覚悟がいるのでは。まず、何がお客様のためになるか。自身で考え課題を把握することが必要では。
・同和対策を一日もはやく中止してください。
・徳島では、山間部で地域のお年寄りがパソコンを使い「木の葉」の注文を受けて出荷し、大きい収入を得ている。高知でも都会にないものをもっとアイディアを出して売り出せると思う。桂浜の花街道には古びたモニュメントの横を毎日、県外観光バスが走っている。あそこに、例えば、高知出身の漫画家のそれぞれ特徴あるモニュメントを作って写真撮影のスポットにできないだろうか。ただし、素晴らしい太平洋の景色にマッチするものを。今は薄汚れたゴミ箱にごみがあふれている。（海沿い）
・農・水・林が元気になれば人も帰ってくると思うので、まず古い標語で申し訳ないが、「一村一品」で活力を出すべき。
・よさこい、龍馬に頼る高知県づくりはやめた方がよい。他の県にない近代的な若者に注目を置いてイベントなどを開催してはどうか。このままだと高齢の方ばかりになる。
・陸の孤島と言われた宮崎県。しかし、東国原知事のカリスマと外交でものすごい成果がでました。高知県も何かカリスマ性のある人物・モノがあればいいのですが。一言いいますと、高知県は外交の仕方がヘタと思います。

・よそ者が入りやすくするための県民（土佐人）の狭い根性の変革
・プロ野球２軍の誘致。アメリカのマイナーリーグはメジャーリーグと同じ場所にはない。高知６球団、宮崎６球団などハングリー精神も鍛えられる。企業誘致が最優先。深層水やゆずばかりやっても何になるのか。若い人の働き場所の確保こそ第一である。県内の製造業は出荷の運賃でも不利。関東に倉庫を構えるなど考えてほしい。
・恵まれた自然環境や地域資源を生かしてほしい。残したいまたは守りたい中山間地域を選ぶ。豊かな緑や清流にひかれる都市住民が多い地域など。廃校を利用する。年金などで基本生活が維持できる元気な者に３～５年間の住民登録をしてもらい、出来ることをしてもらう。行政は金がなくて援助ができないなら税金を取らないこと。不便な生活を楽しんでもらう。
・有機農業の町や、エコに力を入れた町などをつくる。

Ⅷ　質問票（単純集計結果）

平成１９年度　高知県 県民世論調査

平成１９年8月
高知県 総務部 県政情報課

高知県では、より一層県民のみなさまの声を活かした行政を進めるため、県民世論調査を実施します。

今回の調査にご協力いただく３，０００名の方々を選挙人名簿から無作為に選ばせていただきましたところ、あなたにお願いすることになりました。

この調査は、県民のみなさまが県政についてどのような関心や考えを持ち、何を期待しているかといったことを知るために実施するものです。

今回は、次のテーマについて、みなさまの考えをお聞かせください。

１．県行政への関心について
２．働く場の確保・雇用対策について
３．これからの教育のあり方について
４．子どもの安全を守る活動について
５．地域ケア体制の整備について
６．住宅の耐震化について
７．高知県の道路整備について
８．今後の産業政策について

突然のお願いであり、また、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、今後の県政を進めるうえで重要な調査ですので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ささやかながら謝礼品として、「高知県イメージキャラクターくろしおくんプリント入りボールペン」を同封します。

（※　裏面の「記入・回答にあたってのお願い」をよく読んでお答えください。）

記入・回答にあたってのお願い

◆この調査は、個人を対象にしていますので、**あて名の方ご自身がお答えください。**

◆この調査は**無記名式です。**お答えいただく方のお名前、住所などは記入する必要はありません。

◆回答は、各質問ごとに当てはまる答えの番号に○印、または（　　）内に適当なことがらを記入してください。

◆質問には、回答を１つだけ選ぶ質問、複数を選んでもよいが回答数が制限されている質問があります。

◆一部の方だけに答えていただく質問もありますが、その場合は説明文がありますので、案内に従ってお答えください。

調査の実施について

◆この調査は、高知県が株式会社くろしお地域研究所（高知市宮前町８２番地）に発送や回収などの業務を委託して行っています。

調査票の返送について

◆ご回答を記入いただいた調査票は、記入もれがないかお確かめのうえ、同封の返信用の封筒に入れて、切手を貼らずに**平成１９年９月２０日（木）**までにご返送ください。

調査票の取り扱いについて

◆回答者の個人情報は、高知県個人情報保護条例に基づき適正に取り扱います。

◆この県民世論調査は、無記名式であり、また、回答は統計的に処理したうえで分析しますので、個人の名前が出たり他の目的に使用したりすることはありません。また、委託業者にもこのことは徹底しています。

※　この調査についてのおたずねは、下記までご連絡ください。

調査票の発送・回収などについて：株式会社くろしお地域研究所
（電話 088-824-8300）

質問の内容などについて：高知県総務部県政情報課（電話 088-823-9898）

質　　問

１．県行政への関心について

問１　あなたは、県の行政にどの程度関心がありますか。　（１つだけ○印）

- **37.7**　関心がある
- **36.8**　やや関心がある
- **10.9**　どちらともいえない
- **10.6**　あまり関心がない
- **3.0**　関心がない
- **0.9**　無回答

▶副問１　（問１で「１　関心がある」「２　やや関心がある」と答えた方のみお答えください。）

その理由は何ですか。　（２つまで○印）　N=1,422

- **42.4**　自分の住むところだから・高知に愛着（あいちゃく）があるから
- **57.6**　自分の暮らしに関係があるから
- **18.4**　世の中の動きや政治・行政に関心があるから
- **9.6**　県行政について新聞やテレビでよく報道されているから
- **5.8**　県にしてほしいことがあるから
- **41.1**　高知県を良くするためには、県の行政について知ることが大切だと思うから
- **6.7**　県が何をやっているか、常にチェックすることが必要だから
- **0.8**　その他（　　）
- **0.5**　無回答

▶副問２　（問１で「４　あまり関心がない」「５　関心がない」と答えた方のみお答えください。）

その理由は何ですか。　（２つまで○印）　N=260

- **1.9**　高知に愛着がないから
- **12.7**　自分の暮らしには関係がないと思うから
- **13.8**　世の中の動きや政治・行政には関心がないから
- **65.0**　県が何をやっているのかよくわからないから
- **35.8**　自分の要望や意見が活かされないと思うから
- **14.2**　行政のことは県にまかせておいてよいと思うから
- **5.0**　その他（　　）
- **2.7**　無回答

問２　県民の声を県政に活かすためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。　（３つまで○印）

21.8　手紙・電話・ファックス・インターネットなどを利用して気軽に意見が言えること
25.3　知事をはじめ県職員と住民が直接話す機会を多くすること
12.5　世論調査や住民モニター制度（せいど）などの調査を多くすること
38.3　県が事業などを行う当初の段階から住民の意見を聴くこと
42.2　県職員が日ごろの業務の中で住民の声を聴く意識と姿勢を持つこと
42.6　住民から寄せられた声に対して、県がどのような対応をしたかを知らせること
37.7　県が行う事業や取り組みについての積極的な広報や徹底した情報公開
39.2　県職員が地域に入り、地域の声を聴きながら、住民とともに課題（かだい）を解決していく取り組み
1.5　その他（　　）
2.6　無回答

問３　あなたは、県の情報公開や県からの情報の提供（ていきょう）について関心がありますか。　（１つだけ○印）

35.2　関心がある
36.1　やや関心がある
18.4　どちらともいえない
6.3　あまり関心がない
2.1　関心がない
1.9　無回答

副問　（問３で「１　関心がある」「２　やや関心がある」と答えた方のみお答えください。）
あなたは、県の情報公開や情報の提供に対する取り組みに満足していますか。　（１つだけ○印）　N=1,359

2.4　満足している
17.4　やや満足している
42.5　どちらともいえない
28.0　あまり満足していない
8.9　満足していない
0.7　無回答

２．働く場の確保・雇用対策について

全国の雇用情勢は、景気の回復とともに改善のきざしが見えますが、高知県ではまだまだ厳しい状況が続いています。とりわけ、若年者の失業率は全国平均を大きく上回っており、たいへん深刻な状況です。

一方で、若者が就職先を景気の良い県外へ求める傾向が強いため、製造業などでは人材の確保が厳しいといった現状があります。

問４　新規に高校を卒業した方が県外で就職する割合は、平成１４年度に２４．８%だったものが、平成１８年度には４８．２%に上昇しており、高校を卒業して就職する方の約２人に１人が県外へ流出しています。このような状況をどう思いますか。　（３つまで○印）

50.4　県内に求人が少ないので仕方がない
32.0　県内に希望に合う職種が少ないので仕方がない
33.5　県外の企業の方が賃金など雇用の条件が良いので仕方がない
19.0　本人が県外で就職することを希望するのなら仕方がない
54.2　高知県が活力ある地域を築いていくうえで大きな問題である
37.7　県内の企業がもっと採用に努力する必要がある
28.0　県内にも優れた企業があるので、その情報を提供していく必要がある
7.0　就職できるのであれば県外でも問題ない
3.0　その他（　　）
1.4　無回答

問５　あなたは主にどのようにして就職しましたか。（就職しようと考えていますか。）　（１つだけ○印）

28.8　在学中の就職活動（就職説明会への参加、企業訪問、学校での就職あっせんなど）
0.1　ジョブカフェ（都道府県の就職支援相談センター）の紹介
11.4　ハローワーク（国の公共職業安定所）の紹介
34.3　家族や知り合いの紹介
4.6　就職情報誌の活用
0.7　インターネットの活用（選択肢１に該当する場合を除く）
6.8　その他（　　）
6.0　就職したことがない（就職しようと考えていない）
7.3　無回答

高知県では、主に若年者の就職のための総合的なサービスセンターとして「ジョブカフェこうち」（高知県就職支援相談センター）を開設して、就職に関する相談からあっせんまで、さまざまな支援を行っています。

問６　「ジョブカフェこうち」を知っていますか。　（１つだけ○印）

1.0　利用したことがあり、知っている
14.8　利用したことはないが、活動の内容は知っている
37.2　活動の内容は知らないが、名前は聞いたことがある
44.9　全く知らない
2.1　無回答

問７　「ジョブカフェこうち」では、以下の１～４のようなことを行っていますが、今後どの機能をさらに充実すればよいと思いますか。
（２つまで○印）

37.5　就職のあっせん
34.1　就職に関するカウンセリング（相談窓口）
33.6　就職に結びつくセミナー（研修会・講習会）
49.7　若者が気軽に立ち寄れる情報ステーション（情報が得られる場所）
2.4　その他（　　）
6.9　無回答

高年齢者の就業の機会の確保や、生きがいの充実、活力ある社会づくりのため、「シルバー人材センター」が設置され、登録された高年齢者が、家庭や企業に対して、臨時的・短期的な仕事を行っています。

問８　「シルバー人材センター」の活動を知っていますか。
（１つだけ○印）

15.4　利用したことがあり、知っている
50.7　利用したことはないが、活動の内容は知っている
28.1　活動の内容は知らないが、名前は聞いたことがある
4.4　全く知らない
1.5　無回答

全国では有効求人倍率（平成１９年６月末現在）（※）が１．０７と雇用状況が改善していますが、高知県の有効求人倍率は０．４８と低迷しています。失業者も３万人を超えるなど、県内に働く場が不足していることが課題です。

(※)「有効求人倍率」とはハローワークで仕事を探している１人に対して、何件の求人があるかを示した数値で、０．４８という数値は、仕事を探している人１００人に対して４８件の求人しかない状況を意味します。

問９　県の雇用対策として最も重点を置くべき対象者はどの層だと思いますか。

（１つだけ○印）

22.1　新規学卒者（高校や大学を卒業したばかりの方）
42.7　若年者（おおむね３５歳未満）
19.8　中高年齢者（４５歳から６０歳未満）
4.7　高年齢者（６０歳以上）
1.7　障害のある方
3.6　母子・父子家庭の母・父
2.6　その他（　　）
2.7　無回答

３．これからの教育のあり方について

教育は、次の世代を支える人づくりという点で、県が最も力を入れて取り組むべきテーマです。高知県の将来を託する子どもたちの健やかな成長のため、県民のみなさまや教育関係者のみなさまとともに、手をたずさえて高知の教育の発展に取り組んでいくことが重要です。

問10　これからの教育を進めていくうえで、どのような取り組みや支援が必要だと思いますか。

（３つまで○印）

24.6　子育て家庭への相談体制の整備などの支援
17.7　小学校入学前の保育・教育の充実
4.1　複式学級(※１)をなくすこと
20.3　小学校での学力の二極化(※２)への対応

15.7　少人数学級の導入
14.5　キャリア教育(※３)や産業教育の充実
10.2　国際的な視野を持つ人材づくり
7.7　図書館、美術館、公民館などの文化・社会教育施設の充実
25.4　家庭や地域の教育力を上げるための支援
12.5　専門性の高い教育ができる学校や教育委員会の体制の整備
58.3　教職員の資質・指導力の向上
15.0　保護者や地域の人々が、学校の運営に参加しやすい環境の整備
8.0　障害のある子どもたちへの教育の充実
16.4　不登校(ふとうこう)対策
6.1　耐震化(たいしんか)(※４)を含めた学校の施設・設備の充実
11.5　教育予算の充実
3.4　その他（　　）
2.6　無回答

(※１)「複式学級」とは、学校の規模が小さく、各学年の児童生徒の人数が少ない場合に、１学年１クラスでなく、異なった学年の児童生徒を１クラスにした学級のことです。
(※２)「学力の二極化」とは、平均程度の学力の子どもが減り、極端(きょくたん)に上位層と下位層の２つに分かれる傾向が進んでいることです。
(※３)「キャリア教育」とは、体験的な活動などを通して、生徒一人一人の職業観(しょくぎょうかん)や勤労観(きんろうかん)を育てる教育のことです。
(※４)「耐震化」とは、強い地震でも簡単に壊れたりしないようにすることです。

問11　厳しい財政状況の中で、高知県の教育の水準を保ち、向上させるために、新たな費用の負担を県民のみなさまにお願いせざるを得ない状況となった場合、どう思いますか。

（１つだけ○印）

14.0　負担はやむをえない
36.1　金額によっては負担をしてもよい
27.3　できれば負担はしたくない
13.0　負担はしたくない
8.0　わからない
1.6　無回答

４．子どもの安全を守る活動について

【子どもたちの安全を守る取り組みについて】

問12　子どもたちの安全を守るためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

（３つまで○印）

30.6 学校による学校内外の安全対策
18.4 保護者による通学路、公園などの見守り活動
46.6 地域住民による通学路、公園などの見守り活動
39.1 警察官による通学路や学校周辺のパトロール
29.2 「こども１１０番のいえ」など、子どもたちがいつでもかけ込むことのできる場所づくり
37.9 学校や保護者に対する不審者情報などの提供
34.7 有害図書や出会い系サイトなどの有害な情報から子どもを守る取り組み
36.2 通学路、公園などを安全にするための整備
2.5 その他（　　）
1.0 無回答

問13　あなたは、ここ１年ぐらいのうち、お住まいの地域で、子どもを守るための活動に参加したことがありますか。下の表にある「回答欄」内の１、２、３のいずれかに○をしてください。項目の中にない活動については、「その他」の欄に記入してください。
（それぞれの活動項目について、回答欄の「１」「２」「３」の１つだけに○印）
（「１」「２」「３」の説明は表の下に書いてあるとおりです）

活　動　項　目	回答欄
①散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動	１　２　３
②登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動	１　２　３
③子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動	１　２　３
④公園など、子どもの遊び場の見回り活動	１　２　３
⑤夜間のパトロール活動	１　２　３
⑥その他（　　）	１　２

１＝参加したことがある
２＝参加したことはないが、そのような活動があることは知っていた
３＝参加したことがないし、そのような活動があることも知らなかった

① 散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動

13.9 1　**35.0** 2　**38.2** 3　**12.9** 無回答

② 登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動

10.1 1　**50.0** 2　**26.7** 3　**13.3** 無回答

③ 子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動

22.6 1　**36.9** 2　**29.0** 3　**11.4** 無回答

④ 公園など、子どもの遊び場の見回り活動

4.4 1　**38.7** 2　**42.9** 3　**14.0** 無回答

⑤ 夜間のパトロール活動

4.3 1　**40.6** 2　**41.1** 3　**13.9** 無回答

⑥ その他

0.7 1　**0.4** 2　**98.8** 無回答

（「1」に○を１つでもした方（参加したことがある方）　⇒ 副問１へ）
（「1」に○をしなかった方（参加したことがない方）　⇒ 副問２へ）

副問１　（問13で「1」に○を１つでもした方（参加したことがある方）のみお答えください。）

活動をした際に課題と思ったことは何ですか。(３つまで○印) N=577

34.3 地域住民の防犯意識や連帯感が弱い
35.4 活動に参加する人が少ない
43.0 活動に参加する人がいつも同じ
12.7 活動の内容が固定化している
13.0 防犯に取り組む組織が地域にない
12.7 地域で活動している個人や団体が連携（れんけい）できていない
13.0 活動を指導するリーダーがいない
20.6 地域の不審者や犯罪の発生に関する情報をすぐ知ることができない
12.7 先進的（せんしんてき）な取り組みや効果的な活動などについての情報がない
5.5 活動するための資金が不足している
14.0 行政の支援や支援に関する情報が不足している
2.9 その他（　　）
9.4 無回答

副問２　（問13で「1」に○をしなかった方（参加したことがない方）のみお答えください。）

あなたは、今後、地域の活動に参加できますか。(１つだけ○印)N=1,170

5.0　参加できる
47.9　条件が整えば参加できる、参加してみたい
20.8　参加できない、参加したくない
25.0　わからない
1.4　無回答

副々問１　（副問２で「１　参加できる」「２　条件が整えば参加できる、参加してみたい」と答えた方のみお答えください。）
どのような活動に参加できると思いますか。（２つまで○印）

N=618

69.6　散歩や家の前の掃除、買物、仕事の途中など、自分の日常生活の範囲内での登下校時に合わせた見守り活動
13.6　登下校時の通学路のパトロール活動、街頭での見守り活動
64.1　子どもたちへの日常的な声かけ・あいさつ運動
13.1　公園など、子どもの遊び場の見回り活動
7.4　夜間のパトロール活動
0.5　その他（　　）
1.5　無回答

副々問２　（副問２で「３　参加できない、参加したくない」と答えた方のみお答えください。）
参加できない、参加したくない理由は何ですか。（３つまで○印）

N=243

46.5　仕事などで忙しくて時間がないから
3.3　パトロール活動などには危険が伴うと思うから
10.3　一緒に活動する仲間がいないから
15.2　どのようにして取りかかってよいのかわからないから
14.0　地域で活動する団体や活動の内容などの情報がないから
2.1　子どもの安全を守ることは警察のすべきことだと思うから
3.3　子どもの安全を守ることは学校のすべきことだと思うから
3.3　子どもの安全を守ることは行政のすべきことだと思うから
11.5　子どもの安全を守ることは保護者の務めだと思うから
2.1　警察や学校と連携をとることに抵抗があるから
5.3　興味、関心がないから
37.0　年齢、病気などの理由で、屋外での活動ができないから
12.3　近所に子どもがいないから
4.9　その他（　　）
1.6　無回答

【子どもを非行から守る取り組みについて】

問14　子どもの非行を防止するためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。

（３つまで○印）

79.7　保護者による家庭でのしつけ
39.0　学校教育で、善悪の判断基準や人に迷惑をかけないなどの基本的なことを教えること
14.6　警察と学校が連携して非行の防止や社会のルールを守るなどの啓発を行うこと
26.2　有害図書や出会い系サイトなど子どもにとって有害な環境をなくすこと
6.7　街頭などでの少年補導活動
19.2　子どもや保護者からの相談を受け付ける体制の充実
14.9　子どもをあたたかく受け入れる場所の確保
44.4　手本となる大人がマナーを守ること
3.6　量販店やコンビニなどでの万引き防止対策
27.8　地域住民が地域の子どもに目を向け、積極的に声かけなどを行うこと
1.5　その他（　　）
2.4　無回答

【県内の治安情勢について】

問15　あなたは、現在の高知県の治安について、どのように感じていますか。

（１つだけ○印）

15.1　不安を感じている
39.8　やや不安を感じている
22.9　どちらともいえない
17.3　あまり不安を感じていない
2.3　不安を感じていない
2.6　無回答

副問　（問15で「１　不安を感じている」「２　やや不安を感じている」と答えた方のみお答えください。）

あなたは、どのようなことに対して不安を感じていますか。

（３つまで○印）　N=1,048

70.1　空き巣、すり、ひったくりなどの窃盗事件
34.5　殺人、強盗などの凶悪事件
46.2　少年犯罪

28.4　子どもが声をかけられたり、追いかけられたりする事案
7.0　ストーカーや家庭内暴力（ＤＶ）
44.7　高齢者などをねらった悪質商法や振り込め詐欺
30.3　暴走族、飲酒運転などの悪質な交通違反や重大な交通事故
2.2　その他（　　）
0.9　無回答

５．地域ケア体制の整備について

「地域ケア体制の整備」とは、おおむね３０年後の人口構造などの状況や、各地域のサービスの必要性を考え、高齢者の生活を支える医療、介護、住まいなどの体制を総合的に整備しようとするものです。
特に、「医療や介護を必要とする状態になっても、住み慣れた自宅や地域で療養したい、介護を受けたい」といった高齢者の希望を最大限尊重しながら、ケア体制をつくっていくことが求められています。
高知県では、今年中に地域ケア体制整備構想を策定しようと、現在検討を進めています。

【地域ケア体制整備で重要なもの】
問16　あなたに医療や介護が必要となったときに地域や住まいで安心安全に生活するために、重要と考えるものは何ですか。　（３つまで○印）

67.4　入院から退院、在宅での療養まで、医療や介護関係者が連携して対応してくれること
34.4　予防、治療など総合的に看てくれる医師がいること
14.7　認知症を専門に治療する医療機関があること
41.9　２４時間３６５日、在宅での療養や生活を支える、医療や介護の体制があること
38.4　本人の楽しみや家族の介護の負担が軽くなるような地域で集える場所があること
26.8　定期的な安否の確認や、買い物や病院への送迎など、地域の支え合いがあること
19.8　介護や医療が必要となる前の予防
26.7　介護や食事が付いた高齢者向けの住まい
1.5　その他（　　）
1.9　無回答

【地域の支え合いや見守り】

問17　あなたや家族に介護が必要となったときに、自宅で生活を続けるために必要と思う地域での支え合いや見守りはどれですか。

（３つまで○印）

54.5　買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎
35.1　配食サービスなど、食事の提供
33.7　認知症の方が困っているときに対応できるサポーター（援助者）
19.3　認知症の方が徘徊していなくなったときに、探してくれる地域のネットワーク
13.4　庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援
32.0　話し相手や相談相手
26.5　定期的な安否の確認
55.1　緊急時に通報できる手段・連絡体制
0.5　その他（　　）
3.3　無回答

【自宅向けの医療について】

平成１８年４月から、寝たきりなどで通院が困難な方に対して、２４時間３６５日必要なときに、医師や看護師が自宅へ訪問して診察や治療を行ったり、自宅での看取り（死期が近づいた時から死期にかけての手厚い対応）に対応したりする診療所（在宅療養支援診療所）ができています。

問18　あなたが寝たきりなどの状態で医療機関に１人で行くことが困難となった場合、どのようにしたいですか。

（１つだけ○印）

28.4　自宅（借家含む）に医師や看護師に来てほしい
46.6　病院に入院したい
10.8　家族やヘルパー、地域の方などに介助してもらって病院に通院したい
9.5　わからない
1.6　その他（　　）
3.2　無回答

【地域活動の普及啓発】

問19　介護が必要となった場合でも、地域での生活を続けるためには、県民が参加して地域づくりをしていくことが重要となります。

あなたは地域の支え合い活動に参加できますか。

（１つだけ○印）

31.5 参加できる
10.7 参加できない
54.1 わからない
3.7 無回答

問20　あなたが、地域の支え合い活動に、より参加しやすくなると思える条件は何ですか。

（３つまで○印）

56.3 活動する場所が自宅からあまり離れていないこと
55.9 時間や期間にあまりしばられないこと
17.0 軽い作業程度の労働であること
16.5 今までの経験・技術・趣味が生かせること
11.5 実費程度の経費の支給があること
12.7 自分が活動した時間分だけ、将来支え（サービス）が受けられること
13.9 介護保険料などの減額など優遇措置が受けられること
27.1 いっしょに活動する仲間や団体があること
25.5 思いがけない事故などが起こったときに対処する方法や責任のありかが明らかになっていること
24.7 地域の支え合い活動のくわしい内容が知らされていること
0.9 その他（　　）
5.1 無回答

問21　あなたが参加しても良いと思う地域の支え合い活動はどれですか。

（３つまで○印）

34.0 買い物や病院へ行く場合などの介助や送迎
14.8 配食サービスなど、食事の提供
9.9 認知症の方が困っているときに対応できるサポーター（援助者）
26.1 認知症の方が徘徊していなくなったときに協力して探す地域のネットワーク
23.3 庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援
36.9 話し相手や相談相手
43.7 定期的な安否の確認
36.3 近所の緊急時の通報への対応
1.7 その他（　　）
7.2 無回答

【高齢者向け住宅のニーズ】

問22　あなたが高齢になって介護が必要となった場合、住まいはどのようにしたいですか。

（１つだけ○印）

18.3　現在の住居に、とくに改造などはせずそのまま住み続けたい
26.3　現在の住宅を改造し住みやすくする
2.2　子どもや親戚などの家に移って世話をしてもらう
20.0　介護が付いている特別養護老人ホームなどの施設に入居する
7.4　介護が付いている有料老人ホームなどに入居する
5.7　介護は付いていないが、洗濯や食事の世話などのケアが付いた住宅に入居する
16.0　わからない
4.1　無回答

問23　自宅での医療や介護サービスが十分に受けられない地域に住んでいて、あなたや家族に介護が必要となった場合、住み慣れた自宅を離れて、医療や介護サービスが受けやすい高齢者向け住宅に住み替えをしようとした場合に重視する条件は何ですか。

（３つまで○印）

45.6　住み慣れた地域にあること
36.9　子や孫・親族が住んでいる地域にあること
53.2　医療機関が近くにあること
21.0　介護サービスを提供してくれる事業所が近くにあること
34.4　商店街などが近くにあり、買い物など日常生活に便利な場所にあること
3.2　地域の幼稚園、小学校などの近くにあり、地域との交流があること
62.4　費用がかかりすぎないこと
0.4　その他（　　）
3.8　無回答



６．住宅の耐震化について

【住宅の耐震化の認識】

阪神・淡路大震災では、地震直後の犠牲者約５，５００人のうち、８割以上が、住宅などの倒壊により亡くなったといわれています。特に、耐震基準が改正された昭和５６年以前に建てられた住宅が多く倒壊しました。

高知県内にも耐震性に問題があるといわれている昭和５６年以前に建てられた木造住宅が約１２万戸存在し、次の南海地震をひかえ、これらの住宅の耐震化が大きな課題となっています。

問24　あなたは、このようなことを知っていましたか。

（１つだけ○印）

44.0　知っていた
38.7　ある程度知っていた
11.8　あまり知らなかった
3.6　知らなかった
1.8　無回答

【耐震診断や耐震改修に対する助成制度について】

問25　高知県ではこれまでに、県と市町村が協力して次の①、②のような助成制度を設け、木造住宅の耐震診断や耐震改修を支援してきています。
あなたはこのことを知っていましたか。

①耐震診断：昭和５６年５月３１日以前に建てられた木造住宅を対象に、市町村が耐震診断士を派遣して診断を行っています。
②耐震改修のための工事費の補助：①の診断の結果、倒壊の可能性があるとされた住宅を安全な住宅に改修するための工事費に対して最高６０万円の補助を行っています。

（１つだけ○印）

15.4　制度の内容を含め知っていた
51.2　制度があることは知っていた
31.3　知らなかった
2.1　無回答

（参考）平成１９年度から新たに、次のような支援を行っています。
・耐震改修のための設計費の補助：①の診断の結果、倒壊の可能性があるとされた住宅を安全な住宅に改修するための設計費に対して最高２０万円の補助を行います。（上記の制度は併用できます。）

問26　あなたがお住まいの住宅の構造はどれですか。　　（１つだけ○印）

72.4　木造
21.4　鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造のいずれか
0.9　コンクリートブロック造
1.6　わからない
0.6　その他（　　）
3.1　無回答

問27　今お住まいの住宅の所有者である方、または所有者のご家族である方にお聞きします（それ以外の方（賃借している方など）は回答せず問28にお進みください）。

今後、問25のような助成制度を使って耐震診断や耐震改修をしたいと思いますか。（現在は木造住宅だけが助成の対象ですが、今後、木造以外の住宅も対象となった場合を想定してお答えください。）　　（１つだけ○印）

36.2　したいと思う
23.8　したいと思わない
17.3　わからない
22.7　無回答

副問　（問27で「２　したいと思わない」と答えた方のみお答えください。）その理由は何ですか。　　（３つまで○印）　N=454

30.8　もともと耐震性は十分だから
5.9　すでに耐震改修済みだから
52.4　助成制度を使っても、耐震改修は自己負担額が多そうだから
11.5　助成制度を使うには、申請などの手続きがめんどうそうだから
13.7　耐震改修をするよりも住み替えや建て替えをしたいから
7.3　耐震診断や耐震改修を誰に頼んでいいのかわからないから
11.9　耐震改修工事のための家具の移動や仮住まいなどで、今の生活リズムを崩したくないから
33.5　耐震改修をしても大地震には耐えられないと思うから
7.5　耐震改修にお金をかけてもすぐには改修の効果が実感できないから
3.1　当分は南海地震などの大地震はこないと思うから
1.5　住宅の耐震性には関心がないから
3.5　耐震改修は義務ではないから
6.6　その他（　　）
0.7　無回答

【住宅の耐震化に向けて】

問28　どうすれば、住宅の耐震化が進むと思いますか。

（３つまで○印）

26.8　耐震化の必要性のＰＲ（普及啓発）

70.2　耐震改修を支援する制度（補助、低利の融資、税金の減免など）の充実

54.5　安価で簡単な耐震改修の方法の開発、普及

20.6　耐震改修を行う技術者の養成や相談窓口の紹介

36.5　耐震改修を行った住宅が地震で被害を受けた場合に再建費用を支給する制度をつくること

29.8　建て替えを支援する制度をつくること

1.2　その他（　　）

5.7　無回答

７．高知県の道路整備について

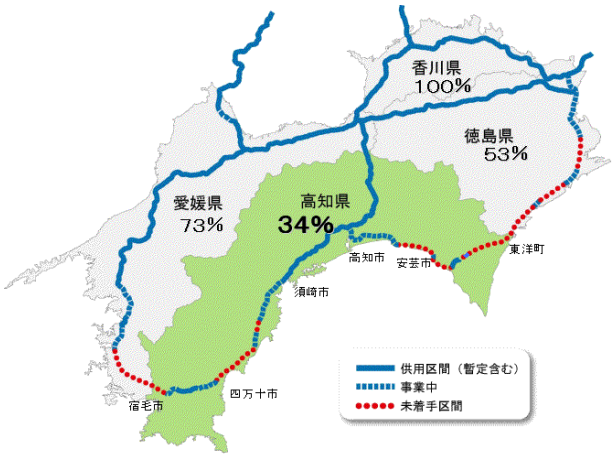
県は、四国８の字ネットワークの高速道路網の早期整備に取り組むとともに、地域間を結ぶ幹線道路や毎日利用する生活道路の整備を進めています。

しかし、三位一体の改革や長引く不況などにより、県の財政は年々厳しくなっており、道路の建設費や維持費も減少してきました。

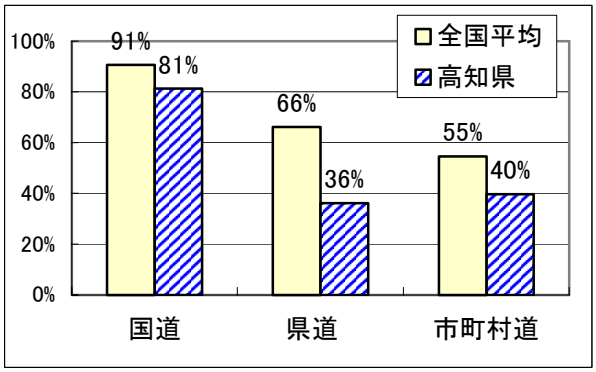
このような中、「道路の整備はもう十分」という意見がある一方で、「日常生活や産業振興に必要な道路の整備はまだまだ残っている」という意見もあります。

(参考)

■四国８の字ネットワークの整備率

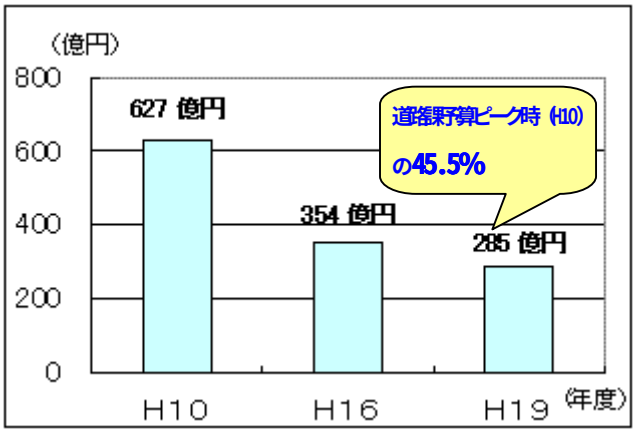


■県内の道路改良率　（道路統計年報 2006）



※改良率：供用中の道路のうち、車道幅員 5.5m以上の延長

■高知県道路課の予算推移



※事前通行規制区間とは、大雨や台風など異常気象時に、落石や斜面崩壊等による事故を未然に防ぐため、雨量等が一定基準を超えると、道路の通行を規制する区間のことです。

■県内の通行止めの状況（17 年度）

事前通行規制区間内(※)の通行止め

54路線　133回　12，739時間

事前通行規制区間外の通行止め

38路線　61回　2，243時間

学校から
勤務先から
買物先から
→ 家に帰れない





問29　県内の道路整備にあたって特にどのようなことが必要だと思いますか。
（３つまで○印）

37.4　今ある道路の維持管理（舗装や橋の修繕など）

30.9　輸送ルートの確保や橋の補強など、地震に備えた道路の整備
43.8　大雨等による落石などの災害を防ぐための道路の整備
23.7　通勤、通院などで、日常的に利用する道路の整備
18.6　高速道路の整備
43.0　歩行者や自転車が安心して通れるための歩道や自歩道の整備
5.7　合併した（または合併する）市町村内の拠点を結ぶ道路の整備
10.4　産業振興のための道路や観光地へのアクセス道路の整備
35.5　交通安全や渋滞解消のための道路整備
7.1　電線類の地中化など、景観に配慮した道路の整備
1.5　わからない、関心がない
5.0　無回答

問30　県内の道路の今後の整備（基本的な維持管理は除く）について、どう思いますか。　（１つだけ○印）

3.5　十分整備されていると思うので、必要ないと思う
50.6　県の財政は厳しいが、道路の整備は優先して進めるべきだと思う
29.0　県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う
12.4　わからない
4.5　無回答

副問　（問30で「３　県の財政が厳しいのなら、道路の整備は我慢すべきだと思う」と答えた方のみお答えください。）
財政が厳しいなか道路の整備より優先すべきだと思うものは何ですか。
（１つだけ○印）　N=554

30.3　医療や福祉
31.6　雇用対策や産業振興
5.2　農業、林業や水産業の振興
5.1　地震などの災害に備えること
2.5　道路以外の河川や砂防などの社会基盤の整備
7.2　少子化対策
4.7　教育の充実
1.4　観光振興
4.5　森林保全や省エネルギーなどの環境対策
0.4　情報基盤の整備や行政の電子化などの情報化対策
0.9　その他（　　）
6.1　無回答

問 31　その他、県内の道路整備についてご意見をご記入ください。（自由記入）

８．今後の産業政策について

これから 10 年後、20 年後の人口減少・少子高齢化を見すえ、活力を保ち続ける地域社会とするためには、恵まれた自然環境や地域資源を生かして産業を盛んにし、効果のある中山間対策などを行うことにより、県内全体の産業の底上げをする必要があります。

問32　県が産業政策の面で今後、特に重点的に取り組むべきものはどれだと思いますか。　（３つまで○印）

54.6　安全で安心な食糧が供給できる産地づくりや地域の特性を生かした農林水産業の取り組み

36.2　農林業の担い手不足や高齢者の生活支援といった中山間地域の課題に対する支援や地域の元気づくりに向けた取り組み

18.9　海洋深層水やゆずといった本県のほこる地域資源を生かした食品加工など、一次産品の付加価値を高めるための取り組み

31.0　雇用の面ですぐに効果が期待できる企業誘致を進めるための工業団地の造成などの取り組み

15.7　紙や農機具といった地域に根ざした地場産業の振興を図る取り組みや産学官の連携で研究している高知発の技術による新たな産業育成

26.3　中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、にぎわいのあるまちづくりを進めていくための、商店街を中心としたまちづくりや商業振興

14.0　よさこい祭りなど本県の文化・伝統や自然を生かした観光の振興、交流人口の拡大に向けたスポーツ大会の誘致などの取り組み

27.0　県民の命を守り、地域間の格差を是正するために必要な道路の整備など、産業振興の基盤となる社会資本の整備

35.1　循環型社会の先進地を目指した取り組みや、高齢化社会に対応するための福祉・健康サービス分野での新たな産業創出への支援

2.1　その他（　　）

4.3　無回答

最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

Ｆ１　性別 …… **42.2**　男性　　**55.4**　女性　　**2.4**　無回答

Ｆ２　年代 …… **8.8**　２０歳代　**14.0**　３０歳代　**14.3**　４０歳代
22.8　５０歳代　**19.3**　６０歳代
18.4　７０歳以上　　**2.4**　無回答

Ｆ３　職業

6.0　農林業
0.5　漁業
（主婦の場合は家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間と比較して多い方をとる）

7.3　商工サービス業自営（商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む）
9.1　事務職（勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、課長以上を除く）
9.8　技術職（主に技術系の仕事の人、看護師、保育士など、課長以上を除く）
13.1　労務職（現場従業者、工員、運転手、店員、日雇い、大工など）
3.0　管理職（勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など）
1.7　自由業（医師、弁護士、画家、僧侶、大学教授など）
16.0　主婦（家庭内の仕事が一日で最も多い場合）
1.4　学生（高校、短大、大学、その他の学校在学中）
19.9　無職（年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合）
8.3　その他（上のいずれにも属さないもの）
3.8　無回答

Ｆ４　世帯構成

11.7　本人のみ（単身世帯）
24.3　本人と配偶者（夫婦のみの世帯）
5.6　本人と子ども
27.7　本人と配偶者と子ども
4.7　本人と配偶者と親
10.6　本人と親
8.8　３世代以上の世帯
4.0　その他（上のいずれにも該当しない）
2.6　無回答

Ｆ５　世帯の年間収入

8.6　０～１００万円未満　　**17.5**　４００～６００万円未満
15.3　１００～２００万円未満　　**8.6**　６００～８００万円未満

20.5　２００～３００万円未満
13.1　３００～４００万円未満
7.2　無回答
4.5　８００～１０００万円未満
4.7　１０００万円以上

Ｆ６　子どもの状況（同居・別居に関わらずお答えください。複数回答可）

9.9　就学前の子どもがいる
11.7　小学生の子どもがいる
8.1　中学生の子どもがいる
8.5　高校生の子どもがいる
8.2　大学生、専門学校生等の子どもがいる
59.7　その他（上のいずれにも該当しない）
11.4　無回答

Ｆ７　お住まいの場所（広域生活圏）

42.2　高知市
8.2　安芸広域圏……室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、北川村、馬路村
13.4　南国・香美広域圏……南国市、香南市、香美市
2.1　嶺北広域圏……本山町、大豊町、土佐町、大川村
9.4　仁淀川広域圏……土佐市、いの町、春野町、日高村
3.4　高吾北広域圏……佐川町、越知町、仁淀川町
8.4　高幡広域圏……須崎市、中土佐町、四万十町、梼原町、津野町
12.3　幡多広域圏……四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村
0.5　無回答

質問は以上です。長時間ご協力いただきありがとうございました。
この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、９月２０日（木）までに、切手を貼らずに返送してください。
お手数をおかけしますが、よろしくお願いします。

